

第39集

日高市埋蔵文化財調査報告書 第39集

拾石

拾石

日高市教育委員会

2019

埼玉県日高市教育委員会

あ い さ つ

J R川越線武蔵高萩駅の北側は市街化調整区域で、畑と水田が広がる農村風景が見られる地域でした。しかし、その一方で武蔵高萩駅周辺では、大規模な宅地開発や無秩序なミニ開発による宅地開発が見られるようになりました。そのため日高市では、武蔵高萩駅北に広がる地域の健全な市街地の形成と商業機能の向上と潤いのある住環境の整備を目指して、武蔵高萩駅北土地区画整理事業を平成5年度より行っております。

武蔵高萩駅北土地区画整理事業に伴い、事業地内に所在する拾石遺跡、王神遺跡、堀ノ内遺跡の発掘調査を平成5年度より行っております。

平成5年度から平成7年度の拾石遺跡の調査では、縄文時代早期の住居址2軒、集石土壙10基、奈良・平安時代の住居址44軒、掘立柱建物跡6棟、井戸址14基、道路遺構1条、水路遺構2条などを検出しました。役人が使用するベルトの装飾に用いる丸軋と巡方、そして「厨」、「家長」などの多くの文字資料、漆紙など古代高麗郡を知るうえで、貴重な資料を得ることができました。

本書が広く活用され、郷土愛そして文化財保護の向上に役立てば幸いです。発掘調査そして報告書の刊行にあたりご協力いただきました文化庁、埼玉県教育局文化資源課、日高市、区画整理課、日高市遺跡調査会をはじめ多くの市民の皆さん、発掘調査に従事いただいた方々に厚く御礼申し上げます。

平成31年1月

日高市教育委員会
教育長 中村 一夫

あ い さ つ

武蔵高萩駅北土地区画整理事業に伴い、平成5年度から平成7年度に実施した拾石遺跡の調査報告書です。

本書には、縄文時代早期の住居址2軒、集石土壙10基、奈良・平安時代の住居址44軒、井戸址14基、道路遺構1条、水路遺構2条、溝28条、土壙51基、ピット37本の調査内容を掲載しました。

今回の調査では、巡方、丸鞆といった腰帯具、郡家を構成する施設の名称「厨」を記した墨書土器の発見、そして「家長」、「万呂」など数多くの墨書土器、漆紙の出土は高麗郡を考察するうえで重要な資料です。

また、灌漑施設の水路遺構の発見は、建郡以降、人々が水田開発のために行った具体的な方法を理解する貴重な遺構です。

本報告書が日高市の歴史を明らかにする資料として広く活用され、郷土愛そして文化財保護の向上に役立てば幸いです。

発掘調査そして報告書の刊行にあたりご協力いただきました文化庁、埼玉県教育局文化資源課、日高市、区画整理課、日高市教育委員会をはじめ多くの市民の皆さん、発掘調査に従事いただいた方々に厚く御礼申し上げます。

平成31年1月

日高市遺跡調査会
会 長 新井 孝重

例 言

1. 本書は埼玉県日高市大字高萩字拾石、字梨木に所在する拾石遺跡の調査報告書である。
2. 武蔵高萩駅北土地地区画整理事業に伴って行った発掘調査調査は、日高市遺跡調査会が日高市より委託を受けて発掘調査を実施した。発掘調査報告書の刊行及び資料整理は日高市教育委員会が行った。
3. 発掘調査は、平成5年度から平成7年度にかけて実施した。
4. 発掘調査の届出に対する文化庁、埼玉県教育委員会の指示通知は以下のとおりである。
平成5年11月5日付委保第5-1535号
平成6年8月11日付委保第2-079号
平成6年12月2日付委保第2-135号
平成6年12月2日付委保第2-136号
平成6年12月2日付委保第2-137号
平成7年7月14日付教文第2-63号
平成8年1月30日付教文第2-172号
5. 発掘調査担当者は下記のとおりである。
発掘担当者 中平 薫（平成5、6年度）
松本尚也（平成5～7年度）
6. 出土遺物の資料整理は平成21～28年度まで実施し、報告書の作成は平成29、30年度にかけて行った。
資料整理及び報告書作成は中平薫が担当した。
7. 挿図図版の縮尺は、それぞれのキャプションに明記した。
8. 挿図中の遺物番号と写真図版番号は一致する。
9. 拓本、トレースは新井敏子、勝山敏江、関恭子、野本真理子、渡辺敬子があたった。遺物実測、図版作成、遺物写真撮影は中平薫が行い、松本尚也の協力を得た。
10. 本書の編集及び執筆は中平薫が行った。
11. 石質の鑑定は、埼玉県立川越南高等学校教諭田口聡史氏にお願いした。
12. 発掘調査及び資料整理に関して次の諸機関よりご指導、ご協力を得た。厚く感謝する次第である。（敬称略、順不同） 埼玉県教育局文化資源課、埼玉県埋蔵文化財調査事業団

発掘調査組織 日高市遺跡調査会

顧問	橋口 尚武（日本考古学協会員）平成4～12年度	
会長	犬竹 郷美（日高市教育委員会教育長）平成4～11年度	
	大沢 幸夫（日高市教育委員会教育長）平成12～17年度	
	新井 孝重（日高市文化財審議委員長）平成18年～	
副会長	清水 香洋（日高市教育委員会教育次長）平成4～6年度	
	宮澤 整司（日高市教育委員会教育次長）平成7～9年度	
	栗原 功（日高市教育委員会教育次長）平成10～12年度	
	中村 忠夫（日高市教育委員会教育次長）平成13年度	
	小林 武（日高市教育委員会教育次長）平成14、15年度	
	吉澤 茂（日高市教育委員会教育次長）平成16～18年度	
	伊藤 輝雄（日高市教育委員会教育次長）平成19年度	
	伊藤 輝雄（日高市教育委員会生涯学習部長）平成20年度	
	大野 博（日高市教育委員会生涯学習部長）平成21、22年度	
	飯田 昇（日高市生涯学習部長兼生涯学習課長）平成23、24年度	
	新井 義雄（日高市教育委員会教育部長）平成25、26年度	
	野村 泰平（日高市教育委員会教育部長）平成27、28年度	
	関口 正明（日高市教育委員会教育部長）平成29年度	
	吉野 靖彦（日高市教育委員会教育部長）平成30年度	
	理事	石田 敏夫（日高市文化財審議委員長）平成4～18年度
		瀧澤 鐵男（日高市文化財審議委員）平成4～16年度
		浅見 厚（日高市文化財審議委員）平成4～16年度
新井 孝重（日高市文化財審議委員）平成5～17年度		
高麗 文康（日高市文化財審議委員）平成17年度～		
野川 康雄（日高市文化財審議委員）平成19年度～平成28年度		
新井 敏子（日高市文化財審議委員）平成29年度～		
監査		武藤 暢夫（日高市文化財審議委員）平成7～12年度
	野口 隆行（日高市文化財審議委員）平成15～平成28年度	
	新井 聡（日高市文化財審議委員）平成17年度～	
	野川 康雄（日高市文化財審議委員）平成28年度～	
事務局		
事務局長	加藤 保夫（日高市教育委員会生涯学習課長）平成5～7年度	
	滝島 久夫（日高市教育委員会生涯学習課長）平成8、9年度	
	砂川 一芳（日高市教育委員会生涯学習課長）平成10年4～6月	
	大野 博（日高市教育委員会生涯学習課長）平成10年7月～12年度	
	谷ヶ崎照雄（日高市教育委員会生涯学習課長）平成13～17年度	

伊藤 輝雄（日高市教育委員会生涯学習課長）平成18年度
 竹林 和雄（日高市教育委員会生涯学習課長）平成19年度
 伊藤 輝雄（日高市教育委員会生涯学習部長兼生涯学習課長）平成20年度
 大野 博（日高市教育委員会生涯学習部長兼生涯学習課長）平成21、22年度
 飯田 昇（日高市教育委員会生涯学習部長兼生涯学習課長）平成23、24年度
 堀口 敬（日高市教育委員会生涯学習課長）平成25年度
 中平 薫（日高市教育委員会生涯学習課副参事）平成26～28年度
 関根 俊介（日高市教育委員会生涯学習課長）平成29年度
 駒井 実（日高市教育委員会生涯学習課長）平成30年度

事務局長補佐 野田 紀之（日高市教育委員会生涯学習課長補佐）平成4年度
 田中 猛（日高市教育委員会生涯学習課長補佐）平成5～8年度
 佐久間 登（日高市教育委員会生涯学習課長補佐）平成9年度
 中平 薫（日高市生涯学習課文化財担当主幹）平成20～25年度
 松本 尚也（日高市教育委員会生涯学習課文化財担当主幹）平成29年度

事務局員 中平 薫（日高市教育委員会生涯学習課文化財担当主査）平成4～19年度
 松本 尚也（日高市教育委員会生涯学習課文化財担当主査）平成20～28年度
 遠藤 聡（日高市教育委員会生涯学習課文化財担当）平成10、11年度
 松本 尚也（日高市教育委員会生涯学習課文化財担当）平成5～13、15～18年度
 早川 修司（日高市教育委員会生涯学習課文化財担当）平成8年度～

調査担当者 中平 薫（日高市教育委員会生涯学習課文化財担当主査）平成5、6年度
 松本 尚也（生涯学習課文化財担当）平成5～7年度

調査作業員 荒木田由利、伊藤美津枝、近江章子、岡本ひさゑ、小川千里、勝山敏江、川田照美、
 倉本信代、小久保華代、小嶋信子、小西加鶴枝、佐々木勝子、佐瀬栄子、杉田久子、関恭子、
 竹田静枝、田中桂子、柘植妙子、藤樫涼子、中山秀子、羽田晋朗、早川幸子、本間博子、
 宮下進、森稔子、森山アイ子、山浦晴枝、横山美智子、渡辺敬子

資料整理、調査報告書刊行 日高市教育委員会組織

教育長 中村一夫 平成29、30年度
 教育部長 関口 正明 平成29年度
 吉野 靖彦 平成30年度
 生涯学習課長 関根 俊介 平成29年度
 駒井 実 平成30年度
 文化財主幹 松本 尚也 平成29、30年度
 文化財主査 早川 修司 平成29、30年度
 文化財担当 中平 薫 平成29、30年度（再任用）
 調査作業員 新井敏子、勝山敏江、関恭子、野本真理子、渡辺敬子、長部孝子

目 次

あいさつ		
例 言		
第1章 調査の経過	1	
1：発掘調査に至る経過	1	
2：発掘調査と資料整理の経過	1	
第2章 遺跡の立地と環境	5	
1：遺跡の立地と環境	5	
2：遺跡の概要	7	
第3章 遺構と遺物	9	
1：遺構外出土遺物	9	
2：旧石器時代の調査	15	
3：縄文時代の遺構	15	
J 1号住居址	15	
J 2号住居址	17	
4：奈良・平安時代の遺構	18	
(1) 住居址	18	
1号住居址	18	
2号住居址	21	
3号住居址	25	
4号住居址	29	
5号住居址	30	
6号住居址	37	
7号住居址	40	
8号住居址	45	
9号住居址	49	
10号住居址	54	
11号住居址	57	
12号住居址	59	
13号住居址	66	
14号住居址	69	
15号住居址	70	
16号住居址	73	
17号住居址	75	
18号住居址	79	
19号住居址	83	
20号住居址	85	
21号住居址	92	
22号住居址	94	
23号住居址	98	
24号住居址	101	
25号住居址	105	
26号住居址	109	
27号住居址	112	
28号住居址	115	
29号住居址	122	
30号住居址	131	
31号住居址	138	
32号住居址	140	
33号住居址	142	
34号住居址	150	
35号住居址	152	
36号住居址	154	
37号住居址	155	
38号住居址	163	
43号住居址	171	
39号住居址	174	
40号住居址	176	
41号住居址	178	
42号住居址	180	
44号住居址	183	
(2) 掘立柱建物跡	187	
1号掘立柱建物跡	187	
2号掘立柱建物跡	188	
3号掘立柱建物跡	188	
4号掘立柱建物跡	188	
5号掘立柱建物跡	195	
6号掘立柱建物跡	195	
(3) 井戸址	195	
1号井戸址	195	
2号井戸址	195	
3号井戸址	198	
4号井戸址	199	
5号井戸址	199	
6号井戸址	201	
7号井戸址	201	
8号井戸址	206	
9号井戸址	206	
10号井戸址	209	
11号井戸址	209	
12号井戸址	212	
13号井戸址	212	
14号井戸址	219	
(4) 道路遺構	221	
道路遺構	221	
(5) 水路	237	
1号水路	237	
2号水路	245	
(6) 溝	304	
1～28号溝	304	
(7) 竪穴状遺構	341	
1号竪穴状遺構	341	
(8) 集石土壙	342	
1～10号集石土壙	342	
(9) 土壙	349	
1～22号土壙	349	
23～35号土壙	351	
36～44号土壙	359	
45～51号土壙	360	
(10) ピット	362	
ピット1～27	362	
ピット28～33	365	
ピット34～37	366	
第4章 まとめ	367	
1：須恵器の年代	367	
2：集落の変遷	376	
3：水路遺構の一考	379	
4：墨書土器について	381	
5：郡家に関連する遺物	385	
6：漆紙について	385	
7：軒丸瓦について	386	

挿 図 目 次

1. 遺跡周辺地形図……………	3	38. 9号住居址北カマド 東カマド……………	51
2. 調査区……………	4	39. 9号住居址出土遺物……………	52
3. 遺跡周辺図……………	6	40. 10号住居址……………	54
4. 拾石遺跡全測図……………	8	41. 10号住居址カマド……………	55
5. 遺構外出土遺物(1)……………	10	42. 10号住居址出土遺物……………	56
6. 遺構外出土遺物(2)……………	10	43. 11号住居址……………	57
7. 遺構外出土遺物(3)……………	11	44. 11号住居址カマド 出土遺物……………	58
8. 旧石器時代調査グリット図、旧石器時代遺物……………	14	45. 12号住居址……………	60
9. J1号住居址 出土遺物……………	16	46. 12号住居址カマド1～3……………	61
10. J2号住居址 出土遺物……………	17	47. 12号住居址出土遺物(1)……………	62
11. 1号住居址 カマド……………	19	48. 12号住居址出土遺物(2)……………	64
12. 1号住居址出土遺物……………	20	49. 12号住居址出土遺物(3)……………	65
13. 2号住居址……………	22	50. 13号住居址……………	67
14. 2号住居址北カマド 東カマド……………	23	51. 13号住居址カマド 出土遺物……………	68
15. 2号住居址出土遺物(1)……………	24	52. 14号住居址 カマド 出土遺物……………	69
16. 2号住居址出土遺物(2)……………	25	53. 15号住居址……………	71
17. 3号住居址 カマド……………	26	54. 15号住居址出土遺物……………	72
18. 3号住居址出土遺物……………	27	55. 16号住居址……………	74
19. 4号住居址……………	28	56. 16号住居址カマド……………	75
20. 4号住居址カマド……………	29	57. 16号住居址出土遺物……………	76
21. 4号住居址出土遺物……………	30	58. 17号住居址……………	77
22. 5号住居址……………	31	59. 17号住居址カマド……………	78
23. 5号住居址カマド……………	32	60. 17号住居址出土遺物……………	79
24. 5号住居址出土遺物(1)……………	33	61. 18号住居址……………	80
25. 5号住居址出土遺物(2)……………	34	62. 18号住居址カマド……………	81
26. 5号住居址出土遺物(3)……………	35	63. 18号住居址出土遺物……………	82
27. 6号住居址 貼床下……………	38	64. 19号住居址……………	84
28. 6号住居址カマド……………	39	65. 19号住居址カマド……………	85
29. 6号住居址出土遺物……………	40	66. 19号住居址出土遺物……………	86
30. 7号住居址(1)……………	41	67. 20号住居址……………	87
31. 7号住居址(2)……………	42	68. 20号住居址新カマド 旧カマド……………	88
32. 7号住居址カマド……………	43	69. 20号住居址出土遺物(1)……………	89
33. 7号住居址出土遺物……………	44	70. 20号住居址出土遺物(2)……………	90
34. 8号住居址……………	46	71. 21号住居址……………	92
35. 8号住居址北カマド 東カマド……………	47	72. 21号住居址カマド 出土遺物……………	93
36. 8号住居址出土遺物……………	48	73. 22号住居址……………	95
37. 9号住居址……………	50	74. 22号住居址新カマド 旧カマド……………	96

75. 22号住居址カマド	97	115. 33号住居址出土遺物(2)	148
76. 23号住居址	99	116. 34号住居址	149
77. 23号住居址北カマド 東カマド	100	117. 34号住居址カマド 出土遺物	150
78. 23号住居址出土遺物	101	118. 35号住居址	151
79. 24号住居址 貼床下	102	119. 35号住居址北カマド 東カマド	152
80. 24号住居址北カマド 東カマド	103	120. 35号住居址出土遺物	153
81. 24号住居址出土遺物	104	121. 36号住居址	154
82. 25号住居址	105	122. 36号住居址東カマド 北カマド	155
83. 25号住居址カマド	106	123. 37号住居址	156
84. 25号住居址出土遺物(1)	107	124. 37号住居址カマド1	157
85. 25号住居址出土遺物(2)	108	125. 37号住居址カマド2 カマド3	158
86. 26号住居址	109	126. 37号住居址出土遺物(1)	159
87. 26号住居址カマド	110	127. 37号住居址出土遺物(2)	160
88. 26号住居址出土遺物	111	128. 37号住居址出土遺物(3)	162
89. 27号住居址	113	129. 38、43号住居址	164
90. 27号住居址カマド 出土遺物	114	130. 38号住居址貼床下	165
91. 28号住居址	116	131. 38号住居址カマド	166
92. 28号住居址貼床下	117	132. 38号住居址出土遺物(1)	167
93. 28号住居址カマド	118	133. 38号住居址出土遺物(2)	169
94. 28号住居址出土遺物(1)	119	134. 43号住居址出土遺物	172
95. 28号住居址出土遺物(2)	120	135. 39号住居址	173
96. 29号住居址	123	136. 39号住居址東カマド 北カマド	174
97. 29号住居址出土遺物遺構間接合図 住居址変遷図	124	137. 39号住居址出土遺物	175
98. 29号住居址カマド1	125	138. 40号住居址 カマド 出土遺物	177
99. 29号住居址カマド2 カマド3	126	139. 41号住居址 カマド	179
100. 29号住居址出土遺物(1)	127	140. 41号住居址出土遺物	180
101. 29号住居址出土遺物(2)	128	141. 42号住居址	181
102. 29号住居址出土遺物(3)	130	142. 42号住居址カマド 出土遺物	182
103. 30号住居址	132	143. 44号住居址	184
104. 30号住居址北カマド 東カマド	133	144. 44号住居址カマド	185
105. 30号住居址出土遺物(1)	134	145. 44号住居址出土遺物	186
106. 30号住居址出土遺物(2)	135	146. 1号掘立柱建物跡 出土遺物	189
107. 31号住居址	137	147. 2号掘立柱建物跡	190
108. 31号住居址カマド	138	148. 3号掘立柱建物跡	191
109. 31号住居址出土遺物	139	149. 4号掘立柱建物跡	192
110. 32号住居址カマド 出土遺物	141	150. 5号掘立柱建物跡	193
111. 33号住居址	143	151. 6号掘立柱建物跡	194
112. 33号住居址変遷図 カマド1	144	152. 1号井戸址 出土遺物 2号井戸址 出土遺物	196
113. 33号住居址カマド2 カマド3	145	153. 3号井戸址 出土遺物	197
114. 33号住居址出土遺物(1)	146	154. 4号井戸址 出土遺物	198

155. 5号井戸址 出土遺物	200	195. 2号水路 (3)	248
156. 6号井戸址 出土遺物	201	196. 2号水路 (4)	249
157. 7号井戸址	202	197. 2号水路 (5)	250
158. 7号井戸址出土遺物 (1)	203	198. 2号水路 (6)	251
159. 7号井戸址出土遺物 (2)	204	199. 2号水路 (7)	252
160. 8号井戸址 出土遺物	205	200. 2号水路遺物接合図	253
161. 9号井戸址	206	201. 2号水路出土遺物 (1)	255
162. 9号井戸址出土遺物	207	202. 2号水路出土遺物 (2)	256
163. 10号井戸址	209	203. 2号水路出土遺物 (3)	258
164. 11号井戸址 出土遺物	210	204. 2号水路出土遺物 (4)	260
165. 12号井戸址 出土遺物	211	205. 2号水路出土遺物 (5)	261
166. 13号井戸址	213	206. 2号水路出土遺物 (6)	265
167. 13号井戸址出土遺物 (1)	214	207. 2号水路出土遺物 (7)	267
168. 13号井戸址出土遺物 (2)	215	208. 2号水路出土遺物 (8)	269
169. 13号井戸址出土遺物 (3)	216	209. 2号水路出土遺物 (9)	271
170. 13号井戸址出土遺物 (4)	217	210. 2号水路出土遺物 (10)	273
171. 14号井戸址 出土遺物	220	211. 2号水路出土遺物 (11)	275
172. 道路遺構 (1)	222	212. 2号水路出土遺物 (12)	277
173. 道路遺構 (2)	223	213. 2号水路出土遺物 (13)	279
174. 道路遺構 (3)	224	214. 2号水路出土遺物 (14)	281
175. 道路遺構 (4)	225	215. 2号水路出土遺物 (15)	283
176. 道路遺構 (5)	226	216. 2号水路出土遺物 (16)	285
177. 道路遺構 (6)	227	217. 2号水路出土遺物 (17)	287
178. 道路遺構 (7)	228	218. 2号水路出土遺物 (18)	289
179. 道路遺構 (8)	229	219. 2号水路出土遺物 (19)	291
180. 道路遺構 (9)	230	220. 2号水路出土遺物 (20)	293
181. 道路遺構出土遺物 (1)	232	221. 2号水路出土遺物 (21)	295
182. 道路遺構出土遺物 (2)	233	222. 2号水路出土遺物 (22)	296
183. 水路、溝全測図	234	223. 2号水路出土遺物 (23)	297
184. 1号水路 (1)	235	224. 2号水路出土遺物 (24)	298
185. 1号水路 (2)	236	225. 2号水路出土遺物 (25)	299
186. 1号水路 (3)	237	226. 2号水路出土遺物 (26)	300
187. 1号水路 (4)	238	227. 2号水路出土遺物 (27)	301
188. 1号水路 (5)	239	228. 2号水路出土遺物 (28)	302
189. 1号水路出土遺物 (1)	241	229. 2号水路出土遺物 (29)	303
190. 1号水路出土遺物 (2)	242	230. 1号溝	304
191. 1号水路出土遺物 (3)	243	231. 2～5号溝	305
192. 1号水路出土遺物 (4)	244	232. 4、6号溝 (1)	306
193. 2号水路、28号溝 (1)	246	233. 4、6号溝 (2)	307
194. 2号水路、28号溝 (2)	247	234. 6号溝	308

235. 6～8号溝	309	275. 4～9号土壙 8号土壙出土遺物	353
236. 6、9～11号溝	310	276. 10～13号土壙 12号土壙出土遺物	354
237. 6、9号溝	311	277. 14～21号土壙	355
238. 9号溝	312	278. 22～30号土壙	356
239. 11号溝(1)	313	279. 31～40号土壙	357
240. 11号溝(2)	314	280. 41～49号土壙	358
241. 12号溝	315	281. 50号土壙	359
242. 13号溝	316	282. 51号土壙	360
243. 14号溝	317	283. ピット1～12	363
244. 14、15号溝	318	284. ピット13～25	364
245. 16号溝	319	285. ピット26～32	365
246. 17号溝(1)	320	286. ピット35～37	366
247. 17号溝(2)	321	287. II期土器	368
248. 17、18号溝	322	288. III期土器	369
249. 19～21号溝(1)	323	289. IV期 V期土器	370
250. 19～21号溝(2)	324	290. VI期土器	371
251. 19～21号溝(3)	325	291. VII期土器(1)	372
252. 22～24号溝	326	292. VII期土器(2) VIII期土器(1)	373
253. 25号溝	327	293. VIII期土器(2)	374
254. 26号溝	328	294. IX期 X期土器	375
255. 27号溝(1)	329	295. II～V期の集落	377
256. 27号溝(2)	330	296. VI～IX期の集落	378
257. 28号溝	331	297. X期の集落	379
258. 溝出土遺物(1)	332	298. 水路遺構と用水路	380
259. 溝出土遺物(2)	333	299. 墨書土器(1)	382
260. 溝出土遺物(3)	334	300. 墨書土器(2)	383
261. 溝出土遺物(4)	335	301. 軒平瓦出土遺跡、拾石遺跡、高岡窯跡、常木久保遺跡	387
262. 溝出土遺物(5)	336		
263. 溝出土遺物(6)	337		
264. 竪穴状遺構、集石土壙、土壙、ピット全測図	340		
265. 竪穴状遺構 出土遺物	341		
266. 1～4号集石土壙	343		
267. 5～8号集石土壙	344		
268. 2、3号集石土壙出土遺物	345		
269. 5、6号集石土壙出土遺物	346		
270. 7、8号集石土壙出土遺物	347		
271. 9、10号集石土壙 9号集石土壙出土遺物	348		
272. 1号土壙 出土遺物(1)	350		
273. 1号土壙出土遺物(2)	351		
274. 2号土壙 出土遺物 3号土壙 出土遺物	352		

遺物觀察表目次

1 表	遺構外出土遺物觀察表	9	40 表	15 号住居址出土遺物觀察表	73
2 表	遺構外出土遺物觀察表	13	41 表	16 号住居址出土遺物觀察表	73
3 表	遺構外出土遺物觀察表	14	42 表	16 号住居址出土遺物觀察表	75
4 表	遺構外出土遺物觀察表	15	43 表	17 号住居址出土遺物觀察表	78
5 表	旧石器時代石器觀察表	15	44 表	17 号住居址出土遺物觀察表	79
6 表	J1 号住居址出土遺物觀察表	15	45 表	18 号住居址出土遺物觀察表	81
7 表	J1 号住居址出土遺物觀察表	16	46 表	18 号住居址出土遺物觀察表	83
8 表	J2 号住居址出土遺物觀察表	17	47 表	19 号住居址出土遺物觀察表	83
9 表	J2 号住居址出土遺物觀察表	18	48 表	19 号住居址出土遺物觀察表	84
10 表	1 号住居址出土遺物觀察表	18	49 表	20 号住居址出土遺物觀察表	85
11 表	1 号住居址出土遺物觀察表	21	50 表	20 号住居址出土遺物觀察表	88
12 表	2 号住居址出土遺物觀察表	21	51 表	20 号住居址出土遺物觀察表	90
13 表	2 号住居址出土遺物觀察表	22	52 表	21 号住居址出土遺物觀察表	94
14 表	2 号住居址出土遺物觀察表	25	53 表	22 号住居址出土遺物觀察表	96
15 表	3 号住居址出土遺物觀察表	28	54 表	22 号住居址出土遺物觀察表	98
16 表	4 号住居址出土遺物觀察表	29	55 表	23 号住居址出土遺物觀察表	99
17 表	4 号住居址出土遺物觀察表	30	56 表	23 号住居址出土遺物觀察表	100
18 表	5 号住居址出土遺物觀察表	32	57 表	24 号住居址出土遺物觀察表	104
19 表	5 号住居址出土遺物觀察表	35	58 表	25 号住居址出土遺物觀察表	106
20 表	5 号住居址出土遺物觀察表	36	59 表	25 号住居址出土遺物觀察表	108
21 表	6 号住居址出土遺物觀察表	37	60 表	26 号住居址出土遺物觀察表	110
22 表	6 号住居址出土遺物觀察表	39	61 表	26 号住居址出土遺物觀察表	112
23 表	7 号住居址出土遺物觀察表	41	62 表	27 号住居址出土遺物觀察表	112
24 表	7 号住居址出土遺物觀察表	43	63 表	27 号住居址出土遺物觀察表	115
25 表	7 号住居址出土遺物觀察表	45	64 表	28 号住居址出土遺物觀察表	115
26 表	8 号住居址出土遺物觀察表	46	65 表	28 号住居址出土遺物觀察表	116
27 表	8 号住居址出土遺物觀察表	49	66 表	28 号住居址出土遺物觀察表	118
28 表	9 号住居址出土遺物觀察表	53	67 表	28 号住居址出土遺物觀察表	121
29 表	10 号住居址出土遺物觀察表	55	68 表	28 号住居址出土遺物觀察表	122
30 表	10 号住居址出土遺物觀察表	56	69 表	29 号住居址出土遺物觀察表	125
31 表	11 号住居址出土遺物觀察表	58	70 表	29 号住居址出土遺物觀察表	126
32 表	12 号住居址出土遺物觀察表	59	71 表	29 号住居址出土遺物觀察表	129
33 表	12 号住居址出土遺物觀察表	63	72 表	29 号住居址出土遺物觀察表	130
34 表	12 号住居址出土遺物觀察表	65	73 表	30 号住居址出土遺物觀察表	132
35 表	12 号住居址出土遺物觀察表	66	74 表	30 号住居址出土遺物觀察表	136
36 表	13 号住居址出土遺物觀察表	66	75 表	31 号住居址出土遺物觀察表	140
37 表	13 号住居址出土遺物觀察表	67	76 表	32 号住居址出土遺物觀察表	140
38 表	14 号住居址出土遺物觀察表	70	77 表	33 号住居址出土遺物觀察表	142
39 表	15 号住居址出土遺物觀察表	70	78 表	33 号住居址出土遺物觀察表	147

79 表	33 号住居址出土遺物觀察表	149	121 表	14 号井戸址出土遺物觀察表	221
80 表	34 号住居址出土遺物觀察表	151	122 表	道路遺構出土遺物觀察表	229
81 表	35 号住居址出土遺物觀察表	153	123 表	道路遺構出土遺物觀察表	231
82 表	36 号住居址出土遺物觀察表	155	124 表	1 号水路出土遺物觀察表	240
83 表	37 号住居址出土遺物觀察表	158	125 表	1 号水路出土遺物觀察表	244
84 表	37 号住居址出土遺物觀察表	161	126 表	2 号水路出土遺物觀察表	254
85 表	37 号住居址出土遺物觀察表	163	127 表	2 号水路出土遺物觀察表	255
86 表	38 号住居址出土遺物觀察表	165	128 表	2 号水路出土遺物觀察表	257
87 表	38 号住居址出土遺物觀察表	168	129 表	2 号水路出土遺物觀察表	259
88 表	38 号住居址出土遺物觀察表	170	130 表	2 号水路出土遺物觀察表	262
89 表	43 号住居址出土遺物觀察表	171	131 表	2 号水路出土遺物觀察表	263
90 表	43 号住居址出土遺物觀察表	172	132 表	2 号水路出土遺物觀察表	266
91 表	39 号住居址出土遺物觀察表	176	133 表	2 号水路出土遺物觀察表	268
92 表	40 号住居址出土遺物觀察表	178	134 表	2 号水路出土遺物觀察表	270
93 表	41 号住居址出土遺物觀察表	178	135 表	2 号水路出土遺物觀察表	272
94 表	41 号住居址出土遺物觀察表	180	136 表	2 号水路出土遺物觀察表	274
95 表	42 号住居址出土遺物觀察表	181	137 表	2 号水路出土遺物觀察表	276
96 表	42 号住居址出土遺物觀察表	183	138 表	2 号水路出土遺物觀察表	278
97 表	44 号住居址出土遺物觀察表	183	139 表	2 号水路出土遺物觀察表	280
98 表	44 号住居址出土遺物觀察表	184	140 表	2 号水路出土遺物觀察表	282
99 表	44 号住居址出土遺物觀察表	187	141 表	2 号水路出土遺物觀察表	284
100 表	1 号掘立柱建物跡出土遺物觀察表	188	142 表	2 号水路出土遺物觀察表	286
101 表	1 号井戸址出土遺物觀察表	195	143 表	2 号水路出土遺物觀察表	288
102 表	2 号井戸址出土遺物觀察表	195	144 表	2 号水路出土遺物觀察表	290
103 表	3 号井戸址出土遺物觀察表	198	145 表	2 号水路出土遺物觀察表	292
104 表	3 号井戸址出土遺物觀察表	199	146 表	2 号水路出土遺物觀察表	294
105 表	4 号井戸址出土遺物觀察表	199	147 表	2 号水路出土遺物觀察表	300
106 表	5 号井戸址出土遺物觀察表	199	148 表	溝出土遺物觀察表	314
107 表	5 号井戸址出土遺物觀察表	201	149 表	溝出土遺物觀察表	316
108 表	6 号井戸址出土遺物觀察表	201	150 表	溝出土遺物觀察表	318
109 表	7 号井戸址出土遺物觀察表	204	151 表	溝出土遺物觀察表	325
110 表	7 号井戸址出土遺物觀察表	205	152 表	溝出土遺物觀察表	330
111 表	8 号井戸址出土遺物觀察表	206	153 表	溝出土遺物觀察表	337
112 表	9 号井戸址出土遺物觀察表	208	154 表	溝出土遺物觀察表	339
113 表	9 号井戸址出土遺物觀察表	209	155 表	溝出土遺物觀察表	341
114 表	11 号井戸址出土遺物觀察表	210	156 表	竪穴状遺構出土遺物觀察表	341
115 表	11 号井戸址出土遺物觀察表	211	157 表	集石土壙出土遺物觀察表	342
116 表	12 号井戸址出土遺物觀察表	212	158 表	集石土壙出土遺物觀察表	347
117 表	13 号井戸址出土遺物觀察表	212	159 表	集石土壙出土遺物觀察表	349
118 表	13 号井戸址出土遺物觀察表	218	160 表	土壙出土遺物觀察表	361
119 表	13 号井戸址出土遺物觀察表	219	161 表	ピット出土遺物觀察表	366
120 表	14 号井戸址出土遺物觀察表	219			

図版目次

- 図版 1 拾石遺跡空中写真 7、8区空中写真
図版 2 13、16区空中写真
11、12、19、20区空中写真
図版 3 21区空中写真 22区空中写真
図版 4 J1号住居址遺物出土状況
J1号住居址 1号住居址
1号住居址カマド
2号住居址 2、3号住居址
2号住居址北カマド 2号住居址東カマド
図版 5 3号住居址カマド 3号住居址漆紙出土状況
4号住居址 4号住居址カマド 5号住居址
5号住居址カマド 5号住居址遺物出土状況
5号住居址紡錘車出土状況
図版 6 6号住居址 6号住居址カマド
7号住居址遺物出土状況
7号住居址 7号住居址カマド遺物出土状況
7号住居址カマド
8号住居址 8号住居址紡錘車出土状況
図版 7 8号住居址北カマド 8号住居址東カマド
9号住居址 9号住居址北カマド
9号住居址東カマド
10号住居址 10号住居址カマド
11号住居址
図版 8 11号住居址遺物出土状況
11号住居址カマド
12号住居址 12号住居址遺物出土状況
12号住居址カマド1、カマド2
13号住居址
13号住居址カマド遺物出土状況
13号住居址カマド
図版 9 14号住居址 14号住居址カマド
15号住居址 16号住居址
16号住居址カマド 17号住居址
17号住居址新カマド礫出土状況
17号住居址新カマド旧カマド
図版 10 18号住居址 18号住居址カマド
19号住居址 19号住居址カマド
20号住居址 20号住居址遺物出土状況
20号住居址新カマド 20号住居址旧カマド
図版 11 21号住居址 21号住居址カマド
22号住居址 22号住居址東カマド
22号住居址北カマド 23号住居址
23号住居址北カマド 23号住居址東カマド
図版 12 24号住居址 24号住居址北カマド
24号住居址東カマド 25号住居址
25号住居址カマド 26号住居址
26号住居址カマド遺物出土状況
26号住居址カマド
図版 13 27号住居址 27号住居址カマド
28号住居址 28号住居址遺物出土状況
28号住居址カマド 29号住居址
29号住居址石製丸軋出土状況
29号住居址カマド1
図版 14 29号住居址カマド2、カマド3
30号住居址 30号住居址北カマド
30号住居址東カマド 31号住居址
32号住居址カマド
33号住居址 33号住居址遺物出土状況
図版 15 33号住居址カマド1、カマド2
33号住居址カマド3 34号住居址
34号住居址カマド 35号住居址
35号住居址東カマド
35号住居址北カマド 36号住居址
図版 16 36号住居址東カマド
36号住居址北カマド 37号住居址
37号住居址遺物出土状況
37号住居址カマド1
37号住居址カマド2、カマド3
38号住居址、43号住居址
38号住居址カマド
図版 17 39号住居址 39号住居址東カマド
39号住居址北カマド 40号住居址
40号住居址カマド 41号住居址
41号住居址カマド遺物出土状況
41号住居址カマド
図版 18 42号住居址 42号住居址カマド
44号住居址 44号住居址カマド
1号掘立柱建物跡 2号掘立柱建物跡
3号掘立柱建物跡 4号掘立柱建物跡
図版 19 5号掘立柱建物跡 6号掘立柱建物跡
1号井戸址礫出土状況 1号井戸址
2号井戸址 3号井戸址
4号井戸址 5号井戸址

- 図版 20 6号井戸址 7号井戸址
 8号井戸址礫出土状況 8号井戸址
 9号井戸址 11号井戸址
 12号井戸址 13号井戸址礫出土状況
- 図版 21 13号井戸址 14号井戸址
 14区道路遺構（硬化面）
 14区道路遺構（硬化面下）
 11、12、19区道路遺構（硬化面）
 11、12、19区道路遺構（硬化面下）
- 図版 22 11区道路遺構（硬化面下）
 16区道路遺構（硬化面）
 16区道路遺構（硬化面下）
 7区1号水路（西より）
- 図版 23 7区1号水路（東より） 7区1号水路突起部
 7区1号水路遺物出土状況（1）
 7区1号水路遺物出土状況（2）
 15区1号水路 20区1号水路
 7区2号水路
- 図版 24 12、19、20区2号水路（西より）
 15区2号水路（東より）
 13区2号水路（東より）
 20区2号水路遺物出土状況（東より）
 20区2号水路遺物出土状況（1）
 20区2号水路遺物出土状況（2）
- 図版 25 1号溝 2号溝
 11区3～6号溝 6区6、9号溝
 6区11号溝（中央） 6区12号溝（中央手前）
 20区6～8号溝、1号水路 14号溝
- 図版 26 13号溝 15号溝 16号溝
 9区17号溝 21区17号溝
 16区19号溝、20号溝 16区22～24号溝
- 図版 27 16区25号溝 26号溝 7区27号溝
 7区28号溝 1号集石土壙
 1号集石土壙半掘 1号集石土壙完掘
- 図版 28 2号集石土壙 3号集石土壙
 2、3号集石土壙完掘 4号集石土壙
 4号集石土壙完掘 5号集石土壙
 5号集石土壙完掘 6号集石土壙
 7、8号集石土壙 7、8号集石土壙完掘
 9、10号集石土壙 9、10号集石土壙完掘
 3号土壙遺物出土状況 3号土壙
- 図版 29 7号土壙 8号土壙遺物出土状況（1）
 8号土壙遺物出土状況（2）
 8号土壙 50号土壙
 51号土壙 発掘調査風景
- 図版 30 遺構外出土遺物 J1号住居址出土遺物
 J2号住居址出土遺物
- 図版 31 1号住居址出土遺物 2号住居址出土遺物
 3号住居址出土遺物 5号住居址出土遺物
 6号住居址出土遺物
- 図版 32 7号住居址出土遺物 8号住居址出土遺物
- 図版 33 9号住居址出土遺物 10号住居址出土遺物
 11号住居址出土遺物
 12号住居址出土遺物（1）
- 図版 34 12号住居址出土遺物（2）
 13号住居址出土遺物 15号住居址出土遺物
 16号住居址出土遺物
- 図版 35 17号住居址出土遺物 18号住居址出土遺物
 19号住居址出土遺物 20号住居址出土遺物
- 図版 36 21号住居址出土遺物 22号住居址出土遺物
 23号住居址出土遺物 24号住居址出土遺物
- 図版 37 25号住居址出土遺物 26号住居址出土遺物
- 図版 38 27号住居址出土遺物 28号住居址出土遺物
- 図版 39 29号住居址出土遺物（1）
- 図版 40 29号住居址出土遺物（2）
 30号住居址出土遺物
- 図版 41 31号住居址出土遺物 32号住居址出土遺物
 33号住居址出土遺物 34号住居址出土遺物
 37号住居址出土遺物（1）
- 図版 42 37号住居址出土遺物（2）
 38号住居址出土遺物 39号住居址出土遺物
 40号住居址出土遺物
- 図版 43 41号住居址出土遺物 42号住居址出土遺物
 43号住居址出土遺物 44号住居址出土遺物
 5号井戸址出土遺物
- 図版 44 7号井戸址出土遺物 9号井戸址出土遺物
 11号井戸址出土遺物 12号井戸址出土遺物
 13号井戸址出土遺物
- 図版 45 14号井戸址出土遺物 道路遺構出土遺物
 1号水路出土遺物 2号水路出土遺物（1）
- 図版 46 2号水路出土遺物（2）
- 図版 47 2号水路出土遺物（3）
- 図版 48 2号水路出土遺物（4）
- 図版 49 2号水路出土遺物（5）
- 図版 50 2号水路出土遺物（6）
- 図版 51 2号水路出土遺物（7）
- 図版 52 2号水路出土遺物（8）
- 図版 53 2号水路出土遺物（9）
 9号溝出土遺物 1号土壙出土遺物
- 図版 54 3号土壙出土遺物 8号土壙出土遺物
 墨書（1）
- 図版 55 墨書（2）
- 図版 56 墨書（3）

第1章 調査の経過

1：発掘調査に至る経過

武蔵高萩駅の北側は市街化調整区域で、畑と水田が広がる農村風景が見られる地域だった。しかし、武蔵高萩駅周辺の環境も大きく変化し、大規模な宅地開発や無秩序なミニ開発による宅地開発が進みつつあった。そこで武蔵高萩駅の南北一体的なまちづくりを行い駅周辺の活性化を図りつつ、秩序ある街づくりを行うために駅前広場及び都市計画道路等公共施設の整備改善を行い、宅地の利用増進を図り、商業機能の向上と潤いのある住環境を形成して、健全な市街地の発展を目指すことを目的に土地区画整理事業を実施することとなった。

JR川越線武蔵高萩駅に隣接し、JR川越線の北側に位置する南北約700m、東西約600mにわたる41.4haの区域が平成4年11月27日に都市計画決定し、翌年の平成5年4月1日に事業決定された。事業名は川越都市計画事業武蔵高萩駅北土地区画整理事業である。

都市計画決定される前年度の平成3年度に事業地内に土地区画整理推進事務所が開設され、社会教育課と埋蔵文化財の取扱いについての協議を行った。

武蔵高萩駅北土地区画整理事業予定地内には、拾石遺跡、王神遺跡、堀ノ内遺跡が所在することを確認した。道路などの公共用地及び造成箇所については、記録保存のための発掘調査を実施し、埋蔵文化財の隣接地については試掘調査を行い埋蔵文化財の所在を認めた場合は発掘調査を実施することとした。

記録保存のための発掘調査を土地区画整理事業に先行して、平成5年度から日高市遺跡調査会が日高市より委託を受けて実施することとなった。

2：発掘調査と資料整理の経過

拾石遺跡の発掘調査は、平成5年度に6,257㎡、平成6年度は21,370㎡、平成7年度は13,680㎡の計41,307㎡の調査を行い、遺跡の主だった範囲が終了した。その後は、平成13年度に768㎡の調査を行い、水路遺構を検出した。平成17年度は276㎡の調査を行い、水路遺構1条、溝1条を確認した。平成25年度は1,042㎡の調査を行い、奈良・平安時代の住居址4軒、掘立柱建物跡13棟、井戸址3基、道路遺構1条、溝1条、竪穴状遺構1基、土壇5基を検出している。

今回は平成5～7年度に実施した縄文時代早期の住居址2軒、集石土壇10基、奈良・平安時代の住居址44軒、掘立柱建物跡6棟、井戸址14基、道路遺構1条、水路2条、溝28条、竪穴状遺構1基、集石土壇10基、土壇51基、ピット37本の調査報告書である。

室内での整理作業は平成5年度の調査から年度内に遺物の洗浄、注記、接合と遺構図面の修正を行った。報告書作成については、平成23年度から遺物の実測、拓本、トレース、遺構図面のトレースなどを実施し、平成29、30年度で図版作成、遺物写真撮影、原稿の執筆などを行った。

年度	調査区	所在地	面積(㎡)	概要
5	1区	日高市高萩2340-1	1,416	遺構なし
5	2区	日高市高萩2341-1 他1筆	1,012	奈良・平安時代住居址3軒

年度	調査区	所在地	面積(㎡)	概要
5	3区	日高市高萩2356 他5筆	1,458	奈良・平安時代住居址3軒、竪穴状遺構1基、集石土壙1基、土壙3基、ピット34本
5	4区	日高市高萩2373 他6筆	2,371	遺構なし
6	5区	日高市高萩2375 他8筆	8,011	土壙37基
6	6区	日高市高萩2362 他5筆	5,166	溝9条、土壙1基
6	7区	日高市高萩1348-1 他3筆	2,510	縄文時代早期住居址2軒、奈良・平安時代住居址1軒、井戸址1基、水路2条、溝1条、土壙6基
6	8区	日高市高萩2345 他1筆	1,432	奈良・平安時代住居址6軒、井戸址3基
6	9区	日高市高萩2343	735	奈良・平安時代住居址1軒、井戸址1基、溝1条
6	10区	日高市高萩2341-2	337	遺構なし
6	11区	日高市高萩2357-1 他2筆	2,243	奈良・平安時代住居址3軒、掘立柱建物跡1棟、井戸址3基、道路遺構1条、溝3条、集石土壙5基
6	12区	日高市高萩2358-1 他2筆	936	奈良・平安時代住居址3軒、井戸址3基、道路遺構1条、水路1条、集石土壙4基、土壙1基
7	13区	日高市高萩2347	1,234	水路2条、溝2条
7	14区	日高市高萩2346-2 他	282	道路遺構1条、溝1条
7	15区	日高市高萩2348-2	750	水路2条
7	16区	日高市高萩2352 他	2,077	奈良・平安時代住居址3軒、井戸址3基、道路遺構1条、溝7条
7	17区	日高市高萩2341-4 他	405	奈良・平安時代住居址1軒、溝4条
7	18区	日高市高萩2375-2	584	遺構なし
7	19区	日高市高萩2356 他2筆	1,991	井戸址1基、道路遺構1条、水路1条
7	20区	日高市高萩2359-1	850	水路2条、溝3条
7	21区	日高市高萩2340-1 他2筆	3,429	奈良・平安時代住居址12軒、掘立柱建物跡5棟、井戸址1基、溝2条、土壙2基
7	22区	日高市高萩2339-1	2,078	奈良・平安時代住居址8軒、溝2条、土壙1基



第2図 調査区 (1/2,000)

年度	調査区	所在地	面積(m ²)	概要
7	21区	日高市高萩2340-1 他2筆	3,429	奈良・平安時代住居址12軒、掘立柱建物跡5棟、井戸址1基、溝2条、土塋2基
7	22区	日高市高萩2339-1	2,078	奈良・平安時代住居址8軒、溝2条、土塋1基

第2章 遺跡の立地と環境

1：遺跡の立地と環境

日高市は埼玉県西南部の山地と丘陵地の境界に位置し、首都圏50kmにあたる。市の西部には外秩父山地の東縁が広がり、この山地の縁辺部には八王子構造線が南北に走っている。外秩父山地から二つの丘陵が東へ舌状に張り出し、北が毛呂山丘陵で南が高麗丘陵である。市の南北はこの二つの丘陵で画されている。

奥武蔵正丸峠付近の山々を源とする高麗川は、市の西部から北辺を小さな蛇行を繰り返しながら流れ、扇状に沖積地を形成している。高麗川から東方の高麗川右岸を坂戸台地と呼び、市の平坦部はこの坂戸台地に位置している。この台地に高麗本郷付近を扇頂とする古い扇状地性の台地で、高麗丘陵を源とする小畔川をはじめ多くの小河川により小支谷が形成されている。

当市西部の高麗地区には、高麗川が大きく蛇行して形成された巾着田をはじめ、山地は奥武蔵自然公園に指定されており、自然が多く残っている地域である。台地に位置する高麗川地区は高麗川駅西口土地区画整理事業の終了と共に都市化が進んでいる。同じ台地上に位置する高萩地区も武蔵高萩駅北などの土地区画整理事業や首都圏中央連絡自動車道の開通により景観が大きく様変わりした。

当市の遺跡の立地を考えると、高麗川や高麗丘陵を源とする幾筋もの小畔川、そして南小畔川に沿って遺跡が連なる。各小畔川流域の遺跡の密度は濃く、縄文時代の遺跡も数多く所在する。概ね遺跡は河川近くの台地に立地し、水の確保が容易な場所に築いている。市内には沖積地の発達した地域が少ないためか弥生時代の遺跡は確認されていない。古墳時代の遺跡は和田遺跡、明婦遺跡の僅か2遺跡だけで、まったくの空白期といえよう。このことは、当市の歴史の大きな特徴である。

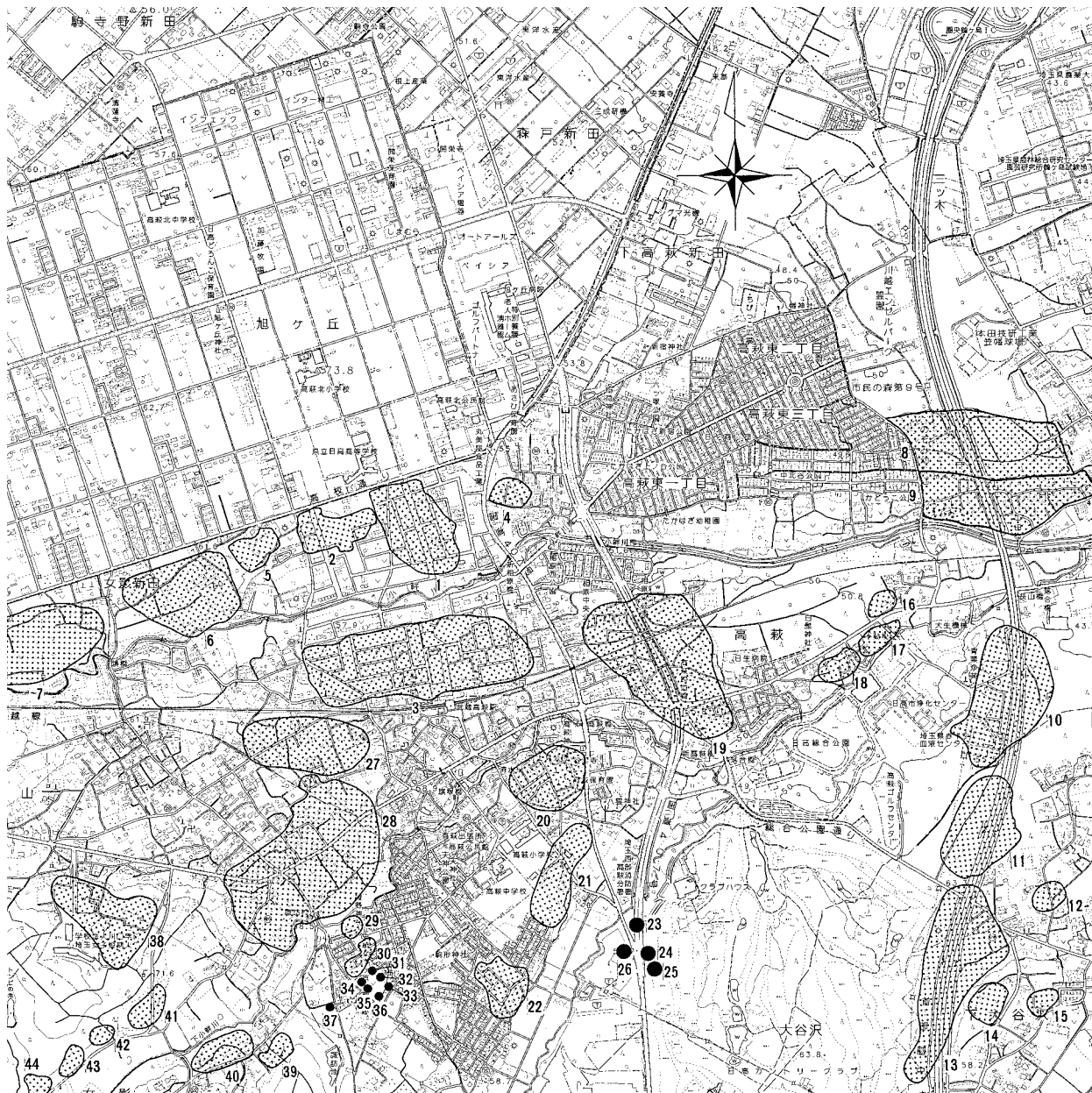
霊亀二年（716）に日高、飯能両市にまたがる地域に高麗郡が設置されると集落が爆発的に増え、平安時代にかけて興隆期を迎える。遺跡が築かれたのは、市内を東西に流れる幾筋もの小河川に形成された沖積地沿いである。建郡以降の集落はこの沖積地を利用し、生活を営んでいた事が遺跡分布からも理解できる。

高萩地区には多くの遺跡が所在するが小畔川、下小畔川、南小畔川、第二小畔川などの流域には遺跡が連綿と築かれている。

小畔川流域の拾石遺跡（1）周辺の遺跡を概観すると、王神遺跡（2）、中王神遺跡（5）、新宿遺跡（4）、道光林遺跡（6）、堀ノ内遺跡（3）、大黒ヶ谷戸遺跡（7）、光山遺跡（8）、上猿ヶ谷戸遺跡（9）が所在する。王神遺跡と堀ノ内遺跡は高萩駅北土地区画整理事業地内に含まれ、調査を行っている遺跡である。

（公財）埼玉県埋蔵文化財調査事業団が首都圏中央連絡自動車道の建設に伴って、昭和64年度と平成5年度にかけて調査を行った光山遺跡（川越市）と上猿ヶ谷戸遺跡（日高市）からは、7世紀中葉から8世紀後半にかけての住居址55軒、掘立柱建物跡40棟、井戸址3基などが確認されている。注目すべきは、高麗建郡以前の住居址が多数検出されていることである。また、一般集落からの出土が稀な「轡」や「鍵」が報告されている。高麗郡の成立や郡域を考える上で重要な遺跡である。

新宿遺跡では、8世紀中葉から10世紀前半の住居址11軒と井戸址2基の調査を行っている。1次調査で「山本」と書かれた墨書土器が出土している。貞観14年（872）の『貞観寺田地目録帳』（仁和寺文書）の中に右大臣藤原良相が貞観9年に貞観寺に施入した武蔵国高麗郡山本荘という荘園との関連資料として注目される。平成25年度の調査で、奈良・平安時代の住居址14軒、掘立柱建物跡5棟、井戸址1基を検出したが、



第3図 遺跡周辺図 (1/20,000)

遺跡名	時代	遺跡名	時代	遺跡名	時代
1 拾石遺跡	旧石器時代、縄文時代早期、奈良・平安時代	2 王神遺跡	奈良・平安時代	3 堀ノ内遺跡	旧石器時代、縄文時代早期、奈良・平安時代、中世、近世
4 新宿遺跡	奈良・平安時代	5 中王神遺跡	奈良・平安時代	6 道光林遺跡	奈良・平安時代
7 大黒ヶ谷戸遺跡	縄文時代、平安時代	8 光山遺跡	奈良・平安時代、近世	9 上猿ヶ谷戸遺跡	奈良・平安時代
10 長山甲遺跡	縄文時代中期	11 西ノ久保遺跡	縄文時代後期	12 松葉遺跡	縄文時代早期、中世
13 谷津遺跡	奈良・平安時代	14 谷津南遺跡	縄文時代中期、奈良・平安時代	15 南遺跡	平安時代
16 西不動遺跡	縄文時代中期、平安時代	17 宮ノ後遺跡	縄文時代、平安時代、中世	18 宮ノ後遺跡	縄文時代中期
19 宿東遺跡	縄文時代中・後期、平安時代	20 寺脇遺跡	縄文時代中・後期	21 谷津前遺跡	縄文時代中期、平安時代
22 北中沢遺跡	縄文時代中期、平安時代	23 野口山遺跡	塚	24 野口山遺跡	塚
25 向六反田遺跡	塚	26 南中沢甲遺跡	塚	27 古道遺跡	平安時代
28 若宮遺跡	縄文時代中期、奈良・平安時代、寺院跡	29 女影ヶ原古戦場		30 諏訪山遺跡	縄文時代草期、奈良・平安時代
31 諏訪山遺跡	塚	32 諏訪山遺跡	塚	33 諏訪山遺跡	塚
34 諏訪山遺跡	塚	35 諏訪山遺跡	塚	36 諏訪山遺跡	塚
37 瀬戸原遺跡	塚	38 小河原遺跡	奈良・平安時代	39 金子ヶ谷戸遺跡	平安時代
40 昔田遺跡	縄文時代	41 上舗遺跡	奈良・平安時代	42 上舗遺跡	平安時代
43 姥ヶ原遺跡	平安時代	44 姥ヶ原遺跡	平安時代		

盛り土保存対応となり詳細が不明である。しかし、掘立柱建物跡の存在を確認した意義は大きい。

王神遺跡では8世紀中葉から9世紀前半の住居址8軒、井戸址3基、道路遺構1条、水路1条、東西5間、南北4間で中柱を持つ建物跡1棟の調査を行った。住居址の覆土からは、鳥形硯の蓋の一部が出土している。関東地方では府中市国府関連遺跡、平塚市十七の域遺跡と出土例が少ない。近隣では長野県塩尻市菖蒲沢窯跡から出土している。鳥形硯の多くは平城京からの出土であることから、本遺跡の性格を考える上で注目すべき遺物である。王神遺跡は平成21、22年度の調査で、東に広がることが確認できた。

拾石遺跡の対岸に位置する堀ノ内遺跡は平成26年度の調査終了時点で、8世紀中葉から10世紀前半の住居址148軒、掘立柱建物跡45棟、井戸址98基、溝61条などを検出している。掘立柱建物跡と井戸址、溝については、中世に帰属する遺構も含んだ数である。この遺跡からは、銅製の巡方と皇朝十二銭のひとつである「隆平永宝」や鉄斧、鋤などが出土している。近隣からは飯能市張摩久保遺跡から「隆平永宝」、坂戸市若葉台遺跡から「和同開珎」、川越市弁天西遺跡と狭山市揚榎木遺跡からは「和同開珎」と「富寿神寶」などの銭貨が出土している。

中王神遺跡は王神遺跡の西側に位置する。調査事例は少ないが、住居址3軒、掘立柱建物跡1棟を遺跡の東側で確認している。道光林遺跡からは、建郡間もない8世紀第2四半期の住居址2軒を検出している。大黒ヶ谷戸遺跡では8世紀後半と9世紀後半の住居址が各1軒ずつ確認されている。9世紀後半の住居址からは、「石」、「方」、「成」の墨書と土錘が出土している。

下小畔川と小畔川に挟まれた台地には宿東遺跡（19）、古道遺跡（27）、若宮遺跡（28）が所在する。若宮遺跡は8世紀中葉から10世紀前半の集落である。この遺跡には創建瓦に面違い鋸歯文複弁八葉蓮華文軒丸瓦を用いた女影廃寺が含まれている。「寺」の墨書、「高」の印刻瓦、「丁」の模骨文字瓦が出土している。寺院が所在した場所はまだ特定できていない。

古道遺跡は9世紀中葉から後半の住居址が確認されている。出土例が少ない坏の両側に把手が付いた双耳坏が出土している。

2：遺跡の概要

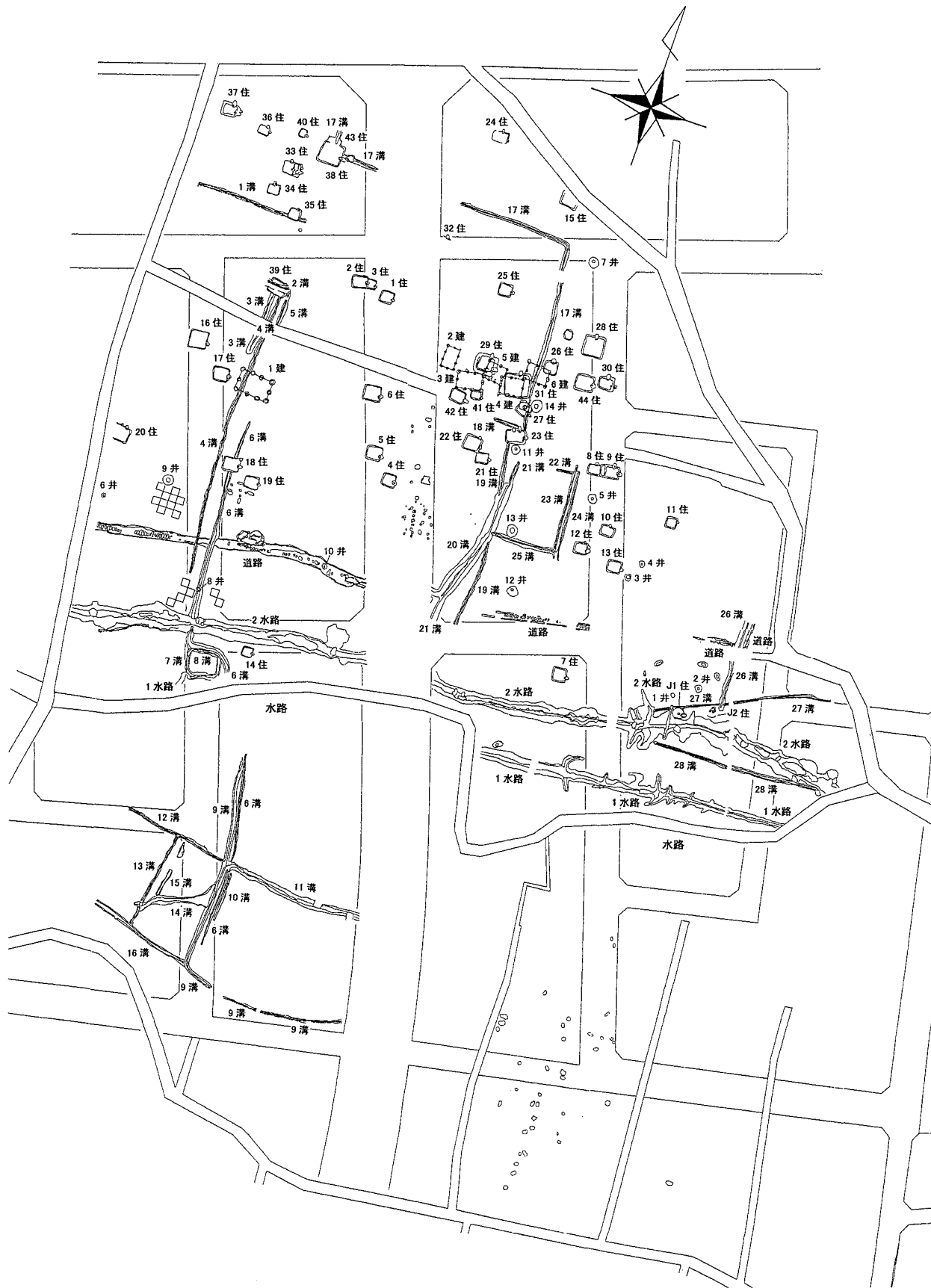
坂戸台地は高麗本郷付近を扇頂とする古い扇状地で、高麗川から東方の高麗川右岸を指す。この台地は、高麗丘陵を源とする小畔川をはじめ多くの小河川により浸食され小支谷が形成されている。拾石遺跡は日高市大字高萩字拾石と字梨の木に所在し、小畔川に南面する緩傾斜地に位置する。本遺跡の標高は55mで、南に流れる小畔川との比高差は5mをはかる。

本遺跡は平成5年度から7年度の3年間の調査で、縄文時代早期の住居址2軒、集石土壇10基、奈良・平安時代の住居址44軒、掘立柱建物跡6棟、井戸址14基、道路遺構1条、水路2条、溝28条、竪穴状遺構1基、土壇51基、ピット37本を検出した。水路の発見は、高麗郡を拓いた人々の農業土木技術を知る貴重な資料である。

出土した遺物は、耳皿や石製丸軛、石製巡方、漆紙などの特殊な遺物や「家長」、「南家」、「貞」、「坏」、「田」、「乃」、「万」、「厨」などの多種多量の墨書土器が水路から出土している。

丸軛、巡方などの腰帯具は、役人の存在を明らかにする資料である。「厨」の墨書文字は郡家に関連する施設名を記したもので、郡家の所在地を考察する上で貴重な資料である。

平成5年度調査の1-2区は、秋の長雨により水没し、長期間水が引かない状況のため満足な調査が出来ず、遺跡を貫く道路遺構、水路の検出が出来なかった。



第4図 拾石遺跡全測図 (1/1,500)

第3章 遺構と遺物

1：遺構外出土遺物

縄文時代早期後半土器（第5図1～23 図版33-1、20、21、23）

1、4の器外面には細い竹管で文様区画を行い、器内面は縦方向に条痕文を施している。

2、3、6、7、10、11、13～15は、器内外面の斜め方向に条痕文を施している。5、12の器内外面には条痕文を横、斜め方向に施している。9、16、19の器内外面には縦、斜め方向に条痕文を施している。8の器内外面は、条痕文を縦方向に施している。17は無文の土器である。1～17、19は胎土に繊維を含んでいる。

20、21は口縁部の破片で、21は波状を呈する。21の口唇部には刻みが施されている。20の器外面には、半裁竹管の刺突が口縁部に平行して2条施されている。21は口縁部沿いと器外面の縦方向に竹管の刺突が見られる。

縄文時代中期中葉土器（第5図24、25）

24は沈線で文様区画を行い、区画内に沈線を充填している。25は口縁部に平行して沈線を横走させ、沈線間に連続爪形文を配している。

縄文時代中期後半土器（第5図26～32）

26～30は地文に縄文を施している。26は口縁部の破片で、口縁部に沿って沈線が横走している。27～30は2条一対の沈線を垂下させ、沈線間の地文を磨消している。

31、32は地文に条線を施している。32は波状の沈線を垂下させている。

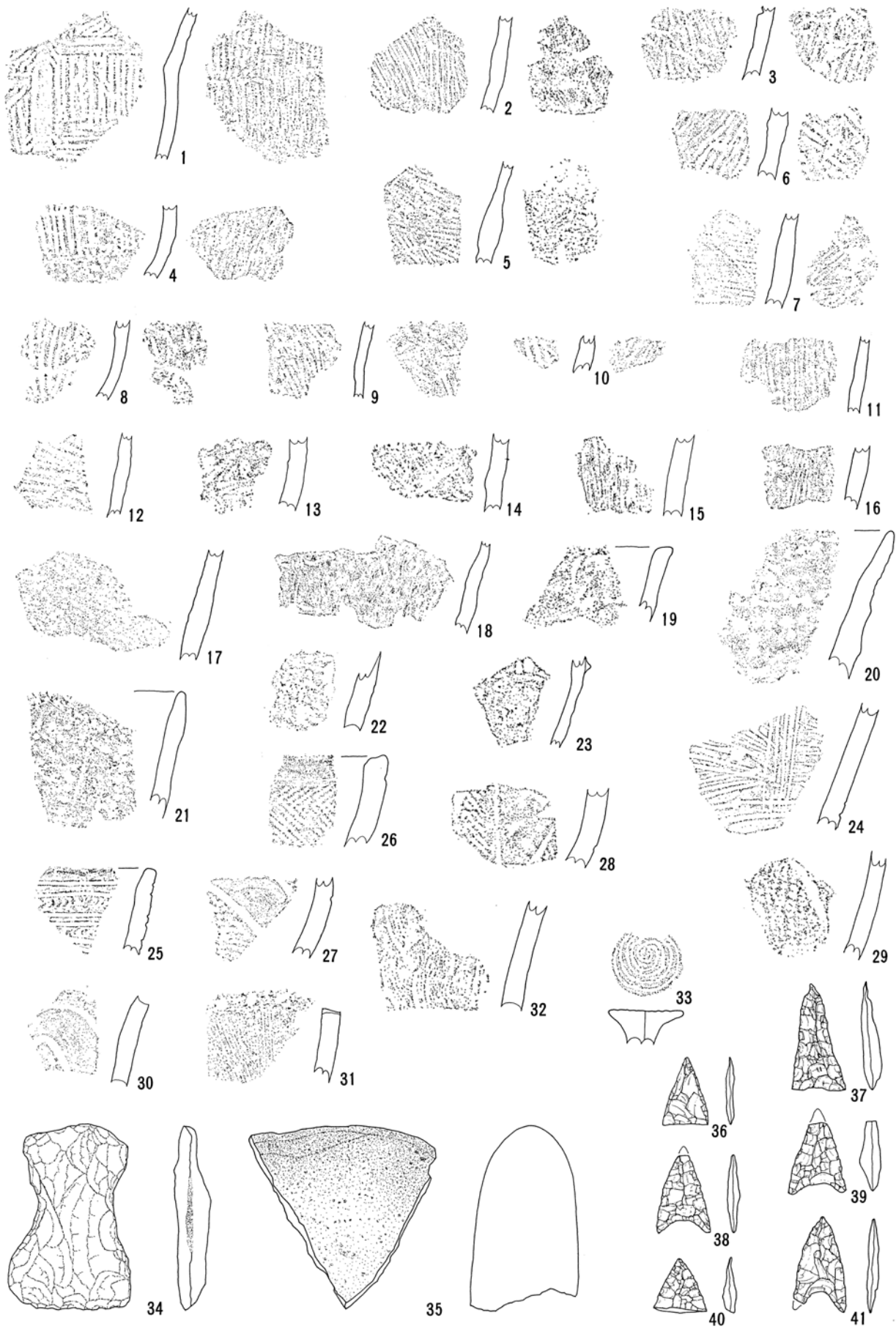
土製品（第5図33）

33は土製耳飾りの破片で、中央部が括れている。表面には沈線で渦巻文が描かれている。

第1表 遺構外出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 < >は既存値

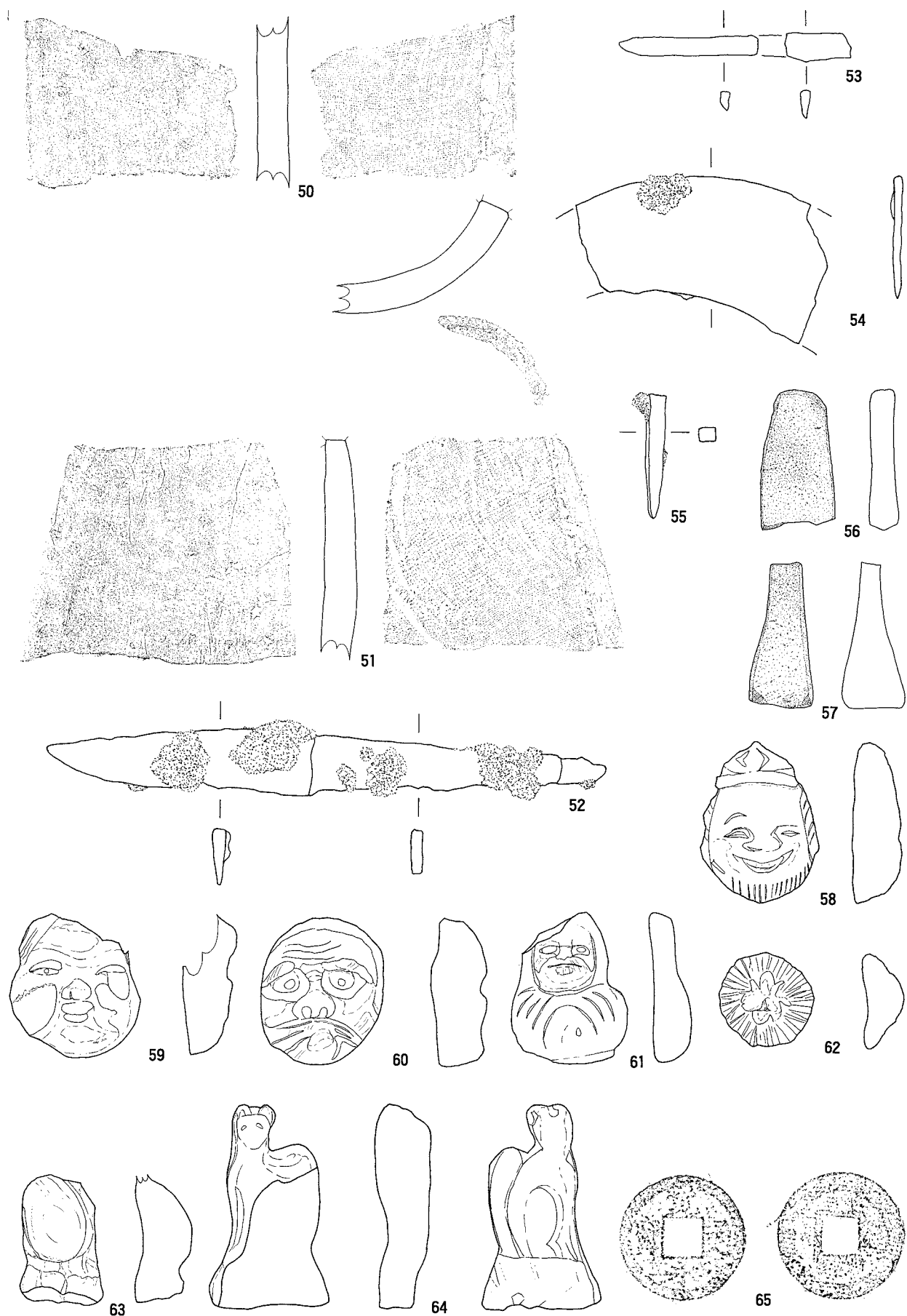
挿図番号	図版番号	種類	長さ	幅	重さ(g)	石質	観察・特徴
34		打製石斧	10.0	6.5	150	砂岩	分銅型を呈する。側面に調整剥離を施し、両側部に抉りを有する。
35		磨石	<10.5>	5.6	<550>	閃緑岩	両面が研磨されている。
36	33-36	石鏃	1.9	1.3	0.2	チャート	三角形を呈する。
37	33-37	石鏃	3.0	1.5	<1.1>	チャート	左脚の一部が欠損する。基部に浅い抉りがある。
38	33-38	石鏃	<2.1>	1.5	<0.4>	黒曜石	先端が欠損する。基部に抉りがある。
39		石鏃	<1.9>	1.6	<1>	黒曜石	先端が欠損する。基部に抉りがある。
40		石鏃	<1.4>	<1.5>	<0.3>	黒曜石	茎部が欠損する。
41		石鏃	2.7	<1.5>	<0.6>	チャート	左脚の一部が欠損する。基部に抉りがある。



第5図 遺構外出土遺物 (1) (1/3) 但し、36~41は、(2/3)



第6図 遺構外出土遺物 (2) (1/3)



第7図 遺構外出土遺物 (3) (1/3) 但し、52、53は (2/3) 58~65は (1/1)

第2表 遺構外出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 ()は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
42		坏	(12.9)	7.7	8.5	3.4	還元焰焼成	底部は回転糸切り後外周部回転篋削り。器内外面にロクロ水挽き整形を施す。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。
43		坏	-	-	-	-	半還元焰焼成	底部の破片で、回転糸切りが施されている。器内外面に墨書が見られるが、文字は不明。
44		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	口縁部の破片。器内外面にロクロ水挽き整形を施す。口縁部器外面に段を有する。頸部には波状文が2条横走る。
45		浅鉢	-	-	-	-	還元焰焼成	短い口縁部が、外に大きく屈曲する。器外面には斜め方向の叩きを施し、その後器内外面にロクロ水挽き整形を行っている。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。
46		平瓦	-	-	-	-	酸化焰焼成	凹面に布目痕、凸面に縄叩きを行っている。端面及び側面、凹面側部に篋削りを施す。
47		平瓦	-	-	-	-	還元焰焼成	凹面に布目痕、凸面に縄叩きを行っている。側面及び凹面側部に篋削りを施す。
48		平瓦	-	-	-	-	半還元焰焼成	凹面に布目痕、凸面に縄叩きを行っている。側面に篋削りを施す。
49		丸瓦	-	-	-	-	還元焰焼成	凹面に布目痕、凸面は縄叩き後に縦方向に篋整形を行い、端面及び凹凸面端部に篋削りを施す。自然釉が付着する。
50		丸瓦	-	-	-	-	還元焰焼成	凹面に布目痕、凸面は縦方向に篋整形を行っている。側面及び凹凸面側部に篋削りを施す。
51		丸瓦	-	-	-	-	還元焰焼成	凹面に布目痕、凸面は縦方向に篋整形を行っている。端面及び側面、凹凸面側部と凹面端部に篋削りを施す。

単位はcm ()は推定値 ()は既存値

挿図番号	図版番号	種類	長さ	幅	厚み	観察・特徴
52	30-52	刀子	15.2	1.7	0.6	刃部は平造りで、切先はカーブを描く。関は両関造りである。茎の長さは8cmで、茎尻は丸みを持つ。完形である。
53		刀子	-	0.5	0.3	刃部の中ほどと茎部が欠損する。刃部は平造りで、最大幅1.2cmをはかる。
54		鎌	(6.8)	3.5	0.2	刃部の中央が残る。
55		釘	(3.4)	0.4	0.5	頭部が欠損する。

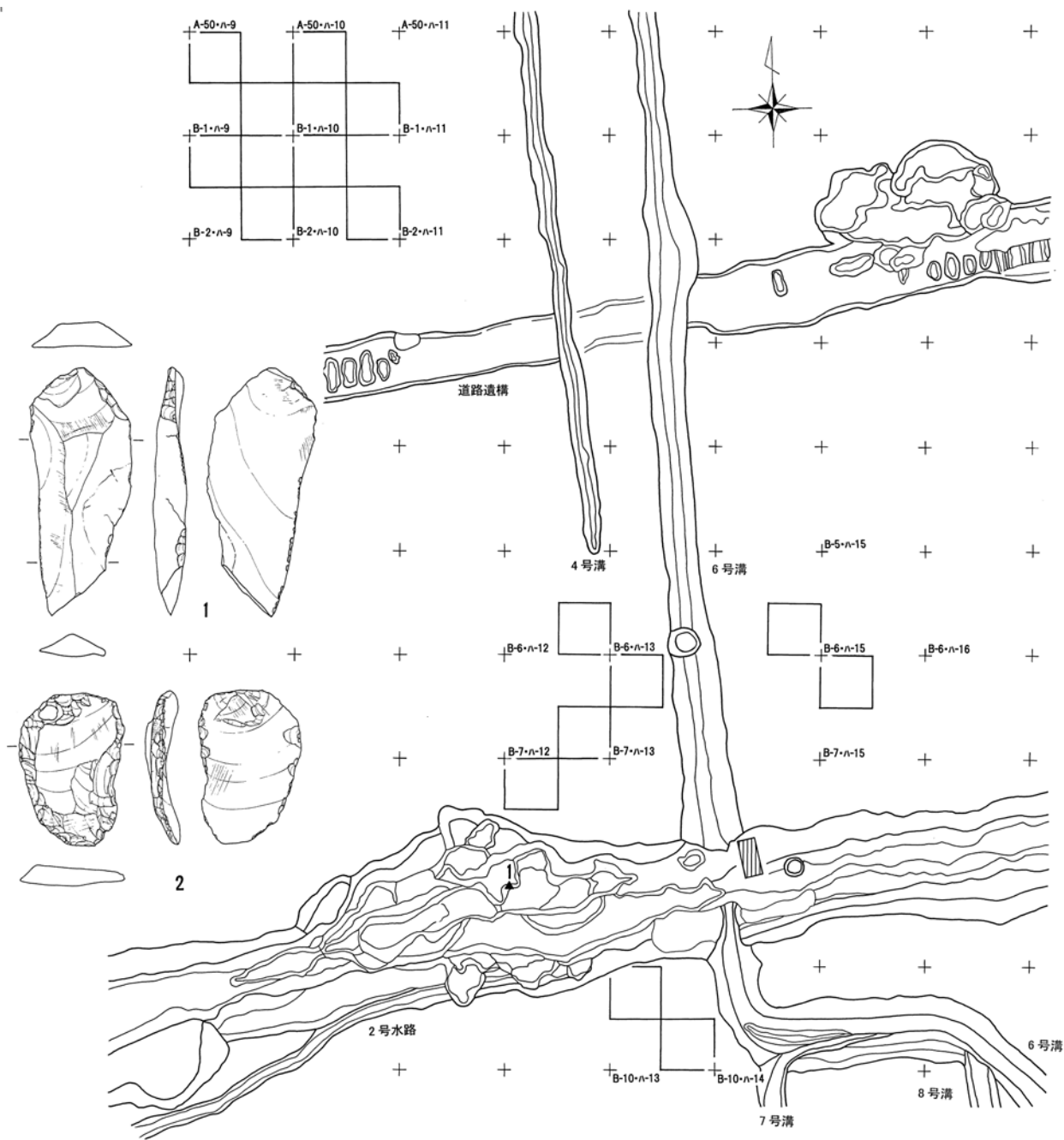
単位はcm ()は推定値 ()は既存値

挿図番号	図版番号	種類	長さ	幅	重さ(g)	石質	観察・特徴
56		砥石	(8.0)	(3.5)	(94)	凝灰岩	両側面を磨っている。
57		砥石	(7.6)	(4.0)	(66)	凝灰岩	両面を磨っている。側面、頭部は、擦って形を整えている。

第3表 遺構外出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 < >は既存値

挿図番号	図版番号	種類	長さ	幅	重さ(g)	観察・特徴
58		泥面子	3.0	2.1	3.2	恵比寿を模したもので、素焼きである。
59		泥面子	<2.6>	2.3	<3.2>	おかめ、お多福の類いのもので、素焼きである。
60		泥面子	2.8	2.2	3.4	ひょっこつを模したもので、素焼きである。
61		泥面子	<2.8>	2.1	<2.9>	達磨を模したもので、素焼きである。
62		泥面子	1.7	1.7	0.9	笠の部品で、張り付いていた痕跡が残る。素焼きである。
63		土製品	2.4	1.4	<2.6>	頭部が欠損しているが、たぬきと思われる。型押しで作られ、素焼きである。
64		土製品	3.7	1.6	<4.5>	きつねを模したもので、表面が一部剥落している。型押しで作られ、素焼きである。



第8図 11、12区 旧石器時代調査グリッド図 (1/500) 旧石器時代出土遺物 (1/2)

第4表 遺構外出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 ()は既存値

挿図番号	図版番号	種類	長さ	幅	重さ(g)	観察・特徴
65		銭貨	2.3	2.3	2.6	寛永通宝。

2：旧石器時代の調査

遺構確認の精査作業では旧石器時代の遺物は検出されていなかったが、2号水路の覆土からナイフ形石器2点が出土したため、急遽旧石器時代の調査を実施した。

2mのグリットを道路遺構の北側に8個、2号水路を挟んだ地点には8個設定し、ハードローム層まで掘下げ、確認作業を行なった。

結果としては、新たな資料の検出には至らなかったため、旧石器時代の調査は終了した。

第5表 旧石器時代石器観察表

単位はcm ()は推定値 ()は既存値

挿図番号	図版番号	種類	長さ	幅	重さ(g)	石質	観察・特徴
1		ナイフ形石器	7.5	3.1	14.1	頁岩	縦長剥片を素材とし、右側縁の基部と先端部、左側縁に調整加工が施されている。横断面は三角形を呈する。
2		ナイフ形石器	4.7	3.2	11.5	黒曜石	翼状の縦長剥片を素材としている。左右側縁と先端部に調整加工が施されている。

3：縄文時代

(1) 住居址

J 1号住居址

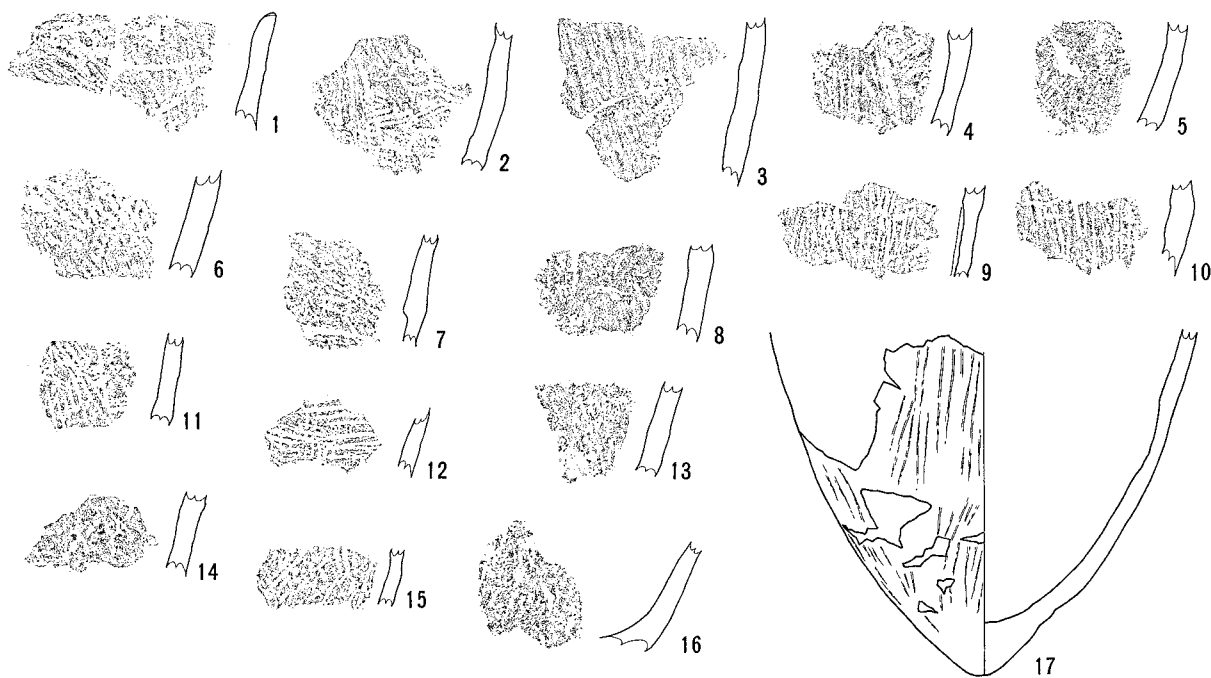
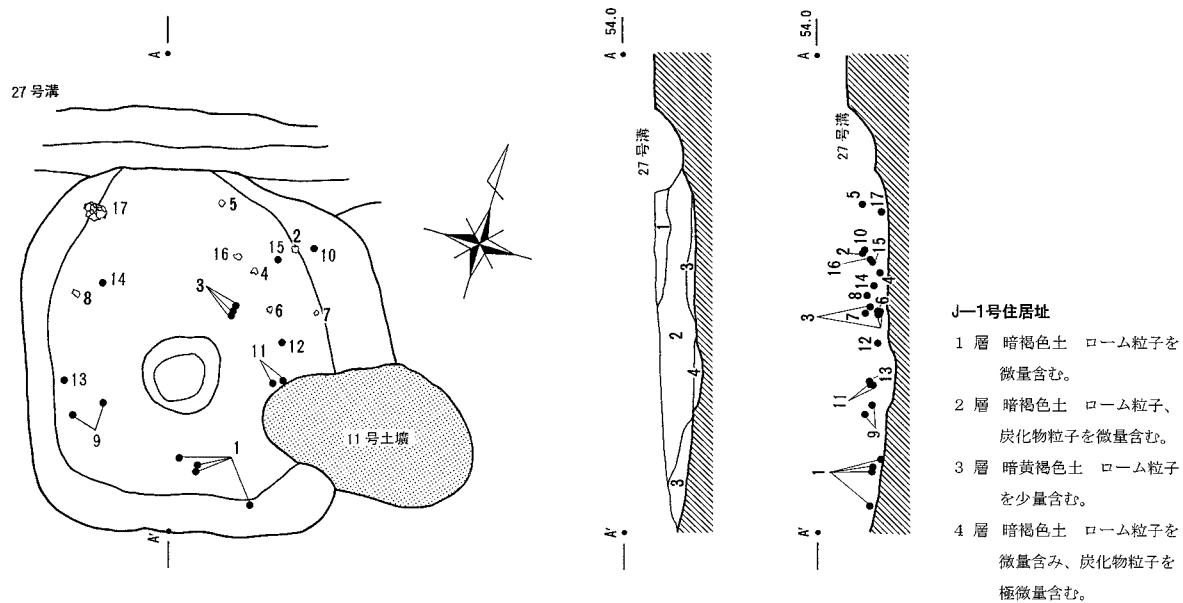
本住居址の北側には27号溝、東壁には11号土壌が重複する。規模は東西2.9m、南北3m（推定）をはかり、主軸方位はN-15°-Wである。平面プランは緩やかな角を持ち、円形状を呈する。

床面の状況は住居址の中心に向って僅かな傾斜を持ち播り鉢状を呈する。壁は緩やかな傾斜を持って立ち上がり、壁高は12~20cmをはかる。柱穴は確認できなかった。

住居址のほぼ中央に径65cm、深さ5.5cmの土壌を検出した。位置的には炉を想定しているが、被熱を受けた痕跡が明確でないため、炉とは断定できない。

第6表 J 1号住居址出土遺物観察表

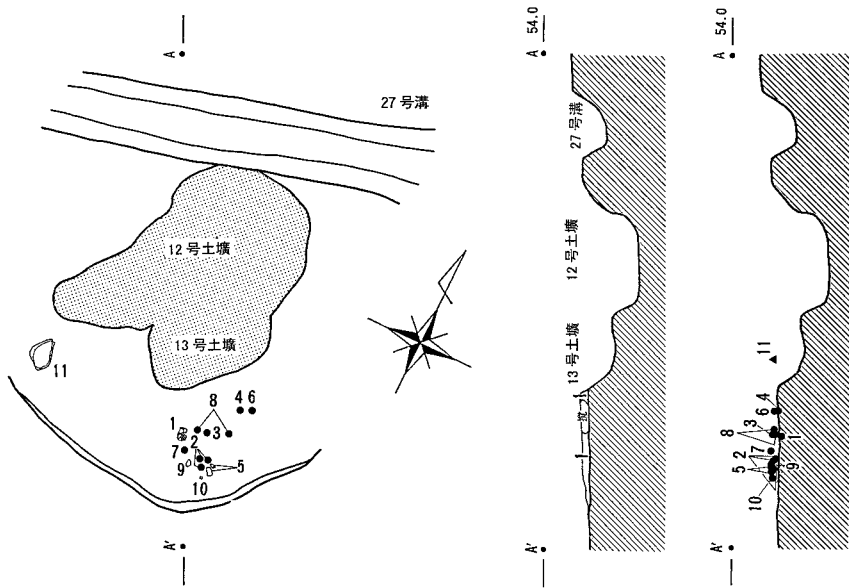
挿図番号	図版番号	部位	地紋	観察・特徴
1	33-1	口縁部	条痕文	器外面に斜め方向に施文している。
2	33-2	胴部	条痕文	器外面に斜め方向に施文している。
3	33-3	胴部	条痕文	器外面に斜め方向に施文している。
4		胴部	条痕文	器外面に縦、斜め方向に施文している。
5		胴部	条痕文	器外面に斜め方向に施文している。
6		胴部	条痕文	器外面に斜め方向に施文している。
7		胴部	条痕文	器外面に斜め方向に施文している。
8		胴部	条痕文	器外面に縦方向に施文している。



第9図 J1号住居址 (1/60) 出土遺物 (1/3)

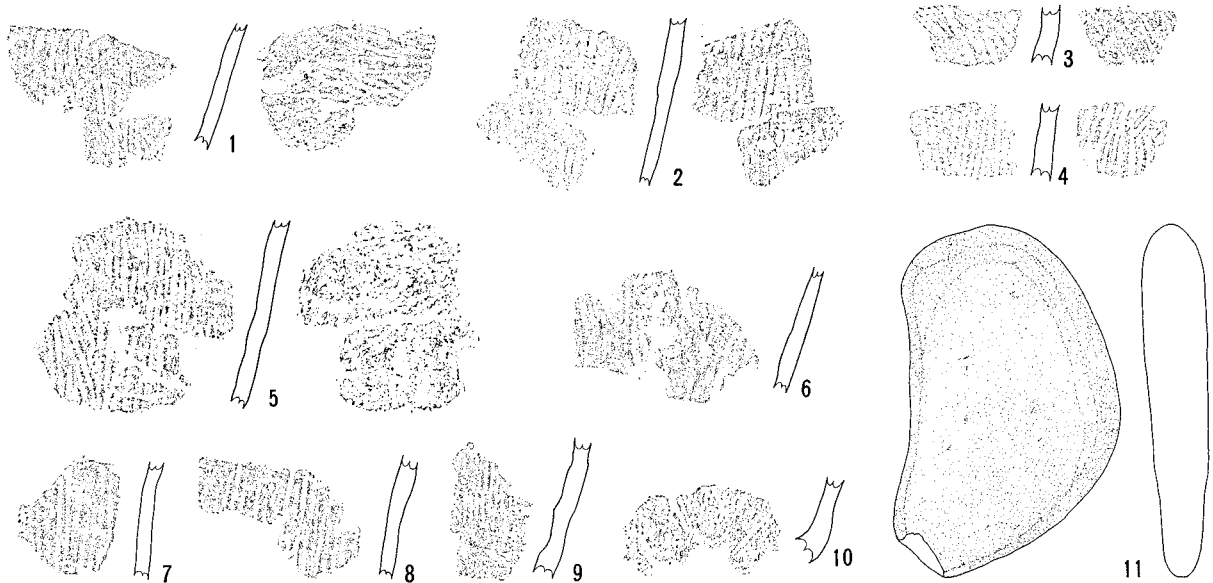
第7表 J1号住居址出土遺物観察表

挿図番号	図版番号	部位	地紋	観察・特徴
9		胴部	条痕文	器外面に縦方向に施文している。
10		胴部	条痕文	器外面に縦方向に施文している。
11		胴部	条痕文	器外面に斜め方向に施文している。
12		胴部	条痕文	器外面に横方向に施文している。
13		胴部	条痕文	器外面に斜め方向に施文している。
14		胴部	条痕文	器外面に斜め方向に施文している。



J-2号住居址

1 層 暗褐色土 ローム粒子を微量含む。



第10図 J2号住居址 (1/60) 出土遺物 (1/3)

挿図番号	図版番号	部位	地紋	観察・特徴
15		胴部	条痕文	器外面に縦、斜め方向に施文している。
16		胴部下端	条痕文	器外面に縦、斜め方向に施文している。
17	33-17	胴部~底部	条痕文	器外面に縦、斜め方向に施文している。

J2号住居址

本遺構の北側で27号溝、中央部には12、13号土壌が大きく重複する。

平面プランは不明、炉、柱穴の検出はできなかった。壁は明確な立ち上がりが無く、緩やかな傾斜を持って床面へと続く。

第8表 J2号住居址出土遺物観察表

挿図番号	図版番号	部位	地紋	観察・特徴
1	33-1	胴部	条痕文	器内外面に縦、斜め方向に施文している。
2	33-2	胴部	条痕文	器内外面に縦、斜め方向に施文している。

第9表 J2号住居址出土遺物観察表

挿図番号	図版番号	部位	地紋	観察・特徴
3		胴部	条痕文	器内外面に縦、斜め方向に施文している。
4		胴部	条痕文	器内外面に縦、斜め方向に施文している。
5	33-5	胴部	条痕文	器外面に縦方向に施文している。
6		胴部	条痕文	器外面に縦、斜め方向に施文している。
7		胴部	条痕文	器外面に縦方向に施文している。
8		胴部	条痕文	器外面に縦方向に施文している。
9		胴部	条痕文	器外面に縦方向に施文している。
10		胴部下端	条痕文	器外面に縦方向に施文している。

挿図番号	図版番号	種類	石質	観察・特徴
11	33-11	石皿	砂岩	両側面を磨っている。長さ27.8cm、幅18.8cm、重さ3.38kg。完形。

4：奈良・平安時代

(1) 住居址

1号住居址

規模は東西3.7m、南北3.2mをはかり、主軸方位はE-8.5°-Sである。平面プランは東西にやや長い方形を呈し、東壁にカマドを持つ。床面の状況は、カマドの正面から中央部にかけての範囲が硬化している。貼床下はほぼフラットな状態、南西、北西のコーナーは掘り込まれている。

壁は緩やかな傾斜を持って立ち上がり、壁高は10~15cmをはかる。壁に沿って幅10~15cm、深さ4~8cmの周溝が東壁を除き巡っている。

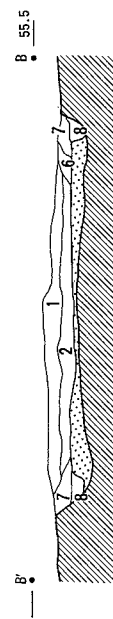
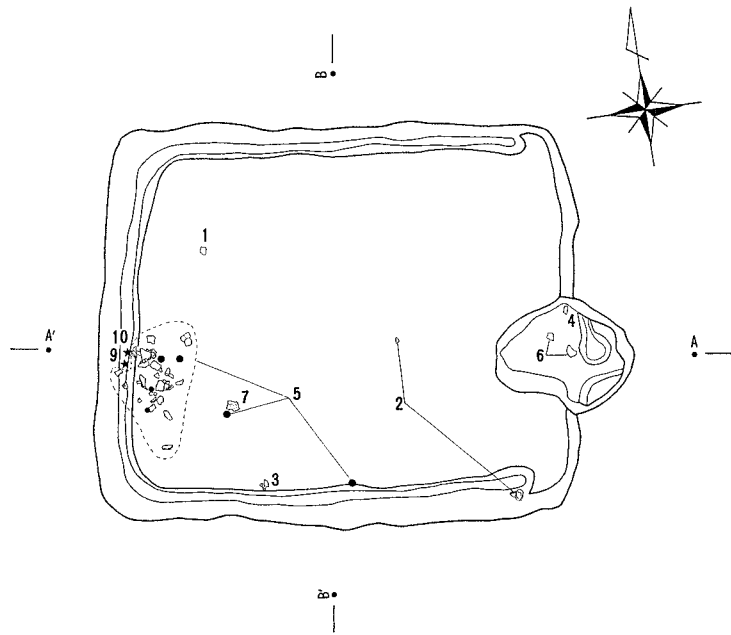
カマド

カマドは東壁のやや南寄りに位置している。規模は幅80cm、奥行110cmで、平面プランは幅広のU字状を呈する。壁外へは50cm掘り込んでいる。火床部は床面より15cm掘り込み、幅60cm、奥行60cmをはかる。

第10表 1号住居址出土遺物観察表

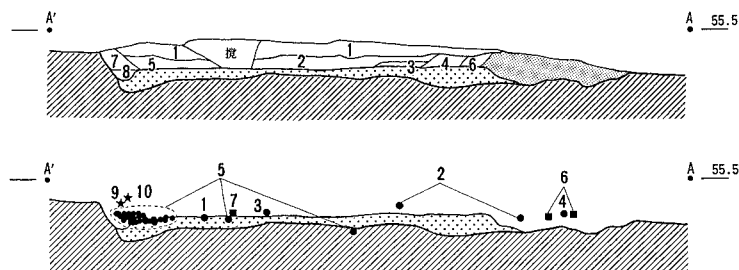
単位はcm ()は推定値 < >は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
1		坏	-	6.4	-	-	還元焰焼成	床面直上出土。底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。
2		埴	14.6	6.4	6.4	5.9	還元焰焼成	床面付近から出土。底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部が外反する。体部外面に「十」の墨書。残存率60%。
3		皿	(16.8)	(6.1)	-	2.5	還元焰焼成	床面直上出土。底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は外反する。残存率25%。
4		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は短かく、強く屈曲する。
5	34-5	甕	18.1	5.0	-	27.2	土師器	直立するコの字口縁。口縁部の内外面に横ナデ。胴部の器外面には斜め、縦方向に篋削り。



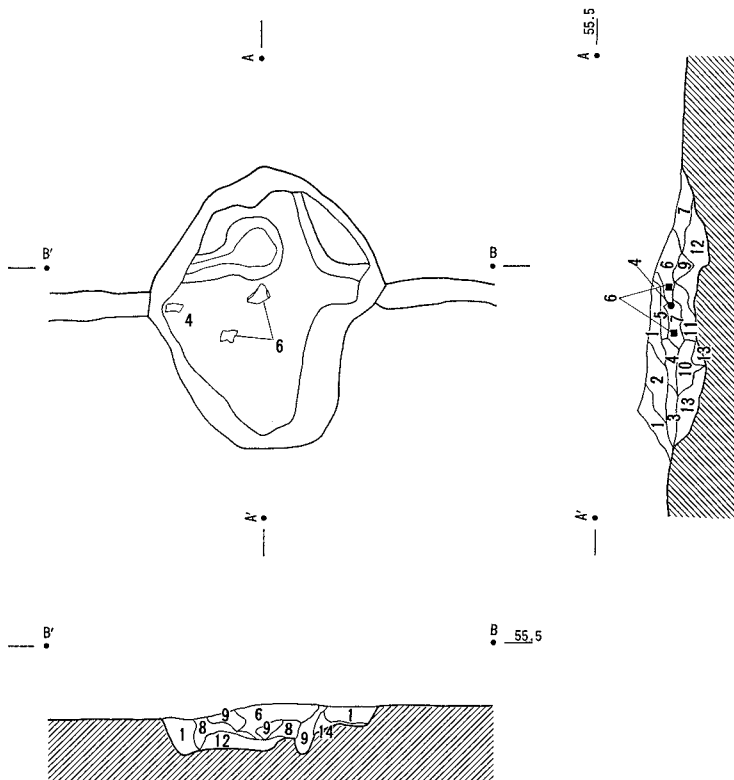
1号住居址

- 1層 暗褐色土 焼土粒子、炭化物粒子を微量含む。
- 2層 暗褐色土 焼土粒子を少量含む。
- 3層 暗茶褐色土 粘土粒子を多量に含み、焼土粒子を少量含む。
- 4層 茶褐色土 粘土、焼土粒子を多量に含む。
- 5層 黒褐色土 炭化物粒子を少量、焼土粒子を微量含む。
- 6層 暗茶褐色土 粘土粒子を多量に含み、焼土粒子を微量含む。
- 7層 暗褐色土 暗褐色ローム粒子を少量含む。
- 8層 暗褐色土 ローム粒子を微量含む。

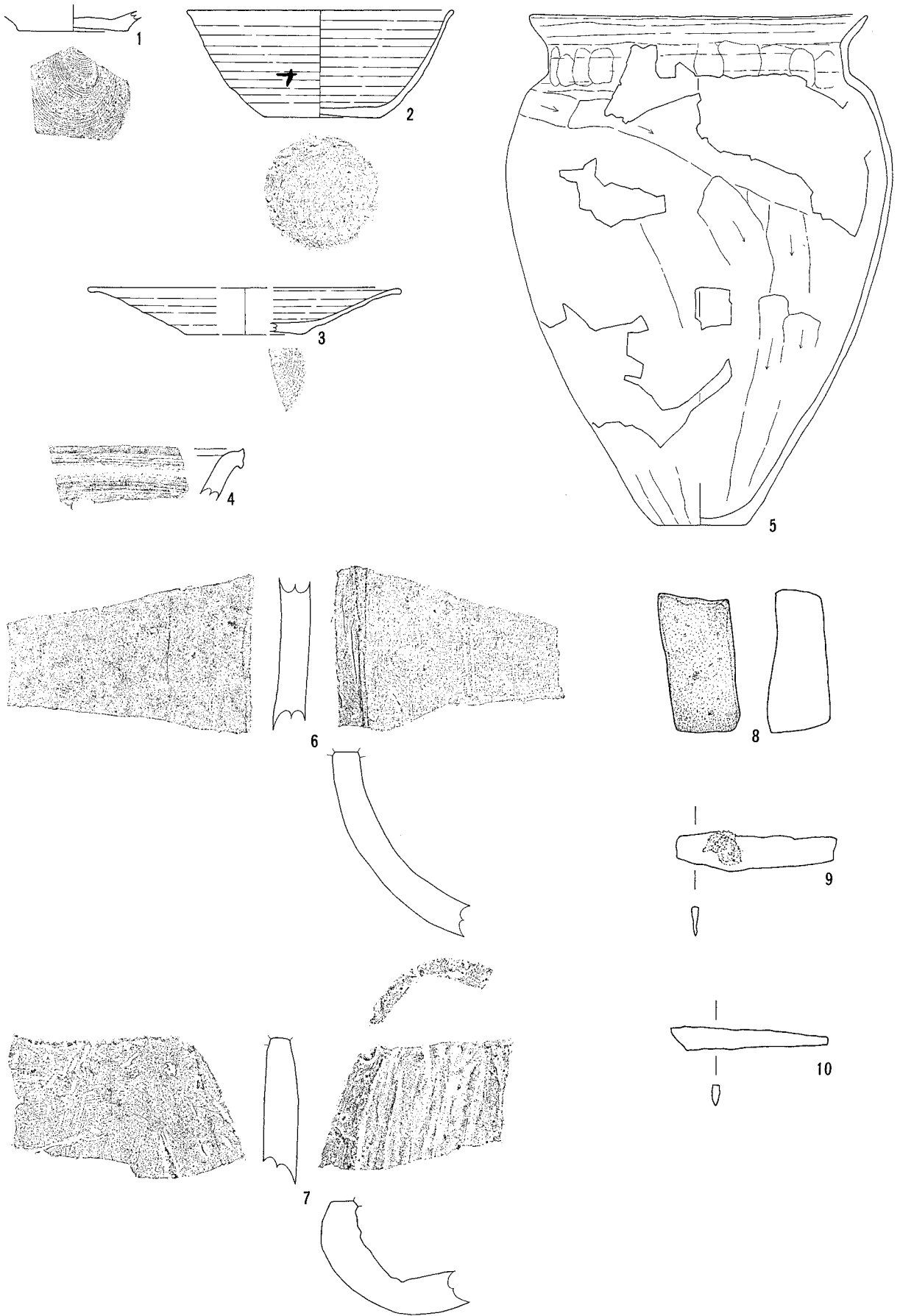


1号住居址カマド

- 1層 暗黒褐色土 焼土ブロック、炭化物粒子を微量含む。
- 2層 暗褐色土 焼土粒子、炭化物粒子、粘土粒子を微量含む。
- 3層 暗褐色土 粘土粒子を少量含み、焼土粒子、炭化物粒子を微量含む。
- 4層 暗茶褐色土 焼土粒子、炭化物粒子を少量含む。
- 5層 暗茶褐色土 焼土粒子を少量含む。
- 6層 暗赤褐色土 焼土を含む。
- 7層 暗茶褐色土 焼土ブロック、炭化物粒子を多量に含む。
- 8層 暗茶褐色土 焼土粒子を多量に含む。
- 9層 暗茶褐色土 焼土粒子を含む。
- 10層 暗黒褐色土 焼土粒子、炭化物粒子を多量に含む。
- 11層 暗茶褐色土 焼土粒子を少量含み、粘土ブロックを微量含む。
- 12層 暗灰褐色土 粘土粒子を多量に含み、焼土ブロックを微量含む。
- 13層 暗赤褐色土 焼土層
- 14層 暗黄褐色土 ローム粒子を多量に含み、焼土粒子を微量含む。



第11図 1号住居址 (1/60) カマド (1/30)



第12図 1号住居址出土遺物 (1/3) 但し、8は (1/2)、9、10は (2/3)

第11表 1号住居址出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 ()は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
6		丸瓦	-	-	-	-	還元焰焼成	凸面は篋削り整形。凹面には布目痕。側面及び凹凸面側部に篋削り。
7		丸瓦	-	-	-	-	還元焰焼成	凸面は篋削り整形。凹面には布目痕。側面及び凹凸面側部と端面に篋削り。

挿図番号	図版番号	種類	長さ	幅	重さ(g)	-	石質	観察・特徴
8		砥石	<5.0>	<2.6>	<48>	-	凝灰岩	両側面、下面を磨っている。

挿図番号	図版番号	種類	長さ	幅	厚み	観察・特徴		
9		刀子	<4.3>	1.1	0.2	切先、茎尻を欠損。関は片関造りで、僅かに残る刃部は平造り。		
10		刀子	<4.2>	0.6	0.2	切先を欠損。棟は平坦で、刃部は平造り。		

2号住居址

2号住居址の東側は3号住居址と大きく重複している。新旧関係は2号住居址が新しく、3号住居址が古い。規模は東西4.4m、南北3.45mをはかり、主軸方位はN-1.5°-Eである。平面プランは東西に長い方形を呈する。カマドは北壁と東壁で検出し、北カマドが新しく、東カマドが古い。床面の状況は、四隅を除く範囲が硬化している。貼床下はほぼ平坦だが、南東コーナーと北西コーナーで柱穴を確認した。

壁は僅かな傾斜を持って立ち上がり、壁高は10~20cmをはかる。壁に沿って幅13~20cm、深さ10cmの周溝が東壁を除き巡っている。

北カマド

カマドは北壁の東コーナー近くに位置している。規模は幅80cm、奥行50cmで、平面プランはU字状を呈する。壁外へは約30cm掘り込んでいる。火床部は床面から緩やかな傾斜を持って繋がり、幅35cm、奥行60cmをはかる。

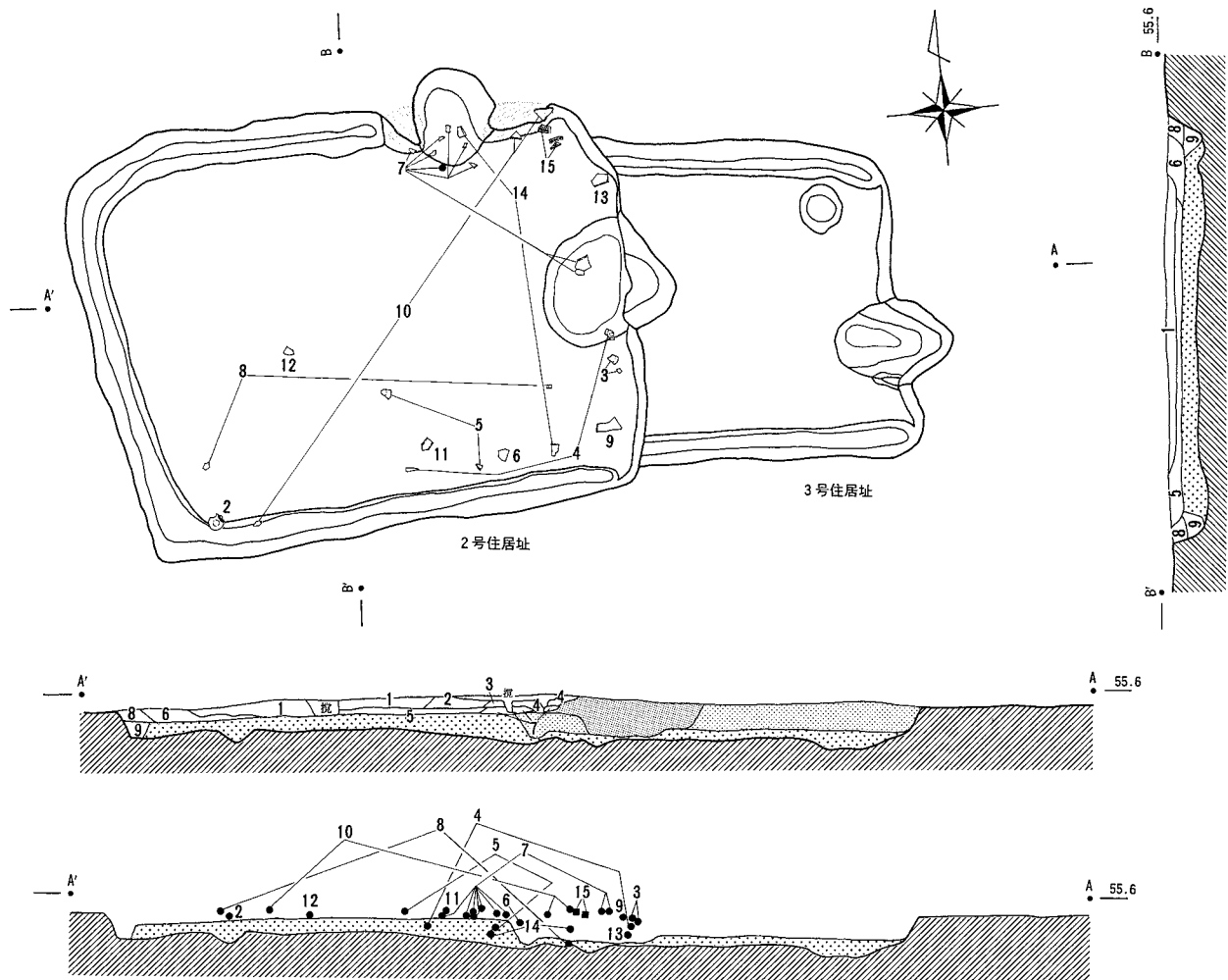
東カマド

カマドは東壁のほぼ中央に位置する。規模は幅100cm、奥行100cmで、平面プランはくずれたU字状を呈する。壁外へは約35cm掘り込んでいる。火床部は床面から20cm掘り下げ、幅80cm、奥行50cmをはかる。

第12表 2号住居址出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 ()は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
1		蓋	-	-	-	-	還元焰焼成	器内外面にロクロ水挽き整形後に、器外面天井部に回転篋削り。天井部に円筒状のつまみを貼り付ける。つまみ径6.8cm。残存率30%。
2	34-2	坏	12.8	5.8	5.4	4.0	酸化焰焼成	床面直上出土。底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。体部は直線的に立ち上がる。残存率98%。
3	34-3	坏	11.3	5.4	5.2	3.6	還元焰焼成	貼床下とカマドから出土。底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は外反する。残存率45%。



2号住居址

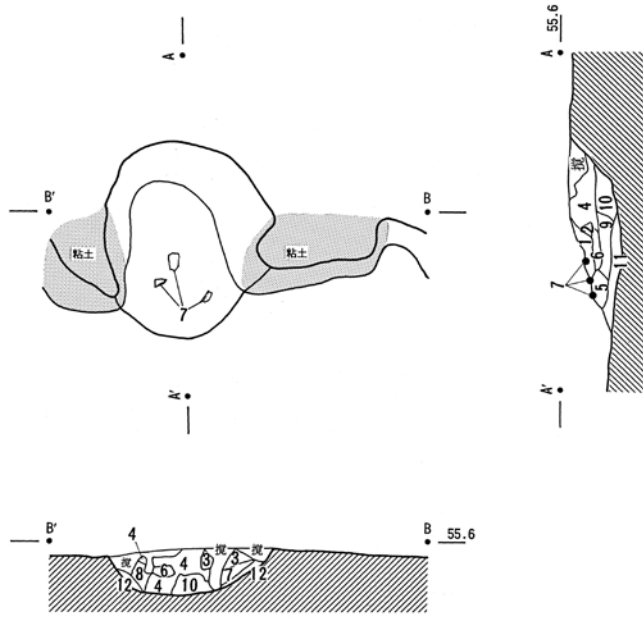
- | | |
|------------------------------------|-------------------------------|
| 1層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子を微量含む。 | 5層 暗褐色土 焼土粒子を含む。 |
| 2層 暗褐色土 粘土粒子を少量含む、焼土粒子、炭化物粒子を微量含む。 | 6層 暗褐色土 ローム粒子を少量含む、焼土粒子を微量含む。 |
| 3層 明茶褐色土 粘土粒子を多量に含む、焼土粒子を少量含む。 | 7層 暗褐色土 粘土粒子を含む。 |
| 4層 明茶褐色土 粘土粒子を多量に含む、焼土粒子を微量含む。 | 8層 暗褐色土 ローム粒子を少量含む。 |
| | 9層 暗褐色土 ローム粒子を微量含む。 |

第13図 2号住居址 (1/60)

第13表 2号住居址出土遺物観察表

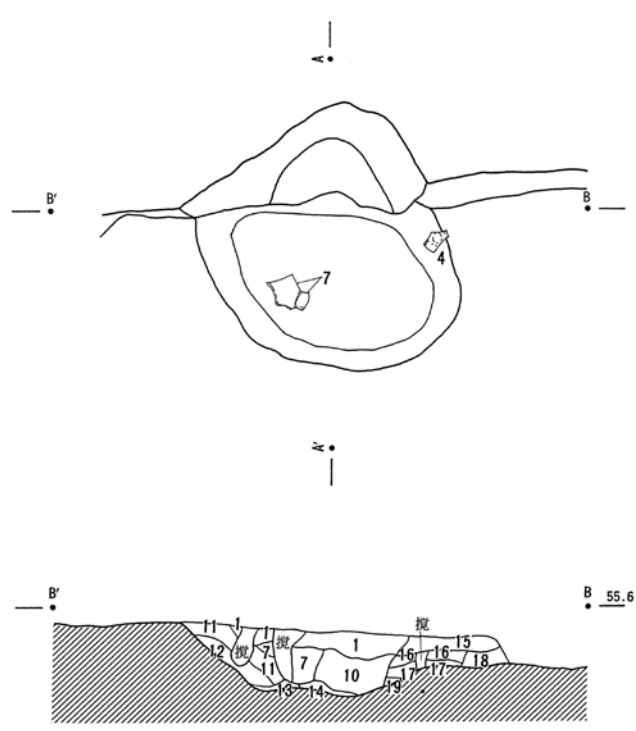
単位はcm ()は推定値 < >は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
4		坏	(13.1)	5.5	4.7	3.4	還元焰焼成	カマド付近から出土。底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は僅かに外反する。残存率50%。
5		坏	(13.0)	6.1	4.9	3.6	還元焰焼成	貼床下と床付近から出土。底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。残存率45%。
6		皿	(15.0)	6.1	6.8	2.1	還元焰焼成	床面直上出土。底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。残存率40%。
7		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	口縁部は、器内外面にロクロ水挽き整形。胴部内面に当て具痕。口縁部器内外面と胴部外面に自然釉が見られる。



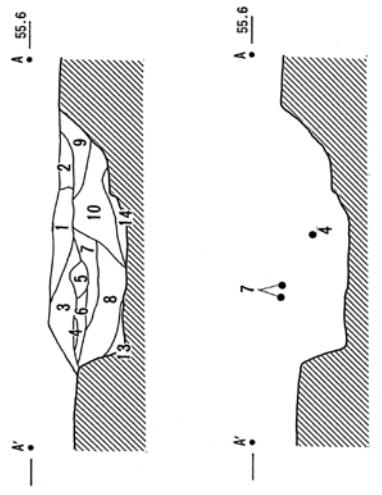
2号住居址北カマド

- 1層 暗褐色土 焼土粒子を少量含む。
- 2層 明褐色土 粘土粒子を含み、焼土粒子を少量含む。
- 3層 暗赤褐色 粘土粒子を含み、焼土粒子を多量に含む。
- 4層 明茶褐色土 粘土粒子、焼土粒子を多量に含む。
- 5層 暗褐色土 焼土粒子を多量に含み、粘土粒子を含む。
- 6層 赤褐色土 焼土層
- 7層 暗褐色土 粘土粒子を微量含む。
- 8層 暗褐色土 焼土粒子を含み、粘土粒子を微量含む。
- 9層 明褐色土 粘土粒子を多量に含み、焼土粒子を少量含む。
- 10層 暗褐色土 焼土粒子、粘土粒子を微量含む。
- 11層 黒褐色土 焼土粒子を少量含む。
- 12層 明茶褐色土 粘土層



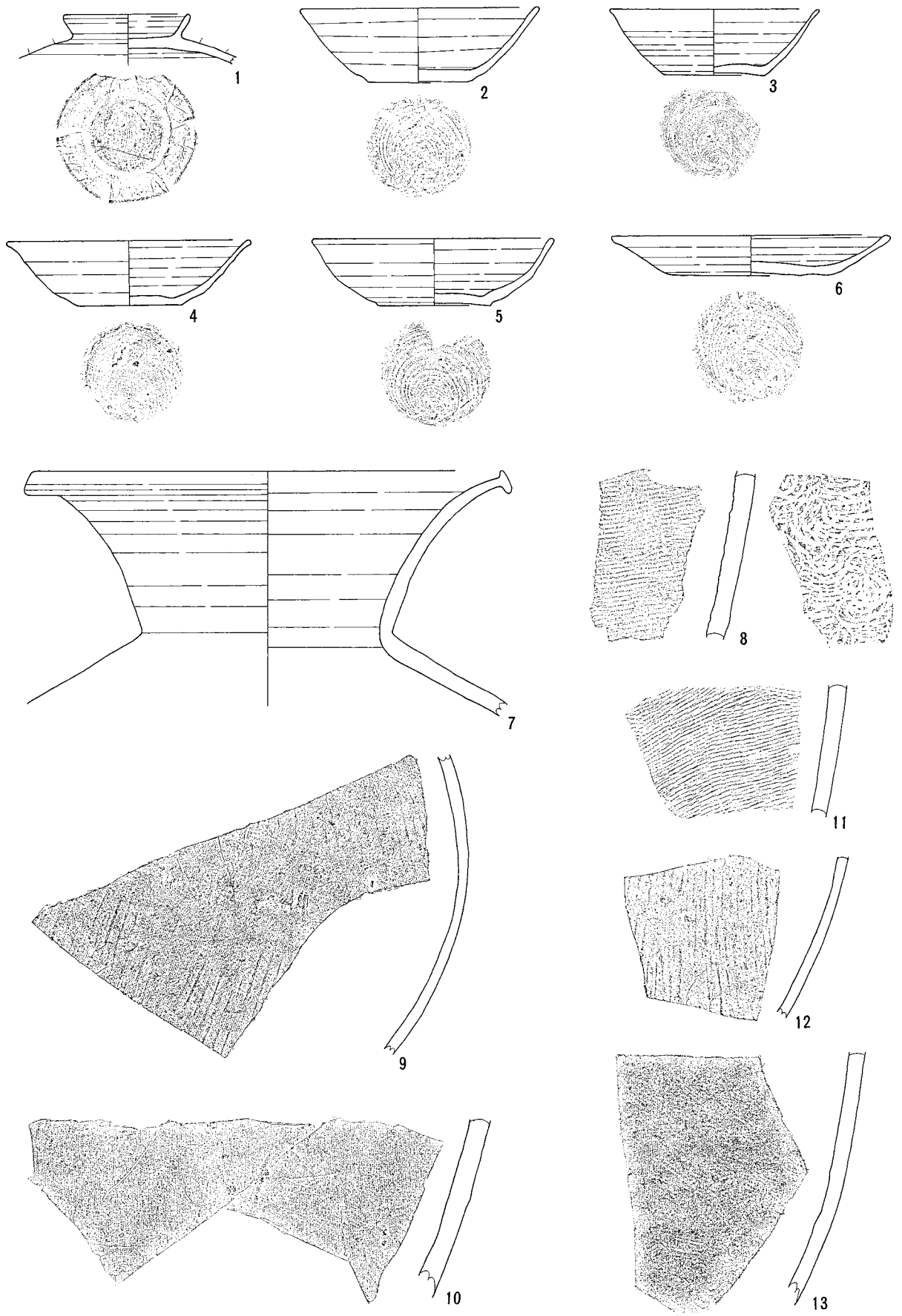
2号住居址東カマド

- 1層 明茶褐色土 粘土を多量に含み、焼土ブロックを少量含む。
- 2層 暗赤褐色土 焼土粒子を多量に含み、焼土ブロックを少量含む。
- 3層 暗茶褐色土 焼土粒子を多量に含み、焼土ブロックを含む。
- 4層 赤褐色土 焼土層
- 5層 暗赤褐色土 粘土粒子、焼土ブロックを多量に含む。
- 6層 暗茶褐色土 粘土を多量に含み、焼土粒子を少量含む。

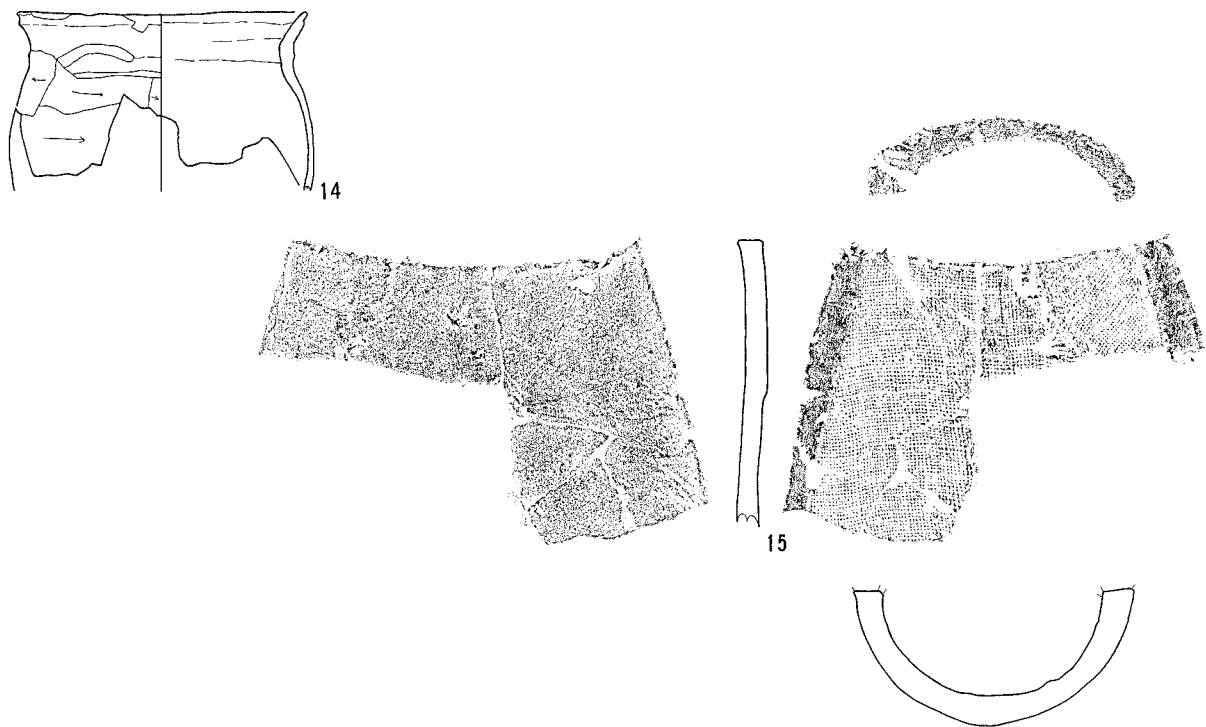


- 7層 暗茶褐色土 粘土粒子を含み、焼土ブロックを少量含む。
- 8層 暗褐色土 焼土粒子を多量に含み、粘土粒子を含む。
- 9層 暗褐色土 粘土粒子を多量に含み、焼土ブロックを少量含む。
- 10層 暗茶褐色土 焼土粒子、焼土ブロック、粘土粒子を多量に含む。
- 11層 暗褐色土 粘土粒子を多量に含む。
- 12層 暗褐色土 粘土粒子を少量含む。
- 13層 暗褐色土 粘土粒子を含み、焼土粒子、ローム粒子を微量含む。
- 14層 暗茶褐色土 粘土粒子を多量に含み、焼土粒子を含み、ローム粒子を少量含む。
- 15層 明褐色土 粘土粒子を多量に含み、焼土粒子を含む。
- 16層 明褐色土 粘土粒子、焼土粒子を含む。
- 17層 暗褐色土 焼土粒子を微量含む。
- 18層 明褐色土 焼土粒子を多量に含み、粘土粒子を含む。
- 19層 暗褐色土 ローム粒子を含み、焼土粒子、粘土粒子を微量含む。

第14図 2号住居址北カマド 東カマド (1/30)



第15图 2号住居址出土遗物 (1) (1/3)



第16図 2号住居址出土遺物(2)(1/3) 但し、15は(1/6)

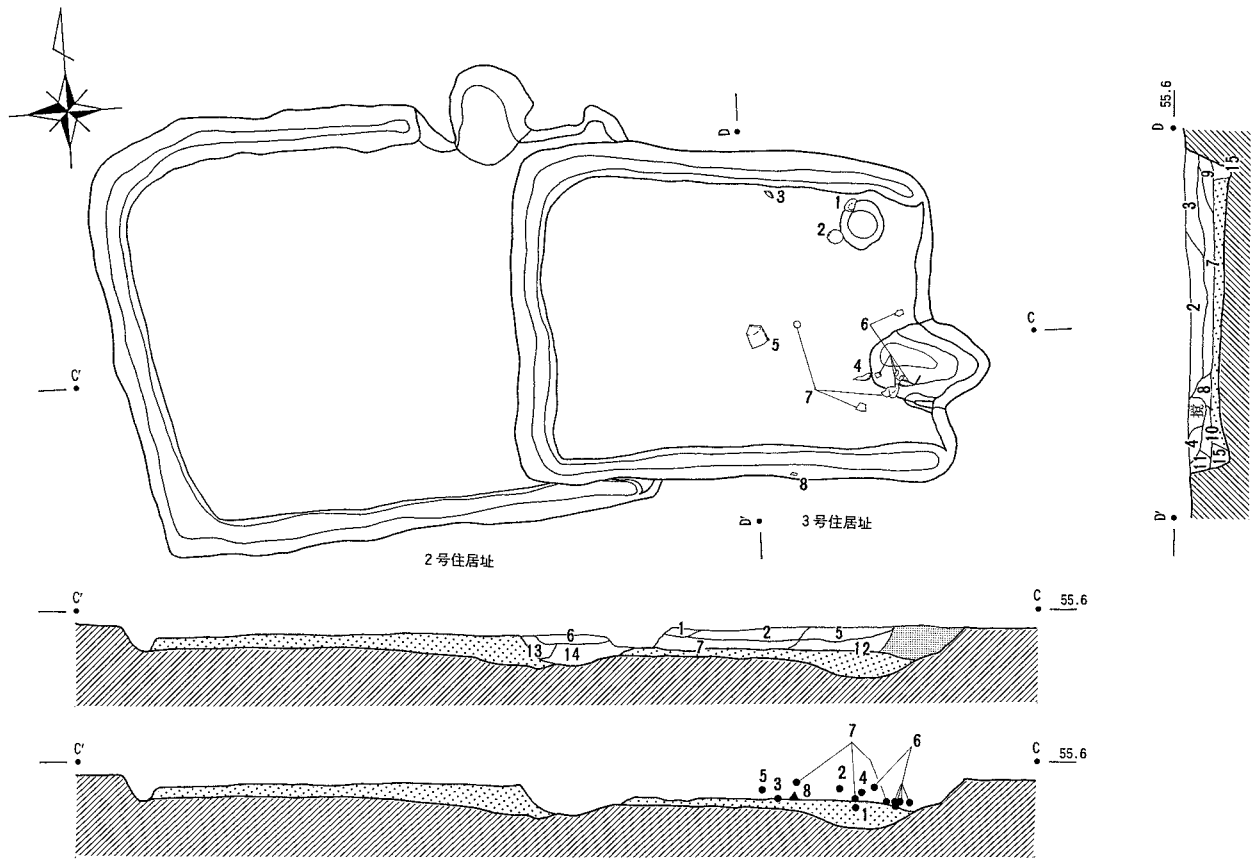
第14表 2号住居址出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 ()は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
8		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器外面に横方向の平行叩き。器内面に青海波文。
9		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器外面に斜め方向の平行叩き。器内面はナデ整形。12と同一個体と思われる。
10		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器外面に斜め方向の平行叩き。器内面はナデ整形。
11		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器外面に横方向の平行叩き。器内面に当て具痕。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。
12		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器外面に縦方向の平行叩き。器内面に当て具痕。9と同一個体と思われる。
13		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器外面に斜め方向の平行叩き。器内面に当て具痕。
14		台付甕	11.9	-	-	-	土師器	口縁部はコの字を呈する。口縁部の器内外面に横ナデ。胴部外面に横方向の匏削り。
15		丸瓦	-	-	-	-	半還元焰焼成	凸面は縄叩き後匏整形。凹面に布目痕。側面、端面、側面側部に匏削り。

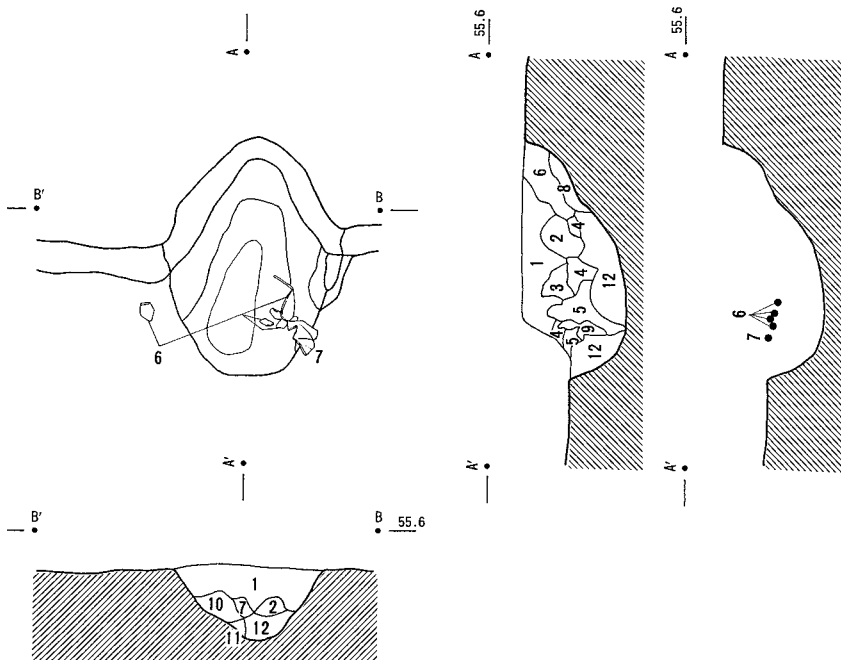
3号住居址

規模は東西3.3m、南北2.7mをはかり、主軸方位はE-6°-Sである。平面プランは東西に長い方形を呈する。東壁の中央より南に寄ったところでカマドを検出した。2号住居址と重複する範囲の床面は残りが悪いが、その他は良好な硬化面が残る。貼床下はほぼ平坦であるが、南壁沿いのほぼ中央で径30cmの柱穴を1本確認した。



3号住居址

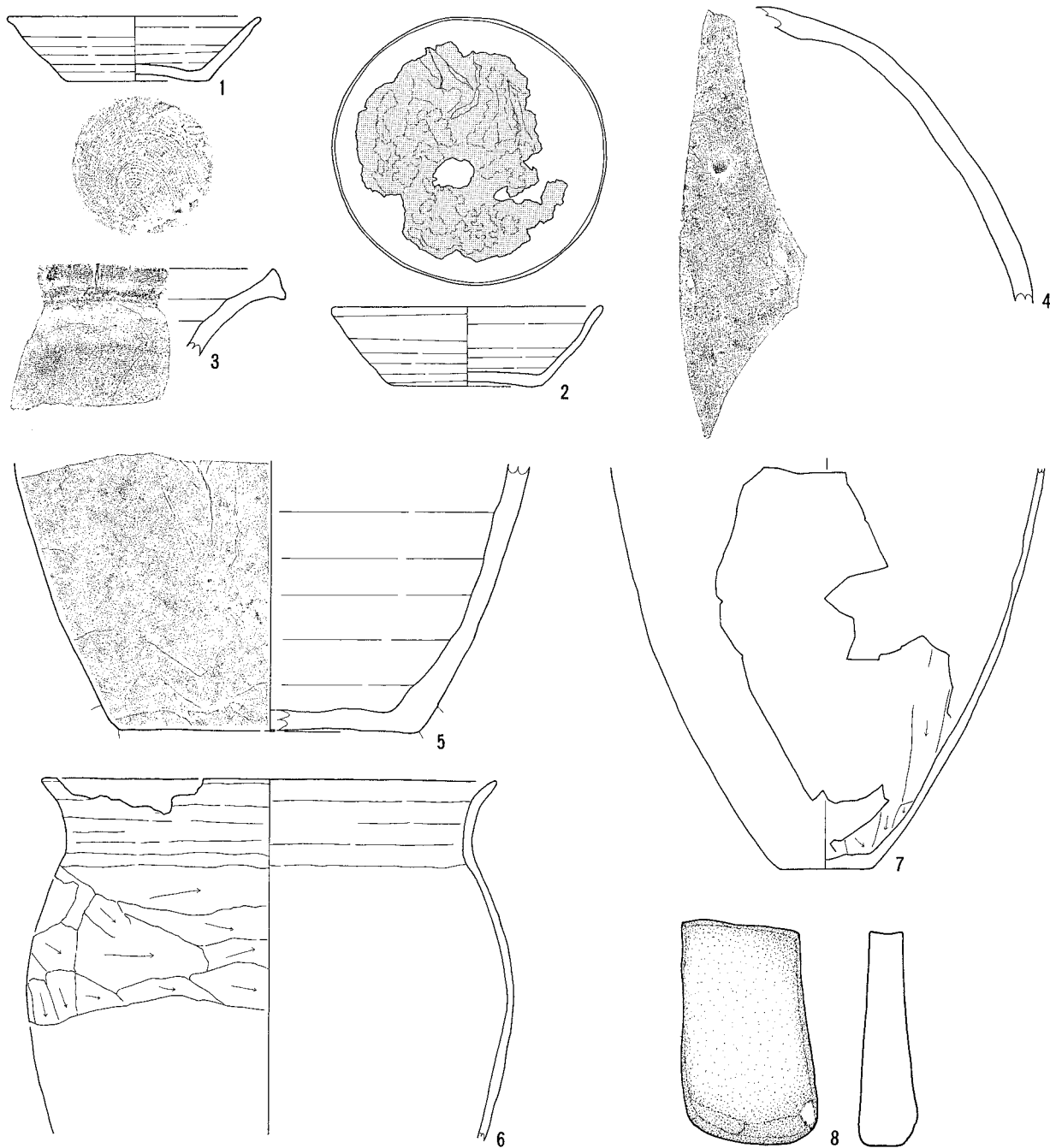
- | | | | |
|---------|----------------------|-----------|--------------------------|
| 1層 暗褐色土 | ローム粒子、焼土粒子を含む。 | 8層 暗黄褐色土 | ロームブロックが主体。 |
| 2層 暗褐色土 | ローム粒子、焼土粒子を微量含む。 | 9層 暗褐色土 | ローム粒子を含む。 |
| 3層 暗褐色土 | ローム粒子を微量含む。 | 10層 黒褐色土 | 焼土粒子を多量に含み、ローム粒子を少量含む。 |
| 4層 黒褐色土 | 焼土粒子を微量含む。 | 11層 暗褐色土 | ローム粒子を少量含む。 |
| 5層 暗褐色土 | ローム粒子を多量に含み、焼土粒子を含む。 | 12層 暗褐色土 | 焼土粒子を含み、ローム粒子を微量含む。 |
| 6層 暗褐色土 | 粘土粒子を含み、焼土粒子を微量含む。 | 13層 暗褐色土 | 粘土粒子、ローム粒子を含み、焼土粒子を微量含む。 |
| 7層 暗褐色土 | ローム粒子を含み、焼土粒子を微量含む。 | 14層 明茶褐色土 | 粘土粒子、焼土粒子を多量に含む。 |
| | | 15層 暗褐色土 | ローム粒子を極微量含む。 |



3号住居址カマド

- | | |
|----------|---------------------------|
| 1層 暗褐色土 | ローム粒子、焼土粒子、炭化物粒子を微量含む。 |
| 2層 明褐色土 | 焼土粒子を多量に含み、ローム粒子を少量含む。 |
| 3層 暗赤褐色土 | 焼土粒子を多量に含む。 |
| 4層 暗褐色土 | ローム粒子、焼土粒子、炭化物粒子を少量含む。 |
| 5層 暗褐色土 | ローム粒子を少量含む。 |
| 6層 暗赤褐色土 | 焼土粒子を多量に含み、粘土粒子を含む。 |
| 7層 暗褐色土 | 焼土粒子、ローム粒子を微量含む。 |
| 8層 明茶褐色土 | ロームを多量に含む。 |
| 9層 暗黄褐色土 | ローム粒子を多量に含み、ロームブロックを微量含む。 |
| 10層 暗褐色土 | ローム粒子を多量に含み、焼土粒子を微量含む。 |
| 11層 黄褐色土 | ロームが主体。 |
| 12層 暗褐色土 | ローム粒子、炭化物粒子を微量含む。 |

第17図 3号住居址 (1/60) カマド (1/30)



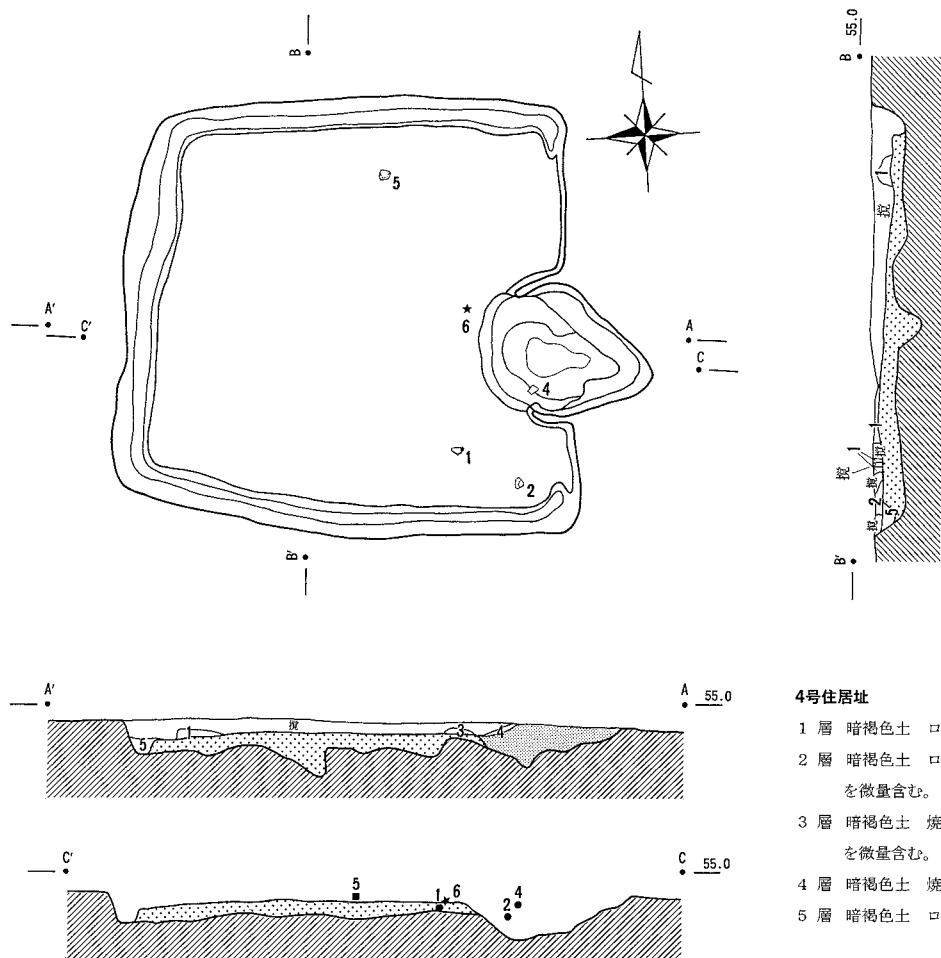
第18図 3号住居址出土遺物 (1/3) 但し、8は (1/2)

壁は僅かな傾斜を持って立ち上がり、壁高は17~25cmをはかる。壁に沿って幅10~25cm、深さ7~15.6cmの周溝が東壁を除き巡っている。北東コーナーに径40cm、深さ18cmのピットを検出した。

須恵器坏 (2) の内側から、黒く皺が寄った漆紙を検出した。おそらく、漆の埃よけのために用いていたものと思われる。漆紙は染み込んだ漆の量が少なく、遺存状態は良好ではなかった。赤外線カメラなどを用いて文字検出に努めたが、確認はできなかった。

カマド

カマドは東壁の中央よりやや南に寄った箇所に位置する。規模は幅60cm、奥行95cmで、平面プランはU字状を呈する。壁外へは40cm掘り込んでいる。火床部は床面から25cm掘り下げ、幅18cm、奥行47cm。



4号住居址

- 1 層 暗褐色土 ローム粒子を微量含む。
- 2 層 暗褐色土 ローム粒子を少量に含み、焼土粒子を微量含む。
- 3 層 暗褐色土 焼土粒子を少量に含み、ローム粒子を微量含む。
- 4 層 暗褐色土 焼土粒子、ローム粒子を微量含む。
- 5 層 暗褐色土 ローム粒子を含む。

第19図 4号住居址 (1/60)

第15表 3号住居址出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 < >は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
1	34-1	坏	11.6	6.5	6.0	3.0	半還元焰焼成	柱穴から出土。底部は回転糸切り。ロクろ水挽き整形。口縁部が僅かに外反する。残存率80%。
2	34-2	坏	12.5	6.8	6.6	3.7	還元焰焼成	床付近から出土。底部は回転糸切り。ロクろ水挽き整形。器内面から漆紙を検出。完形。
3		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	床面直上出土。ロクろ水挽き整形。器内外面に自然釉。
4		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器外面にロクろ水挽き整形。器内面に当て具痕が残り、その後ナデ整形。器外面に自然釉。
5		甕	-	(13.8)	-	-	還元焰焼成	床面付近から出土。器外面はロクろ水挽き整形後に、篋による整形。器内面は当て具痕が見られ、その後ナデ整形。底部器内面に自然釉が残る。
6		甕	20.9	-	-	-	土師器	口縁部はコの字を呈する。口縁部の内外面に横ナデ。胴部外面に横、斜め方向の篋削り。
7		甕	-	4.2	-	-	土師器	胴部外面に縦、斜め方向の篋削り。

単位はcm ()は推定値 ()は既存値

挿図番号	図版番号	種類	重さ(g)	観察・特徴
8		砥石	<68>	床面直上出土。両面、両側面に擦り痕が残る。石質は凝灰岩。残存長6.9cm。

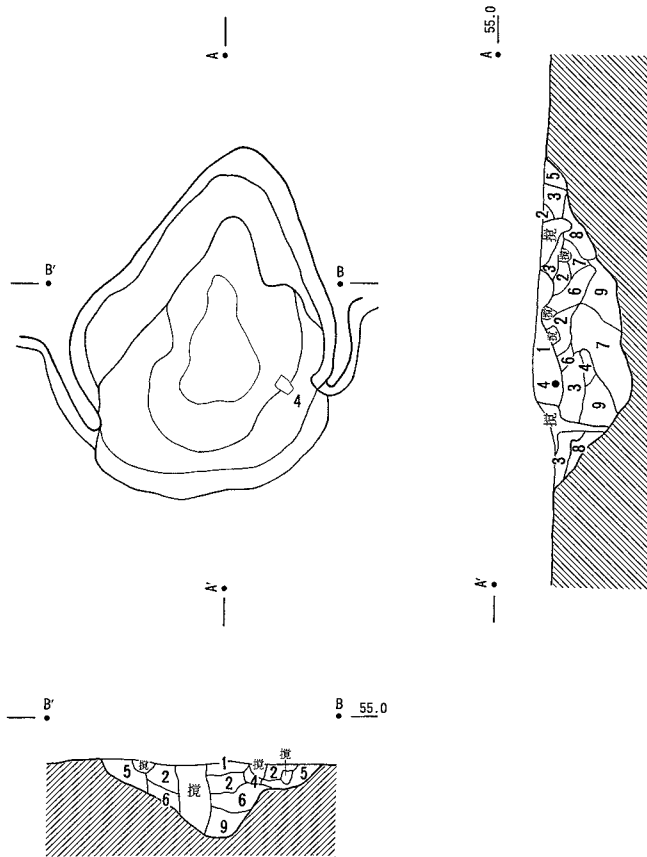
4号住居址

規模は東西3.65m、南北3.5mをはかり、主軸方位はE-10°-Sである。平面プランは方形を呈する。東壁のほぼ中央にカマドを構築している。床面は攪乱を受けているが、非常に固い面が残り、比較的遺存状態は良好である。貼床下はほぼ平坦で、北東コーナーでピットを1本検出した。

壁は僅かな傾斜を持って立ち上がり、壁高は10~15cmをはかる。壁に沿って幅10~20cm、深さ約10cmの周溝が東壁を除き巡っている。

カマド

カマドは東壁のほぼ中央に位置する。規模は幅115cm、奥行135cmで、平面プランはV字状を呈する。壁外へは67cm掘り込んでいる。火床部は床面から30cm掘り下げ、幅35cm、奥行50cmをはかる。



4号住居址カマド

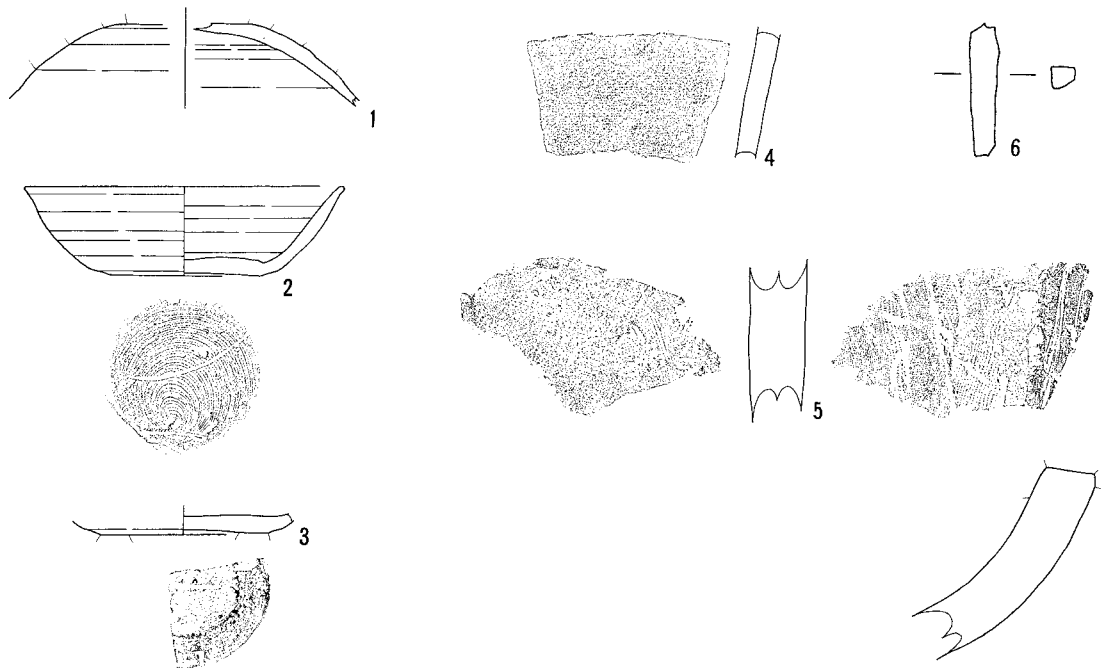
- 1層 暗褐色土 焼土粒子を少量含む。
- 2層 暗褐色土 焼土粒子、炭化物粒子を多量に含む。
- 3層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子を微量含む。
- 4層 暗黄褐色土 ローム粒子を多量に含む。
- 5層 暗黄褐色土 ロームが主体で、焼土粒子を微量含む。
- 6層 暗褐色土 焼土粒子を少量、ローム粒子を微量含む。
- 7層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子を少量含む。
- 8層 暗黄褐色土 ロームが主体
- 9層 暗褐色土 ローム粒子を少量含む、焼土粒子を微量含む。

第20図 4号住居址カマド (1/30)

第16表 4号住居址出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 ()は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
1		蓋	-	-	-	-	還元焰焼成	貼床下出土。器内外面にロクロ水挽き整形。器外面の天井部に回転窺削り。残存率25%。
2		坏	(12.5)	5.9	6.0	3.6	半還元焰焼成	貼床下出土。底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。底部外面に窺削り。残存率45%。



第21図 4号住居址出土遺物 (1/3) 但し、6は(2/3)

第17表 4号住居址出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 < >は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
3		坏	-	-	-	-	還元焰焼成	底部は回転糸切り後外周部回転篋削り。器内外面にロクロ水挽き整形。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。
4		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	カマドから出土。器内外面にナデ整形。
5		丸瓦	-	-	-	-	還元焰焼成	凹面に布目痕。凸面にナデ整形。側面及び凹凸面側部に篋削り。

挿図番号	図版番号	種類	長さ	幅	厚み	観察・特徴
6		釘	<2.6>	0.5	0.5	断面は方形を呈する。先端部、頭部を欠損する。

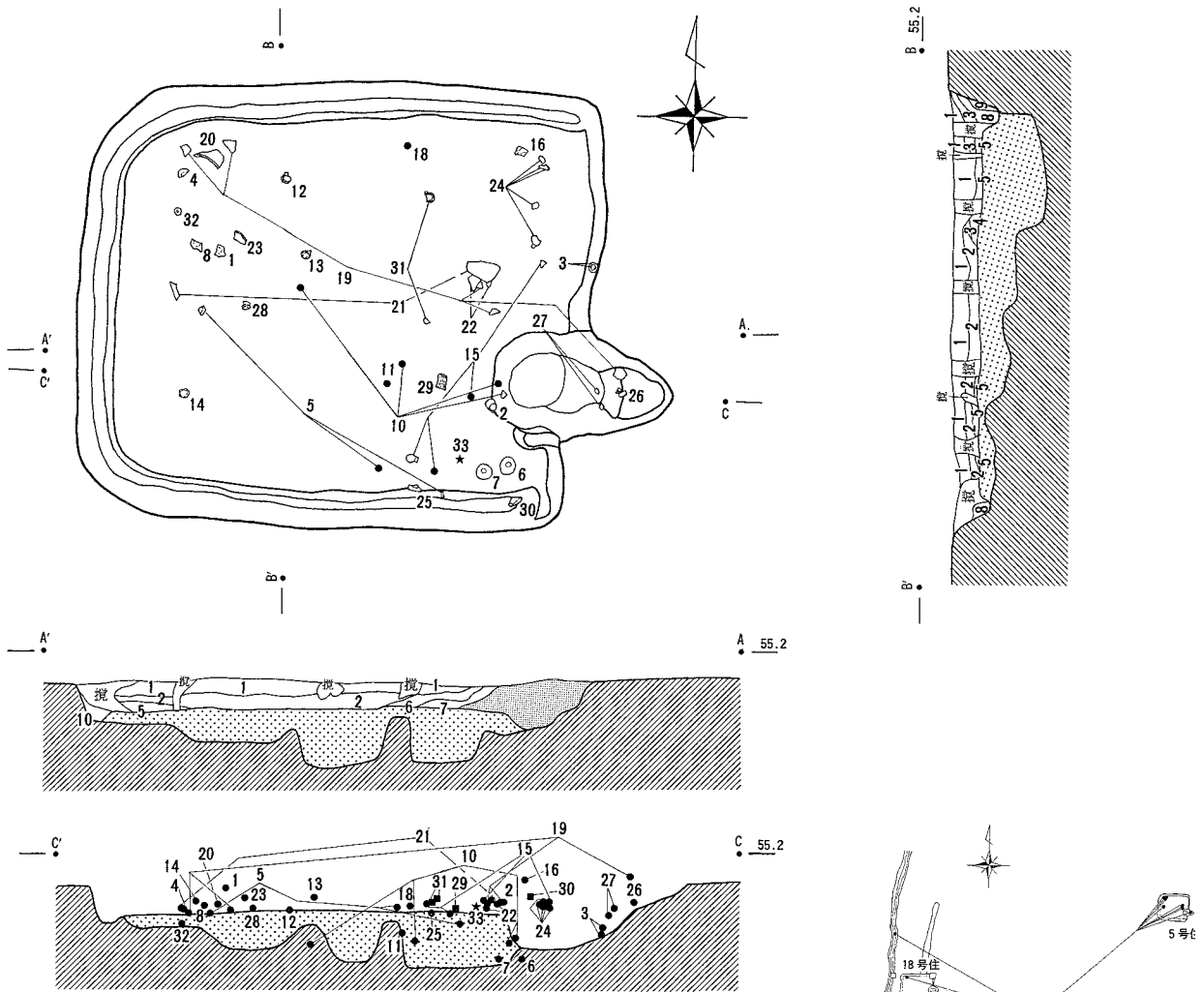
5号住居址

4号住居址の北西に位置する。規模は東西4.2m、南北3.65mをはかり、主軸方位はN-80°-Eである。平面プランは東西に長い方形を呈し、東壁の中央から南に寄った箇所にカマドを構築している。

床面はカマドの正面から中央部にロームを主体とする硬化面が広がっている。南壁沿いの中央でピット1本を確認した。貼床下は、中央部と北西、南東コーナーで大きく掘り込まれている。

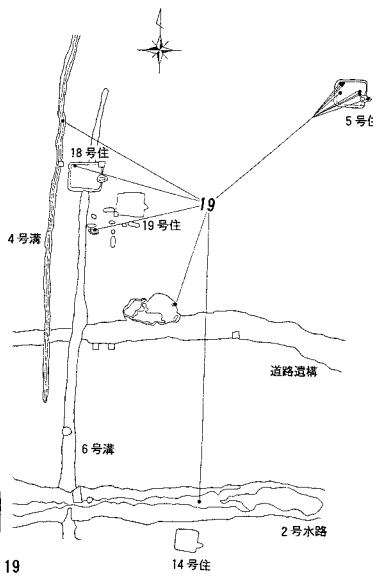
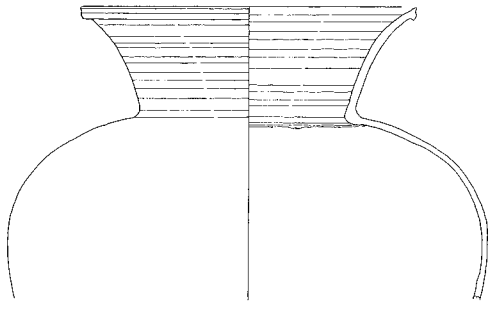
壁は僅かな傾斜を持って立ち上がり、壁高は20~25cmをはかる。壁に沿って幅10~20cm、深さ3~7cmの周溝が東壁を除き巡っている。

19の大甕は、35~37m離れた18号住居址、4号溝、2号集石土壙、51号土壙と57m離れた2号水路からの出土遺物と接合する。



5号住居址

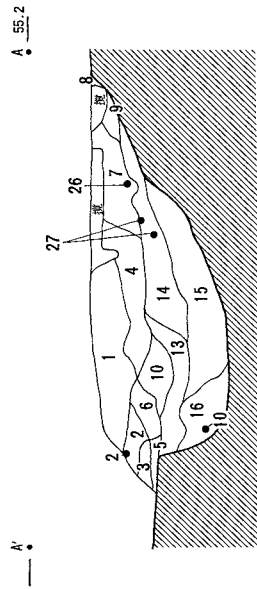
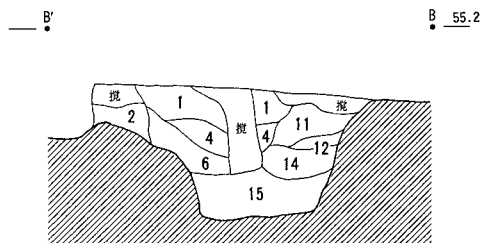
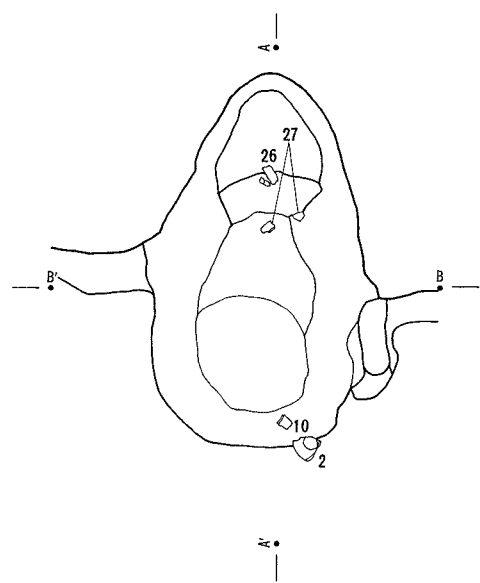
- 1層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子を微量含む。
- 2層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子を少量含む。
- 3層 暗黄褐色土 ローム粒子を多量に含む。
- 4層 暗赤褐色土 焼土粒子を多量に含む。
- 5層 暗褐色土 ローム粒子を少量含む。
- 6層 暗褐色土 焼土粒子を少量含む。
- 7層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子を微量含む。
- 8層 暗黄褐色土 ロームが主体。
- 9層 黄褐色土 ロームを多量に含む。
- 10層 暗黄褐色土 ロームを多量に含む。



第22図 5号住居址 (1/60)

カマド

カマドは東壁の中央から南に寄った箇所に位置する。小礫を含む粘土で造られている。規模は幅85cm、奥行145cmで、平面プランはV字状を呈する。壁外へは80cm掘り込んでいる。火床部は床面から30cm掘り下げ、幅45cm、奥行55cmをはかる。



5号住居址カマド

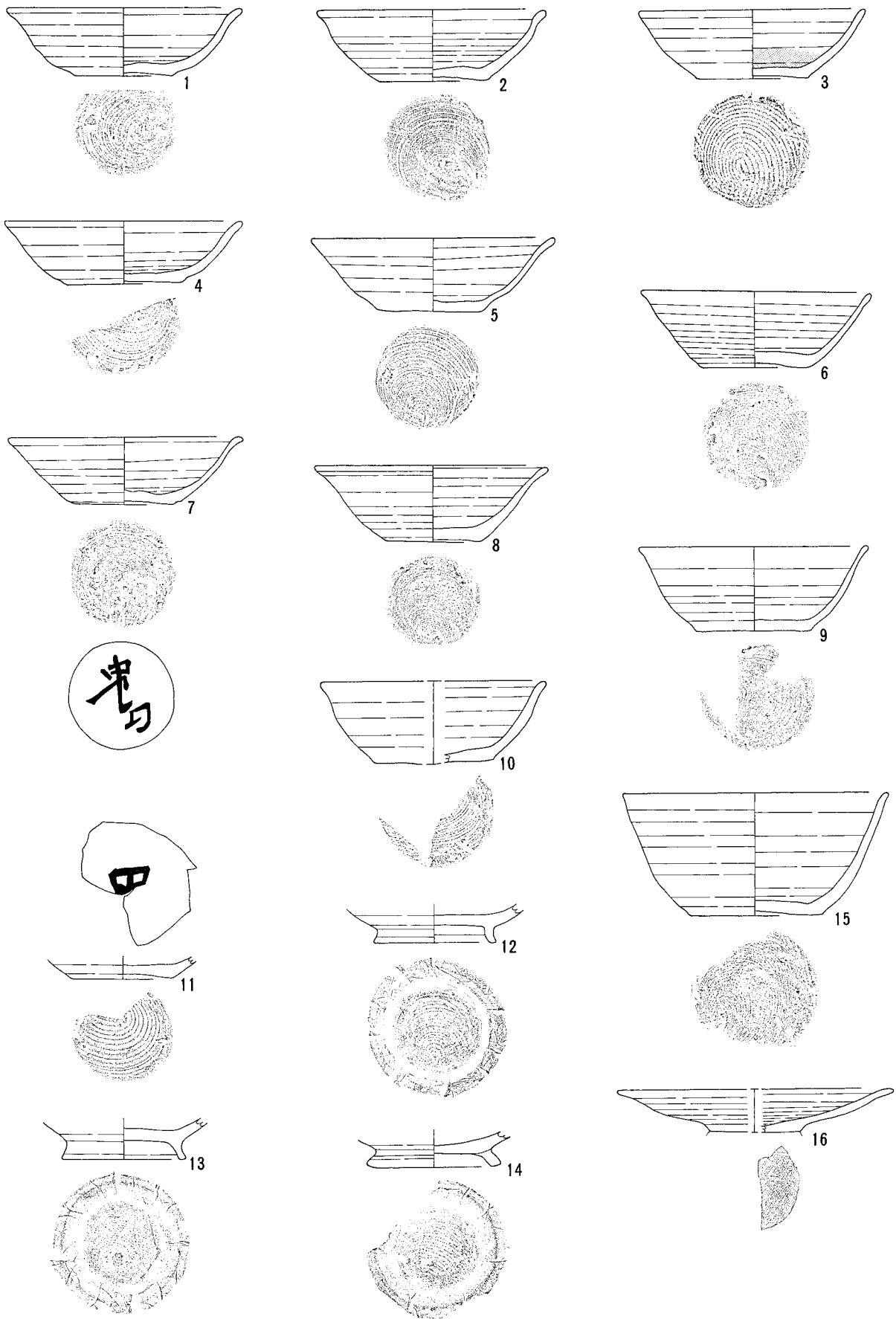
- 1層 明茶褐色土 粘土粒子を多量に含み、焼土粒子を少量含む。
- 2層 暗茶褐色土 焼土粒子を多量に含み、粘土粒子を含む。
- 3層 黒褐色土 粘土粒子、焼土粒子を少量含む。
- 4層 暗赤褐色土 粘土粒子、焼土を多量に含む。
- 5層 黒褐色土 焼土粒子を多量に含み、粘土粒子を含む。
- 6層 暗茶褐色土 粘土粒子を多量に含み、焼土粒子を少量含む。
- 7層 暗茶褐色土 粘土粒子を多量に含み、焼土粒子、ローム粒子を少量含む。
- 8層 暗茶褐色土 ローム粒子を多量に含む。
- 9層 暗褐色土 粘土粒子、ローム粒子を少量含み、焼土粒子を微量含む。
- 10層 明茶褐色土 粘土を多量に含み、焼土粒子を含む。
- 11層 暗褐色土 焼土粒子を少量含む。
- 12層 暗黄褐色土 ローム粒子を多量に含む。
- 13層 明茶褐色土 粘土粒子、焼土粒子を多量に含む。
- 14層 暗茶褐色土 焼土粒子を多量に含み、粘土粒子を含む。
- 15層 暗褐色土 ロームブロックを多量に含み、粘土粒子、焼土粒子を微量含む。
- 16層 暗褐色土 ロームブロックを多量に含む。

第23図 5号住居址カマド (1/30)

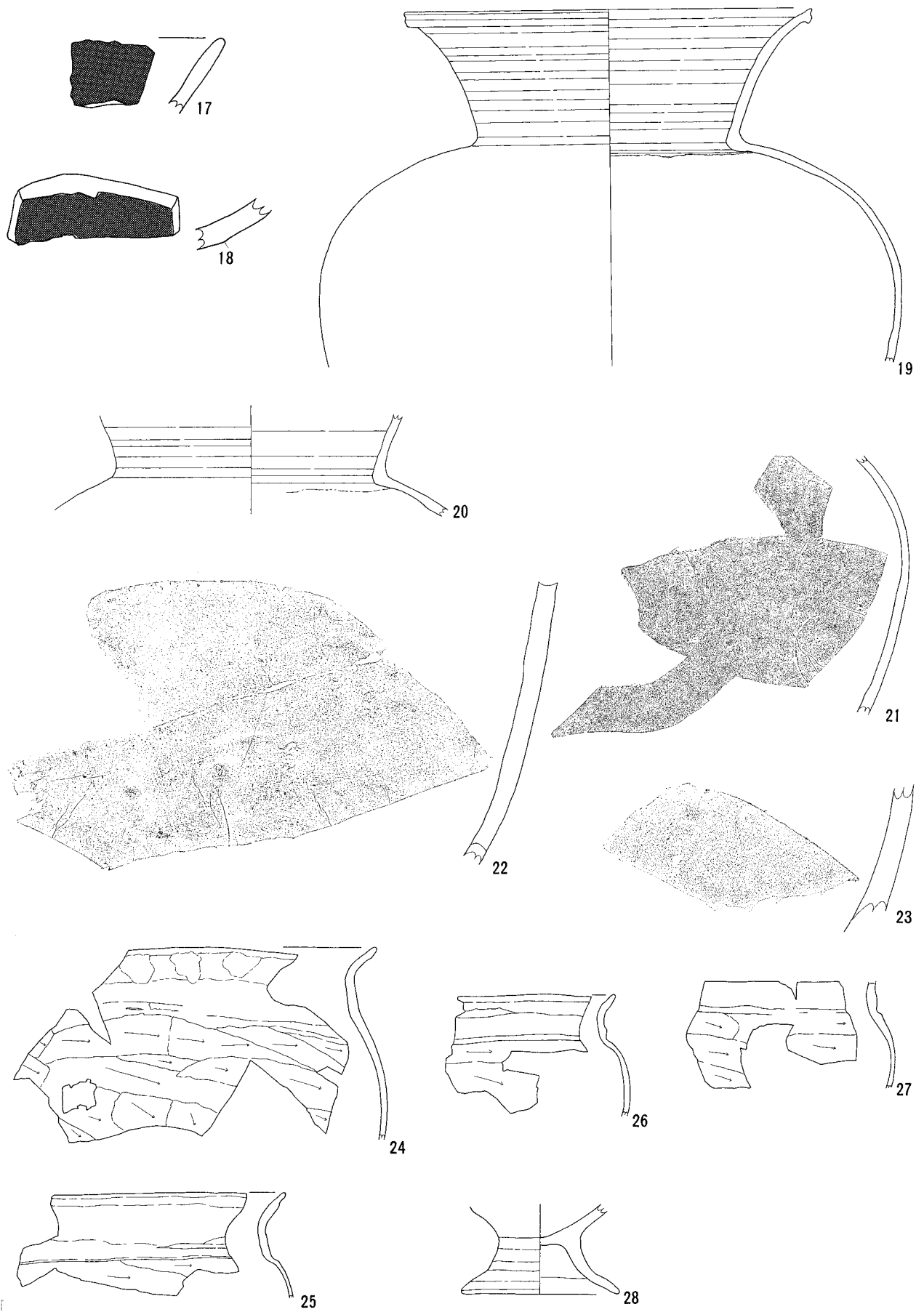
第18表 5号住居址出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 < >は既存値

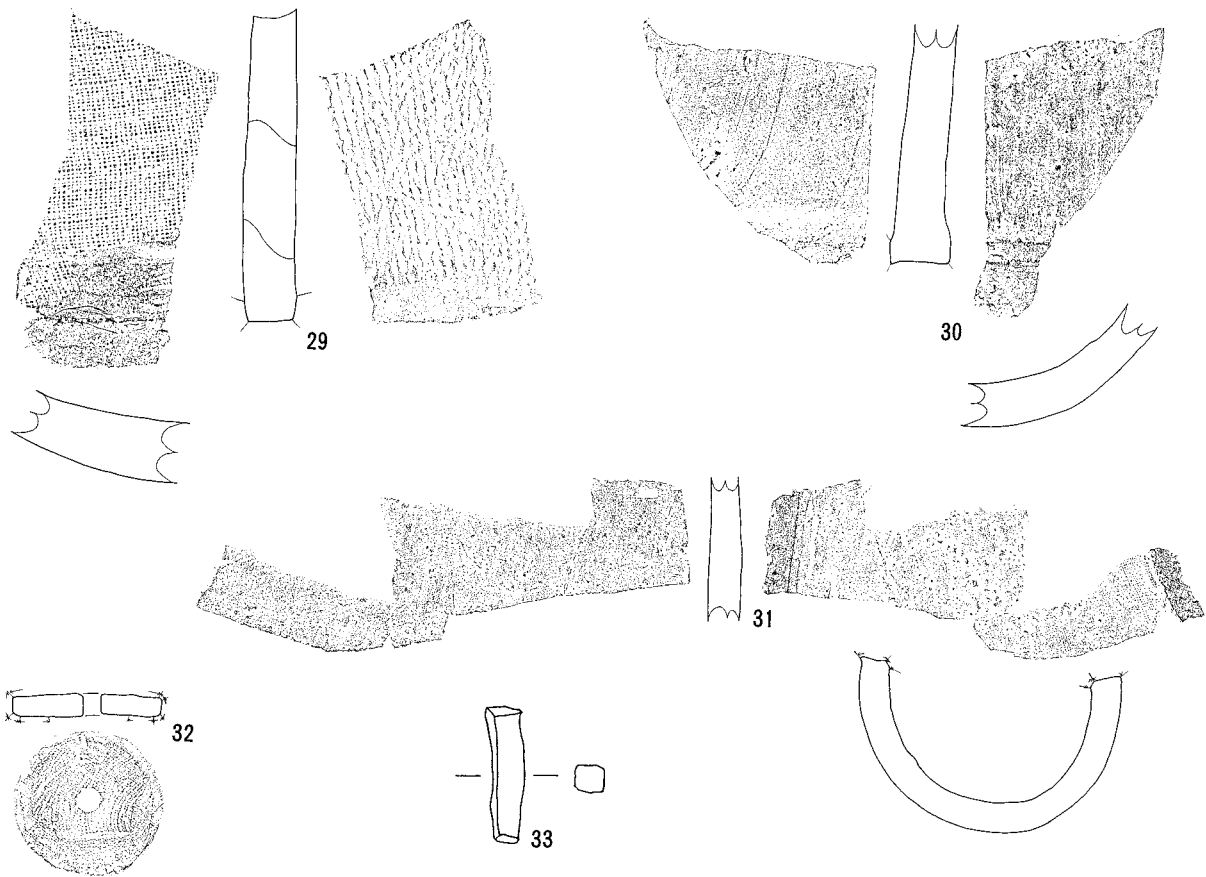
挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
1		坏	(12.4)	5.2	4.5	3.6	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は僅かに外反する。残存率50%。
2		坏	12.1	5.8	5.2	3.8	半還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は僅かに外反する。残存率50%。
3		坏	(11.9)	5.8	5.1	3.6	還元焰焼成	周溝出土。底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。底部の器内面に墨が残る。残存率60%。
4		坏	12.6	5.9	4.6	3.3	還元焰焼成	床面付近から出土。底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は僅かに外反する。残存率50%。
5		坏	12.8	5.5	5.4	3.8	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は外反する。残存率は50%。
6	34-6	坏	12.2	5.7	6.0	4.0	還元焰焼成	貼床下出土。底部は回転糸切り。ロクロ水挽き整形。残存率は100%。
7	34-7	坏	12.4	5.3	4.9	3.6	半還元焰焼成	貼床下出土。底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は外反する。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。底部外面に墨書が2文字。残存率100%。



第24图 5号住居址出土遺物 (1) (1/3)



第25図 5号住居址出土遺物 (2) (1/3) 但し、17、18は (1/2)、19~21は (1/6)



第26図 5号住居址出土遺物(3)(1/3) 但し、33は(2/3)

第19表 5号住居址出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 < >は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
8		坏	(12.3)	5.1	5.0	4.0	半還元焰焼成	底部は回転糸切り。ロクロ水挽き整形。口縁部は外反する。残存率は40%。
9		坏	12.0	6.0	5.3	4.5	半還元焰焼成	底部は回転糸切り。ロクロ水挽き整形。口縁部は僅かに外反する。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産である。残存率40%。
10		坏	12.0	(6.2)	6.0	4.4	還元焰焼成	カマド出土。底部は回転糸切り。ロクロ水挽き整形。体部は内彎し、口縁部は僅かに外反する。残存率60%。
11	34-11	坏	-	5.3	4.9	-	還元焰焼成	貼床下出土。底部は回転糸切り。ロクロ水挽き整形。器内面に「田」の墨書。
12		高台付坏	-	6.6	-	-	還元焰焼成	底部は回転糸切り後、高台を貼り付け。ロクロ水挽き整形。末野窯跡産と思われる。
13		高台付坏	-	6.6	-	-	還元焰焼成	床面直上出土。底部は回転糸切り後、高台を貼り付け。ロクロ水挽き整形。
14		高台付坏	-	7.1	-	-	半還元焰焼成	底部は回転糸切り後、高台を貼り付け。ロクロ水挽き整形。末野窯跡産と思われる。

第20表 5号住居址出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 < >は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
15		埴	(14.0)	7.0	5.9	6.5	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は僅かに外反する。残存率45%。
16		皿	(14.5)	(4.7)	-	2.3	還元焰焼成	底部は篋削り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は僅かに外反する。残存率20%。
17		坏	-	-	-	-	酸化焰焼成	口縁部の破片。器内外面にロクロ水挽き整形。内黒土器で、内面を丁寧に棒状工具で磨いている。
18		埴	-	-	-	-	酸化焰焼成	床面付近からの出土。器内外面にロクロ水挽き整形後、器外面に回転篋削り。内黒土器で、内面を丁寧に棒状工具で磨いている。
19		大甕	(43.8)	-	-	-	還元焰焼成	口縁部はロクロ整形。胴部の外面はナデ整形。内面は当て具痕が残る。その後、ナデ整形。口縁部内外面と肩部外面に自然釉。
20		大甕	-	-	-	-	還元焰焼成	口縁部はロクロ整形。胴部の外面はナデ整形。内面は当て具痕が残るがナデ整形。口縁部外面と肩部外面に自然釉。
21		大甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器内面に当て具痕が残る。器内外面にはナデ整形。外面に自然釉。23と同一個体と思われる。
22		大甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器内面に当て具痕が残る。器内外面にはナデ整形。外面に自然釉。
23		大甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器内面に当て具痕が残る。器内外面にはナデ整形。外面に自然釉。21と同一個体と思われる。
24		甕	-	-	-	-	土師器	口縁部の内外面に横ナデ。胴部外面に横、斜め方向の篋削り。
25		台付甕	-	-	-	-	土師器	床面直上出土。口縁部はコの字。口縁部内外面に横ナデ。胴部外面に横方向の篋削り。
26		台付甕	-	-	-	-	土師器	カマドから出土。口縁部はコの字。口縁部内外面に横ナデ。胴部外面に横方向の篋削り。
27		台付甕	-	-	-	-	土師器	カマドから出土。口縁部の内外面に横ナデ。胴部外面に横方向の篋削り。
28		台付甕	-	8.5	-	-	土師器	床面直上出土。脚部の内外面にナデ整形。
29		平瓦	-	-	-	-	還元焰焼成	床面直上出土。凹面に布目痕、凸面に縄叩き。端面及び凹凸面端部に篋削り。
30		丸瓦	-	-	-	-	還元焰焼成	周溝から出土。凹面に布目痕、凸面は縦方向の篋整形。端面及び凹凸面端部に篋削り。自然釉が付着。
31		丸瓦	-	-	-	-	還元焰焼成	凹面に布目痕、凸面は縦方向の篋整形。側面及び凹凸面側部に篋削り。自然釉が付着する。

単位はcm ()は推定値 ()は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
32	34-32	紡錘車	-	5.8	-	-	還元焰焼成	貼床下出土。須恵器坏の底部の転用品。周辺部、両面を丁寧に磨いて整形している。中心に径1cmの穴を穿孔している。重さ40g。胎土に白色針状物質を含む。完形。

挿図番号	図版番号	種類	長さ	幅	厚み	観察・特徴		
33		釘	<2.7>	-	0.6	断面は方形。先端部、頭部を欠損。		

6号住居址

規模は東西4.4m、南北4.15mをはかり、主軸方位はN-84°-Eである。平面プランは方形を呈する。東壁の中央からやや南寄りにカマドを構築している。

床面は周溝際を除き、硬化面が広がっている。貼床下は住居址の中央を除き、大きく掘り下げられている。貼床下から径が20~35cmをはかるピットが南壁沿いの中央で3本、北壁沿い中央で3本確認した。その他に、中央からやや南に寄った位置で長軸110cm、短軸85cmの土壇状の落ち込みを検出した。

壁は僅かな傾斜を持ち立ち上がり、壁高は10~15cmをはかる。壁に沿って幅10~30cm、深さ10~24cmの周溝が東壁を除き巡っている。

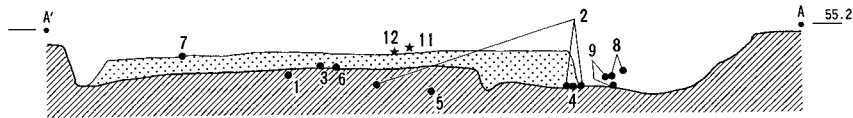
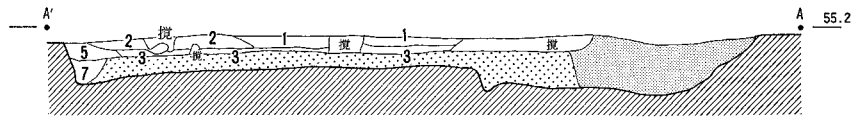
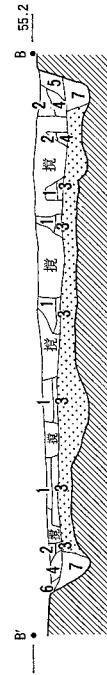
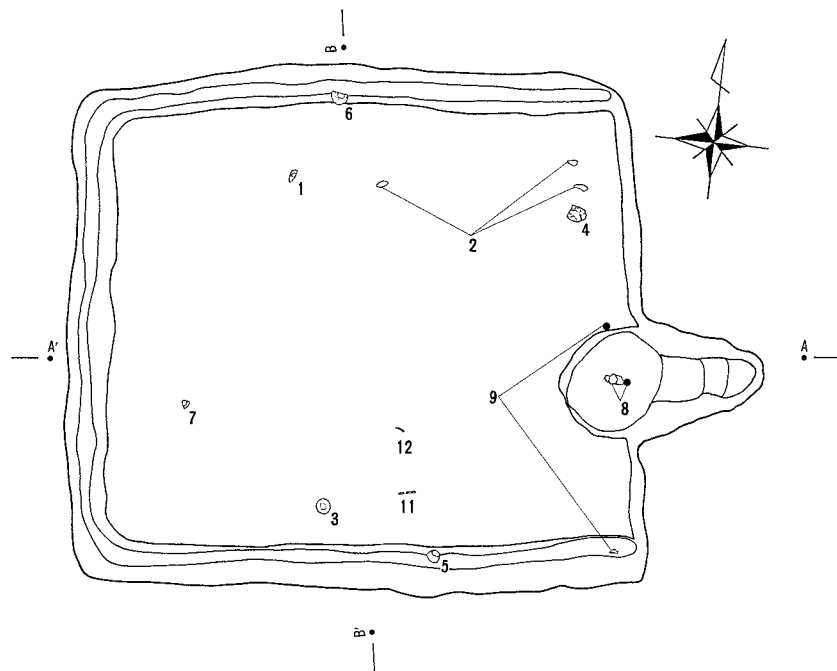
カマド

カマドは東壁の中央より僅かに南寄りに位置する。規模は幅90cm、奥行160cmで、平面プランはV字状を呈する。壁外へは96cm掘り込んでいる。火床部は床面から20cm掘り下げ、径が約80cmの不整円形を呈する。

第21表 6号住居址出土遺物観察表

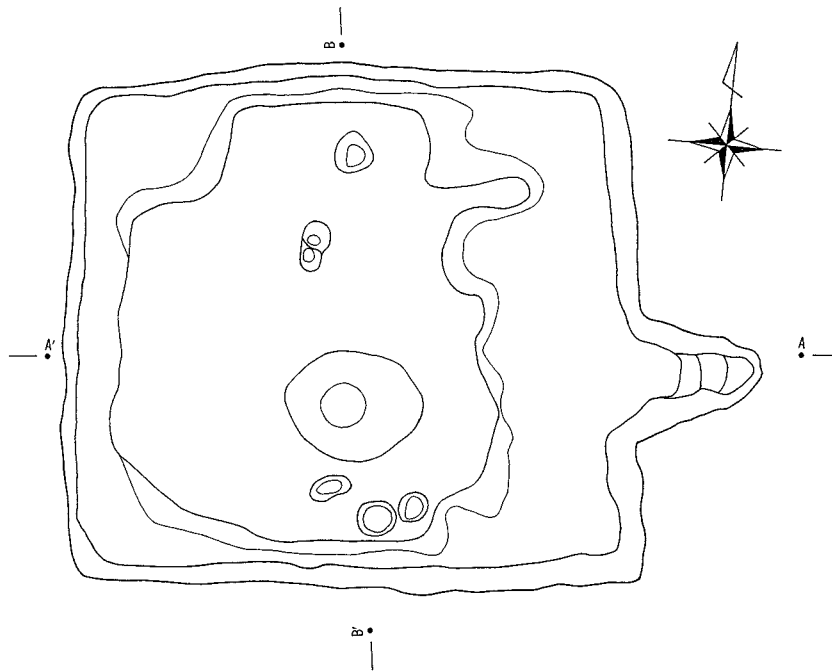
単位はcm ()は推定値 ()は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
1		蓋	(16.6)	-	-	-	還元焰焼成	貼床下出土。器内外面にロクろ水挽き整形後、器外面天井部に回転篋削り。残存率45%。
2		蓋	(12.7)	-	-	-	還元焰焼成	貼床下出土。器内外面にロクろ水挽き整形。残存率40%。
3	34-3	坏	12.5	6.0	6.1	3.8	還元焰焼成	貼床下出土。底部は回転糸切り。器内外面にロクろ水挽き整形。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。完形。
4	34-4	坏	12.6	6.5	6.4	3.7	還元焰焼成	貼床下出土。底部は回転糸切り。器内外面にロクろ水挽き整形。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。残存率50%。
5	34-5	坏	12.7	7.0	6.5	3.8	還元焰焼成	貼床下出土。底部は回転糸切り。器内外面にロクろ水挽き整形。口縁部は僅かに外反する。残存率90%。
6	34-6	坏	(12.3)	6.5	6.3	3.2	還元焰焼成	貼床下出土。底部は回転糸切り。器内外面にロクろ水挽き整形。残存率50%。
7		坏	-	(6.5)	-	-	還元焰焼成	床面直上出土。底部は回転糸切り。器内外面にロクろ水挽き整形。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。

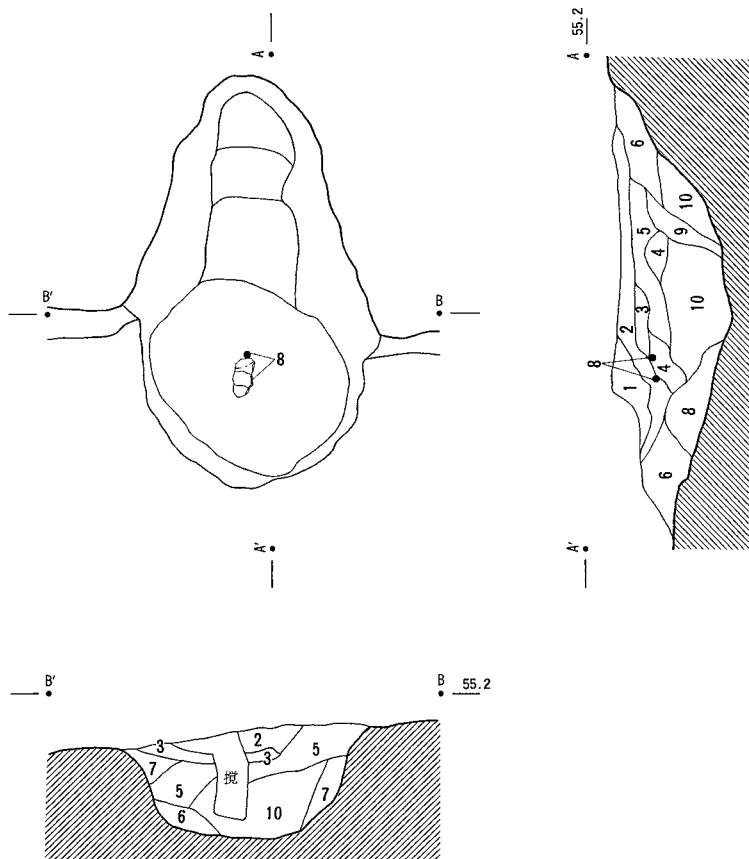


6号住居址

- 1 層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子を微量含む。
- 2 層 暗褐色土 焼土粒子を少量含み、ローム粒子を微量含む。
- 3 層 暗褐色土 ローム粒子を少量含み、焼土粒子を微量含む。
- 4 層 暗褐色土 ローム粒子を少量含む。
- 5 層 明褐色土 ローム粒子を多量に含む。
- 6 層 暗黄褐色土 ローム粒子を多量に含む。
- 7 層 暗褐色土 ローム粒子を含む。



第27図 6号住居址 (1/60) 貼床下 (1/60)



6号住居址カマド

- 1層 暗褐色土 焼土粒子を微量含む。
- 2層 暗褐色土 焼土粒子を少量含む。
- 3層 暗褐色土 焼土粒子、ローム粒子を少量含み、炭化物粒子を微量含む。
- 4層 暗褐色土 焼土粒子を少量含み、炭化物粒子を微量含む。
- 5層 暗赤褐色土 焼土粒子を多量に含み、炭化物粒子を少量含む。
- 6層 暗茶褐色土 ローム粒子を少量含み、焼土粒子を微量含む。
- 7層 暗黄褐色土 ローム粒子を多量に含み、焼土粒子を微量含む。
- 8層 暗茶褐色土 焼土粒子、炭化物粒子を少量含み、ローム粒子を微量含む。
- 9層 暗赤褐色土 焼土粒子を少量含む。
- 10層 暗茶褐色土 焼土粒子を少量含み、ローム粒子を微量含む。

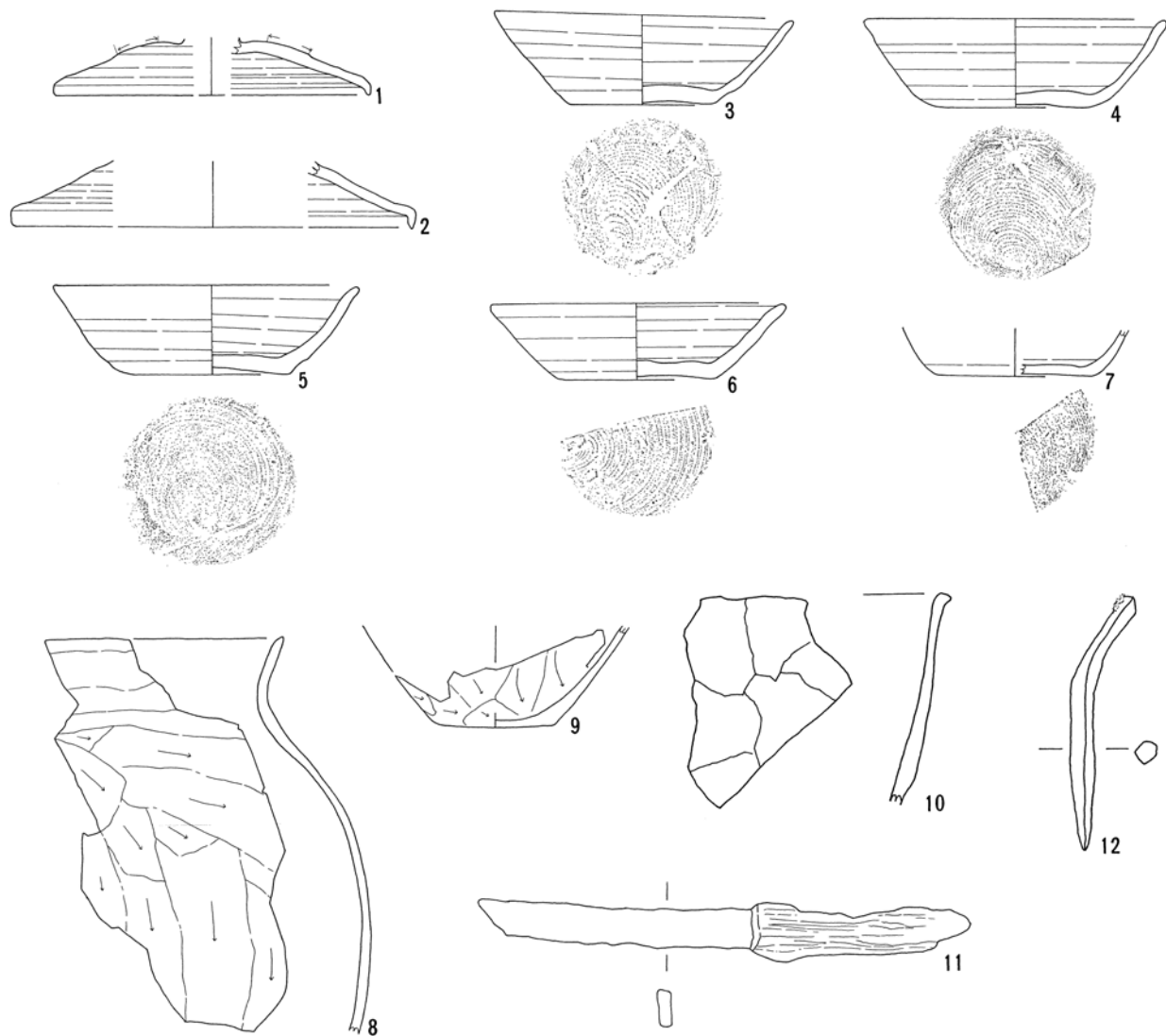
第28図 6号住居址カマド (1/30)

第22表 6号住居址出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 < >は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
8		甕	-	-	-	-	土師器	カマドから出土。口縁部はくの字。口縁部の内外面に横ナデ、胴部外面に横、斜め方向の篋削り。
9		甕	-	5.0	-	-	土師器	貼床下出土。胴部外面に縦、斜め方向の篋削り。

挿図番号	図版番号	種類	長さ	幅	厚み	観察・特徴
10	34-10	鉢	<4.5>	<3.5>	0.2~0.4	鉄鉢。口縁部の破片。
11	34-11	刀子	<13.7>	1.1	0.4	床面直上出土。切先を欠損。関付近の刃部断面は方形。柄の木部が6cm残る。
12		釘	<5.5>	0.4	0.4	床面直上出土。頭部を欠損。断面は方形。



第29図 6号住居址出土遺物 (1/3) 但し、10、12は (2/3) 11は (1/2)

7号住居址

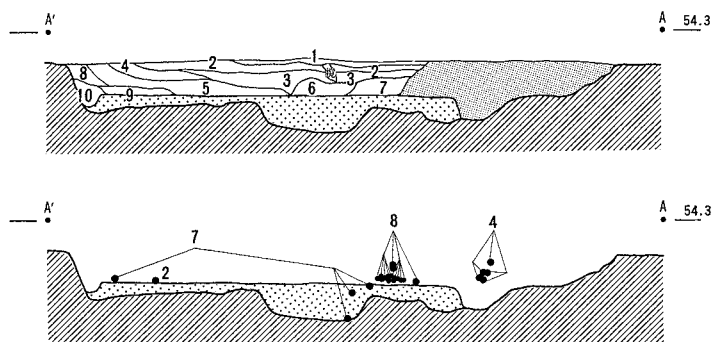
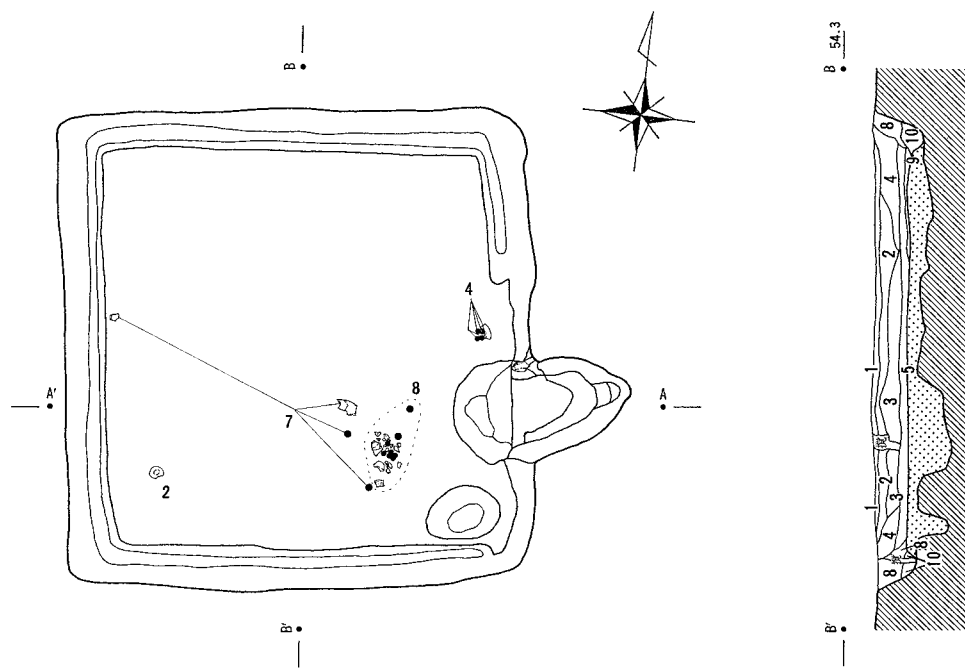
規模は東西3.65m、南北3.8mをはかり、主軸方位はN-82.5°-Eである。平面プランは方形を呈する。東壁の中央からやや南寄りにカマドを構築している。南東コーナーで長軸60cm、短軸40cm、深さ7cmの土壙を検出した。

床面は四隅を除き、硬化面が広がっている。貼床下は住居址の中央で土壙状の落ち込み1基、ピットを南壁沿いの中央で2本、カマドの左側で1本確認した。

壁は僅かな傾斜を持って立ち上がり、壁高は22~28cmをはかる。壁に沿って幅10~20cm、深さ約10cmの周溝がカマドを除き巡る。

カマド

カマドは東壁の中央よりやや南寄りに位置する。規模は幅85cm、奥行140cmで、平面プランは細長いU字状を呈する。壁外へは78cm掘り込んでいる。火床部は床面から16cm掘り下げ、幅60cm、奥行20cmをはかる。



7号住居址

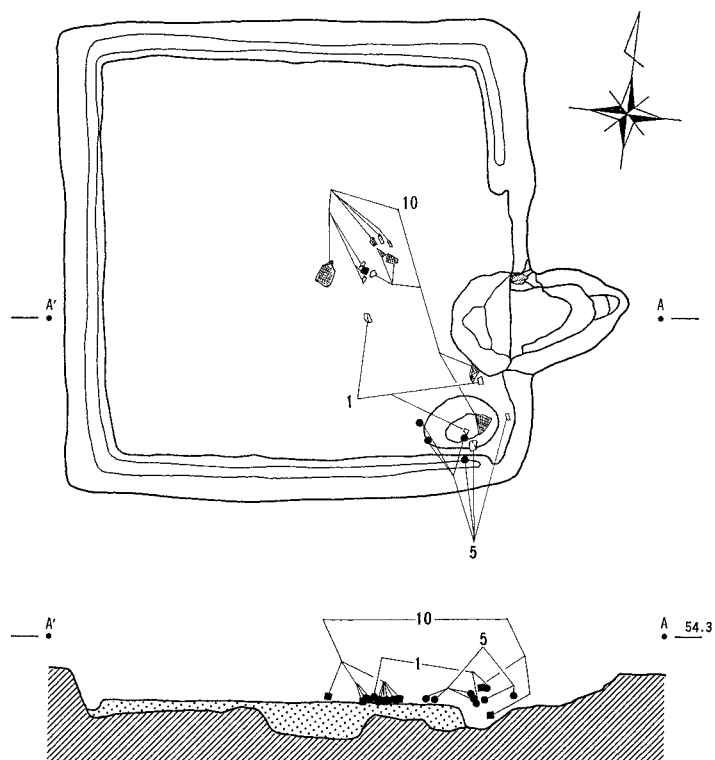
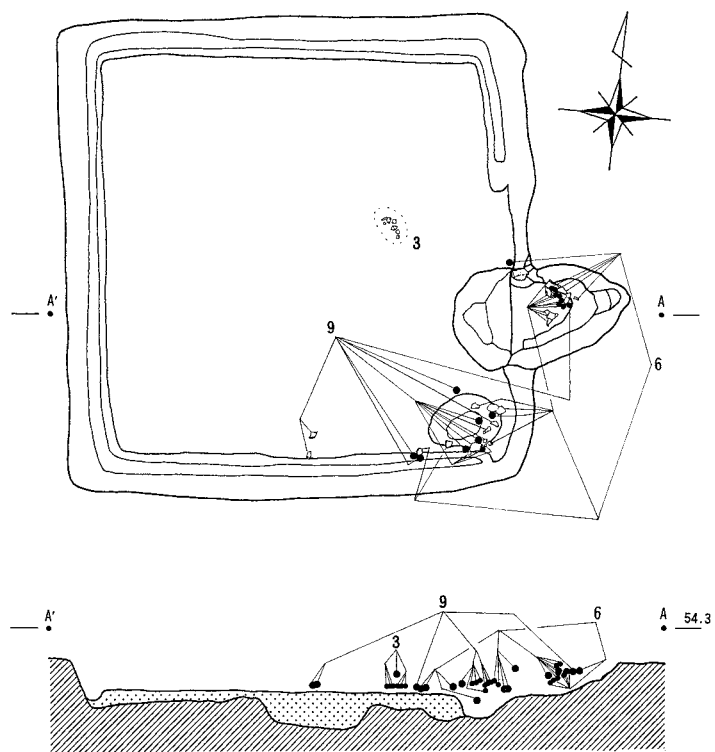
- 1層 暗黒褐色土 ローム粒子、焼土粒子を極微量含む。
- 2層 暗黒褐色土 ローム粒子を微量含み、焼土粒子、炭化物粒子を極微量含む。
- 3層 暗褐色土 ローム粒子を少量含み、焼土粒子、炭化物粒子を極微量含む。
- 4層 暗褐色土 ローム粒子、炭化物粒子を微量含む。
- 5層 暗褐色土 ローム粒子、ロームブロックを微量含む。
- 6層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子、炭化物を少量含む。
- 7層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子、炭化物を少量含み、焼土小ブロックを微量含む。
- 8層 暗褐色土 ローム粒子を多量に含む。
- 9層 暗黄褐色土 ローム粒子を多量に含む。
- 10層 暗褐色土 ローム粒子を少量含む。

第30図 7号住居址 (1) (1/60)

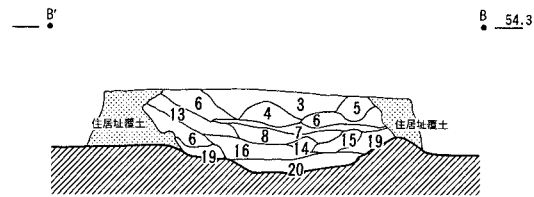
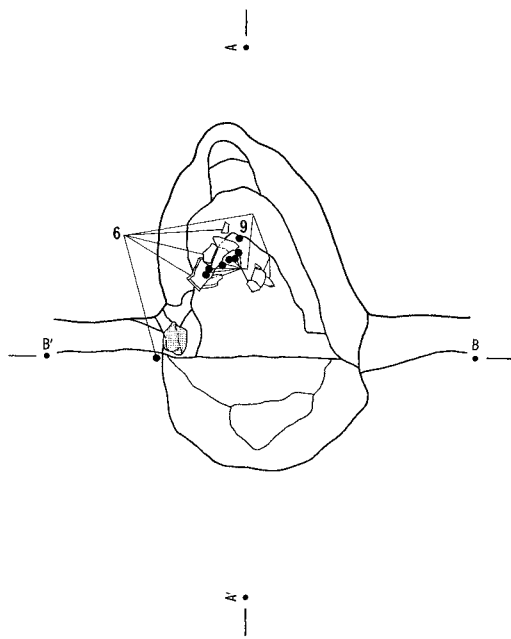
第23表 7号住居址出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 < >は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
1		坏	(11.8)	5.8	5.1	3.9	半還元焰焼成	床面付近から出土。底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。残存率55%。
2	35-2	坏	12.1	5.8	5.1	3.9	還元焰焼成	床面直上出土。底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。残存率95%。
3		坏	12.7	6.7	5.0	4.1	半還元焰焼成	床面付近から出土。底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は外反する。残存率50%。

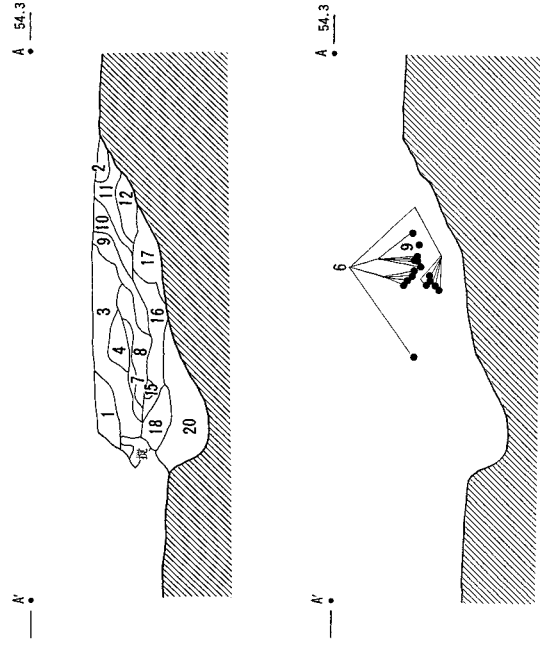


第31图 7号住居址 (2) (1/60)



7号住居址カマド

- 1層 暗褐色土 ローム粒子を微量含む。
- 2層 暗黄褐色土 粘土粒子を少量含む。
- 3層 暗褐色土 ローム粒子を微量含む、焼土粒子、炭化物粒子を極微量含む。
- 4層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子、粘土粒子を微量含む、炭化物粒子を極微量含む。
- 5層 暗褐色土 ローム粒子を少量含む、炭化物粒子を極微量含む。
- 6層 暗褐色土 粘土粒子を少量含む、ローム粒子、焼土粒子を微量含む。
- 7層 暗黄茶褐色土 粘土粒子を多量に含む、焼土粒子を微量含む。



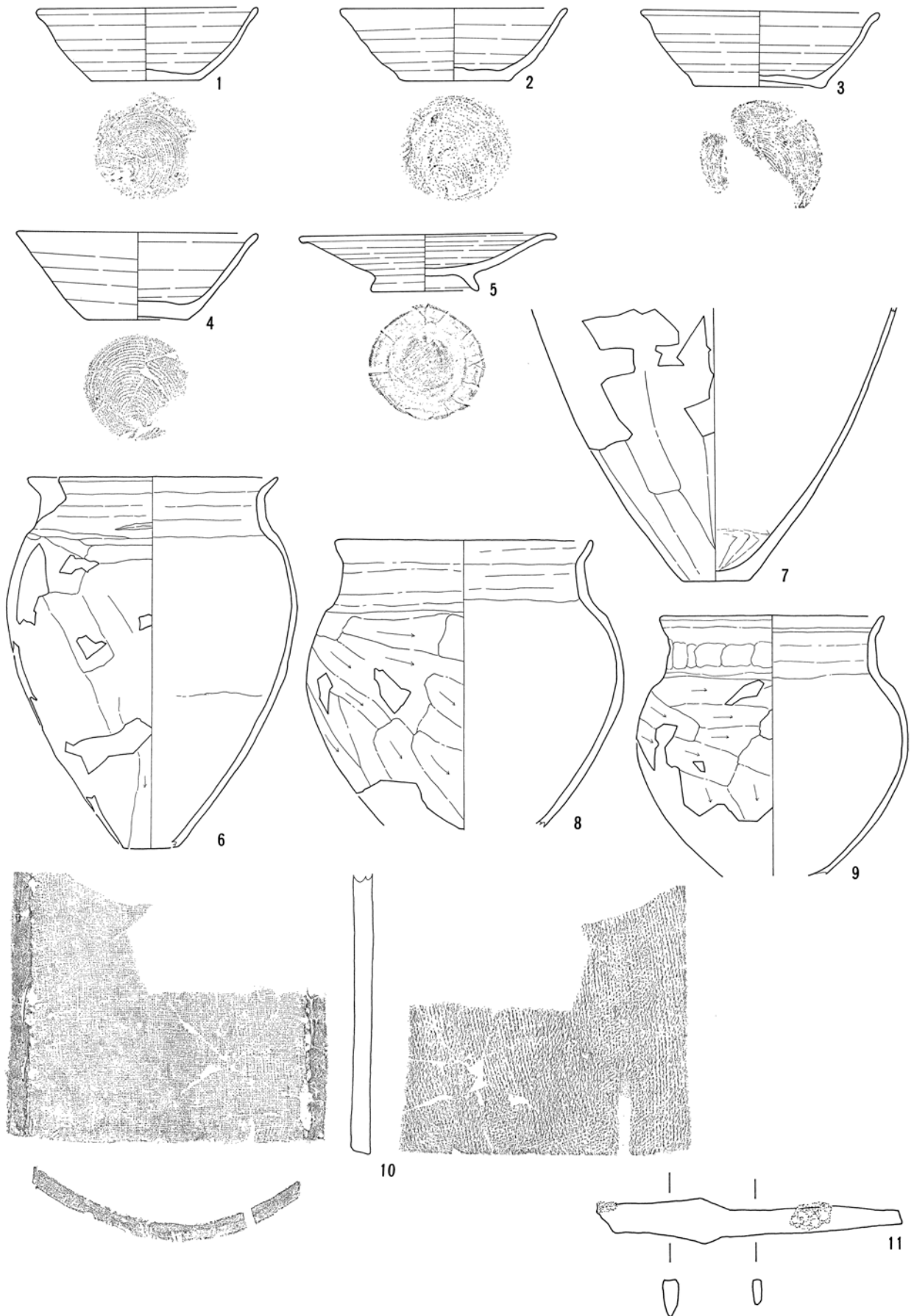
- 8層 暗黄茶褐色土 粘土粒子を多量に含む、焼土粒子を少量含む。
- 9層 暗褐色土 炭化物粒子を少量含む、ローム粒子、焼土粒子を微量含む。
- 10層 暗赤褐色土 焼土粒子を多量に含む、焼土ブロックを少量含む、粘土粒子、炭化物粒子を極微量含む。
- 11層 暗褐色土 焼土ブロック、粘土粒子を微量含む。
- 12層 暗褐色土 粘土粒子を少量含む、焼土粒子、炭化物粒子を微量含む。
- 13層 暗褐色土 焼土ブロックを微量含む、焼土粒子、炭化物粒子を極微量含む。
- 14層 暗黄褐色土 ロームを多量に含む。
- 15層 暗黄茶褐色土 粘土粒子を多量に含む、焼土ブロックを微量含む。
- 16層 暗黒褐色土 焼土粒子、粘土粒子を少量含む、ロームを微量含む。
- 17層 暗黒褐色土 ローム粒子を少量含む。
- 18層 暗黒褐色土 炭化物粒子を少量含む、ローム粒子、焼土粒子を微量含む。
- 19層 暗黄褐色土 ローム粒子を多量に含む、粘土粒子を少量、焼土粒子を極微量含む。
- 20層 暗褐色土 ローム粒子を少量含む、焼土粒子を極微量含む。

第32図 7号住居址カマド (1/30)

第24表 7号住居址出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 ()は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
4	35-4	坏	12.8	5.4	5.0	4.7	半還元焰焼成	床面付近から出土。底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は僅かに外反する。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。底部外面に墨書が見られるが判読できない。
5	35-5	高台付皿	13.7	5.5	-	3.0	還元焰焼成	貯蔵穴付近出土。底部は回転糸切り後に高台を貼り付け。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は外反する。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産である。残存率90%。



第33図 7号住居址出土遺物 (1/3) 但し、10は (1/6) 11は (2/3)

第25表 7号住居址出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 ()は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
6	35-6	甕	(17.8)	-	-	26.3	土師器	カマドから出土。口縁部はコの字を呈する。口縁部の内外面に横ナデ。胴部外面に横、斜め、縦方向の篋削りを行っている。残存率60%。
7		甕	-	3.5	-	-	土師器	貼床下出土。胴部外面に縦、斜め方向の篋削り。
8	35-8	台付甕	13.8	-	-	-	土師器	床面付近から出土。口縁部はコの字を呈するが、口縁部の外反が弱い。口縁部の内外面に横ナデ。胴部外面に横、斜め方向の篋削り。脚部を欠損。
9	35-9	台付甕	11.9	-	-	-	土師器	床面付近から出土。口縁部はコの字を呈する。口縁部の内外面に横ナデ。胴部外面に横、縦、斜め方向の篋削り。脚部を欠損。
10	35-10	平瓦	-	-	-	-	還元焰焼成	凹面に布目痕、凸面に縄叩き。端面及び側面に篋削り。幅は26.2cm。

挿図番号	図版番号	種類	長さ	幅	厚み	観察・特徴
11		刀子	(8.2)	1.2	0.7~0.9	切先、茎尻を欠損。関は両関造り、刃部は平造り。

8号住居址

8号住居址は9号住居址と東側で僅かに重複し、新旧関係は8号住居址が新しく、9号住居址が古い。本住居址の規模は東西3.85m、南北3mをはかり、主軸方位はN-3°-Eである。平面プランは東西に長い方形を呈する。カマドは北壁のほぼ中央と東壁の中央で検出し、北カマドが新しく、東カマドが古い。北カマドの左側の床面から、長さ10~40cmの炭化材が出土している。

南東コーナーで長軸75cm、短軸50cm、深さ24cmの土壙を検出した。南壁の中央付近では柱穴を3本検出した。P1は径18cm、深さ4cm、P2は径20cm、深さ25cm、P3は径15cm、深さ1cmをはかる。

床面は中央より西側が残るが、東側は攪乱が入り遺存状態は良くない。貼床下は浅い凹凸が見られる。また、南壁沿いに7本のピットを検出した。

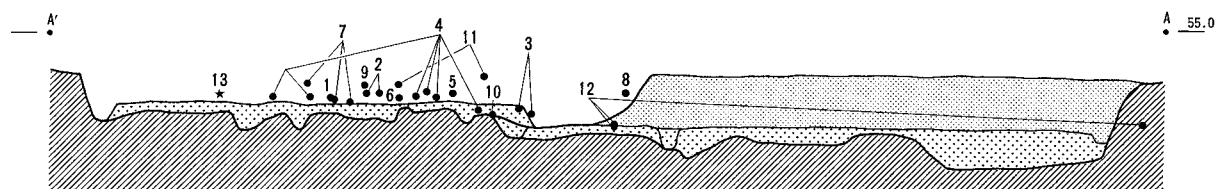
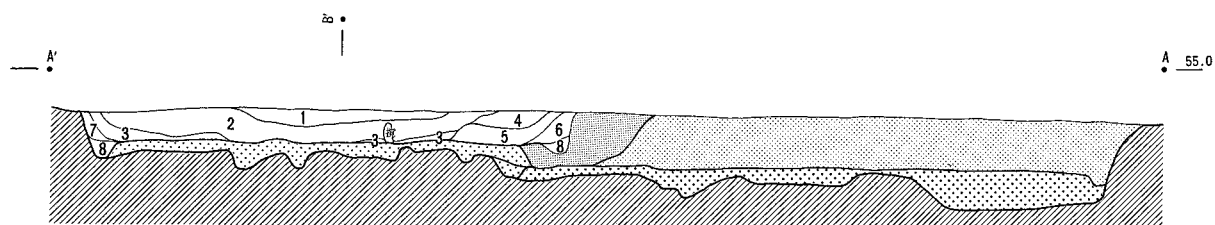
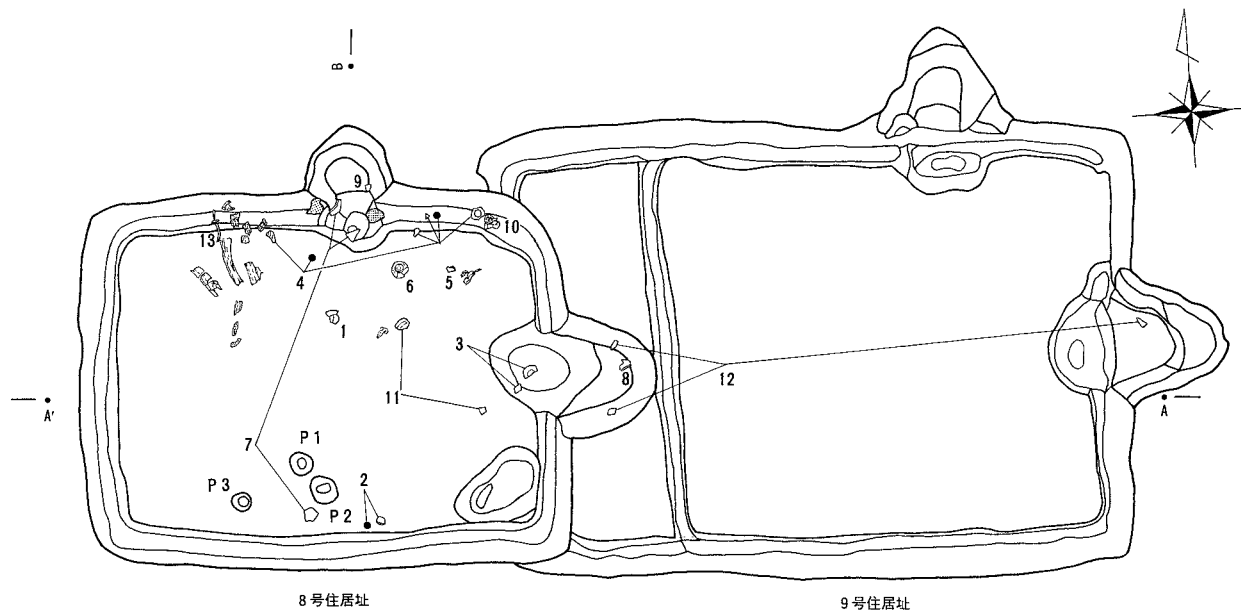
壁は僅かな傾斜を持って立ち上がり、壁高は20cmをはかる。壁に沿って幅10~20cm、深さ10~15cmの周溝が北カマドを除き巡っている。

北カマド

カマドは北壁のほぼ中央に位置している。カマド袖の基礎に用いられた礫が火床部を挟んで、左右に出土している。規模は幅75cm、奥行100cmで、平面プランはU字状を呈する。壁外へは約100cm掘り込んでい。火床部は床面から20cm掘り込み、幅35cm、奥行45cmをはかる。

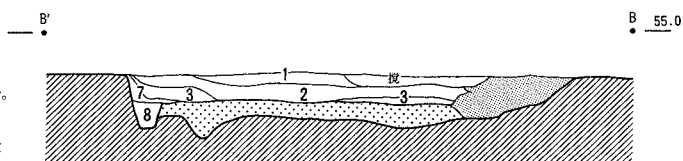
東カマド

カマドは東壁のほぼ中央に位置する。規模は幅100cm、奥行130cmで、平面プランはU字状を呈する。壁外へは70cm掘り込んでい。火床部は床面から30cm掘り下げ、幅35cm、奥行45cmをはかる。



8号住居址

- 1層 暗黒褐色土 ローム粒子を極微量含む。
- 2層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子を微量含む。
- 3層 暗褐色土 ローム粒子を微量含み、ロームブロックを極微量含む。
- 4層 暗褐色土 焼土粒子を微量含み、ローム粒子を極微量含む。
- 5層 暗褐色土 焼土粒子、粘土粒子を微量含み、ローム粒子を極微量含む。
- 6層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子を極微量含む。
- 7層 暗褐色土 ローム粒子を少量含み、ロームブロックを微量含む。
- 8層 暗褐色土 焼土粒子、炭化物粒子を微量含む。

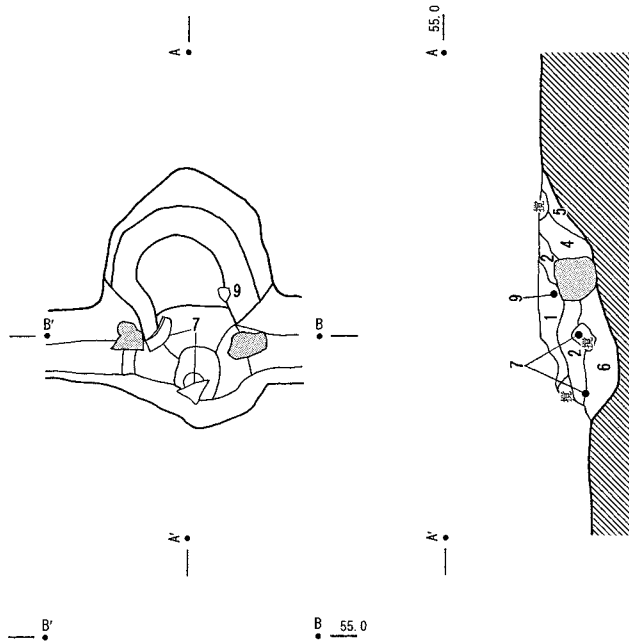


第34図 8号住居址 (1/60)

第26表 8号住居址出土遺物観察表

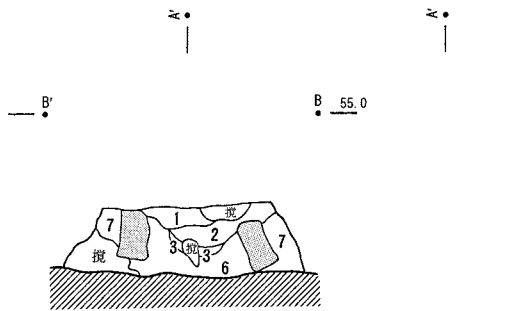
単位はcm ()は推定値 < >は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
1	35-1	坏	11.8	5.4	4.4	4.7	半還元焰焼成	床面付近から出土。底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。残存率100%。
2		坏	11.8	5.6	4.8	4.4	半還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。残存率60%。



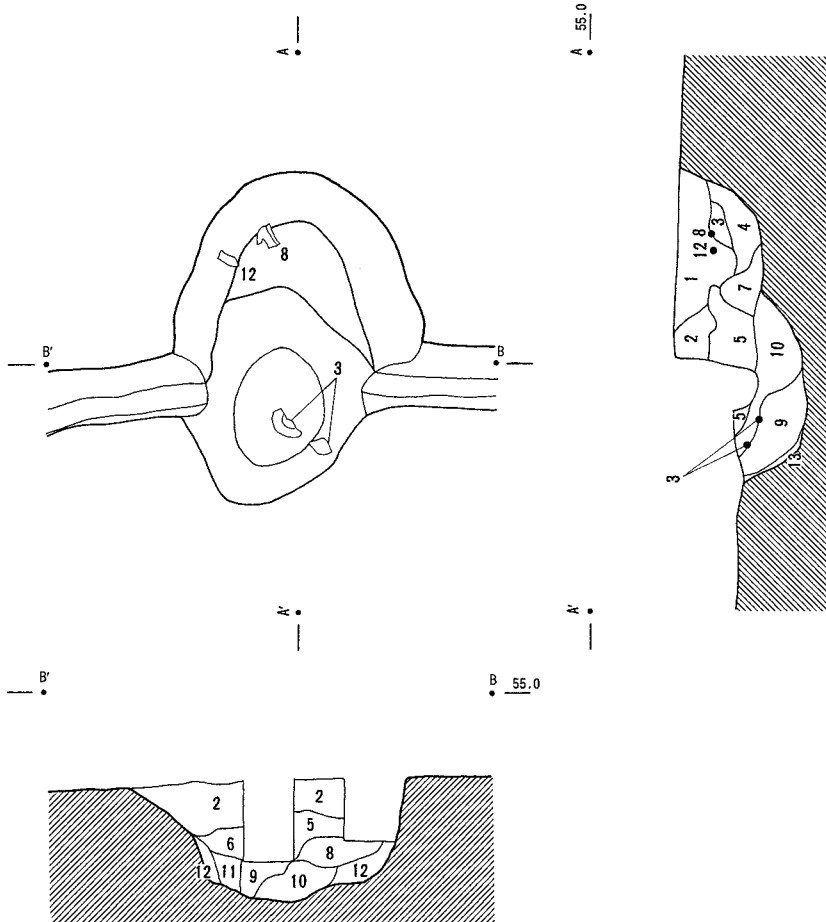
8号住居址北カマド

- 1層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子を極微量含む。
- 2層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子、焼土ブロックを微量含む。
- 3層 暗赤褐色土 焼土粒子を少量含む、ローム粒子を微量含む。
- 4層 暗赤褐色土 焼土粒子、焼土ブロックを少量含む。
- 5層 暗黄褐色土 ローム粒子を多量に含む。
- 6層 暗褐色土 ローム粒子を多量に含む。
- 7層 暗黄褐色土 ローム、ローム粒子を多量に含む。

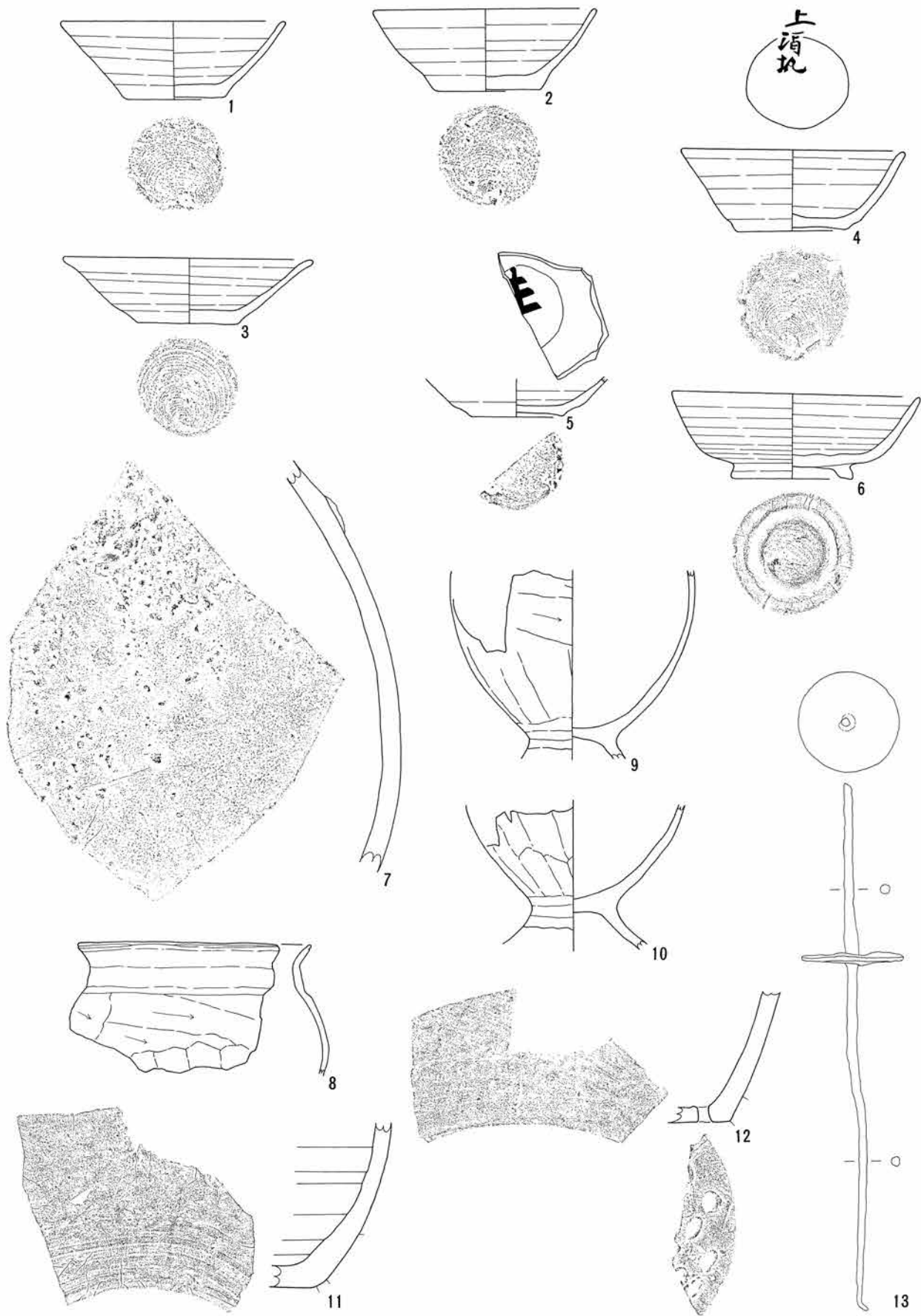


8号住居址東カマド

- 1層 暗黒褐色土 ローム粒子、焼土粒子を極微量含む。
- 2層 暗黒褐色土 ローム粒子、焼土粒子、粘土粒子を極微量含む。
- 3層 暗茶褐色土 粘土粒子を少量含む。
- 4層 暗褐色土 焼土粒子を微量含む、ローム粒子を極微量含む。
- 5層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子を微量含む。
- 6層 暗褐色土 焼土粒子を微量含む、ローム粒子を極微量含む。
- 7層 暗褐色土 焼土粒子を少量含む、粘土粒子を微量含む。
- 8層 暗褐色土 焼土粒子、ローム粒子を極微量含む。
- 9層 暗茶褐色土 焼土粒子、粘土粒子を少量含む、ローム粒子を微量含む。
- 10層 暗褐色土 ローム粒子を少量含む、焼土粒子を微量含む。
- 11層 暗茶褐色土 ローム粒子、炭化物粒子、粘土粒子を微量含む。
- 12層 明褐色土 ローム粒子を多量に含む。
- 13層 暗褐色土 ローム粒子を多量に含む。



第35図 8号住居址北カマド 東カマド (1/30)



第36图 8号住居址出土遺物 (1/3)

第27表 8号住居址出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 ()は既存値

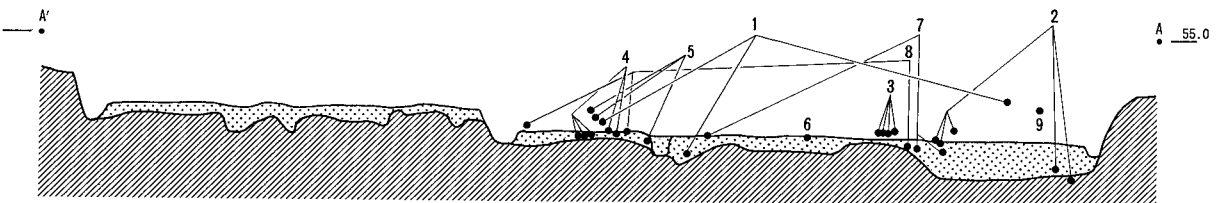
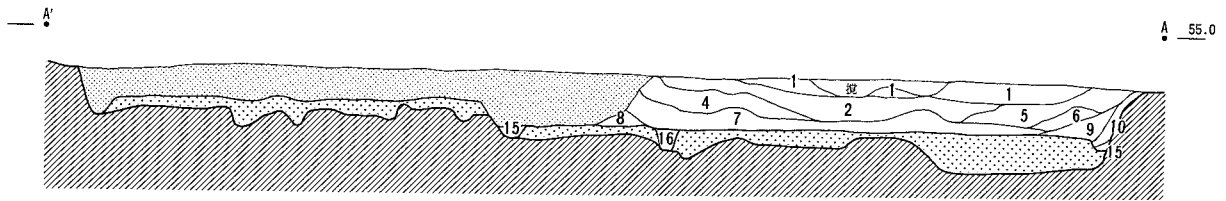
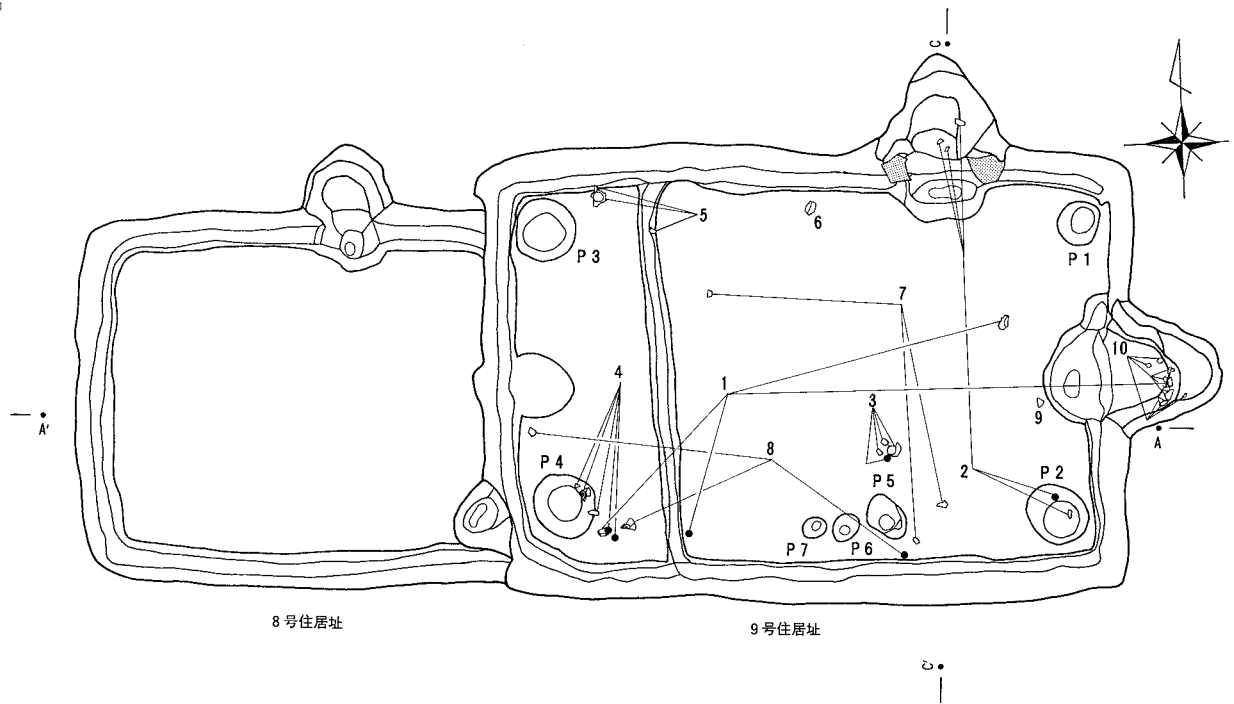
挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
3	35-3	坏	13.3	5.4	5.0	3.5	還元焰焼成	東カマドから出土。底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は僅かに外反。残存率70%。
4	35-4	坏	11.9	5.9	5.5	4.4	還元焰焼成	床面付近出土。底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。器内面と体部下端にかけて「上清地」の墨書。残存率80%。
5		坏	-	(5.0)	-	-	還元焰焼成	床面付近から出土。底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。器内面の底部に「主」の墨書。
6	35-6	高台付坏	11.7~ 13.3	6.4	7.9	4.5	還元焰焼成	床面付近から出土。底部は回転糸切り後に高台を貼り付けている。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は大きく歪んでいる。完形。
7		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器内面に当て具痕が残る。器内面にはナデ整形。器外面に自然釉。
8		台付甕	-	-	-	-	土師器	東カマドから出土。口縁部はコの字を呈する。口縁部の内外面に横ナデ。胴部外面に斜め方向の篋削り。
9		台付甕	-	-	-	-	土師器	北カマドから出土。胴部外面は縦、斜め方向に篋削り。脚部接合箇所にはナデ整形。
10		台付甕	-	-	-	-	土師器	貼床下出土。胴部外面に縦方向の篋削り。脚部接合箇所にはナデ整形。
11		壺	-	-	-	-	還元焰焼成	器内外面にロクロ水挽き整形。器外面胴部下端に回転篋削り。
12	35-12	甗	-	-	-	-	還元焰焼成	器外面に平行叩きを斜方向に施し、外面下端に回転篋削り。器内面はロクロ水挽き整形。底部に長軸1.1cm、短軸0.4cmの楕円の孔が多数、外から内に穿たれている。

挿図番号	図版番号	種類	長さ	幅	厚み	観察・特徴
13	35-13	紡錘車	28.1	0.5	-	下層からの出土。紡輪の径は5.4cmをはかる。紡軸の先端は小さく屈曲し、鉤を作っている。完形。

9号住居址

規模は東西5.1m、南北3.6mをはかり、主軸方位はN-88°-Eである。平面プランは東西に長い方形を呈する。カマドは北壁の中央から東に寄った位置と東壁の中央で検出し、北カマドが新しく、東カマドが古い。この住居址は西側に拡張しており、その際にカマドを東から北に変更している。

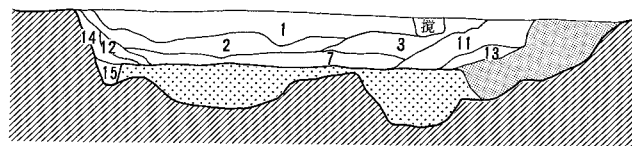
柱穴は各コーナーに対応するように検出し、P1は径45cm、深さ21.6cm、P2は径50cm、深さ33cm、P3は径50cm、深さ10cm、P4は径53cm、深さ20cmをはかる。南壁に沿った中央に小さな柱穴を3本確認した。P5は径30cm、深さ37cm、P6は径25cm、深さ11cm、P7は径20cm、深さ4cmをはかる。床面はカマド正面から中央部にかけて硬化面が認められる。壁は僅かな傾斜を持って立ち上がり、壁高は20cmをはかる。



9号住居址

- 1層 暗褐色土 ローム粒子を極微量含む。
- 2層 暗黒褐色土 ローム粒子を微量含む。
- 3層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子を微量含む。
- 4層 暗褐色土 ローム粒子を少量、焼土粒子を微量含む。
- 5層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子を微量含む。
- 6層 暗黒褐色土 ローム粒子、焼土粒子、炭化物粒子を微量含む。
- 7層 暗褐色土 ローム粒子、ロームブロック、焼土粒子を微量含む。
- 8層 明褐色土 ローム、ローム粒子を多量に含む。
- 9層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子を少量含み、炭化物粒子を微量含む。
- 10層 暗黄褐色土 ローム粒子を多量に含み、焼土粒子を微量含む。
- 11層 暗褐色土 ローム粒子を少量含み、焼土粒子を微量含む。

C' 55.0

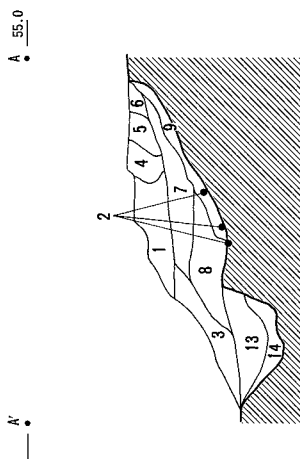
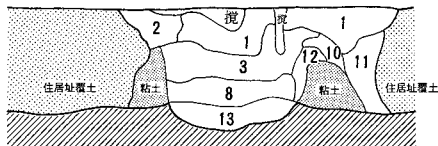
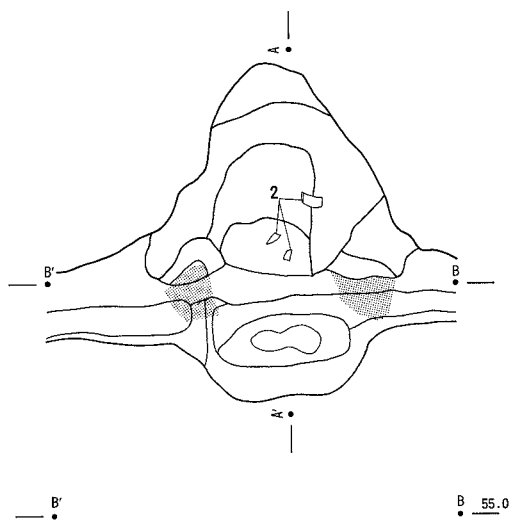


- 12層 暗黒褐色土 ローム粒子を微量含み、ロームブロックを極微量含む。
- 13層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子を少量含む。
- 14層 暗黄褐色土 ローム粒子を多量に含む。
- 15層 暗褐色土 ローム粒子を含む。
- 16層 暗黒褐色土 ローム粒子を微量含む。

第37図 9号住居址 (1/60)

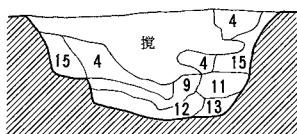
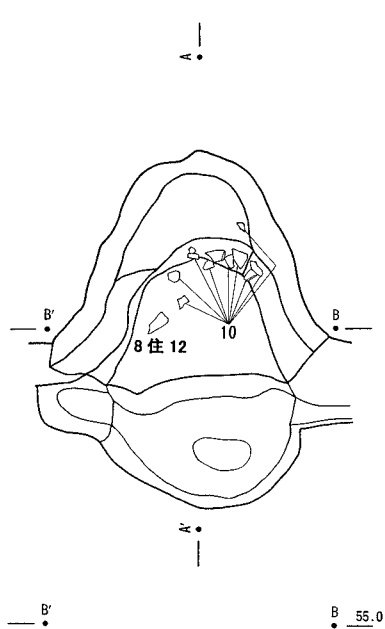
壁に沿って幅10~20cm、深さ10~15cmの周溝が北カマドを除き巡っている。

貼床下は東壁沿いに大きく掘り込まれ、住居中央に長軸1.7m、短軸1.2mの土壇1基を確認した。また、南壁沿いに4本のピットを検出した。



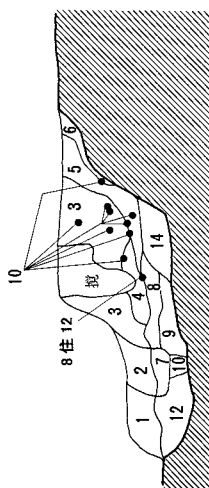
9号住居址北カマド

- 1層 暗褐色土 ローム粒子、小ロームブロック、焼土粒子を微量含む。
- 2層 暗褐色土 ロームブロック、ローム粒子を微量含む。
- 3層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子、炭化物粒子を微量含む。
- 4層 暗黄褐色土 ローム粒子を多量に含み、焼土粒子、炭化物粒子を極微量含む。
- 5層 暗赤褐色土 焼土粒子を多量に含み、ローム粒子を極微量含む。
- 6層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子、炭化物粒子を極微量含む。
- 7層 暗黒褐色土 炭化物粒子を多量に含み、ローム粒子を微量含む。
- 8層 暗褐色土 ローム粒子、ロームブロック、焼土粒子を少量含む。
- 9層 暗褐色土 ローム粒子、ロームブロックを少量含む。
- 10層 明褐色土 ローム、ローム粒子を多量に含む。
- 11層 暗褐色土 ローム粒子を微量含む。
- 12層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子を少量含む。
- 13層 暗褐色土 ローム粒子を少量含み、ロームブロックを微量含む。
- 14層 暗褐色土 ローム粒子を微量含む。



A 55.0

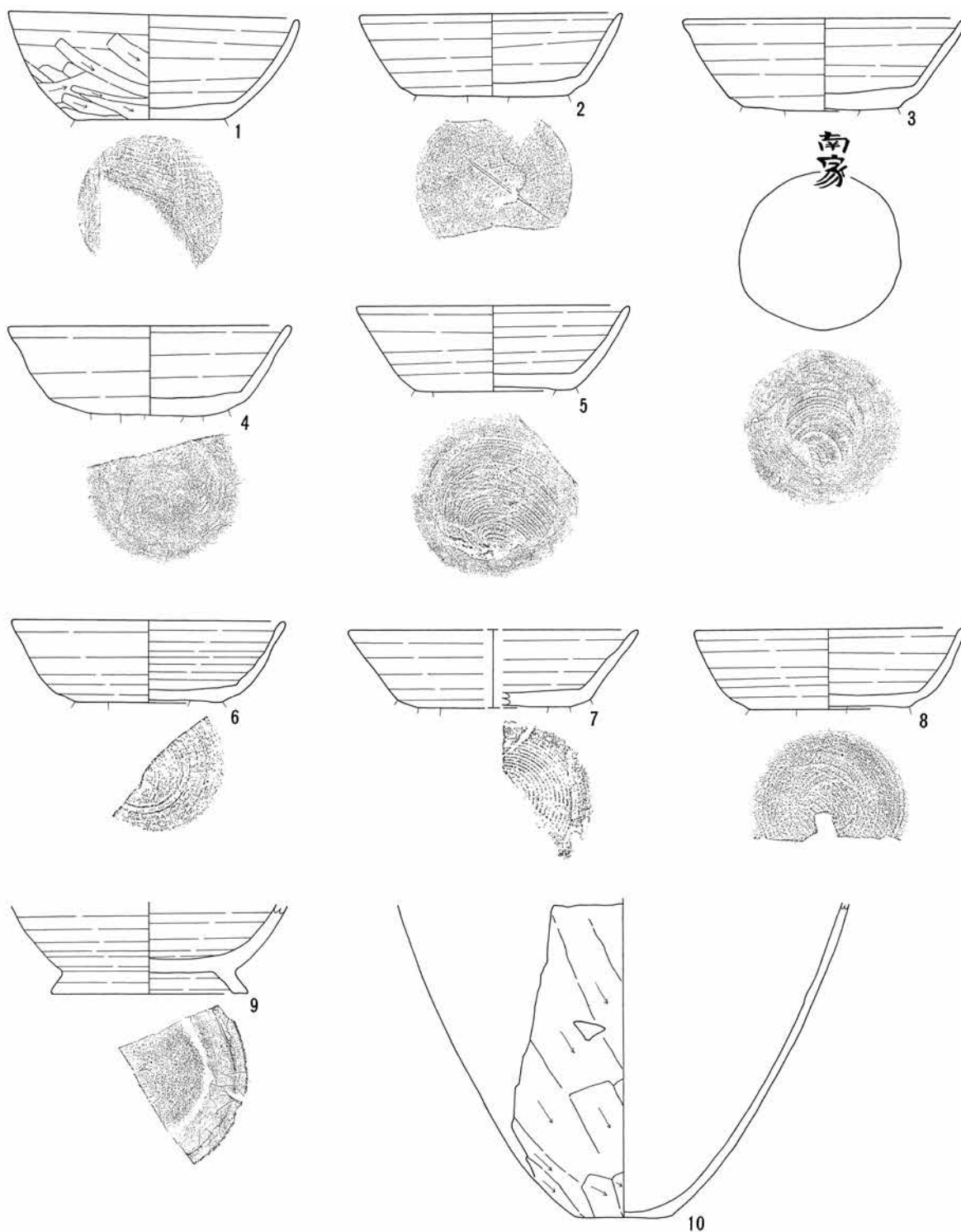
B 55.0



9号住居址東カマド

- 1層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子を微量含む。
- 2層 暗黒褐色土 ローム粒子、焼土粒子を極微量含む。
- 3層 暗褐色土 ローム粒子、小ロームブロックを微量含み、焼土粒子を極微量含む。
- 4層 暗褐色土 ローム粒子を微量含む。
- 5層 暗赤褐色土 焼土粒子を多量に含む。
- 6層 暗黄褐色土 ローム、ローム粒子を多量に含む。
- 7層 暗黒褐色土 焼土粒子を微量含み、ローム粒子、炭化物粒子を極微量含む。
- 8層 暗黄褐色土 ローム粒子を少量含み、焼土粒子、炭化物粒子を微量含む。
- 9層 暗黄褐色土 ローム粒子、焼土粒子を少量含み、炭化物粒子を微量含む。
- 10層 暗黒褐色土 焼土粒子、炭化物粒子を微量含む。
- 11層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子を微量含む。
- 12層 暗黄褐色土 粘土粒子を少量含み、焼土粒子を微量含む。
- 13層 暗褐色土 ローム粒子を微量含み、焼土粒子を極微量含む。
- 14層 暗褐色土 ローム粒子を多量含み、焼土粒子を微量含む。
- 15層 明褐色土 ローム、ローム粒子を多量に含む。

第38図 9号住居址北カマド 東カマド (1/30)



第39図 9号住居址出土遺物 (1/3)

北カマド

住居址の拡張に伴って北壁の中央から東に寄った位置に構築している。カマドの両袖の一部が残っている。規模は幅115cm、奥行133cmで、平面プランはV字状を呈する。壁外へは77cm掘り込んでいる。火床部は床面から16cm掘り込み、幅28cm、奥行12cmをはかる。

東カマド

カマドは東壁のほぼ中央に位置する。規模は幅110cm、奥行140cmで、平面プランはU字状を呈する。壁外へは75cm掘り込んでいる。火床部は床面から10cm掘り下げ、幅23cm、奥行13cmをはかる。

第28表 9号住居址出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 < >は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
1	36-1	埴	13.8	7.1	7.9	5.1	還元焰焼成	底部は手持ちの篋削り。器内外面にロクロ水挽き整形。体部外面は篋削り。器内面に爪先技法。前内出窯跡系。残存率75%。
2		坏	12.5	7.2	8.5	4.0	還元焰焼成	底部は回転糸切り後外周部回転篋削り。器内外面にロクロ水挽き整形。器内面の体部と底部の変換点に爪先技法。前内出窯跡系。底部外面にカマ印。残存率55%。
3	36-3	坏	13.4	7.4	8.7	4.4	還元焰焼成	床面付近から出土。底部は回転糸切り後外周部回転篋削り。器内外面にロクロ水挽き整形。器内面の体部と底部の変換点に爪先技法が見られる。前内出窯跡系。器外面の体部から底部にかけて「南家」の墨書。残存率90%。
4	36-4	坏	13.4	6.5	8.7	4.3	還元焰焼成	貼床下出土。底部は回転糸切り後外周部回転篋削り。器内外面にロクロ水挽き整形。器内面の体部と底部の変換点に爪先技法が見られる。前内出窯跡系。残存率60%。
5	36-5	坏	13.0	7.6	8.0	4.1	半還元焰焼成	床面付近から出土。底部は回転糸切り後外周部回転篋削り。器内外面にロクロ水挽き整形。器内面の体部と底部の変換点に爪先技法が見られる。底部外面に墨書が書かれているが状態が悪く判読できない。前内出窯跡系。残存率65%。
6	36-6	坏	(13.0)	(7.0)	(8.4)	4.0	還元焰焼成	床面直上出土。底部は回転糸切り後外周部回転篋削り。器内外面にロクロ水挽き整形。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。残存率45%。
7		坏	(13.7)	(7.2)	(8.2)	3.7	還元焰焼成	貼床下出土。底部は回転糸切り後外周部回転篋削り。器内外面にロクロ水挽き整形。器内面の体部と底部の変換点に爪先技法が見られる。前内出窯跡系。残存率35%。
8		坏	12.8	7.6	8.6	3.8	還元焰焼成	床面付近から出土。底部は回転糸切り後外周部回転篋削り。器内外面にロクロ水挽き整形。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。残存率60%。
9		高台付壺	-	9.4	-	-	還元焰焼成	底部は回転篋削り後に高台を貼り付けている。器内外面にロクロ水挽き整形。

単位はcm ()は推定値 ()は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
10		甕	-	4.5	-	-	土師器	東カマド出土。胴部外面に斜め方向の篋削り。

10号住居址

規模は東西3.8m、南北2.75mをはかり、主軸方位はN-3°-Eである。平面プランは東西に僅かに長い方形を呈する。北壁のほぼ中央にカマドを構築している。

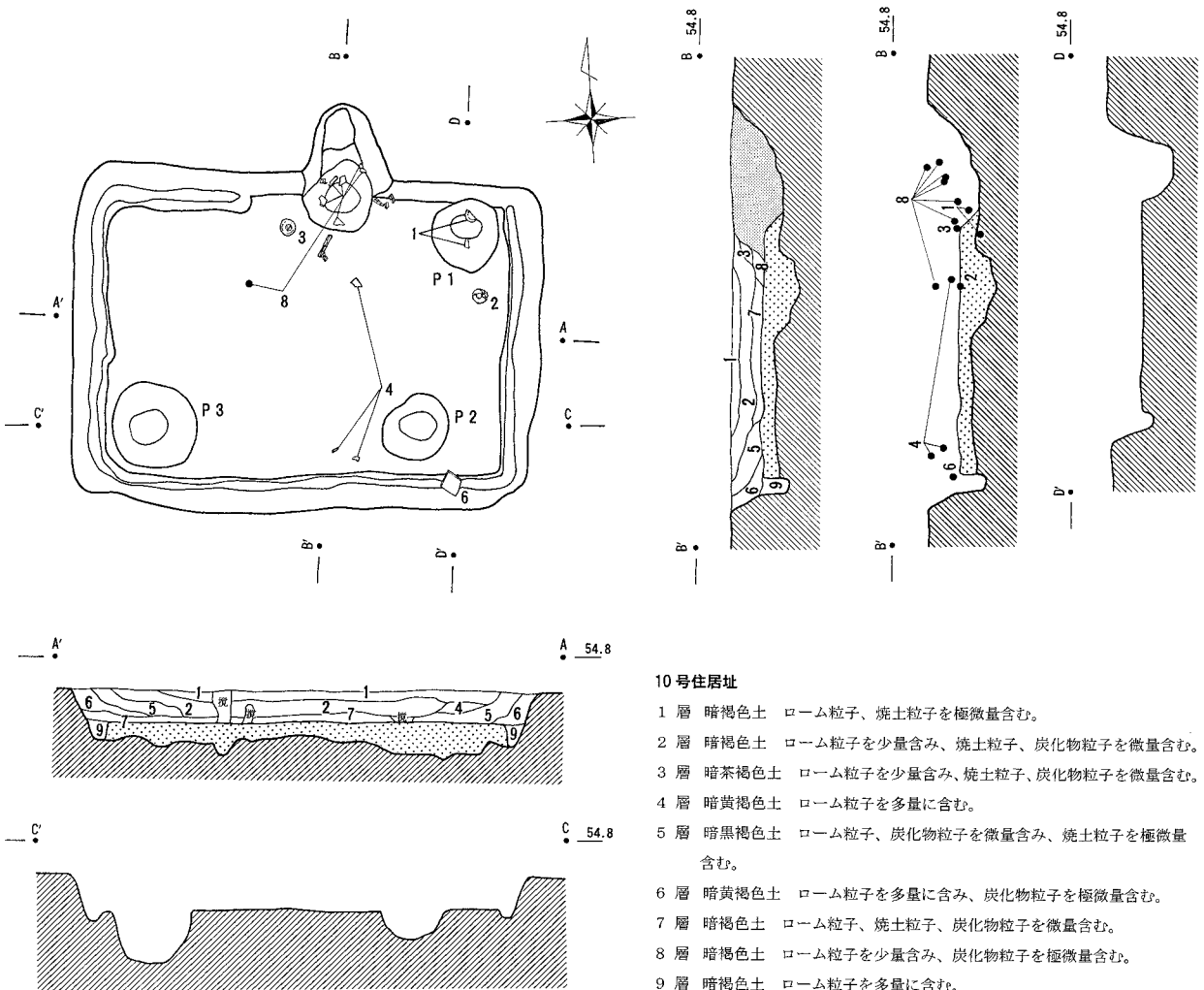
北西コーナーを除くコーナーに柱穴を検出した。P1は径60cm、深さ28cm、P2は径55cm、深さ23cm、P3は径75cm、深さ46cmをはかる。

床面は、良好な硬化面が広がっている。貼床下からは中央で土壇1基、南壁沿いの中央でピットが2本、カマドの左側でピットを1本確認した。

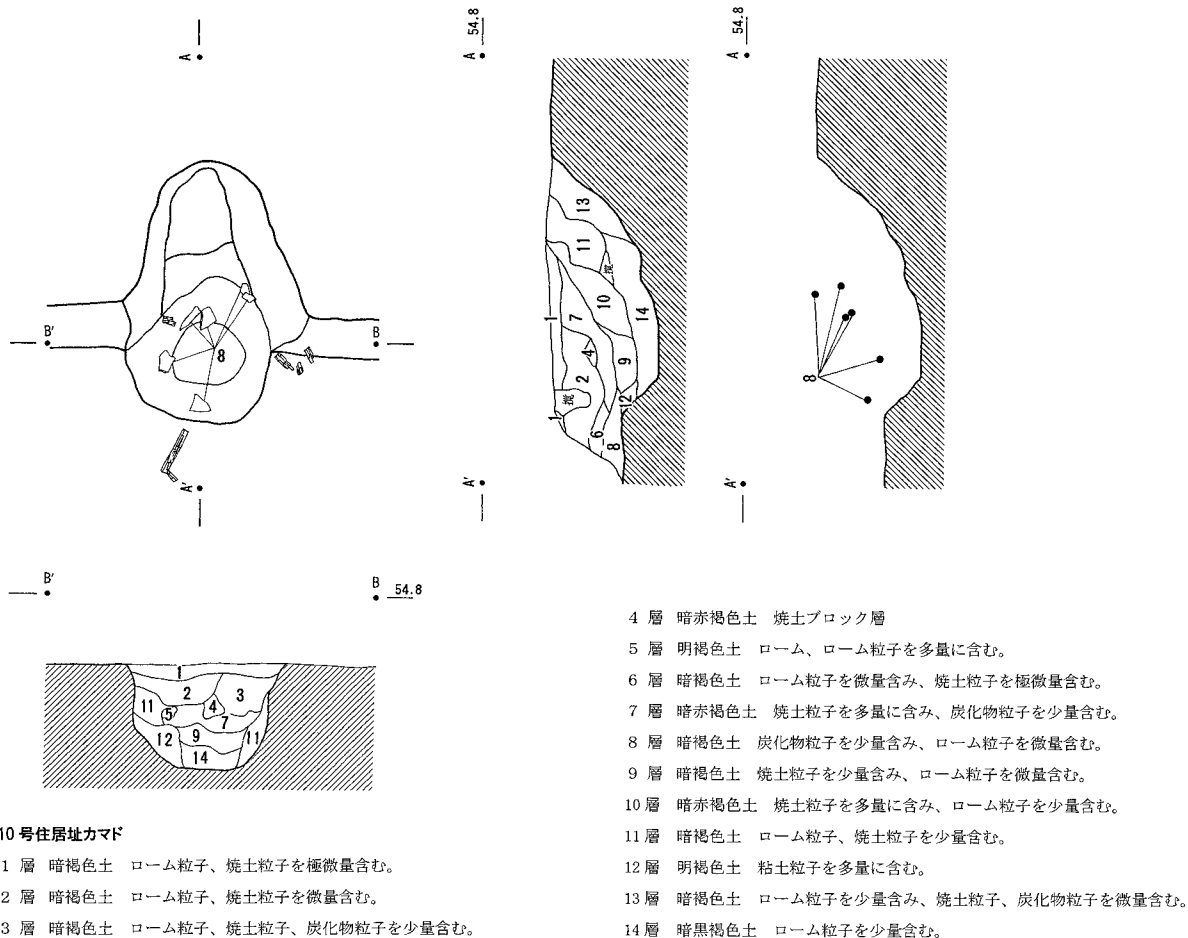
壁は僅かな傾斜を持って立ち上がり、壁高は25~30cmをはかる。壁に沿って幅7~20cm、深さ7~20cmの周溝がカマドを除き巡っている。

カマド

カマドは北壁のほぼ中央に位置する。規模は幅70cm、奥行104cmで、平面プランは細長いU字状を呈する。



第40図 10号住居址 (1/60)



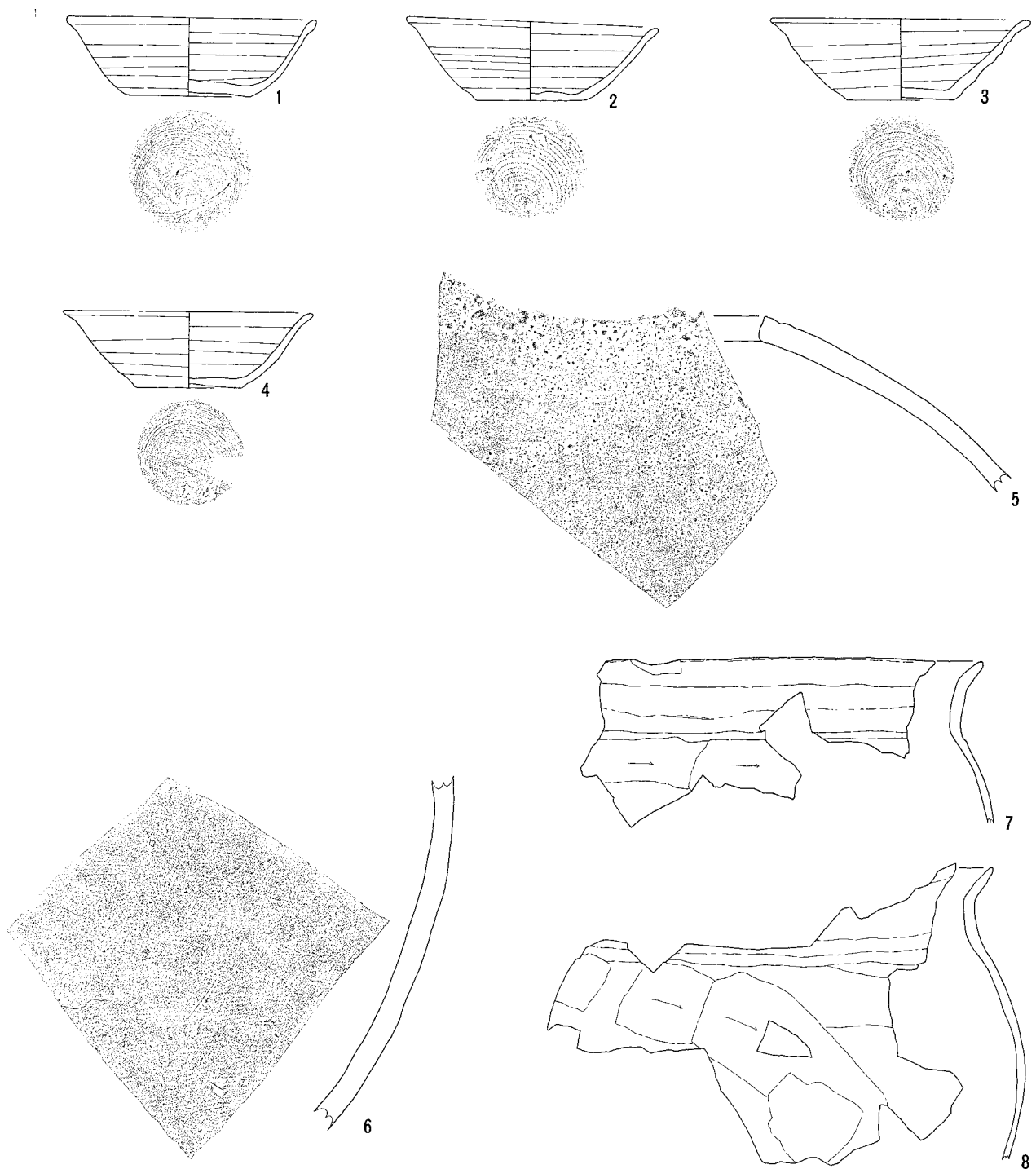
第41図 10号住居址カマド (1/30)

壁外へは60cm掘り込んでいる。火床部は床面から12cm掘り下げ、幅30cm、奥行35cmをはかる。焚口正面の床面に炭化材が出土している。

第29表 10号住居址出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 ()は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
1	36-1	坏	12.1	6.0	5.3	3.8	還元焰焼成	P1から出土。底部は回転糸切り。器内外面にロク口水挽き整形。口縁部は外反する。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。残存率100%。
2	36-2	坏	12.1	5.3	4.6	3.8	半還元焰焼成	床面直上出土。底部は回転糸切り。器内外面にロク口水挽き整形。口縁部は外反する。残存率100%。
3		坏	12.5	5.2	4.8	4.0	還元焰焼成	床面直上出土。底部は回転糸切り。器内外面にロク口水挽き整形。口縁部は外反する。残存率99%。
4	36-4	坏	12.0	5.1	5.2	3.7	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロク口水挽き整形。口縁部は外反する。残存率75%。
5	36-5	甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器内面には当て具痕が残り、その後ナデ整形。頸部と胴部の接合箇所をそのまま口縁部としている。器外面に自然釉。

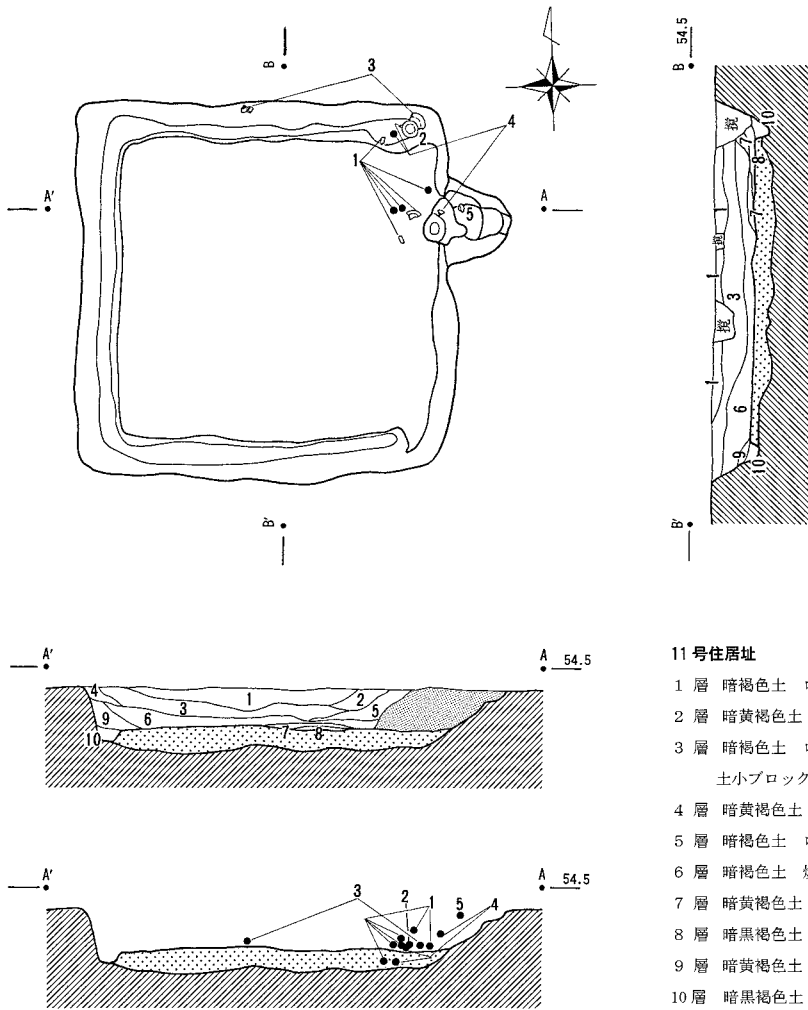


第42図 10号住居址出土遺物 (1/3)

第30表 10号住居址出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 < >は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
6		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器内面に当て具痕が残り、その後ナデ整形。器外面に斜め方向の平行叩きがかかるうじて観察でき、自然釉が付着。
7		甕	-	-	-	-	土師器	口縁部はコの字を呈する。口縁部の内外面に横ナデ。胴部外面に横方向の篋削り。



11号住居址

- 1層 暗褐色土 ローム粒子を微量含み、焼土粒子、炭化物粒子を極微量含む。
- 2層 暗黄褐色土 ローム粒子を少量含み、炭化物粒子を極微量含む。
- 3層 暗褐色土 ローム粒子を微量含み、ローム小ブロック、炭化物粒子、焼土小ブロックを極微量含む。
- 4層 暗黄褐色土 ローム粒子を多量に含む。
- 5層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子を微量含み、炭化物粒子を極微量含む。
- 6層 暗褐色土 焼土粒子、炭化物粒子を微量含み、ローム粒子を極微量含む。
- 7層 暗黄褐色土 ロームを多量に含む。
- 8層 暗黒褐色土 焼土粒子を少量含み、炭化物粒子を微量含む。
- 9層 暗黄褐色土 ローム粒子を少量含み、炭化物粒子を微量含む。
- 10層 暗黒褐色土 ローム粒子を少量含む。

第43図 11号住居址 (1/60)

単位はcm ()は推定値 ()は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
8		甕	-	-	-	-	土師器	カマドから出土。口縁部の内外面に横ナデ。胴部外面に斜め方向の篋削り。

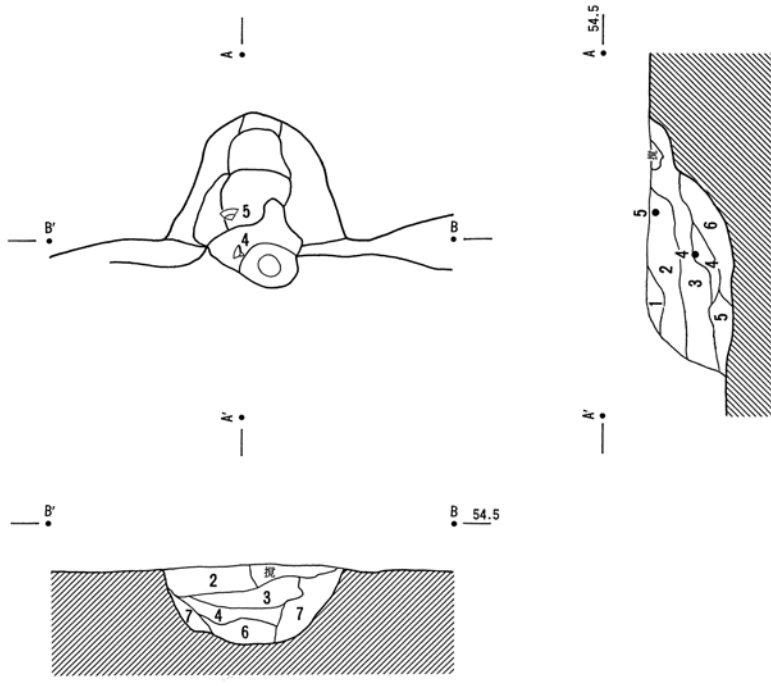
11号住居址

規模は東西3m、南北3mをはかり、主軸方位はN-89.5°-Eである。平面プランは方形を呈する。東壁の北東コーナー近くにカマドを構築している。

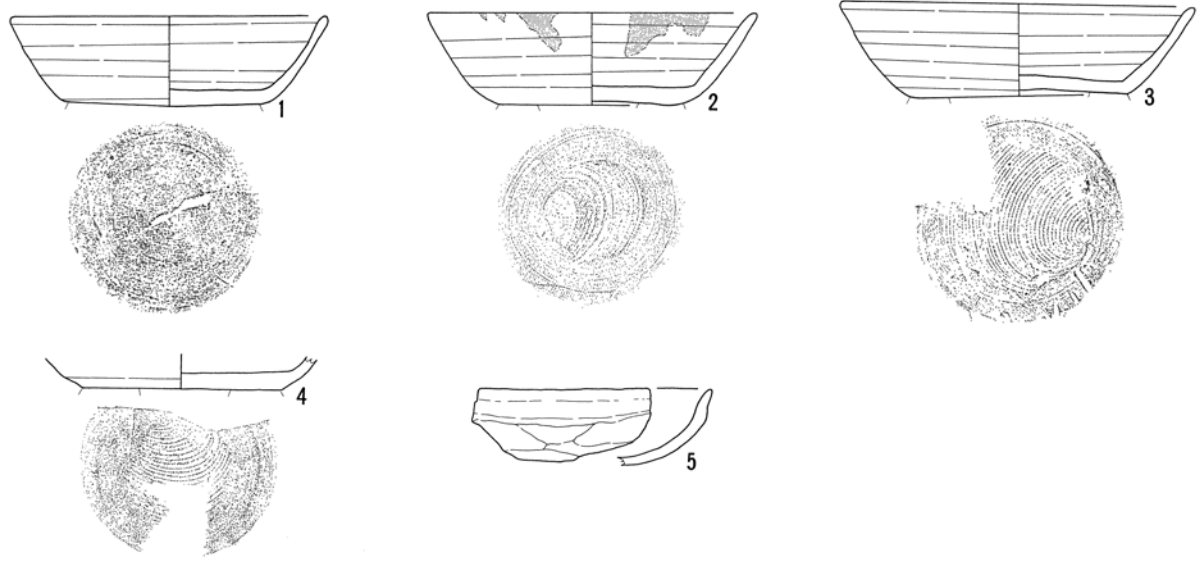
床面は中央部からカマド正面に、硬化面が広がっている。壁は僅かな傾斜を持って立ち上がり、壁高は30~35cmをはかる。壁に沿って幅6~25cm、深さ5~15cmの周溝が東壁を除き巡っている。貼床下は南西コーナーで径1m、深さ15cmの円形の土壌を検出したが、その他はほぼ平坦である。

カマド

カマドは東壁の北東コーナー寄りに位置する。規模は幅70cm、奥行70cmで、平面プランはU字状を呈する。壁外へは50cm掘り込んでいる。火床部は僅かに窪むが床面から同じレベルで続き、径10cmの円形を呈する。



- 11号住居址カマド**
- 1層 暗褐色土 ローム粒子、炭化物粒子を微量含む。
 - 2層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子、炭化物粒子を微量含む。
 - 3層 暗褐色土 焼土粒子を少量含み、ローム粒子、炭化物粒子を微量含む。
 - 4層 暗黄褐色土 ローム粒子を多量に含み、焼土粒子を微量含む。
 - 5層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子を微量含む。
 - 6層 暗黄褐色土 ローム粒子を少量含む。
 - 7層 暗茶褐色土 粘土粒子を多量に含み、焼土粒子を微量含む。



第44図 11号住居址カマド (1/30) 出土遺物 (1/3)

第31表 11号住居址出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 < >は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
1	36-1	坏	12.6	7.6	7.7	3.6	還元焰焼成	底部は回転糸切り後全面回転篋削り。器内外面にロクロ水挽き整形。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。残存率80%。
2	36-2	坏	13.0	7.8	8.1	3.6	還元焰焼成	底部は回転糸切り後外周部回転篋削り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部の器内外面に煤が付着。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。完形。

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
3	36-3	坏	14.0	8.5	8.5	3.7	還元焰焼成	底部は回転糸切り後外周部回転篋削り。器内外面にロクロ水挽き整形。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産である。残存率70%。
4		坏	-	7.8	8.6	-	還元焰焼成	底部は回転糸切り後外周部回転篋削り。器内外面にロクロ水挽き整形。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。
5		坏	-	-	-	-	土師器	底部は丸底で、口縁部が垂直に立上る。口縁部器外面と器内面に横ナデ。体部外面は横方向に篋削り。

12号住居址

規模は東西4m、南北3.3mをはかり、主軸方位はE-3°-Sである。平面プランは東西に長い方形を呈する。カマドは北壁に1ヶ所、東壁で2ヶ所検出した。カマドの新旧は北壁のカマド3が古く、続いて東壁の北東コーナー近くのカマド2、東壁中央部のカマド1が最も新しい。

北西コーナーとカマド2の焚口近くで柱穴を検出した。P1は径40~45cm、深さ20cm、P2は径40~45cm、深さ39cm、P3は径20cm、深さ6cm、P4は径18cm、深さ4cmをはかる。床面の状況は、周溝際と四隅を除く範囲が硬化している。

壁は僅かな傾斜を持って立ち上がり、壁高は10~20cmをはかる。壁に沿って幅13~20cm、深さ10cmの周溝が東壁を除き巡っている。

カマド1

カマドは東壁のほぼ中央に位置する。規模は幅95cm、奥行139cmで、平面プランは細長いU字状を呈する。壁外へは82cm掘り込んでいる。火床部は床面から14cm下り、幅20cm、奥行14cmをはかる。

カマド2

カマドは東壁の北東コーナー近くに位置する。規模は幅77cm、奥行80cmで、平面プランは幅広のU字状を呈する。壁外へは50cm掘り込んでいる。火床部は不整円形を呈し、床面から17cm下り、径11~14cmをはかる。

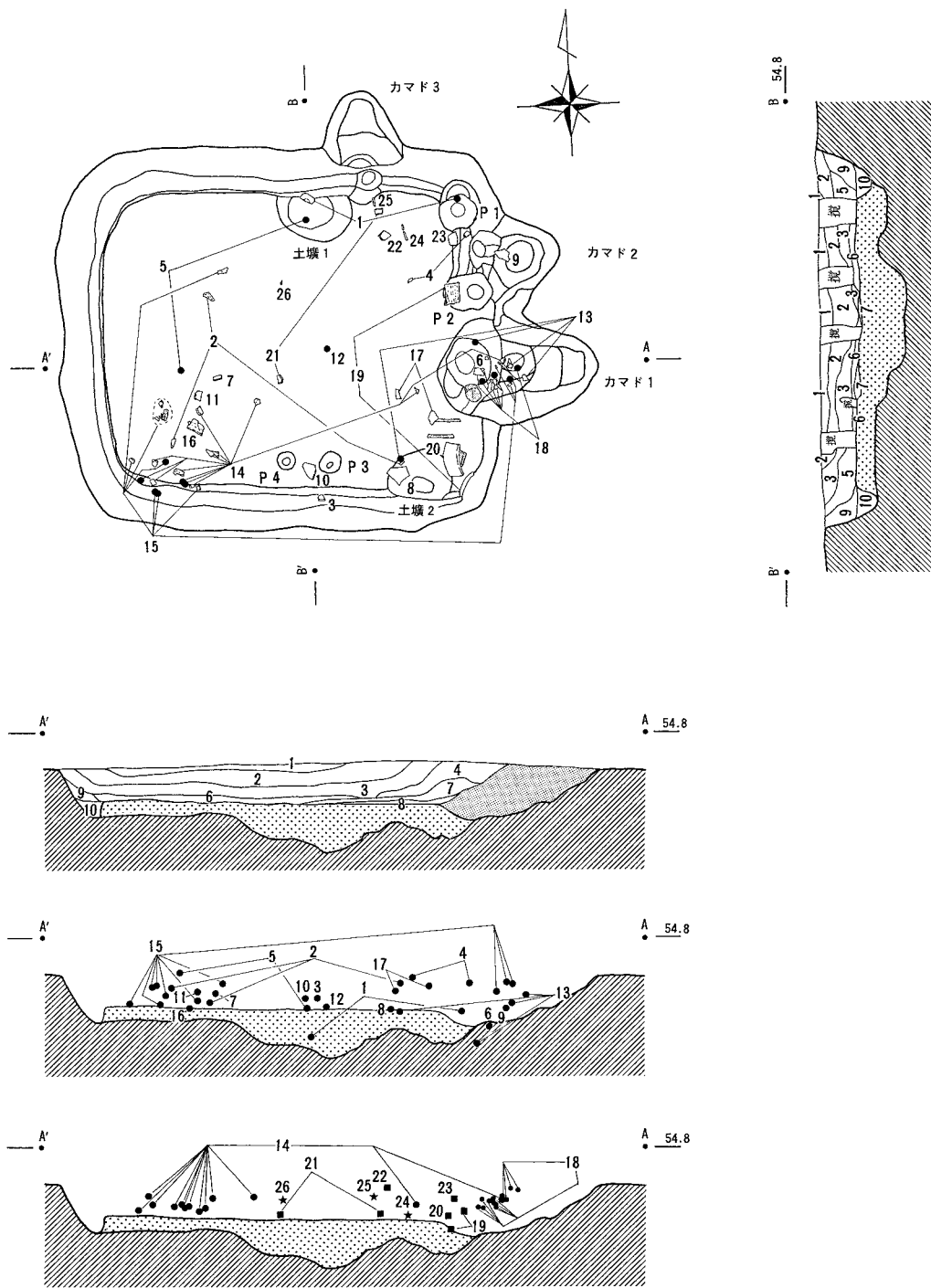
カマド3

カマドは北壁の北東コーナー近くに位置している。規模は幅70cm、奥行100cmで、平面プランはU字状を呈する。壁外へは48cm掘り込んでいる。火床部は径12cmで、床面より10cm掘下げている。

第32表 12号住居址出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 ()は既存値

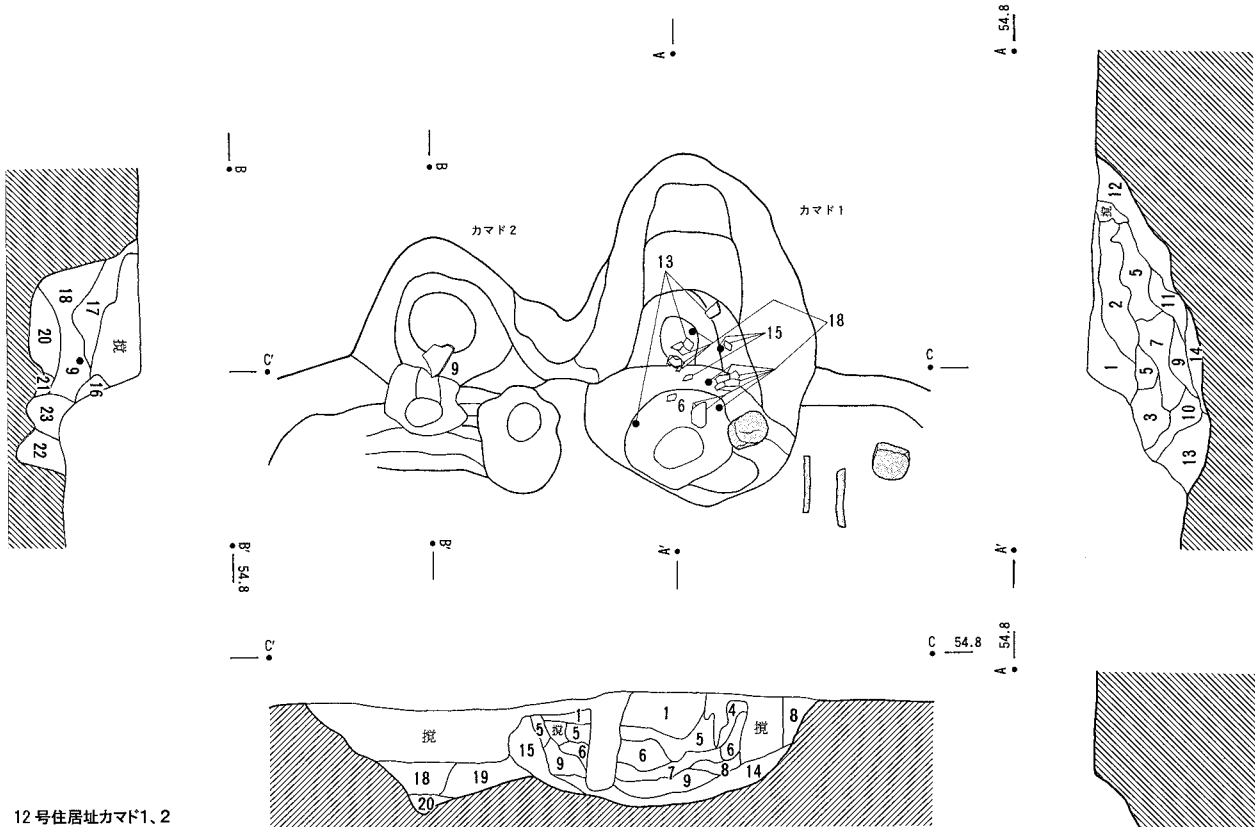
挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
1	36-1	坏	12.8	5.6	4.8	3.3	酸化焰焼成	カマドから出土。底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。残存率50%。
2		坏	(11.8)	6.0	5.7	3.8	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。残存率45%。



12号住居址

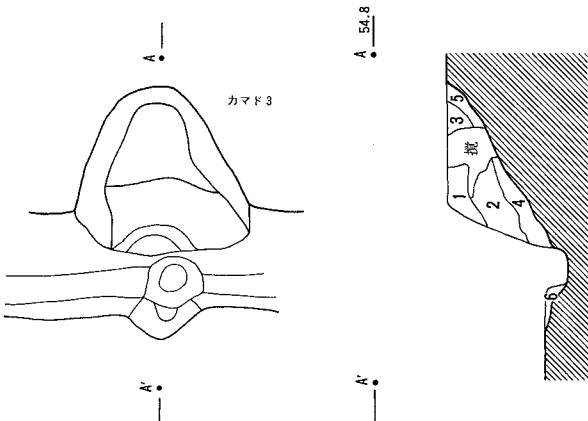
- | | |
|--------------------------------------|--|
| 1層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子、炭化物粒子を極微量含む。 | 6層 暗褐色土 ローム粒子を少量含む、炭化物粒子を微量含む。 |
| 2層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子、炭化物粒子を微量含む。 | 7層 暗赤褐色土 焼土粒子を多量に含む、炭化物粒子を少量含む。 |
| 3層 暗黒褐色土 焼土粒子、炭化物粒子を少量含む、ローム粒子を微量含む。 | 8層 暗褐色土 粘土粒子、焼土粒子、炭化物粒子を少量含む、ローム粒子を微量含む。 |
| 4層 暗褐色土 ローム粒子を少量含む。 | 9層 暗褐色土 ローム粒子を微量含む。 |
| 5層 暗褐色土 ローム粒子を少量含む、焼土粒子、炭化物粒子を微量含む。 | 10層 暗黒褐色土 ローム粒子を少量含む。 |

第45図 12号住居址 (1/60)



12号住居址カマド1、2

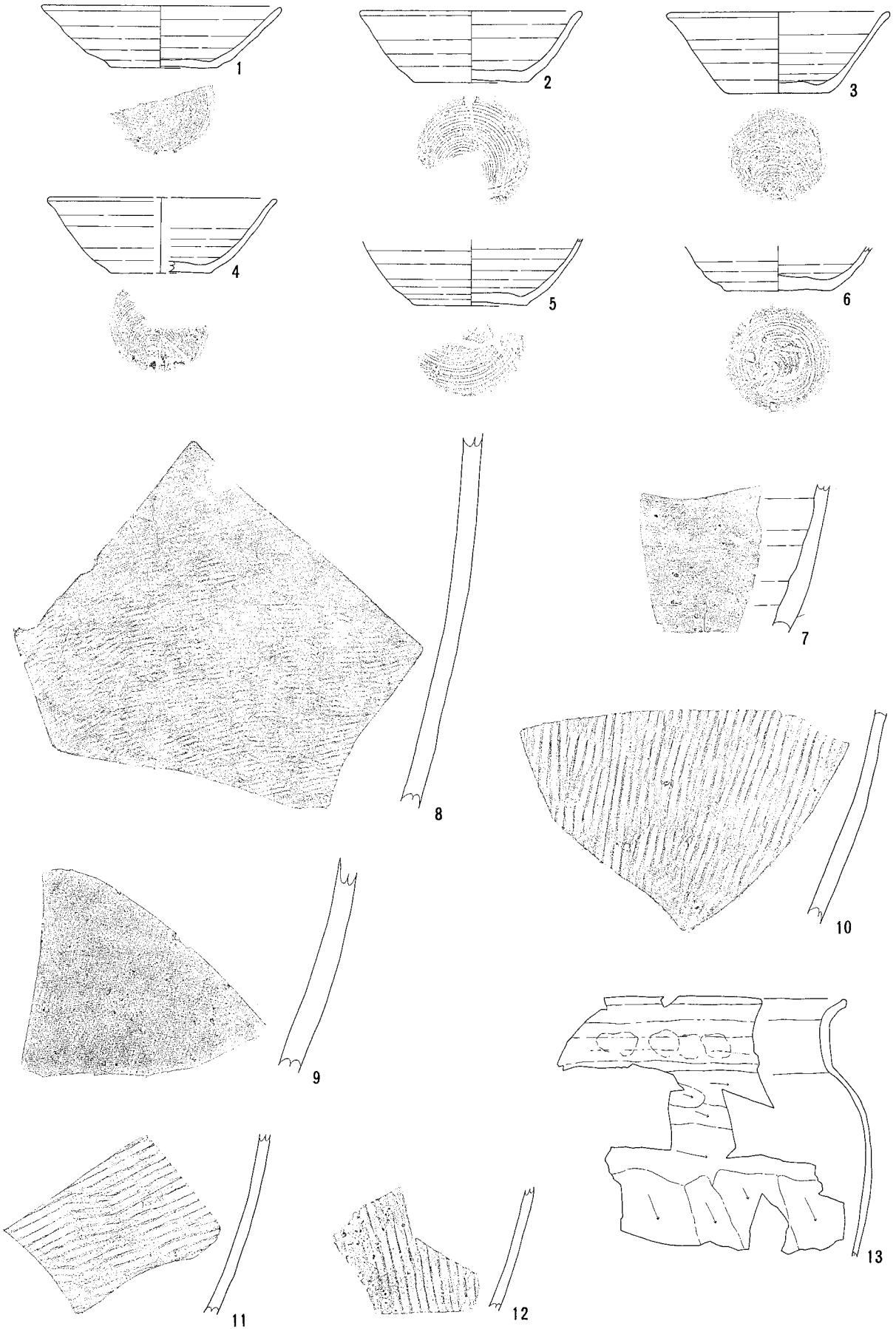
- | | |
|--------------------------------------|--------------------------------------|
| 1層 暗黒褐色土 焼土粒子を微量含む。 | 13層 暗黄褐色土 ローム粒子、粘土粒子を少量含む、焼土粒子を微量含む。 |
| 2層 暗赤褐色土 焼土粒子を多量に含む。 | 14層 暗黒褐色土 ローム粒子を少量含む。 |
| 3層 暗褐色土 焼土ブロック、焼土粒子を少量含む、炭化物粒子を微量含む。 | 15層 暗黄褐色土 ローム粒子を多量に含む、焼土粒子を微量含む。 |
| 4層 暗赤褐色土 焼土粒子を少量含む。 | 16層 暗黒褐色土 ローム粒子、焼土粒子、炭化物粒子を微量含む。 |
| 5層 暗赤褐色土 焼土ブロック、焼土粒子を少量含む。 | 17層 暗褐色土 ローム粒子を少量含む、焼土粒子を微量含む。 |
| 6層 暗褐色土 焼土粒子、炭化物粒子を微量含む。 | 18層 暗赤褐色土 焼土粒子を少量含む、ローム粒子を微量含む。 |
| 7層 暗褐色土 焼土粒子、炭化物粒子を少量含む。 | 19層 暗黄褐色土 ローム粒子を多量に含む、焼土粒子を極微量含む。 |
| 8層 暗赤褐色土 焼土粒子を少量含む、粘土粒子を微量含む。 | 20層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子を微量含む。 |
| 9層 暗赤褐色土 焼土粒子を多量に含む、粘土粒子を微量含む。 | 21層 暗褐色土 ローム粒子を含み、焼土粒子を微量含む。 |
| 10層 暗褐色土 焼土ブロックを少量含む、粘土粒子を微量含む。 | 22層 暗褐色土 ローム粒子を微量含む。 |
| 11層 暗褐色土 焼土粒子、炭化物粒子、粘土粒子を微量含む。 | 23層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子を極微量含む。 |
| 12層 明褐色土 粘土粒子を少量含む、焼土粒子を微量含む。 | |



12号住居址カマド3

- | |
|---------------------------------|
| 1層 暗褐色土 ローム粒子を少量含む、焼土粒子を微量含む。 |
| 2層 暗赤褐色土 焼土粒子を少量含む、ローム粒子を微量含む。 |
| 3層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子を極微量含む。 |
| 4層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子を微量含む。 |
| 5層 暗褐色土 ローム粒子を微量含む。 |
| 6層 暗黒褐色土 ローム粒子、焼土粒子、炭化物粒子を微量含む。 |

第46図 12号住居址 カマド1～3 (1/30)

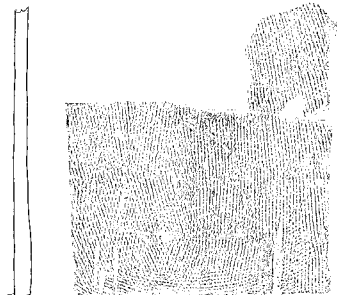
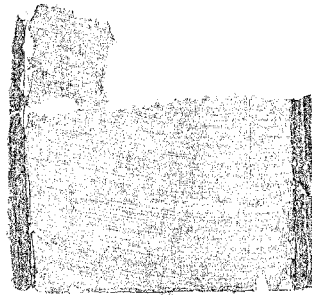
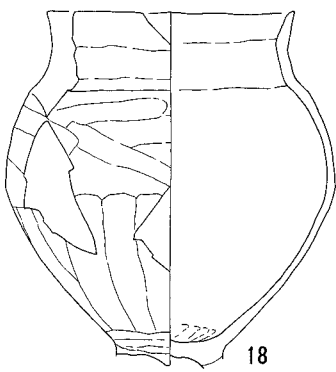
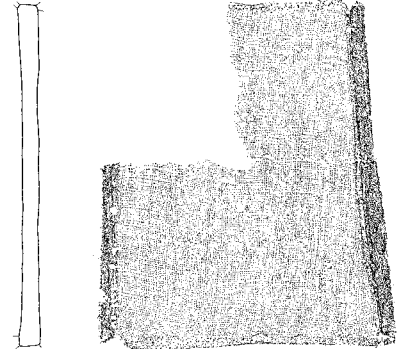
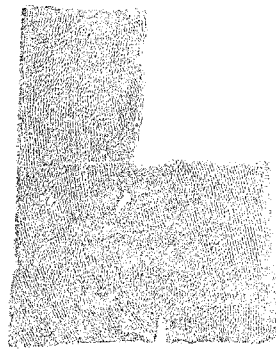
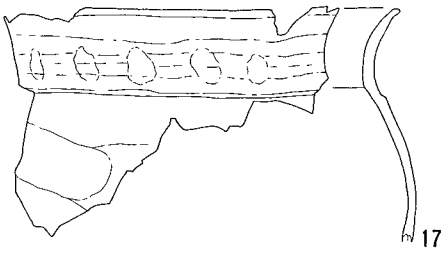
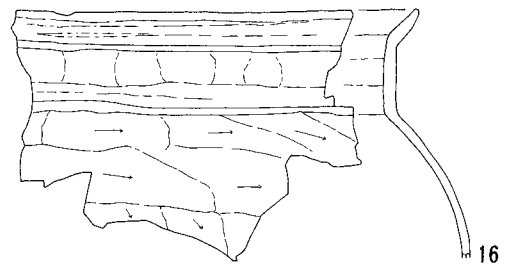
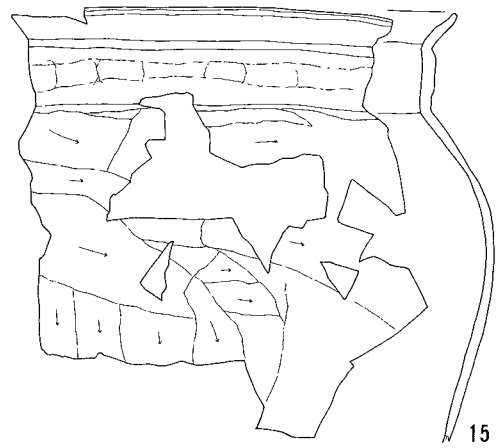
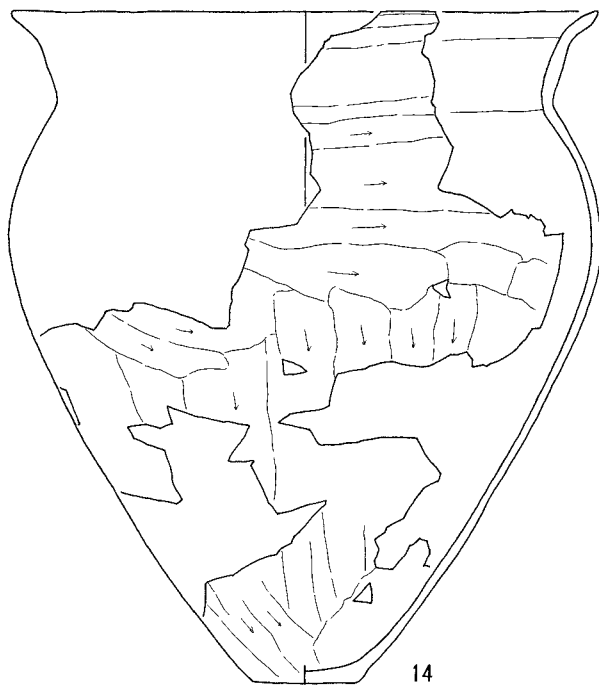


第47图 12号住居址出土遗物 (1) (1/3)

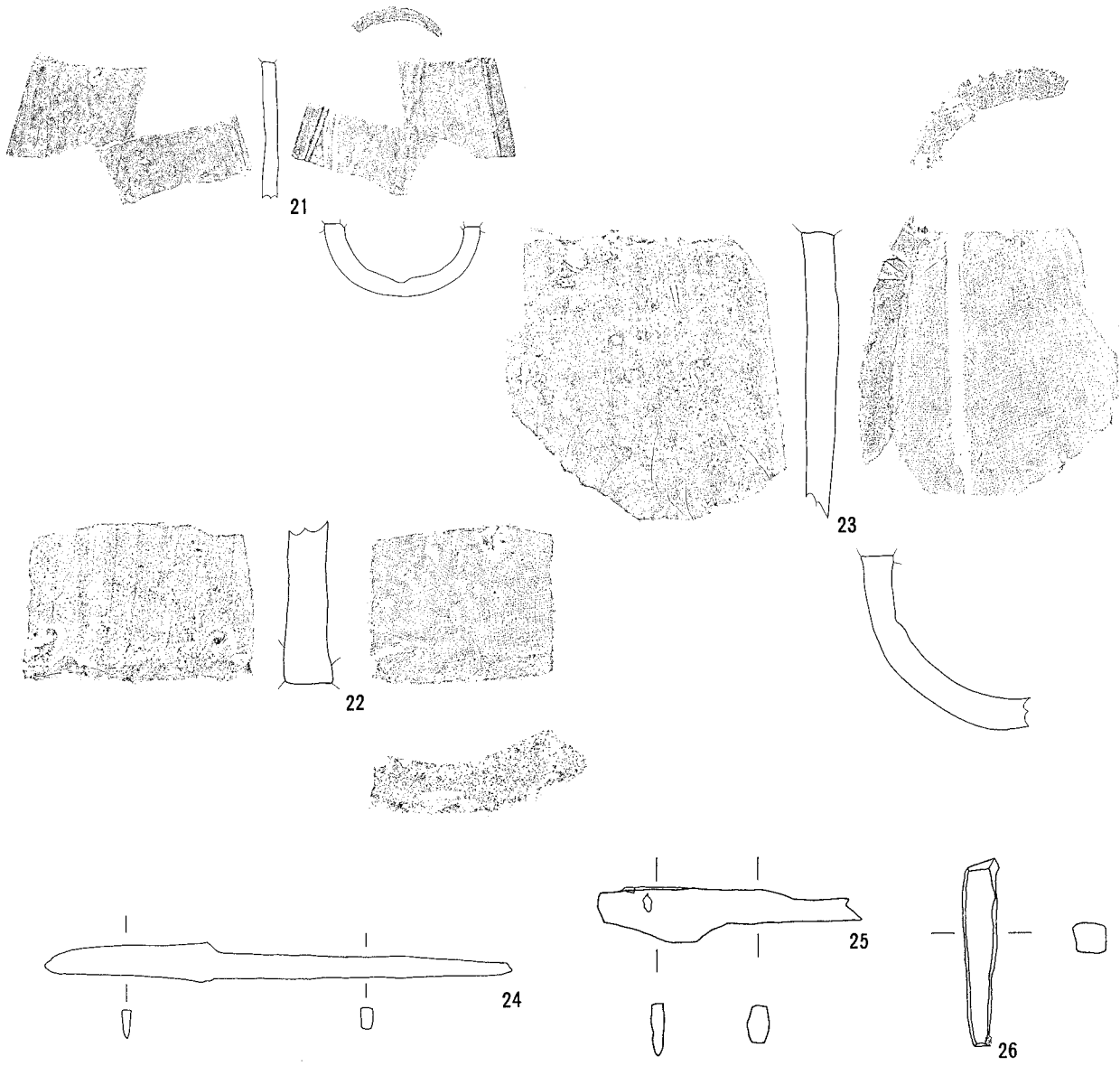
第33表 12号住居址出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 ()は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
3		坏	(11.9)	5.5	4.6	4.3	還元焰焼成	床面付近から出土。底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は僅かに外反する。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産である。残存率40%。
4		坏	(12.3)	-	(5.4)	4.0	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形を施す。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。残存率40%。
5		坏	-	5.8	-	-	半還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。残存率20%。
6		坏	-	5.6	-	-	半還元焰焼成	カマド1から出土。底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。残存率20%。
7		壺	-	-	-	-	還元焰焼成	器内外面にロクロ水挽き整形。器外面胴部下端に回転篋削り。
8		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	床面直上出土。器外面に平行叩きを斜め方向に施す。器内面には当て具痕を消すために軽い回転篋削りを行っている。
9		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器外面に平行叩きを斜め方向に施した後、ナデ整形を施す。器内面には、当て具痕が残り、その後ナデ整形。
10		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器外面に平行叩きを斜め方向に施す。器内面にはナデ整形前の当て具痕が残る。11、12と同一個体と思われる。
11		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器外面に平行叩きを斜め方向に施す。器内面にはナデ整形前の当て具痕が残る。10、12と同一個体と思われる。
12		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器外面に平行叩きを斜め方向に施す。器内面にはナデ整形前の当て具痕が残る。10、11と同一個体と思われる。
13		甕	-	-	-	-	土師器	カマド1から出土。口縁部はコの字を呈する。口縁部の内外面に横ナデ。胴部外面に横、縦方向の篋削り。
14	36-14	甕	(23.0)	4.0	-	26.4	土師器	口縁部はコの字を呈する。口縁部の内外面に横ナデ。胴部外面に横、縦方向の篋削り。
15		甕	-	-	-	-	土師器	口縁部はコの字を呈する。口縁部の内外面に横ナデ。胴部外面に横、斜め、縦方向の篋削り。
16		甕	-	-	-	-	土師器	口縁部はコの字を呈する。口縁部の内外面に横ナデ。胴部外面に横、縦方向の篋削り。



第48図 12号住居址出土遺物 (2) (1/3) 但し、19、20は (1/8)



第49図 12号住居址出土遺物 (3) (1/3) 但し、24は (1/2) 25、26は (2/3)

第34表 12号住居址出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 < >は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
17		甕	-	-	-	-	土師器	口縁部はコの字を呈する。口縁部の内外面に横ナデ。胴部外面に横、斜め方向の篋削り。
18	36-18	台付甕	(9.7)	-	-	-	土師器	脚部を欠損する。口縁部の内外面に横ナデ。胴部外面に横、斜め、縦方向の篋削り。
19	36-19	平瓦	-	-	-	-	還元焰焼成	凹面に布目痕、凸面に縄叩き。端面及び側面、凹面側部、端部に篋削り。幅は26cm。
20	36-20	平瓦	-	-	-	-	酸化焰焼成	凹面に布目痕、凸面に縄叩き。端面及び側面、凹面側部、端部に篋削り。幅は24.9cm。

第35表 12号住居址出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 < >は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
21	37-21	丸瓦	-	-	-	-	還元焰焼成	凹面に布目痕、凸面は篋削り整形。側面及び端面、凹面側部に篋削り。
22		丸瓦	-	-	-	-	還元焰焼成	凹面に布目痕、凸面は縦方向の篋整形。端面及び凹凸面端部に篋削り。
23		丸瓦	-	-	-	-	還元焰焼成	凹面に布目痕、凸面は篋整形。側面及び端面、凹面側部に篋削り。

挿図番号	図版番号	種類	長さ	幅	厚み	観察・特徴
24	37-24	刀子	13.6	1.2	0.3~0.4	刃部は平造りで、関は両関造りである。茎の長さは8.5cmで、茎尻は細くすぼまる。完形である。
25	37-25	刀子	<5.8>	1.2	0.3~0.4	関は片関造りで、刃部は平造りである。切先、茎部を欠損する。
26		釘	<4.1>	0.7	0.7	頭部、先端部を欠損する。断面は方形を呈する。

13号住居址

規模は東西3.9m、南北3.2mをはかり、主軸方位はE-3°-Sである。平面プランは東西に長い方形を呈する。東壁の中央からやや南寄りにカマドを構築している。

床面は四隅を除き、硬化面が広がっている。貼床下は住居址の中央に、長軸1.6m、短軸1.15m、深さ24cmの土壙を検出した。

壁は緩やかな傾斜を持って立ち上がり、壁高は30~40cmをはかる。壁に沿って幅6~18cm、深さ5~13cmの周溝がカマドを除き巡っている。

柱穴は南西コーナーと南壁の中央で3本確認した。P1は径15cm、深さ17cm、P2は径17cm、深さ16cm、P3は径28cm、深さ7cmをはかる。

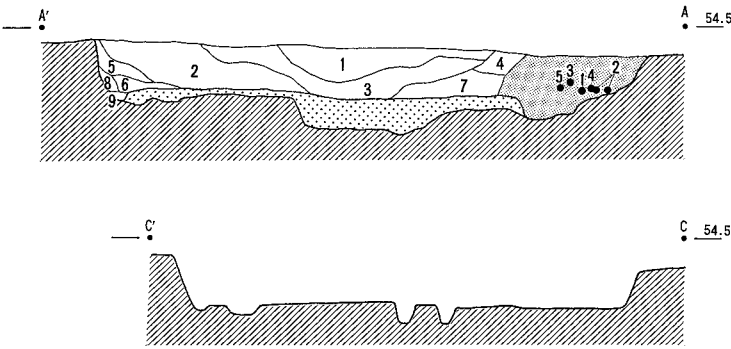
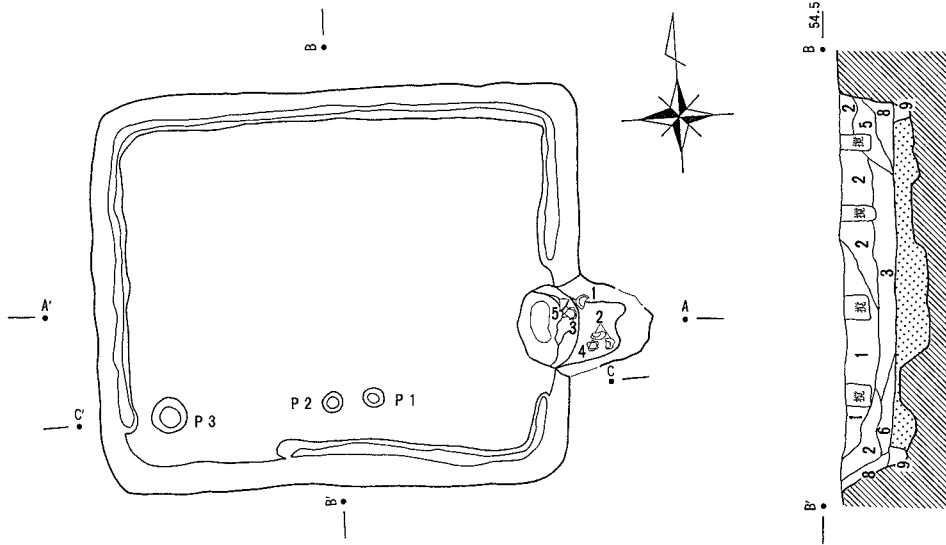
カマド

カマドは東壁の中央からやや南寄りに位置する。規模は幅80cm、奥行106cmで、平面プランはU字状を呈する。壁外へは60cm掘り込んでいる。火床部は長軸33cm、短軸14cmの楕円形を呈し、床面から15cm掘り下る。

第36表 13号住居址出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 < >は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
1	37-1	坏	12.1	7.2	7.8	3.5	還元焰焼成	カマドから出土。底部は回転糸切り後全面回転篋削り。器内外面にロクロ水挽き整形。器内面の体部と底部の変換点に爪先技法。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。残存率60%。
2	37-2	坏	13.2	8.5	8.1	3.0	還元焰焼成	カマドから出土。底部は回転糸切り後外周部回転篋削り。器内外面にロクロ水挽き整形。器内面の体部と底部の変換点に爪先技法。胎土の緻密さから、前内出窯跡系である。残存率100%。



13号住居址

- 1層 暗褐色土 ローム粒子を少量含み、炭化物粒子を微量含む。
- 2層 暗黒褐色土 ローム粒子、炭化物粒子を微量含む。
- 3層 暗褐色土 ローム粒子を多量に含み、炭化物粒子を微量含む。
- 4層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子を少量含み、炭化物粒子を微量含む。
- 5層 暗褐色土 ローム粒子を少量含む。
- 6層 暗褐色土 ローム粒子を微量含む。
- 7層 暗褐色土 ローム粒子、炭化物粒子を微量含む。
- 8層 暗黄褐色土 ローム粒子を多量に含む。
- 9層 暗褐色土 ローム粒子を多量に含む。

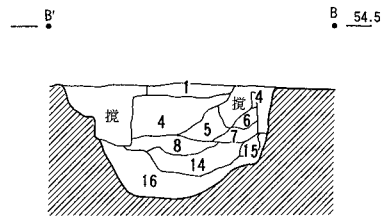
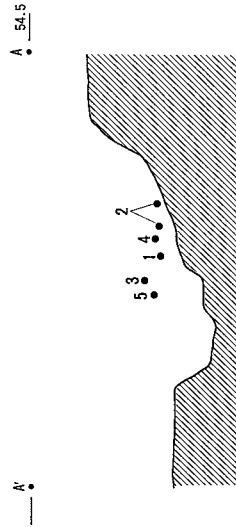
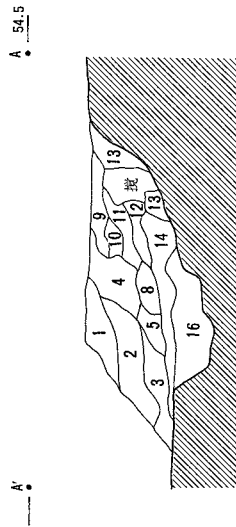
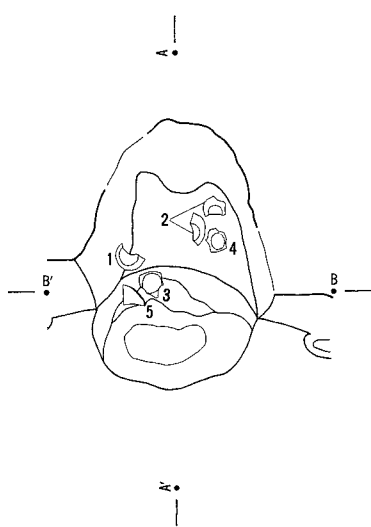
第50図 13号住居址 (1/60)

第37表 13号住居址出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 < >は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
3		坏	(12.6)	6.9	8.0	3.3	還元焰焼成	カマドから出土。底部は回転糸切り後外周部回転篋削り。器内外面にロクロ水挽き整形。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。残存率40%。
4		坏	-	6.5	7.2	-	還元焰焼成	カマドから出土。底部は回転糸切り後全面回転篋削り。器内外面にロクロ水挽き整形。体部下端にバリ取のための回転篋削りを行っている。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産である。残存率は20%。
5		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	カマドから出土。器外面に平行叩きを斜め方向に施し、平行叩きを等間隔で磨り消している。器内面には当て具痕が残る。

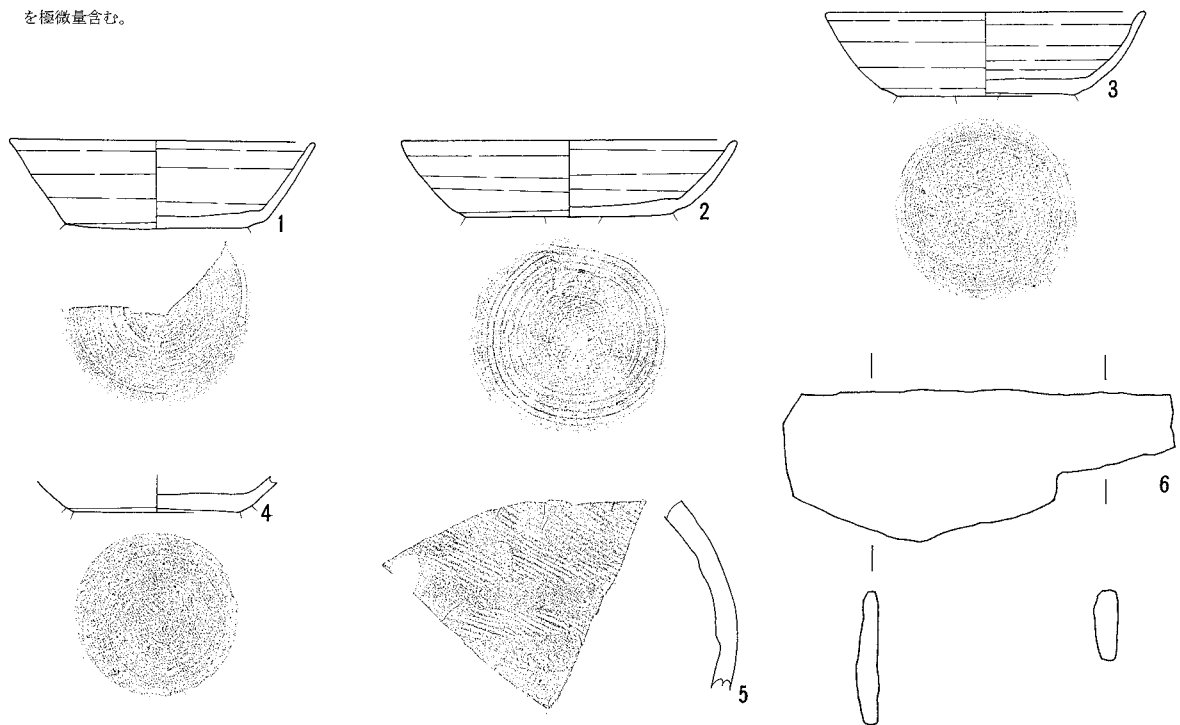
挿図番号	図版番号	種類	長さ	幅	厚み	観察・特徴
6	37-6	刀子	<7.7>	3.0	0.3~0.5	刃部の大半と茎が欠損する。刃部は平造りで、関は片関造りである。



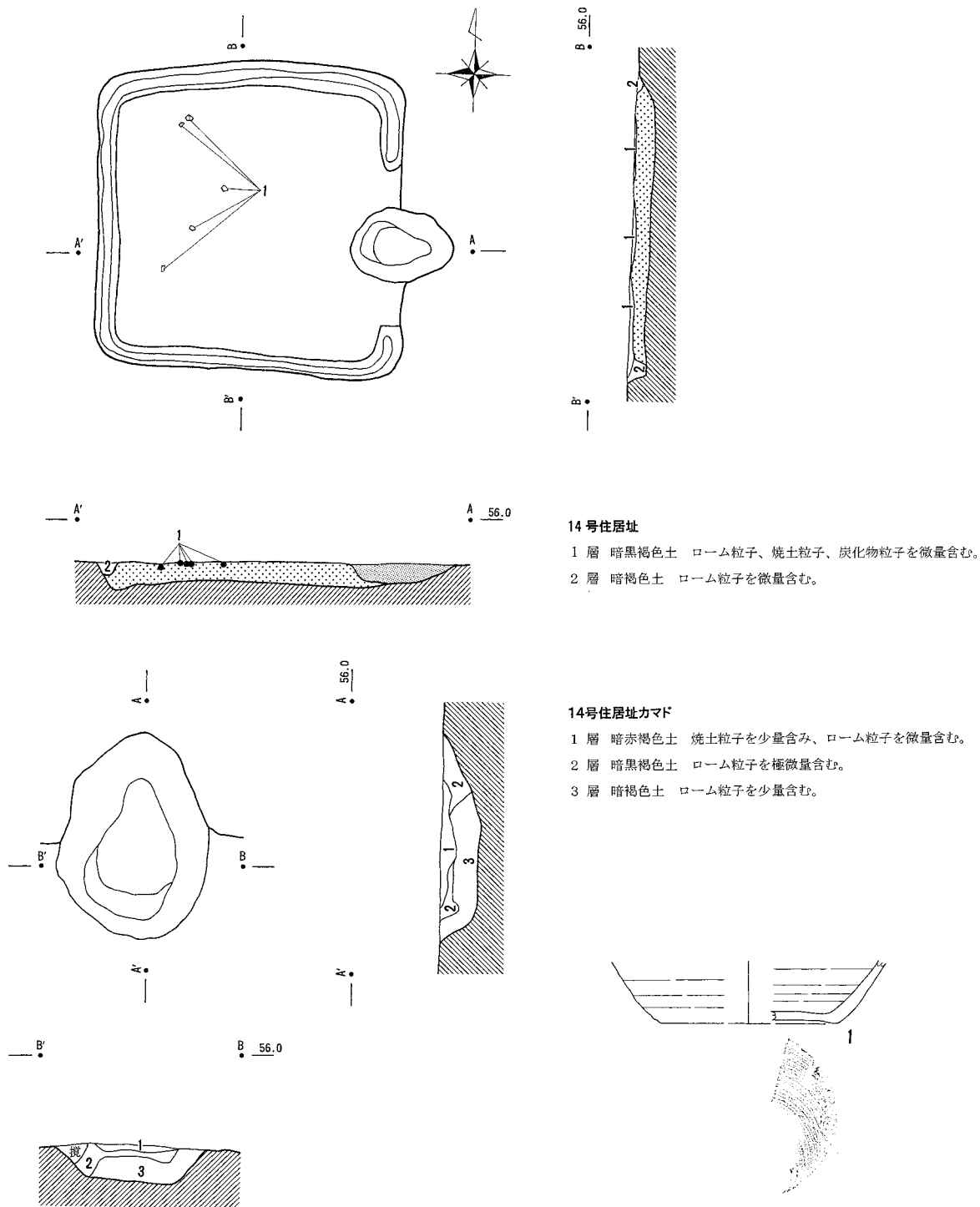
13号住居址カマド

- 1層 暗黄褐色土 ローム粒子を多量に含み、炭化物粒子を極微量含む。
- 2層 暗黒褐色土 ローム粒子、炭化物粒子を少量含む。
- 3層 暗褐色土 ローム粒子を少量含み、炭化物粒子を極微量含む。
- 4層 暗褐色土 ローム粒子を微量含み、焼土粒子、炭化物粒子を極微量含む。
- 5層 暗赤褐色土 焼土粒子を少量含み、ローム粒子を微量含み、炭化物粒子]を極微量含む。

- 6層 暗黄褐色土 ローム粒子を含む。
- 7層 赤褐色土 焼土ブロック、焼土粒子を微量含む。
- 8層 暗黒褐色土 ローム粒子、焼土粒子、炭化物粒子を微量含む。
- 9層 暗黄褐色土 ローム粒子、粘土粒子を少量含み、焼土粒子、炭化物粒子を極微量含む。
- 10層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子を極微量含む。
- 11層 暗黄褐色土 ローム粒子を多量に含む。
- 12層 暗黄褐色土 ローム粒子を多量に含み、焼土粒子を微量含む。
- 13層 暗褐色土 ローム粒子を含む。
- 14層 黒褐色土 炭化物粒子を多量に含み、焼土粒子少量含む。
- 15層 暗褐色土 ローム粒子を多量に含み、焼土粒子、炭化物粒子を微量含む。
- 16層 暗褐色土 ローム粒子、ロームブロック少量を含み、炭化物粒子を微量含む。



第51図 13号住居址カマド (1/30) 出土遺物 (1/3) 但し、6は (2/3)



第52図 14号住居址 (1/60) カマド (1/30) 出土遺物 (1/3)

14号住居址

本住居址は掘り込みが浅く、壁は残っていなかった。遺構確認面で床面と周溝を検出した。規模は東西3m、南北3mをはかり、主軸方位はE-10°-Sである。平面プランは方形を呈する。

床面全面に硬化面が広がっている。周溝はカマドを除き壁に沿って巡り、幅10~18cm、深さ6~14cmをはかる。貼床下の状況はほぼ平坦である。

カマド

カマドは東壁のほぼ中央に位置する。規模は幅70cm、奥行98cmで、平面プランはU字状を呈する。壁外へは50cm掘り込んでいる。火床部は長軸55cm、短軸37cmの不整形を呈し、床面から20cm掘り下げている。

第38表 14号住居址出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 < >は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
1		坏	-	(8.2)	-	-	半還元焰焼成	床面直上出土。底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形を施す。

15号住居址

本住居址の北側は調査区外へと続く。周溝が東壁の途中で止まっているので、おそらく東壁にカマドを構築していたものと思われる。規模は東西4.7mをはかる。平面プランはおそらく東西に長い方形を呈すると思われる。

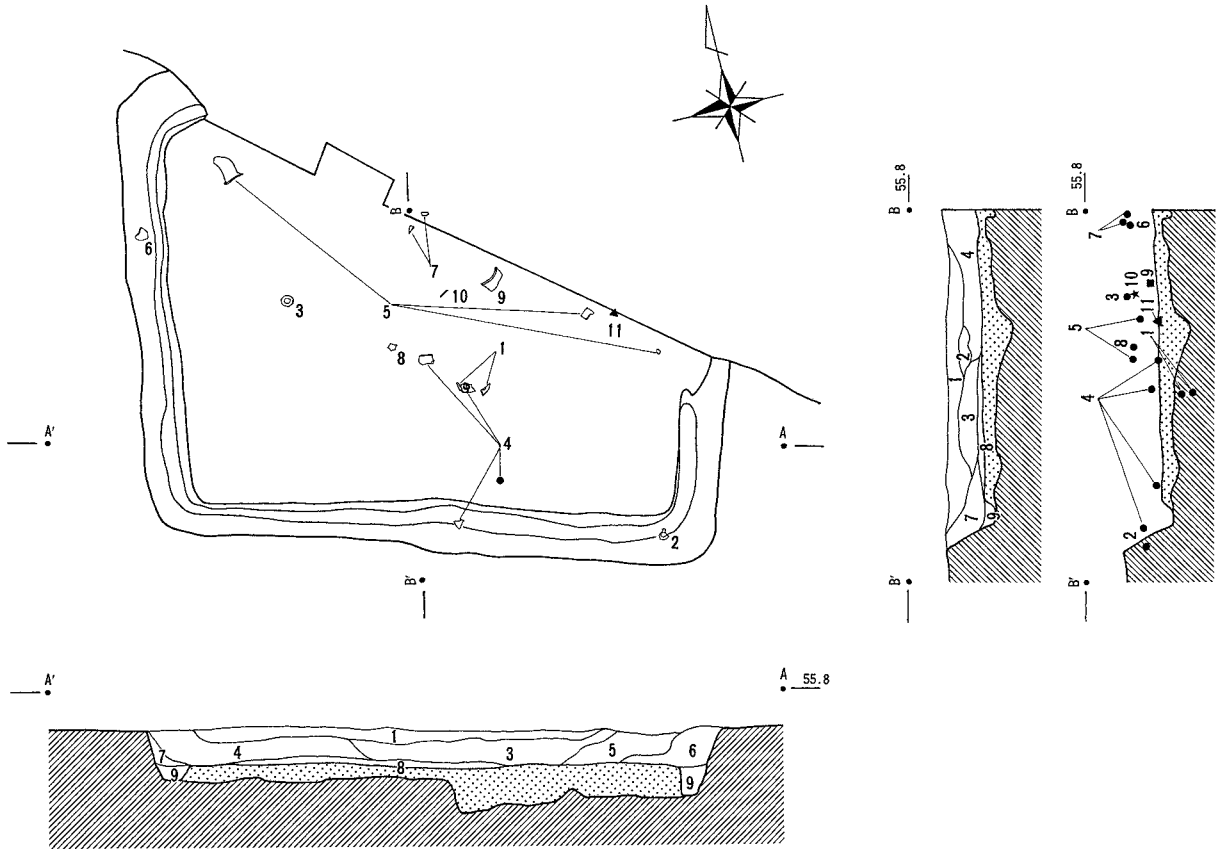
床面は住居址中央に、良好な硬化面が広がっている。貼床下からは、長軸1.1~1.3m、短軸0.85~1.1m、深さ11~21cmの円形を呈する土壌を5基確認した。

壁は緩やかな傾斜を持って立ち上がり、壁高は30cmをはかる。周溝は東壁の途中で止まっている。幅10~23cm、深さ9~22cmをはかる。住居址内でも接合した5の甕は、18m離れた7号井戸から出土した甕と接合した。

第39表 15号住居址出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 < >は既存値

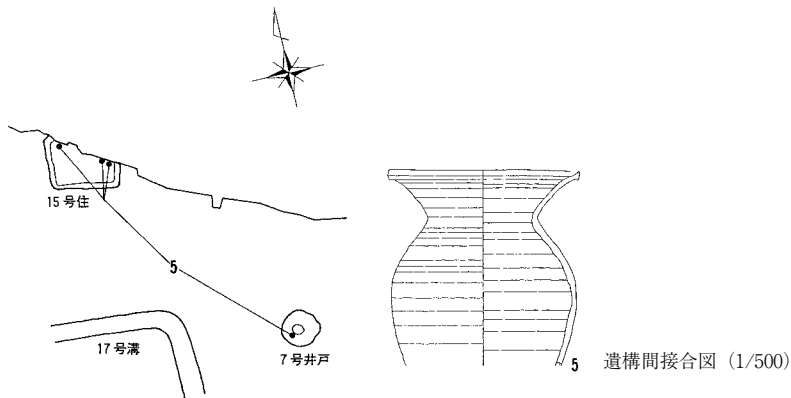
挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
1	37-1	坏	11.7	5.6	5.1	3.4	還元焰焼成	貼床下出土。底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は外反する。残存率95%。
2		坏	-	4.8	4.5	-	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。
3		埴	(14.3)	5.5	5.4	5.4	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。残存率45%。
4	37-4	高台付埴	16.6	7.5	6.2	9.0	還元焰焼成	底部は回転糸切りで、その後に高台を貼り付けている。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は僅かに外反する。残存率60%。
5	37-5	甕	(24.6)	-	-	-	還元焰焼成	口縁部と胴部器内外面にロクロ水挽き整形。胴部器内面に当て具痕が残る。頸部径は14.2cmである。
6	37-6	甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器外面に平行叩きを斜め方向に施す。器内面は当て具痕が残る。
7		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器外面に平行叩きを斜め方向に施す。器内面には当て具痕が残る。
8		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器外面に平行叩きを斜め方向に施す。器内面には当て具痕が残る。



15号住居址

- 1層 暗黒褐色土 ローム粒子、焼土粒子を微量含む。
- 2層 暗茶褐色土 焼土粒子を少量含み、ローム粒子を微量含む。
- 3層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子、炭化物粒子を微量含む。
- 4層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子を微量含む。

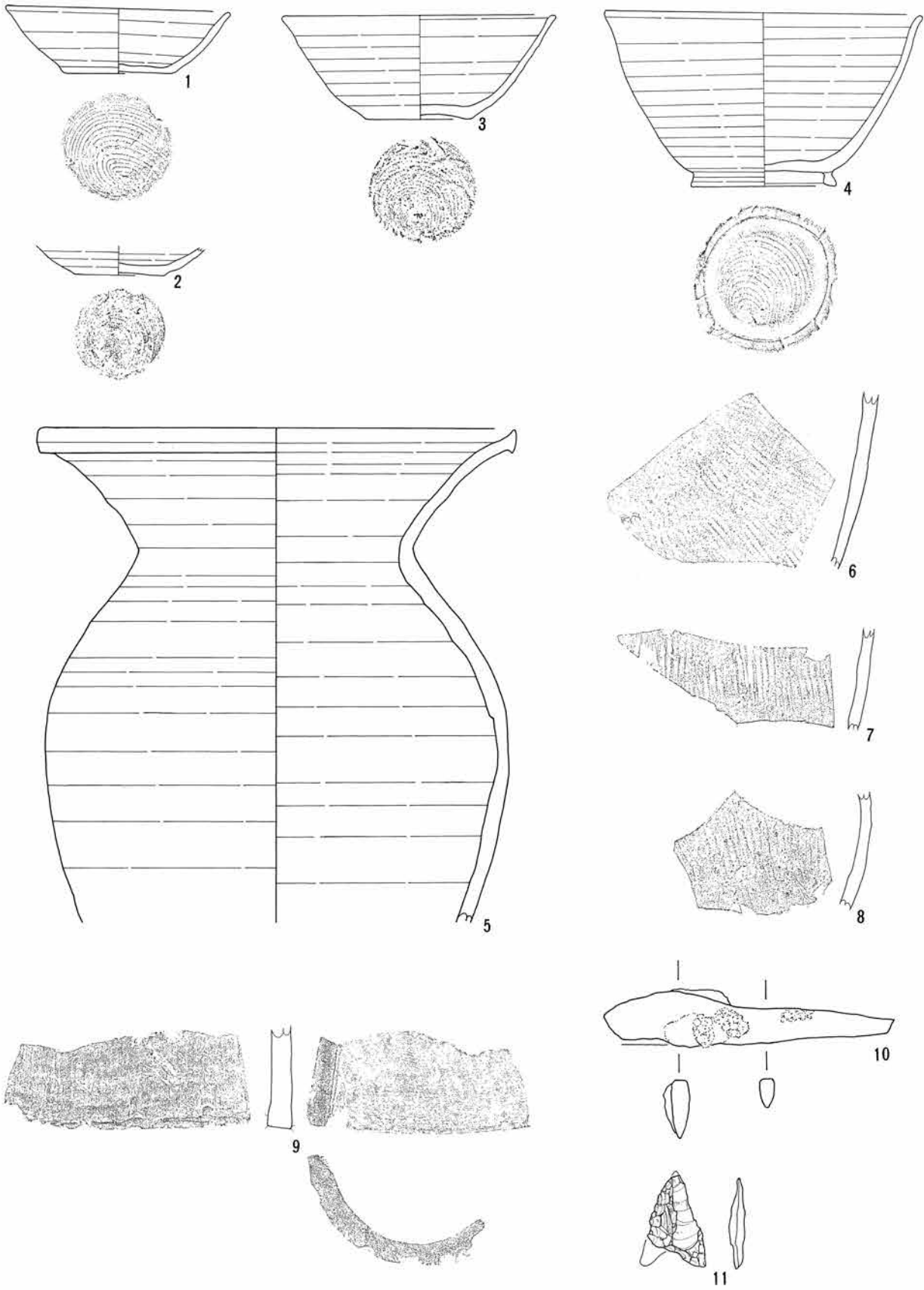
- 5層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子を少量含む。
- 6層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子を極微量含む。
- 7層 暗褐色土 ローム粒子を微量含み、焼土粒子を極微量含む。
- 8層 暗茶褐色土 粘土ブロック、焼土粒子を少量含む。
- 9層 暗茶褐色土 ローム粒子、ローム小ブロックを微量含む。



第53図 15号住居址 (1/60)

単位はcm ()は推定値 ()は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
9		丸瓦	-	-	-	-	還元焰焼成	凹面に布目痕、凸面は縄叩き後に篋削り整形。側面及び端面、凹凸面端部と側部に篋削り。



第54図 15号住居址出土遺物 (1/3) 但し、9は (1/6)、10、11は (2/3)

第40表 15号住居址出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 < >は既存値

挿図番号	図版番号	種類	長さ	幅	厚み	観察・特徴
10	37-10	刀子	<7.6>	1.5	0.3~0.5	刃部と茎尻を欠損する。刃部は平造りで、関は片関造りである。

挿図番号	図版番号	種類	長さ	幅	重さ(g)	石質	観察・特徴
11		石鏃	<2.5>	<1.6>	<1.0>	黒曜石	先端と左脚が欠損する。基部に挟りがある。

16号住居址

規模は東西4.8m、南北4.8mをはかり、主軸方位はE-1°-Sである。平面プランは方形を呈し、東壁の南寄りにカマドを構築している。柱穴は5本確認した。P1は径40~50cm、深さ15cm、P2は径45~50cm、深さ55cm、P3は径40cm、深さ25cm、P4は径40cm、深さ45cm、P5は径22cm、深さ13cmをはかる。

床面は四隅と周溝際を除き、硬化面が広がる。貼床下は、カマドの正面から西壁にかけて大きく落ち込む。壁は僅かな傾斜を持って立ち上がり、壁高は40cmをはかる。壁に沿って幅8~17cm、深さ8~17cmの周溝がカマドを除き巡っている。

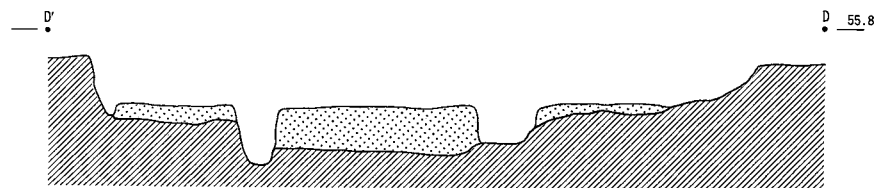
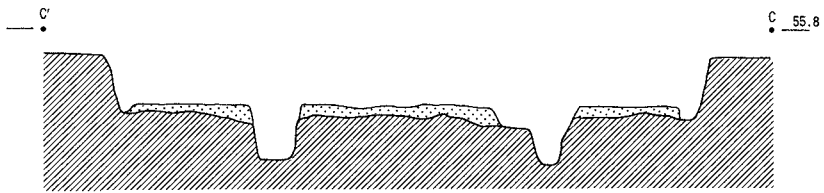
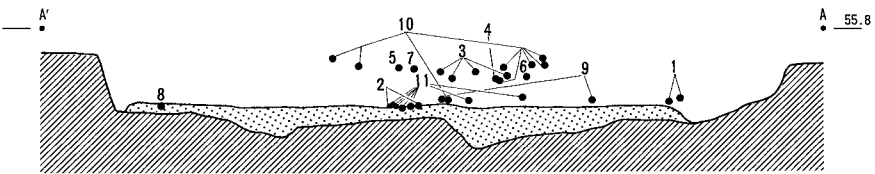
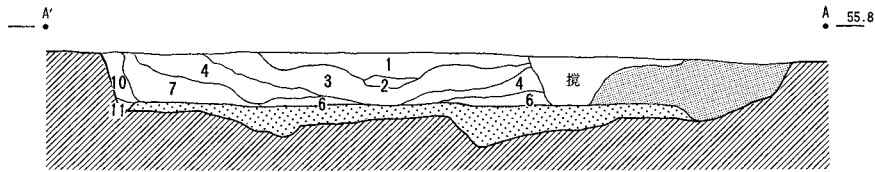
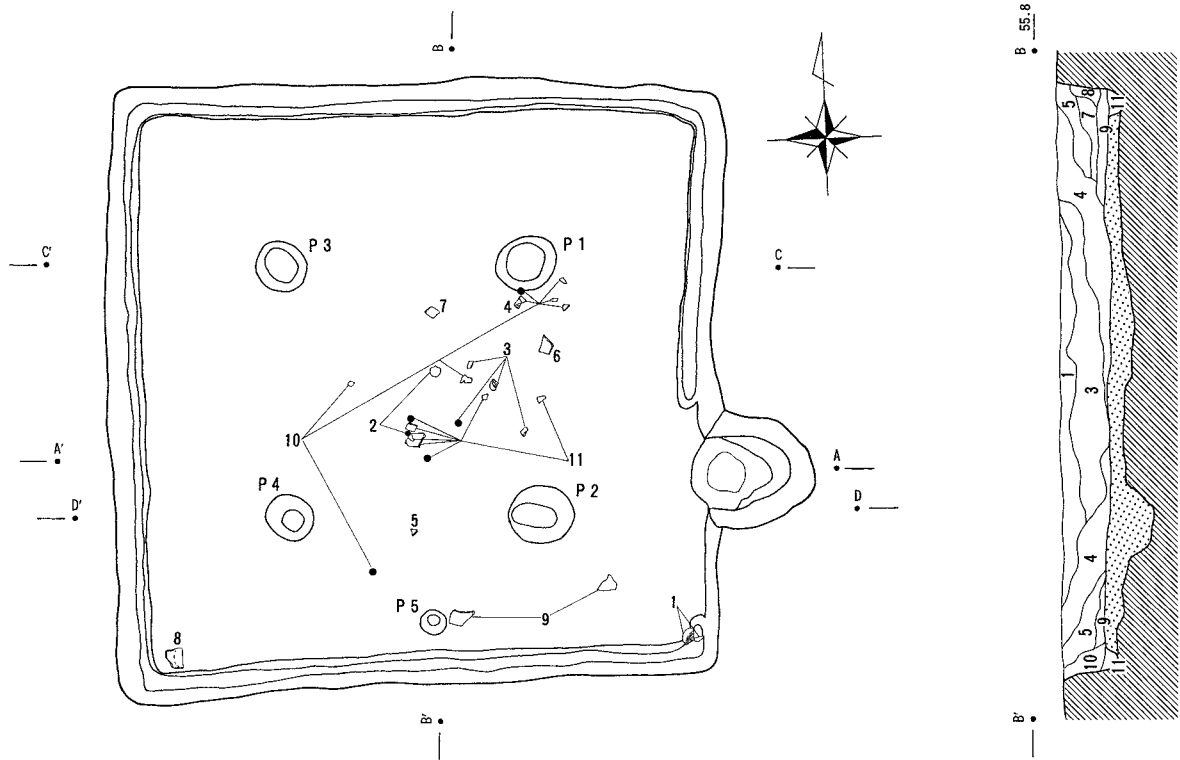
カマド

カマドは東壁の南寄りに位置する。規模は幅88cm、奥行96cmで、平面プランは幅広のU字状を呈する。壁外へは70cm掘り込んでいる。火床部は床面から11cm掘り下げ、径30cmの円形を呈する。

第41表 16号住居址出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 < >は既存値

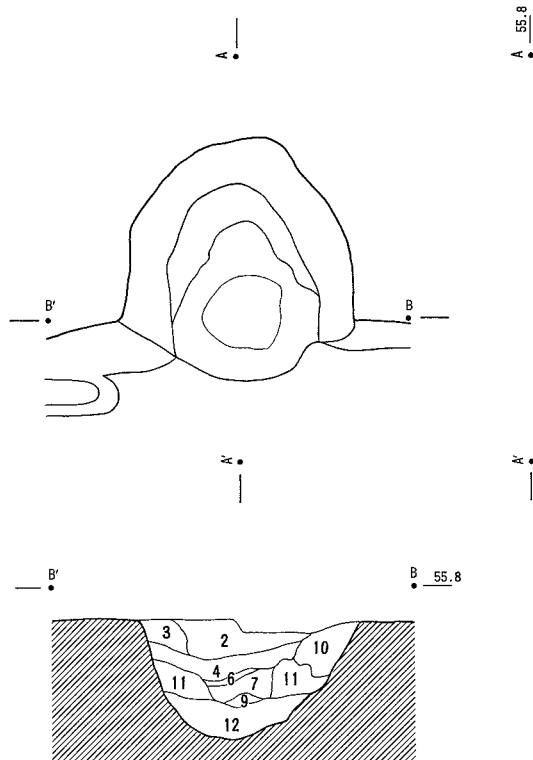
挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
1	37-1	坏	12.5	8.3	8.9	3.3	半還元焰焼成	壁際から出土。底部は回転糸切り後全面回転篋削り。器内外面にロクロ水挽き整形。残存率65%。
2		坏	(11.5)	6.5	6.7	3.3	還元焰焼成	床面直上出土。底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部が外反する。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。残存率45%。
3	37-3	坏	11.7	5.2	5.3	4.0	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。残存率80%。
4		坏	(11.5)	(6.0)	-	3.1	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。残存率30%。
5		坏	-	6.0	-	-	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。底部外面にカマ印。
6		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器外面に斜め方向の平行叩き。器内面はナデ整形。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。
7		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器外面に斜め方向の平行叩き。器内面はナデ整形。器外面に自然釉。
8		甕	-	(17.9)	-	-	還元焰焼成	貼床下出土。器外面に斜め方向の平行叩き。胴部下端は篋削り。器内面はロクロ水挽き整形。



16号住居址

- 1層 暗黒褐色土 ローム粒子、焼土粒子、炭化物粒子を極微量含む。
- 2層 暗褐色土 焼土粒子を少量含み、ローム粒子を微量含む。
- 3層 暗黒褐色土 ローム粒子を微量含み、焼土粒子、炭化物粒子を極微量含む。
- 4層 暗褐色土 ローム粒子を少量含む。
- 5層 暗黒褐色土 ローム粒子を微量含む。
- 6層 暗黄褐色土 ローム粒子を多量に含み、炭化物粒子を微量含む。
- 7層 暗黄褐色土 ローム粒子を少量含み、ロームブロック、炭化物粒子を微量含む。
- 8層 暗黄褐色土 ローム粒子を多量に含む。
- 9層 暗黄褐色土 ローム粒子を多量に含み、ロームブロック、炭化物粒子を微量含む。
- 10層 暗褐色土 ローム粒子、ロームブロックを少量含む。
- 11層 暗褐色土 ローム粒子を微量含む。

第55図 16号住居址 (1/60)



16号住居址カマド

- 1層 暗褐色土 ローム粒子を微量含む。
- 2層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子を極微量含む。
- 3層 暗褐色土 ローム粒子を少量含む。
- 4層 暗褐色土 ローム粒子を微量含む、焼土粒子を極微量含む。
- 5層 暗茶褐色土 ローム粒子、粘土粒子を少量含む、焼土粒子を微量含む。
- 6層 黒褐色土 ローム粒子、炭化物粒子を微量含む。
- 7層 暗茶褐色土 ローム粒子、焼土粒子を少量含む、炭化物粒子を微量含む。
- 8層 暗赤褐色土 焼土粒子を多量に含む。
- 9層 暗黒褐色土 炭化物粒子を多量に含む、ローム粒子、焼土粒子を微量含む。
- 10層 暗茶褐色土 粘土粒子を微量含む、ローム粒子を極微量含む。
- 11層 暗茶褐色土 粘土粒子を少量含む、焼土粒子を微量含む。
- 12層 暗褐色土 ローム粒子を多量に含む。

第56図 16号住居址カマド (1/30)

第42表 16号住居址出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 < >は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
9		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	床面付近から出土。器内面はロクロ水挽き整形。胴部下端に匏削り。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。
10	37-10	甕	(19.8)	-	-	-	土師器	口縁部は崩れたコの字を呈する。口縁部の内外面に横ナデ。胴部外面に横、斜め方向の匏削り。
11	37-11	高台付壺	-	8.6	-	-	還元焰焼成	床面付近から出土。底部は回転糸切り後に高台を貼り付け。器内面はロクロ水挽き整形。器外面の胴部下端に匏削り。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産である。

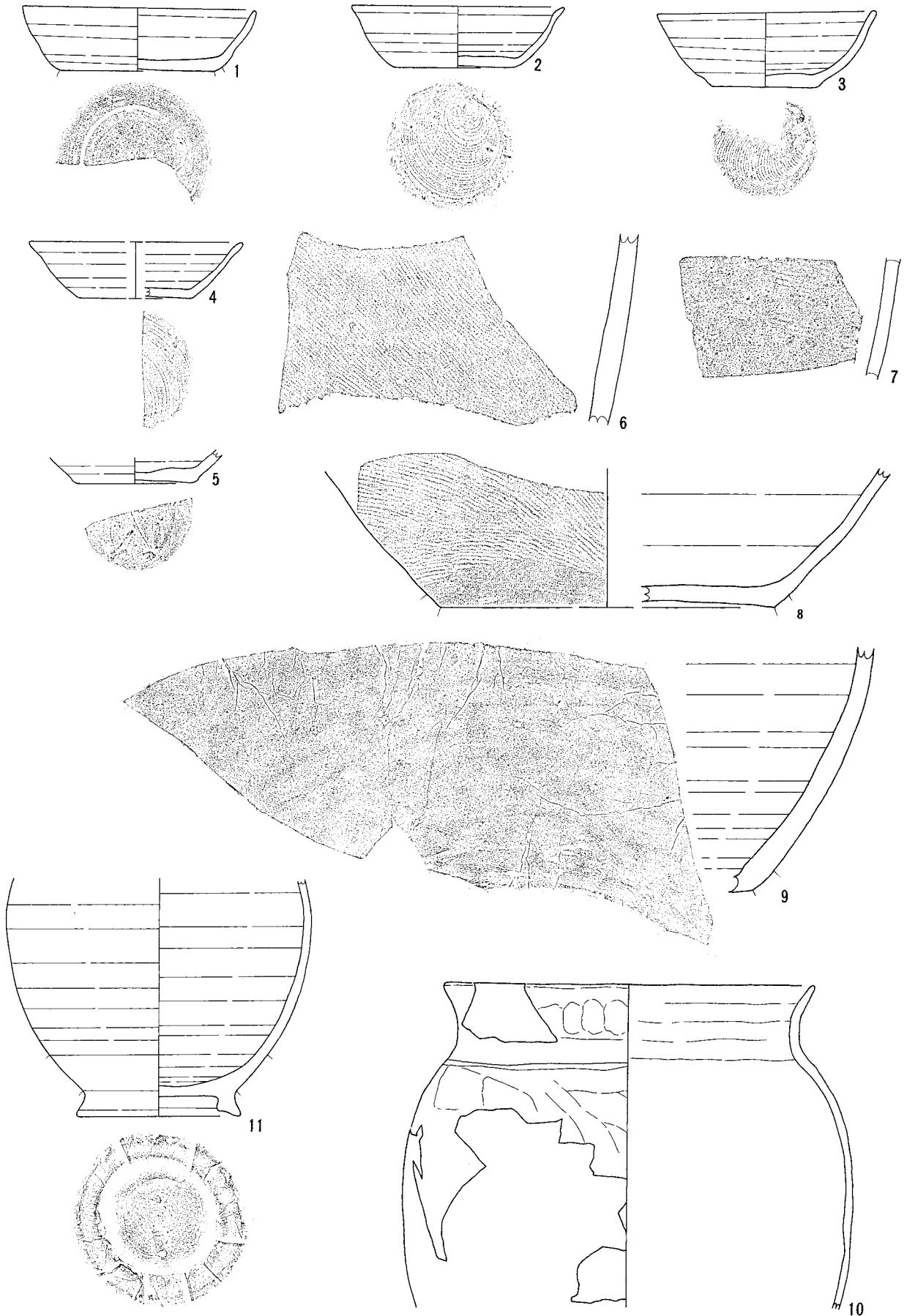
17号住居址

規模は東西4.2m、南北3.5mをはかり、主軸方位はE-2°-Sである。平面プランは東西に長い方形を呈する。カマドは東壁に2ヶ所構築されている。東壁の中央に位置するカマドが新しく、南東コーナー近くに構築されているカマドが古い。床面の状況は、四隅を除く範囲が硬化している。貼床下は平坦。

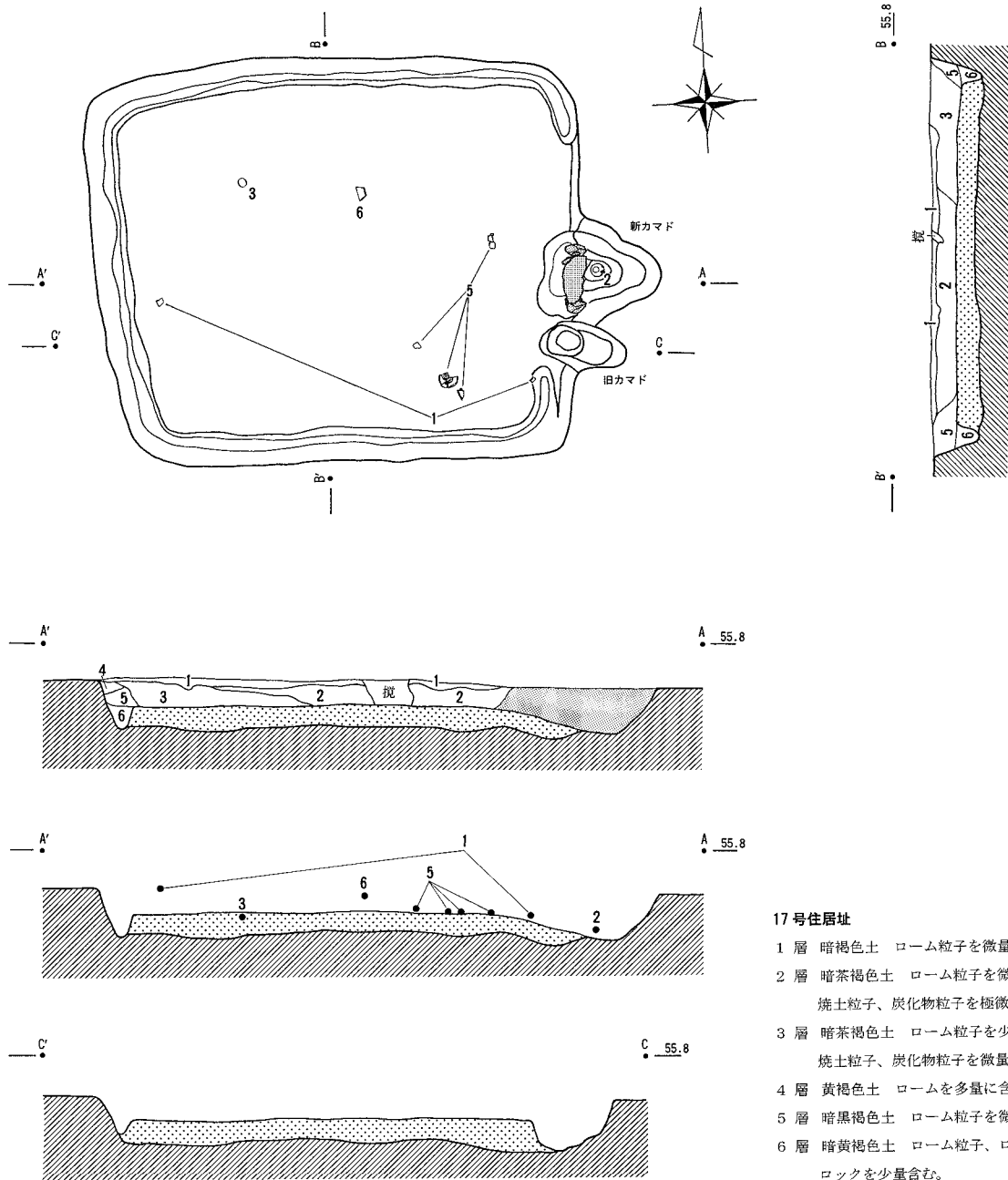
壁は緩やかな傾斜を持って立ち上がり、壁高は20~25cmをはかる。壁に沿って幅7~19cm、深さ5~19cmの周溝がカマドを除き巡っている。

新カマド

カマドは東壁のほぼ中央に位置する。両袖と天井部の基礎に礫が用いられており、天井部の礫は崩れ落ちた状態で出土している。



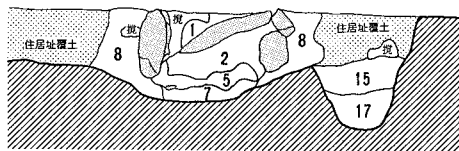
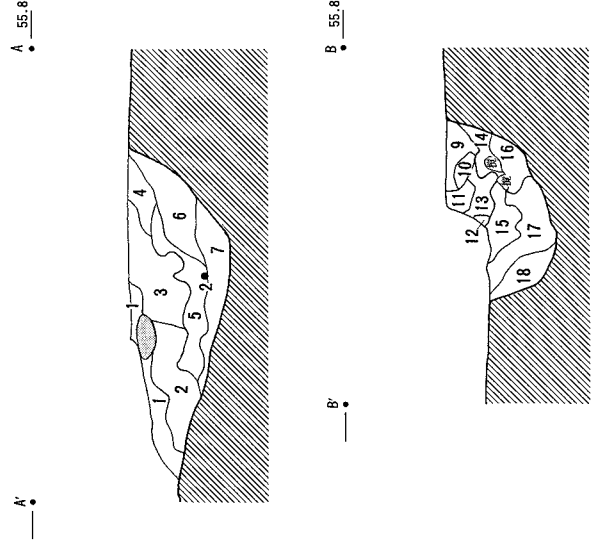
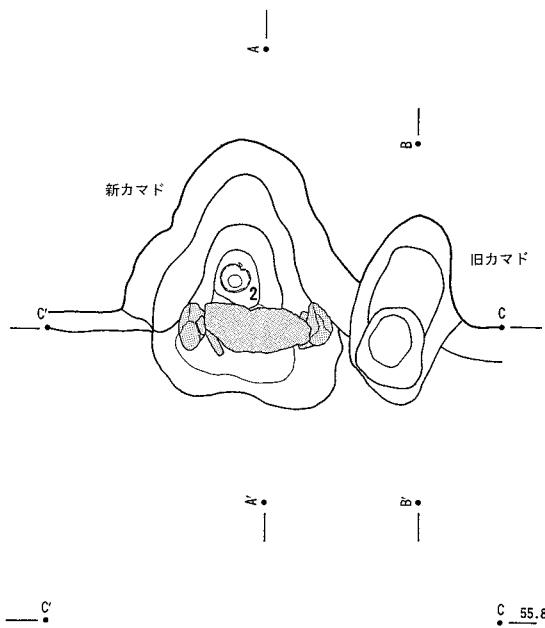
第57图 16号住居址出土遺物 (1/3)



規模は幅94cm、奥行100cmで、平面プランは幅広のU字状を呈する。壁外へは60cm掘り込んでいる。火床部は床面から15cm下り、幅24cm、奥行18cmをはかる。

旧カマド

新カマドの南側に接して位置する。規模は幅45cm、奥行74cmで、平面プランは細長のU字状を呈する。壁外へは34cm掘り込んでいる。火床部は床面から28cm掘り込み、径20cm前後の円形を呈する。



17号住居址カマド

- 1層 暗褐色土 ローム粒子を微量含む。
- 2層 暗褐色土 ローム粒子、粘土粒子を微量含む。
- 3層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子、粘土粒子を微量含む。
- 4層 暗黄褐色土 ローム粒子を多量に含み、焼土粒子を微量含む。

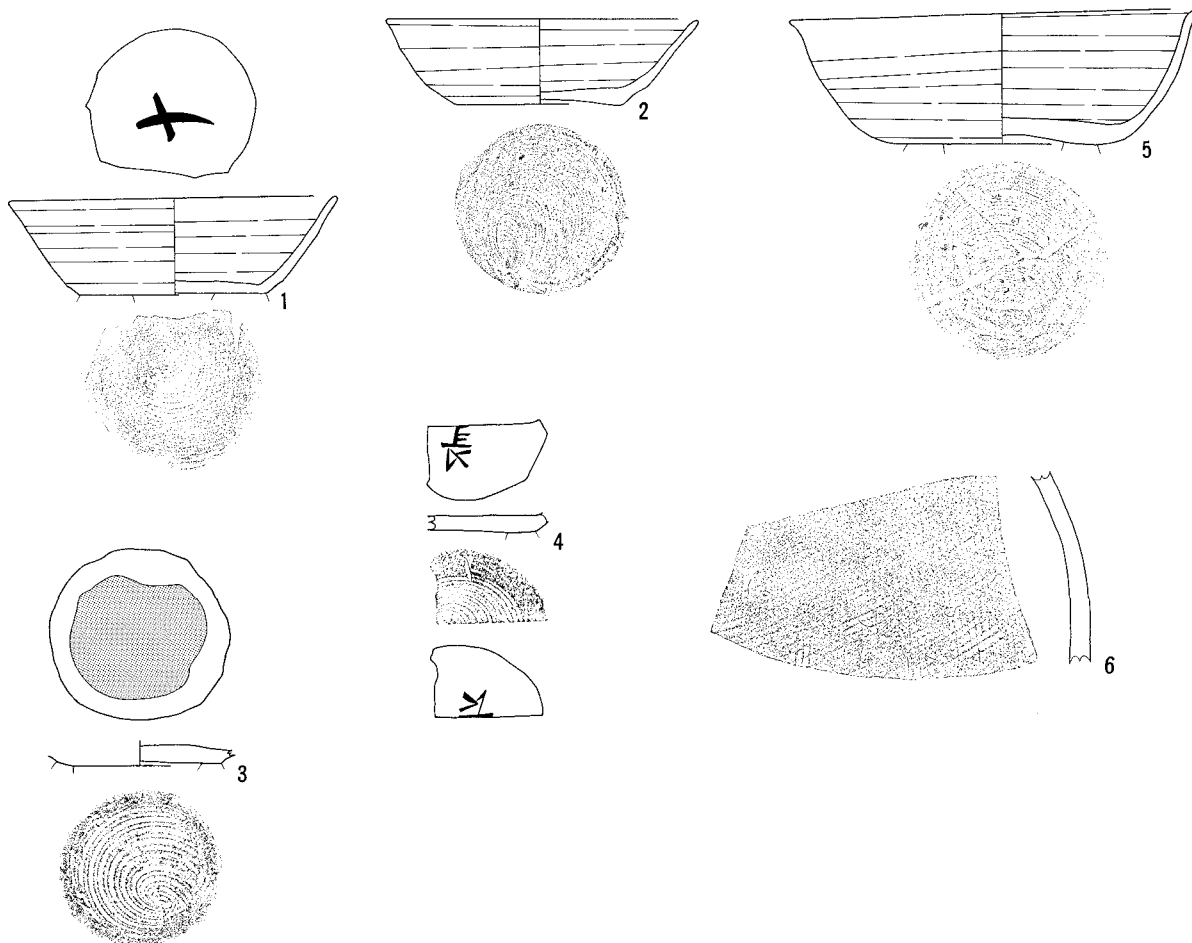
- 5層 暗赤褐色土 焼土粒子を少量含む。
- 6層 暗褐色土 ローム粒子、粘土粒子を少量含み、焼土粒子を微量含む。
- 7層 黒褐色土 炭化物粒子を少量含み、ローム粒子、焼土粒子を微量含む。
- 8層 暗茶褐色土 粘土層。
- 9層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子を微量含み、炭化物粒子を極微量含む。
- 10層 暗褐色土 ローム粒子を微量含み、焼土粒子、炭化物粒子を極微量含む。
- 11層 暗黄褐色土 ローム粒子を多量に含み、焼土粒子を微量含む。
- 12層 暗赤褐色土 焼土ブロックを多量に含む。
- 13層 暗赤褐色土 焼土粒子を多量に含み、ローム粒子を微量含む。
- 14層 暗褐色土 焼土粒子を微量含み、ローム粒子を極微量含む。
- 15層 赤褐色土 焼土粒子を多量に含む。
- 16層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子、炭化物粒子を微量含む。
- 17層 暗褐色土 焼土粒子、炭化物粒子を微量含む。
- 18層 暗黒褐色土 ローム粒子、ローム小ブロックを少量含む。

第59図 17号住居址カマド (1/30)

第43表 17号住居址出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 < >は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
1		坏	(12.8)	7.2	6.1	3.8	還元焰焼成	底部は回転糸切り後外周部回転窺削り。器内外面にロクロ水挽き整形。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。底部外面に「×」の墨書。残存率40%。
2	38-2	坏	12.0	6.5	6.6	3.4	還元焰焼成	新カマドから出土。底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。胎土が非常に緻密であることから、前内出窯跡系と思われる。完形。
3		坏	-	6.5	-	-	還元焰焼成	床面直上出土。底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。底部の外縁部を丁寧に打ち欠いている。器内面は磨かれて、墨が残る。転用硯。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。



第60図 17号住居址出土遺物 (1/3)

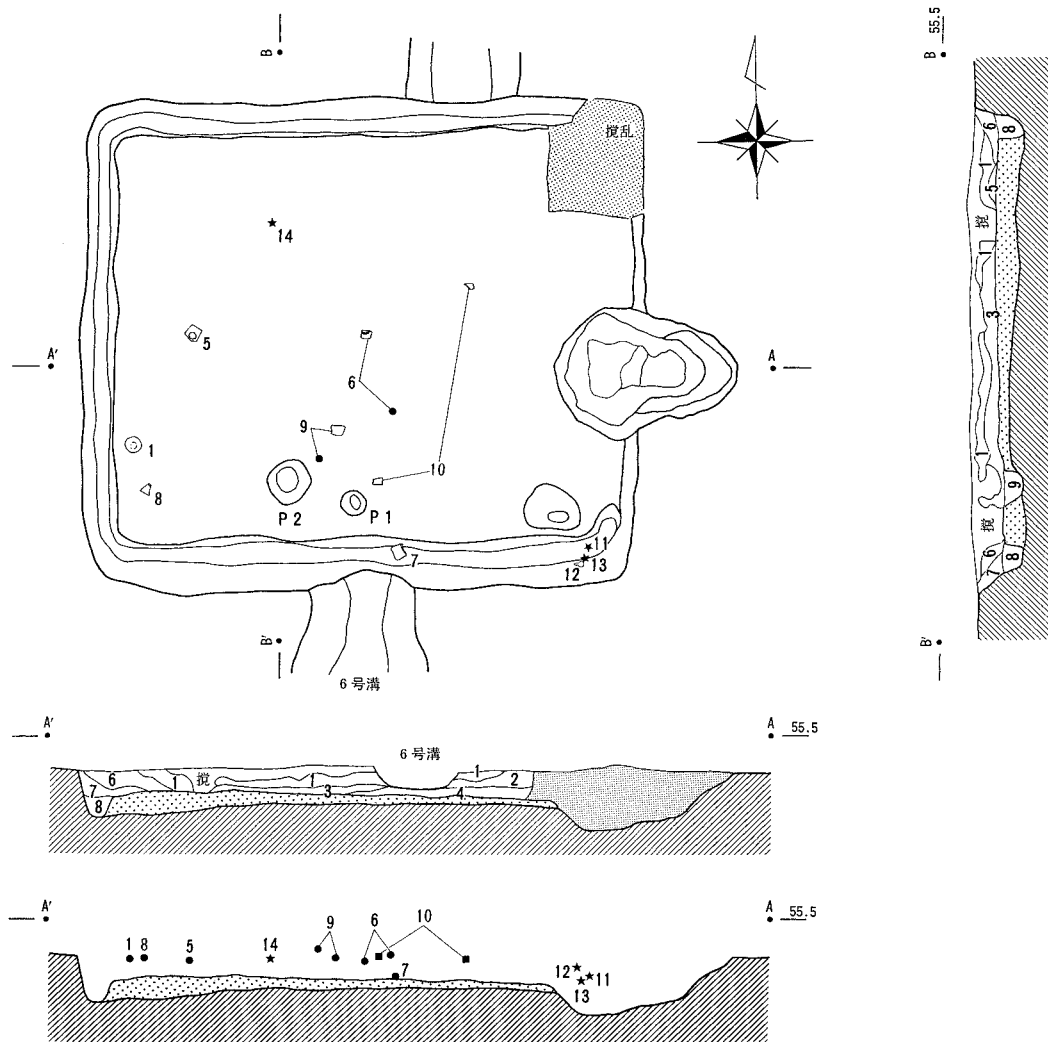
第44表 17号住居址出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 < >は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
4		坏	-	-	-	-	還元焰焼成	底部は回転糸切り後外周部回転篋削り。器内外面にロクロ水挽き整形。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。底部内外面に「長」の墨書。
5	38-5	碗	16.2	7.5	8.2	5.2	還元焰焼成	床面直上出土。底部は回転糸切り後外周部回転篋削り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は僅かに外反する。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。
6		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器外面に斜め方向の平行叩き。器内面は当て具痕の上からナデ整形。

18号住居址

本住居址の中央を南北に6号溝が走っている。新旧関係は18号住居址が古く、6号溝が新しい。北東コーナーには攪乱が入っている。規模は東西4.4m、南北3.9mをはかり、主軸方位はE-3°-Sである。平面プランは方形を呈する。カマドは東壁のほぼ中央に構築されている。床面の状況は、四隅と周溝沿いを除



18号住居址

- | | |
|--------------------------------|---------------------------|
| 1層 暗黒褐色土 ローム粒子、焼土粒子を極微量含む。 | 6層 黒褐色土 ローム粒子を微量含む。 |
| 2層 暗褐色土 焼土粒子、粘土粒子を微量含む。 | 7層 暗黄褐色土 ロームを少量含む。 |
| 3層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子を微量含む。 | 8層 暗褐色土 ローム粒子を少量含む。 |
| 4層 暗茶褐色土 粘土粒子を多量に含み、焼土粒子を少量含む。 | 9層 暗黒褐色土 ローム粒子、焼土粒子を微量含む。 |
| 5層 暗褐色土 焼土粒子、粘土粒子を少量含む。 | |

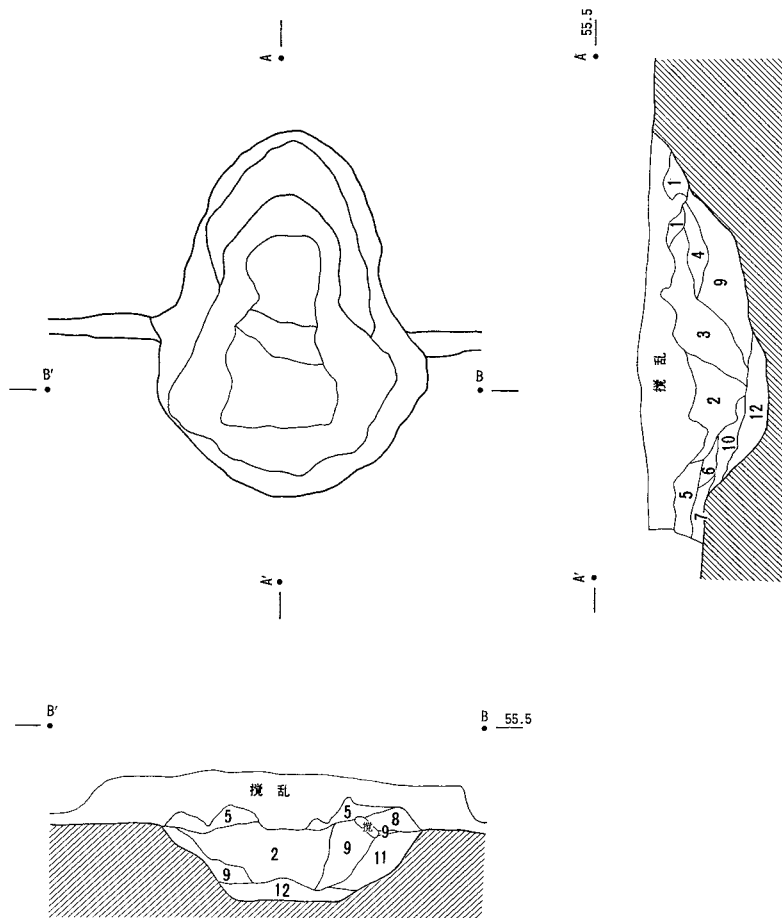
第61図 18号住居址 (1/60)

く範囲が硬化している。貼床下は壁際が落ち込むが、概ね平坦である。

壁は僅かな傾斜を持って立ち上がり、壁高は18~27cmをはかる。壁に沿って幅8~24cm、深さ10~18cmの周溝がカマド付近を除き巡っている。

カマド

カマドは東壁のほぼ中央に位置する。規模は幅100cm、奥行144cmで、平面プランはU字状を呈する。壁外へは76cm掘り込んでいる。火床部は幅44cm、奥行27cmの不整形を呈し、床面から19cm掘り下げている。



18号住居址カマド

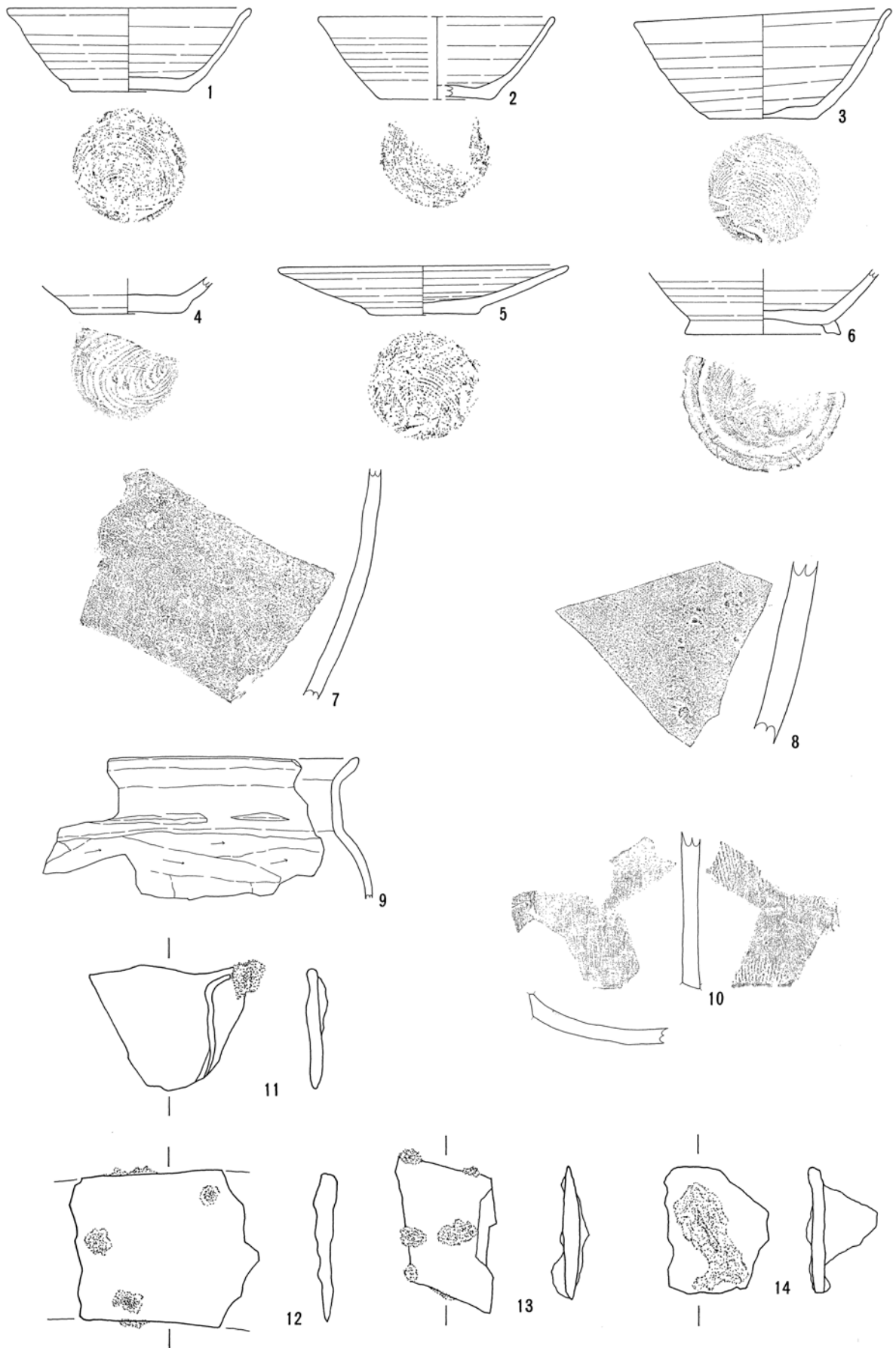
- 1層 暗褐色土 焼土粒子、粘土粒子を微量含む。
- 2層 暗黄茶褐色土 粘土粒子を多量に含み、焼土粒子、炭化物粒子を少量含む。
- 3層 暗黄褐色土 粘土粒子、焼土粒子を少量含み、炭化物粒子を微量含む。
- 4層 赤褐色土 焼土粒子を多量に含み、粘土粒子を微量含む。
- 5層 暗褐色土 炭化物粒子、焼土粒子を少量含む。
- 6層 黒褐色土 ローム粒子を少量含む。
- 7層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子を少量含む。
- 8層 暗褐色土 焼土粒子、炭化物粒子、粘土粒子を微量含む。
- 9層 暗黄褐色土 粘土粒子を少量含み、ローム粒子、焼土ブロック、炭化物粒子を微量含む。
- 10層 暗茶褐色土 粘土粒子を少量含み、焼土粒子、炭化物粒子を微量含む。
- 11層 暗黄褐色土 ローム粒子、ロームブロックを少量含む。
- 12層 暗褐色土 ローム粒子を多量に含む。

第62図 18号住居址カマド (1/30)

第45表 18号住居址出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 < >は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
1	38-1	坏	12.7	6.0	5.6	4.4	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は外反する。完形。
2		坏	(12.3)	5.9	4.5	4.3	還元焰焼成	カマドから出土。底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。胎土が非常に緻密であることから、前内出窯跡系と思われる。残存率45%。
3	38-3	坏	13.4	5.6	5.4	5.4	還元焰焼成	カマドから出土。底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。残存率65%。
4		坏	-	5.6	-	-	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。底部外面に窰記号。
5		皿	(15.2)	5.7	-	2.5	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。残存率45%。
6		高台付壺	-	8.1	-	-	還元焰焼成	底部は回転糸切り後に高台を貼り付け。器内面はロクロ水挽き整形。



第63図 18号住居址出土遺物 (1/3) 但し、10は (1/6)、10~14は (2/3)

第46表 18号住居址出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 < >は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
7		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器内面は当て具痕が残り、その後ナデ整形。器外面に自然釉。
8		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器内面は当て具痕が残り、その後ナデ整形。器外面に自然釉。
9		甕	-	-	-	-	土師器	口縁部はコの字を呈する。口縁部の内外面に横ナデ。胴部外面に横、斜め方向の篔削り。
10		平瓦	-	-	-	-	半還元焰焼成	凹面に布目痕、凸面に縄叩き。端面及び側面、凹面側部、端部に篔削り。

挿図番号	図版番号	種類	長さ	幅	厚み	観察・特徴
11		鎌	<4.2>	3.3	0.4	周溝出土。基部の破片である。基部上端を折り返し、着柄としている。
12		鎌	<4.8>	4.0	0.5	周溝出土。刃部の破片である。
13		鎌	<2.5>	3.6	0.5	周溝出土。刃部の破片である。
14		不明	<2.8>	3.3	0.4	板状で、刃は設けていない。

19号住居址

本住居址の遺存状態は悪く、南側、西側は大きく攪乱を受けている。規模は東西3.6m、南北は不明。主軸方位はE-2°-Sである。平面プランは方形を呈し、カマドは東壁に構築されている。床面は、カマド前の住居址中央部に残る。南東コーナーの攪乱下から、径55cm、深さ33cmの土壌を確認した。この土壌は貯蔵穴と考えられ、遺物が集中して出土している。須恵器甕(7)は、住居址の南で検出した8号集石土壌、9号集石土壌の出土遺物と接合する。本住居址との距離は0.5~2m離れている。

壁は僅かな傾斜を持って立ち上がり、壁高は15cmをはかる。周溝は北壁と西壁の一部で確認し、幅8~22cm、深さ7cmをはかる。貼床下は概ね平坦である。

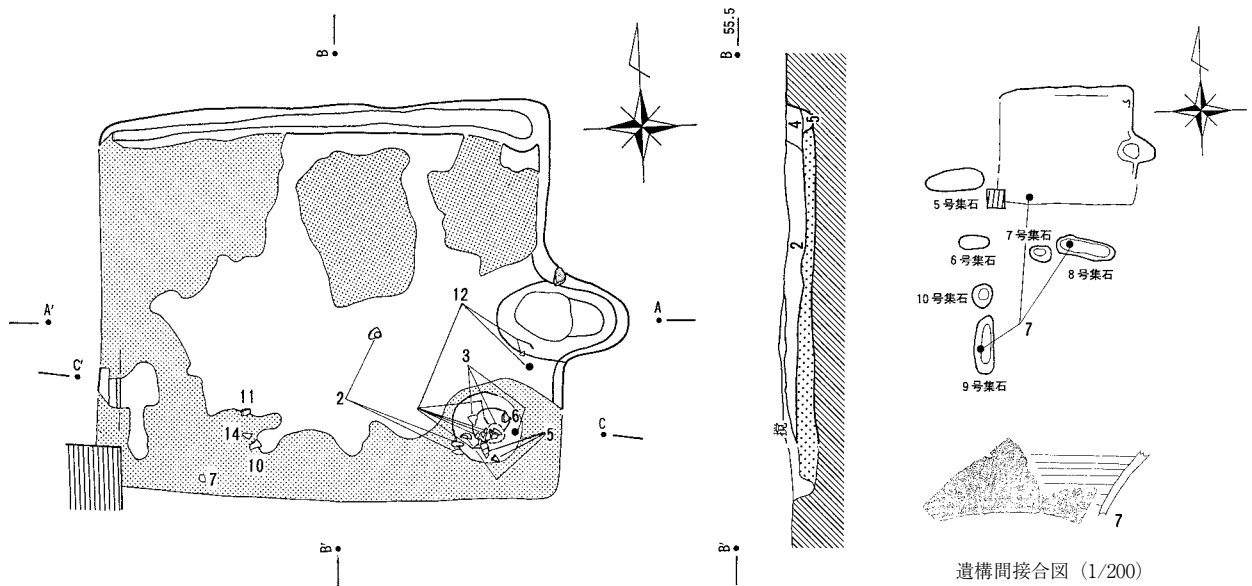
カマド

カマドは東壁に位置する。規模は幅74cm、奥行101cmで、平面プランはU字状を呈する。壁外へは52cm掘り込んでいる。火床部は幅36cm、奥行44cmの不整形を呈し、床面から25cm掘り下げている。

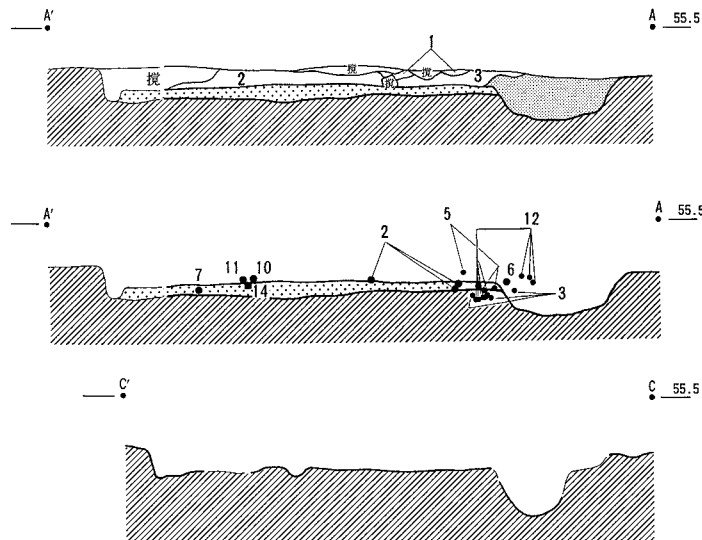
第47表 19号住居址出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 < >は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
1		蓋	(12.8)	-	-	-	還元焰焼成	天井部に回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形後、天井部外面に回転篔削り。器内面に重ね焼き痕。残存率25%。
2	38-2	坏	11.6	4.6	4.5	3.9	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。残存率は100%。
3	38-3	坏	12.3	5.8	4.5	3.6	還元焰焼成	貯蔵穴出土。底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は外反する。底部外面に「×」の篔記号。残存率90%。
4	38-4	坏	12.6	6.3	5.7	3.6	酸化焰焼成	貯蔵穴出土。底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。底部の器外面に「田」の墨書。完形。



遺構間接合図 (1/200)



19号住居址

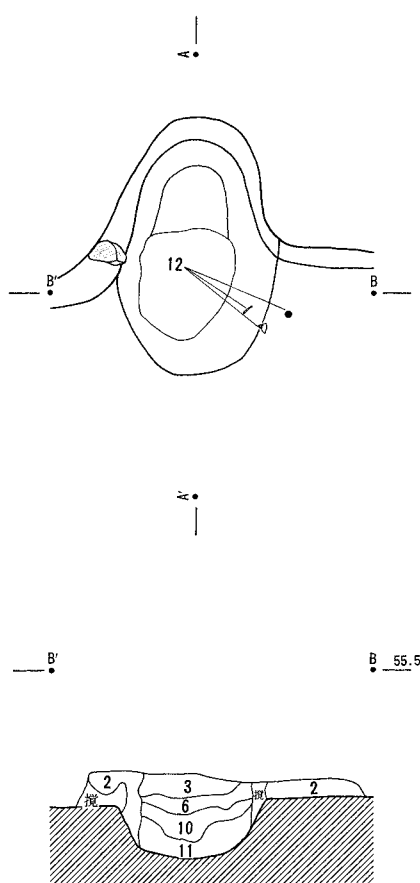
- 1層 暗褐色土 ローム粒子、粘土粒子を微量含む。
- 2層 暗黒褐色土 ローム粒子、焼土粒子を微量含む。
- 3層 暗褐色土 焼土粒子を微量含む、粘土粒子を極微量含む。
- 4層 暗褐色土 ローム粒子を少量含む、焼土粒子を微量含む。
- 5層 暗黄褐色土 ローム粒子を少量含む。

第64図 19号住居址 (1/60)

第48表 19号住居址出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 < >は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
5		皿	(16.0)	5.0	-	2.5	半還元焰焼成	貯蔵穴出土。底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。残存率40%。
6		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	貯蔵穴出土。器内外面にロクロ水挽き整形。
7		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器内外面にロクロ水挽き整形。8号集石土壙、9号集石土壙出土遺物と接合。
8		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器外面に斜め方向の平行叩き。器内面に当て具痕が残る。その後に器内外面に横ナデ整形。
9		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器内面に当て具痕。器内外面にナデ整形。
10		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器外面に斜め方向の平行叩き。器内面はナデ整形。



19号住居址カマド

- 1層 暗茶褐色土 粘土粒子を多量に含み、焼土粒子を微量含む。
- 2層 暗茶褐色土 粘土粒子を多量に含む。
- 3層 暗赤褐色土 焼土ブロックを多量に含み、粘土粒子を微量含む。
- 4層 暗赤褐色土 焼土粒子を多量に含み、粘土粒子を少量含む。
- 5層 暗赤褐色土 焼土粒子を多量に含む。
- 6層 暗黒褐色土 焼土粒子、炭化物粒子を少量含む。
- 7層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子を微量含む。
- 8層 明褐色土 ローム粒子を少量含み、粘土粒子を微量含む。
- 9層 暗褐色土 ローム粒子を少量含み、焼土粒子を微量含む。
- 10層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子、炭化物粒子を微量含む。
- 11層 暗黒褐色土 ローム粒子を少量含む。

第65図 19号住居址カマド (1/30)

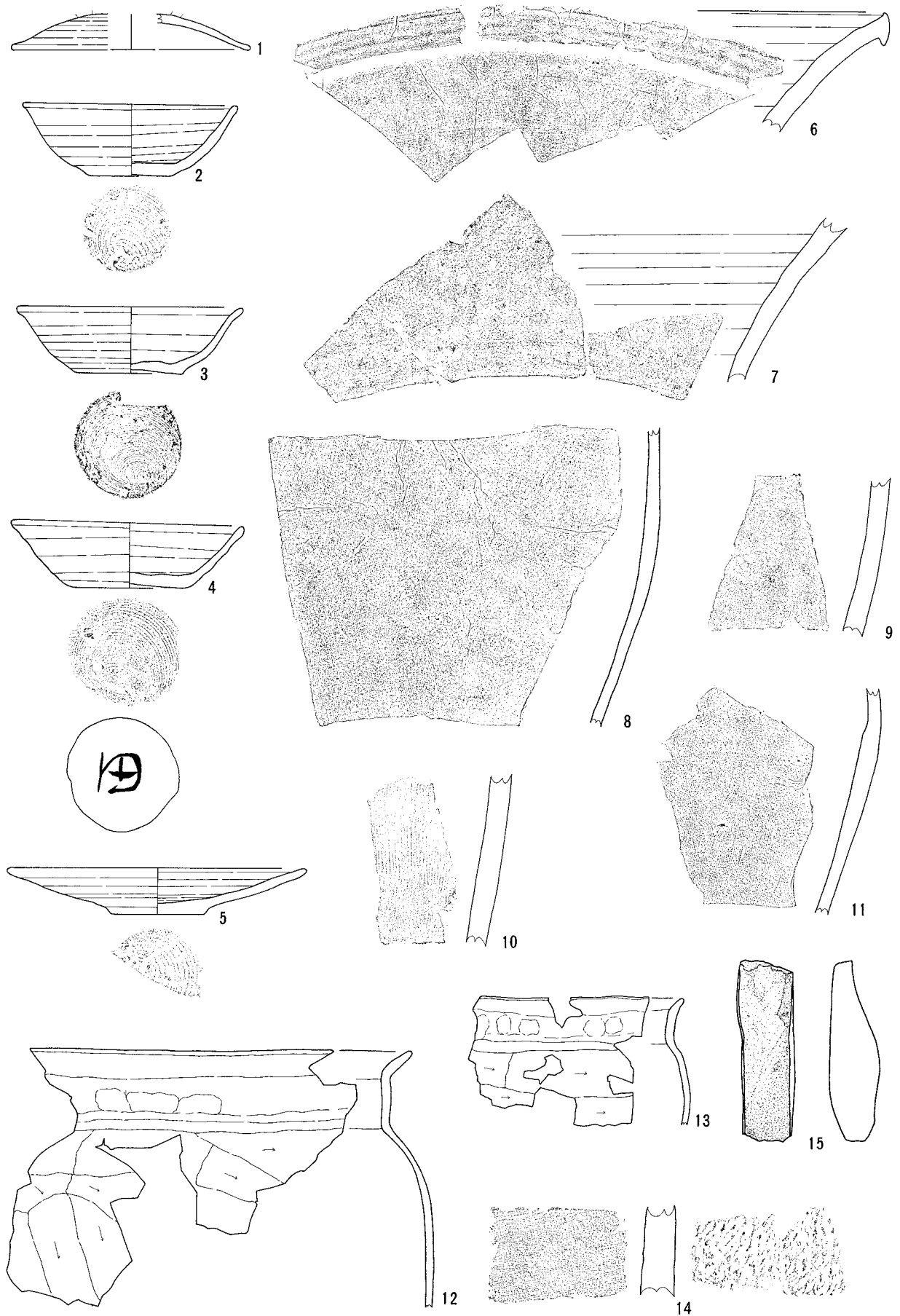
単位はcm ()は推定値 ()は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
11		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器外面に斜め方向の平行叩き。器内面に当て具痕が残るが、横ナデ整形。器外面に自然釉が付着。
12		甕	-	-	-	-	土師器	口縁部はコの字を呈する。口縁部の内外面に横ナデ。胴部外面に横、斜め方向の篋削り。
13		台付甕	-	-	-	-	土師器	口縁部はコの字を呈する。口縁部の内外面に横ナデ。胴部外面に横、斜め方向の篋削り。
14		平瓦	-	-	-	-	還元焰焼成	凹面に布目痕、凸面に縄叩き。

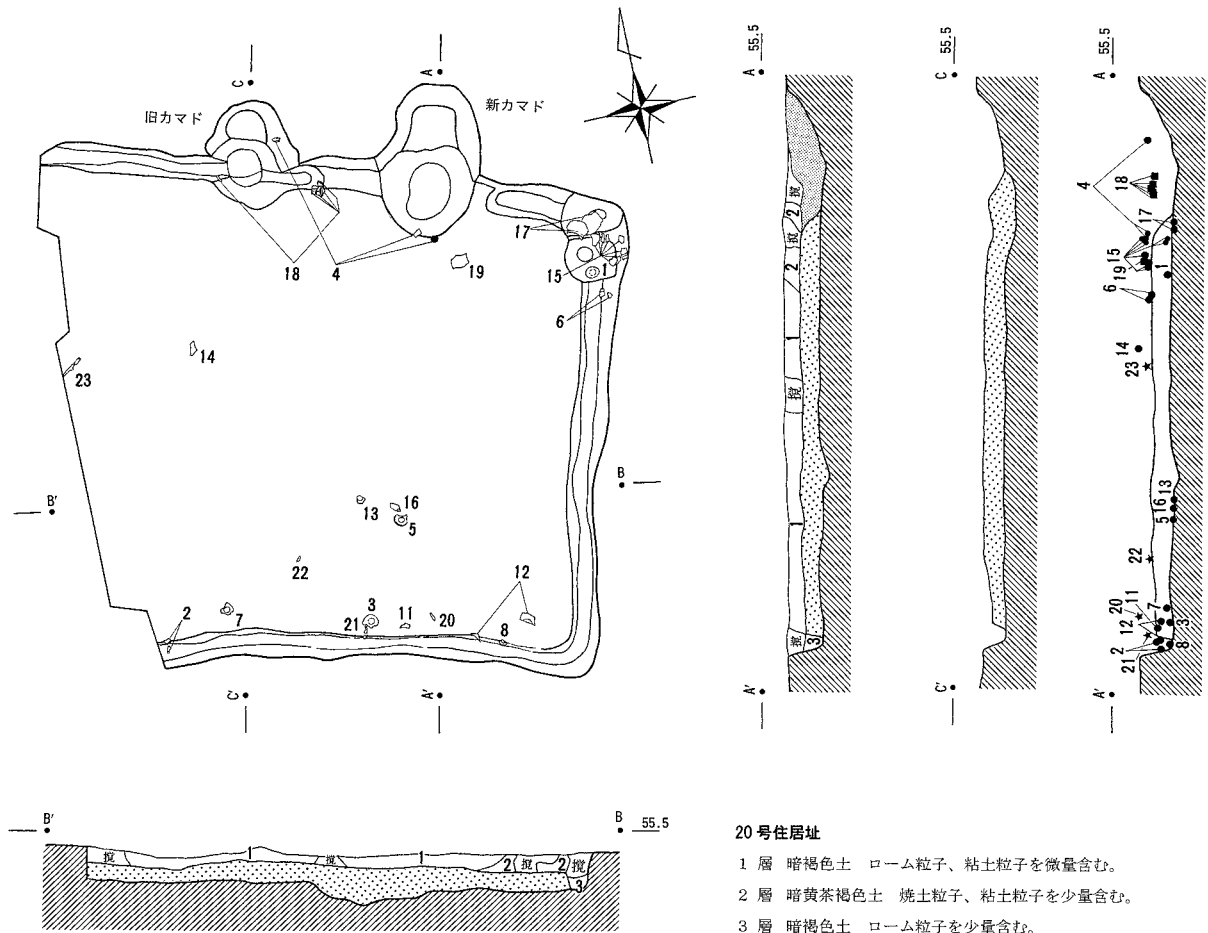
挿図番号	図版番号	種類	重さ(g)	観察・特徴
15		砥石	98	両面、両側面に擦り痕が残る。石質は凝灰岩である。残存長6.9cm。

20号住居址

本住居址の西側は調査区外へと続く。規模は南北4.1mをはかり、主軸方位はN-125°-Eである。平面プランは東西方向に長い方形を呈すると思われる。新旧のカマドが同じ北壁のほぼ中央と東寄りに構築されている。西側のカマドから、東側へと移築している。床面の状況は、中央とカマド前の範囲が硬化し



第66图 19号住居址出土遺物 (1/3)



第67図 20号住居址 (1/60)

ている。貼床下は中央部分が少し落ち込むが、概ね平坦である。

壁は僅かな傾斜を持って立ち上がり、壁高は14cmをはかる。壁に沿って幅8~21cm、深さ6~18cmの周溝がカマド付近を除き巡っている。北東コーナーの周溝内には小ピットが見られ、覆土中から1、15、17の遺物が出土している。

新カマド

カマドは東壁の東寄りに位置する。規模は幅85cm、奥行119cmで、平面プランはU字状を呈する。壁外へは65cm掘り込んでいる。火床部は幅33cm、奥行46cmの楕円形を呈し、床面から15cm掘り下げている。

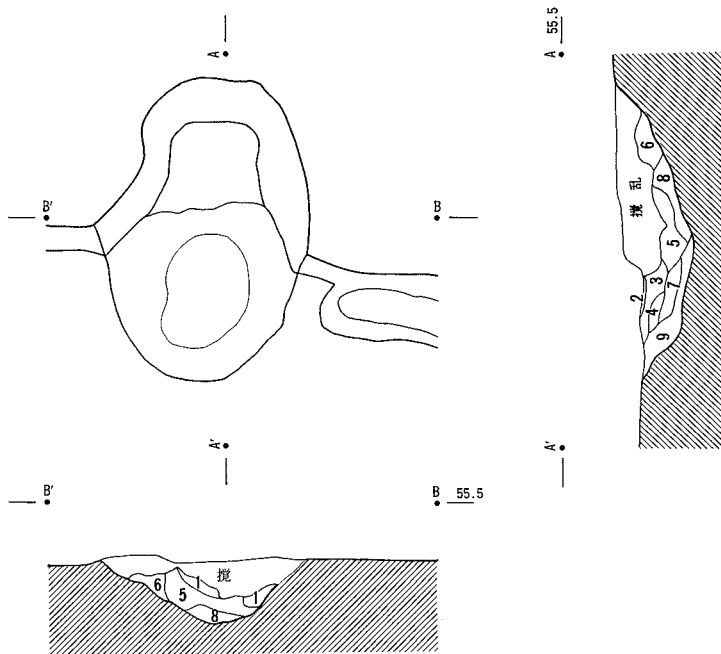
旧カマド

カマドは東壁のほぼ中央に位置する。規模は幅69cm、奥行85cmで、平面プランはU字状を呈する。壁外へは48cm掘り込んでいる。火床部は幅27、奥行30cmの円形を呈し、床面から9cm掘り下げている。

第49表 20号住居址出土遺物観察表

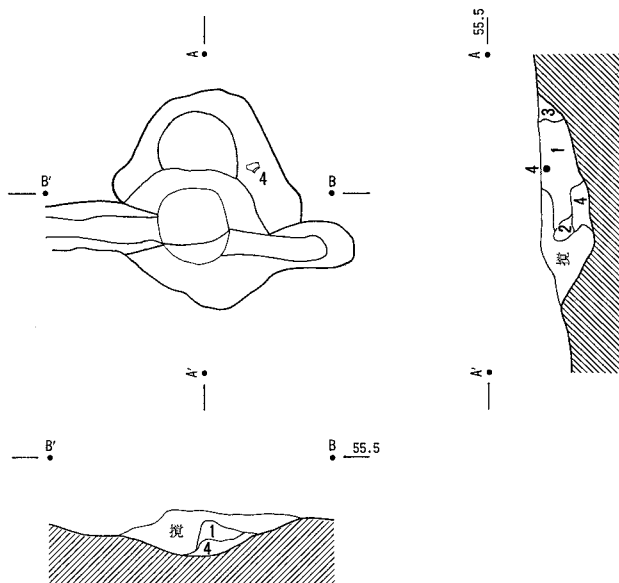
単位はcm ()は推定値 ()は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
1	38-1	坏	11.9	5.2	5.7	4.0	還元焰焼成	北東コーナーのピットから出土。底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。完形。
2		坏	(11.6)	4.6	4.6	3.6	還元焰焼成	周溝出土。底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。残存率25%。



20号住居址新カマド

- 1層 暗褐色土 焼土粒子を少量含み、ローム粒子を微量含む。
- 2層 赤褐色土 焼土粒子を多量に含み、炭化物粒子を微量含む。
- 3層 暗茶褐色土 粘土粒子を多量に含み、焼土粒子を極微量含む。
- 4層 暗褐色土 ローム粒子、粘土粒子を少量含む。
- 5層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子を微量含み、炭化物粒子を極微量含む。
- 6層 暗黄褐色土 ローム粒子を多量に含む。
- 7層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子を微量含む。
- 8層 暗黄褐色土 ローム粒子を少量含み、焼土粒子を極微量含む。
- 9層 暗褐色土 焼土粒子、粘土粒子を微量含む。



20号住居址旧カマド

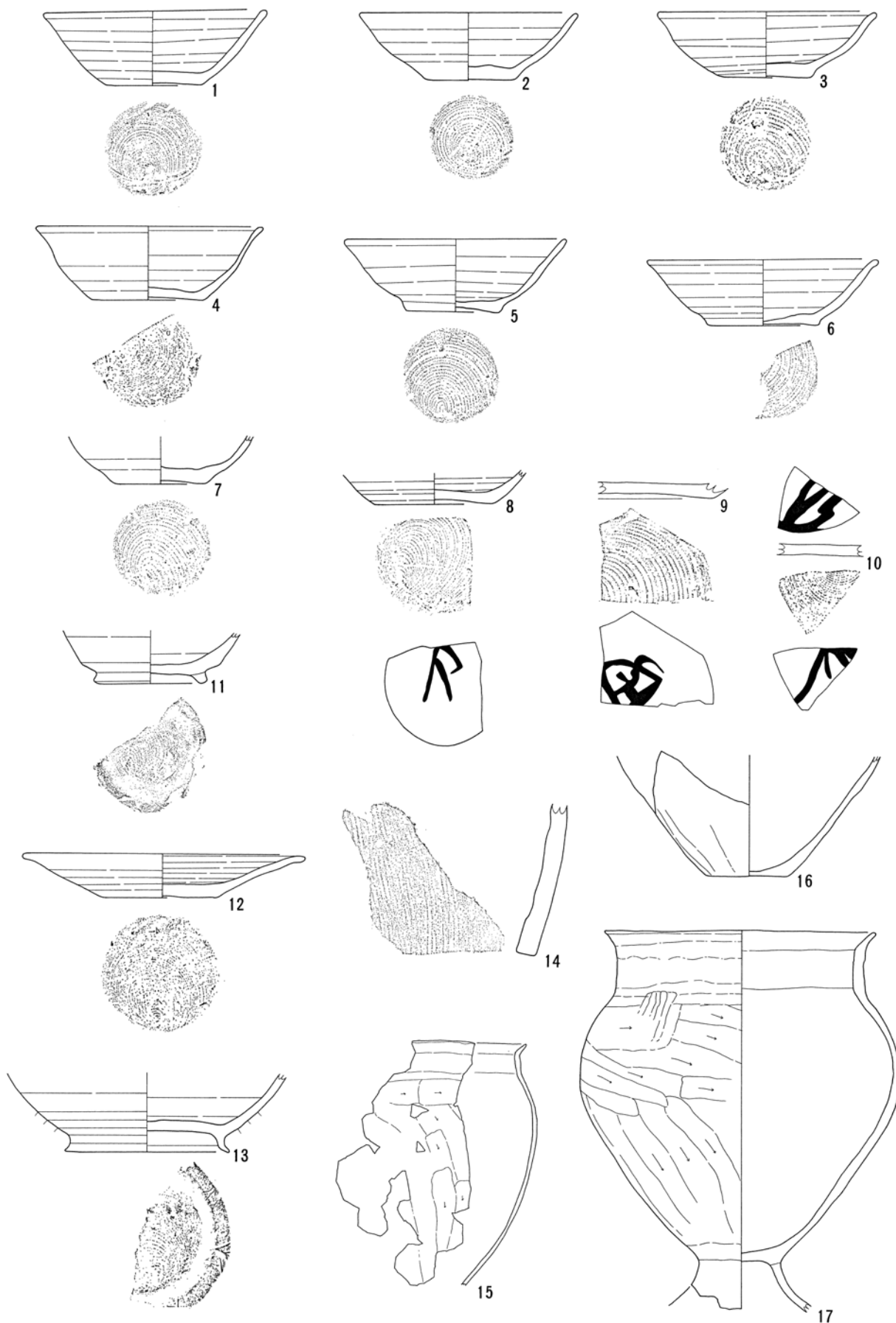
- 1層 暗赤褐色土 焼土粒子を少量含む。
- 2層 明赤褐色土 焼土粒子、焼土ブロックを多量に含む。
- 3層 明褐色土 ローム粒子を多量に含む。
- 4層 暗褐色土 ローム粒子を少量含む。

第68図 20号住居址新カマド 旧カマド (1/30)

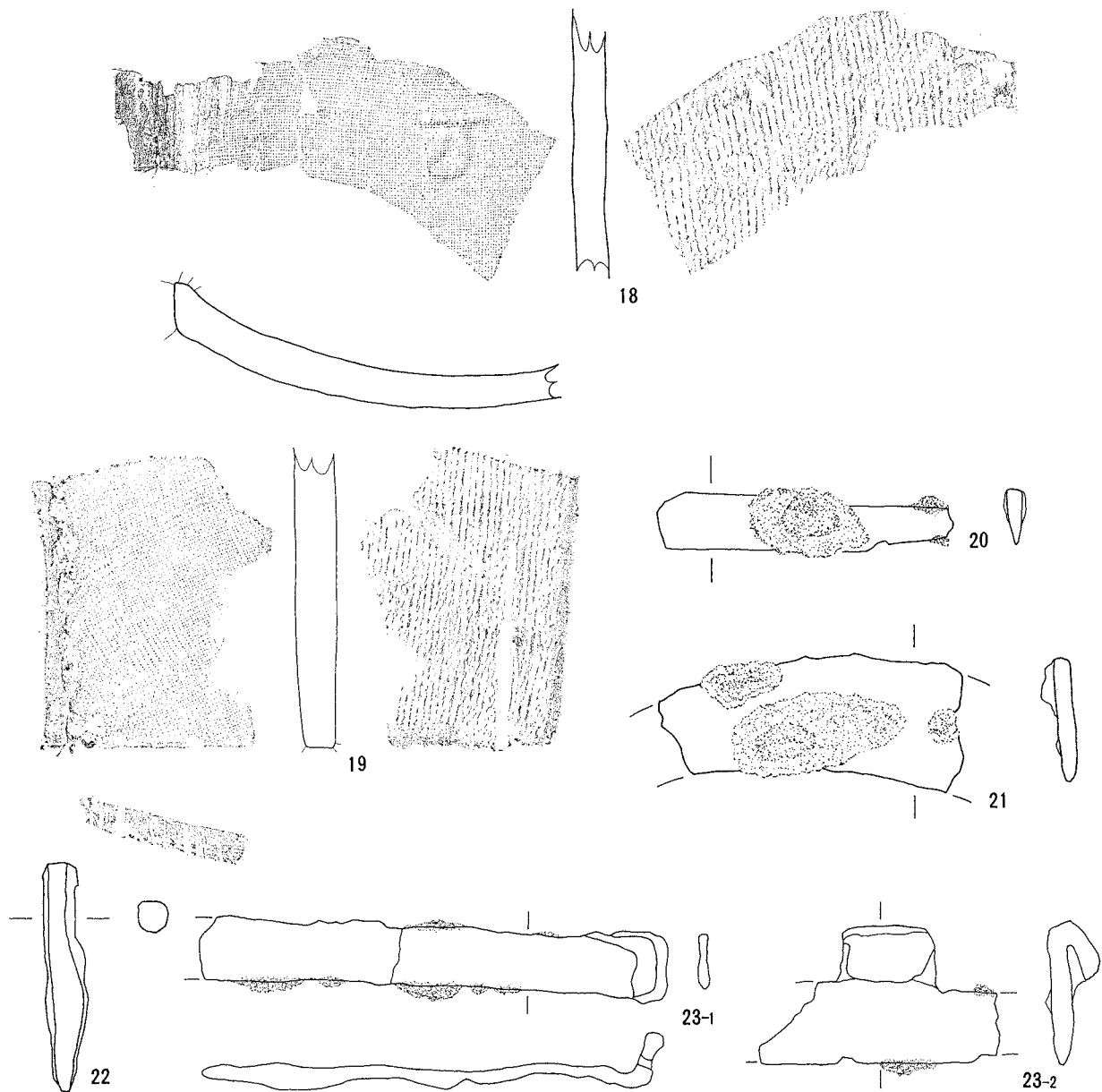
第50表 20号住居址出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 < >は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
3	38-3	坏	11.7	4.7	4.7	3.5	還元焰焼成	貼床下出土。底部は回転糸切り。器内外面にロクの水挽き整形。口縁部は僅かに外反する。残存率80%。
4		坏	(12.0)	(6.0)	(5.0)	3.9	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクの水挽き整形。口縁部は僅かに外反する。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。残存率は35%。



第69図 20号住居址出土遺物 (1) (1/3) 但し、9、10は (1/2)



第70図 20号住居址出土遺物 (2) (1/3) 但し、20~23-2は (2/3)

第51表 20号住居址出土遺物観察表

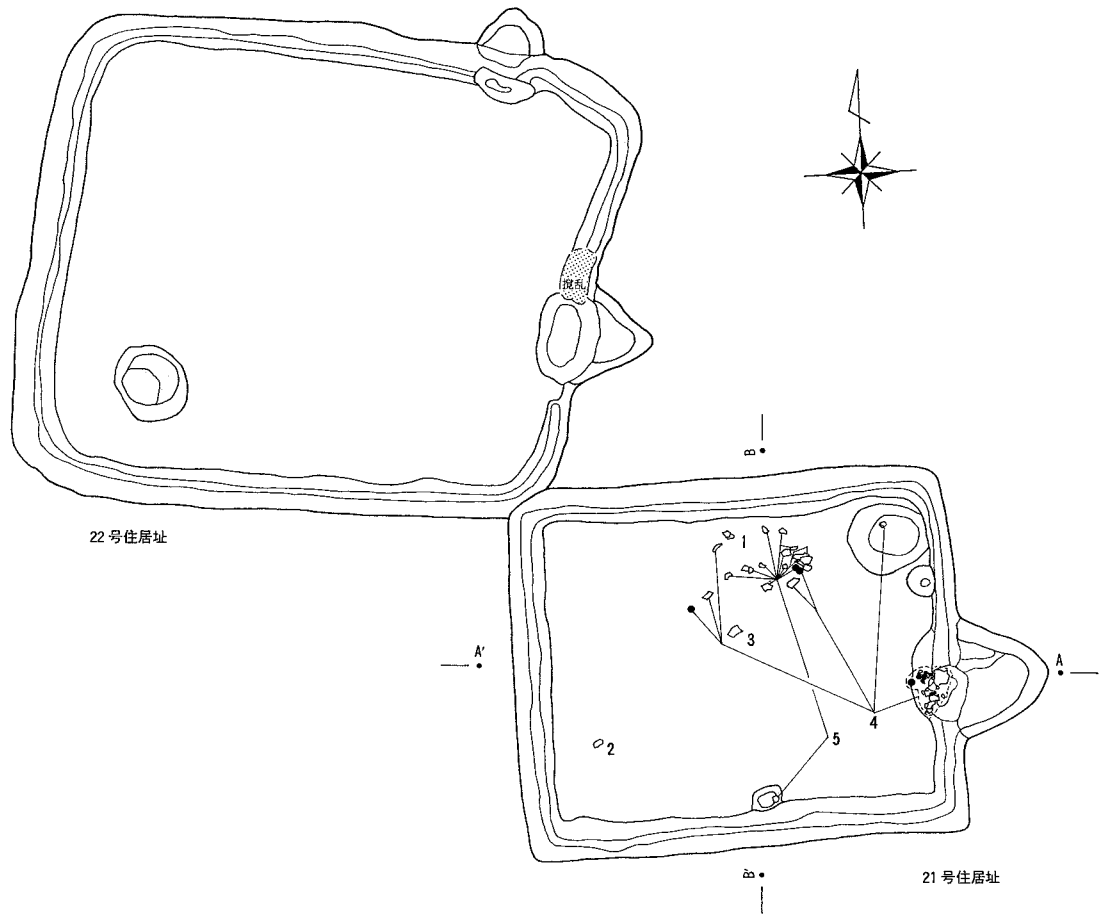
単位はcm ()は推定値 < >は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
5	38-5	坏	11.9	5.0	4.7	3.8	還元焰焼成	貼床下出土。底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。残存率75%。
6		坏	(12.3)	(5.8)	(5.4)	3.5	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は僅かに外反する。底部中央の器厚が非常に薄く、この特徴から河原毛久保窯跡産の可能性が有る。残存率25%。
7		坏	-	5.0	-	-	半還元焰焼成	貼床下出土。底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。残存率25%。

単位はcm ()は推定値 ()は既存値

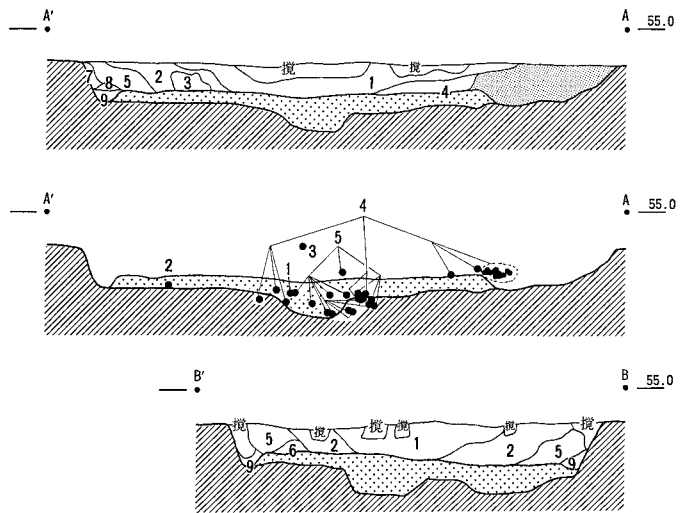
挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
8	38-8	坏	-	(8.0)	-	-	還元焰焼成	周溝から出土。底部は回転糸切り。器内外面にロク口水挽き整形。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産である。底部外面に「万」の墨書。
9		坏	-	-	-	-	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロク口水挽き整形。底部内外面に墨書。器外面は「田」? 器内面不明。
10		坏	-	-	-	-	還元焰焼成	底部は回転糸切り。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産である。底部内外面に墨書。
11		高台付坏	-	6.0	-	-	還元焰焼成	床面直上出土。底部は回転糸切り後、高台を貼り付け。器内外面にロク口水挽き整形。
12	38-12	皿	15.0	6.2	-	2.3	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロク口水挽き整形。口縁部は外反する。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。
13		高台付堇	-	(8.8)	-	-	還元焰焼成	貼床下出土。底部は回転糸切り後、高台を貼り付け。器内外面にロク口水挽き整形。
14		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	床面付近から出土。器外面に斜め方向の平行叩き。器内面に当て具痕が残る。
15		甕	-	-	-	-	土師器	ピットから出土。口縁部はコの字を呈するが、胴部の張りが弱い。口縁部の内外面に横ナデ。胴部外面に横、斜め方向の篋削り。
16		甕	-	(6.5)	-	-	土師器	貼床下出土。胴部外面に縦方向の篋削り。
17	38-17	台付甕	14.4	-	-	-	土師器	ピットから出土。口縁部はコの字を呈する。口縁部の内外面に横ナデ。胴部外面に横、斜め、縦方向の篋削り。脚部内外面に横ナデ。
18	38-18	平瓦	-	-	-	-	還元焰焼成	凹面に布目痕、凸面に縄叩き。側面及び凹面側部に篋削り。凹面に「万」の模骨文字。
19		平瓦	-	-	-	-	半還元焰焼成	床面直上出土。凹面に布目痕、凸面に縄叩き。端面及び側面、凹面端部に篋削り。

挿図番号	図版番号	種類	長さ	幅	厚み	観察・特徴
20		刀子	<6.6>	1.3	0.3	切先と茎尻を欠損する。刃部は平造りで、関は片関造りである。
21	38-21	鎌	<6.7>	2.7	0.4	刃部の破片である。
22		釘	<5.1>	0.7	0.6	床面直上出土。先端部付近の破片である。
23-1	38-23-1	不明	<8.4>	1.9	0.3	床面直上出土。先端が直角に折り曲がり、径2mmの穴が穿孔されている。23-2と同一。
23-2	38-23-2	不明	<7.1>	1.8	0.6	床面直上出土。一部が大きく突起し、折り返している。突起部は長さ3cm、幅4cmをはかる。23-1と同一。



21号住居址

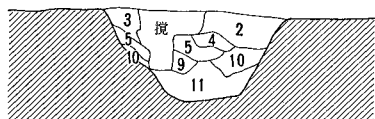
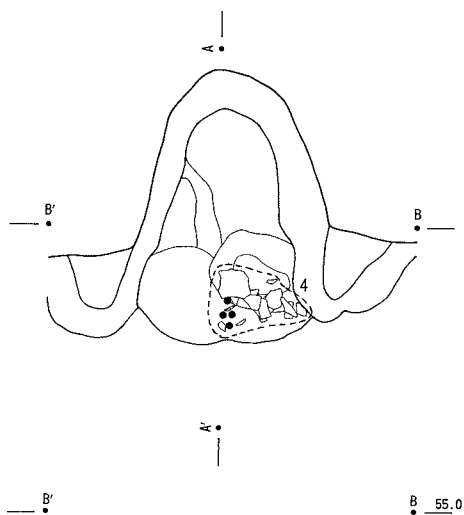
- 1層 暗褐色土 ローム粒子を少量含み、ローム小ブロックを微量含み、炭化物粒子を極微量含む。
- 2層 暗褐色土 ローム粒子を微量含む。
- 3層 暗黒褐色土 ロームブロックを含み、ローム粒子を極微量含む。
- 4層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子を微量含む。
- 5層 暗黒褐色土 ローム粒子を極微量含む。
- 6層 暗褐色土 ローム粒子を微量含み、焼土粒子を極微量含む。
- 7層 暗褐色土 ローム粒子を少量含む。
- 8層 暗黄褐色土 ローム粒子を多量に含む。
- 9層 暗黄褐色土 ローム粒子、ロームブロックを少量含む。



第71図 21号住居址 (1/60)

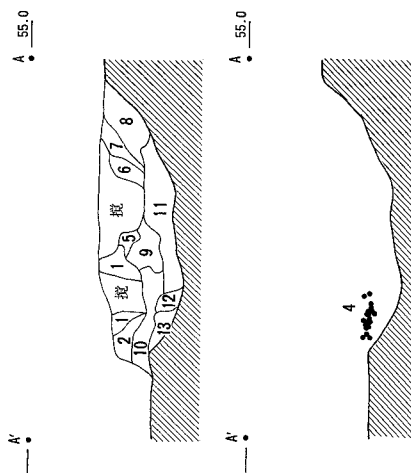
21号住居址

本住居址の北西コーナーで22号住居址と重複している。新旧関係は21号住居址が古く、22号住居址が新しい。規模は東西3.5m、南北2.9mをはかり、主軸方位はN-88.5°-Eである。平面プランは東西に長い方形を呈する。カマドは東壁のほぼ中央に構築されている。床面の状況は、中央部が硬化している。貼床下は住居址中央が大きく落ち込む。

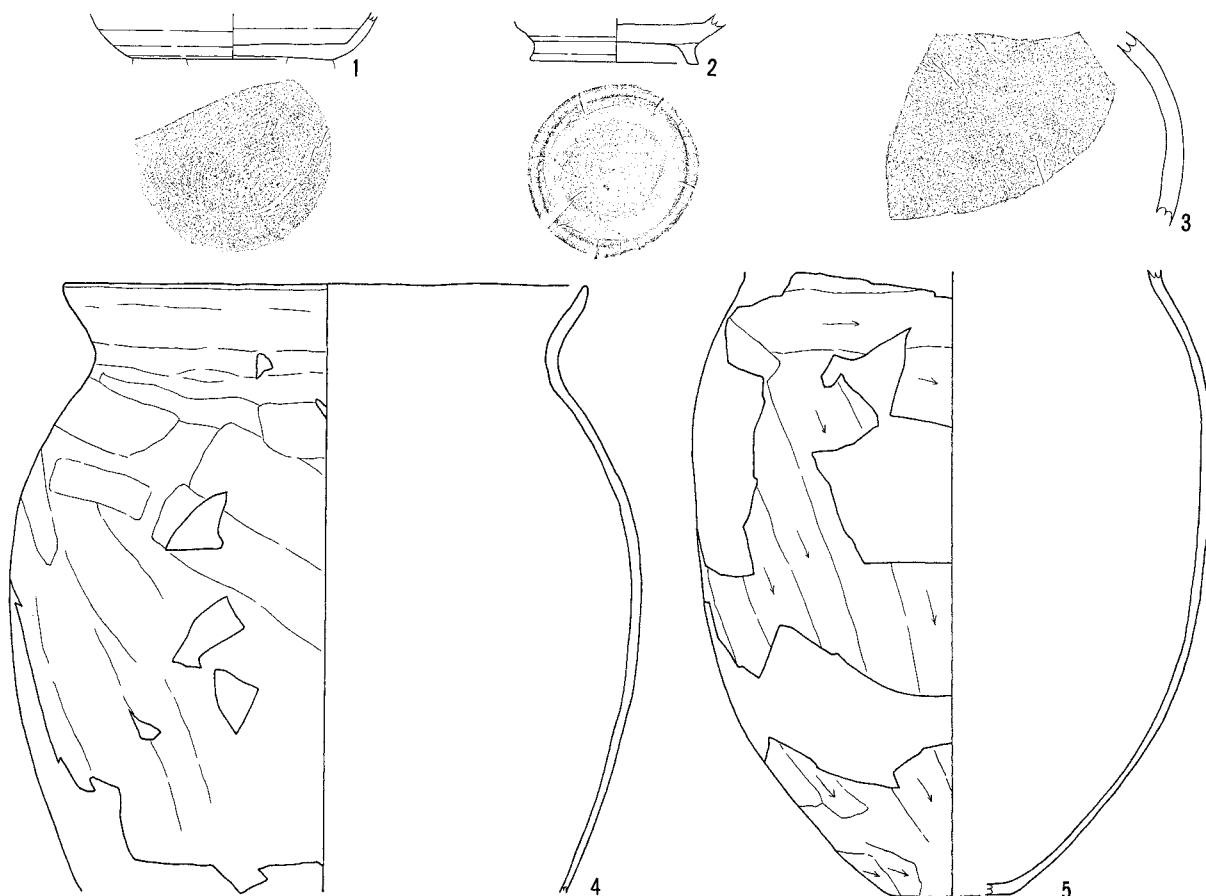


21号住居址カマド

- 1層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子を微量含む。
- 2層 暗褐色土 ローム粒子、粘土粒子を少量含む。
- 3層 暗黄褐色土 ローム粒子を多量に含み、焼土粒子を極微量含む。



- 4層 暗黄褐色土 粘土粒子を少量含む。
- 5層 暗褐色土 ローム粒子、粘土粒子を微量含み、焼土粒子、炭化物粒子を極微量含む。
- 6層 暗黄褐色土 粘土粒子を多量に含む。
- 7層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子を少量含み、粘土粒子を微量含む。
- 8層 暗茶褐色土 焼土粒子、粘土粒子を多量に含み、ローム粒子を少量含む。
- 9層 赤褐色土 焼土粒子、焼土ブロックを多量に含む。
- 10層 暗褐色土 焼土粒子、炭化物粒子を微量含む。
- 11層 暗褐色土 ローム粒子を少量含み、焼土粒子を極微量含む。
- 12層 暗黄褐色土 ロームブロックを多量に含む。
- 13層 赤褐色土 焼土粒子を多量に含む。



第72図 21号住居址カマド (1/30) 出土遺物 (1/3)

壁は緩やかな傾斜を持って立ち上がり、壁高は14～22cmをはかる。壁に沿って幅9～25cm、深さ5～10cmの周溝が一周巡っている。北東コーナー付近に長軸24cm、短軸17.5cm、深さ19cmの土壇と径20cm、深さ7.5cmの柱穴1本、南壁の中央に径20～28cm、深さ19cmの柱穴を1本検出した。

カマド

カマドは東壁の中央からやや南寄り位置する。規模は幅96cm、奥行107cmで、平面プランは幅広のU字状を呈する。壁外へは67cm掘り込んでいる。火床部は幅29cm、奥行11cmの楕円形を呈し、床面から11cm掘り下げている。

第52表 21号住居址出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 < >は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
1		坏	-	7.8	8.5	-	半還元焰焼成	貼床下出土。底部は回転糸切り後外周部回転篋削り。器内外面にロクロ水挽き整形。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。
2		高台付壺	-	6.6	-	-	還元焰焼成	貼床下出土。底部は回転糸切り後篋削り、その後高台を貼り付け。器内外面にロクロ水挽き整形。
3		壺	-	-	-	-	還元焰焼成	器内外面にロクロ水挽き整形。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。
4	39-4	甕	(20.5)	-	-	-	土師器	カマドから出土。口縁部はくの字を呈する。口縁部の内外面に横ナデ。胴部外面に横、斜め方向の篋削り。
5	39-5	甕	-	(4.8)	-	-	土師器	貼床下出土。胴部外面に横、縦方向の篋削り。

22号住居址

本住居址の南東コーナーは21号住居址と重複している。新旧関係は21号住居址で述べたとおりである。規模は東西4.6m、南北3.9mをはかり、主軸方位はE-10°-Sである。平面プランは東西に長い方形を呈する。カマドは東壁と北壁に構築されている。北カマドから東カマドへと移築している。床面の状況は、四隅を除く範囲が硬化している。貼床下は住居址全体が大きく落ち込む。

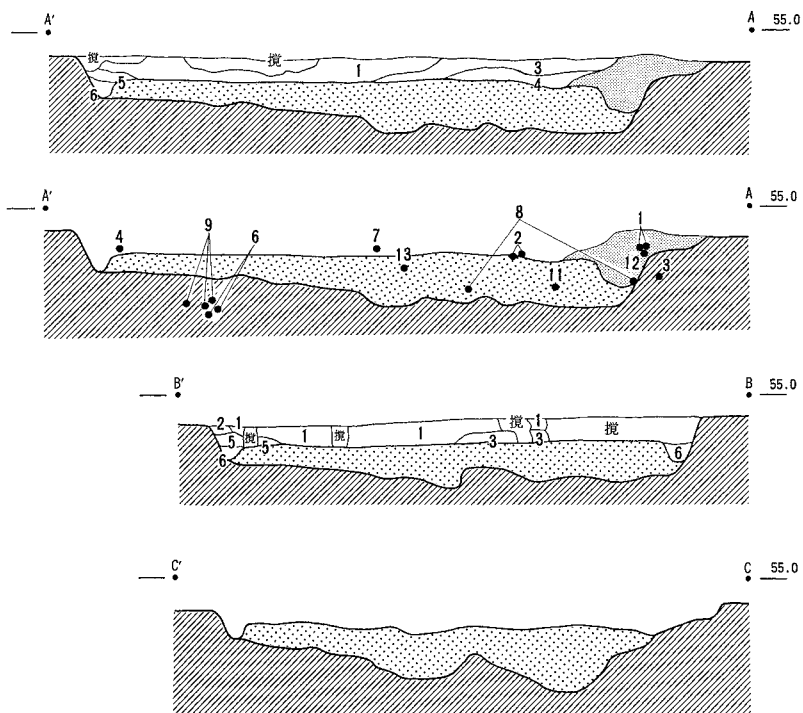
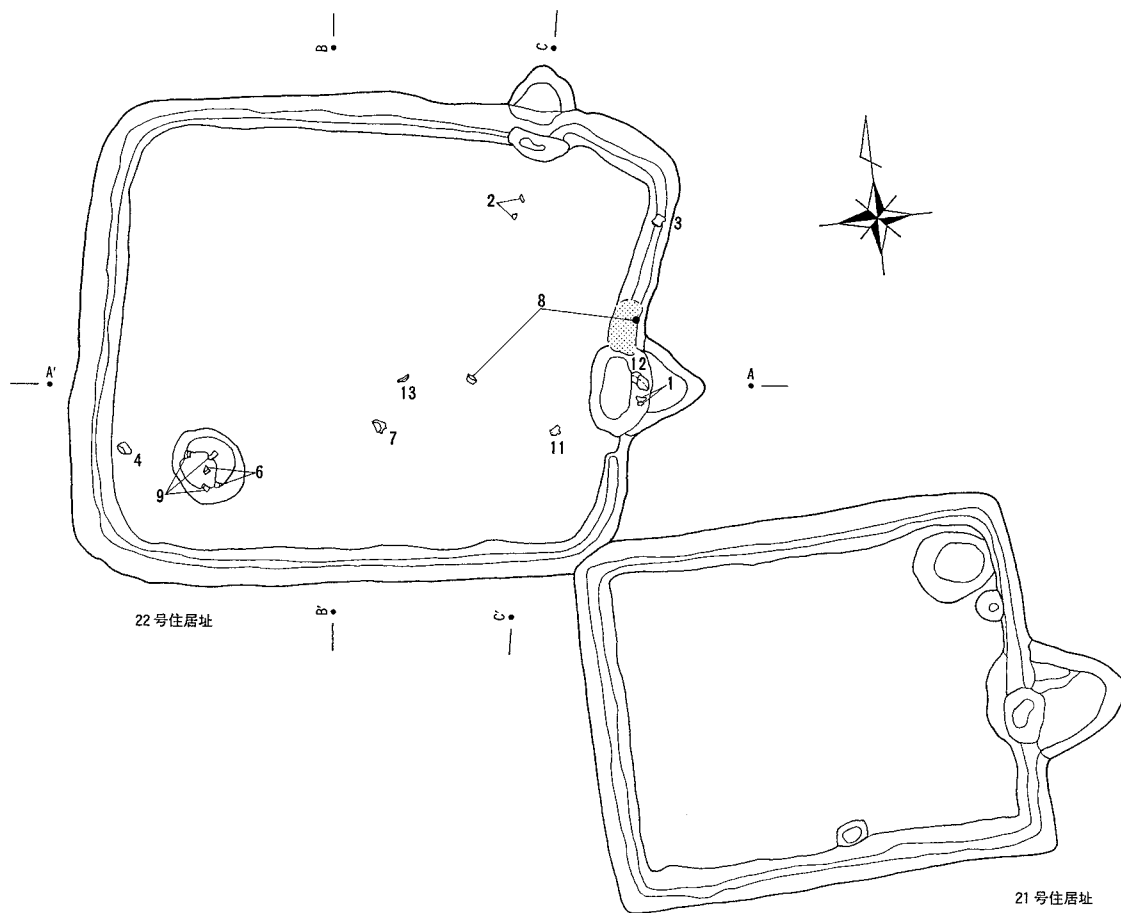
壁は緩やかな傾斜を持って立ち上がり、壁高は15～20cmをはかる。壁に沿って幅9～19cm、深さ12cmの周溝が東カマドを除き一巡している。南西コーナー付近に径64cm、深さ57cmの柱穴を検出した。

東カマド

カマドは東壁の中央からやや南寄りに位置する。規模は幅73cm、奥行90cmで、平面プランは幅広のV字状を呈する。壁外へは51cm掘り込んでいる。火床部は幅51cm、奥行22cmの楕円形を呈し、床面から17cm掘り下げている。

北カマド

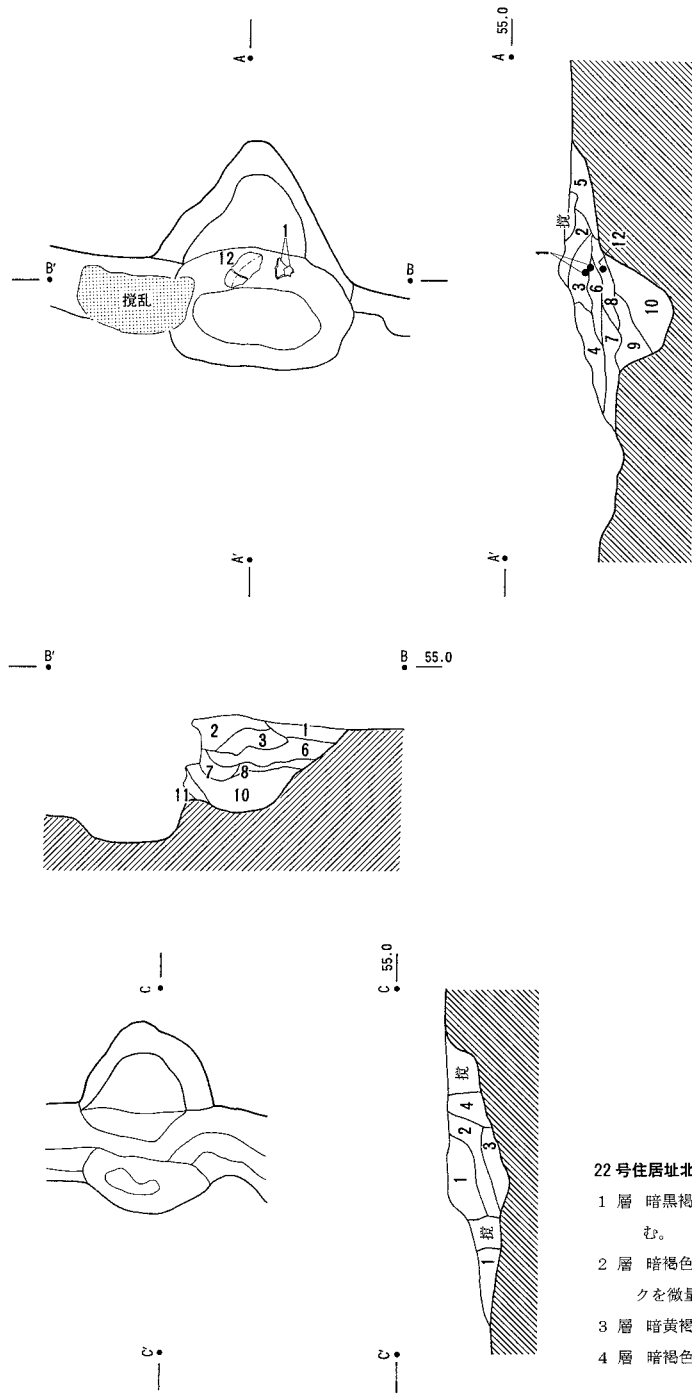
カマドは北壁の北東コーナー寄りに位置する。規模は幅53cm、奥行76cmで、平面プランは幅広のV字状を呈する。壁外へは33cm掘り込んでいる。火床部は幅22cm、奥行5cmの楕円形を呈し、床面から16cm掘り下げている。



22号住居址

- 1層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子、炭化物粒子を微量含む。
- 2層 暗黄褐色土 ローム粒子を多量に含む。
- 3層 暗褐色土 ローム粒子を微量含む。
- 4層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子を少量含む。
- 5層 暗黒褐色土 ローム粒を少量含む。
- 6層 暗褐色土 ローム粒子、ローム小ブロックを少量含む。

第73図 22号住居址 (1/60)



22号住居址東カマド

- 1層 暗黄褐色土 粘土粒子を多量に含み、焼土粒子を微量含む。
- 2層 暗褐色土 焼土粒子を少量含む。
- 3層 明茶褐色土 ローム粒子、粘土粒子を多量に含む。
- 4層 暗褐色土 焼土粒子、炭化物粒子を少量含み、ローム粒子を微量含む。
- 5層 黄褐色土 ローム粒子を多量に含み、焼土粒子を微量含む。
- 6層 黒褐色土 炭化物粒子を多量に含み、焼土粒子、粘土粒子を少量含む。
- 7層 黒褐色土 炭化物粒子を少量含み、ローム粒子、焼土粒子を微量含む。
- 8層 明黄褐色土 粘土粒子、ローム粒子を多量に含む。
- 9層 暗黄褐色土 ローム粒子を多量に含み、焼土粒子を極微量含む。
- 10層 暗褐色土 ローム粒子を少量含む。
- 11層 暗褐色土 ロームブロックを多量に含む。

22号住居址北カマド

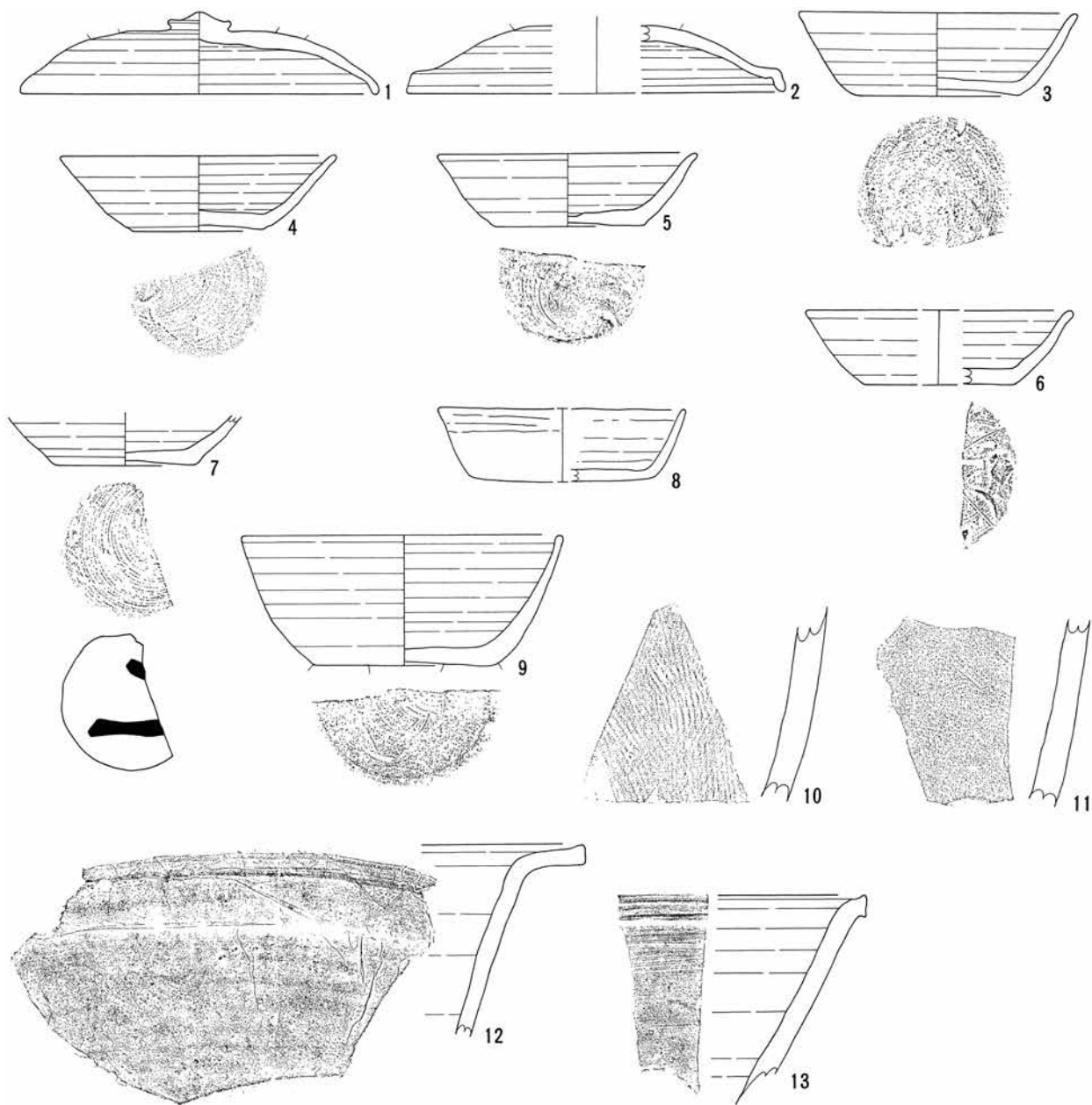
- 1層 暗黒褐色土 炭化物粒子を多量に含み、ローム粒子、焼土粒子を微量含む。
- 2層 暗褐色土 焼土粒子を少量含み、ローム粒子、炭化物粒子、焼土ブロックを微量含む。
- 3層 暗黄褐色土 ローム粒子、ローム小ブロックを少量含む。
- 4層 暗褐色土 焼土粒子を少量含み、ローム粒子を微量含む。

第74図 22号住居址東カマド 西カマド (1/30)

第53表 22号住居址出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 < >は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
1		蓋	(16.0)	-	-	3.7	還元焰焼成	カマドから出土。器内外面にロクロ水挽き整形、その後天井部外面に回転篋削り。扁平な擬宝珠状のつまみを有する。残存率35%。



第75図 22号住居址出土遺物 (1/3)

単位はcm ()は推定値 ()は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
2		蓋	(17.0)	-	-	-	還元焰焼成	床面直上出土。器内外面にロクロ水挽き整形。天井部外面に回転篋削り。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。残存率25%。
3	39-3	坏	(12.6)	(7.2)	(6.8)	3.7	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。残存率45%。
4	39-4	坏	(12.4)	5.8	6.0	3.4	還元焰焼成	床面付近から出土。底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。残存率60%。

第54表 22号住居址出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 < >は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
5	39-5	坏	(11.7)	6.7	6.0	3.3	半還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。残存率40%。
6		坏	(12.0)	6.8	-	3.3	還元焰焼成	貼床下出土。底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。底部外面に窺記号。残存率30%。
7		坏	-	5.0	4.7	-	還元焰焼成	床面付近から出土。底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。底部外面に墨書が見られるが、判読は出来ない。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。残存率30%。
8		坏	(11.1)	(8.4)	-	3.3	土師器	貼床下出土。底部は篋削り。口縁部の器外面と器内面に横ナデ整形。体部外面は篋削り整形。残存率50%。
9		埴	(14.3)	8.3	7.0	5.8	還元焰焼成	貼床下出土。底部は回転糸切り後外周部回転篋削り。器内外面にロクロ水挽き整形。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。残存率30%。
10		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器外面に斜め方向の平行叩き。
11		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	貼床下出土。器外面に斜め方向の平行叩き。器内面に当て具痕。
12		甗	-	-	-	-	半還元焰焼成	器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は大きく外反する。
13		甗	-	-	-	-	還元焰焼成	貼床下出土。器内外面にロクロ水挽き整形。

23号住居址

規模は東西5.5m、南北3.4mをはかり、主軸方位はN-10.5°-Eである。平面プランは東西に長い方形を呈する。カマドは東壁と北壁に構築されている。東カマドから北カマドへと移築している。床面は、周溝沿いを除く範囲が硬化している。貼床下は住居址全体が大きく落ち込む。

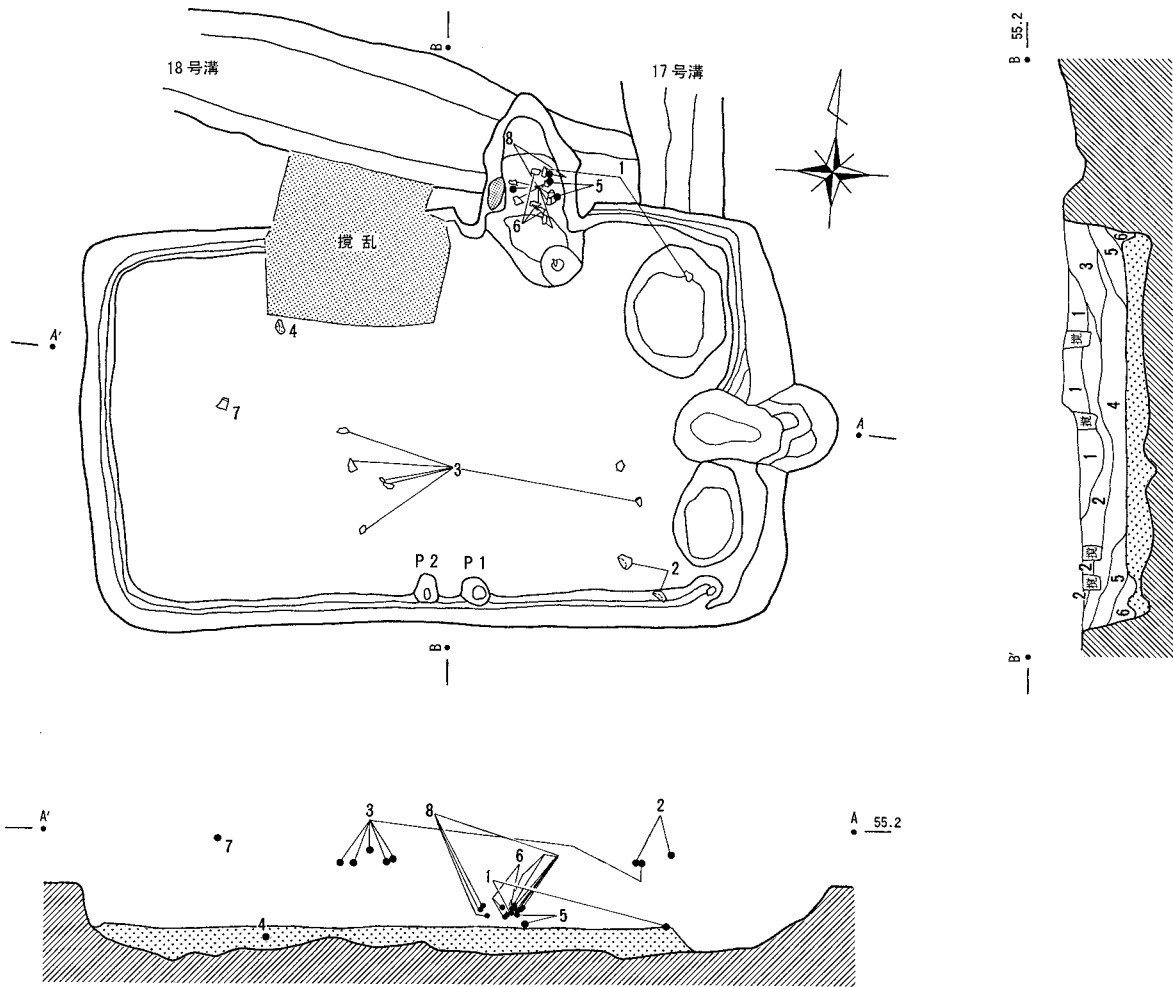
壁は僅かな傾斜を持って立ち上がり、壁高は40~44cmをはかる。壁に沿って幅8~14cm、深さ6cmの周溝が北カマドと東壁の一部を除き一巡している。南西コーナーに長軸75cm、短軸54cm、深さ23cmの土壇、北東コーナーには長軸105cm、短軸77cm、深さ21cmの土壇を検出した。南壁の中央で周溝に重複する柱穴を2本検出した。P1は径約25cm、深さ8cm、P2は径約22cm、深さ55cmをはかる。

北カマド

カマドは北壁の北東コーナー寄り位置する。規模は幅103cm、奥行149cmで、平面プランは細長のV字状を呈する。壁外へは92cm掘り込んでいる。火床部は幅56cm、奥行40cmの不整形を呈し、床面から19cm掘り下げている。

東カマド

カマドは東壁の中央に位置する。規模は幅45cm、奥行128cmで、平面プランはU字状を呈する。壁外へは38cm掘り込んでいる。火床部は幅15cm、奥行56cmの楕円形を呈し、床面から16cm掘り下げている。



23号住居址

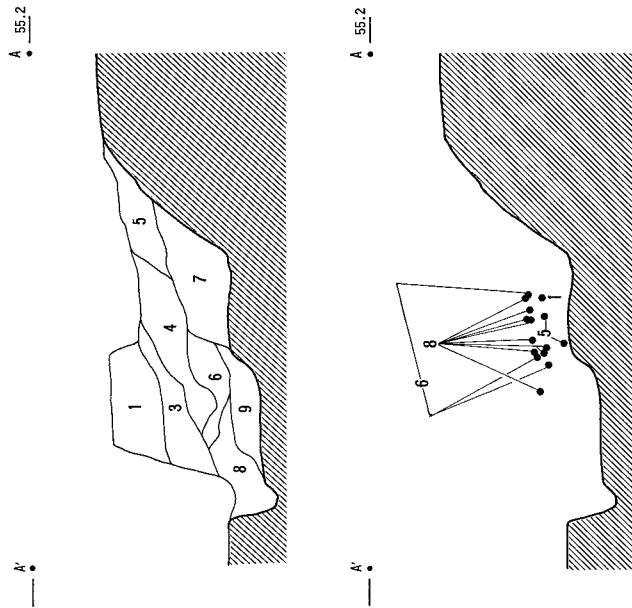
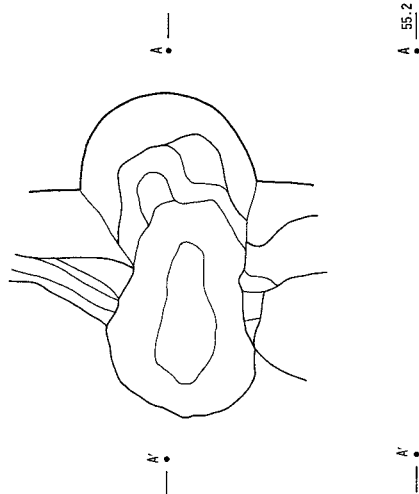
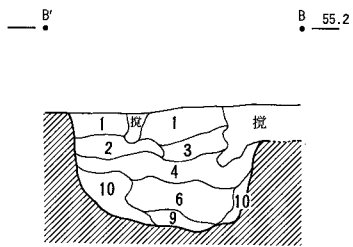
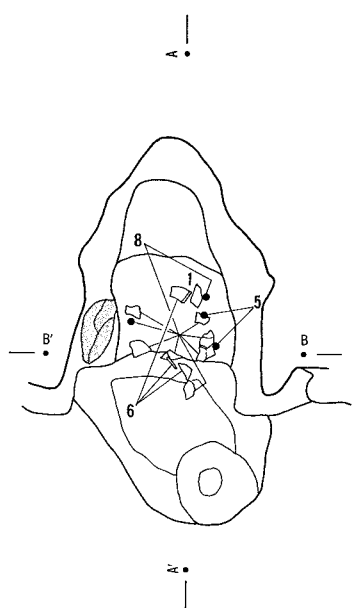
- 1層 暗黒褐色土 ローム粒子、焼土粒子を極微量含む。
- 2層 暗褐色土 ローム粒子を少量含む、焼土粒子、炭化物粒子を微量含む。
- 3層 暗黒褐色土 ローム粒子を微量含む、焼土粒子を極微量含む。
- 4層 暗褐色土 ローム粒子を多量に含む、焼土粒子、炭化物粒子を微量含む。
- 5層 暗黒褐色土 ローム粒子を微量含む。
- 6層 暗黄褐色土 ローム粒子を多量に含む。

第76図 23号住居址 (1/60)

第55表 23号住居址出土遺物観察表

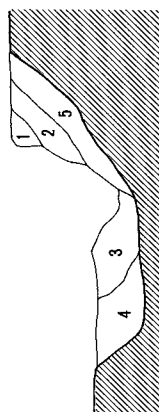
単位はcm ()は推定値 < >は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
1		蓋	(16.3)	-	-	4.0	還元焰焼成	北カマドから出土。器内外面にロクロ水挽き整形、その後器外面天井部に回転篋削り。つまみの内側が窪む。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。残存率30%。
2	39-2	坏	13.2	7.6	8.2	3.6	還元焰焼成	底部は回転糸切り後外周部回転篋削り。器内外面にロクロ水挽き整形。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。底部外面に篋記号。残存率90%。
3	39-3	坏	13.6	7.5	8.5	3.8	還元焰焼成	底部は回転糸切り後外周部回転篋削り。器内外面にロクロ水挽き整形。器内面の口唇部に煤が付着。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産である。残存率90%。



23号住居址北カマド

- 1層 暗褐色土 ローム粒子を極微量含む。
- 2層 暗黄褐色土 ローム粒子、粘土粒子を少量含み、焼土粒子を微量含む。
- 3層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子を微量含む。
- 4層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子を少量含む。
- 5層 暗褐色土 ローム粒子を少量含む。
- 6層 暗黄褐色土 焼土粒子、炭化物粒子を少量含み、ローム粒子を微量含む。
- 7層 暗褐色土 ローム粒子を微量含む。
- 8層 暗褐色土 焼土粒子を微量含む。
- 9層 暗黄褐色土 ローム粒子、ロームブロックを多量に含む。
- 10層 暗黄褐色土 ローム粒子、ロームブロックを少量含む。



23号住居址東カマド

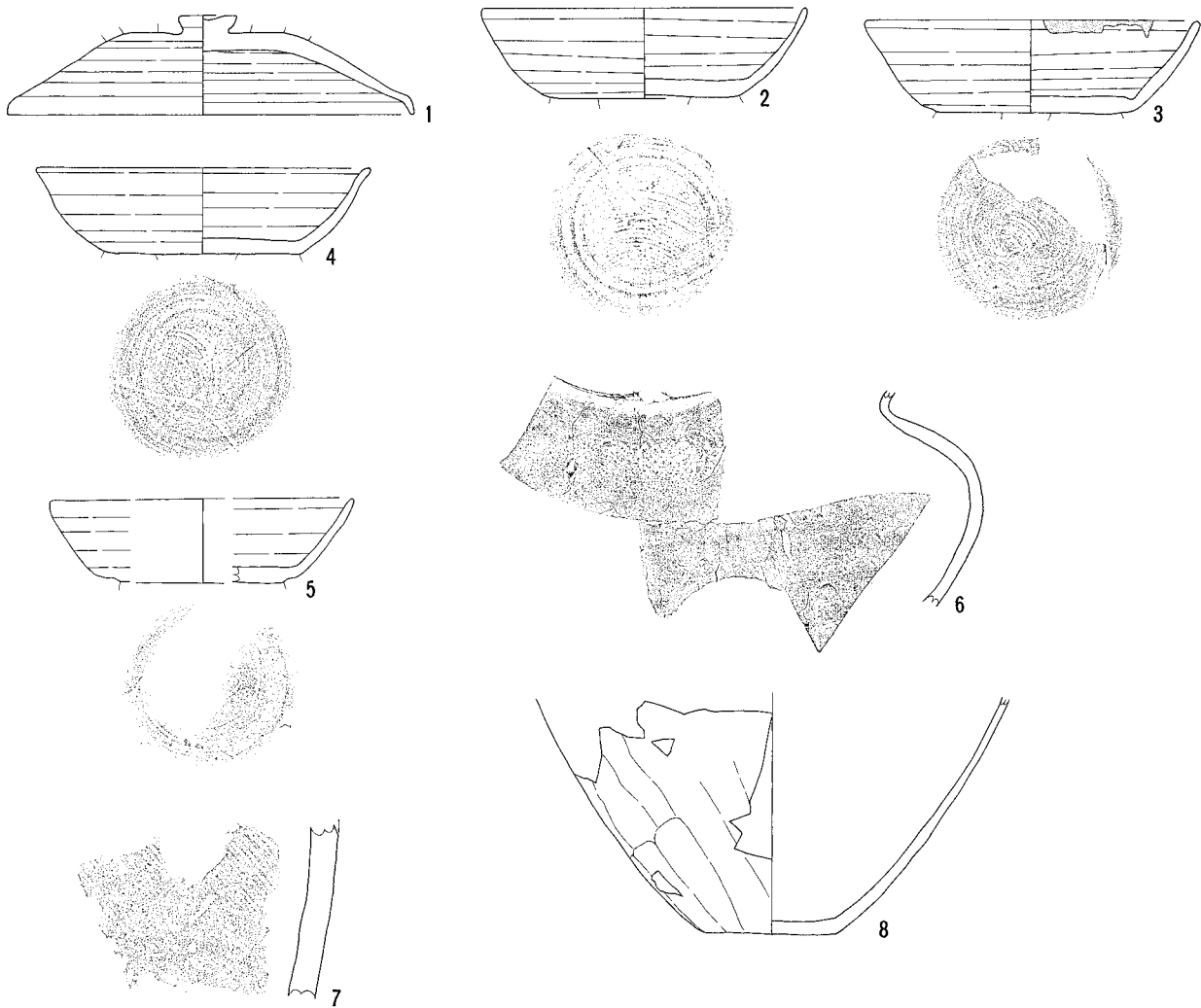
- 1層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子を微量含む。
- 2層 暗褐色土 ローム粒子を微量含む。
- 3層 暗褐色土 ローム粒子を少量含み、焼土粒子を微量含む。
- 4層 暗茶褐色土 ローム粒子、焼土粒子を少量含む。
- 5層 暗褐色土 ローム粒子を極微量含む。

第77図 23号住居址北カマド 東カマド (1/30)

第56表 23号住居址出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 < >は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
4	39-4	坏	(13.5)	7.9	8.1	3.5	半還元焰焼成	貼床下出土。底部は回転糸切り後外周部回転篋削り。器内外面にロクロ水挽き整形。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。残存率60%。



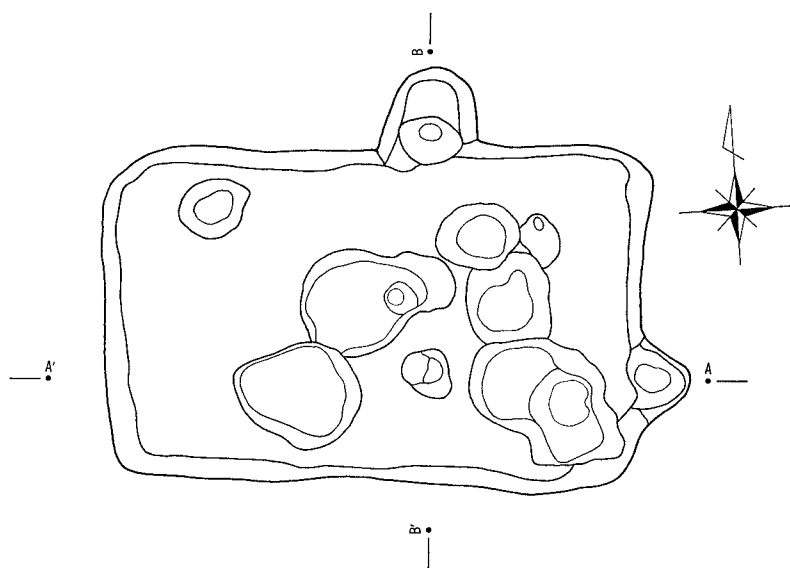
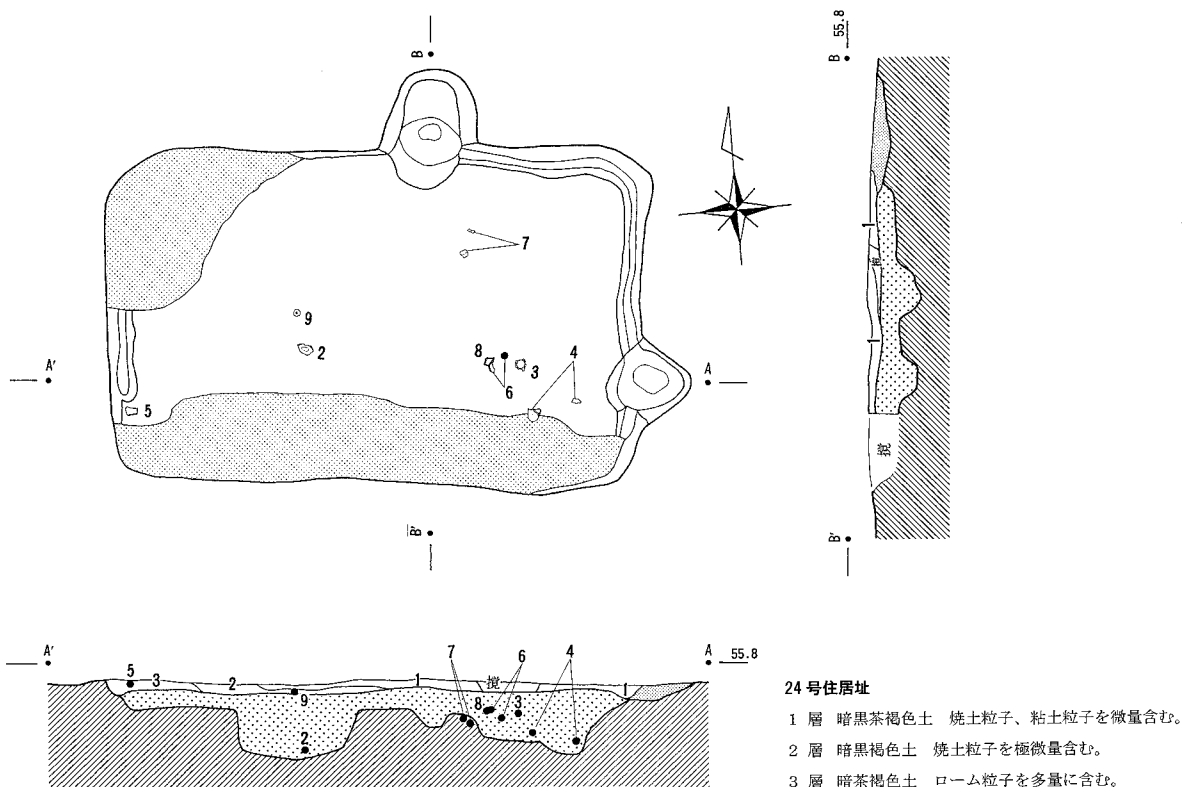
第78図 23号住居址出土遺物 (1/3)

単位はcm ()は推定値 ()は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
5		坏	12.3	6.6	7.7	3.4	還元焰焼成	北カマドから出土。底部は回転糸切り後外周部回転篋削り。器内外面にロクロ水挽き整形。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。残存率30%。
6	36-6	短頸壺	-	-	-	-	還元焰焼成	北カマドから出土。器内外面にロクロ水挽き整形。肩部に自然釉有り。
7		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器外面に斜め方向の平行叩き。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。
8	36-8	甕	-	5.4	-	-	土師器	北カマドから出土。胴部外面に斜め方向の篋削り。

24号住居址

本住居址の遺存状態は悪く、南壁、北西コーナー付近は攪乱を受けている。規模は東西5.3mをはかり、主軸方位はN-7°-Eである。平面プランは東西に長い方形を呈する。カマドは東壁と北壁に構築され

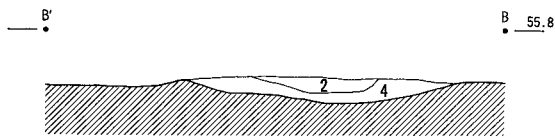
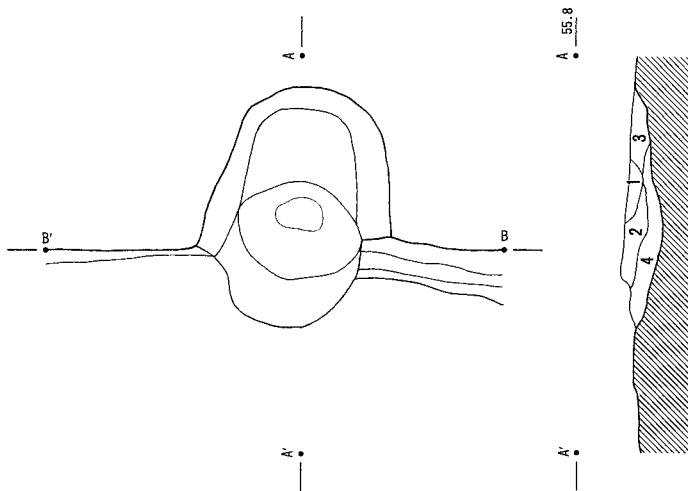


第79図 24号住居址 貼床下 (1/60)

ている。東カマドから北カマドへと移築している。床面の中央が硬化している。

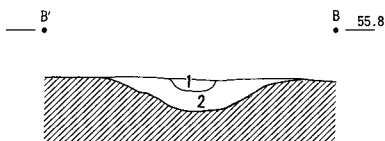
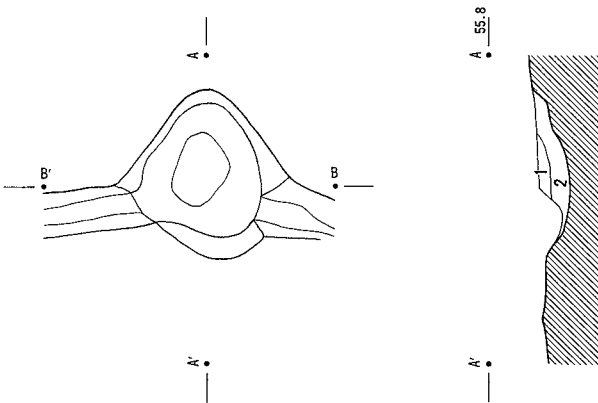
貼床下からは、南西コーナーと住居中央部から長軸0.6~1.4m、短軸0.45~0.95mの土壇6基、長軸約0.45m、短軸0.26~0.35mのピット2本を検出した。

壁高は9cmをはかり、壁に沿って幅9~15cm、深さ約5cmの周溝が北カマドと東カマド、北壁の一部を除き確認した。



24号住居北カマド

- 1 層 暗赤褐色土 焼土粒子を多量に含む。
- 2 層 暗褐色土 焼土粒子を少量含む。
- 3 層 暗褐色土 ローム小ブロック、焼土小ブロックを少量含む。
- 4 層 暗褐色土 焼土粒子、炭化物粒子を微量含む。



24号住居東カマド

- 1 層 暗赤褐色土 焼土粒子を多量に含む。
- 2 層 暗褐色土 焼土粒子を微量含む。

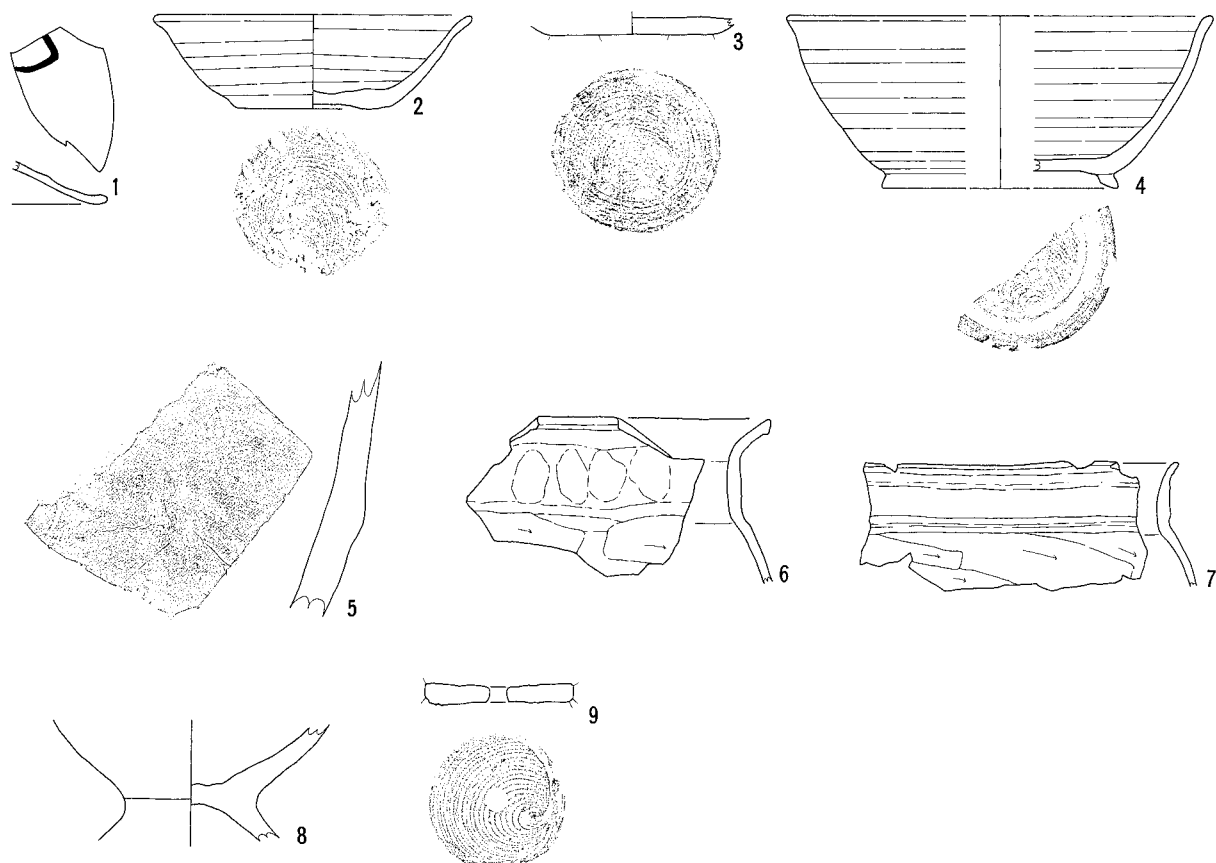
第80図 24号住居北カマド 東カマド (1/30)

北カマド

カマドは北壁の中央付近に位置する。規模は幅77cm、奥行95cmで、平面プランはU字状を呈する。壁外へは60cm掘り込んでいる。火床部は幅19cm、奥行13cmの円形を呈し、床面から15cm掘り下げている。

東カマド

カマドは東壁の南東コーナー寄りに位置する。規模は幅69cm、奥行67cmで、平面プランは幅広で短いV字状を呈する。壁外へは36cm掘り込んでいる。火床部は幅41cm、奥行56cmの円形を呈し、床面から12cm掘り下げている。

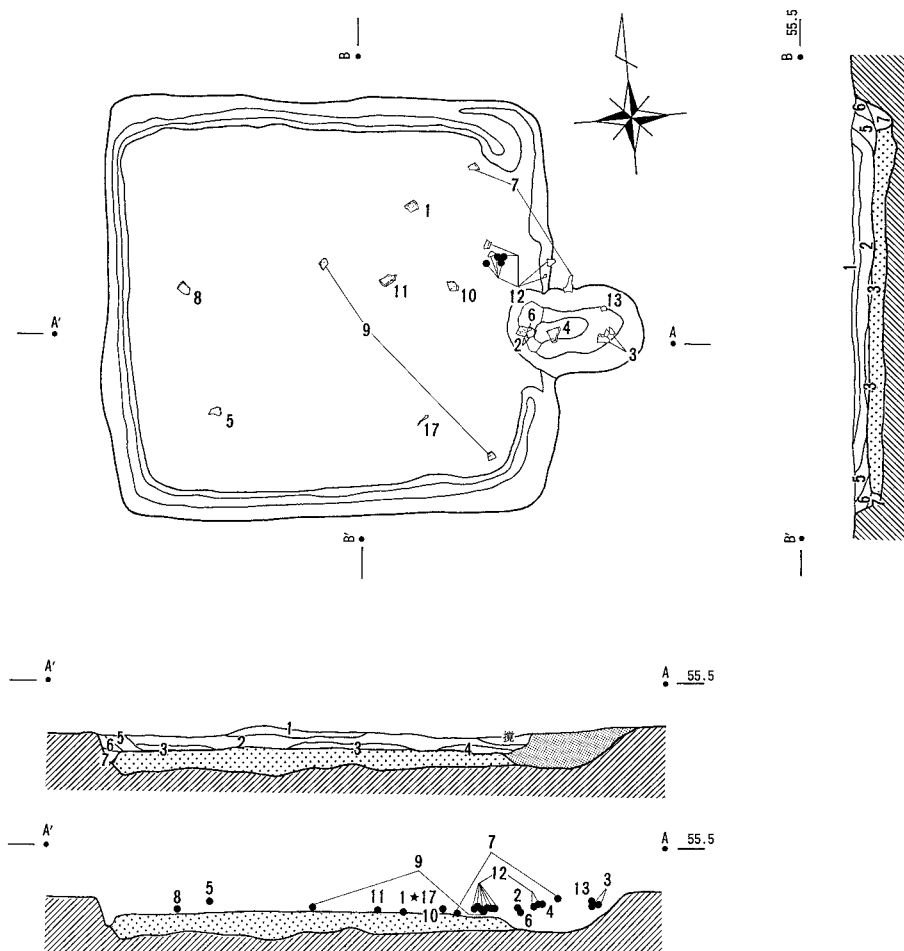


第81図 24号住居址出土遺物 (1/3)

第57表 24号住居址出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 < >は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
1	36-1	皿	-	-	-	-	還元焰焼成	器内外面にロクロ水挽き整形。体部外面に墨書が見られるが文字が判読できない。
2	36-2	坏	12.5	6.1	5.9	3.7	半還元焰焼成	貼床下出土。底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は外反する。残存率80%。
3		坏	-	6.5	-	-	還元焰焼成	貼床下出土。底部は回転糸切り後外周部回転篋削り。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。底部外面に「×」の篋記号。
4	36-4	高台付碗	(16.8)	9.3	-	6.8	還元焰焼成	貼床下出土。底部は回転糸切り後、高台を貼り付け。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は僅かに外反する。残存率30%。
5		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	床面付近から出土。器内外面にロクロ水挽き整形。
6		甕	-	-	-	-	土師器	貼床下出土。口縁部はコの字を呈する。口縁部の内外面に横ナデ。胴部外面に横、斜め方向の篋削り。



25号住居址

- 1層 暗黒褐色土 焼土粒子を極微量含む。
- 2層 暗褐色土 焼土粒子、炭化物粒子を微量含む。
- 3層 暗赤褐色土 焼土粒子を少量含む。
- 4層 暗赤褐色土 焼土粒子、粘土粒子を少量含む。
- 5層 暗黒褐色土 ローム粒子、焼土粒子を微量含む。
- 6層 暗褐色土 ローム粒子を少量含む。
- 7層 暗褐色土 ローム粒子を多量に含む。

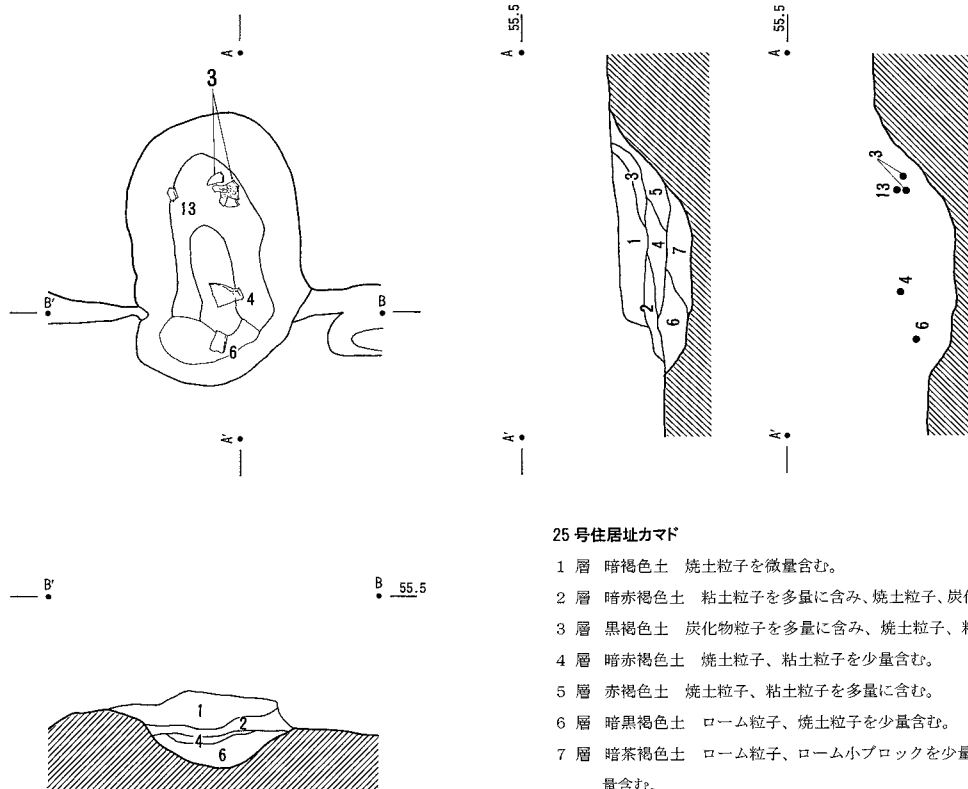
第82図 25号住居址 (1/60)

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
7		台付甕	-	-	-	-	土師器	貼床下出土。コの字が崩れた口縁部を呈する。口縁部の内外面に横ナデ。胴部外面に斜め方向の篋削り。
8		台付甕	-	-	-	-	土師器	貼床下出土。被熱の影響で、器内外面の表面が剥落している。
9	36-9	紡錘車	-	5.8	-	-	半還元焰焼成	床面直上出土。須恵器坏の底部の転用品。周辺部を丁寧に磨って整えている。中心に径0.8cmの穴を穿孔している。重さ40gをはかる。

25号住居址

規模は東西3.6m、南北3.4mをはかり、主軸方位はE-105°-Sである。平面プランは方形を呈する。カマドは東壁に構築されている。床面の状況は、四隅を除く範囲が硬化している。貼床下は概ね平坦。

壁は緩やかな傾斜を持って立ち上がり、壁高は17cmをはかる。壁に沿って幅7~18cm、深さ10cmの周溝



25号住居址カマド

- 1層 暗褐色土 焼土粒子を微量含む。
- 2層 暗赤褐色土 粘土粒子を多量に含み、焼土粒子、炭化物粒子を微量含む。
- 3層 黒褐色土 炭化物粒子を多量に含み、焼土粒子、粘土粒子を微量含む。
- 4層 暗赤褐色土 焼土粒子、粘土粒子を少量含む。
- 5層 赤褐色土 焼土粒子、粘土粒子を多量に含む。
- 6層 暗黒褐色土 ローム粒子、焼土粒子を少量含む。
- 7層 暗茶褐色土 ローム粒子、ローム小ブロックを少量含み、焼土粒子を微量含む。

第83図 25号住居址カマド (1/30)

が東カマドと東壁の一部を除き一巡している。

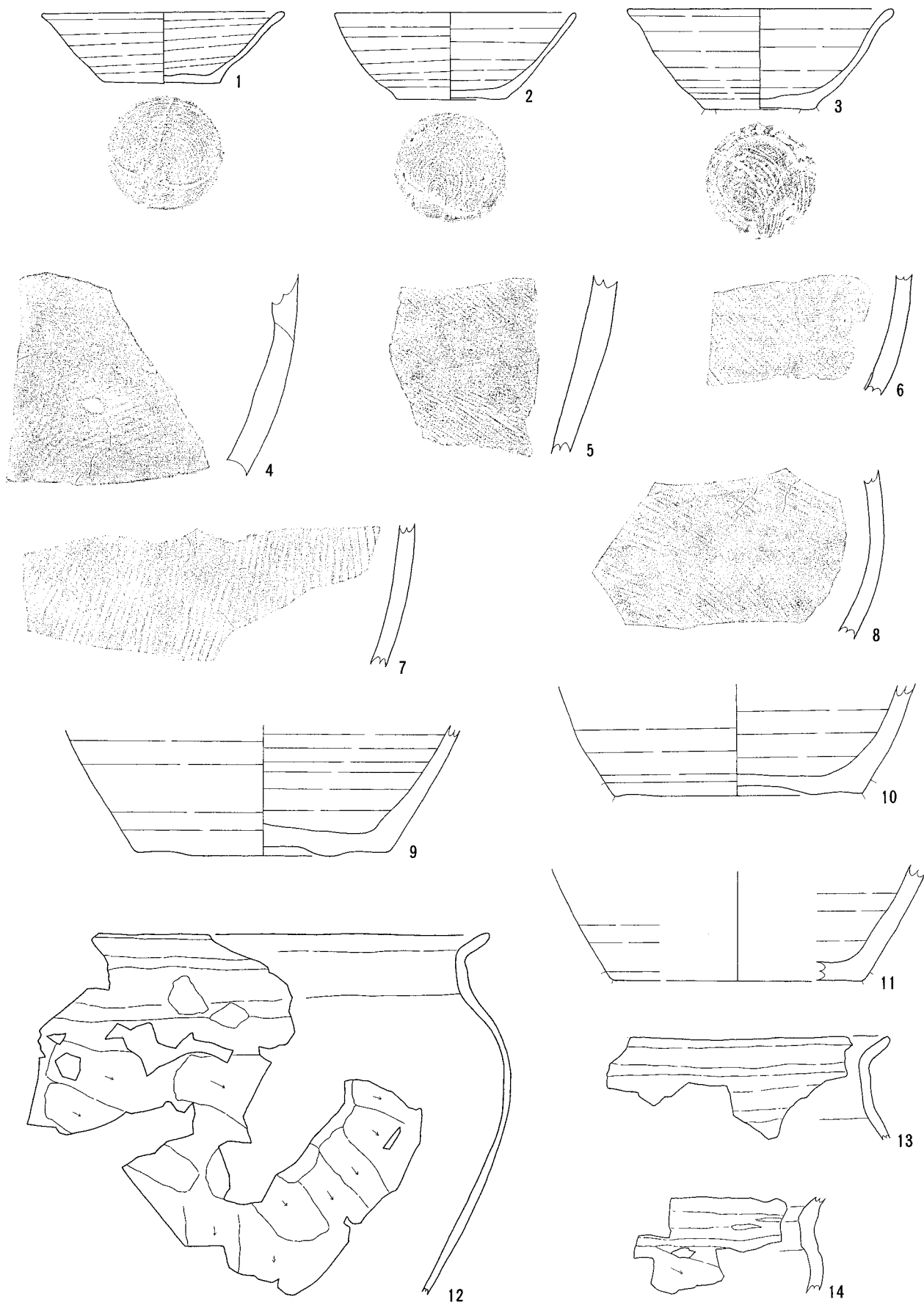
カマド

カマドは東壁の中央に位置する。規模は幅70cm、奥行107cmで、平面プランは細長のU字状を呈する。壁外へは72cm掘り込んでいる。火床部は幅13cm、奥行43cmの楕円形を呈し、床面から11cm掘り下げている。

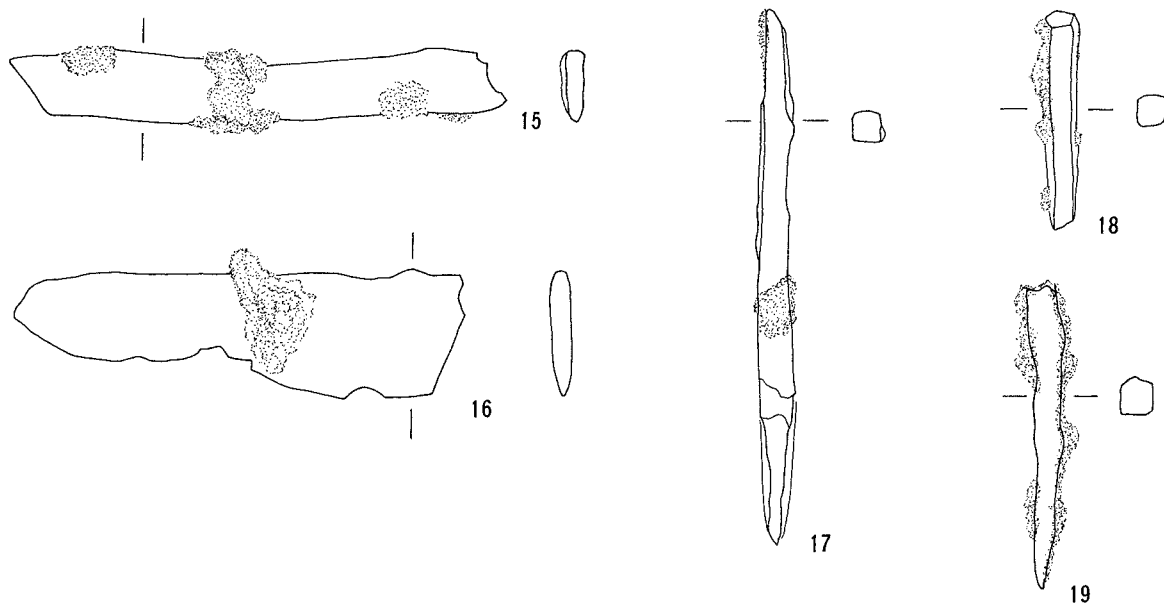
第58表 25号住居址出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 < >は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
1	37-1	坏	12.9	6.2	5.8	3.8	半還元焰焼成	床面直上出土。底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は外反する。残存率80%。
2	37-2	坏	12.9	5.9	5.2	4.7	半還元焰焼成	カマドから出土。底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。残存率65%。
3	37-3	高台付坏	(14.1)	6.0	5.5	-	酸化焰焼成	カマドから出土。底部は回転糸切り後に、高台を貼り付けたが剥落している。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は外反する。残存率55%。
4		甕	-	-	-	-	半還元焰焼成	器外面に斜め方向の平行叩き。
5	37-5	甕	-	-	-	-	還元焰焼成	床面付近から出土。器外面に斜め方向の平行叩き。器内面は当て具痕が残る。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。



第84图 25号住居址出土遺物 (1) (1/3)



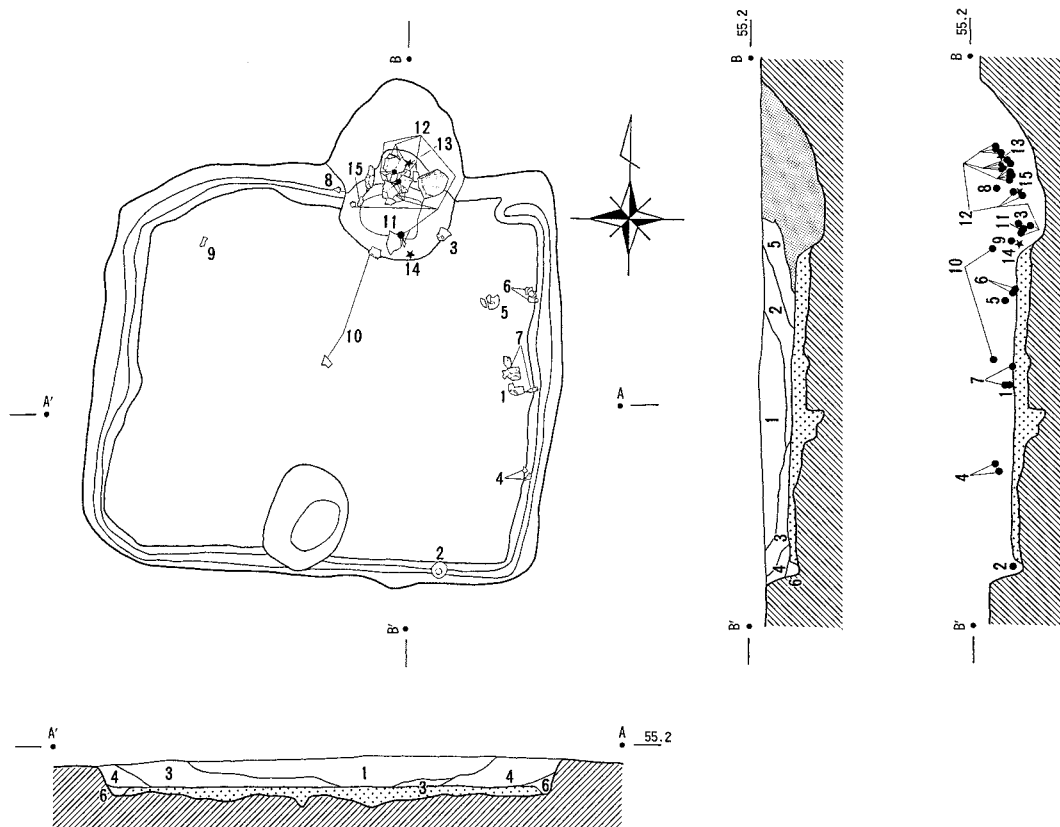
第85図 25号住居址出土遺物 (2) (2/3)

第59表 25号住居址出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 < >は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
6		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	カマドから出土。器外面に斜め方向の平行叩き。器内面は当て具痕が残る。
7	37-7	甕	-	-	-	-	半還元焰焼成	器外面に斜め方向の平行叩き。
8		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	床面直上出土。器外面に斜め方向の平行叩き。器内面は当て具痕が残る。
9		甕	-	(13.4)	-	-	還元焰焼成	器内外面にロクロ水挽き整形。
10	37-10	甕	-	(13.2)	-	-	還元焰焼成	床面直上出土。器内外面にロクロ水挽き整形。器外面胴部下端に篋削り。
11	37-11	甕	-	(13.3)	-	-	還元焰焼成	床面直上出土。器内外面にロクロ水挽き整形。器外面胴部下端に篋削り。
12		甕	-	-	-	-	土師器	口縁部はコの字を呈する。口縁部の内外面に横ナデ。胴部外面は斜め、縦方向の篋削り。
13		甕	-	-	-	-	土師器	口縁部はコの字を呈する。口縁部の内外面に横ナデ。
14		台付甕	-	-	-	-	土師器	頸部の内外面に横ナデ。胴部外面は斜め方向の篋削り。

挿図番号	図版番号	種類	長さ	幅	厚み	観察・特徴
15		刀子	<9.8>	1.3	0.4	切先と茎を欠損する。刃部は平造りである。
16	37-16	刀子	<9.0>	2.5	0.4	茎を欠損する。刃部は平造りである。



26号住居址

- | | |
|----------------------------------|--------------------------|
| 1層 暗黒茶褐色土 焼土粒子を微量含み、炭化物粒子を極微量含む。 | 4層 暗茶褐色土 ローム粒子を少量含む。 |
| 2層 暗黒褐色土 焼土粒子を微量含む。 | 5層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子を微量含む。 |
| 3層 暗茶褐色土 焼土粒子、炭化物粒子を微量含む。 | 6層 暗茶褐色土 ローム粒子を多量に含む。 |

第86図 26号住居址 (1/60)

挿図番号	図版番号	種類	長さ	幅	厚み	観察・特徴
17		釘	〈10.7〉	0.5	0.6	先端は錆で剥がれて、芯が残る。頭部は欠損する。
18		釘	〈4.4〉	0.5	0.6	先端と頭部を欠損する。
19		釘	〈6.1〉	0.6	0.7	頭部を欠損する。

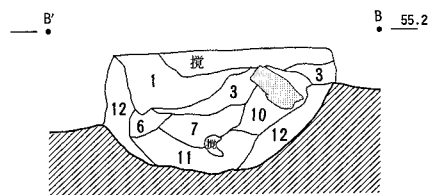
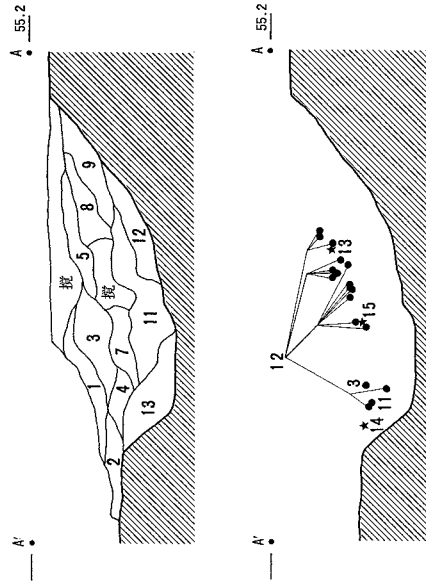
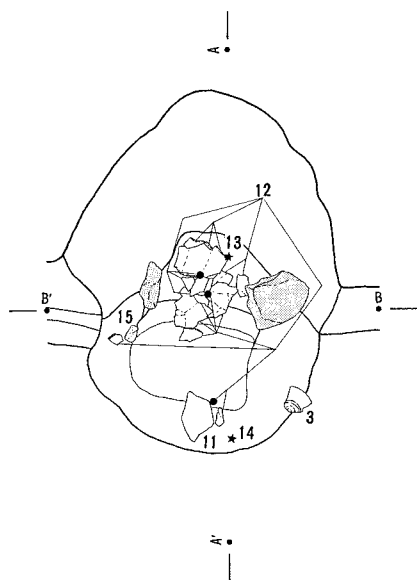
26号住居址

規模は東西3.7m、南北3.3mをはかり、主軸方位はN-1°-Eである。平面プランは方形を呈する。カマドは北壁に構築されている。床面の中央部が硬化している。貼床下は小さな範囲で中央が落ち込むが概ね平坦である。

壁は緩やかな傾斜を持って立ち上がり、壁高は13~26cmをはかる。壁に沿って幅8~22cm、深さ4~9cmの周溝がカマドを除き一巡している。南壁に沿った中央に長軸84cm、短軸60cm、深さ57cmの土壙を検出した。

カマド

カマドは東壁の中央に位置し、袖部の基礎に使われていた礫を両側で検出した。規模は幅70cm、奥行107cmで、平面プランはU字状を呈する。壁外へは72cm掘り込んでいる。火床部は幅13cm、奥行43cmの楕円形を呈し、床面から11cm掘り下げている。



26号住居址カマド

- 1層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子を微量含む。
- 2層 暗黒茶褐色土 焼土粒子、炭化物粒子を少量含む。
- 3層 暗褐色土 粘土粒子を少量含む、焼土粒子を微量含む。

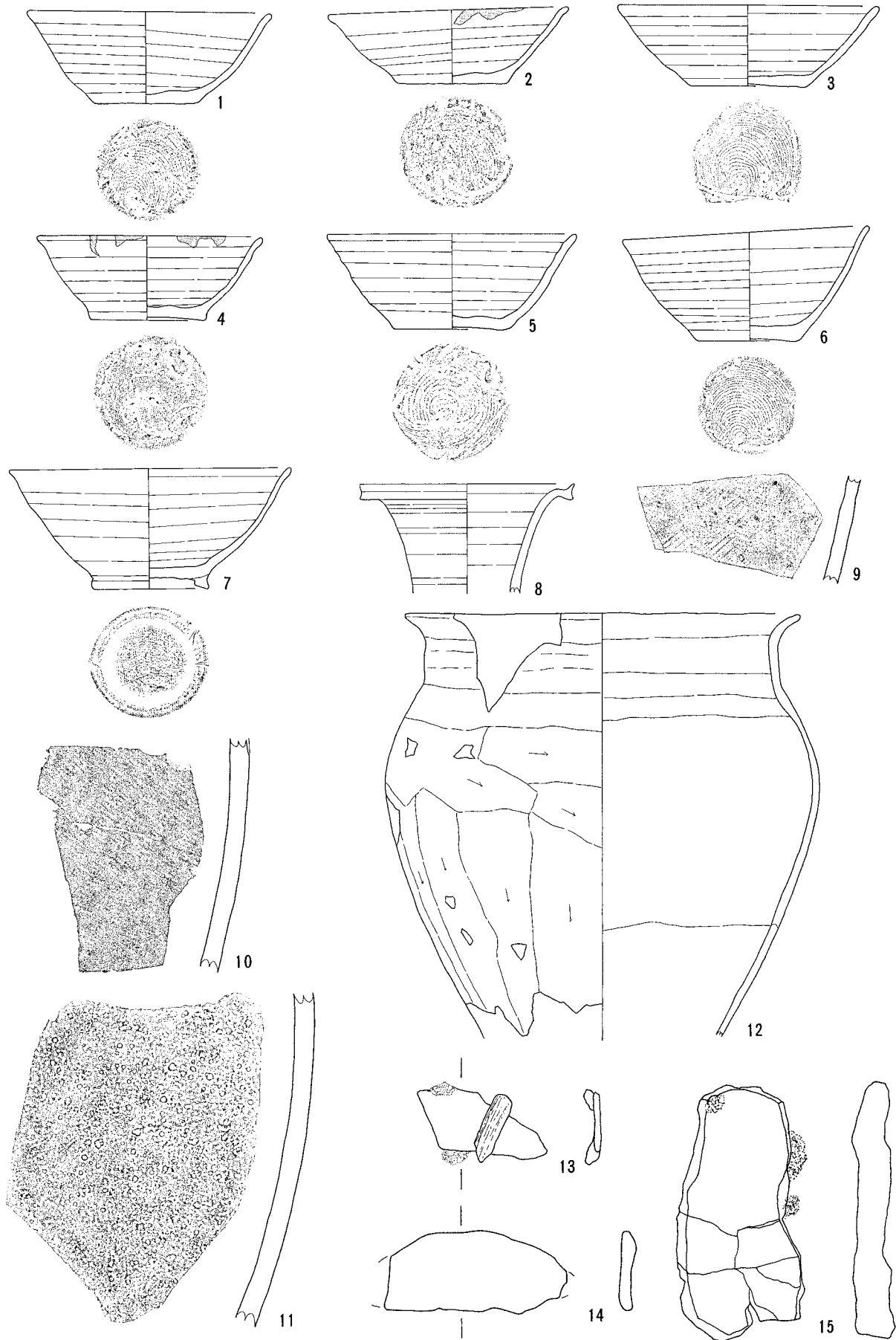
- 4層 暗褐色土 ローム粒子、炭化物粒子を微量含む。
- 5層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子、焼土ブロックを微量含む。
- 6層 暗赤褐色土 焼土粒子、焼土ブロックを多量に含む。
- 7層 暗茶褐色土 ローム粒子を少量含む、焼土粒子を微量含む。
- 8層 暗赤褐色土 焼土粒子、焼土ブロックを少量含む。
- 9層 暗褐色土 ローム粒子を少量含む、焼土粒子を微量含む。
- 10層 暗褐色土 焼土粒子を微量含む。
- 11層 暗褐色土 ローム粒子、粘土ブロックを微量含む。
- 12層 暗赤褐色土 焼土粒子を少量含む。
- 13層 暗黒茶褐色土 ローム粒子、ローム小ブロックを少量含む、焼土粒子を微量含む。

第87図 26号住居址カマド (1/30)

第60表 26号住居址出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 < >は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
1	37-1	坏	13.0	5.5	4.9	4.9	還元焰焼成	床面直上出土。底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は、僅かに外反する。残存率70%。
2	37-2	坏	12.6	6.0	4.6	4.0	半還元焰焼成	周溝から出土。底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は僅かに外反する。口縁部内面に煤が付着。完形。
3		坏	(13.8)	6.2	5.4	4.3	半還元焰焼成	カマドから出土。底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。残存率40%。
4		坏	(12.0)	(6.0)	(5.2)	4.5	半還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は僅かに外反する。口縁部外内面に煤が付着。残存率40%。



第88図 26号住居址出土遺物 (1/3) 但し、13~15は (2/3)

第61表 26号住居址出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 < >は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
5	37-5	坏	13.1	6.3	5.2	5.1	半還元焰焼成	床面付近から出土。底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は僅かに外反する。残存率95%。
6	37-6	坏	13.0	5.4	5.3	5.8	半還元焰焼成	床面直上出土。底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は僅かに外反する。残存率85%。
7	37-7	高台付埴	14.8	6.0	5.3	6.4	半還元焰焼成	床面直上出土。底部は回転糸切り後に、高台を貼り付け。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は外反する。残存率は95%。
8	37-8	壺	(11.4)	-	-	-	還元焰焼成	器内外面にロクロ水挽き整形。
9		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	床面付近から出土。器外面に斜め方向の平行叩き。
10	37-10	甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器外面に斜め方向の平行叩き。器内面は篋ナデ整形。胎土は緻密、焼成も良好。湖西窯産と思われる。
11	37-11	甕	-	-	-	-	還元焰焼成	カマドから出土。器外面に自然釉が付着。器内面は当て具痕が残る。
12	37-12	甕	20.8	-	-	-	土師器	カマドから出土。口縁部はコの字を呈する。口縁部の内外面に横ナデ。胴部外面に斜め、縦方向の篋削り。残存率60%。

挿図番号	図版番号	種類	長さ	幅	厚み	観察・特徴
13		鎌	<3.5>	1.6	0.2	床面直上出土。棒状の鉄製品が貼り付いている。
14		不明	<4.8>	2.2	0.3	上部が緩やかに彎曲する。
15	37-15	不明	6.8	3.3	1.0	板状を呈する。完形。

27号住居址

本住居址は2号土壇、17号溝、14号井戸址と重複し、中央部が大きく失われている。規模は東西4m、南北3.7mをはかり、主軸方位はE-28.5°-Sである。平面プランは方形を呈する。カマドは東壁に構築されている。壁は緩やかな傾斜を持って立ち上がり、壁高は19~26cmをはかる。壁に沿って幅9~20cm、深さ11.5cmの周溝がカマドを除き一巡していると思われる。南西コーナー付近に径30~35cm、深さ22cmのピットを1本検出した。

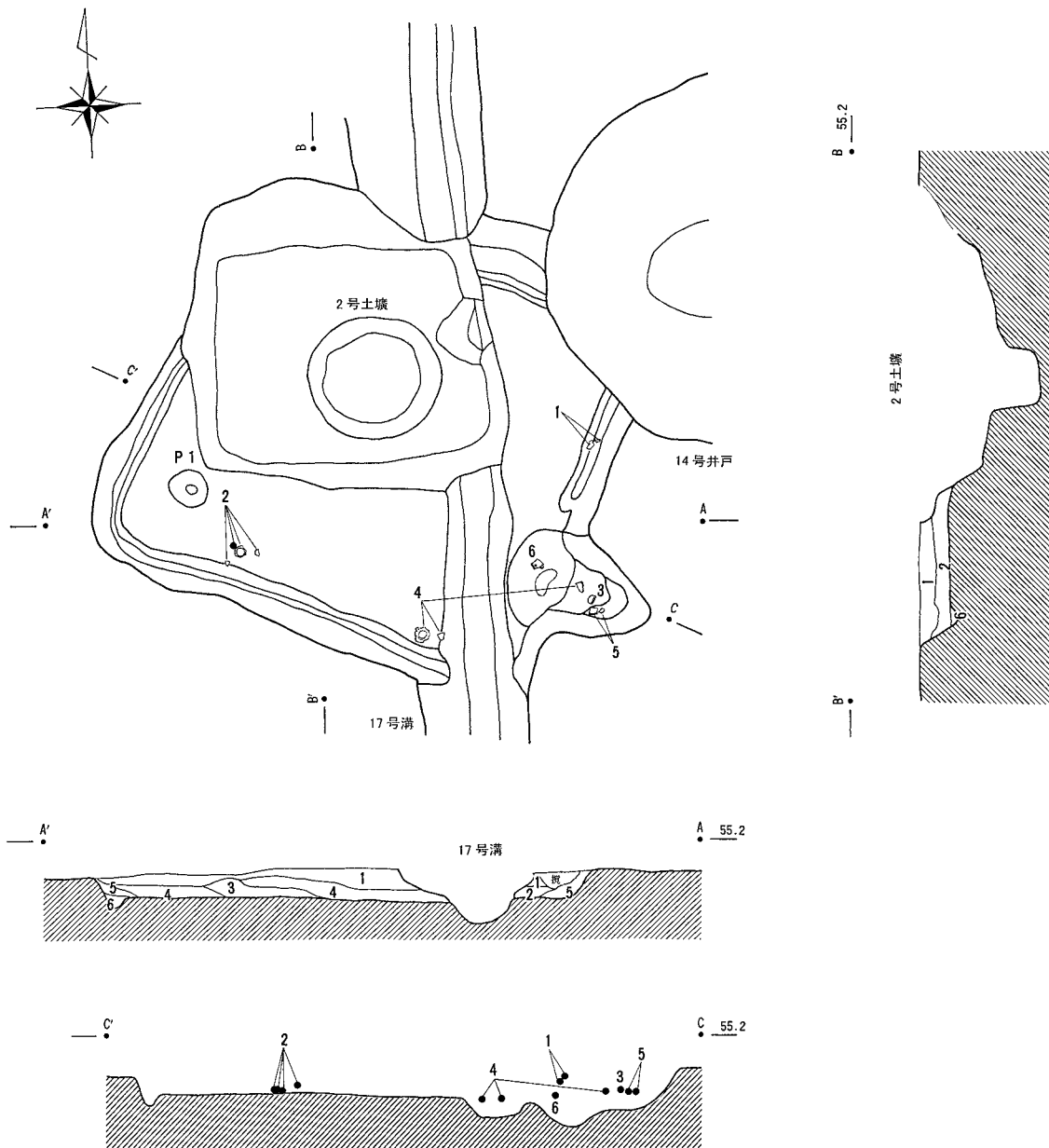
カマド

カマドは東壁の南東コーナー寄りに位置する。規模は幅89cm、奥行123cmで、平面プランは幅広のV字状を呈する。壁外へは72cm掘り込んでいる。火床部は幅25cm、奥行12cmの楕円形を呈し、床面から22cm掘り下げている。

第62表 27号住居址出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 < >は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
1	38-1	蓋	(17.3)	-	-	3.6	半還元焰焼成	床面直上出土。器内外面にロクロ水挽き整形後、天井部に回転篋削り。擬宝珠状のつまみを有する。残存率25%。



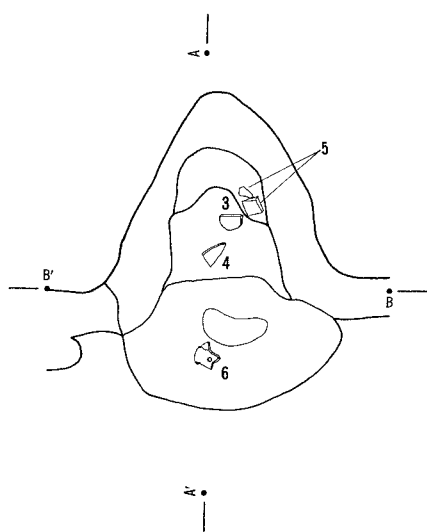
27号住居址

- 1層 暗褐色土 ローム粒子を微量含む。
- 2層 暗茶褐色土 ローム粒子を少量含み、焼土粒子、炭化物粒子を微量含む。
- 3層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子を微量含む。
- 4層 暗茶褐色土 ローム粒子を少量含む。
- 5層 暗黄褐色土 ローム粒子を少量含む。
- 6層 暗黄褐色土 ローム粒子を多量に含む。

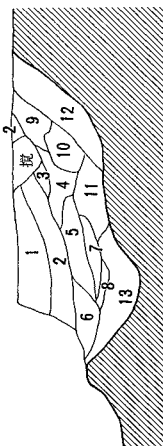
第89図 27号住居址 (1/60)

単位はcm ()は推定値 ()は既存値

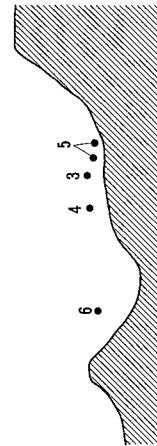
挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
2	38-2	坏	11.7	6.8	6.9	3.9	半還元焰焼成	床面付近出土。底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。残存率70%。
3		坏	-	7.5	-	-	半還元焰焼成	カマドから出土。底部は回転糸切り。



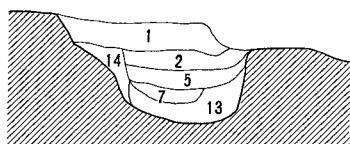
A 55.2



A 55.2



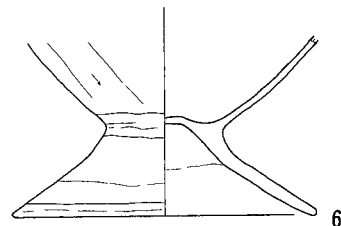
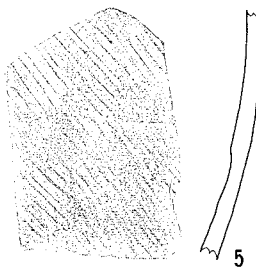
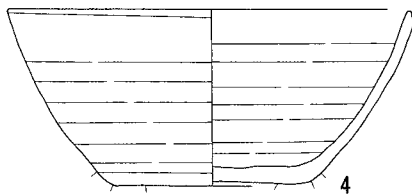
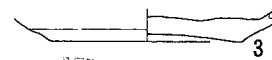
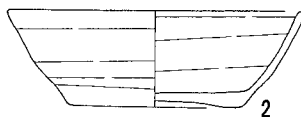
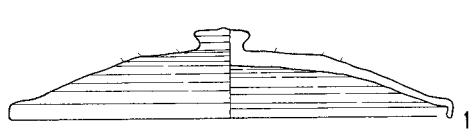
B' 55.2



27号住居址カマド

- 1層 暗黒茶褐色土 ローム粒子、焼土粒子を極微量含む。
- 2層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子を少量含む。
- 3層 暗黄褐色土 ローム粒子を多量に含み、焼土粒子を微量含む。

- 4層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子を微量含む。
- 5層 明褐色土 粘土粒子を多量に含む。
- 6層 暗褐色土 焼土粒子、粘土粒子を少量含む。
- 7層 赤褐色土 焼土層。
- 8層 黒褐色土 炭化物粒子を多量に含む。
- 9層 暗褐色土 焼土粒子を少量含み、ローム粒子を微量含む。
- 10層 暗赤褐色土 焼土粒子を多量に含み、ローム粒子、炭化物粒子を微量含む。
- 11層 暗黄褐色土 ローム粒子を少量含み、焼土粒子、粘土粒子を微量含む。
- 12層 暗黄褐色土 ローム粒子を多量に含み、焼土粒子を微量含む。
- 13層 暗褐色土 ローム粒子を少量含み、焼土粒子を極微量含む。
- 14層 暗褐色土 ローム粒子、粘土粒子を多量に含み、焼土粒子を微量含む。



第90図 27号住居址カマド (1/30) 出土遺物 (1/3)

第63表 27号住居址出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 ()は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
4	38-4	坏	(15.8)	7.8	7.3	7.0	半還元焰焼成	床面付近から出土。底部は回転糸切り後外周部回転篋削り。器内外面にロク口水挽き整形。残存率65%。
5		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	カマドから出土。器外面に斜め方向の平行叩き。器内面は当て具痕が残る。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。
6		台付甕	-	11.9	-	-	土師器	カマドから出土。胴部外面に縦方向の篋削り。脚部はナデ整形。

28号住居址

規模は東西5.7m、南北5.5mをはかり、主軸方位はN-2°-Eである。平面プランは方形を呈する。カマドは北壁に構築されている。床面は、四隅を除く範囲が硬化している。

壁は傾斜を持って立ち上がり、壁高は35~45cmをはかる。壁に沿って幅9~28cm、深さ4~32cmの周溝がカマドを除き一巡している。柱穴は各コーナーに沿って4本確認した。径は60~70cm、深さは57~74cmをはかる。

貼床下からは径25~70cm、深さ21~60cmの柱穴を新たに8本検出した。P5~P8はP1~P3に重複し、P4とP9も対になると考えられる。

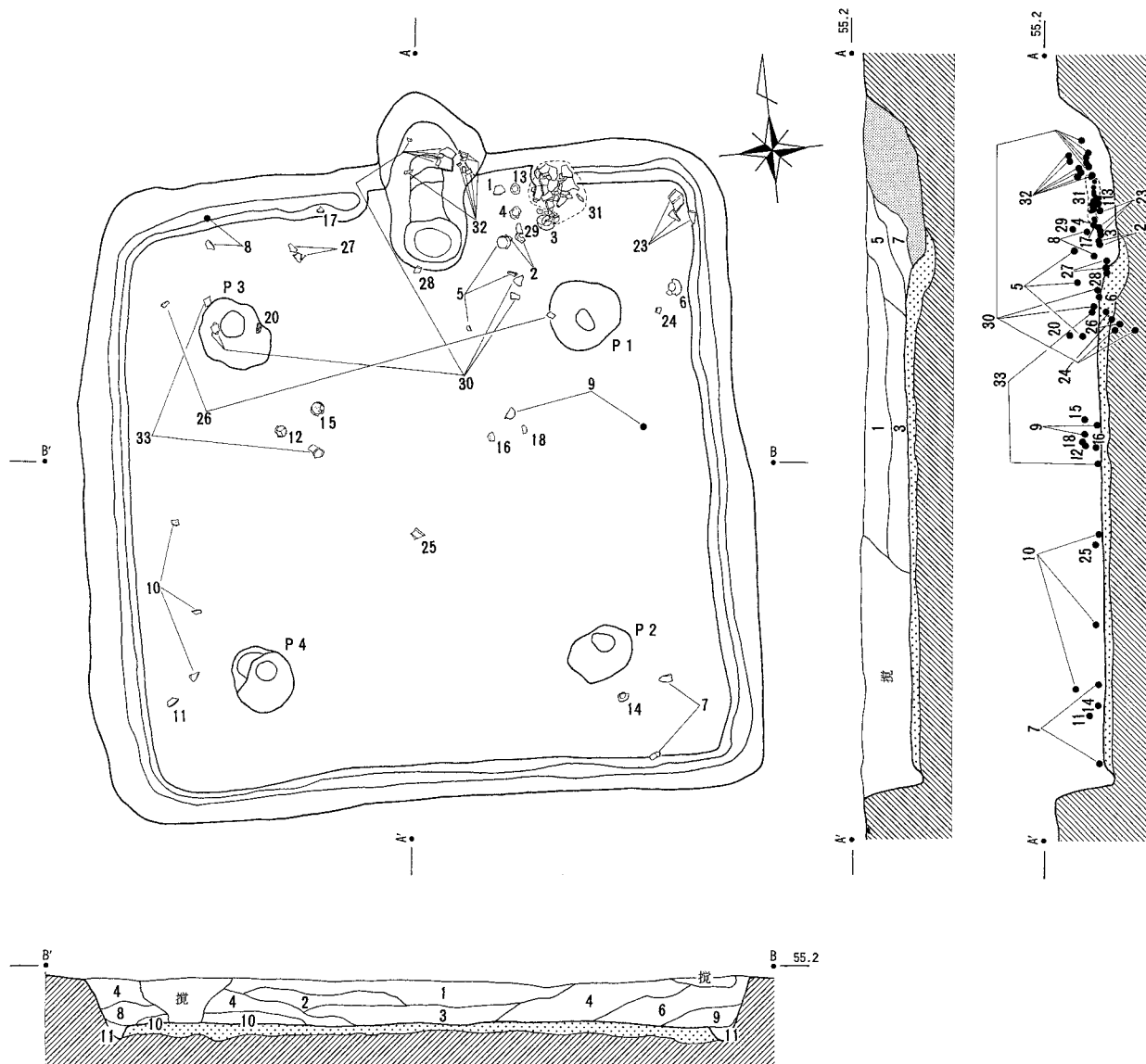
カマド

カマドは北壁の中央に位置する。規模は幅91cm、奥行150cmで、平面プランは幅広のU字状を呈する。壁外へは58cm掘り込んでいる。火床部は幅23cm、奥行31cmの楕円形を呈し、床面から25cm掘り下げている。

第64表 28号住居址出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 ()は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
1	38-1	蓋	(18.1)	-	-	4.0	半還元焰焼成	床面直上出土。器内外面にロク口水挽き整形後、天井部外面に回転篋削り。径2.7cmのボタン状のつまみを有する。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。残存率40%。
2	38-2	蓋	13.0	-	-	3.0	半還元焰焼成	床面直上出土。器内外面にロク口水挽き整形後、天井部外面に回転篋削り。径2.9cmのボタン状のつまみを有する。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。残存率90%。
3	38-3	坏	13.2	7.3	8.2	3.6	還元焰焼成	床面直上出土。底部は回転糸切り後全面回転篋削り。器内外面にロク口水挽き整形。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。残存率90%。
4		坏	(12.8)	6.8	8.2	3.7	還元焰焼成	床面付近から出土。底部は回転糸切り後全面回転篋削り。器内外面にロク口水挽き整形。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。残存率55%。
5	38-5	坏	14.0	7.8	9.2	4.0	半還元焰焼成	底部は回転糸切り後外周部回転篋削り。器内外面にロク口水挽き整形。前内出窯跡系。残存率80%。



28号住居址

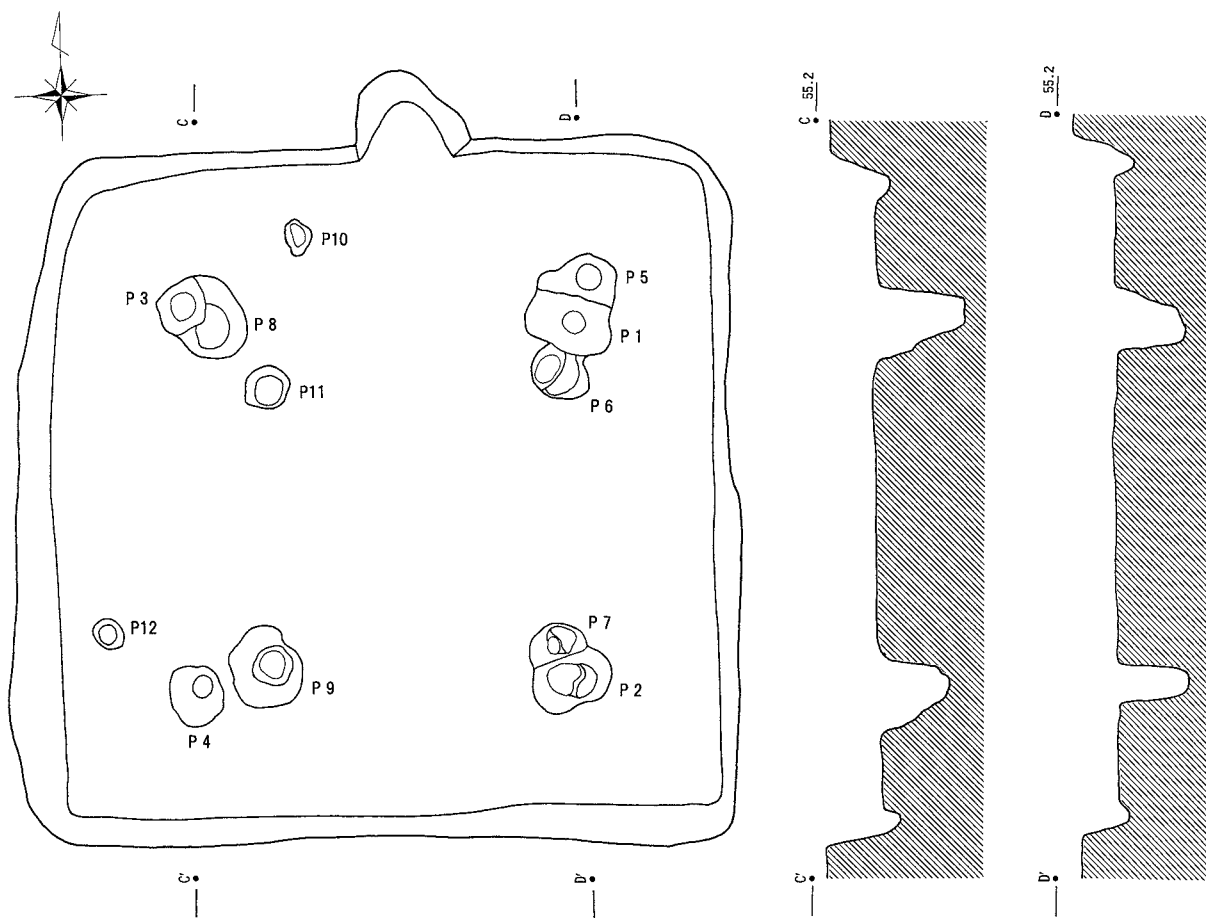
- | | |
|--------------------------------------|--------------------------------------|
| 1層 暗褐色土 ローム粒子を極微量含む。 | 7層 暗褐色土 ローム粒子を少量含む、焼土粒子、炭化物粒子を極微量含む。 |
| 2層 暗黒褐色土 ローム粒子、炭化物粒子を微量含む。 | 8層 暗褐色土 ローム粒子を少量含む。 |
| 3層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子を少量含む。 | 9層 暗黄茶褐色土 茶褐色ローム粒子を多量に含む。 |
| 4層 暗黒褐色土 ローム粒子、焼土粒子を微量含む。 | 10層 暗褐色土 暗茶褐色ロームブロックを少量含む。 |
| 5層 暗褐色土 ローム粒子を微量含む、焼土粒子、炭化物粒子を極微量含む。 | 11層 暗黄茶褐色土 茶褐色ローム粒子、ローム小ブロックを多量に含む。 |
| 6層 暗褐色土 茶褐色ローム粒子を少量含む。 | |

第91図 28号住居址 (1/60)

第65表 28号住居址出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 < >は既存値

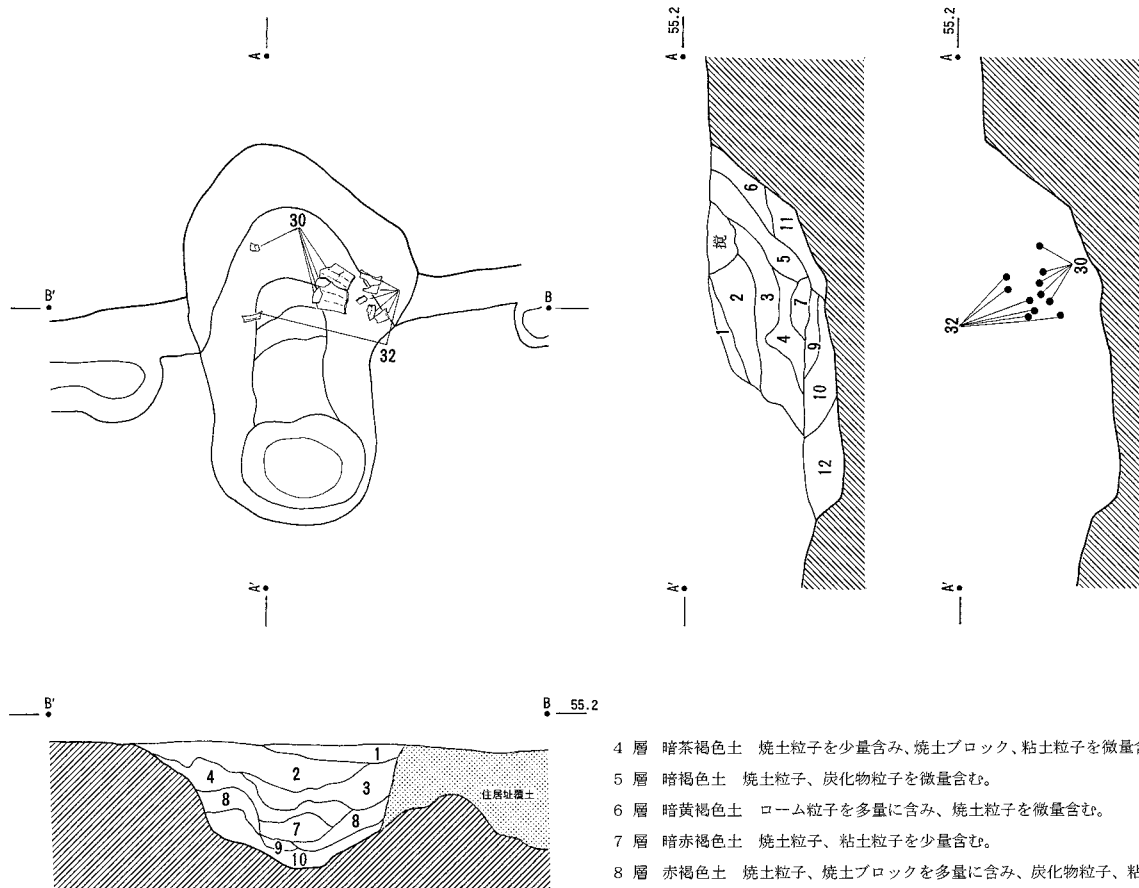
挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
6	38-6	坏	12.9	6.3	8.2	3.6	還元焰焼成	床面直上出土。底部は回転糸切り後外周部回転篋削り。器内外面にロクろ水挽き整形。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。残存率80%。



第92図 28号住居址貼床下 (1/60)

単位はcm ()は推定値 < >は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
7	38-7	坏	134	9.1	8.8	3.6	半還元焰焼成	床面付近から出土。底部は回転糸切り後外周部回転篋削り。器内外面にロク口水挽き整形。胎土は非常に緻密である。前内出窯跡系。残存率70%。
8		坏	(13.5)	7.7	8.5	3.5	還元焰焼成	底部は回転糸切り後全面回転篋削り。器内外面にロク口水挽き整形。体部外面下端に回転篋削り。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。残存率50%。
9		坏	134	8.4	8.8	3.8	還元焰焼成	底部は回転糸切り後外周部回転篋削り。胎土は非常に緻密である。前内出窯跡系。残存率80%。
10		坏	(13.0)	(8.3)	(8.9)	3.6	還元焰焼成	底部は回転糸切り後外周部回転篋削り。胎土は非常に緻密である。前内出窯跡系。残存率60%。
11		坏	(13.0)	(7.6)	(9.0)	3.4	還元焰焼成	底部は回転糸切り後外周部回転篋削り。器内面の底部から体部の変換点に爪先技法。胎土は非常に緻密である。前内出窯跡系。残存率20%。



28号住居址カマド

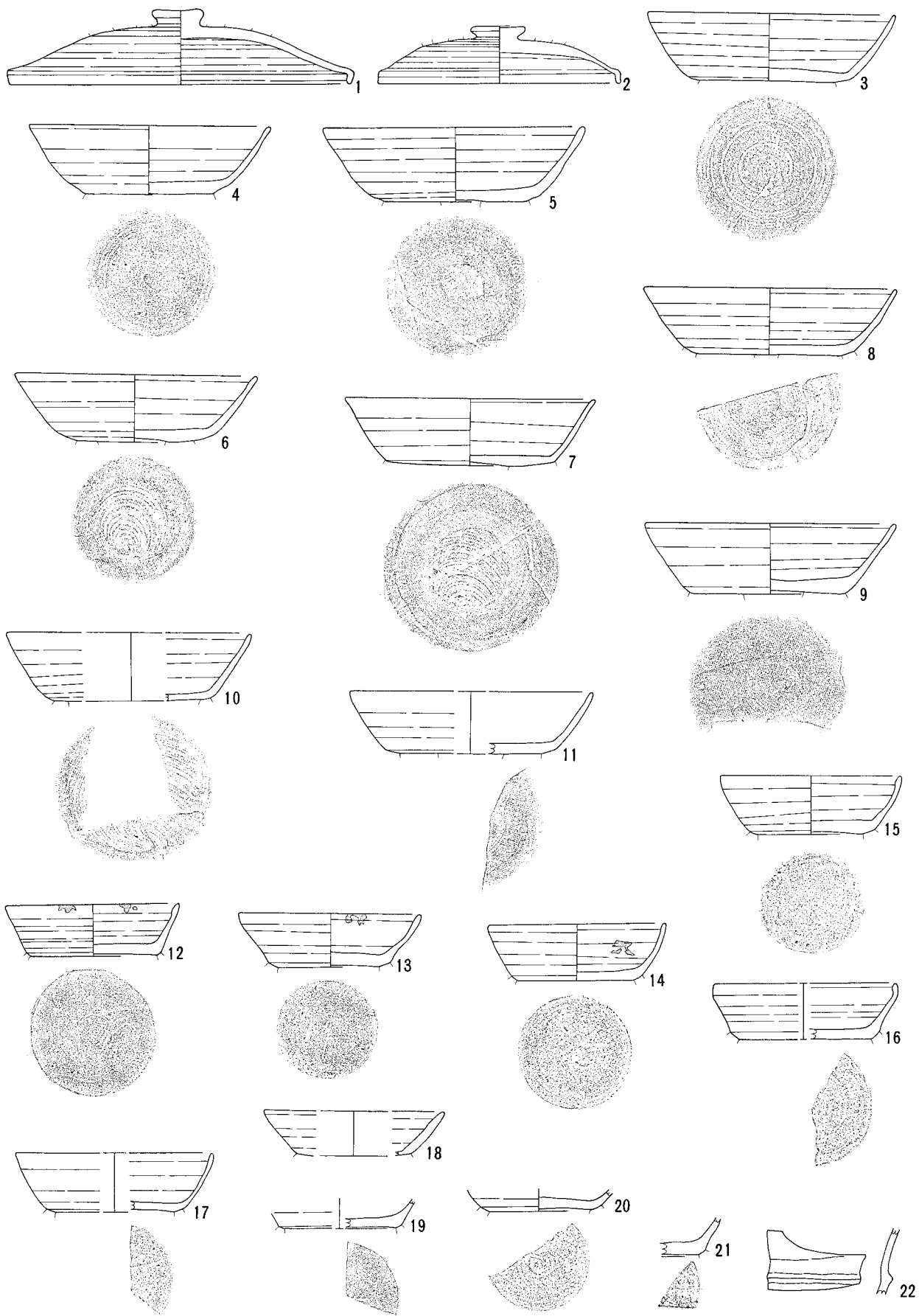
- 1層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子を微量含む。
- 2層 暗黄茶褐色土 ローム粒子、粘土粒子を多量に含む。
- 3層 暗黒褐色土 焼土粒子を少量含む、ローム粒子、炭化物粒子を微量含む。
- 4層 暗茶褐色土 焼土粒子を少量含む、焼土ブロック、粘土粒子を微量含む。
- 5層 暗褐色土 焼土粒子、炭化物粒子を微量含む。
- 6層 暗黄褐色土 ローム粒子を多量に含む、焼土粒子を微量含む。
- 7層 暗赤褐色土 焼土粒子、粘土粒子を少量含む。
- 8層 赤褐色土 焼土粒子、焼土ブロックを多量に含む、炭化物粒子、粘土粒子を微量含む。
- 9層 赤褐色土 焼土ブロック層。
- 10層 暗黄褐色土 ローム粒子を多量に含む。
- 11層 暗褐色土 ローム粒子を多量に含む。
- 12層 暗褐色土 ローム粒子を含み、焼土粒子を微量含む。

第93図 28号住居址カマド (1/30)

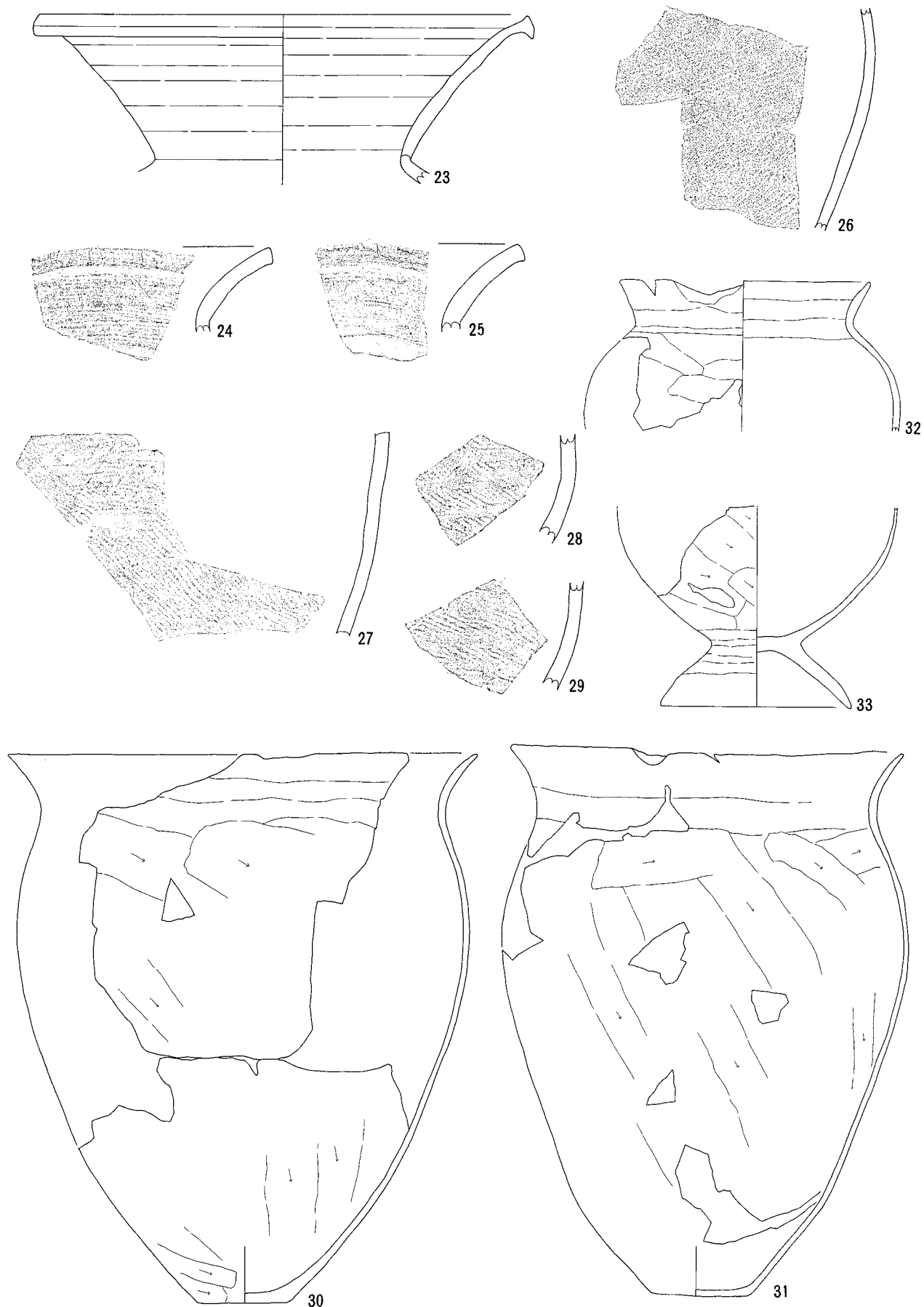
第66表 28号住居址出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 < >は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
12	38-12	坏	(9.3)	6.7	6.2	2.7	還元焰焼成	底部は回転糸切り後外周部回転篋削り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部器内外面に煤が付着。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。残存率50%。
13	38-13	坏	9.7	5.4	5.7	2.9	還元焰焼成	床面直上出土。底部は回転糸切り後外周部回転篋削り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部器内面に煤が付着。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。完形。
14	38-14	坏	9.5	6.2	6.4	3.1	還元焰焼成	床面付近から出土。底部は回転糸切り後外周部回転篋削り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部器内面に煤が付着。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。残存率95%。



第94图 28号住居址出土遺物 (1) (1/3)



第95图 28号住居址出土遗物 (2) (1/3)

第67表 28号住居址出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 < >は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
15		坏	9.6	5.6	6.3	3.2	還元焰焼成	底部は回転糸切り後外周部回転篋削り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部の器内面に煤が付着。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。残存率100%。
16		坏	(9.7)	(7.0)	(6.8)	3.0	還元焰焼成	床面付近から出土。底部は回転糸切り後外周部回転篋削り。器内外面にロクロ水挽き整形。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。残存率20%。
17		坏	(10.6)	(6.3)	(7.0)	3.1	還元焰焼成	底部は回転糸切り後外周部回転篋削り。器内外面にロクロ水挽き整形。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。残存率20%。
18		坏	(9.6)	(6.1)	-	2.4	半還元焰焼成	底部は回転糸切り後外周部回転篋削り。器内外面にロクロ水挽き整形。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。残存率10%。
19		坏	-	(6.0)	-	-	還元焰焼成	底部は回転糸切り後外周部回転篋削り。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。
20		坏	-	5.4	6.1	-	還元焰焼成	底部は回転糸切り後外周部回転篋削り。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。
21		坏	-	-	-	-	還元焰焼成	底部は回転糸切り後外周部回転篋削り。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。
22		埴	-	-	-	-	還元焰焼成	体部に段を有する。器内外面にロクロ水挽き整形。体部外面に隆帯が横走する。
23	38-23	甕	(26.4)	-	-	-	還元焰焼成	器内外面にロクロ水挽き整形。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。
24	38-24	甕	-	-	-	-	還元焰焼成	貼床下出土。器内外面にロクロ水挽き整形。器外面に粗い刷毛目状の模様が残る。胎土に雲母を含む。常陸窯跡産と思われる。25と同一個体。
25		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	床面付近から出土。器内外面にロクロ水挽き整形。器外面に粗い刷毛目状の模様が残る。胎土に雲母を含む。常陸窯跡産と思われる。24と同一個体。
26		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	貼床下出土。器外面に斜め方向の平行叩き。器内面はロクロ水挽き整形。
27	38-27	甕	-	-	-	-	還元焰焼成	床面直上出土。器外面に斜め方向の平行叩き。器内面にロクロ水挽き整形。胎土に雲母を含む。常陸窯跡産と思われる。

第68表 28号住居址出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 ()は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
28		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	床面直上出土。器外面に斜め方向の平行叩き。器内面にロクロ水挽き整形。胎土に雲母を含む。常陸窯跡産と思われる。
29		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器外面に斜め方向の平行叩き。器内面にロクロ水挽き整形。
30		甕	(25.6)	5.0	-	29.8	土師器	カマドから出土。口縁部はくの字を呈する。口縁部の内外面に横ナデ。胴部外面に縦、斜め方向の篋削り。
31	38-31	甕	31.0	5.2	-	29.6	土師器	床面直上出土。口縁部はくの字を呈する。口縁部の内外面に横ナデ。胴部外面に縦、斜め方向の篋削り。胴部内面はナデ整形。残存率90%。
32	38-32	台付甕	(13.5)	-	-	-	土師器	カマドから出土。口縁部はくの字を呈する。口縁部の内外面に横ナデ。胴部外面に斜め方向の篋削り。
33	38-33	台付甕	-	10.3	-	-	土師器	胴部外面に斜め方向の篋削り。脚部はナデ整形。

29号住居址

本住居址は5号掘立柱建物跡と重複する。規模は東西5.8m、南北5.1mをはかり、主軸方位はN-17°-Eである。平面プランは方形を呈する。本住居は2度の拡張を行っている。当初は東壁の中央よりやや南よりにカマドを構築し、付随する柱穴はP 6～P 9で径24～48cm、深さ10～50cmをはかる。次に東と南に拡張を行い、カマドも東壁の南東コーナーに近い位置へ移動した。伴う柱穴はP 4、P 5で、径は約60cm、深さ30～40cmである。2度目は四辺を拡張し、カマドは北壁の中央に築いた。柱穴は各コーナーに位置するP 1～P 3で、径30～40cmである。(住居の変遷は第97図を参照)床面は、中央部が硬化している。

壁は傾斜を持って立ち上がり、壁高は36～45cmをはかる。壁に沿って幅15～20cmの周溝が南西コーナーで途切れるがカマド1を除き一巡している。貼床下は、概ね平坦である。

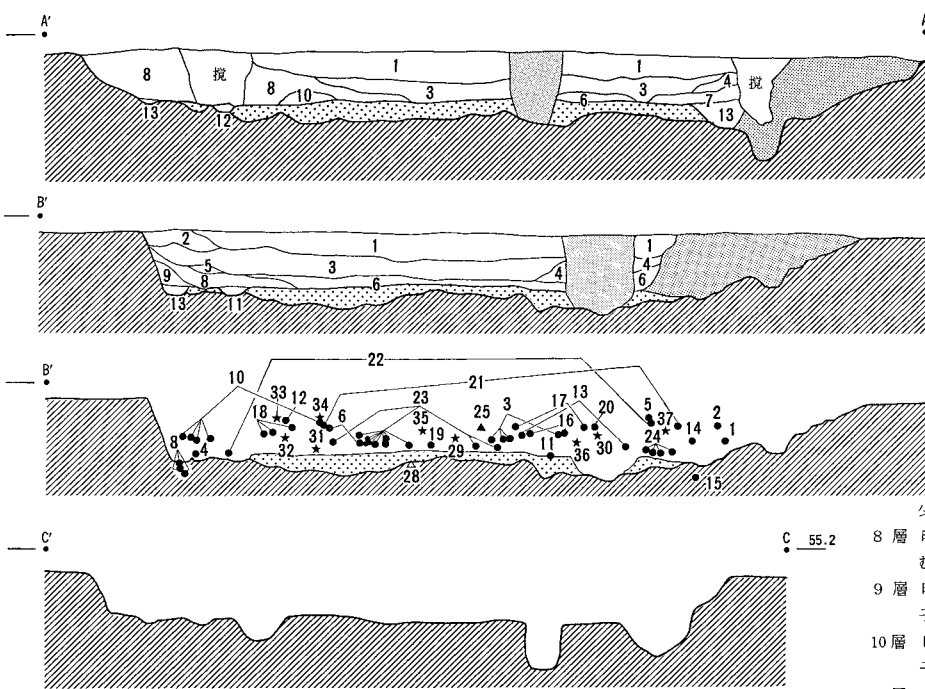
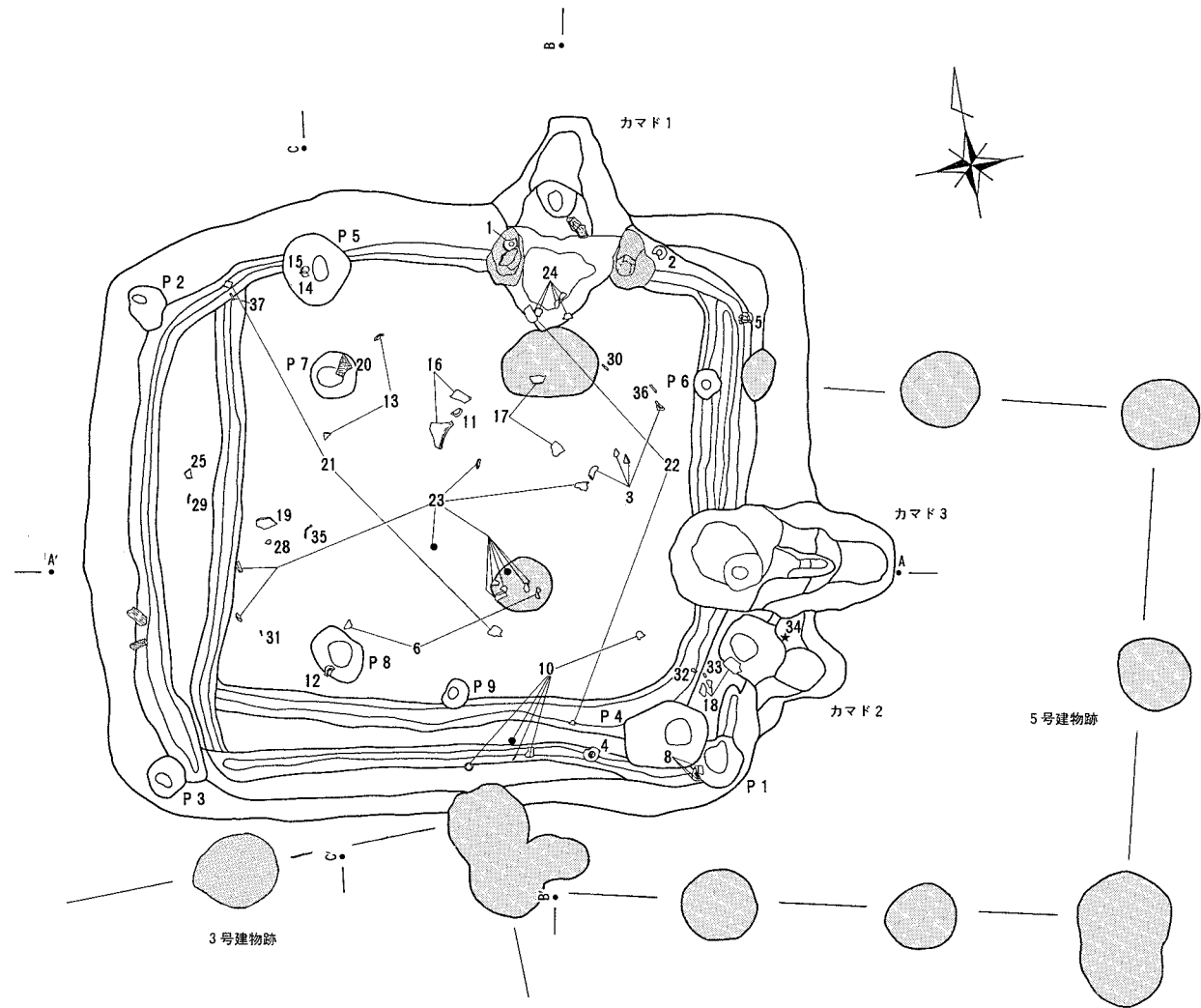
丸軋が貼床下から出土し、耳皿と灰釉陶器がP 5の覆土から出土している。

カマド1

カマドは北壁の北東コーナー寄りに位置する。規模は幅77cm、奥行106cmで、平面プランは角のあるU字状を呈する。壁外へは41cm掘り込んでいる。火床部は幅20cm、奥行24cmの不整形を呈し、床面から8cm掘り下げている。両袖には粘土が残っている。

カマド2

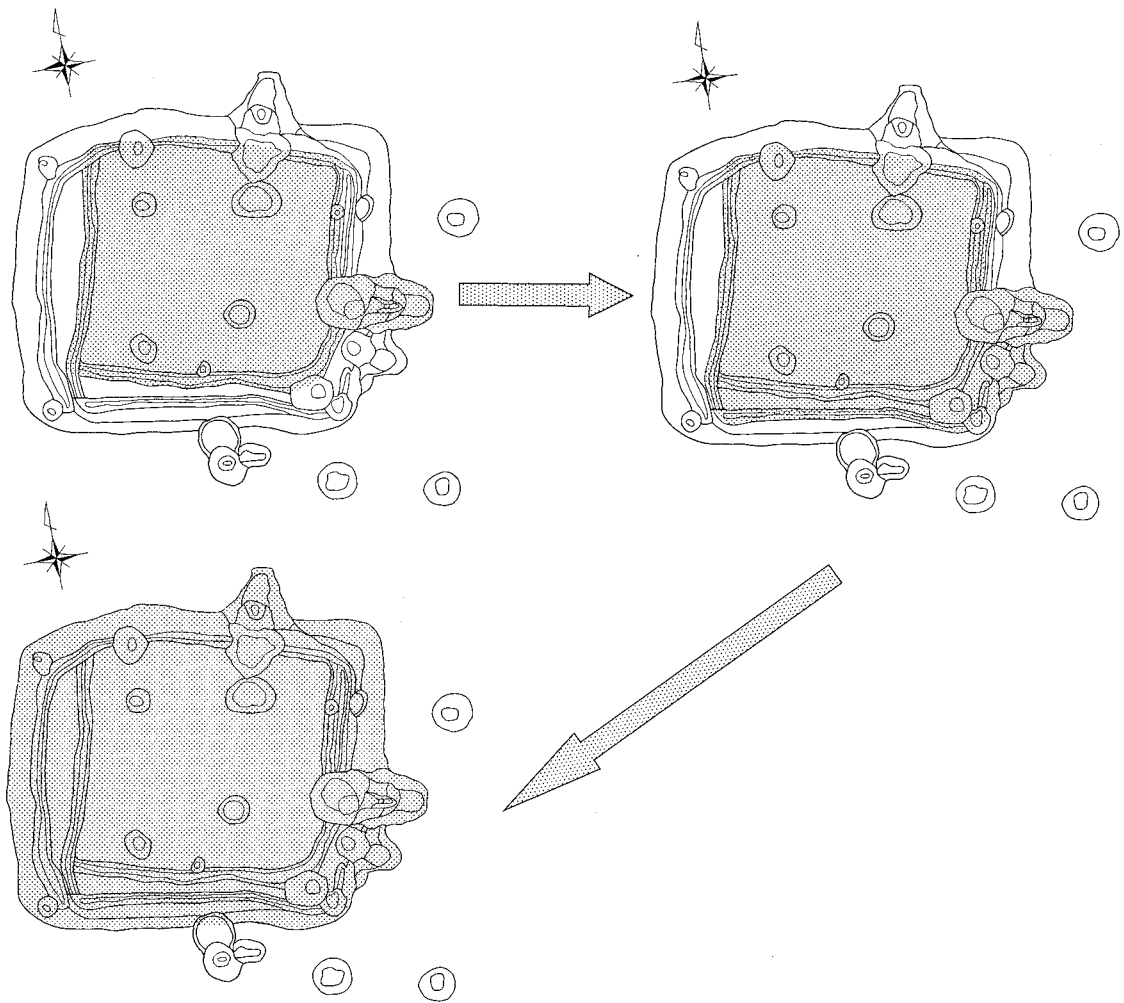
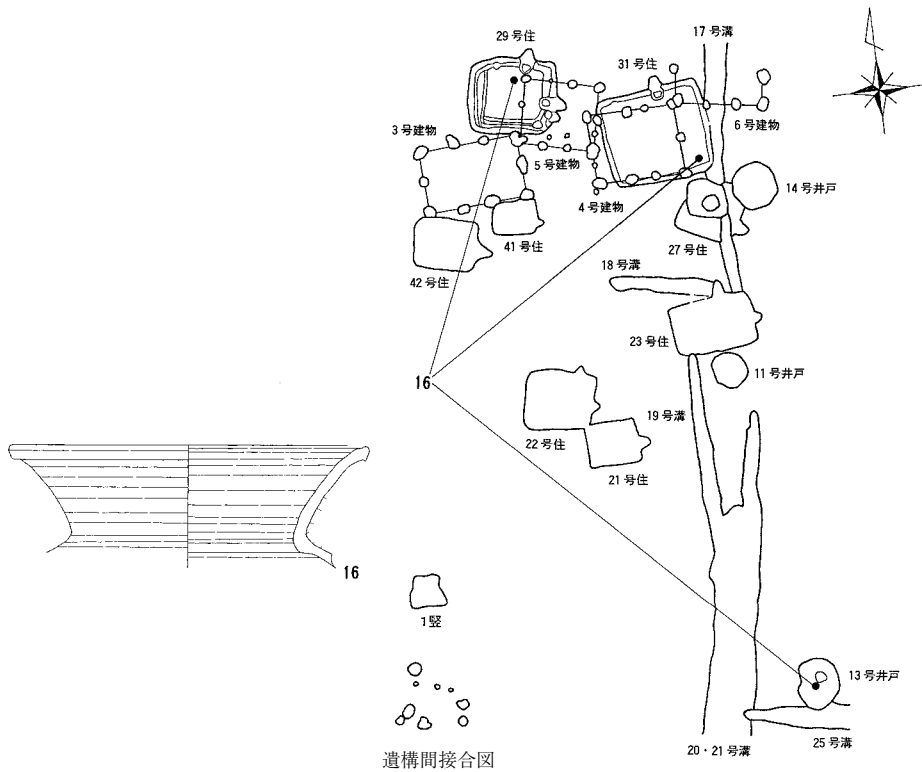
カマドは東壁の南東コーナー近くに位置し、カマド3と重複する。規模は幅77cm、奥行106cmで、平面プランは幅広のU字状を呈する。壁外へは41cm掘り込んでいる。火床部は幅20cm、奥行24cmの円形を呈し、床面から8cm掘り下げている。



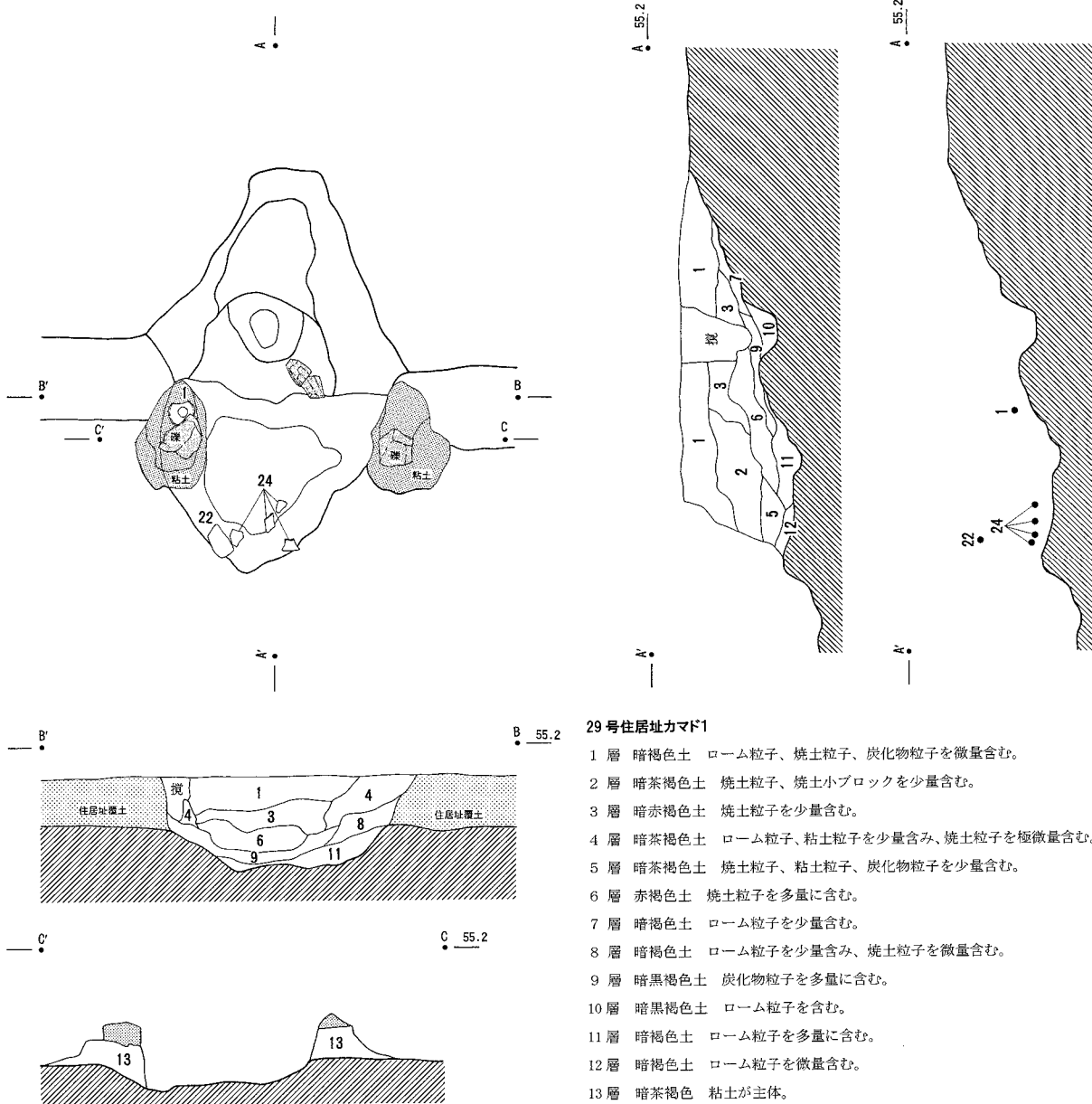
29号住居址

- 1層 暗黒褐色土 焼土粒子を極微量含む。
- 2層 暗黒褐色土 ローム粒子を微量含む。
- 3層 暗茶褐色土 ローム粒子を少量含み、焼土粒子、炭化物粒子を微量含む。
- 4層 暗褐色土 ローム粒子を少量含み、焼土粒子、焼土ブロック、炭化物粒子を微量含む。
- 5層 暗黄褐色土 ローム粒子を多量に含む。
- 6層 暗黒褐色土 ローム粒子を少量含み、ローム小ブロック、焼土粒子、炭化物粒子を微量含む。
- 7層 暗褐色土 ローム粒子を少量含み、焼土粒子を微量含む。
- 8層 暗黒褐色土 ローム粒子、焼土粒子を微量含む。
- 9層 暗褐色土 ローム粒子を多量に含み、焼土粒子を極微量含む。
- 10層 暗赤褐色土 焼土粒子を少量含み、炭化物粒子を微量含む。
- 11層 暗黒褐色土 ローム粒子を極微量含む。
- 12層 暗黒褐色土 ローム粒子を含む。
- 13層 暗褐色土 ローム粒子を微量含む。

第96図 29号住居址 (1/60)



第97図 29号住居址出土遺物遺構間接合図 (1/500) 住居址変遷図 (1/120)



第98図 29号住居址カマド1 (1/30)

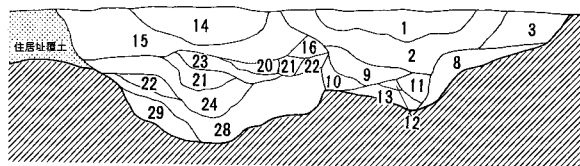
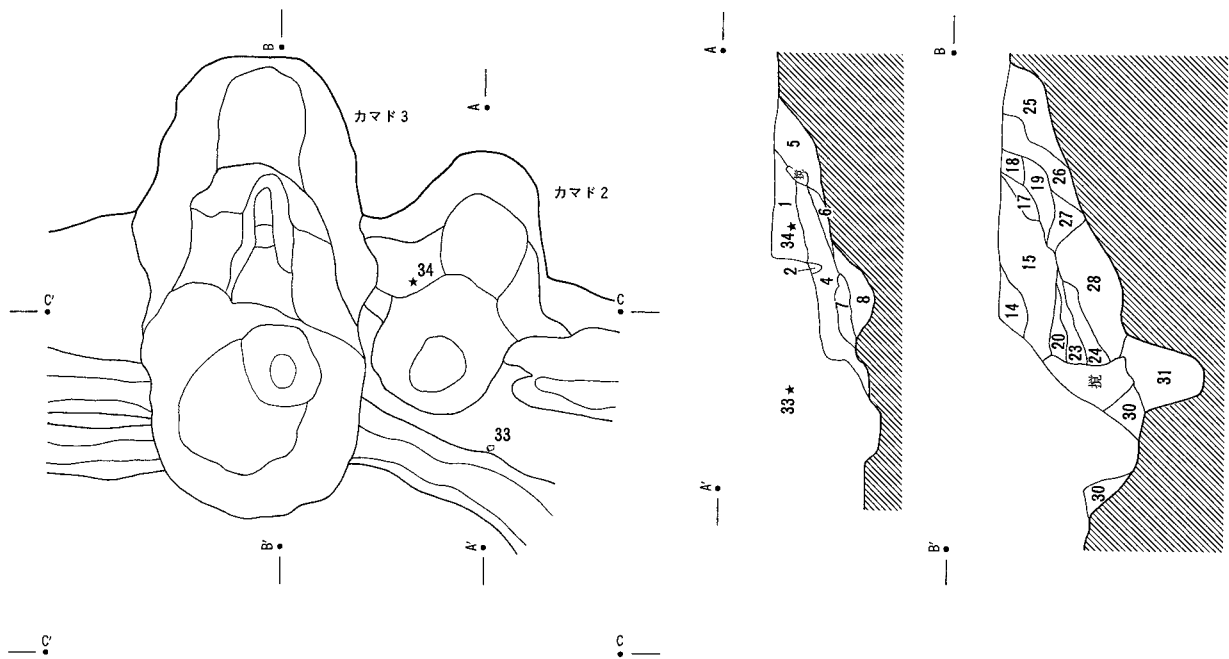
カマド3

カマドは東壁の南寄りに位置し、最初に構築されたカマドである。規模は幅89cm、奥行181cmで、平面プランは幅広のU字状を呈する。壁外へは62cm掘り込んでいる。火床部は幅48cm、奥行63cmで円形を呈し、床面から18cm掘り下げている。

第69表 29号住居址出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 ()は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
1	39-1	坏	13.2	5.6	5.0	3.8	半還元焰焼成	カマド1から出土。底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は外反する。残存率75%。
2	39-2	坏	12.8	6.4	5.0	3.5	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。残存率80%。



29号住居址カマド2、3

- 1層 暗褐色土 焼土粒子を微量含む。
- 2層 暗褐色土 焼土粒子、炭化物粒子、粘土粒子を微量含む。
- 3層 暗褐色土 ローム粒子を多量に含む。
- 4層 暗赤褐色土 焼土粒子を多量に含む、ローム粒子を微量含む。
- 5層 暗褐色土 ローム粒子を多量に含む、焼土粒子を微量含む。
- 6層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子を微量含む。
- 7層 暗赤褐色土 焼土粒子を多量に含む、ローム粒子を少量含む。
- 8層 明褐色土 ローム粒子を多量に含む。
- 9層 暗赤褐色土 焼土粒子、ローム粒子を少量含む。
- 10層 暗褐色土 ローム粒子を少量含む、焼土粒子を微量含む。
- 11層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子を微量含む。
- 12層 赤褐色土 焼土粒子を多量に含む。

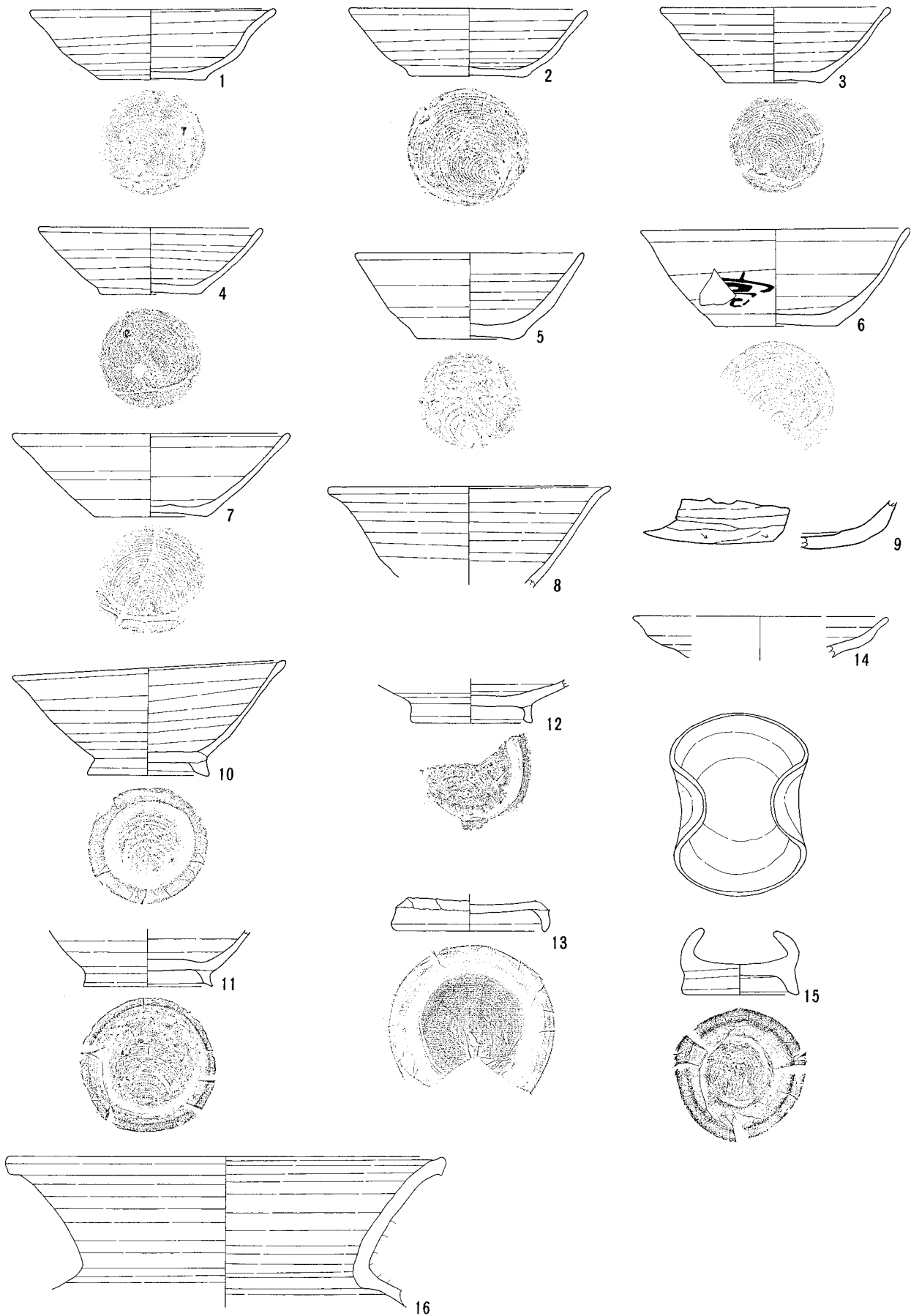
- 13層 明褐色土 ローム粒子を多量に含む、焼土粒子を少量含む。
- 14層 暗褐色土 焼土粒子を微量含む。
- 15層 暗褐色土 焼土粒子、焼土小ブロックを微量含む。
- 16層 暗茶褐色土 粘土粒子を微量含む、焼土粒子を極微量含む。
- 17層 暗茶褐色土 粘土粒子を少量含む。
- 18層 暗茶褐色土 粘土粒子、焼土粒子を少量含む。
- 19層 暗赤褐色土 焼土粒子を含む。
- 20層 明黄褐色土 ローム粒子、粘土粒子を多量に含む。
- 21層 暗赤褐色土 焼土粒子を多量に含む。
- 22層 暗茶褐色土 ローム粒子、炭化物粒子、粘土粒子を微量含む。
- 23層 黒褐色土 炭化物粒子を多量に含む。
- 24層 暗赤褐色土 焼土粒子を少量含む、ローム粒子、炭化物粒子を微量含む。
- 25層 暗褐色土 ローム粒子を多量に含む、焼土粒子を微量含む。
- 26層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子、炭化物粒子を少量含む。
- 27層 暗褐色土 ローム粒子を多量に含む、焼土粒子、炭化物粒子を含む。
- 28層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子を少量含む、炭化物粒子を微量含む。
- 29層 暗黄褐色土 ローム粒子、ローム小ブロック、焼土粒子を少量含む。
- 30層 暗黒褐色土 ローム粒子を少量含む、焼土粒子を微量含む。
- 31層 暗褐色土 ローム粒子を少量含む、焼土粒子、炭化物粒子を微量含む。

第99図 29号住居址カマド2、3 (1/30)

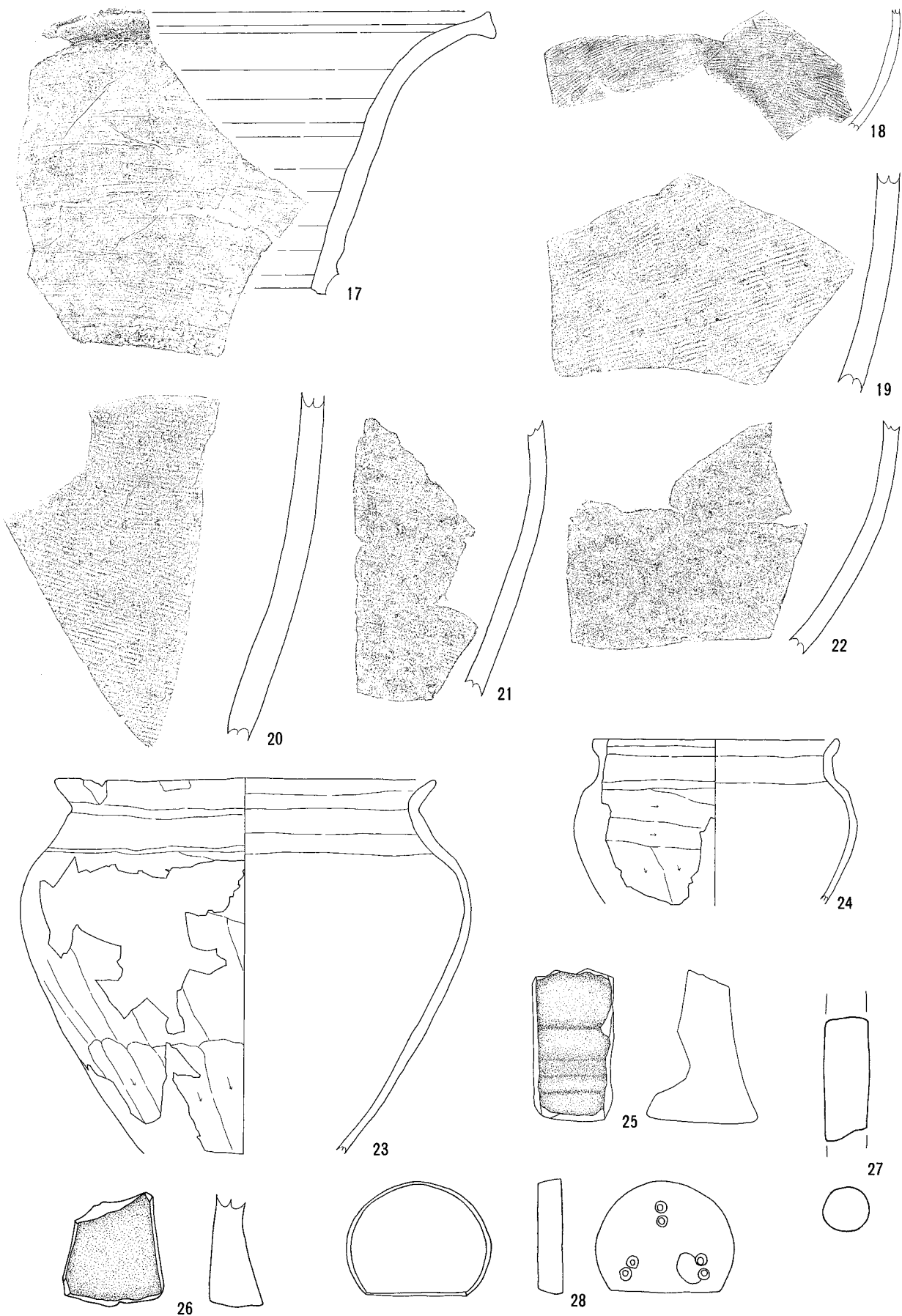
第70表 29号住居址出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 < >は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
3	39-3	坏	12.4	5.3	4.5	4.1	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクク水挽き整形。残存率95%。
4	39-4	坏	12.1	5.4	4.4	3.6	半還元焰焼成	床面直上出土。底部は回転糸切り。器内外面にロクク水挽き整形。残存率90%。
5	39-5	坏	(12.3)	5.7	4.7	4.5	半還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクク水挽き整形。胎土に茶色の小粒子を多量に含む。末野窯跡産の可能性が有る。残存率60%。



第100图 29号住居址出土遺物 (1) (1/3)

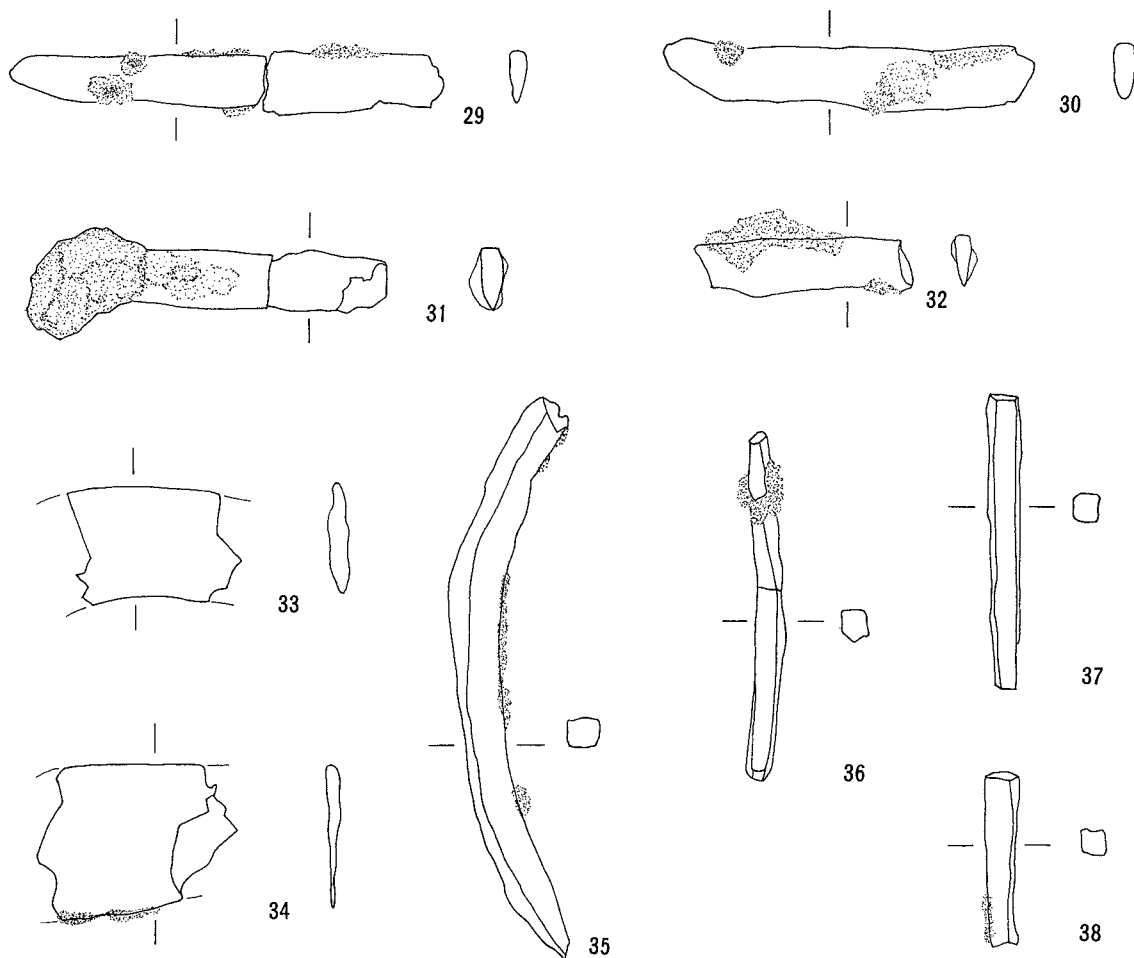


第101図 29号住居址出土遺物 (2) (1/3) 但し、27は (1/1)、28は (2/3)

第71表 29号住居址出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 ()は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
6	39-6	坏	14.5	6.5	5.1	5.2	半還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は僅かに外反する。体部外面に「富」の墨書。残存率60%。
7		坏	(14.9)	6.0	5.0	4.5	半還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。残存率60%。
8		坏	15.2	-	-	-	還元焰焼成	器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は外反する。残存率は60%。
9		坏	-	-	-	-	土師器	底部は丸底。体部は篋削り整形。口縁部は垂直に立上がる。
10	39-10	高台付坏	14.7	6.5	5.3	5.8	半還元焰焼成	底部は回転糸切り後に、高台を貼り付け。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は僅かに外反する。残存率70%。
11		高台付坏	-	6.9	6.0	-	還元焰焼成	床面直上出土。底部は回転糸切り後に、高台を貼り付け。器内外面にロクロ水挽き整形。
12		高台付坏	-	6.8	4.0	-	還元焰焼成	底部は回転糸切り後に、高台を貼り付け。器内外面にロクロ水挽き整形。
13	39-13	高台付坏	-	8.0	-	-	灰釉陶器	底部は回転糸切り後に、高台を貼り付け。器内面に釉薬を施す。底部に沿って丁寧に打ち欠き整えている。
14		皿	(13.7)	-	-	-	灰釉陶器	P5から出土。器内外面にロクロ水挽き整形。器内外面に釉薬を塗っている。
15	39-15	耳皿	9.9	6.4	-	3.6	還元焰焼成	P5から出土。底部は回転糸切り後に、高台を貼り付けている。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部を折り曲げて耳部を形成している。
16	39-16	甕	(46.2)	-	-	-	還元焰焼成	31号住居址、13号井戸址の遺構間で接合している。器内外面にロクロ水挽き整形。
17	39-17	甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器内外面にロクロ水挽き整形。
18	39-18	甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器外面に横、斜め方向の平行叩き。器内面には当て具痕が残る。
19	39-19	甕	-	-	-	-	還元焰焼成	床面付近から出土。器外面に斜め方向の平行叩き。器内面には当て具痕が残る。
20		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器外面に横、斜め方向の平行叩き。器内面には当て具痕が残る。
21		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器外面に横、斜め方向の平行叩き。器内面には当て具痕が残る。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。22と同一個体と思われる。



第102図 29号住居址出土遺物 (3) (2/3)

第72表 29号住居址出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 < >は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
22		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器外面に横、斜め方向の平行叩き。器内面には当て具痕が残る。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。21と同一個体と思われる。
23	39-23	甕	20.4	-	-	-	土師器	口縁部は崩れたコの字を呈する。口縁部の器内外面には横ナデ。胴部外面には縦方向の篋削り。残存率70%。
24		台付甕	13.2	-	-	-	土師器	カマド1からの出土。口縁部はコの字を呈する。器内外面に横ナデ。胴部外面には横、斜め方向の篋削り。

挿図番号	図版番号	種類	重さ(g)	観察・特徴
25	39-25	砥石	<184>	両面、両側面、底面に擦り痕が残る。一面を大きく削り、窪ませている。石質は凝灰岩である。残存長8.2cm。
26		砥石	<31>	両面、両側面、底面に擦り痕が残る。石質は凝灰岩である。残存長4.1cm。

挿図番号	図版番号	種類	長さ	径	重さ(g)	観察・特徴
27		土製品	〈2.2〉	0.8	〈1.3〉	素焼きで、円柱状を呈する。

挿図番号	図版番号	種類	長さ	幅	厚み	重さ(g)	観察・特徴
28	39-28	丸靱	4.0	3.2	0.7	17.7	貼床下出土。表面及び側面は丁寧に磨いている。裏面には潜り穴が2穴一対で、3ヶ所に配されている。石質は形質頁岩である。完形。

挿図番号	図版番号	種類	長さ	幅	厚み	観察・特徴
29	40-29	刀子	〈8.5〉	1.2	0.4	茎を欠損する。刃部は平造りである。
30	40-30	刀子	〈7.3〉	1.3	0.4	茎を欠損する。刃部は平造りである。
31		刀子	〈6.5〉	1.2	0.4	床面付近出土。切先と茎を欠損する。刃部は平造りである。
32	40-32	刀子	〈4.0〉	1.2	0.3	切先と茎を欠損する。刃部は平造りである。
33		鎌	〈3.5〉	2.2	0.4	中央部の破片で、緩やかに湾曲している。
34		鎌	〈3.9〉	2.9	0.3	カマド2からの出土。中央部の破片。
35	40-35	釘	〈11.2〉	0.6	0.6	先端部と頭部を欠損する。
36		釘	〈7.0〉	0.5	0.6	床面付近出土。先端部と頭部を欠損する。
37		釘	〈5.9〉	0.5	0.6	先端部と頭部を欠損する。
38		釘	〈3.4〉	0.5	0.5	先端部と頭部を欠損する。

30号住居址

規模は東西4.3m、南北3.7mをはかり、主軸方位はN-4.5°-Eである。平面プランは東西に長い方形を呈する。カマドは当初東壁に構築し、後に北壁に移している。床面の状況は、四隅を除く範囲が硬化している。

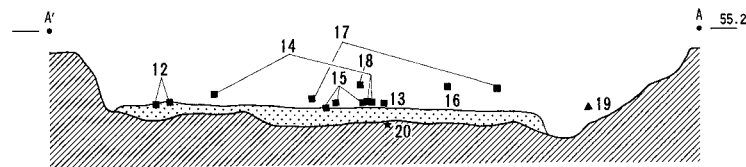
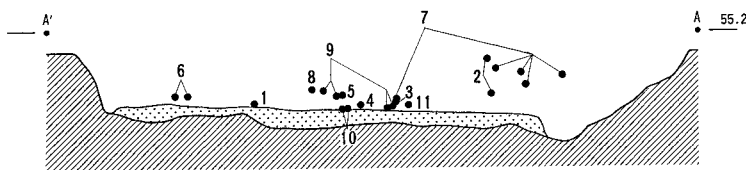
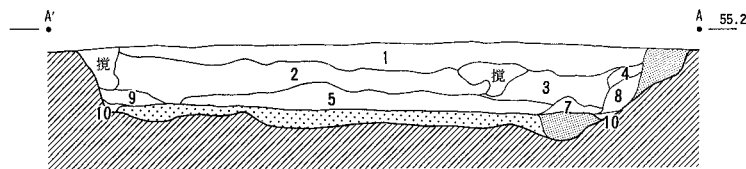
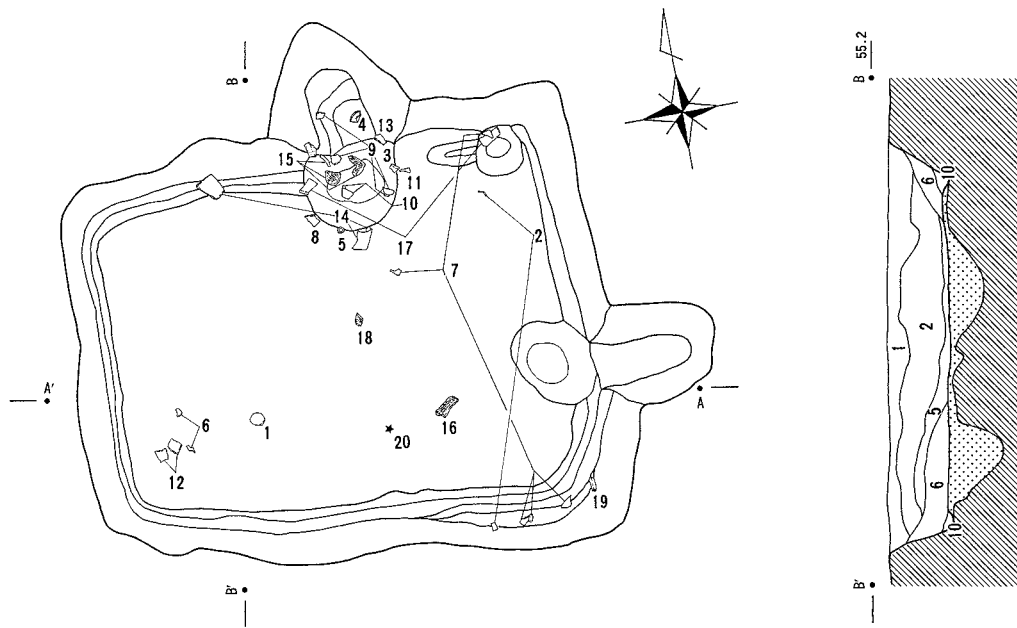
壁は傾斜を持って立ち上がり、壁高は41~57cmをはかる。壁に沿って幅9~20cm、深さ6~10cmの周溝が東壁の一部を除き一巡している。北東コーナーで周溝と重複する径40cm、深さは35cmの柱穴1本を検出した。貼床下の状態は、住居址西側で径120cm、深さ23cmの円形の土壙と長軸130cm、短軸80cm、深さ49cmの楕円形の土壙、そして径50cm、深さ25cmの柱穴1本検出した。

北カマド

カマドは北壁のほぼ中央に位置する。規模は幅115cm、奥行168cmで、平面プランは幅広のV字状を呈する。壁外へは79cm掘り込んでいる。火床部は幅47cm、奥行30cmの楕円形を呈し、床面から28cm掘り下げている。

東カマド

カマドは東壁の南寄りに位置する。規模は幅83cm、奥行157cmで、平面プランは幅広の角のあるU字状を呈する。壁外へは73cm掘り込んでいる。火床部は幅29cm、奥行35cmの円形を呈し、床面から32cm掘り下げている。



30号住居址

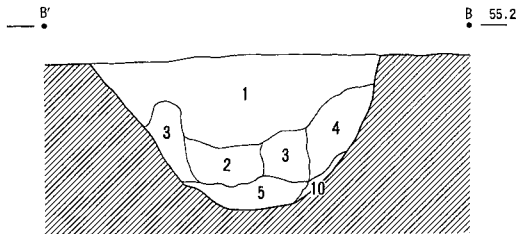
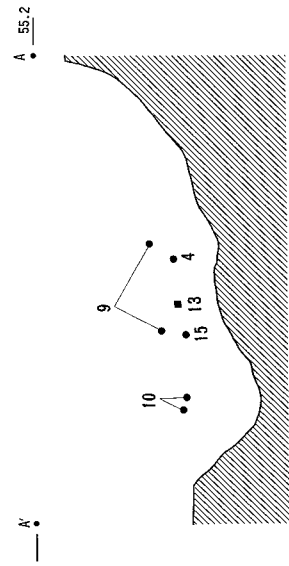
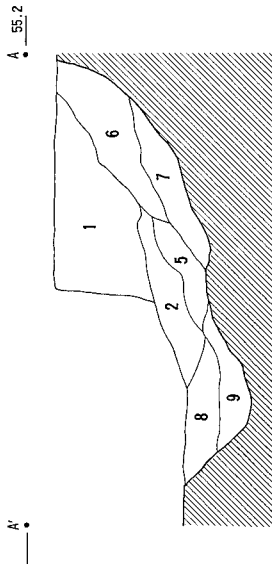
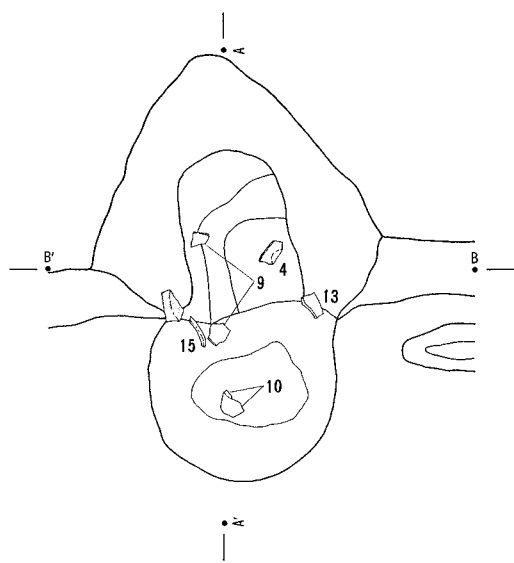
- 1層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子を極微量含む。
- 2層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子、炭化物粒子を微量含む。
- 3層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子を微量含む。
- 4層 暗赤褐色土 焼土粒子を少量含む。
- 5層 暗茶褐色土 ローム粒子を少量含み、焼土粒子、炭化物粒子を微量含む。
- 6層 暗黒褐色土 ローム粒子を微量含む。
- 7層 暗茶褐色土 ローム粒子を少量含み、焼土粒子を微量含む。
- 8層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子を少量含む。
- 9層 暗褐色土 ローム粒子、ローム小ブロックを微量含む。
- 10層 暗褐色土 ローム小ブロックを含む。

第103図 30号住居址 (1/60)

第73表 30号住居址出土遺物観察表

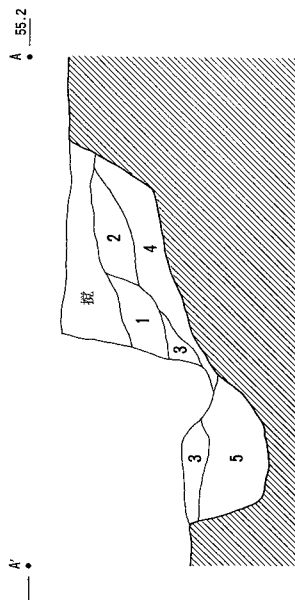
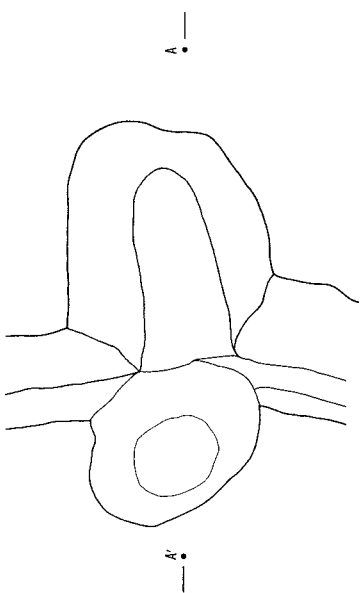
単位はcm ()は推定値 < >は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
1	40-1	坏	11.6	6.0	5.5	4.0	還元焰焼成	床面直上出土。底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。完形。
2		坏	(11.6)	5.6	6.5	3.5	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。残存率40%。
3		坏	(12.0)	(6.3)	(6.2)	3.7	半還元焰焼成	床面付近から出土。底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は外反する。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。残存率35%。



30号住居址北カマド

- 1層 暗黄褐色土 ローム粒子を少量含み、焼土粒子を微量含む。
- 2層 暗黄茶褐色土 粘土粒子を多量に含み、焼土粒子を微量含む。
- 3層 暗茶褐色土 ローム粒子、粘土粒子を少量含み、焼土粒子を微量含む。
- 4層 暗茶褐色土 ローム粒子、粘土粒子を少量含む。
- 5層 暗褐色土 ローム粒子を多量に含む。
- 6層 暗褐色土 ローム粒子を少量含む。
- 7層 暗茶褐色土 ローム粒子を多量に含み、ローム小ブロックを微量含む。
- 8層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子、炭化物粒子を少量含む。
- 9層 暗黒茶褐色土 ローム粒子を多量に含み、焼土粒子を極微量含む。
- 10層 暗黄褐色土 ローム粒子を多量に含む。

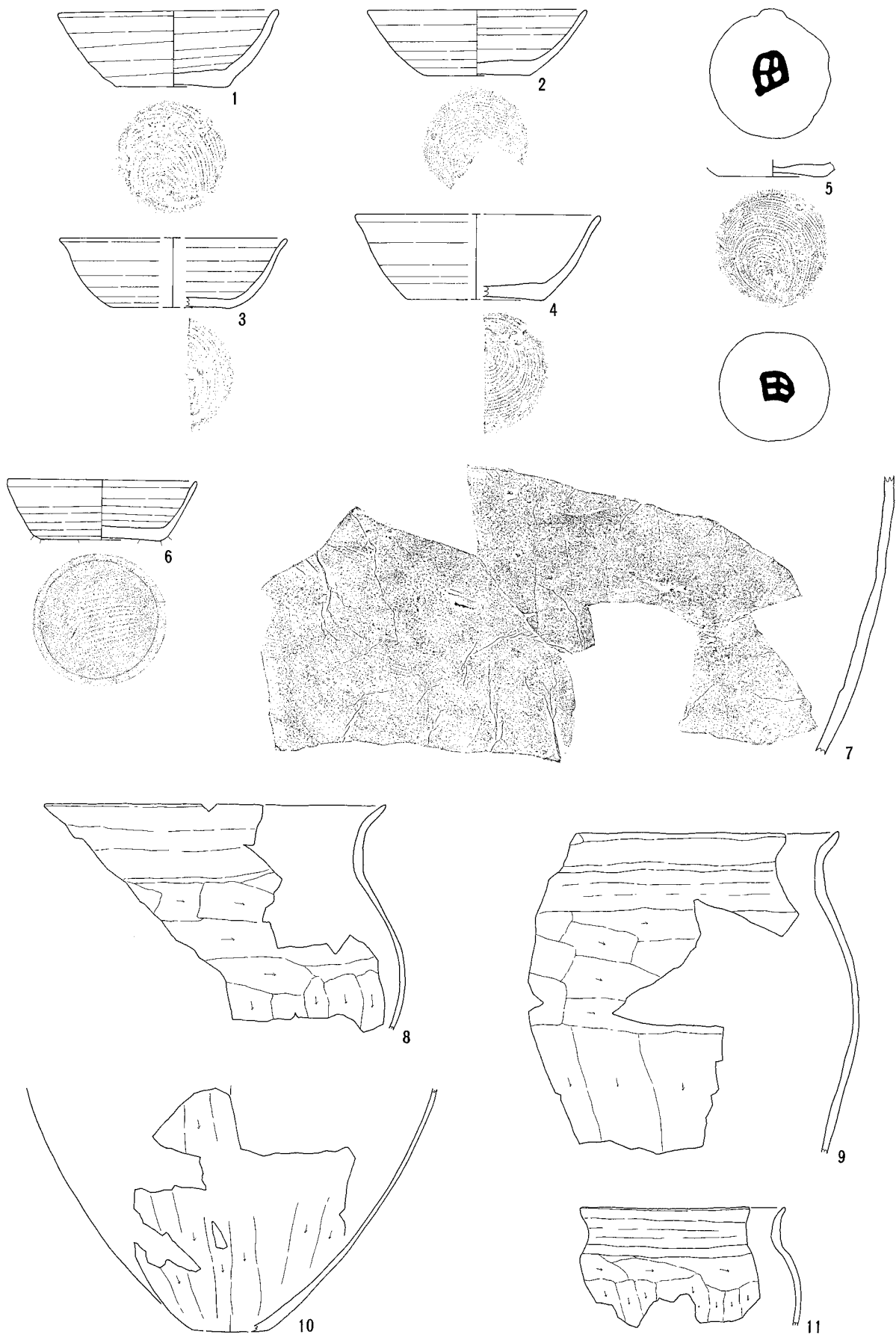


30号住居址東カマド

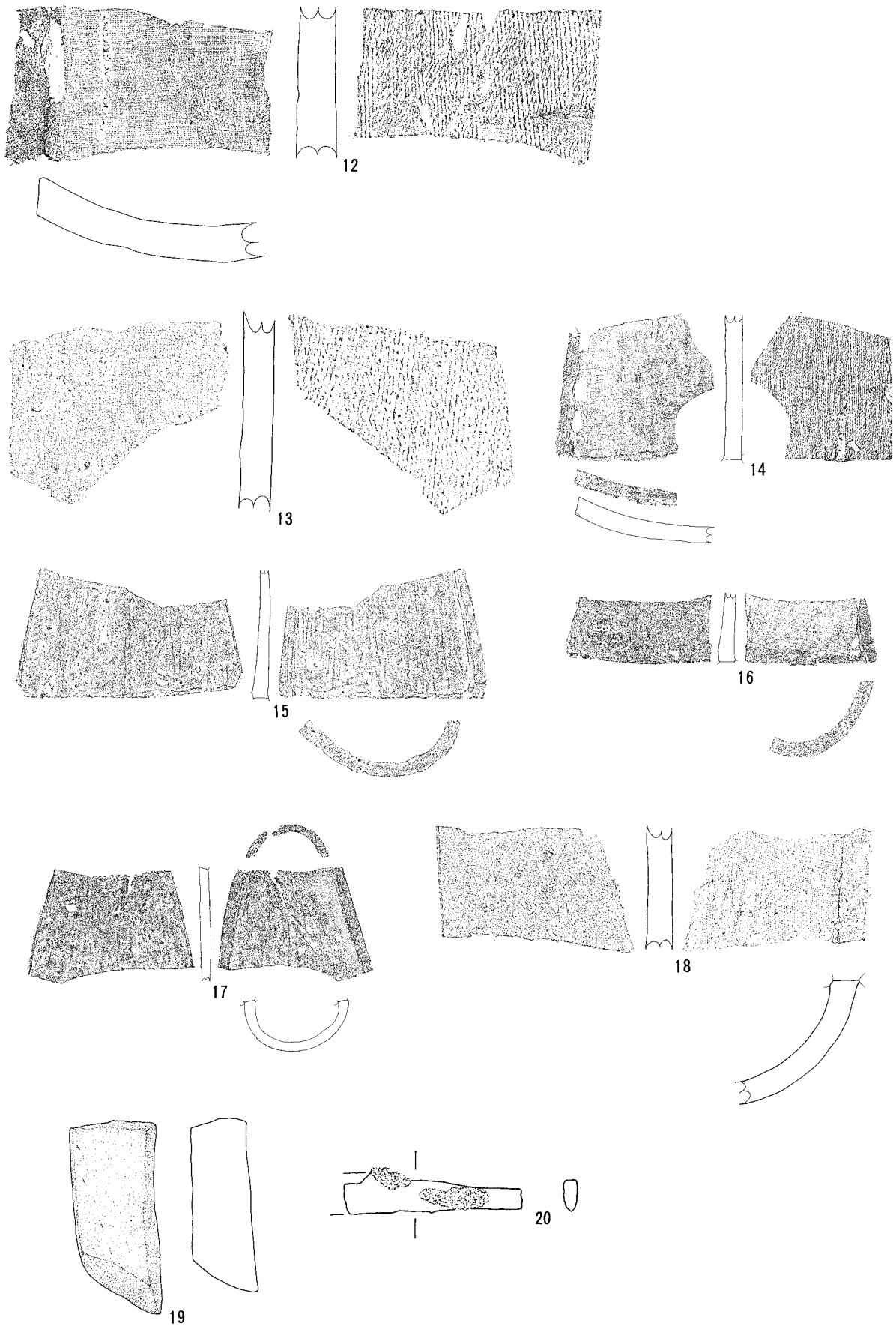
- 1層 暗赤褐色土 焼土粒子を多量に含む。
- 2層 暗赤褐色土 焼土粒子を少量含み、ローム粒子を微量含む。
- 3層 暗褐色土 ローム粒子を少量含み、焼土粒子を微量含む。
- 4層 暗褐色土 ローム粒子を多量に含み、焼土粒子を微量含む。
- 5層 暗黒褐色土 ローム粒子を微量含む。

第104図 30号住居址北カマド 東カマド (1/30)

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
4		坏	(12.9)	(7.0)	(7.4)	4.5	半還元焰焼成	北カマドからの出土。底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。残存率45%。



第105图 30号住居址出土遺物 (1) (1/3)



第106図 30号住居址出土遺物 (2) (1/3) 但し、12は (1/4) 14~18は (1/8) 20は (2/3)

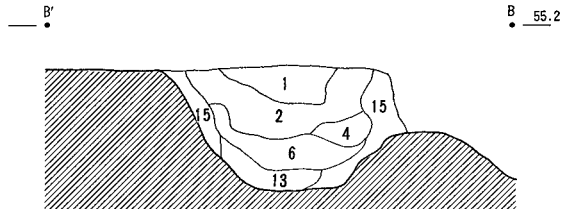
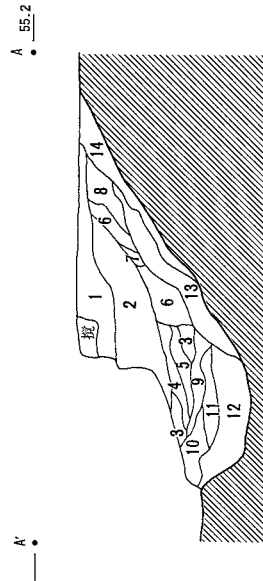
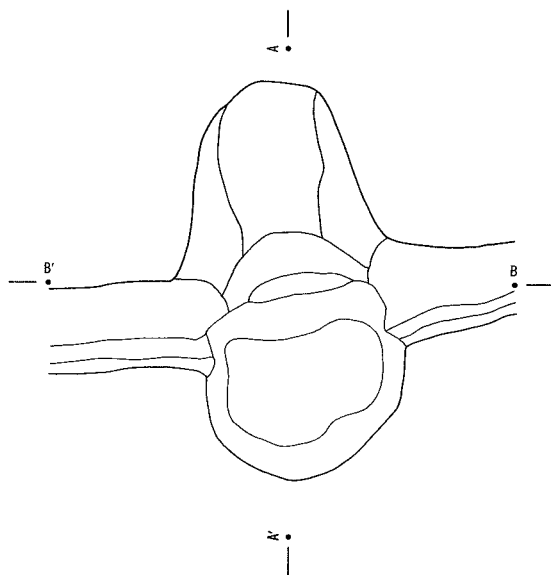
第74表 30号住居址出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 < >は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
5	40-5	坏	-	5.9	-	-	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面に「田」の墨書。
6	40-6	坏	10.0	6.3	6.8	3.2	還元焰焼成	底部は回転糸切り後外周部回転篋削り。器内外面にロクロ水挽き整形。器内面に僅かな煤が付着する。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。残存率90%。
7	40-7	甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器外面は斜め方向の平行叩きの後にナデ整形を行っている。器内面には当て具痕が残る。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。
8		甕	-	-	-	-	土師器	口縁部は崩れたコの字を呈する。口縁部の器内外面には横ナデ。胴部外面には横、縦方向の篋削り。
9		甕	-	-	-	-	土師器	北カマドから出土。口縁部は崩れたコの字を呈する。口縁部の器内外面には横ナデ。胴部外面には横、縦方向の篋削り。
10		甕	-	-	-	-	土師器	北カマドから出土。胴部外面に縦方向の篋削り。
11		台付甕	-	-	-	-	土師器	床面付近から出土。口縁部は崩れたコの字を呈する。口縁部の内外面に横ナデ。胴部外面に横、縦方向の篋削り。
12	40-12	平瓦	-	-	-	-	還元焰焼成	床面付近から出土。凹面に布目痕、凸面に縄叩き。側面及び凹面側部に篋削り。
13		平瓦	-	-	-	-	還元焰焼成	北カマドから出土。凹面に布目痕、凸面に縄叩き。
14	40-14	平瓦	-	-	-	-	還元焰焼成	凹面に布目痕、凸面に縄叩き。側面及び端面、凹面端部に篋削り。
15	40-15	丸瓦	-	-	-	-	還元焰焼成	北カマドから出土。凹面の布目を擦り消している。凸面は篋整形。側面及び端面、凹凸面の側部と端部に篋削り。
16	40-16	丸瓦	-	-	-	-	還元焰焼成	凹面に布目痕が残り、凸面に篋整形。側面及び端面、凹凸面の側部と端部に篋削り。
17	40-17	丸瓦	-	-	-	-	還元焰焼成	凹面の布目痕を擦り消す。凸面は篋整形。側面及び端面、凹凸面の側部と端部に篋削り。
18		丸瓦	-	-	-	-	還元焰焼成	凹面に布目痕が残る。凸面は篋整形。側面及び凹面の側部に篋削り。

挿図番号	図版番号	種類	重さ(g)	観察・特徴
19		砥石	<266>	両側面に擦り痕が残る。石質は砂岩。残存長10cm。

挿図番号	図版番号	種類	長さ	幅	厚み	観察・特徴
20		刀子	<4.7>	1.2	0.4	貼床下出土。茎を欠損する。刃部は平造りである。



31号住居址カマド

- 1層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子を微量含む。
- 2層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子、粘土粒子を微量含む。
- 3層 赤褐色土 焼土粒子を多量に含む。
- 4層 暗褐色土 ローム粒子を多量に含む、焼土粒子、粘土粒子を微量含む。

- 5層 明茶褐色土 粘土粒子を多量に含む。
- 6層 暗赤褐色土 焼土粒子を少量含む、炭化物粒子を微量含む。
- 7層 暗褐色土 ローム粒子を少量含む、焼土粒子を微量含む。
- 8層 暗茶褐色土 焼土粒子、粘土粒子を少量含む、ローム粒子を微量含む。
- 9層 暗褐色土 炭化物粒子を多量に含む、粘土粒子を少量含む、焼土粒子を微量含む。
- 10層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子を少量含む。
- 11層 暗褐色土 ローム粒子、ロームブロックを少量含む、焼土粒子を微量含む。
- 12層 暗黄褐色土 ローム粒子、炭化物粒子を多量に含む。
- 13層 暗褐色土 ローム粒子を少量含む、焼土粒子を微量含む。
- 14層 暗褐色土 ローム粒子、ロームブロックを少量含む。
- 15層 暗褐色土 焼土粒子、粘土粒子を微量含む。

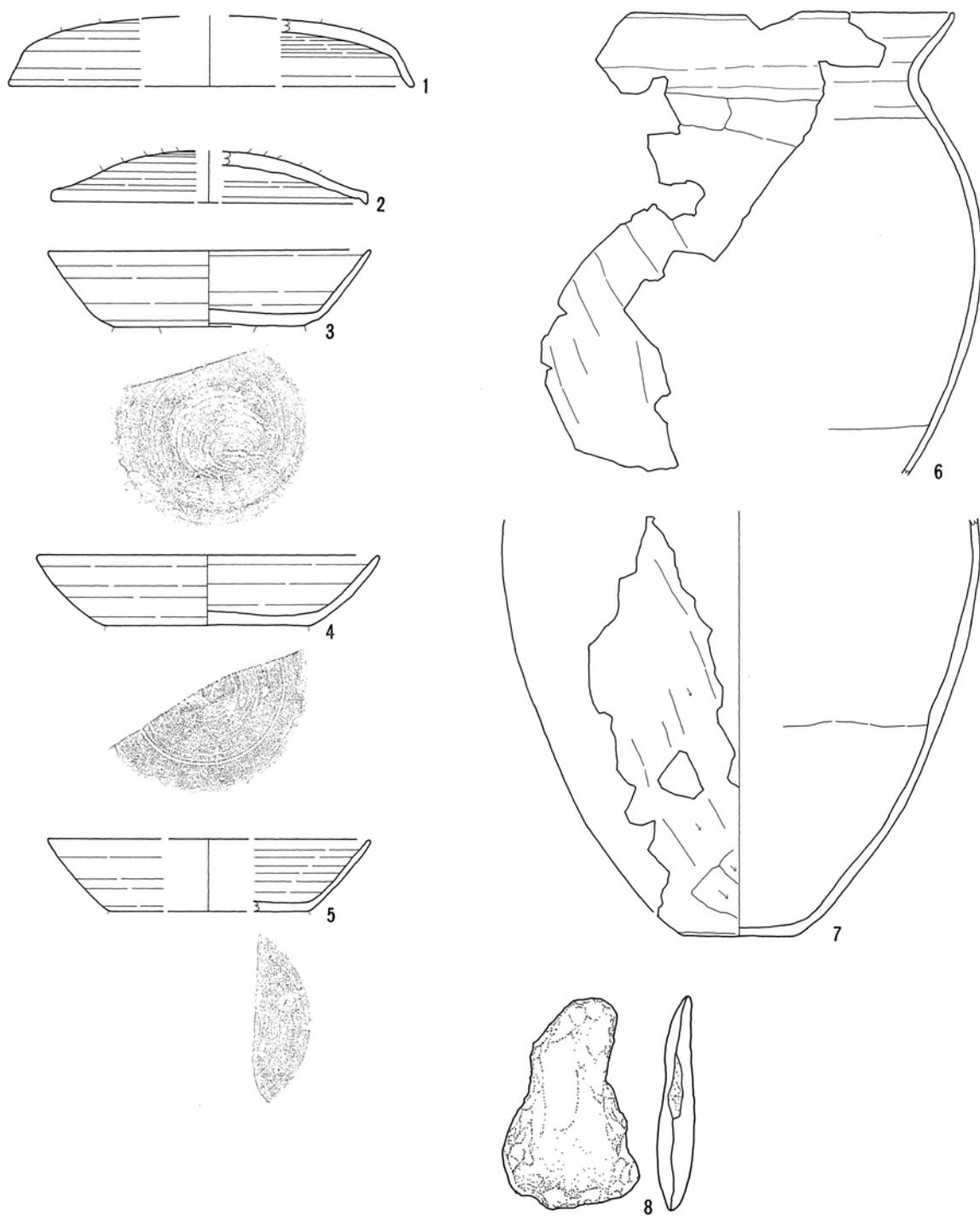
第108図 31号住居址カマド (1/30)

31号住居址

本住居址は4～6号掘立柱建物跡、17号溝と重複している。新旧関係は本住居址が最も古く、6号掘立柱建物跡、4号掘立柱建物跡、5号掘立柱建物跡の順となる。

住居址の規模は東西6.9m、南北6.2mをはかり、主軸方位はN-4°-Eである。平面プランは僅かに東西に長い方形を呈する。カマドは北壁に構築している。床面は、中央部が硬化している。貼床下は概ね平坦である。

壁は緩やかな傾斜を持って立ち上がり、壁高は30～46cmをはかる。壁に沿って幅7～17cm、深さ4～10cmの周溝がカマドを除き一巡している。柱穴は6本確認し、P1～P4は径75～80cm、深さ42～80cmをはかり、各コーナーに対応するように位置している。P5は径55cm、深さ32cm、P6は径28cm、深さ30cmをはかる。小片ではあるが、常陸産須恵器の蓋が出土している。



第109図 31号住居址出土遺物 (1/3)

カマド

カマドは北壁の中央より東寄りに位置する。規模は幅83cm、奥行156cmで、平面プランは幅広の角のあるU字状を呈する。壁外へは70cm掘り込んでいる。火床部は幅67cm、奥行42cmの楕円形を呈し、床面から18cm掘り下げている。

第75表 31号住居址出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 < >は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
1	41-1	蓋	(18.8)	-	-	-	還元焰焼成	床面付近から出土。器内外面にロクロ水挽き整形後、天井部に回転篋削り。胎土に雲母を含む。常陸窯跡産。残存率20%。
2	41-2	蓋	(14.6)	-	-	-	還元焰焼成	貼床下出土。器内外面にロクロ水挽き整形後、天井部外面に回転篋削り。胎土に雲母を含む。常陸窯跡産。残存率40%。
3		坏	(14.9)	8.8	9.6	3.5	還元焰焼成	貼床下出土。底部は回転糸切り後全面回転篋削り。器内外面にロクロ水挽き整形。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。焼成後に底部外面に「×」の篋記号を記している。残存率40%。
4	41-4	坏	(15.8)	(9.4)	(10.4)	3.5	還元焰焼成	床面直上出土。底部は回転糸切り後全面回転篋削り。器内外面にロクロ水挽き整形。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。残存率45%。
5		坏	(14.9)	(9.2)	(9.6)	3.3	還元焰焼成	貼床下出土。底部は回転糸切り後全面回転篋削り。器内外面にロクロ水挽き整形。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。残存率10%。
6		甕	-	-	-	-	土師器	口縁部はくの字を呈する。口縁部の器内外面には横ナデ。胴部外面には縦方向の篋削り。
7		甕	-	-	-	-	土師器	貼床下出土。胴部外面に斜め方向の篋削り。

挿図番号	図版番号	種類	重さ(g)	観察・特徴
8		打製石斧	112	側面に調整剥離を施し、両側部に抉りを有する。長さ10cm、幅6.2cm、厚み1.6cm。石質は片岩。

32号住居址

本住居址は掘り込みが浅かったため、住居址の大部分は損失している。カマドが僅かに残っていた。周辺の精査を行った結果、カマドは北壁に築いていることが分かった。

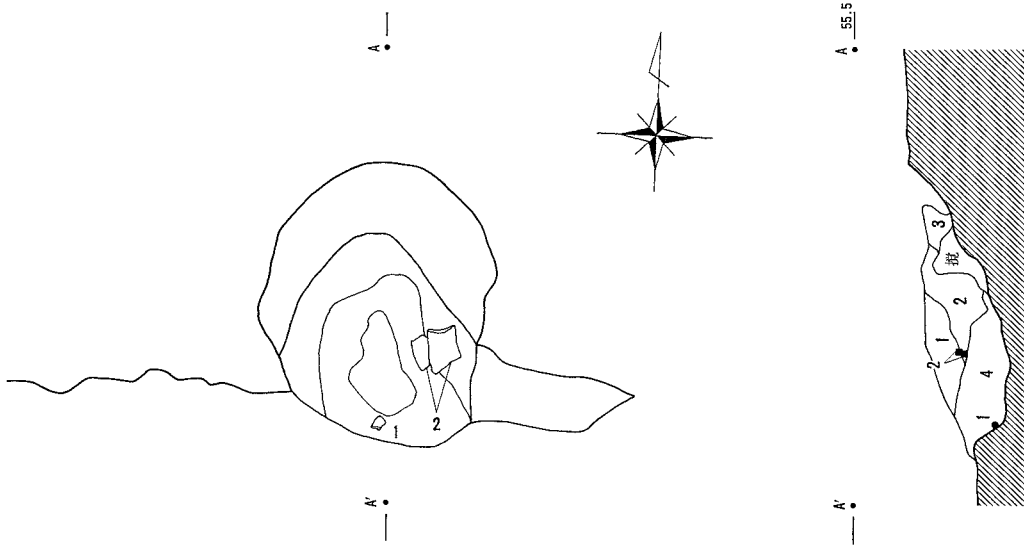
カマド

カマドは北壁に位置する。規模は幅75cm、奥行110cmで、平面プランはU字状を呈する。壁外へは95cm掘り込んでいる。火床部は幅21cm、奥行42cmの楕円形を呈し、掘り込みは14cmをはかる。

第76表 32号住居址出土遺物観察表

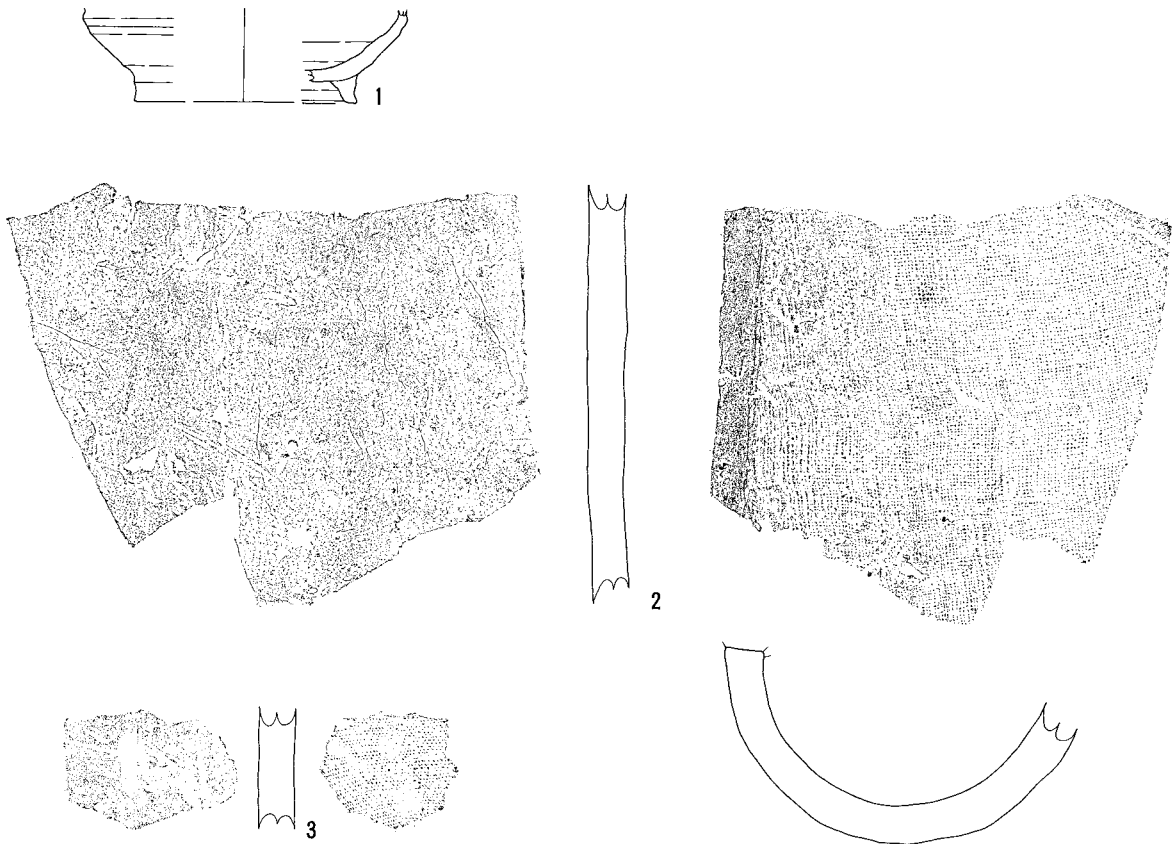
単位はcm ()は推定値 < >は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
1		壺	-	(8.7)	-	-	還元焰焼成	カマドから出土。器内外面にロクロ水挽き整形。底部には高台を貼り付けている。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。
2	41-2	丸瓦	-	-	-	-	還元焰焼成	カマドから出土。凹面には布目を施し、凸面には縄叩き。側面及び凹面側部に篋削り。
3		平瓦	-	-	-	-	半還元焰焼成	凹面には布目を施し、凸面には縄叩き。



32号住居址カマド

- 1層 赤褐色土 焼土粒子を多量に含む。
- 2層 暗茶褐色土 焼土粒子を少量含み、ローム粒子を微量含む。
- 3層 暗褐色土 ローム粒子を少量含み、焼土粒子を微量含む。
- 4層 暗褐色土 ローム粒子を少量含み、焼土小ブロックを微量含む。



第110図 32号住居址カマド (1/30) 出土遺物 (1/3)

33号住居址

規模は東西4.9m、南北3.8mをはかり、主軸方位はE-7.5°-Sである。平面プランは東西に長い方形を呈する。カマドは当初北壁にカマド3を構築したが、次に東壁の北寄りにカマド2を構築している。最後に築いたカマド1は、東壁のやや南寄りの位置に持ってきた。床面の状況は、四隅を除く範囲が硬化している。

壁は傾斜を持って立ち上がり、壁高は13~20cmをはかる。壁に沿って幅8~19cm、深さ10~12cmの周溝が東壁を除き一巡している。

貼床下からは拡張以前の周溝とカマドを検出し、住居を2回建て替えた事を確認した。最初の住居規模は東西3.15m、南北3.7mの南北に長い方形を呈し、カマド5を東壁のほぼ中央に備えていた。次に東側に大きく拡張を行い、東西4.2m、南北3.65mの東西に長い方形に平面プランが変更された。カマド4は東壁の南寄りに移された。住居址の西側で長軸1.3m、短軸1mの土壇1基、長軸0.95m、短軸0.75mの土壇1基、径65cmの土壇1基が確認された。中央部でも径65cm、径80cm、径70cmの土壇を各1基検出した。

18、19の須恵器甕は、6m離れた38号住居址から出土した須恵器甕と接合している。

カマド1

カマドは東壁の中央よりやや南寄りに位置する。規模は幅63cm、奥行123cmで、平面プランは幅広の角のあるU字状を呈する。壁外へは65cm掘り込んでいる。火床部は幅20cm、奥行25cmの楕円形を呈し、床面から18cm掘り下げている。

カマド2

カマドは東壁の北寄りに位置する。規模は幅57cm、奥行58cmで、平面プランは幅広のU字状を呈する。壁外へは32cm掘り込んでいる。火床部は幅43cm、奥行32cmの円形を呈し、床面から14cm掘り下げている。

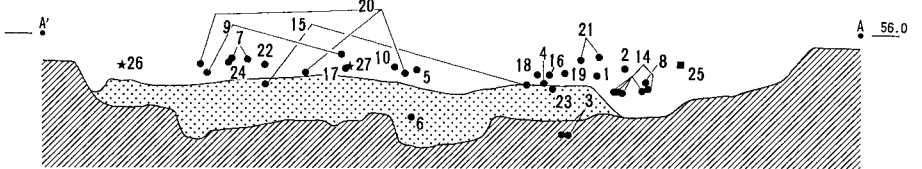
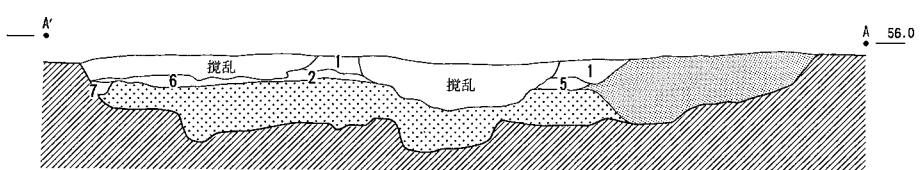
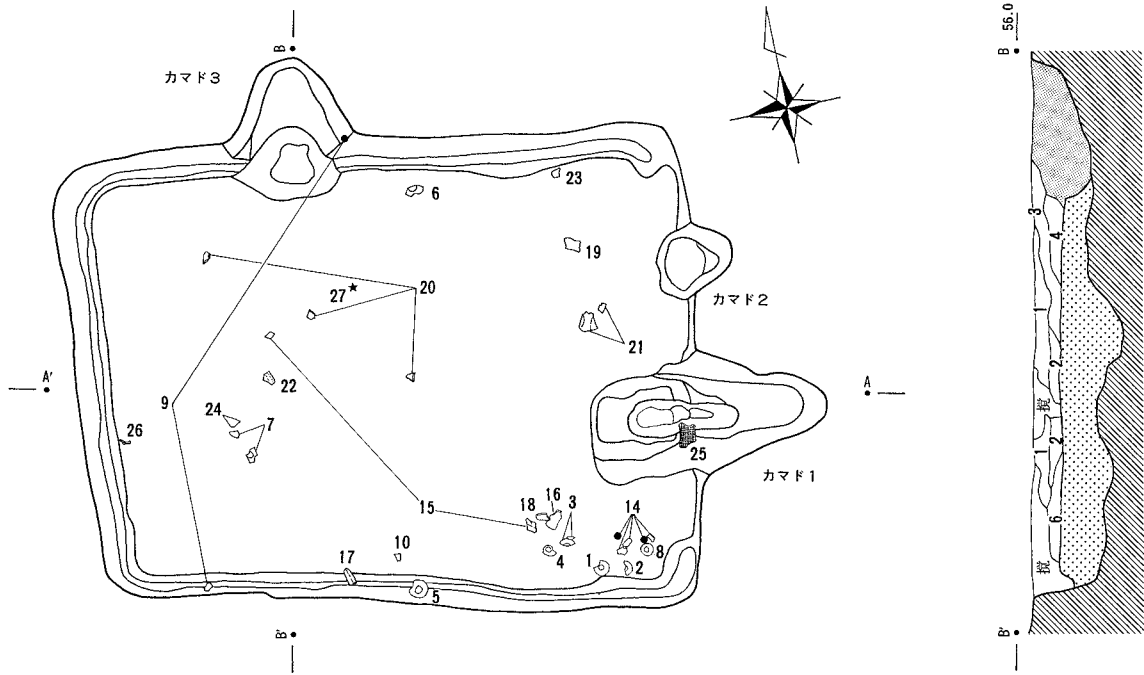
カマド3

カマドは北壁の西寄りに位置する。規模は幅103cm、奥行112cmで、平面プランは幅広のU字状を呈する。壁外へは63cm掘り込んでいる。火床部は幅33cm、奥行30cmの不整形を呈し、床面から22cm掘り下げている。

第77表 33号住居址出土遺物観察表

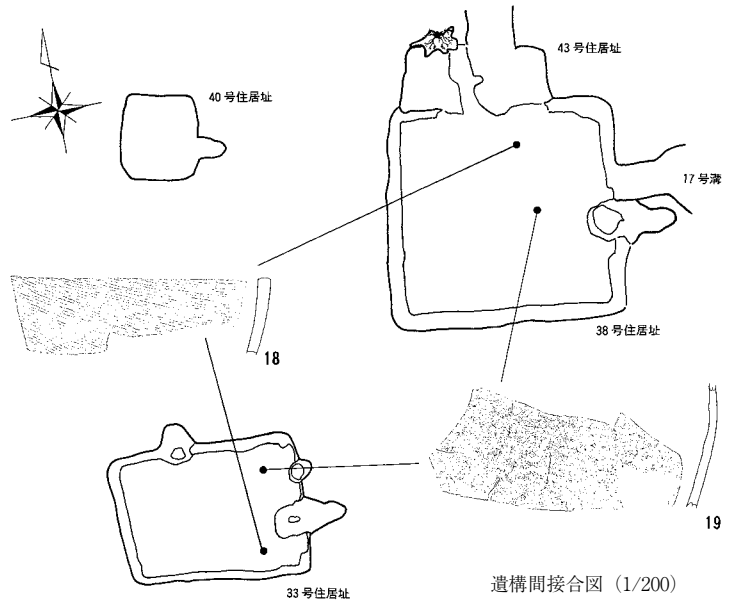
単位はcm ()は推定値 < >は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
1	41-1	坏	11.6	6.0	5.5	4.0	還元焰焼成	床面直上出土。底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。残存率90%。
2		坏	(13.1)	6.9	6.0	3.4	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。残存率50%。
3	41-3	坏	12.1	5.9	5.0	3.3	還元焰焼成	貼床下出土。底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は外反する。残存率90%。
4		坏	(12.4)	5.5	5.4	3.8	還元焰焼成	床面直上出土。底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。残存率50%。
5	41-5	坏	12.5	4.9	4.6	3.8	酸化焰焼成	床面直上出土。底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。残存率95%。

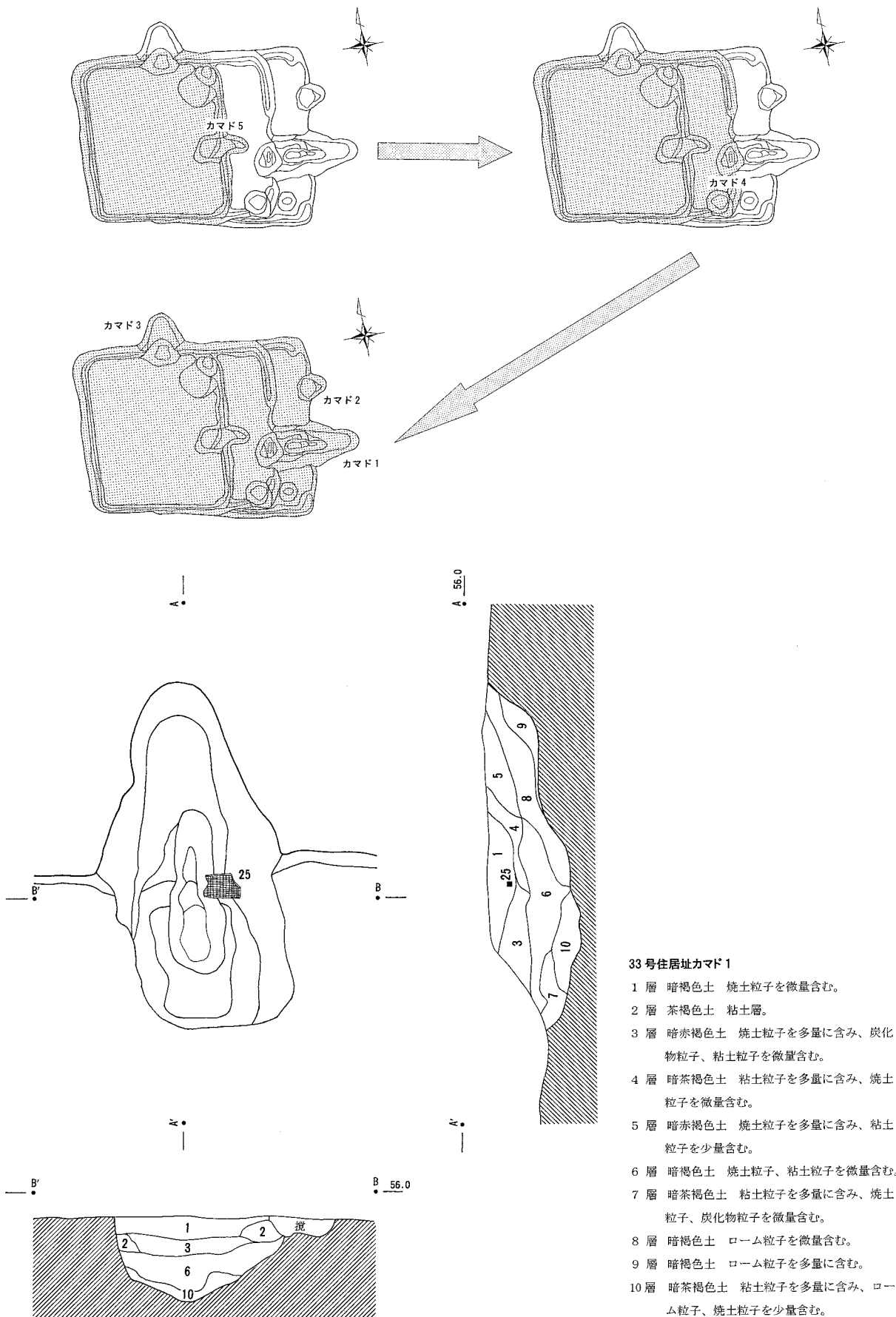


33号住居址

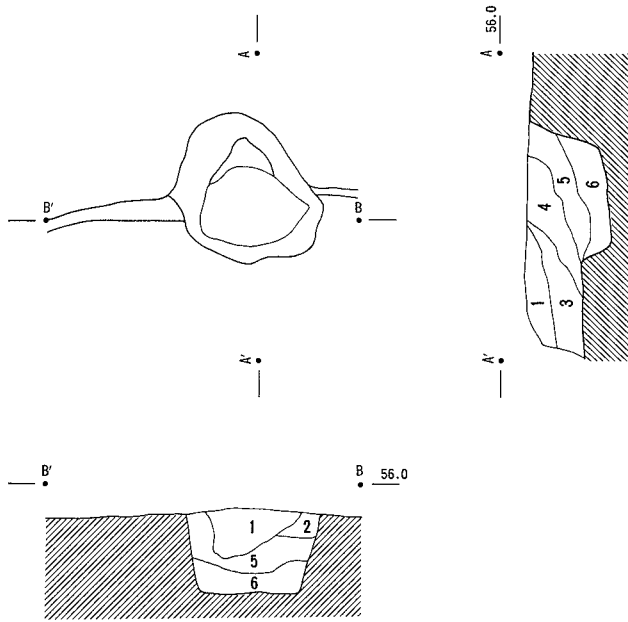
- 1層 暗黒褐色土 焼土粒子を極微量含む。
- 2層 暗褐色土 ローム粒子を微量含み、焼土粒子を極微量含む。
- 3層 暗茶褐色土 粘土粒子を少量含み、焼土粒子を微量含む。
- 4層 暗褐色土 粘土粒子を少量含み、焼土粒子を極微量含む。
- 5層 暗茶褐色土 焼土粒子、粘土粒子を少量含む。
- 6層 暗褐色土 ローム粒子を微量含む。
- 7層 暗黒褐色土 ローム粒子を少量含み、焼土粒子を微量含む。



第111図 33号住居址 (1/60)

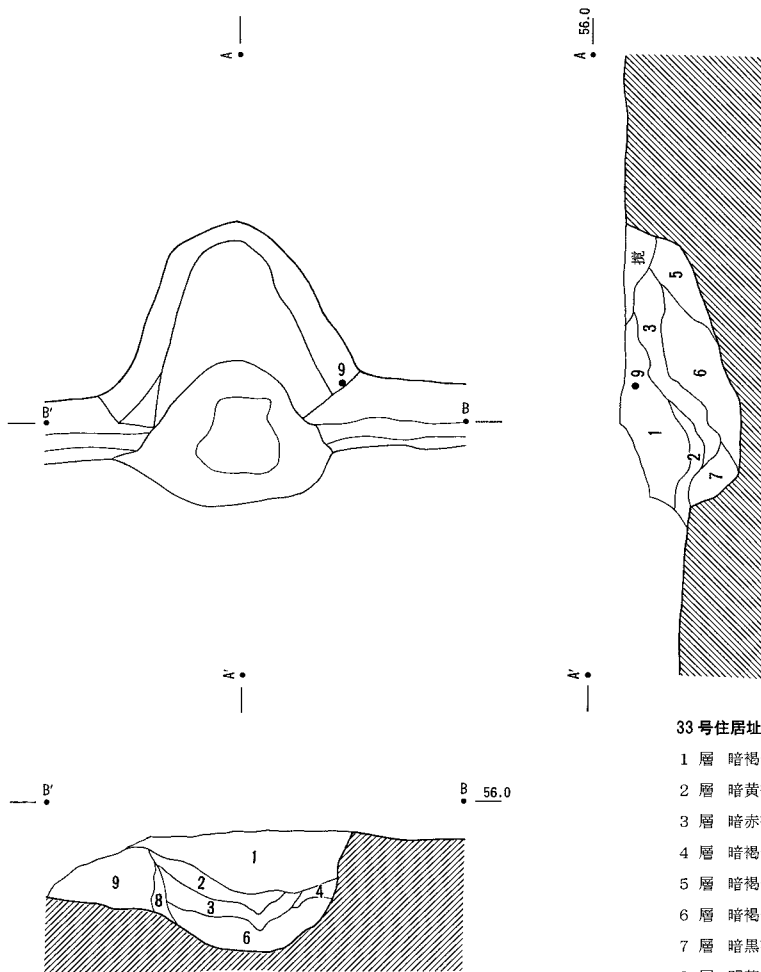


第112図 33号住居址変遷図 (1/120) カマド1 (1/30)



33号住居址カマド2

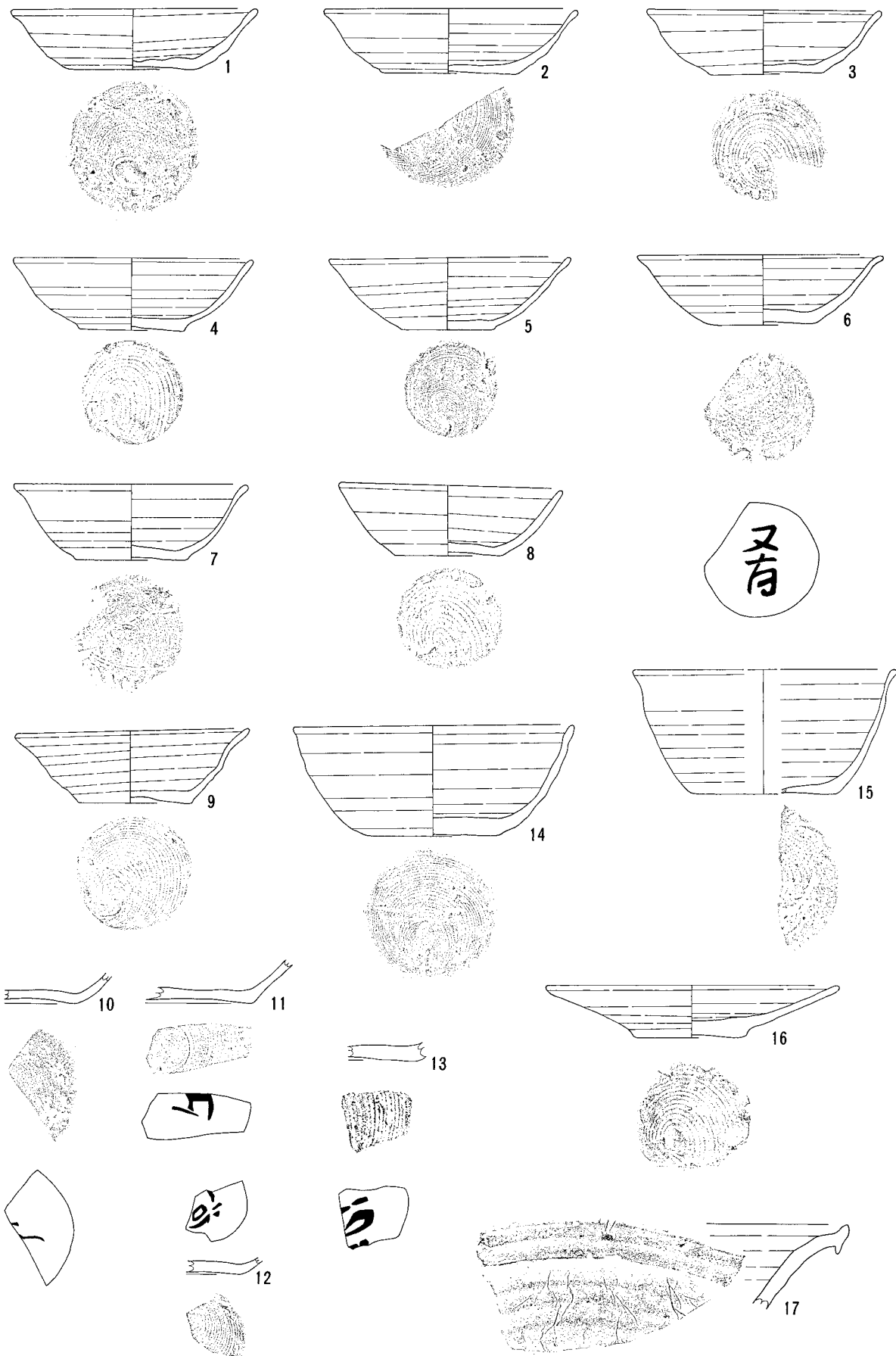
- 1層 暗茶褐色土 粘土粒子を少量含み、焼土粒子を微量含む。
- 2層 暗褐色土 ローム粒子を微量含み、焼土粒子を極微量含む。
- 3層 暗黒褐色土 ローム粒子、焼土粒子、粘土粒子を微量含む。
- 4層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子を微量含む。
- 5層 暗褐色土 ローム粒子を少量含む。
- 6層 暗褐色土 ローム粒子を微量含む。



33号住居址カマド3

- 1層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子を微量含む。
- 2層 暗黄褐色土 粘土粒子を多量に含み、ローム粒子を少量含む。
- 3層 暗赤褐色土 焼土粒子を多量に含み、炭化物粒子を微量含む。
- 4層 暗褐色土 粘土粒子を少量含み、焼土粒子を微量含む。
- 5層 暗褐色土 ローム粒子を少量含み、焼土粒子を極微量含む。
- 6層 暗褐色土 ローム粒子を微量含む。
- 7層 暗黒茶褐色土 ローム粒子、焼土粒子を微量含む。
- 8層 明茶褐色土 粘土粒子を多量に含み、焼土粒子を微量含む。
- 9層 明茶褐色土 粘土粒子を多量に含む。

第113図 33号住居址カマド2 (1/30) カマド3 (1/30)

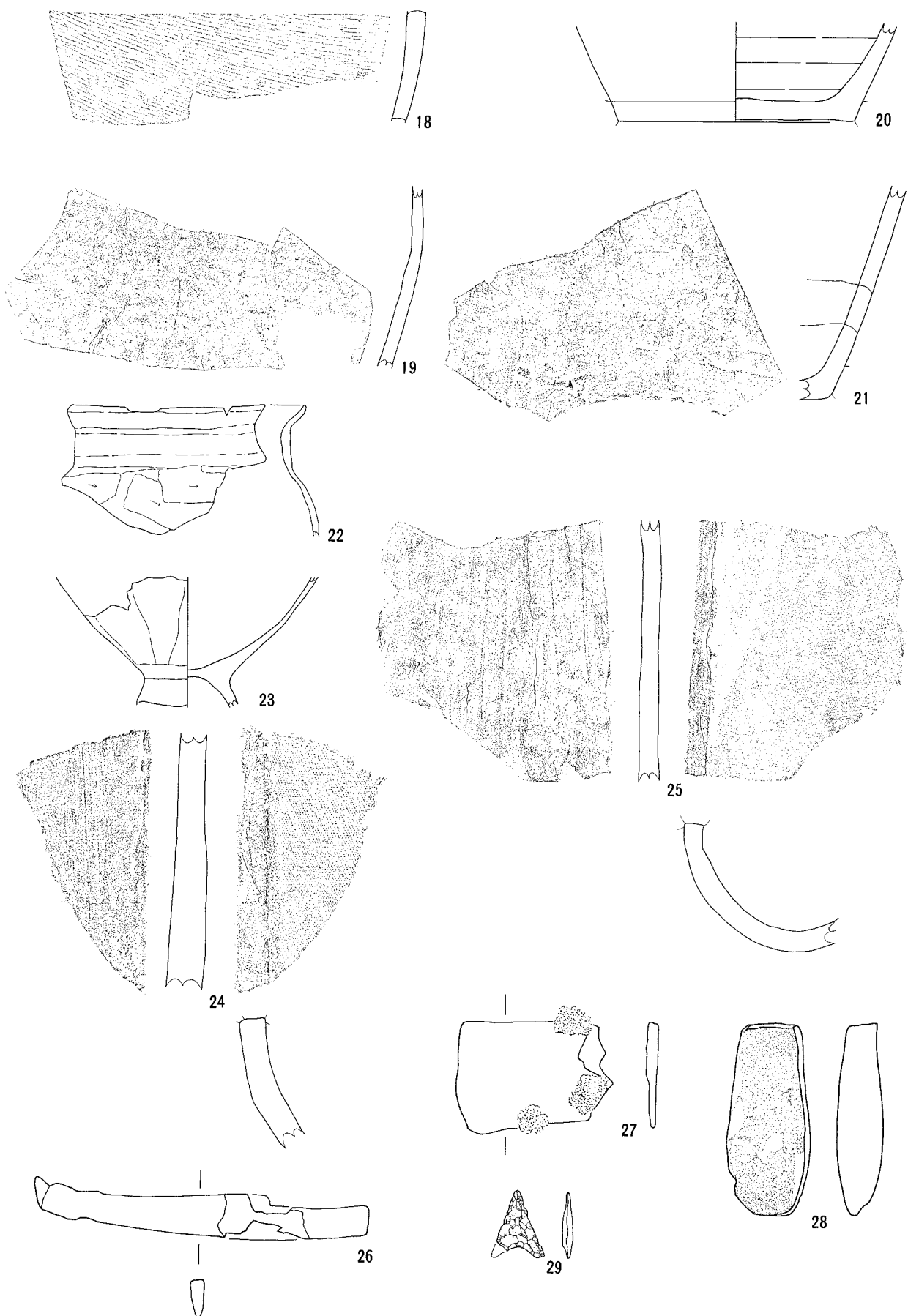


第114図 33号住居址出土遺物 (1) (1/3) 但し、13は (2/3)

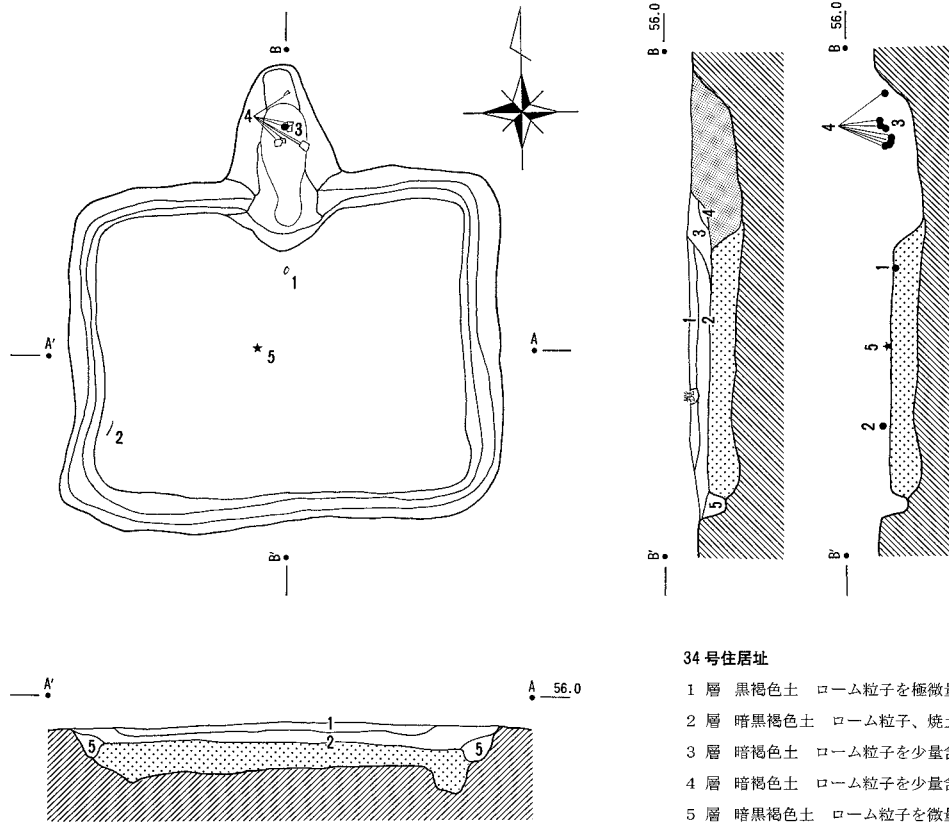
第78表 33号住居址出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 ()は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
6	41-6	坏	(12.8)	5.8	5.2	3.7	還元焰焼成	貼床下出土。底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は外反する。底部外面に「有」の墨書。残存率55%。
7		坏	(12.2)	5.7	4.8	3.9	半還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は外反する。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。残存率40%。
8	41-8	坏	11.7	5.6	5.1	3.7	還元焰焼成	床面直上出土。底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。完形。
9		坏	12.1	5.9	6.0	3.8	半還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は外反する。残存率45%。
10		坏	-	-	-	-	半還元焰焼成	底部は回転糸切り。底部外面に墨書が確認できるが、判読できない。
11		坏	-	-	-	-	還元焰焼成	底部は回転糸切り。底部外面の墨書は、判読はできない。
12		坏	-	-	-	-	酸化焰焼成	底部は回転糸切り。底部内面に墨書が確認できるが、判読できない。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。
13		坏	-	-	-	-	還元焰焼成	底部は回転糸切り。底部外面に2文字の墨書が見れるが、判読はできない。
14	41-14	埴	(14.6)	6.7	7.0	5.8	半還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は僅かに外反する。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。残存率70%。
15		埴	(13.8)	(7.4)	-	6.5	半還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は外反する。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。残存率20%。
16		皿	15.8	5.8	-	2.7	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。残存率60%。
17		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器内外面にロクロ水挽き整形。器内外面に自然釉。
18		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	床面付近から出土。器外面に横、斜め方向の平行叩き。器内面には当て具痕が残る。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。38号住居出土遺物と接合する。
19		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	床面付近から出土。器外面は篋ナデ整形。器内面には当て具痕が残る。38号住居出土遺物と接合する。
20		甕	-	(12.7)	-	-	還元焰焼成	器外面に篋ナデ整形を施し、胴部下端に篋削り。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。
21	41-21	甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器外面に篋ナデ整形を施し、胴部下端には篋削り。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。



第115図 33号住居址出土遺物 (2) (1/3) 但し、25は (1/4) 26、27、29は (2/3)



34号住居址

- 1層 黒褐色土 ローム粒子を極微量含む。
- 2層 暗黒褐色土 ローム粒子、焼土粒子を微量含む。
- 3層 暗褐色土 ローム粒子を少量含む、焼土粒子を微量含む。
- 4層 暗褐色土 ローム粒子を少量含む。
- 5層 暗黒褐色土 ローム粒子を微量含む。

第116図 34号住居址 (1/60)

第79表 33号住居址出土遺物観察表

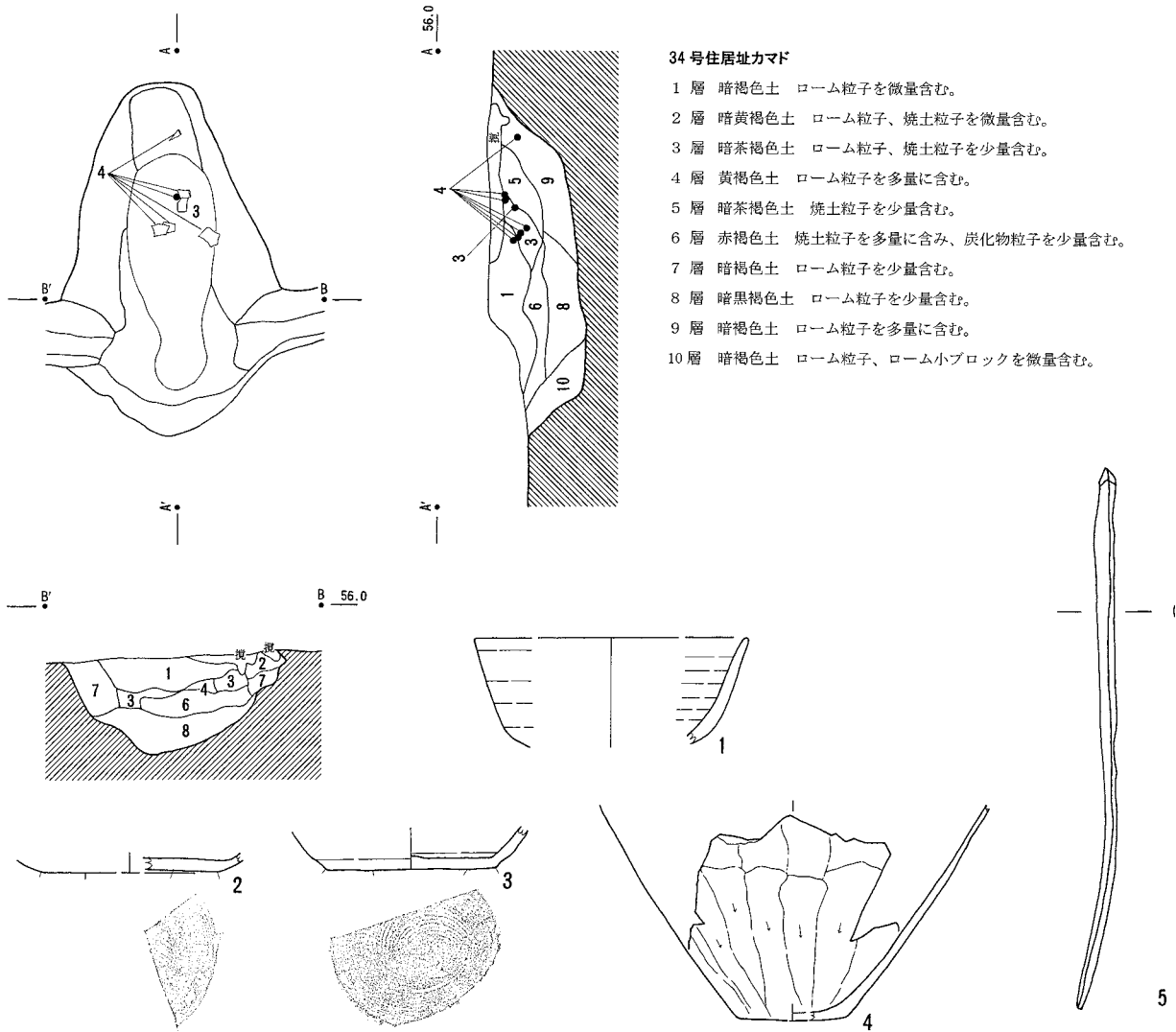
単位はcm ()は推定値 < >は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
22		台付甕	-	-	-	-	土師器	口縁部はコの字を呈する。口縁部の内外面に横ナデ。胴部外面に横方向の篋削り。
23		台付甕	-	-	-	-	土師器	床面直上から出土。胴部外面に縦方向の篋削り。
24		丸瓦	-	-	-	-	酸化焰焼成	凹面には布目を施し、凸面には篋整形。側面及び凹面側部に篋削り。
25		丸瓦	-	-	-	-	酸化焰焼成	カマド1から出土。凹面には布目を施し、凸面には篋整形。側面及び凹面側部に篋削り。

挿図番号	図版番号	種類	長さ	幅	厚み	観察・特徴
26	41-26	刀子	<9.0>	1.0	0.4	切先が大きく曲がり、茎の一部を欠損。刃部は平造り。
27		鎌	<4.2>	3.0	0.3	中央部の破片。

挿図番号	図版番号	種類	重さ(g)	観察・特徴
28		砥石	<50>	両面、両側面に擦り痕が残る。石質は凝灰岩である。残存長6.9cm。

挿図番号	図版番号	種類	長さ	幅	重さ(g)	石質	観察・特徴
29		石鏃	1.8	<1.3>	<3.5>	チャート	左脚の一部が欠損。基部に挟り。



34号住居址カマド

- 1層 暗褐色土 ローム粒子を微量含む。
- 2層 暗黄褐色土 ローム粒子、焼土粒子を微量含む。
- 3層 暗茶褐色土 ローム粒子、焼土粒子を少量含む。
- 4層 黄褐色土 ローム粒子を多量に含む。
- 5層 暗茶褐色土 焼土粒子を少量含む。
- 6層 赤褐色土 焼土粒子を多量に含み、炭化物粒子を少量含む。
- 7層 暗褐色土 ローム粒子を少量含む。
- 8層 暗黒褐色土 ローム粒子を少量含む。
- 9層 暗褐色土 ローム粒子を多量に含む。
- 10層 暗褐色土 ローム粒子、ローム小ブロックを微量含む。

第117図 34号住居址カマド (1/30) 出土遺物 (1/3) 但し、5は (2/3)

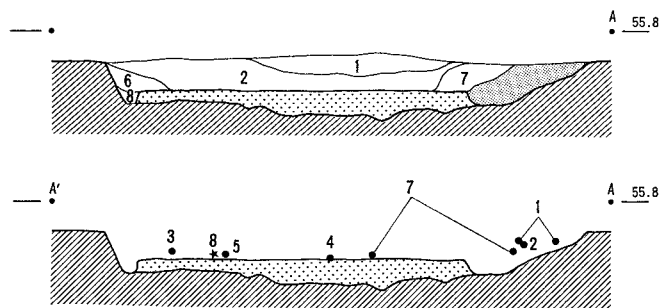
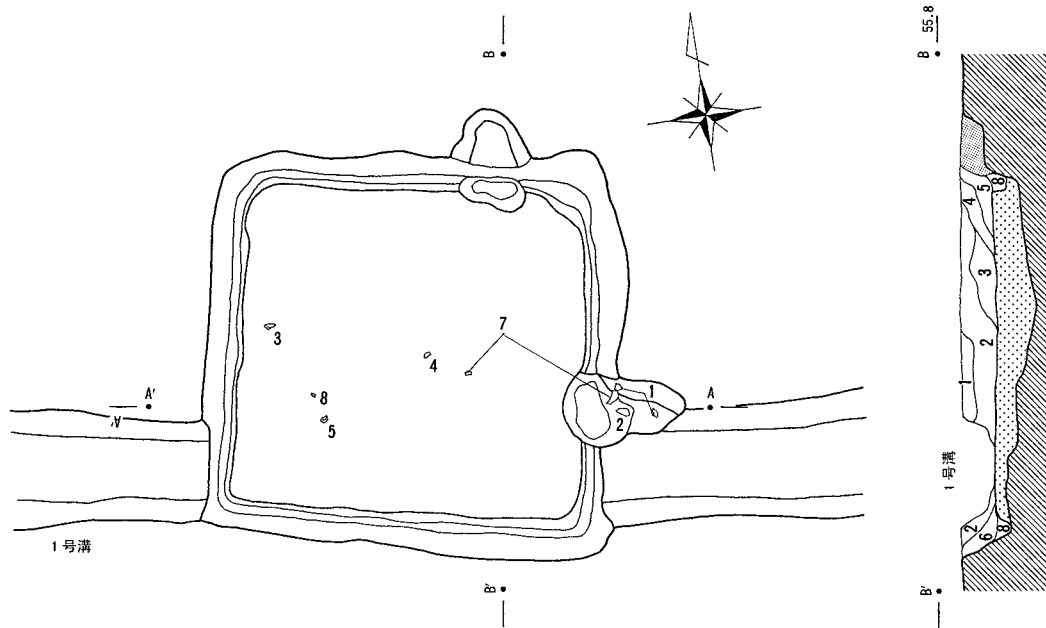
34号住居址

規模は東西3.4m、南北2.8mをはかり、主軸方位はN-1°-Wである。平面プランは僅かに東西に長い方形を呈する。カマドは北壁に構築している。床面の中央からカマド前にかけて硬化している。貼床下は概ね平坦である。

壁は傾斜を持って立ち上がり、壁高は8cm前後をはかる。壁に沿って幅9~25cm、深さ9~12cmの周溝がカマドを除き一巡している。

カマド

カマドは北壁の中央に位置する。規模は幅90cm、奥行146cmで、平面プランはU字状を呈する。壁外へは90cm掘り込んでいる。火床部は幅35cm、奥行97cmの楕円形を呈し、床面から22cm掘り下げている。



35号住居址

- 1層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子を微量含む。
- 2層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子、炭化物粒子を微量含む。
- 3層 暗褐色土 焼土粒子を少量含み、ローム粒子微量含む。
- 4層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子を少量含む。
- 5層 暗褐色土 ローム粒子を少量含み、焼土粒子を微量含む。
- 6層 暗褐色土 ローム粒子を少量含む。
- 7層 赤褐色土 焼土粒子を多量に含む。
- 8層 暗褐色土 ローム粒子を含む。

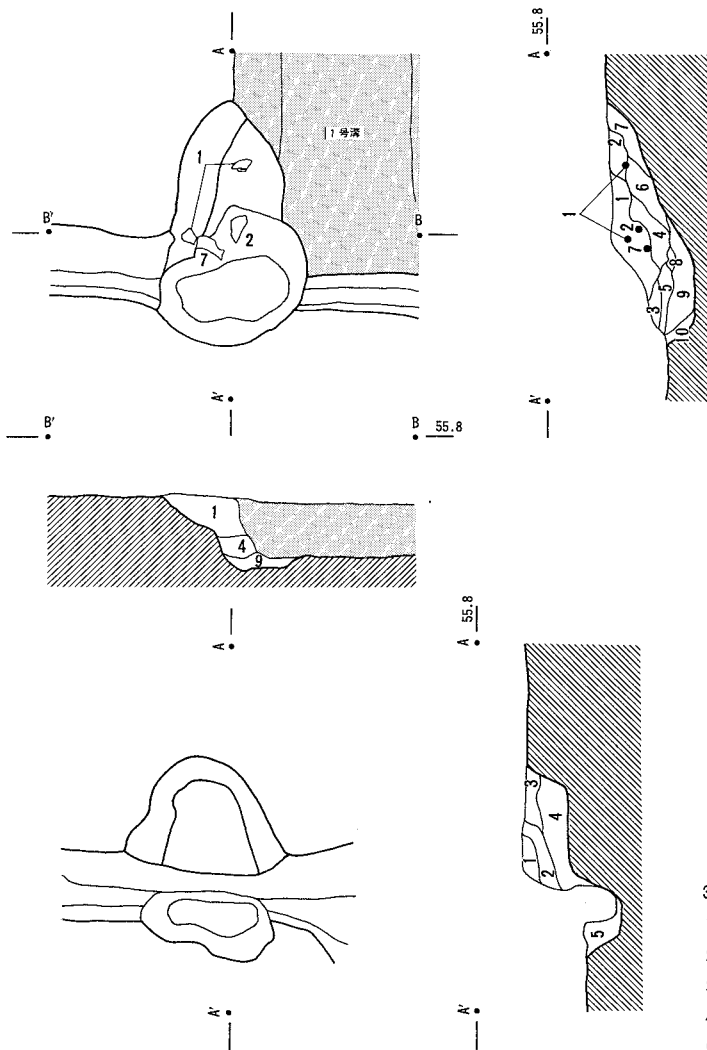
第118図 35号住居址 (1/60)

第80表 34号住居址出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 < >は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
1		坏	(11.2)	-	-	-	還元焰焼成	床面直上出土。器内外面にロクロ水挽き整形。
2		坏	-	(7.2)	-	-	半還元焰焼成	底部は回転糸切り後外周部回転篋削り。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。
3		坏	-	7.0	6.4	-	還元焰焼成	カマドから出土。底部は回転糸切り後外周部回転篋削り。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。
4		甕	-	4.5	-	-	土師器	カマドから出土。胴部外面に縦方向の篋削り。

挿図番号	図版番号	種類	長さ	幅	厚み	観察・特徴
5	41-5	紡錘車	<11.2>	-	-	床面直上出土。紡錘車の紡軸。径は0.3cm。



35号住居址東カマド

- 1層 暗黒褐色土 ローム粒子、焼土粒子を微量含む。
- 2層 赤褐色土 焼土粒子、焼土小ブロックを多量に含む。
- 3層 暗赤褐色土 焼土粒子を少量含む。
- 4層 赤褐色土 焼土粒子を多量に含む。
- 5層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子、炭化物粒子を微量含む。
- 6層 暗褐色土 ローム粒子を少量含む。
- 7層 暗褐色土 ローム粒子を多量に含む。
- 8層 黒褐色土 炭化物粒子を多量に含む。
- 9層 暗褐色土 ローム粒子、ローム小ブロックを少量含む。
- 10層 暗褐色土 ローム粒子を含む。

35号住居址北カマド

- 1層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子を微量含む。
- 2層 暗赤褐色土 焼土粒子を少量含む。
- 3層 暗褐色土 焼土粒子を微量含む。
- 4層 暗黒褐色土 ローム粒子を微量含む。
- 5層 暗黄褐色土 ローム粒子、ローム小ブロックを少量含む。

第119図 35号住居址東カマド (1/30) 北カマド (1/30)

35号住居址

本住居址は1号溝と重複している。新旧関係は本住居址が古く、溝が新しい。住居址の規模は東西3.3m、南北3.17mをはかり、主軸方位はE-10°-Sである。平面プランは方形を呈する。

カマドは北壁に構築した後に、東壁に移築している。床面の中央が硬化している。貼床下は、概ね平坦である。

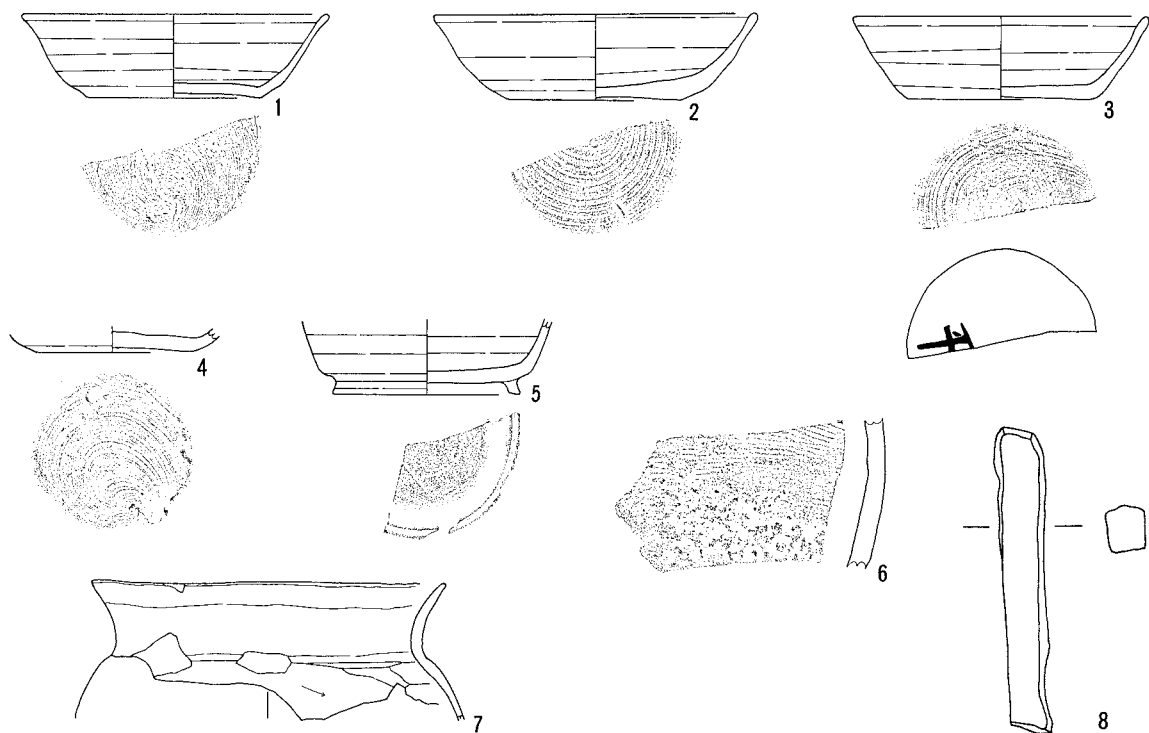
壁は傾斜を持って立ち上がり、壁高は25cm前後をはかる。壁に沿って幅8~24cm、深さ10cm前後の周溝がカマドを除き一巡している。

東カマド

カマドは東壁の南寄りに位置する。カマドの南側は1号溝と重複し、詳細は不明である。規模は奥行97cmで、平面プランは不明である。壁外へは52cm掘り込んでいる。火床部は幅45cm、奥行25cmの楕円形を呈し、床面から13cm掘り下げている。

北カマド

カマドは北壁の東寄りに位置する。規模は幅63cm、奥行82cmで、平面プランはU字状を呈する。壁外へは38cm掘り込んでいる。火床部は幅36cm、奥行10cmの楕円形を呈し、床面から12cm掘り下げている。



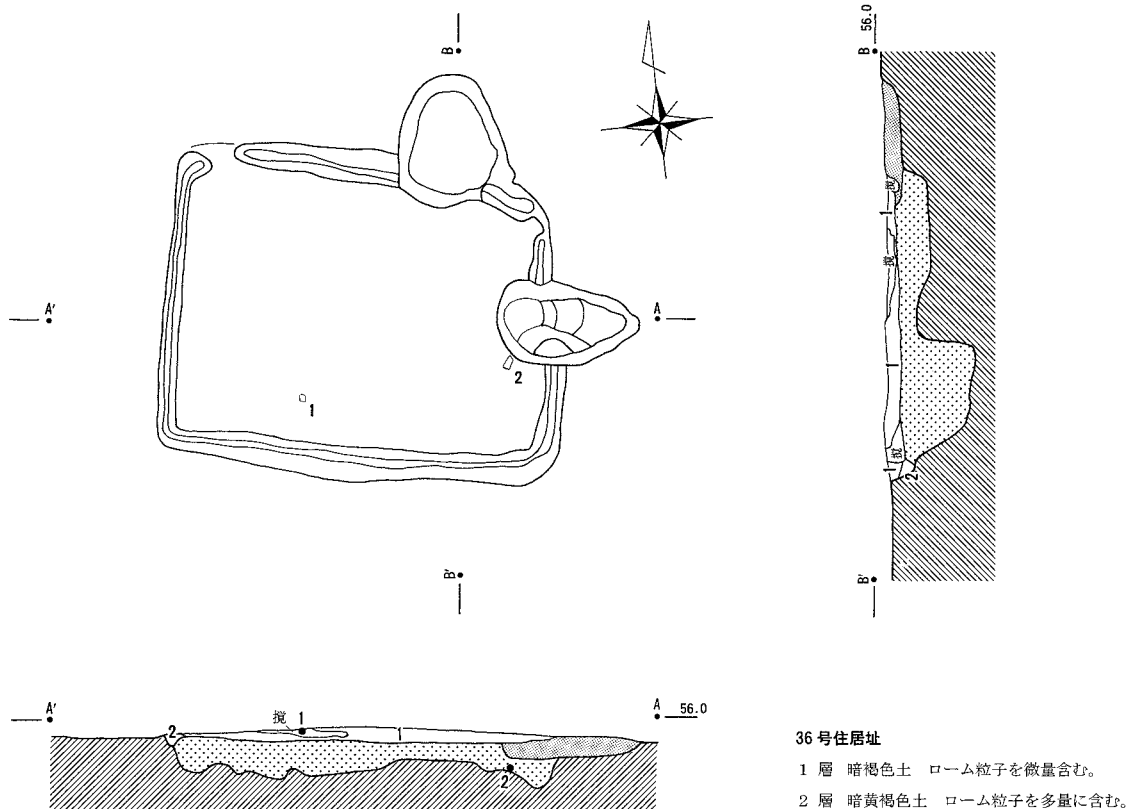
第120図 35号住居址出土遺物 (1/3) 但し、8は (2/3)

第81表 35号住居址出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 < >は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
1		坏	(12.2)	6.8	6.8	3.3	還元焰焼成	東カマドから出土。底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は僅かに外反する。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。残存率50%。
2		坏	(12.8)	6.8	6.9	3.4	還元焰焼成	東カマド出土。底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。残存率50%。
3		坏	(11.6)	7.3	7.0	3.3	還元焰焼成	床面付近から出土。底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。底部外面に「平」の墨書。残存率40%。
4		坏	-	6.1	-	-	還元焰焼成	床面直上出土。底部は回転糸切り。
5		高台付坏	-	(7.4)	-	-	還元焰焼成	床面付近から出土。底部は回転糸切り後に、高台を貼り付けている。器内外面にロクロ水挽き整形。
6		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器外面に横、斜め方向の平行叩き。器内面には当て具痕が残る。器外面に自然釉が見られる。
7		台付甕	(13.9)	-	-	-	土師器	東カマドから出土。口縁部は大きく外反し、器内外面に横ナデ。胴部外面に斜め方向の篋割り。

挿図番号	図版番号	種類	長さ	幅	厚み	観察・特徴
8		釘	<6.1>	0.8	0.9	床面付近から出土。頭部と先端を欠損する。



第121図 36号住居址 (1/60)

36号住居址

本住居址の遺存状態は悪く、掘り込みがほとんど残っていない。住居址の規模は東西3.2m、南北2.6mをはかり、主軸方位はE-10°-Sである。平面プランは東西に僅かに長い方形を呈する。

カマドは北壁に構築された後に、東壁に移築している。床面の状況は、四隅を除く範囲が硬化している。貼床下は不整地で、深さ14~30cmの掘り込みを持つ。南東コーナーで長軸105cm、短軸80cm、深さ70cmの土壙を検出した。

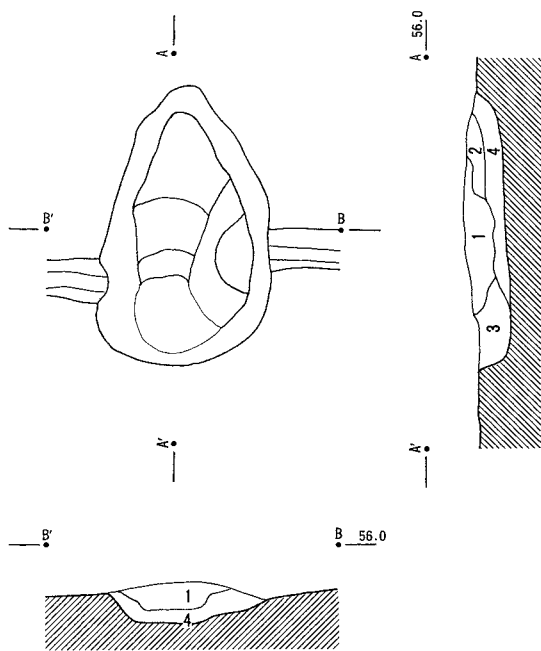
南壁の一部がかるうじて残り、壁高は10cmをはかる。壁に沿って幅6~15cm、深さ5cmの周溝がカマドを除き一巡している。

東カマド

カマドは東壁のほぼ中央に位置する。規模は幅65cm、奥行111cmで、平面プランはV字状を呈する。壁外へは57cm掘り込んでいる。火床部は幅25cm、奥行30cmの楕円形を呈し、床面から12cm下がる。

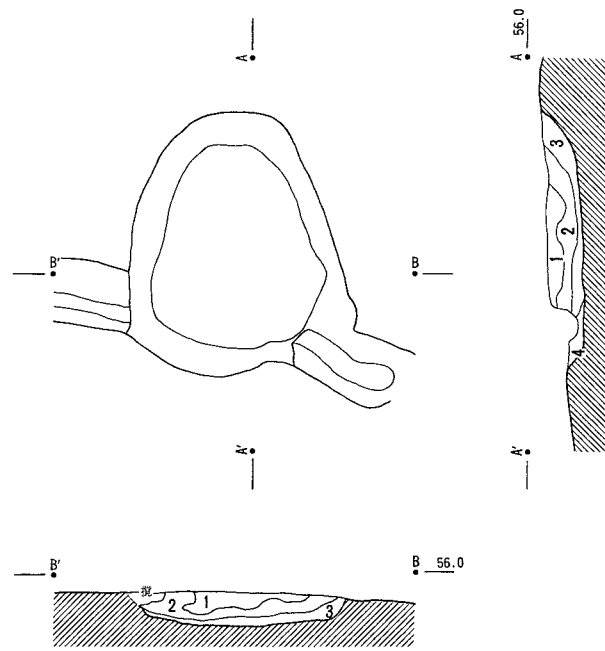
北カマド

カマドは北壁の東寄りに位置する。規模は幅86cm、奥行105cmで、平面プランはU字状を呈する。壁外へは64cm掘り込んでいる。火床部は幅65cm、奥行80cmの楕円形を呈し、床面から5cm掘り下げている。



36号住居址東カマド

- 1層 暗褐色土 ローム粒子を微量含む。
- 2層 暗赤褐色土 焼土粒子を多量に含み、粘土粒子を微量含む。
- 3層 暗褐色土 ローム粒子を少量含む。
- 4層 暗褐色土 ローム粒子を極微量含む。



36号住居址北カマド

- 1層 暗赤褐色土 焼土粒子を少量含む。
- 2層 暗褐色土 ローム粒子を少量含み、焼土粒子を極微量含む。
- 3層 暗褐色土 ローム粒子を少量含む。
- 4層 暗黒褐色土 ローム粒子を微量含む。



第122図 36号住居址東カマド (1/30) 北カマド (1/30) 出土遺物 (1/3)

第82表 36号住居址出土遺物観察表

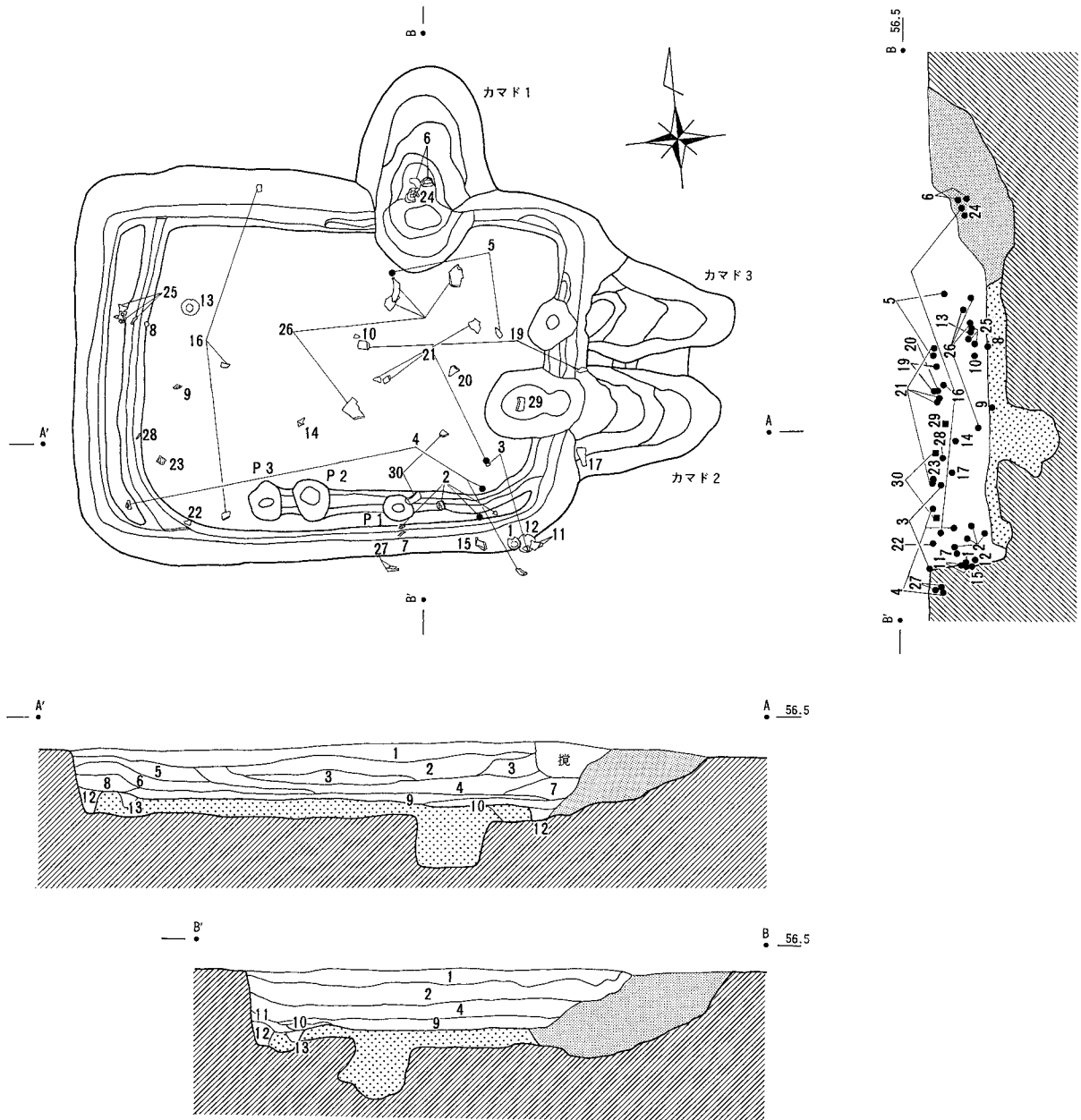
単位はcm ()は推定値 < >は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
1		坏	-	5.9	-	-	半還元焰焼成	床面付近から出土。底部は回転糸切り。
2		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	貼床下から出土。器内外面にロクロ水挽き整形。器内外面に自然釉が見られる。

37号住居址

規模は東西4.6m、南北3.4mをはかり、主軸方位はN-6.5°-Eである。平面プランは東西に長い方形を呈する。この住居址は2回拡張を行っている。1回目は南側に拡張し、2回目は西側に広げている。東壁と北壁は当初のままである。

カマドは当初東壁の北寄りに構築し、南側に拡張した時に同じ東壁の南寄りに造り替えている。さらに西側に拡張した時に、北壁に位置を変えている。床面は、中央が硬化している。貼床下は概ね平坦であるが、



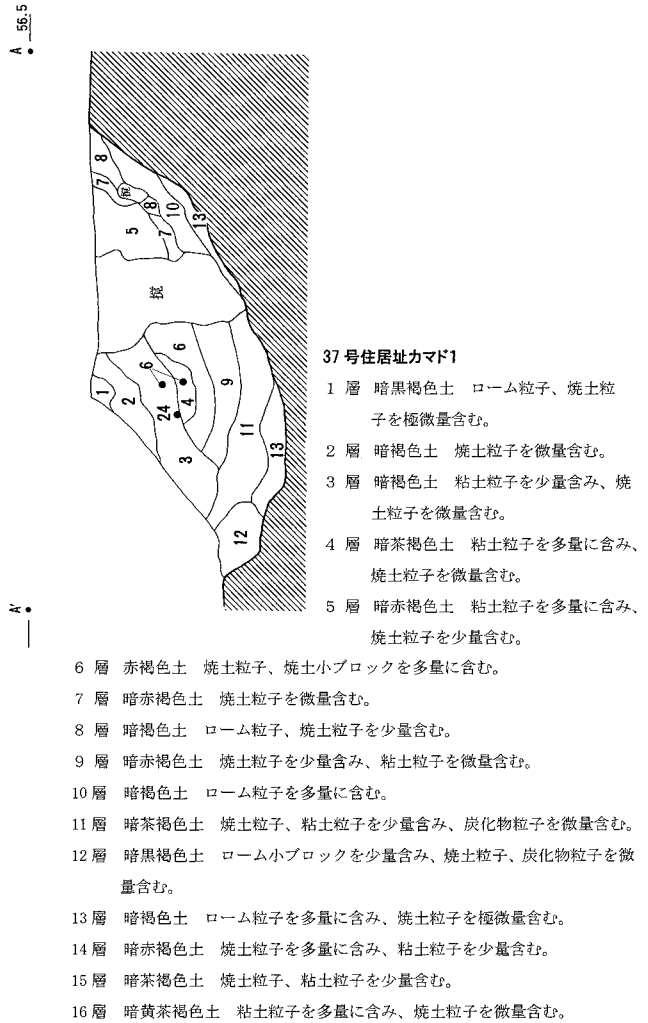
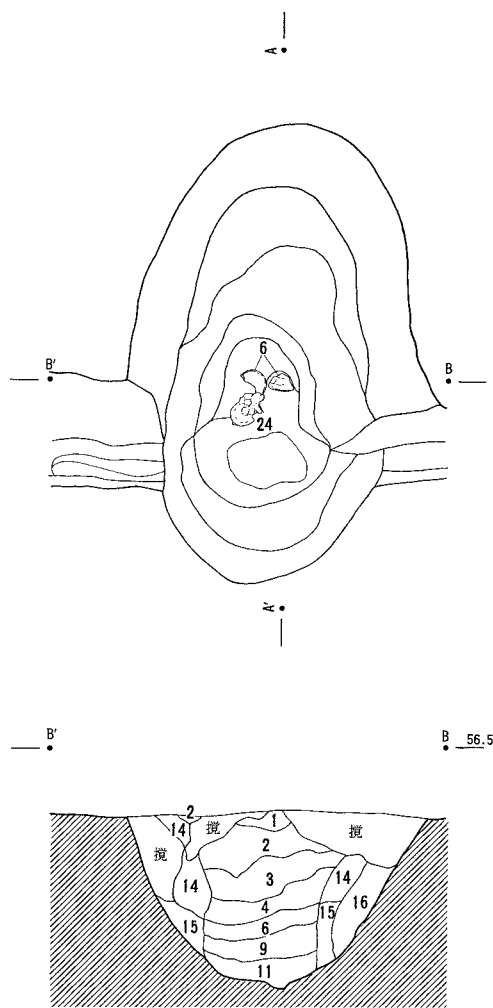
37号住居址

- | | |
|-------------------------------------|----------------------------------|
| 1層 暗黒褐色土 ローム粒子、焼土粒子を極微量含む。 | 8層 暗黒褐色土 ローム粒子を微量含む。 |
| 2層 暗褐色土 焼土粒子を微量含む。 | 9層 暗褐色土 ローム粒子、粘土粒子を微量含む。 |
| 3層 暗茶褐色土 焼土粒子を微量含む。 | 10層 暗茶褐色土 ローム粒子、粘土粒子を微量含む。 |
| 4層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子を微量含む。 | 11層 暗褐色土 ローム粒子を微量含む。 |
| 5層 暗褐色土 ローム粒子を極微量含む。 | 12層 暗黒褐色土 ローム粒子を微量含み、焼土粒子を極微量含む。 |
| 6層 暗褐色土 焼土粒子を微量含む。 | 13層 暗褐色土 ローム粒子を含む。 |
| 7層 暗茶褐色土 粘土粒子を少量含み、ローム粒子、焼土粒子を微量含む。 | |

第123図 37号住居址 (1/60)

カマド2の正面で長軸85cm、短軸70cm、深さ26~49cmの土壇と南壁近くで長軸100cm、短軸70cm、深さ6~22cmの土壇を検出した。

壁は僅かな傾斜を持って立ち上がり、壁高は36~55cmをはかる。壁に沿って幅9~20cm、深さ8~11cmの周溝が東カマドを除き一巡している。



第124図 37号住居址カマド1 (1/30)

カマド1

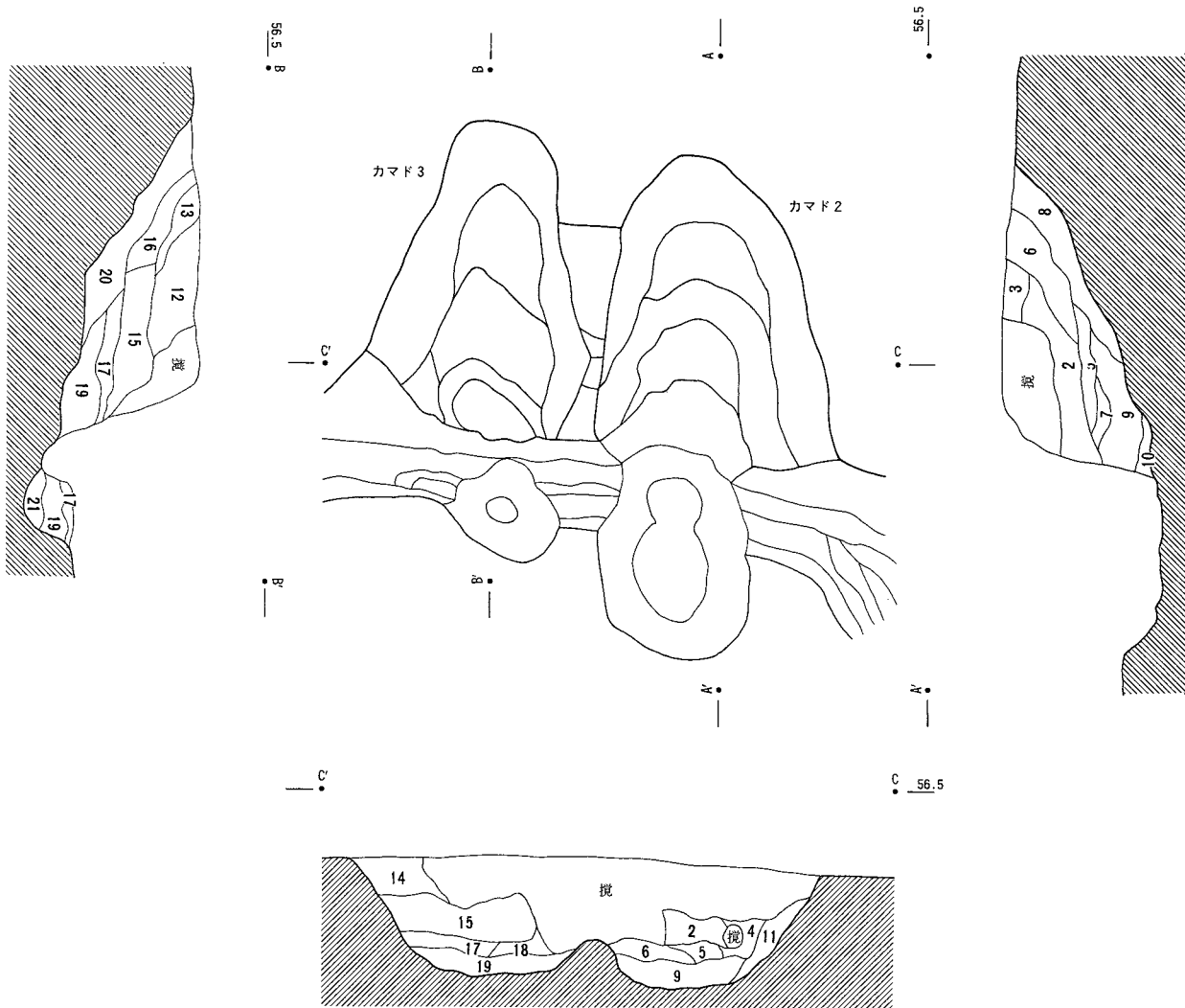
カマドは北壁の東寄りに位置する。規模は幅123cm、奥行152cmで、平面プランはU字状を呈する。壁外へは105cm掘り込んでいる。火床部は幅32cm、奥行22cmの楕円形を呈し、床面から22cm掘り下げている。

カマド2

カマドは東壁の南寄りに位置する。規模は幅115cm、奥行207cmで、平面プランは細長のU字状を呈する。壁外へは120cm掘り込んでいる。火床部は幅30cm、奥行59cmの楕円形を呈し、床面から23cm掘り下げている。

カマド3

カマドは東壁の北寄りに位置する。規模は幅95cm、奥行182cmで、平面プランは細長のU字状を呈する。壁外へは100cm掘り込んでいる。火床部は径13cmの円形を呈し、床面から20cm掘り下げている。



37号住居址カマド3

- 12層 明茶褐色土 粘土を含む。
- 13層 暗赤褐色土 ローム粒子、焼土粒子を少量含む。
- 14層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子を微量含む。
- 15層 暗褐色土 焼土粒子、粘土粒子を少量含む、ローム粒子を微量含む。
- 16層 暗褐色土 ローム粒子を少量含む、焼土粒子、炭化物粒子を微量含む。
- 17層 暗褐色土 焼土粒子を少量含む。
- 18層 暗赤褐色土 焼土粒子を多量に含む、粘土粒子を微量含む。
- 19層 暗褐色土 ローム粒子を含み、焼土粒子を少量含む。
- 20層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子を少量含む、炭化物粒子を微量含む。
- 21層 暗褐色土 ローム粒子を含み、焼土粒子を微量含む。

37号住居址カマド2

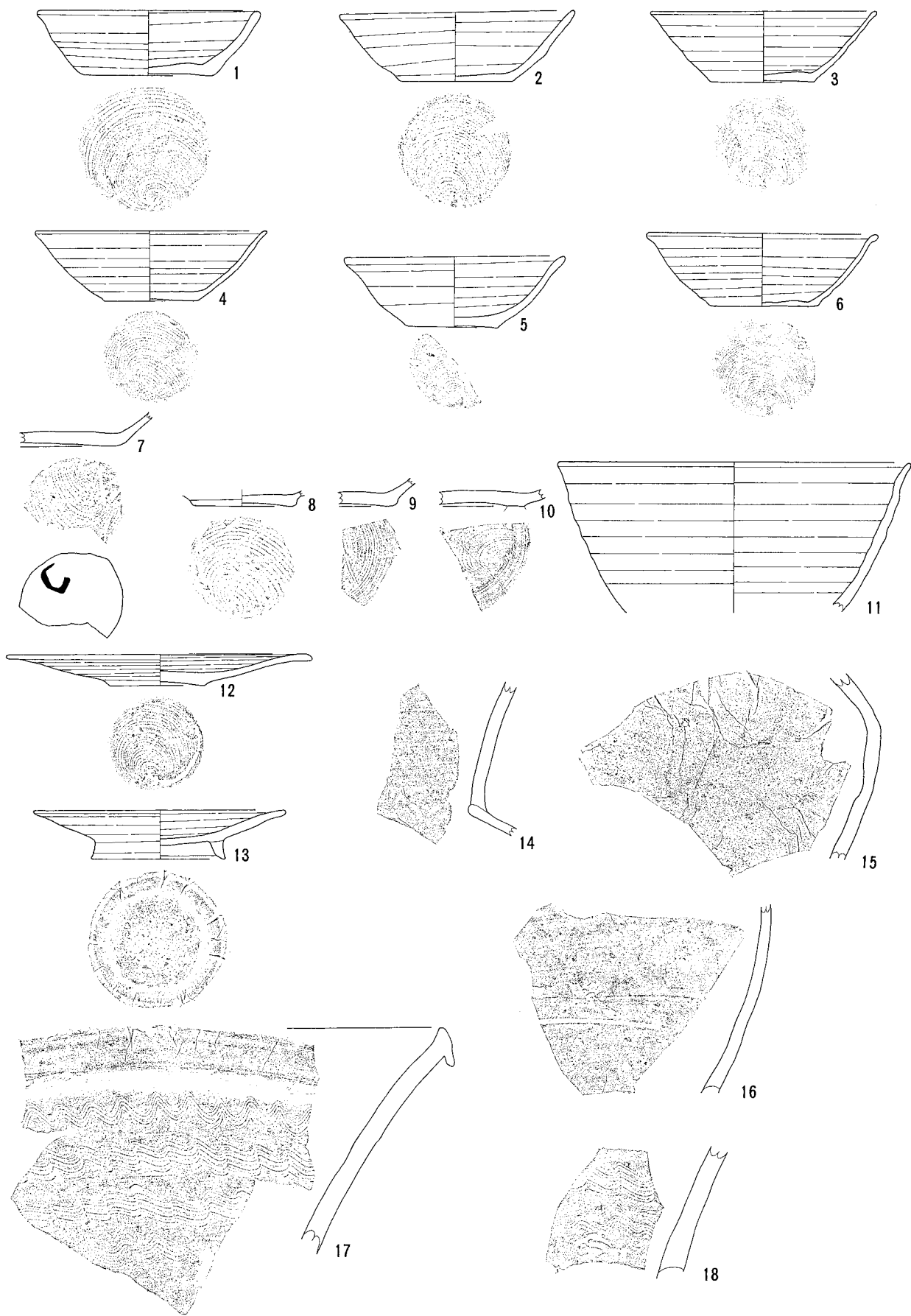
- 1層 明茶褐色土 粘土を多量に含む、焼土粒子を極微量含む。
- 2層 暗褐色土 焼土粒子、粘土粒子を微量含む。
- 3層 暗赤褐色土 焼土粒子、焼土小ブロックを多量に含む、粘土粒子を微量含む。
- 4層 明茶褐色土 粘土を多量に含む。
- 5層 暗赤褐色土 焼土粒子を少量含む。
- 6層 暗赤褐色土 焼土粒子を多量に含む、粘土粒子を少量含む。
- 7層 赤褐色土 焼土を多量に含む、ローム粒子を微量含む。
- 8層 暗赤褐色土 ローム粒子、焼土粒子を少量含む。
- 9層 暗褐色土 ローム粒子を少量含む、焼土粒子、炭化物粒子を微量含む。
- 10層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子を少量含む、炭化物粒子を微量含む。
- 11層 暗黒茶褐色土 ローム粒子を多量に含む。

第125図 37号住居址カマド2、3 (1/30)

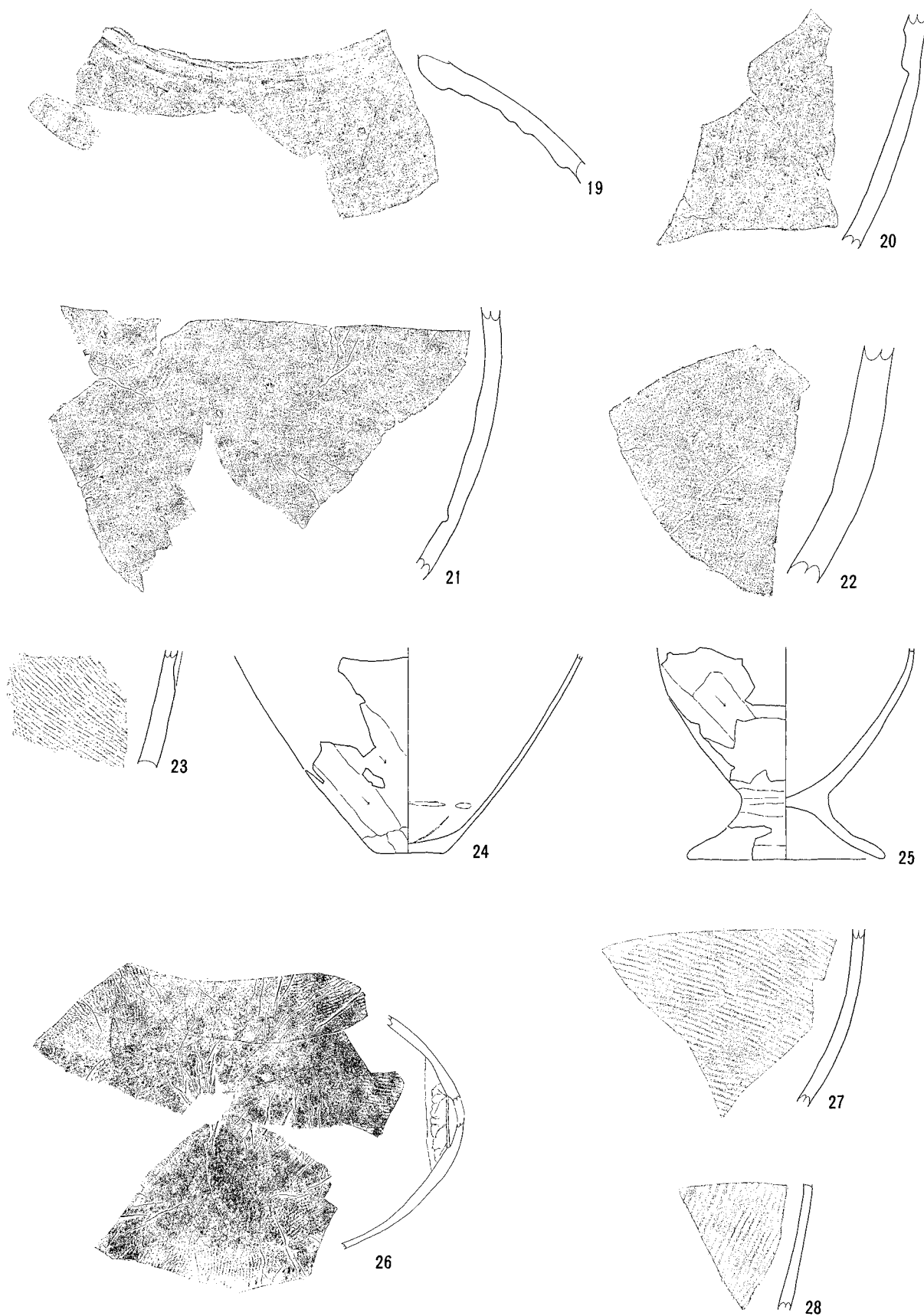
第83表 37号住居址出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 ()は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
1	41-1	坏	12.0	7.2	5.8	3.4	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。残存率95%。



第126图 37号住居址出土遺物 (1) (1/3)

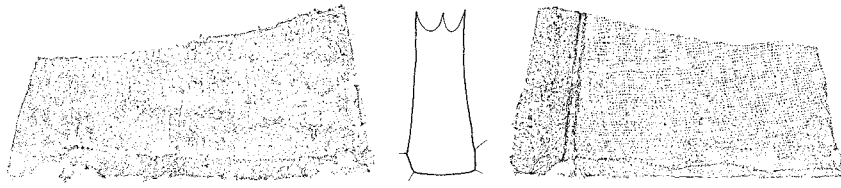


第127図 37号住居址出土遺物 (2) (1/3) 但し、26は (1/6)

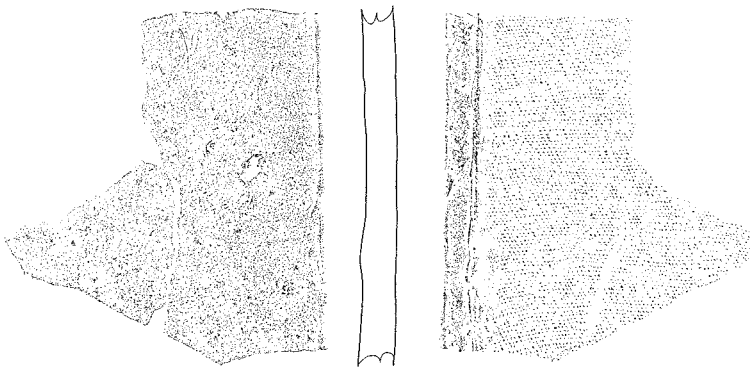
第84表 37号住居址出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 < >は既存値

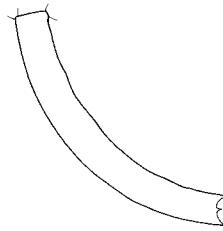
挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
2		坏	12.6	6.0	5.0	3.7	半還元焰焼成	床面付近から出土。底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。残存率60%。
3		坏	(12.0)	5.5	4.8	3.8	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は僅かに外反する。残存率30%。
4	41-4	坏	12.5	5.1	4.6	3.7	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は僅かに外反する。残存率65%。
5		坏	11.8	4.9	3.7	3.8	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は僅かに外反する。残存率45%。
6	41-6	坏	12.4	5.8	5.0	3.9	還元焰焼成	カマド1から出土。底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は僅かに外反する。残存率95%。
7		坏	-	-	-	-	還元焰焼成	底部は回転糸切り。底部外面に墨書が見られるが、判読は出来ない。
8		坏	-	5.4	-	-	還元焰焼成	床面直上出土。底部は回転糸切り。底部外面に「×」の窠記号。
9		坏	-	-	-	-	還元焰焼成	床面直上出土。底部は回転糸切り。底部外面に窠記号。
10		坏	-	-	-	-	還元焰焼成	床面付近から出土。底部は回転糸切り後外周部回転窠削り。底部外面に「×」の窠記号。
11		埴	(18.9)	-	-	-	酸化焰焼成	器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は僅かに外反する。
12	41-12	皿	16.4	5.1	-	1.7	還元焰焼成	床面付近から出土。底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は外反する。完形。
13	41-13	高台付皿	13.4	7.3	-	2.7	還元焰焼成	底部は回転糸切り後に、高台を貼り付けている。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は外反する。完形。
14		壺	-	-	-	-	還元焰焼成	器内外面にロクロ水挽き整形。僅かに残る肩部に自然釉が見られる。
15		壺	-	-	-	-	還元焰焼成	床面付近から出土。器内外面にロクロ水挽き整形。
16		壺	-	-	-	-	還元焰焼成	器内外面にロクロ水挽き整形。
17	41-17	甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器内外面にロクロ水挽き整形。器外面に波状の櫛引きを4段施している。18とは同一個体と思われる。
18		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器内外面にロクロ水挽き整形。器外面に波状の櫛引きを施している。17とは同一個体と思われる。
19		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器外面にナデ整形。器内面には当て具痕が残る。20、21は同一個体と思われる。



29



30



第128図 37号住居址出土遺物 (3) (1/3)

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
20		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器外面にナデ整形。器内面には当て具痕が残る。19、21は同一個体と思われる。
21		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器外面にナデ整形。器内面には当て具痕が残る。19、20は同一個体と思われる。
22		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器内外面に篋ナデ整形。その後器外面は篋削り。
23		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器外面に斜め方向の平行叩き。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。

第85表 37号住居址出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 ()は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
24		甕	-	3.6	-	-	土師器	カマド1から出土。器外面に斜め方向の匱削り。
25	42-25	台付甕	-	(12.0)	-	-	土師器	床面付近から出土。胴部外面には斜め方向の匱削り。脚部はナデ整形。器面は被熱の為、剥落が見られる。
26	42-26	横瓶	-	-	-	-	還元焰焼成	器形は繭状を呈する。先端部の弧状の破片。器外面に平行叩き。器内面は当て具痕とナデ整形。先端部の器内面に押圧痕が残り、最後に頂上部に蓋をするような作り。器外面に自然釉が見られる。胎土は非常に緻密である。湖西窯跡産と思われる。27、28は同一個体と思われる。
27		横瓶	-	-	-	-	還元焰焼成	器外面に平行叩き。器内面は当て具痕とナデ整形。器外面に自然釉が見られる。胎土は非常に緻密である。湖西窯跡産と思われる。26、28は同一個体と思われる。
28		横瓶	-	-	-	-	還元焰焼成	器外面に平行叩き。器内面は当て具痕とナデ整形。器外面に自然釉が見られる。胎土は非常に緻密である。湖西窯跡産と思われる。26、27は同一個体と思われる。
29		丸瓦	-	-	-	-	還元焰焼成	凹面には布目を施し、凸面は縄叩き後匱整形。側面及び端面、凹凸面側部、端部に匱削り。
30		丸瓦	-	-	-	-	還元焰焼成	凹面には布目を施し、凸面は縄叩き後匱整形。側面及び凹面側部に匱削り。

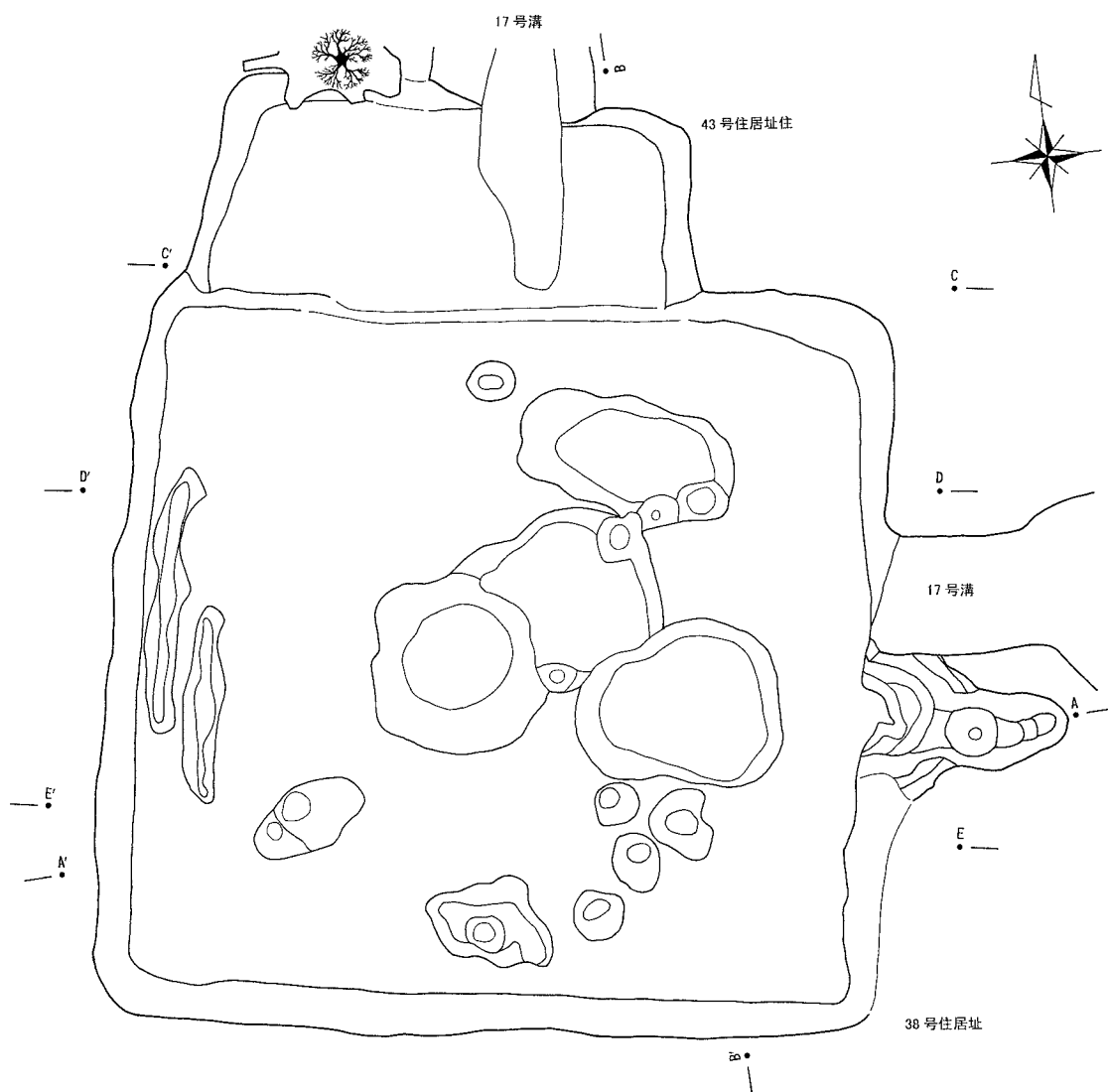
38号住居址

38号住居址の北壁で大きく43号住居址と重複するが、広い範囲で攪乱が入っている。ふたつの住居址の床面レベルはほぼ同じである。新旧関係は38号住居址が古く、43号住居址が新しい。

本住居址の規模は東西6m、南北5.9mをはかり、主軸方位はE-9.5°-Sである。平面プランは方形を呈する。カマドは東壁に位置している。カマドの一部は、重複する17号溝により破壊されている。床面の状況は、硬化範囲が少ない。貼床下の中央部には長軸1.8~1.5m、短軸0.95~1.5mの土壌が4基集中する。その他には、長軸1.1m、短軸0.7mの土壌、径30~60cmの柱穴7本、西壁に沿って幅25cmの周溝と思われる溝を2条確認した。

壁は傾斜を持って立ち上がり、壁高は55cm前後をはかる。壁に沿って幅7~20cm、深さ12~23cmの周溝がカマドを除き一巡している。柱穴は7本確認した。P1、P3~P5は主柱穴で、径が65~80cm、深さ77~102cmをはかる。P2は、P1の建て替え以前の柱穴である。P6、P7は出入り口に伴うものと考えられる。径が26~30cm、深さ18~40cmをはかる。

第128図の15~19、第129図31は、攪乱からの出土である。



第130図 38号住居址貼床下 (1/60)

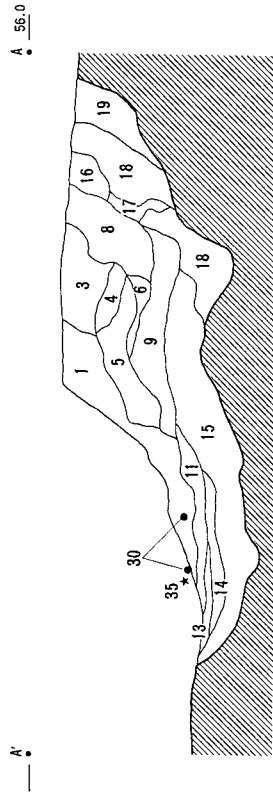
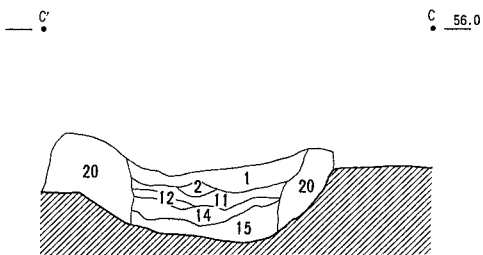
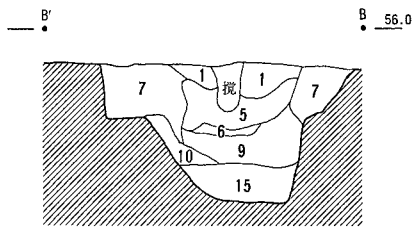
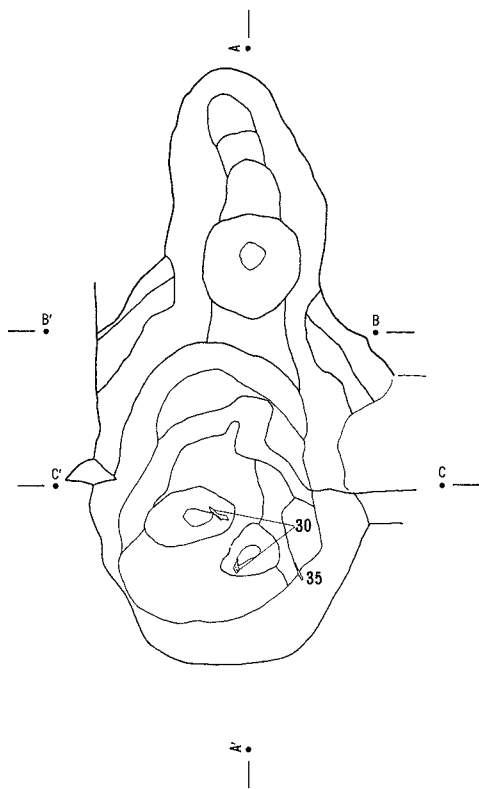
カマド

カマドは東壁のほぼ中央に位置し、左袖周辺は17号溝により破壊されている。また、右袖周辺も攪乱を受けている。規模は奥行236cmで、平面プランは細長いU字状を呈する。壁外へは103cm掘り込んでいる。火床部は幅33cm、奥行20cmの楕円形を呈し、床面から25cm掘り下げている。

第86表 38号住居址出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 ()は既存値

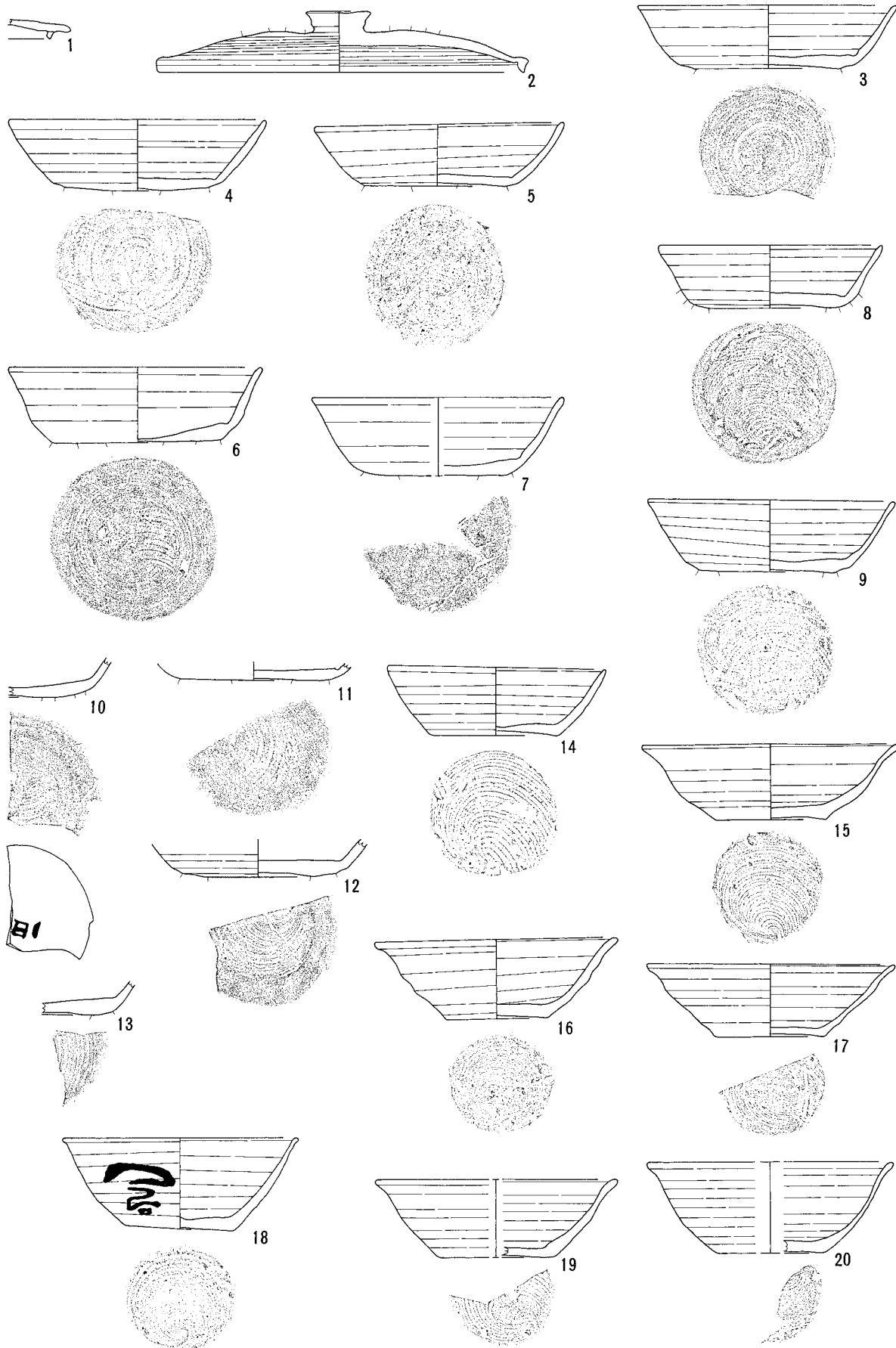
挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
1		蓋	-	-	-	-	半還元焰焼成	口縁部にかえりを持つ。器内外面にロクロ水挽き整形。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。
2	42-2	蓋	18.9	-	-	3.2	還元焰焼成	床面直上出土。器内外面にロクロ水挽き整形後、天井部外面に回転篋削り。天井部に径3.3cmのつまみを有する。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。完形。



38号住居址カマド

- 1層 暗茶褐色土 焼土粒子、粘土粒子を少量含む。
- 2層 暗赤褐色土 焼土粒子を多量に含む。
- 3層 明茶褐色土 粘土粒子を多量に含む。
- 4層 暗赤褐色土 焼土粒子、粘土粒子を多量に含む。
- 5層 明茶褐色土 粘土粒子を多量に含み、焼土粒子を微量含む。
- 6層 暗褐色土 焼土粒子を少量含み、ローム粒子を微量含む。
- 7層 明茶褐色土 粘土を多量に含み、焼土粒子を微量含む。
- 8層 明茶褐色土 粘土粒子を多量に含み、焼土を含む。
- 9層 暗赤褐色土 焼土粒子を多量に含み、粘土粒子を微量含む。
- 10層 暗黒褐色土 ローム粒子を微量含む。
- 11層 暗黄茶褐色土 粘土粒子を多量に含む。
- 12層 赤褐色土 焼土粒子を多量に含む。
- 13層 黒褐色土 炭化物粒子を多量に含む。
- 14層 暗褐色土 粘土粒子を少量含み、焼土粒子を微量含む。
- 15層 暗褐色土 粘土粒子を多量に含み、焼土粒子、炭化物粒子を微量含む。
- 16層 暗黒褐色土 ローム粒子を微量含む。
- 17層 赤褐色土 焼土粒子を含む。
- 18層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子を少量含む。
- 19層 暗褐色土 ローム粒子を含み、焼土粒子を微量含む。
- 20層 明茶褐色土 粘土が主体で、焼土粒子を微量含む。

第131図 38号住居址カマド (1/30)

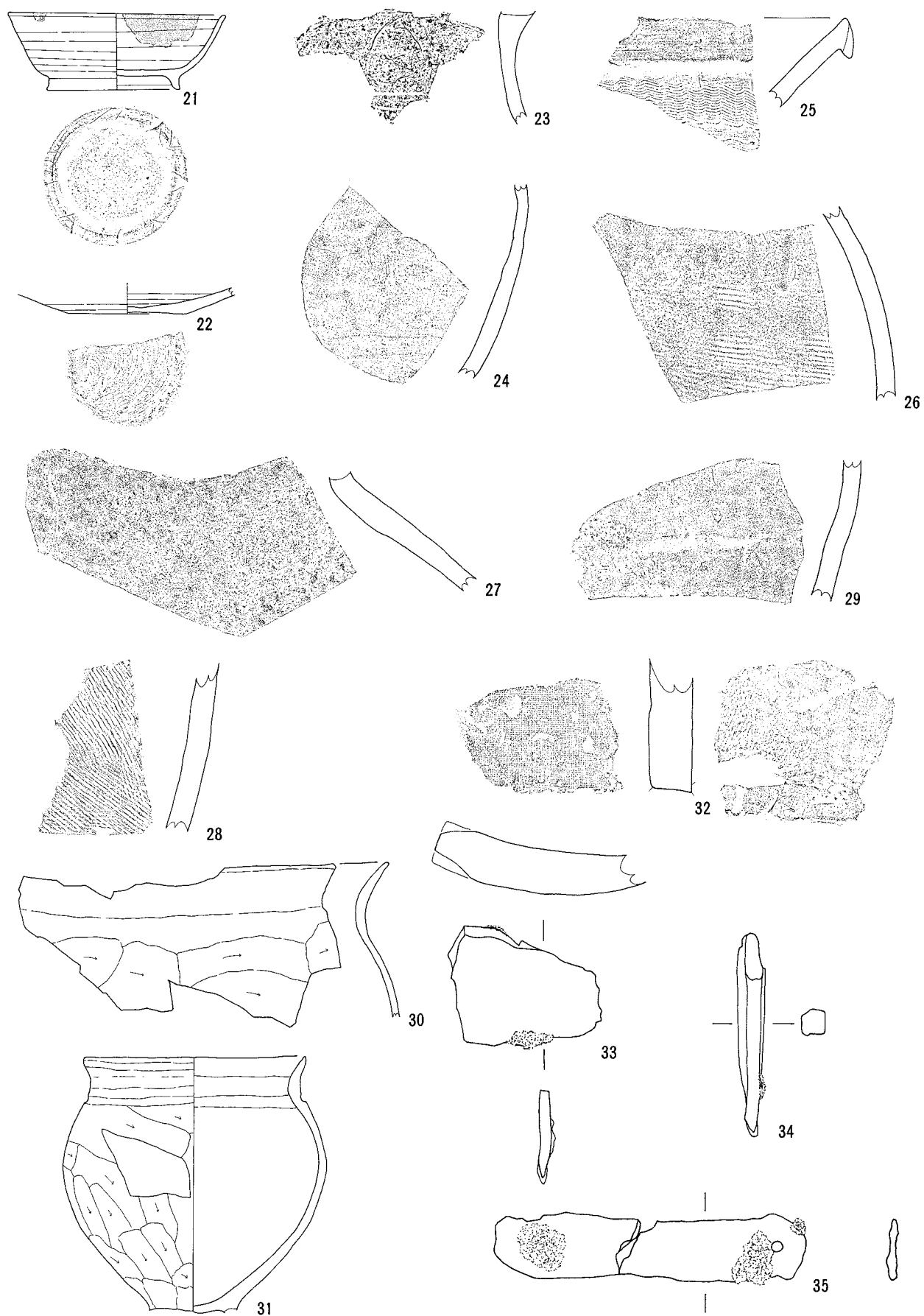


第132图 38号住居址出土遺物 (1) (1/3)

第87表 38号住居址出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 < >は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
3		坏	13.8	7.1	8.3	4.4	還元焰焼成	底部は回転糸切り後全面回転篋削り。器内外面にロク口水挽き整形。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。残存率40%。
4		坏	(13.4)	7.9	8.3	3.8	還元焰焼成	床面直上出土。底部は回転糸切り後全面回転篋削り。器内外面にロク口水挽き整形。器内面の底部から体部の変換点に爪先技法が見られる。胎土は非常に緻密である。前内出窯跡系。残存率35%。
5	42-5	坏	(13.3)	6.9	8.0	4.0	半還元焰焼成	床面直上出土。底部は回転糸切り後外周部回転篋削り。器内外面にロク口水挽き整形。器内面の底部から体部の変換点に爪先技法が見られる。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。底部外面に「×」の篋記号。残存率80%。
6	42-6	坏	(12.8)	7.1	9.3	3.2	還元焰焼成	床面直上出土。底部は回転糸切り後外周部回転篋削り。器内外面にロク口水挽き整形。器内面の底部から体部の変換点に爪先技法が見られる。完形。
7		坏	(13.4)	(7.9)	(7.7)	3.9	還元焰焼成	底部は回転糸切り後全面回転篋削り。器内外面にロク口水挽き整形。器内面の底部から体部の変換点に爪先技法が見られる。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。残存率45%。
8	42-8	坏	(12.9)	(7.5)	7.9	3.3	還元焰焼成	床面直上出土。底部は回転糸切り後外周部回転篋削り。器内外面にロク口水挽き整形。器内面の底部から体部の変換点に爪先技法が見られる。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。残存率70%。
9		坏	(12.7)	(6.6)	8.0	3.8	還元焰焼成	床面付近から出土。底部は回転糸切り後外周部回転篋削り。器内外面にロク口水挽き整形。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。残存率45%。
10		坏	-	-	-	-	還元焰焼成	底部は回転糸切り後外周部回転篋削り。器内外面にロク口水挽き整形。底部外面に墨書を確認したが、判読不明である。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。
11		坏	-	7.7	8.4	-	還元焰焼成	床面付近から出土。底部は回転糸切り後外周部手持ち篋削り。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。
12		坏	-	(8.0)	(8.2)	-	還元焰焼成	底部は回転糸切り後外周部回転篋削り。胎土は緻密である。前内出窯跡系。
13		坏	-	-	-	-	還元焰焼成	底部は回転糸切り後外周部回転篋削り。胎土は緻密である。前内出窯跡系。
14	42-14	坏	11.4	6.5	6.2	3.6	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロク口水挽き整形。残存率85%。



第133図 38号住居址出土遺物 (2) (1/3) 但し、33~35は (2/3)

第88表 38号住居址出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 ()は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
15	42-15	坏	(13.4)	5.5	5.0	4.0	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形を施す。口縁部は外反する。残存率75%。
16	45-16	坏	12.6	5.3	5.1	4.1	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は外反する。完形。
17		坏	(12.9)	5.7	4.4	3.8	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は外反する。残存率45%。
18	42-18	坏	12.2	5.6	5.0	4.7	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は外反する。体部外面に墨書が見られる「富(?)」残存率95%。
19		坏	(12.6)	6.0	4.3	4.1	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は外反する。残存率45%。
20		坏	(12.6)	(5.3)	(5.1)	4.1	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は外反する。残存率30%。
21	42-21	高台付坏	11.6	7.1	7.5	4.2	還元焰焼成	底部は回転糸切り後に、高台を貼り付け。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部の内外面に煤が付着。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。残存率90%。
22		皿	-	6.2	-	-	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。
23		高坏	-	-	-	-	還元焰焼成	脚部。器内外面にロクロ水挽き整形。器外面に2条の沈線が横走。白色針状物質を含む。南比企窯跡産。
24		壺	-	-	-	-	還元焰焼成	床面付近から出土。器内外面にロクロ水挽き整形。
25		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器内外面にロクロ水挽き整形。器外面に波状の櫛引きが横走。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。
26	42-26	甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器外面に横方向の平行叩き。器内面に当て具痕が残る。器外面に自然釉が見られる。
27	42-27	甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器外面に斜め方向の平行叩き。器内面に当て具痕が残る。器外面に自然釉が見られる。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。
28		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器外面に横、斜め方向の平行叩き。器内面に当て具痕が残る。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。
29		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器外面に篋ナデ整形。器内面に当て具痕が残る。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。
30		甕	-	-	-	-	土師器	カマドから出土。口縁部はくの字を呈する。口縁部の器内外面に横ナデ整形。胴部外面に斜め方向の篋削り。
31	42-31	台付甕	(11.9)	-	-	-	土師器	口縁部は崩れたコの字を呈する。口縁部の内外面に横ナデ。胴部外面には斜め、縦方向の篋削り。

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
32		平瓦	-	-	-	-	還元焰焼成	凹面には布目を施し、凸面には縄叩き。側面及び端面、凹面端部に篋削り。

挿図番号	図版番号	種類	長さ	幅	厚み	観察・特徴		
33		鎌	<4.1>	3.3	0.3	床面付近から出土。刃先の破片である。		
34		釘	<5.5>	0.6	0.7	先端部の破片である。		
35	42-35	不明	8.4	1.7	0.3	カマドから出土。片側に径3mmの穴が穿孔されている。		

43号住居址

38号住居址と重複している本住居址の南半分は、攪乱によりほとんどを失っている。東、西壁の一部と北壁が残るが、北壁の中央に17号溝が重複している。

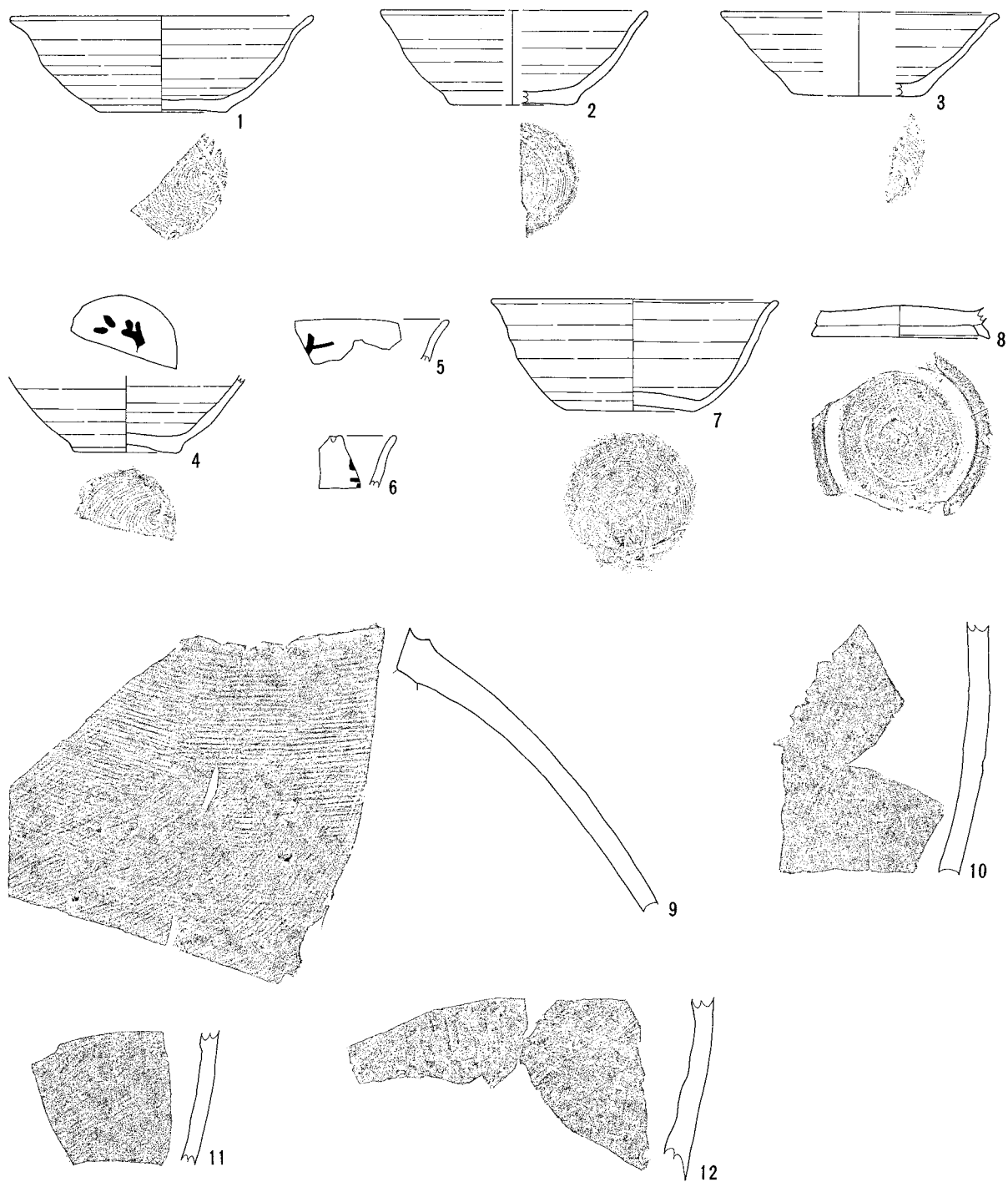
規模は東西4.1mで、南北方向の1.5mが残る。北壁では焼土などのカマドに関連するものを検出することができなかつたので、カマドはおそらく東壁に築かれていたと思われる。

壁は傾斜を持って立ち上がり、壁高は45～50cmをはかる。周溝は東壁と西、北壁の一部に見られ、幅8～18cm、深さ4～9cmをはかる。

第89表 43号住居址出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 < >は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
1		坏	(14.3)	(6.0)	-	4.6	半還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は外反する。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産である。残存率15%。
2		坏	(12.6)	(6.1)	-	4.5	半還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は外反する。残存率20%。
3		坏	(13.0)	(6.2)	-	4.0	酸化焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。残存率20%。
4		坏	-	4.8	-	-	半還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。底部内面に墨書が見られるが、判読は出来ない。
5		坏	-	-	-	-	還元焰焼成	器内外面にロクロ水挽き整形。体部外面に墨書が見られるが、判読は出来ない。
6		坏	-	-	-	-	還元焰焼成	器内外面にロクロ水挽き整形。体部外面に墨書が見られるが、判読は出来ない。
7	43-7	埴	(13.5)	6.0	6.0	5.3	半還元焰焼成	床面直上出土。底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は外反する。残存率65%。
8		高台付壺	-	8.4	-	-	還元焰焼成	底部は回転糸切り後回転篋削り整形。その後高台を貼り付け。
9	43-9	甕	-	-	-	-	還元焰焼成	床付近から出土。器外面に横、斜め方向の平行叩き。器内面に同心円状の当て具痕がかすかに残る。

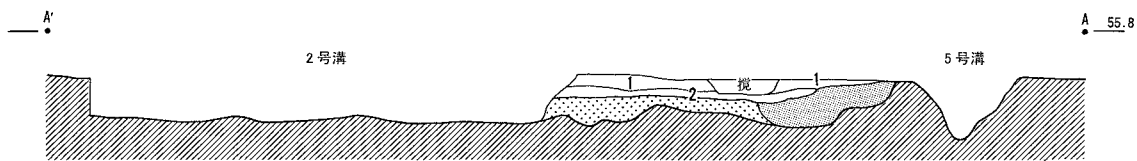
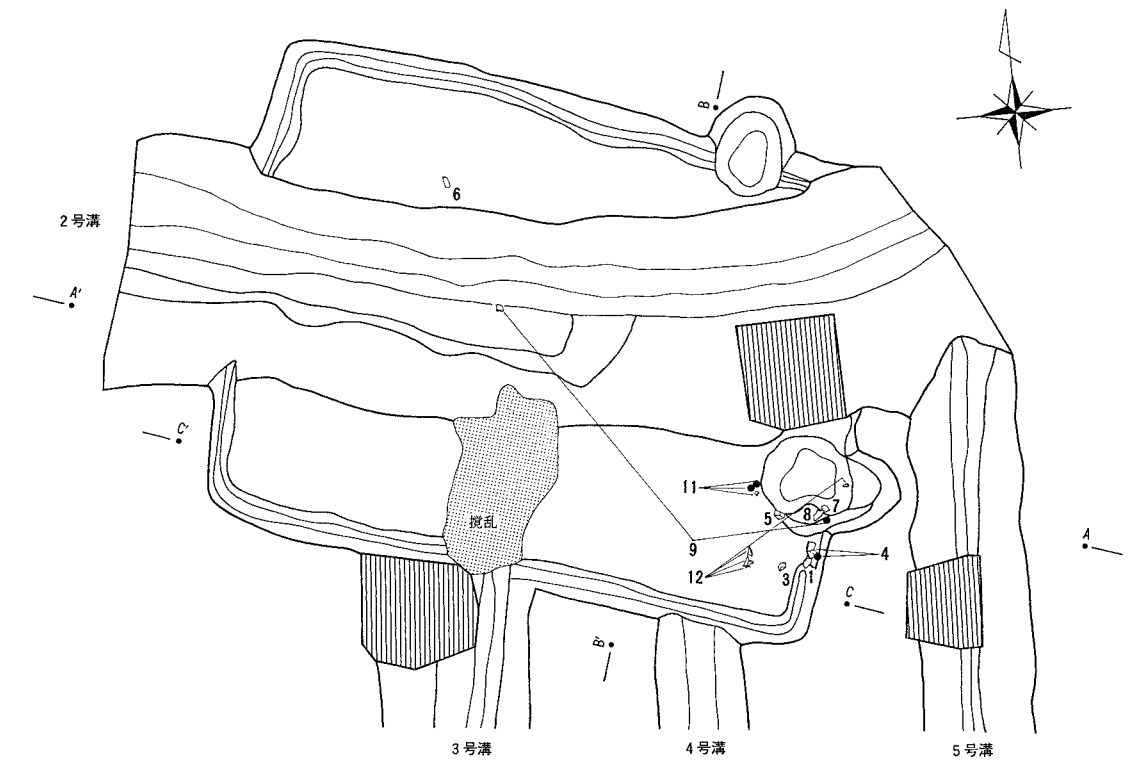


第134図 43号住居址出土遺物 (1/3)

第90表 43号住居址出土遺物観察表

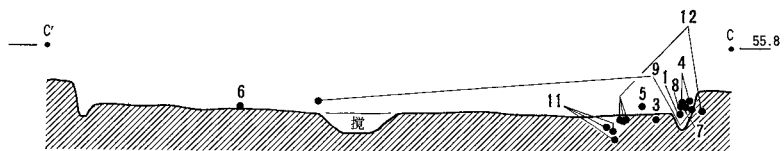
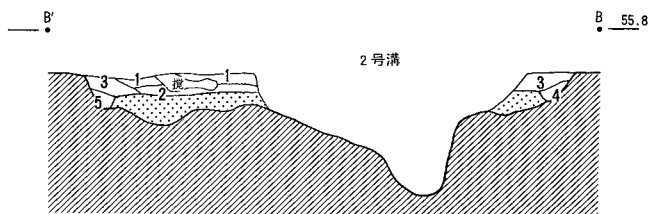
単位はcm ()は推定値 < >は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
10		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器外面に斜め方向の平行叩き。器内面に当て具痕が残る。
11		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	床面直上出土。器外面に横、斜め方向の平行叩き。器内面に当て具痕が残る。



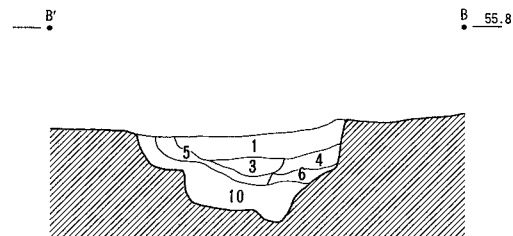
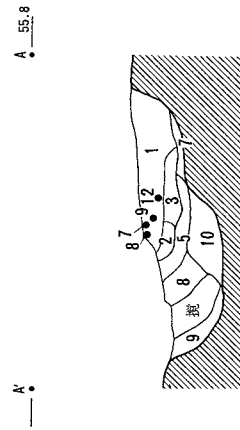
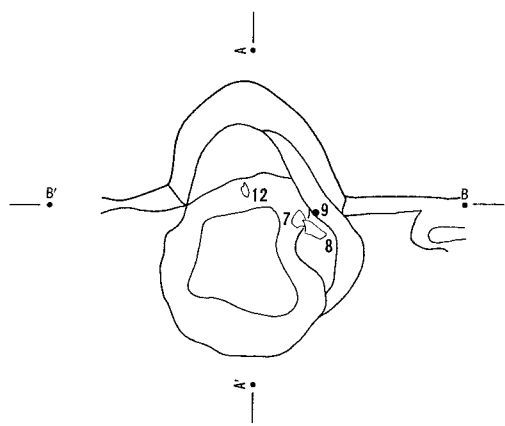
39号住居址

- 1層 暗褐色土 ローム粒子を微量含む。
- 2層 暗褐色土 ローム粒子を微量含み、焼土粒子を微量含む。
- 3層 暗褐色土 ローム粒子、粘土粒子を微量含む。
- 4層 暗茶褐色土 粘土粒子を多量に含み、焼土粒子を微量含む。
- 5層 暗黒褐色土 ローム粒子、焼土粒子を微量含む。



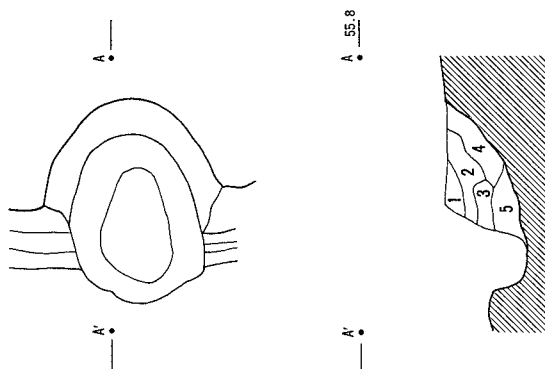
第135図 39号住居址 (1/60)

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
12		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	床面付近から出土。器外面に横、斜め方向の平行叩き。器内面に当て具痕が残る。



39号住居址東カマド

- 1層 暗褐色土 ローム粒子を微量含み、焼土粒子を極微量含む。
- 2層 暗赤褐色土 焼土粒子を多量に含む。
- 3層 暗黒褐色土 炭化物粒子を少量含み、ローム粒子を微量含む。
- 4層 暗茶褐色土 粘土粒子を少量含み、ローム粒子を微量含む。
- 5層 暗茶褐色土 焼土粒子を少量含み、ローム粒子を微量含む。
- 6層 暗茶褐色土 ローム粒子を少量含み、粘土粒子を微量含む。
- 7層 暗黄褐色土 ローム粒子を多量に含む。
- 8層 暗褐色土 ローム粒子、ローム小ブロックを少量含む。
- 9層 暗褐色土 ローム粒子を微量含み、焼土粒子を極微量含む。
- 10層 暗褐色土 ローム粒子を少量含む。



39号住居址北カマド

- 1層 暗褐色土 ローム粒子を微量含む。
- 2層 暗褐色土 ローム粒子を少量含み、焼土粒子を微量含む。
- 3層 暗黒褐色土 ローム粒子を微量含む。
- 4層 暗黄褐色土 ロームブロックを少量含む。
- 5層 暗黄褐色土 ローム粒子を多量に含む。

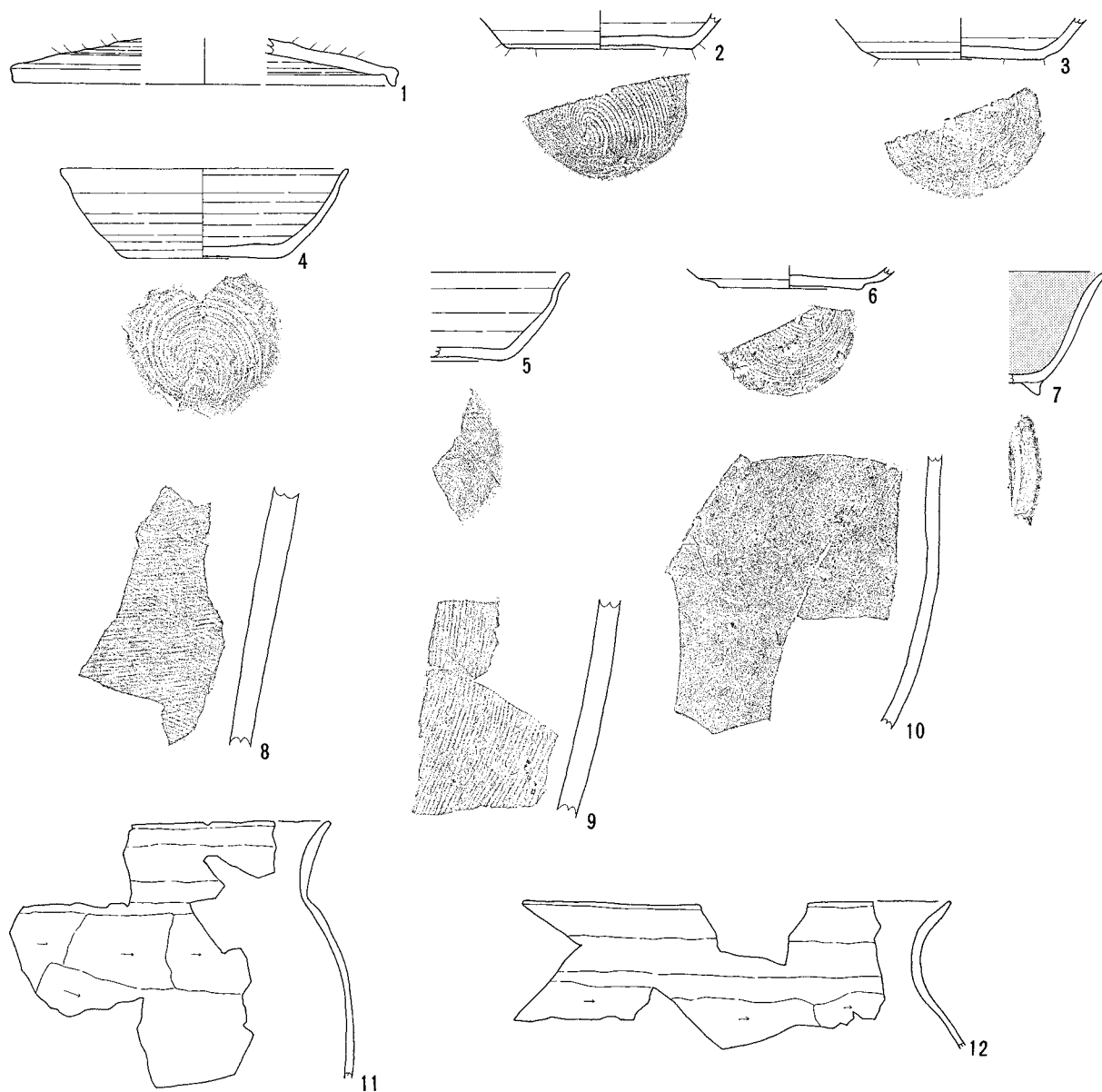
第136図 39号住居址東カマド (1/30) 北カマド (1/30)

39号住居址

本住居址は2～4号溝と重複しており、いずれの溝より住居址の方が古い。2号溝は住居址の床より掘り込みが深く、住居址を大きく破壊している。

住居址の規模は東西5m、南北3.9mをはかり、主軸方位はE-17.5°-Sである。平面プランは東西に長い方形を呈する。カマドは最初に北壁に築き、東壁に移している。床面の状況は、四隅を除く範囲が硬化している。貼床下は概ね平坦である。

壁は僅かな傾斜を持って立ち上がり、壁高は13cmをはかる。壁に沿って幅8～17cm、深さ11cmの周溝が東カマドを除き一巡していると思われる。



第137図 39号住居址出土遺物 (1/3)

東カマド

カマドは東壁の南寄りに位置する。規模は幅70cm、奥行109cmで、平面プランはU字状を呈する。壁外へは50cm掘り込んでいる。火床部は幅41cm、奥行43cmの不整形を呈し、床面から16cm掘り下げている。

北カマド

カマドは北壁の大きく東に寄った箇所に位置する。規模は幅70cm、奥行80cmで、平面プランはU字状を呈する。壁外へは43cm掘り込んでいる。火床部は幅28cm、奥行45cmの楕円形を呈し、床面から10cm掘り下げている。

第91表 39号住居址出土遺物観察表

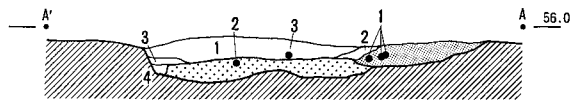
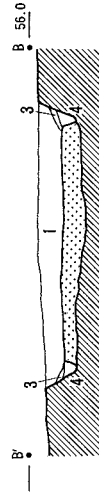
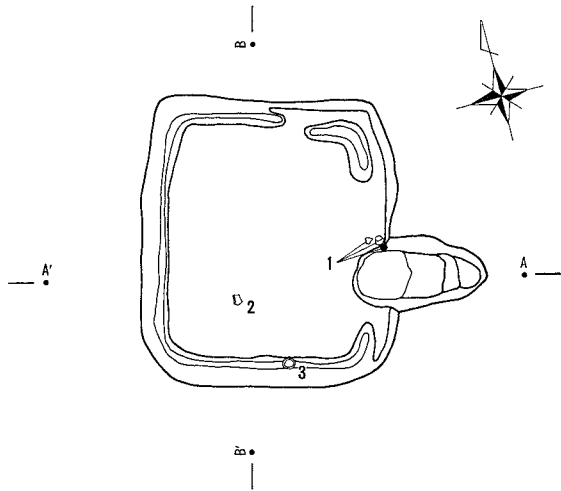
単位はcm ()は推定値 < >は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
1		蓋	(16.5)	-	-	-	還元焰焼成	周溝から出土。器内外面にロクロ水挽き整形後、天井部に回転篋削り。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。残存率20%。
2		坏	-	6.2	-	-	還元焰焼成	底部は回転糸切り後外周部回転篋削り。器内外面にロクロ水挽き整形。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。
3		坏	-	(7.1)	-	-	還元焰焼成	底部は回転糸切り後外周部回転篋削り。器内外面にロクロ水挽き整形。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。底部外面に「×」の篋記号。
4	42-4	坏	(12.4)	7.0	6.1	3.9	半還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は僅かに外反する。残存率65%。
5		坏	-	-	-	-	還元焰焼成	床面付近から出土。底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は僅かに外反する。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。
6		坏	-	(6.2)	-	-	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。
7		高台付坏	-	-	-	-	土師器	口縁部の器内外面に横ナデ整形。体部外面に指整形。口縁部は外反する。器内外面に赤色の彩色を施す。
8		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器外面に斜め方向の平行叩き。
9		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器外面に斜め方向の平行叩き。
10		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器外面に篋ナデ整形。
11		甕	-	-	-	-	土師器	貼床下出土。口縁部はくの字を呈する。口縁部の器内外面には横ナデ。胴部外面には横方向の篋削り。
12		甕	-	-	-	-	土師器	口縁部の器内外面には横ナデ。胴部外面には横方向の篋削り。

40号住居址

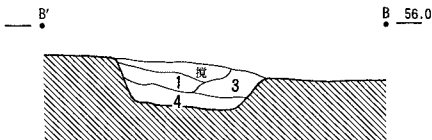
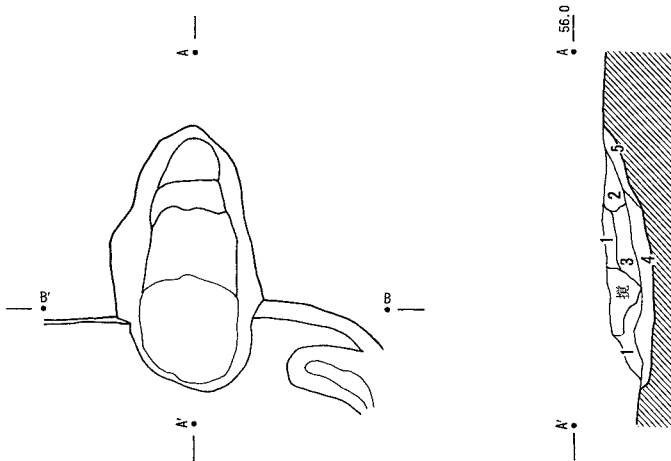
本住居址の規模は東西2.3m、南北2.9mをはかり、主軸方位はE-15°-Sである。平面プランは方形を呈する。カマドは東壁に築いている。床面の状況は、四隅と周溝周辺を除き硬化している。貼床下の北西コーナーと南東コーナー付近に長軸60~80cm、短軸50~65cmの土壙が検出された。

壁は傾斜を持って立ち上がり、壁高は14~17cmをはかる。壁に沿って幅6~12cm、深さ9cmの周溝が北壁で一部が切れているが、東カマドを除き概ね一巡している。



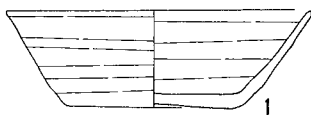
40号住居址

- 1 層 暗褐色土 ローム粒子を極微量含む。
- 2 層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子を微量含む。
- 3 層 暗褐色土 ローム粒子を少量含む。
- 4 層 暗黄褐色土 ローム粒子、ローム小ブロックを少量含む。



40号住居址カマド

- 1 層 暗黄褐色土 ローム粒子、粘土粒子を少量含む。
- 2 層 暗赤褐色土 焼土粒子を少量含む。
- 3 層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子を微量含む。
- 4 層 暗褐色土 ローム粒子少量含み、焼土粒子を微量含む。
- 5 層 暗褐色土 ローム粒子を多量に含む。



第138図 40号住居址 (1/60) カマド (1/30) 出土遺物 (1/3)

カマド

カマドは東壁の南寄りに位置する。規模は幅58cm、奥行105cmで、平面プランは細長のU字状を呈する。壁外へは73cm掘り込んでいる。火床部は幅38cm、奥行43cmの不整形を呈し、床面から6cm掘り下げている。

第92表 40号住居址出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 < >は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
1	42-1	坏	11.9	6.6	6.5	3.9	還元焰焼成	床面直上出土。底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。残存率50%。
2		坏	-	-	-	-	還元焰焼成	貼床下出土。底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。胎土は緻密。前内出窯跡系。
3		甕	-	4.6	-	-	土師器	周溝から出土。胴部外面に縦方向の篋削り。

41号住居址

本住居址の規模は東西2.9m、南北2.2mをはかり、主軸方位はE-6°-Sである。平面プランは方形を呈する。カマドは東壁に築いている。床面の状況は、四隅を除く範囲が硬化している。貼床下のカマド正面に長軸170cm、短軸100cmの土壌が検出された。

壁は傾斜を持って立ち上がり、壁高は27cmをはかる。壁に沿って幅5~14cm、深さ11cmの周溝が東カマドを除き一巡している。

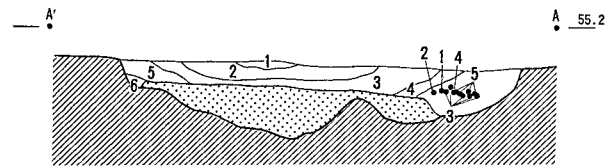
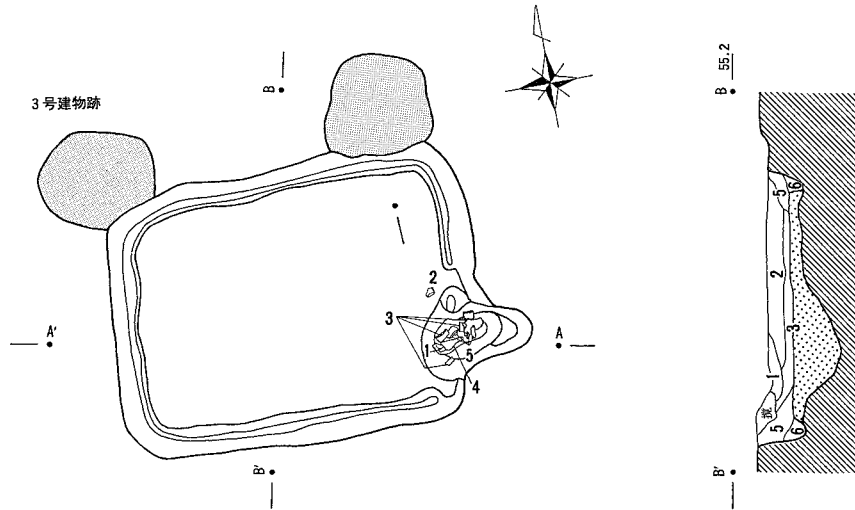
カマド

カマドは東壁の南寄りに位置する。規模は幅80cm、奥行89cmで、平面プランは細長のU字状を呈する。壁外へは50cm掘り込んでいる。火床部は幅29cm、奥行43cmの不整形を呈し、床面から18cm掘り下げている。

第93表 41号住居址出土遺物観察表

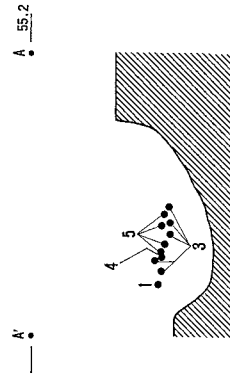
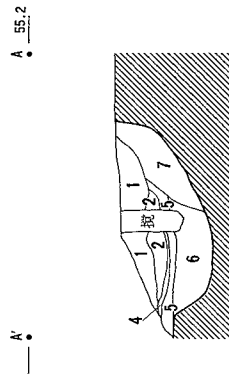
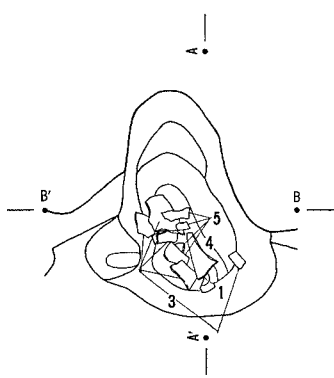
単位はcm ()は推定値 < >は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
1	43-1	坏	(13.1)	(7.9)	(8.4)	3.3	還元焰焼成	カマドから出土。底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。残存率30%。
2		坏	(12.4)	(6.5)	(7.6)	4.0	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。器内面の口唇部に煤の付着が見られる。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。



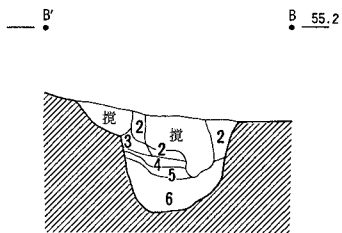
41号住居址

- 1層 暗褐色土 ローム粒子を微量含む。
- 2層 暗褐色土 ローム粒子を微量含む。
- 3層 暗黄褐色土 ローム粒子を少量含む。
- 4層 暗褐色土 ローム粒子を微量含み、焼土粒子、炭化物粒子を極微量含む。
- 5層 暗褐色土 ローム粒子を極微量含む。
- 6層 暗黄褐色土 ローム粒子を多量に含む。

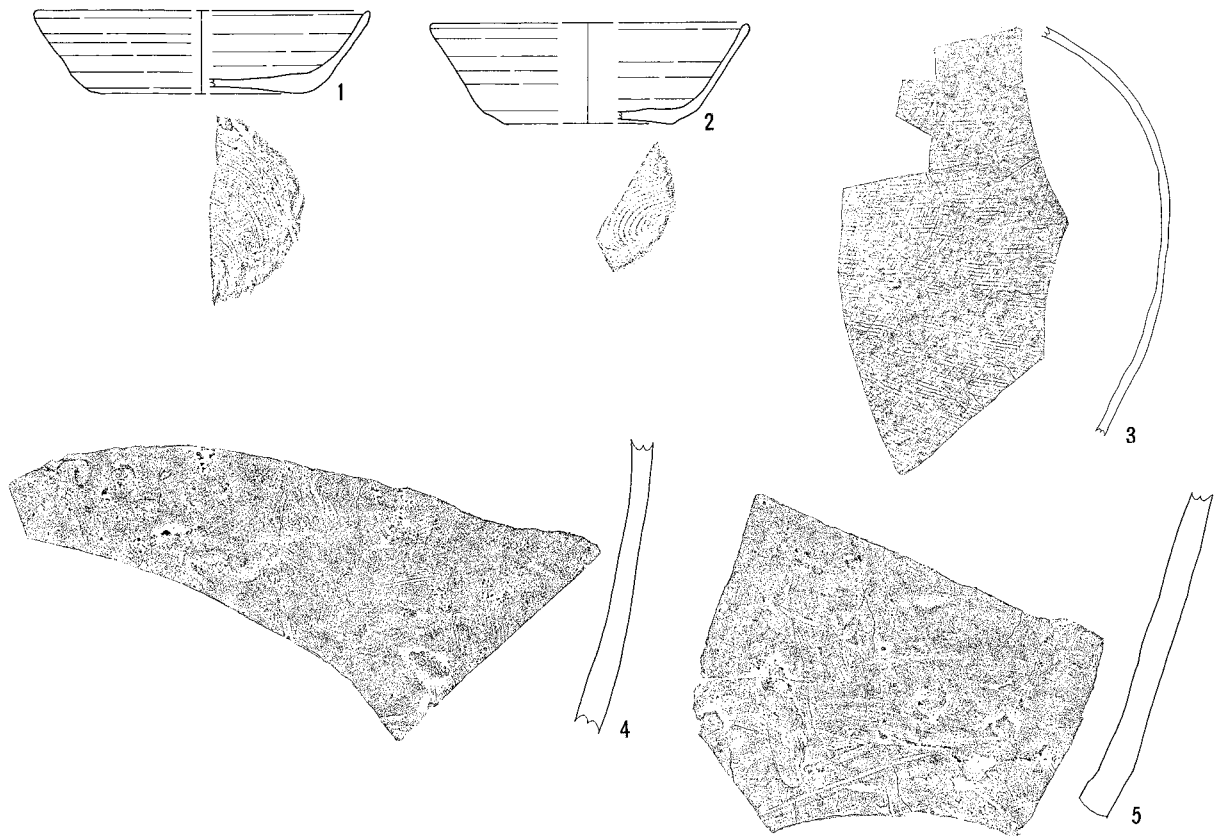


41号住居址カマド

- 1層 暗褐色土 ローム粒子を少量含み、焼土粒子、炭化物粒子を微量含む。
- 2層 暗褐色土 炭化物粒子を少量含み、ローム粒子、焼土粒子を微量含む。
- 3層 暗赤褐色土 焼土粒子を多量に含み、ローム粒子を少量含む。
- 4層 黒褐色土 炭化物粒子を多量に含み、焼土粒子を極微量含む。
- 5層 暗赤褐色土 焼土粒子を多量に含み、ローム粒子を微量含む。
- 6層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子を少量含み、炭化物粒子を微量含む。
- 7層 暗黄褐色土 ローム粒子を多量に含む。



第139図 41号住居址 (1/60) カマド (1/30)



第140図 41号住居址出土遺物 (1/3) 但し、3は (1/6)

第94表 41号住居址出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 < >は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
4	43-4	甕	-	-	-	-	還元焰焼成	カマドから出土。器外面にナデ整形。器内面には当て具痕が残る。
5	43-5	甕	-	-	-	-	還元焰焼成	カマドから出土。器外面にナデ整形と匏整形。器内面に指整形と匏整形。甌の可能性も考えられる。

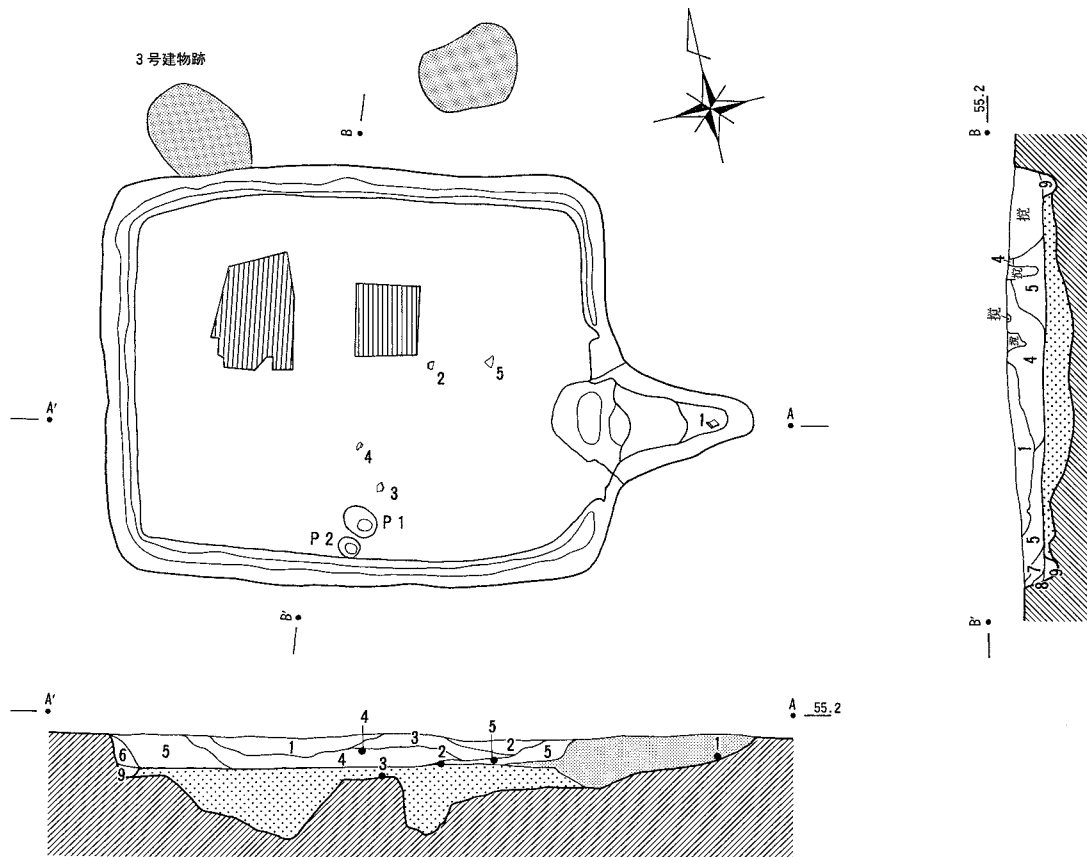
42号住居址

本住居址の規模は東西4m、南北3.3mをはかり、主軸方位はE-12.5°-Sである。平面プランは僅かに東西に長い方形を呈する。カマドは東壁に築いている。

床面の状況は、中央が硬化している。貼床下は住居址の中央付近に長軸150cm、短軸90cm、深さ26cmと長軸220cm、短軸185cm、深さ45cmの土壙が検出された。

壁は僅かな傾斜を持って立ち上がり、壁高は27cmをはかる。壁に沿って幅9~18cm、深さ10cmの周溝が東カマドを除き一巡している。

南壁のはほぼ中央に、柱穴を2本確認した。P1は長軸30cm、短軸22cm、深さ51cmをはかる。P2は径10cm、深さ16cmをはかる。



42号住居址

- 1層 明褐色土 ロームブロック、粘土ブロックを多量に含む。
- 2層 暗褐色土 ローム粒子を少量含む。
- 3層 暗褐色土 ローム粒子を多量に含む。
- 4層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子、粘土粒子を含む。
- 5層 暗黒褐色土 焼土粒子を多量に含み、ローム粒子、ロームブロック、粘土粒子を少量含む。
- 6層 暗黄褐色土 ロームブロックを多量に含む。
- 7層 暗褐色土 ローム粒子を含む。
- 8層 暗黄褐色土 ロームブロック、粘土粒子を多量に含む。
- 9層 黒褐色土 焼土粒子、粘土粒子を微量含む。

第141図 42号住居址 (1/60)

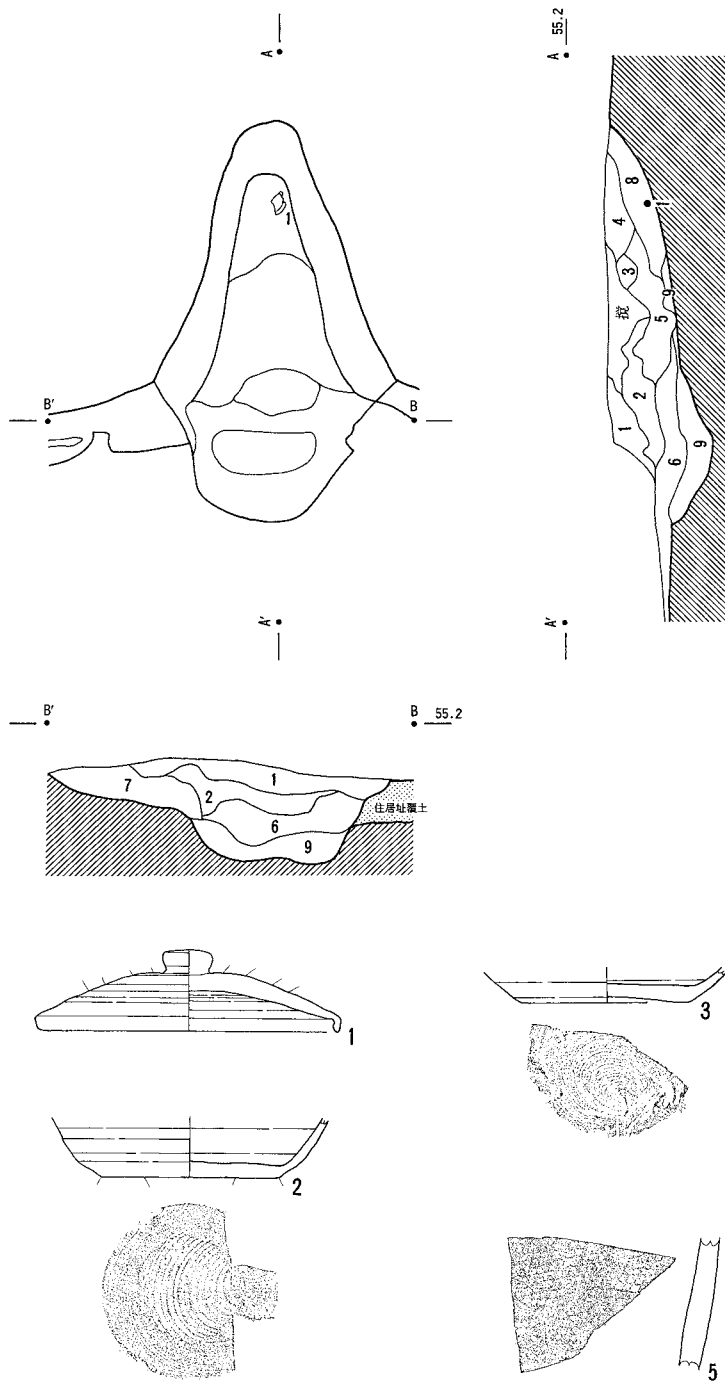
カマド

カマドは東壁の中央よりやや南寄りに位置する。規模は幅96cm、奥行157cmで、平面プランは細長のU字状を呈する。壁外へは100cm掘り込んでいる。火床部は幅36cm、奥行18cmの楕円形を呈し、床面から19cm掘り下げている。

第95表 42号住居址出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 ()は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
1	43-1	蓋	(11.3)	-	-	3.3	還元焰焼成	器内外面にロクロ水挽き整形後、天井部に回転篋削り。径2cmのつまみを天井部に貼り付けている。残存率45%。
2		坏	-	6.9	7.2	-	還元焰焼成	床面直上出土。底部は回転糸切り後外周部回転篋削り。器内外面にロクロ水挽き整形。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。底部内外面の墨書を確認できるが文字の判読が出来ない。



42号住居址カマド

- 1層 暗褐色土 焼土粒子、粘土粒子を極微量含む。
- 2層 暗褐色土 焼土粒子を微量含む。
- 3層 暗褐色土 焼土粒子を極微量含む。
- 4層 黒褐色土 焼土粒子を少量含む。
- 5層 明赤褐色土 焼土層。
- 6層 赤褐色土 焼土粒子、焼土ブロック、炭化物を多量に含む。
- 7層 明茶褐色土 粘土層。
- 8層 赤褐色土 焼土粒子、焼土ブロックを多量に含み、粘土粒子を少量含む。
- 9層 黒褐色土 ローム粒子、ロームブロックを多量に含む。

第142図 42号住居址カマド (1/30) 出土遺物 (1/3)

第96表 42号住居址出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 ()は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
3		坏	-	(6.6)	-	-	還元焰焼成	貼床下出土。底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。
4		坏	-	(6.0)	-	-	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。
5		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	床面付近から出土。器外面に格子の叩き。器内面に僅かに当て具痕が残る。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。

44号住居址

本住居址の規模は東西5.1m、南北4.3mをはかり、主軸方位はN-89°-Eである。平面プランは僅かに東西に長い方形を呈する。カマドは東壁に築いている。床面の状況は、四隅を除く範囲が硬化している。貼床下は住居址の中央付近に、長軸120~150cm、短軸100~130cm、深さ11~20cmの土壇4基と径50cm前後、深さ20~56cmの柱穴4本を検出した。

壁は僅かな傾斜を持って立ち上がり、壁高は64cmをはかる。壁に沿って幅6~15cm、深さ8cmの周溝が東カマド付近を除き一巡している。

南壁中央の床面近くから土製支脚が出土している。支脚は円錐形を呈し、粘土を固めたシンプルな作りになっている。

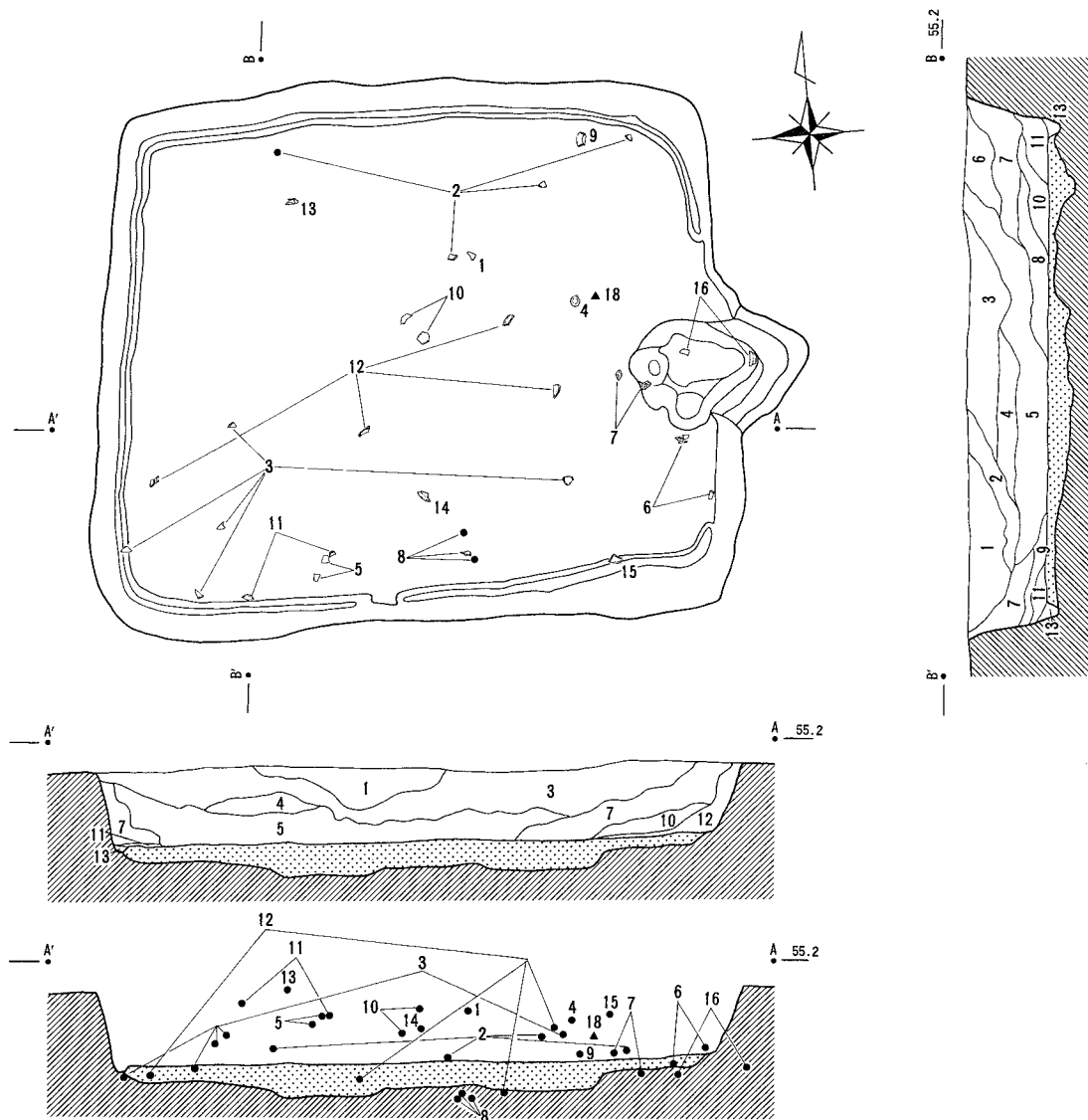
カマド

カマドは東壁の中央よりやや南寄りに位置する。規模は幅100cm、奥行145cmで、平面プランは細長のU字状を呈する。壁外へは56cm掘り込んでいる。火床部は径10cm前後の円形を呈し、床面から19cm掘り下げている。

第97表 44号住居址出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 ()は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
1		蓋	-	-	-	-	還元焰焼成	器内外面にロクロ水挽き整形後、天井部に回転篋削り。つまみは径が3.3cmで中央が窪む。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。
2	43-2	蓋	(14.3)	-	-	-	還元焰焼成	短頸壺の蓋。器内外面にロクロ水挽き整形後、天井部に回転篋削り。口縁部は直角に屈曲する。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。残存率30%。
3	43-3	坏	13.8	7.1	8.3	4.4	還元焰焼成	底部は回転糸切り後全面回転篋削り。器内外面にロクロ水挽き整形。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。残存率70%。
4		坏	(13.4)	7.9	-	3.8	還元焰焼成	底部は回転糸切り後全面回転篋削り。器内外面にロクロ水挽き整形。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。残存率40%。



44号住居址

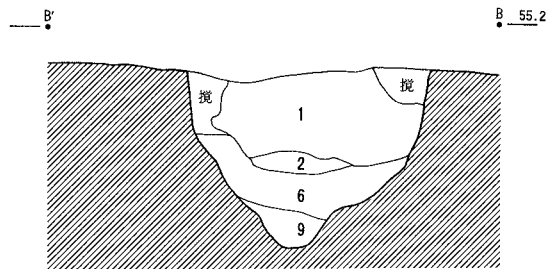
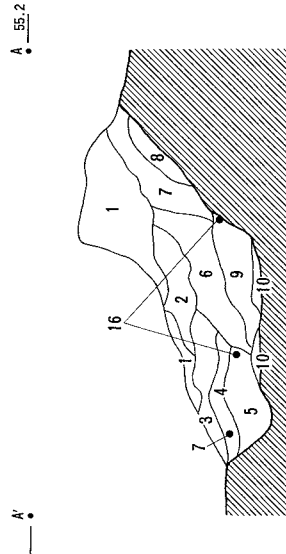
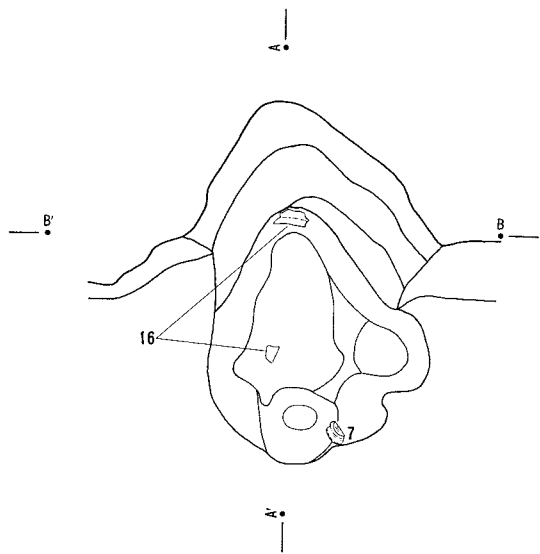
- | | |
|---------------------------------------|---|
| 1層 暗黒褐色土 ローム粒子、焼土粒子を微量含む。 | 8層 暗黒褐色土 ローム粒子、炭化物粒子を微量含み、ローム小ブロックを極微量含む。 |
| 2層 暗茶褐色土 ローム粒子を少量含む。 | 9層 暗黄茶褐色土 ローム粒子を多量に含み、ローム小ブロックを少量含む。 |
| 3層 暗黒茶褐色土 ローム粒子を微量含む。 | 10層 暗茶褐色土 ローム粒子を少量含み、焼土粒子を微量含む。 |
| 4層 暗黒褐色土 ローム粒子を極微量含む。 | 11層 暗茶褐色土 ローム粒子を含む。 |
| 5層 暗茶褐色土 ローム粒子を微量含み、焼土粒子、炭化物粒子を極微量含む。 | 12層 暗茶褐色土 ローム粒子、焼土粒子を少量含み、炭化物粒子を微量含む。 |
| 6層 暗茶褐色土 ローム粒子を微量含む。 | 13層 暗黄褐色土 ローム粒子を少量含み、ローム小ブロックを微量含む。 |
| 7層 暗黒茶褐色土 ローム粒子を微量含む。 | |

第143図 44号住居址 (1/60)

第98表 44号住居址出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 < >は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
5		坏	(13.3)	6.9	-	4.0	半還元焰焼成	底部は回転糸切り後外周部回転篋削り。器内外面にロクロ水挽き整形。器内面の体部と底部の変換点に爪先技法が見られる。残存率45%。
6	43-6	坏	(12.8)	7.1	-	3.2	還元焰焼成	床面直上出土。底部は回転糸切り後外周部回転篋削り。器内外面にロクロ水挽き整形。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。残存率50%。

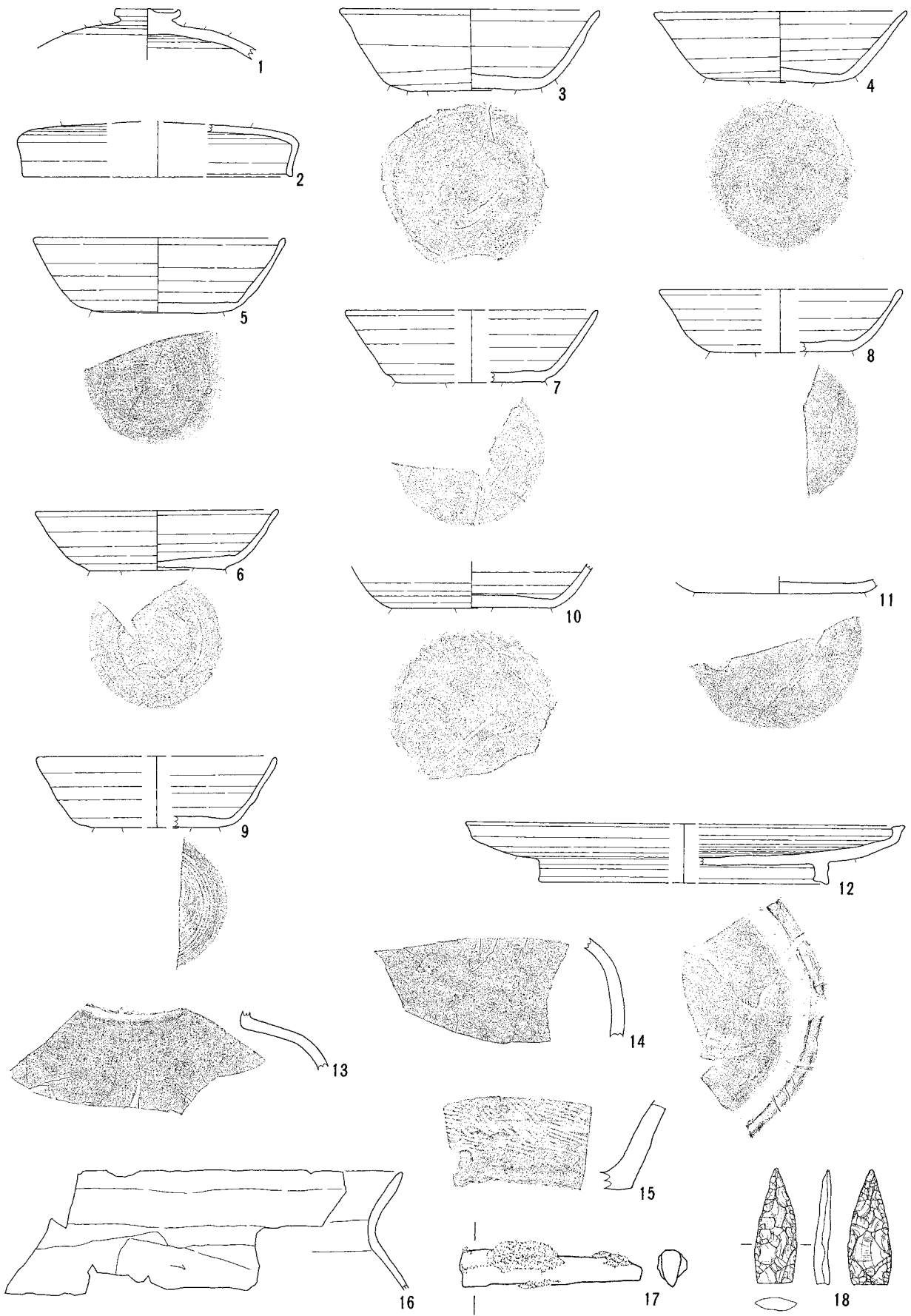


44号住居址カマド

- 1層 暗黄褐色土 粘土粒子を多量に含み、粘土ブロックを少量含み、ローム粒子、焼土粒子を微量含む。
- 2層 黒褐色土 ローム粒子、焼土粒子を微量含み、粘土粒子を極微量含む。
- 3層 暗赤褐色土 焼土粒子を多量に含み、炭化物粒子、粘土粒子を微量含む。
- 4層 暗赤褐色土 焼土粒子を多量に含み、炭化物粒子を少量含み、粘土粒子を微量含む。
- 5層 暗赤褐色土 焼土粒子を多量に含み、粘土粒子を微量含み、炭化物粒子を極微量含む。
- 6層 暗赤褐色土 焼土粒子を多量に含み、炭化物粒子を極微量含む。
- 7層 暗赤褐色土 焼土粒子を少量含む。
- 8層 黒褐色土 焼土粒子を極微量含む。
- 9層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子を少量含み、炭化物粒子を極微量含む。
- 10層 黒褐色土 ロームブロックを多量に含む。

第144図 44号住居址カマド (1/30)

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
7	43-7	坏	(13.4)	(7.9)	(7.7)	3.9	還元焰焼成	床面付近から出土。底部は回転糸切り後全面回転篋削り。器内外面にロクロ水挽き整形。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。残存率45%。
8		坏	(12.9)	(7.5)	-	3.3	還元焰焼成	貼床下出土。底部は回転糸切り後外周部回転篋削り。器内外面にロクロ水挽き整形。器内面の体部と底部の変換点に爪先技法が見られる。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。残存率20%。
9		坏	(12.7)	(6.6)	-	3.8	還元焰焼成	床面付近から出土。底部は回転糸切り後外周部回転篋削り。器内外面にロクロ水挽き整形。器内面の体部と底部の変換点に爪先技法が見られる。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。残存率20%。
10		坏	-	8.4	8.4	-	還元焰焼成	底部は回転糸切り後外周部回転篋削り。器内外面にロクロ水挽き整形。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。



第145図 44号住居址出土遺物 (1/3) 但し、17、18は (2/3)

第99表 44号住居址出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 ()は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
11		坏	-	9.0	-	-	還元焰焼成	底部は回転糸切り後全面回転篋削り。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。
12	43-12	高台付盤	(23.3)	(15.3)	-	3.2	半還元焰焼成	底部は回転糸切り後回転篋削りを行い、高台を貼り付け。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は直立し、口唇部は平坦で僅かに外反する。胎土は緻密である。前内出窯跡系。残存率45%。
13		壺	-	-	-	-	還元焰焼成	器内外面にロクロ水挽き整形。肩部に自然釉が残る。14と同一個体と考えられる。
14		壺	-	-	-	-	還元焰焼成	器内外面にロクロ水挽き整形。肩部に自然釉が残る。13と同一個体と考えられる。
15		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器外面に斜め方向の平行叩き。器内面はナデ整形。胎土に雲母を含む。常陸窯跡産である。
16		甕	-	-	-	-	土師器	口縁部の器内外面に横ナデ整形。胴部外面に斜め方向の篋削り。

挿図番号	図版番号	種類	長さ	幅	厚み	観察・特徴
17		刀子	〈4.8〉	1.0	0.5	関部から茎が残る。茎部にわずかであるが木質が付着している。刃部は平造りである。

挿図番号	図版番号	種類	長さ	幅	重さ(g)	石質	観察・特徴
18		尖頭器	〈4.1〉	1.4	〈3.25〉	黒曜石	基部を欠損する。調整加工は正面、裏面ともが両側縁に調整剥離を行っている。正面はレンズ状に仕上げ、裏面は平坦である。

(2) 掘立柱建物跡

1号掘立柱建物跡

本遺構は4号溝と重複しているが、周辺は比較的遺構が少ないエリアである。

側柱式掘立柱建物跡で、桁行3間(8.38m)、梁行2間(5.02m)である。主軸方位はE-12°-Sである。柱痕は、P2で確認できた。梁行方向の柱穴間の中心距離は2.5m前後で、桁行方向の柱穴間の中心距離は2.5~3.1mである。

柱の掘方は円形を呈し、径0.9~1.35mをはかり、深さは確認面から53~78cmである。掘方の軸はほぼそろっている。

遺物は、柱穴の覆土から須恵器の坏、甕の小破片が数点出土している。

第100表 1号掘立柱建物跡出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 < >は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
1		坏	-	(6.4)	-	-	半還元焰焼成	P6から出土。底部は回転糸切り後外周部回転篋削り。器内外面にロクロ水挽き整形。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。
2		短頸壺	-	-	-	-	還元焰焼成	P3から出土。器内外面にロクロ水挽き整形。器内外面に自然釉が見られる。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。
3		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	P7から出土。器内外面にロクロ水挽き整形。器外面に波状文が横走。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。
4		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	P3から出土。器外面に斜め方向の平行叩き。器内面にナデ整形。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。

2号掘立柱建物跡

本遺構は単独の遺構であるが、東に3～6号掘立柱建物跡が隣接する。

側柱式掘立柱建物跡で、桁行3間(5.65m)、梁行2間(3.45m)である。主軸方位はN-45°-Eである。梁行方向の柱穴間の中心距離は1.7～2mで、桁行方向の柱穴間の中心距離は1.7mである。柱痕は、全ての柱穴で確認できた。径は14～22cmをはかる。

柱穴の掘方は円形を呈し、径38～68cmをはかり、深さは確認面から20～64cmである。掘方の軸はほぼそろっている。北西コーナーと南西コーナーの柱穴は、柱位置を調整するために掘り直している。

3号掘立柱建物跡

本遺構は南に位置する41、42号住居址と僅かではあるが重複する。また、北東コーナーの柱穴が、5号掘立柱建物跡の南西コーナーの柱穴と重複する。新旧関係は41、42号住居址と5号掘立柱建物跡が新しい。

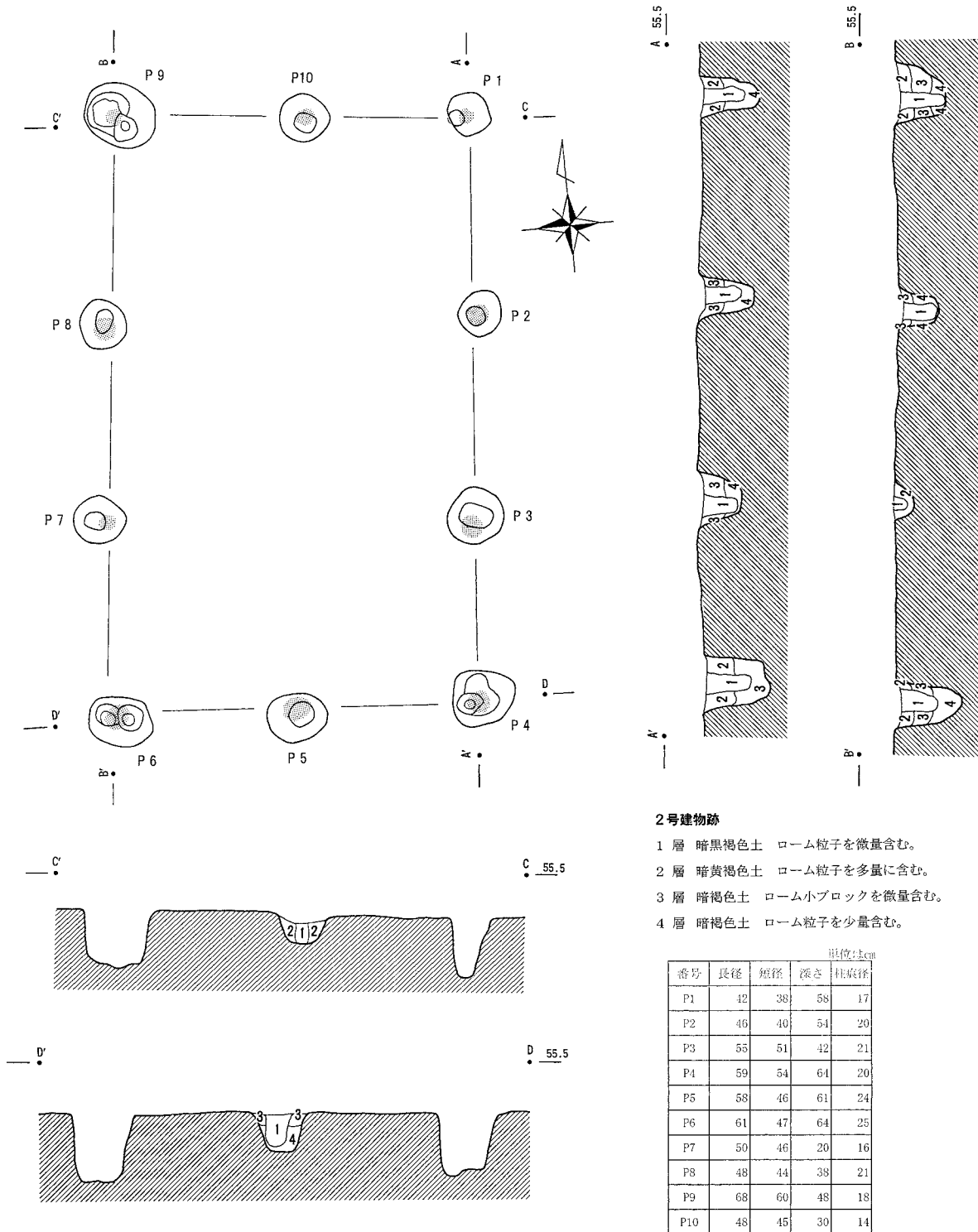
側柱式掘立柱建物跡で、桁行3間(6.33m)、梁行2間(4.3m)である。主軸方位はE-3°-Sである。梁行方向の柱穴間の中心距離は1.8～2.2mで、桁行方向の柱穴間の中心距離は2.1mである。柱痕は、全ての柱穴で確認できた。径は18～26cmをはかる。

柱穴の掘方は円形を呈し、径62～104cmをはかり、深さは確認面から51～87cmである。掘方の軸はほぼそろっている。

4号掘立柱建物跡

本遺構は31号住居址、5、6号掘立柱建物跡と重複する。新旧関係は31号住居址と6号掘立柱建物跡は古く、5号掘立柱建物跡は新しい。

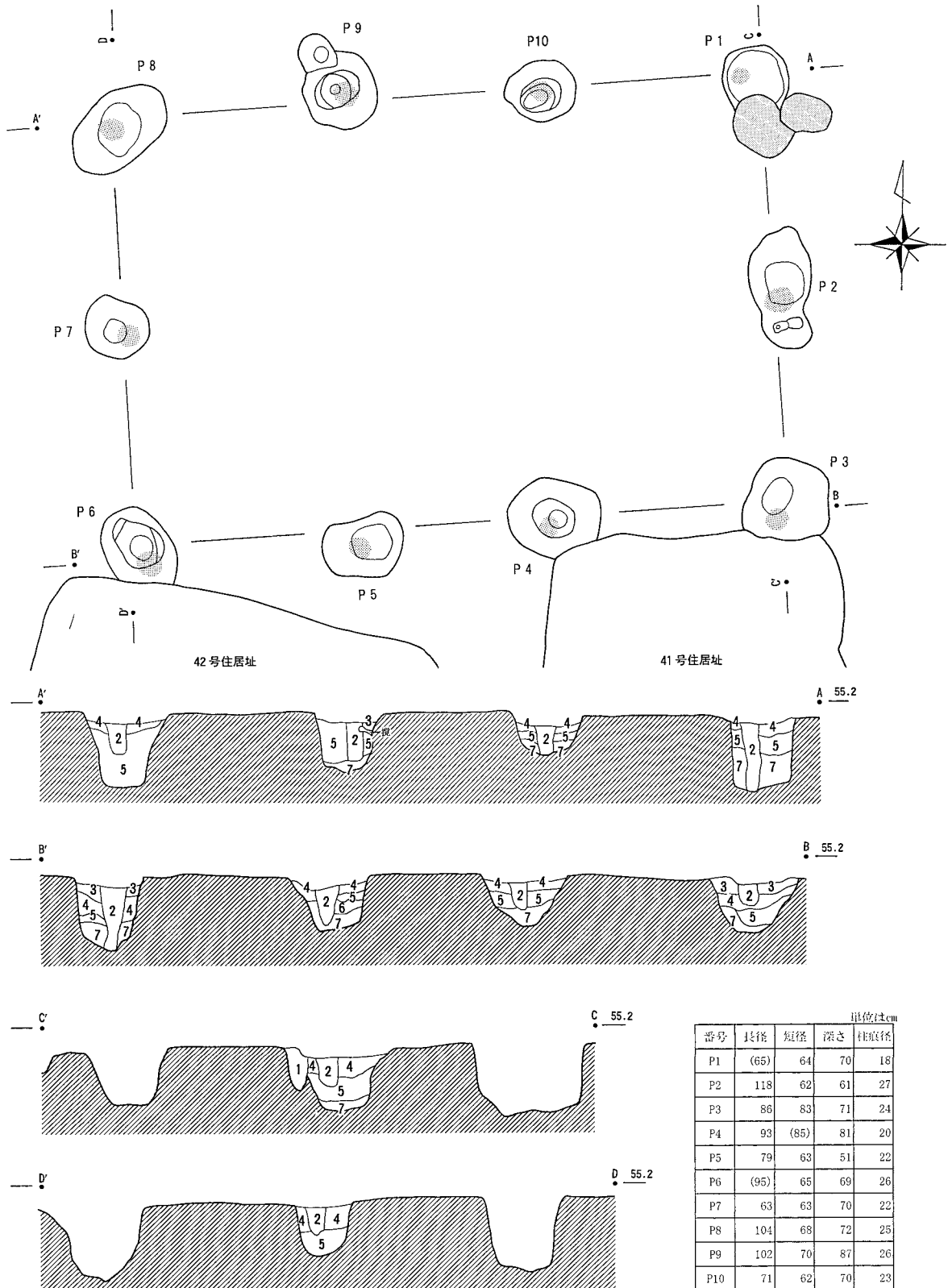
側柱式掘立柱建物跡で、桁行3間(5.9m)、梁行2間(4.65m)である。主軸方位はE-2°-Nである。



第147図 2号掘立柱建物跡 (1/60)

柱間は桁行間が1.6~2.2m、梁行間が2~2.3mである。柱痕は全ての柱穴で確認できた。径は15~22cmをはかる。

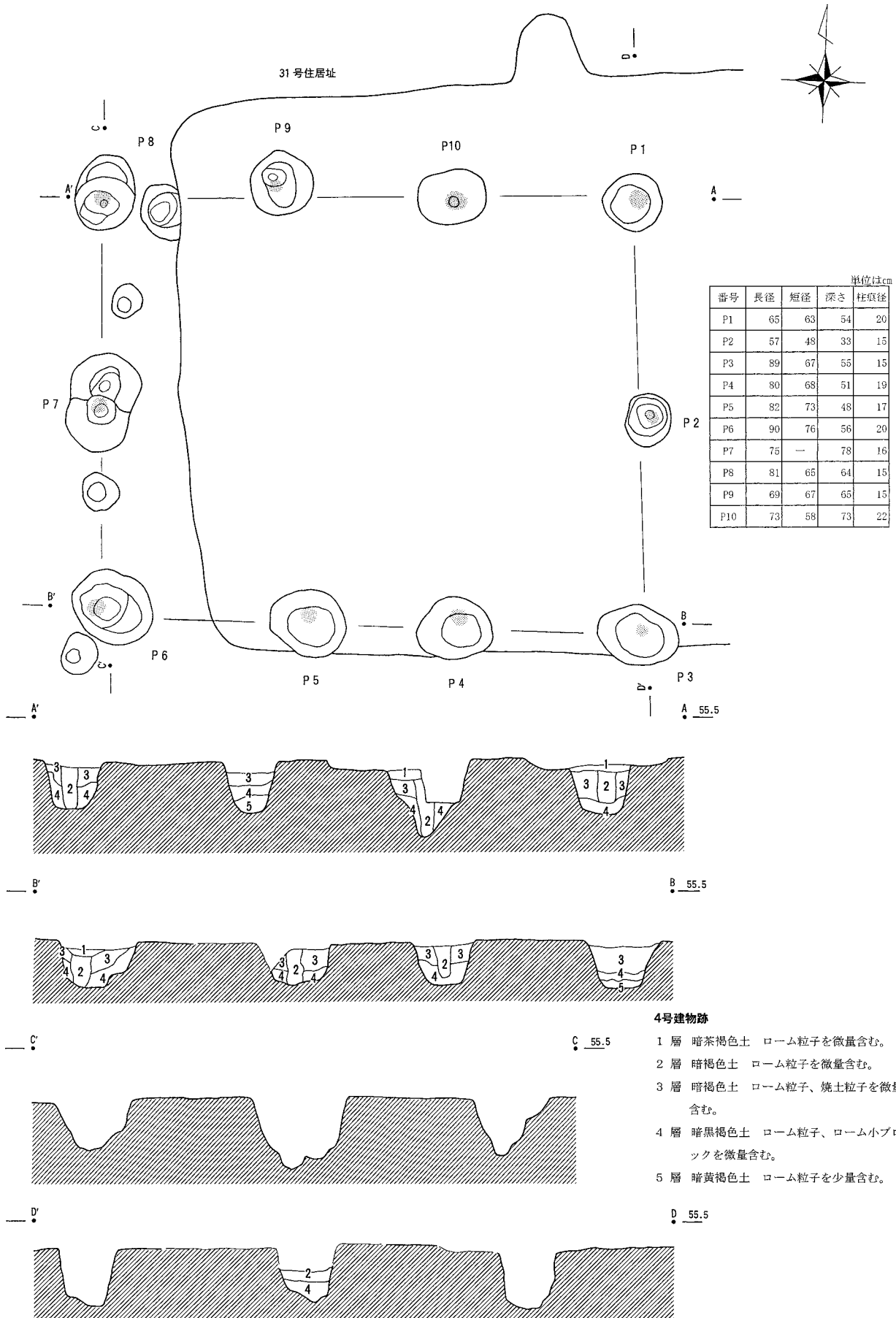
柱穴の掘方は円形を呈し、径63~90cmをはかり、深さは確認面から33~78cmである。掘方の軸はほぼそろっている。西の側柱3本は、柱位置を調整するために掘り直している。



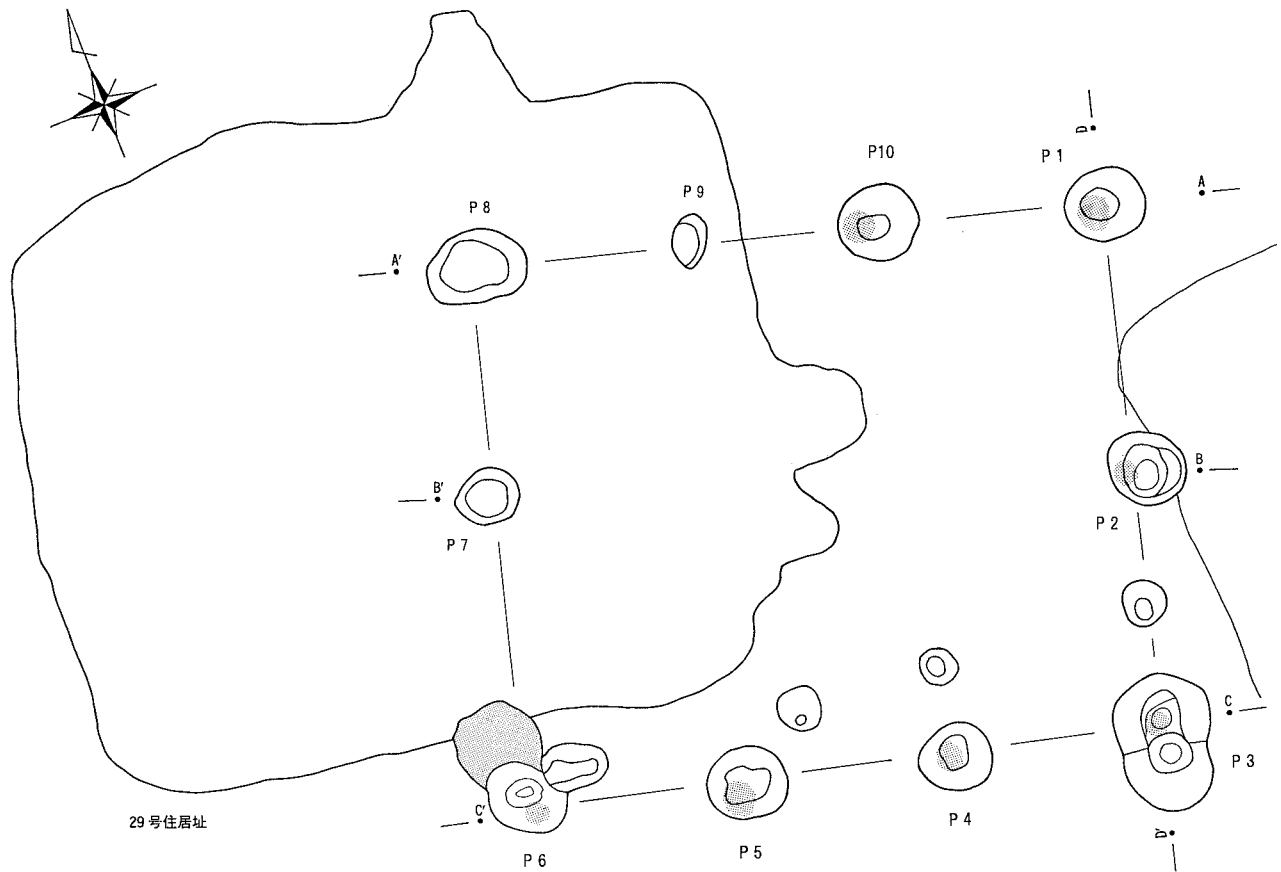
3号建物跡

- 1層 暗褐色土 ローム粒子を含む。
- 2層 暗黒褐色土 ローム粒子を微量含む。
- 3層 暗黒茶褐色土 ロームブロックを含み、ローム粒子を少量含む。
- 4層 暗黒褐色土 ローム粒子を微量含む。
- 5層 暗褐色土 ローム粒子を少量含み、ロームブロックを微量含む。
- 6層 暗黒褐色土 ローム粒子を極微量含む。
- 7層 暗黄褐色土 ローム粒子を多量に含む。

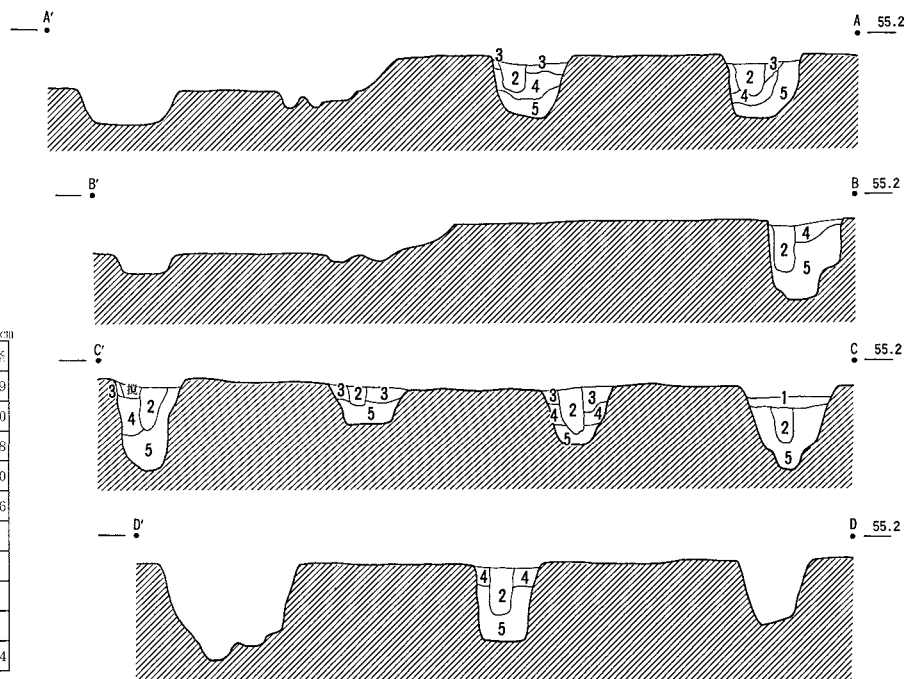
第148図 3号掘立柱建物跡 (1/60)



第149図 4号掘立柱建物跡 (1/60)



29号住居址



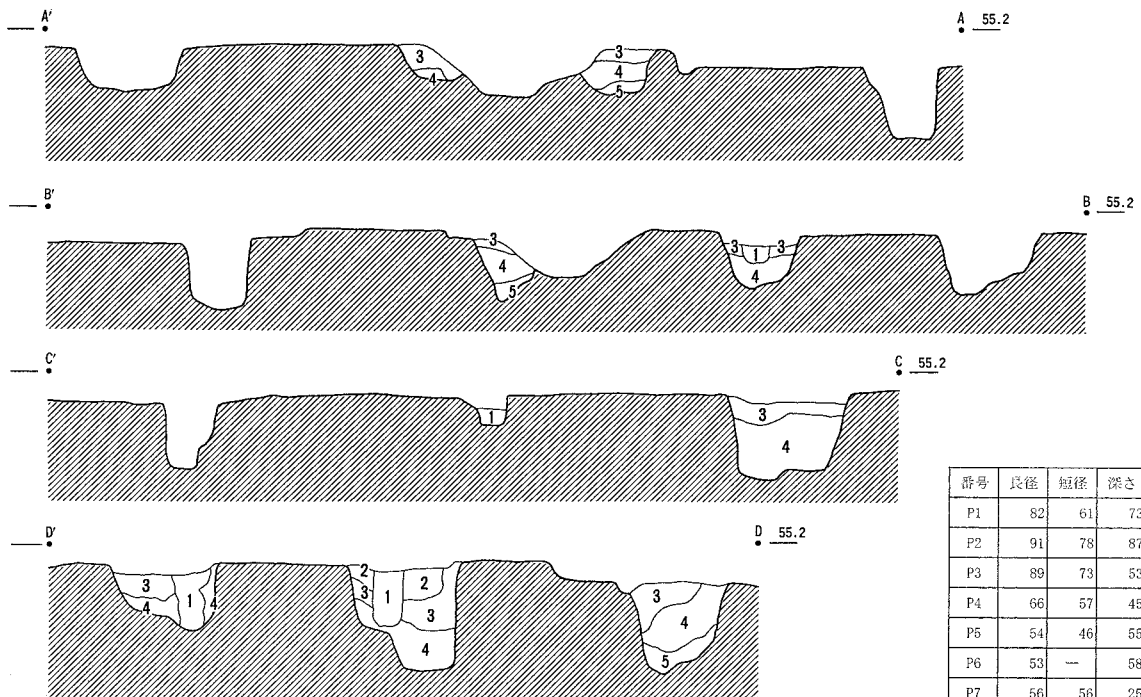
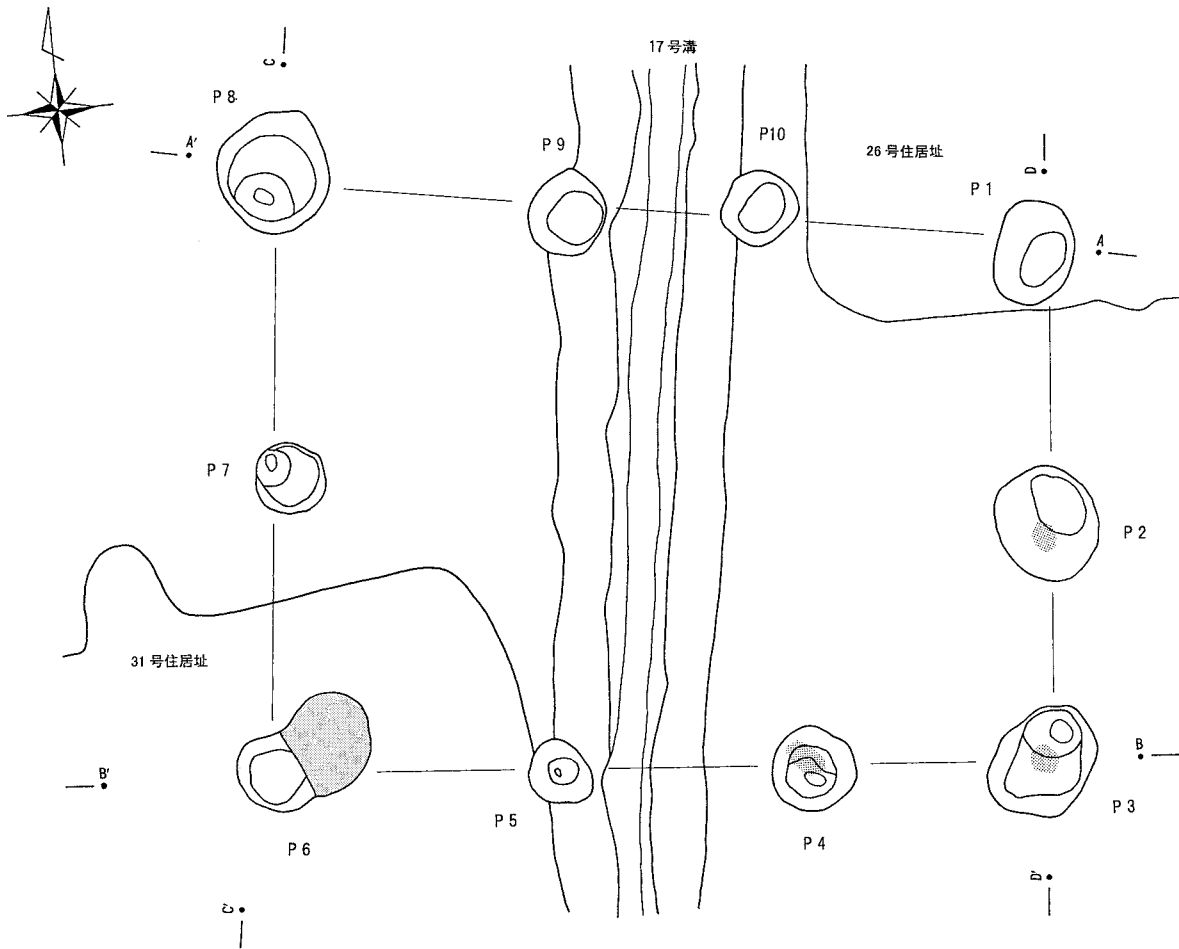
単位:cm

番号	長径	短径	深さ	柱底径
P1	65	57	52	29
P2	60	44	66	20
P3	76	—	64	18
P4	57	54	45	20
P5	62	57	32	26
P6	(60)	(60)	73	—
P7	50	44	—	—
P8	78	57	—	—
P9	—	—	40	—
P10	63	61	51	24

5号建物跡

- 1層 明黄褐色土 粘土ブロックを含む。
- 2層 暗褐色土 ローム粒子を極微量含む。
- 3層 暗黄褐色土 ローム粒子を多量に含む。
- 4層 暗褐色土 ローム粒子を微量含む。
- 5層 暗黄褐色土 ローム粒子、ロームを多量に含む。

第150図 5号掘立柱建物跡 (1/60)



6号建物跡

- 1層 暗黒褐色土 ローム粒子を極微量含む。
- 2層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子を微量含む。
- 3層 暗褐色土 ローム粒子を微量含む。
- 4層 暗茶褐色土 ローム粒子を少量含む。
- 5層 暗茶褐色土 ローム粒子を多量に含む。

単位[cm]

番号	長径	短径	深さ	柱径径
P1	82	61	73	—
P2	91	78	87	22
P3	89	73	53	22
P4	66	57	45	28
P5	54	46	55	—
P6	53	—	58	—
P7	56	56	25	—
P8	98	87	68	—
P9	69	59	28	—
P10	61	55	37	—

第151図 6号掘立柱建物跡 (1/60)

5号掘立柱建物跡

本遺構は29号住居址、3、4号掘立柱建物跡と重複する。新旧関係は29号住居址より古く、3、4号掘立柱建物跡より新しい。

側柱式掘立柱建物跡で、桁行3間（5m）、梁行2間（4.2m）である。主軸方位はE-14.5°-Sである。柱間は桁行間が1.7m、梁行間が1.8~2.3mである。柱痕が確認できたのは、29号住居址と重複する3本を除いた7本の柱穴で確認ができた。径は18~30cmをはかる。

柱穴の掘方は円形を呈し、径44~78cmをはかり、深さは確認面から32~73cmである。南東コーナーと南西コーナーの柱は、柱位置を調整するために掘り直している。掘方の軸はほぼそろっている。

6号掘立柱建物跡

本遺構は26、31号住居址、17号溝と重複する。新旧関係は26、31号住居址より新しく、17号溝より古い。側柱式掘立柱建物跡で、桁行3間（6.1m）、梁行2間（4.6m）である。主軸方位はE-7°-Sである。柱間は桁行間が1.5~2.4m、梁行間が2~2.3mである。柱痕が確認できたのは、南東コーナーと桁梁方向の1本ずつである。径は20~30cmをはかる。

柱穴の掘方は円形を呈し、径54~98cmをはかり、深さは確認面から37~87cmである。南東コーナーの柱は、柱位置を調整するために掘り直している。掘方の軸は北側桁行を除き、ほぼそろっている。

(3) 井戸址

1号井戸址

7区の2号水路の北に位置する。規模は長軸1.3m、短軸1m、深さ1.9mをはかり、平面プランは楕円形を呈する。壁はほぼ垂直に立ち上がり、壁の途中が僅かにオーバーハングする。底面は長軸64cm、短軸50cmの楕円形である。

深さ1.2m付近には大形の礫が集中することや、覆土の状況から埋め戻していることが理解できる。最下層からは、須恵器の甕片が出土している。

第101表 1号井戸址出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 ()は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
1		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	下層出土。陶質。器外面に格子の叩き。

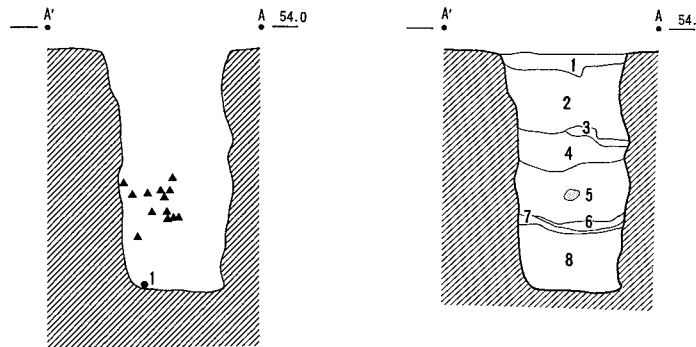
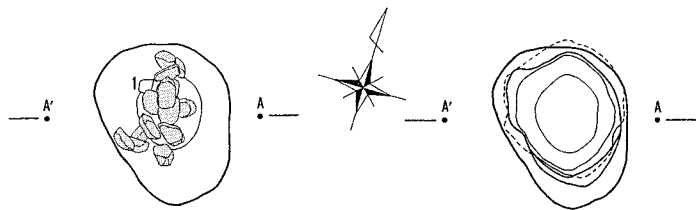
2号井戸址

規模は径1.8m、深さ2.5mをはかり、平面プランは円形を呈する。底面は大形礫を含む砂利層に達し、径80~90cmをはかり、不整円形を呈する。壁は開口部が八の字に開くが、その他はほぼ垂直に立ち上がる。壁の途中には、オーバーハングがみられる。埋め戻す際に投げ込まれた礫が、深さ1.5m付近に集中する。

第102表 2号井戸址出土遺物観察表

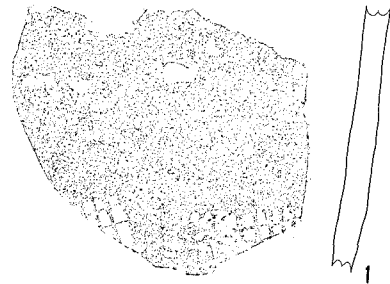
単位はcm ()は推定値 ()は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
1		鉢	-	-	-	-	半還元焰焼成	中層出土。器内外面にロクロ水挽き整形。胴部下半外面には回転篋削り。底部に高台を備え、推定高台径は13.6cm。

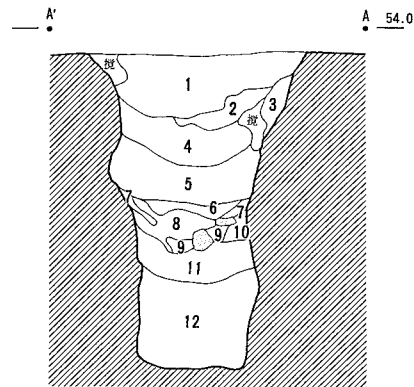
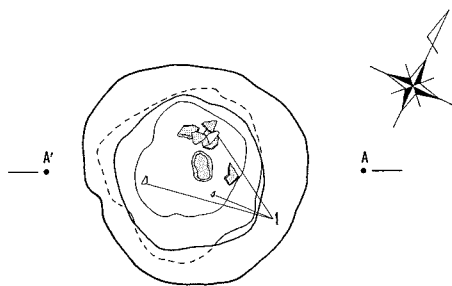


1号井戸址

- 1層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子を微量含む。
- 2層 暗褐色土 ローム粒子、ロームブロック、焼土粒子を微量含む。
- 3層 明褐色土 ローム粒子、ロームブロックを多量に含む。
- 4層 暗褐色土 ローム粒子、ロームブロックを微量含む。
- 5層 暗黒褐色土 ローム粒子を少量含み、ロームブロックを微量含む。
- 6層 暗褐色土 ローム粒子を少量含む。
- 7層 暗黄褐色土 ローム、ローム粒子を多量に含む。
- 8層 黒褐色土 ローム粒子を微量含む。

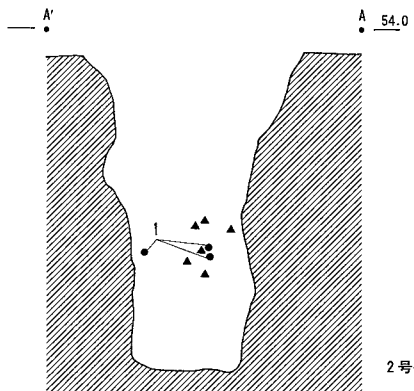


1号井戸址



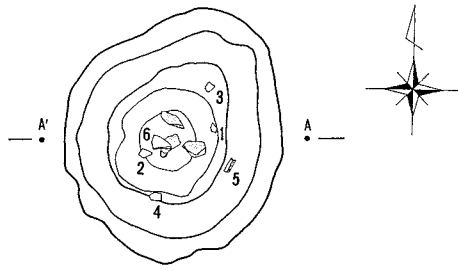
2号井戸址

- 1層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子、炭化物粒子を微量含む。
- 2層 暗黄褐色土 ロームブロックを少量含む。
- 3層 暗褐色土 ローム粒子、ロームブロックを微量含む。
- 4層 暗褐色土 ローム粒子を微量含む。
- 5層 暗黒褐色土 ローム粒子、ロームブロックを微量含む。
- 6層 暗黒茶褐色土 ローム粒子を微量含む。
- 7層 暗黄褐色土 ローム粒子、ロームブロックを多量に含む。
- 8層 黒褐色土 ローム粒子を極微量含む。
- 9層 暗黒茶褐色土 ローム粒子を少量含む。
- 10層 暗褐色土 ローム粒子を多量に含む。
- 11層 暗褐色土 ローム粒子、粘土粒子を少量含む。
- 12層 暗黒褐色土 ローム粒子を微量含む。



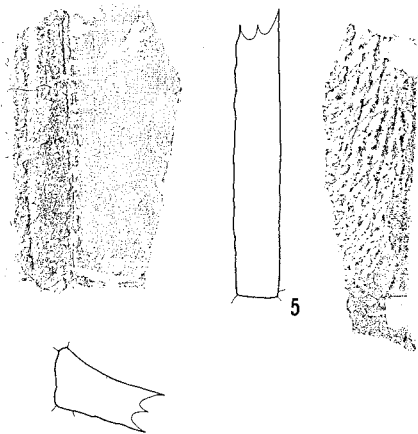
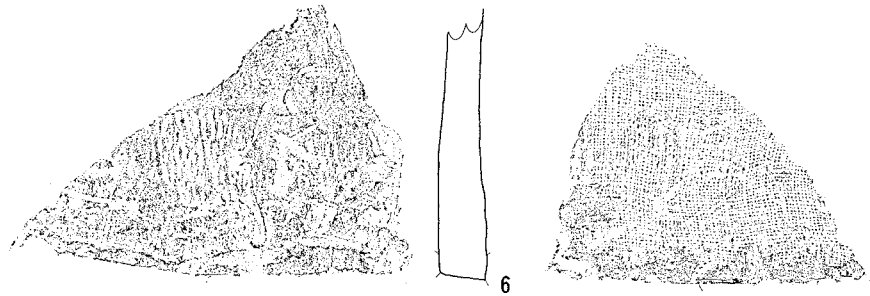
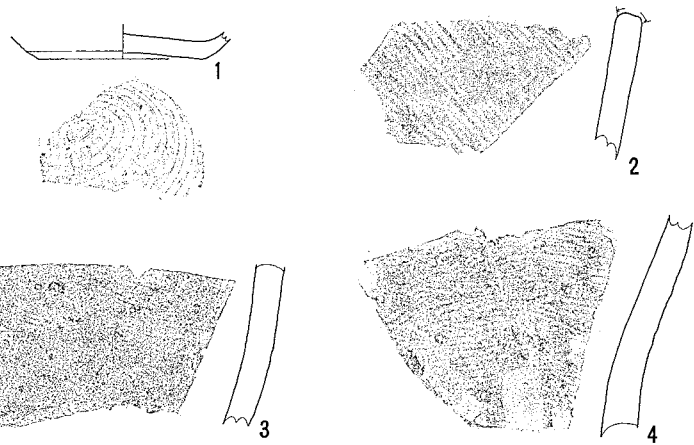
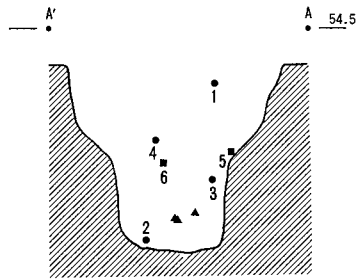
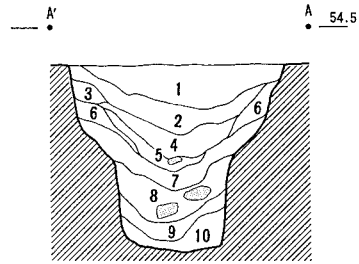
2号井戸址

第152図 1号井戸址 (1/60) 出土遺物 (1/3) 2号井戸址 (1/60) 出土遺物 (1/3)

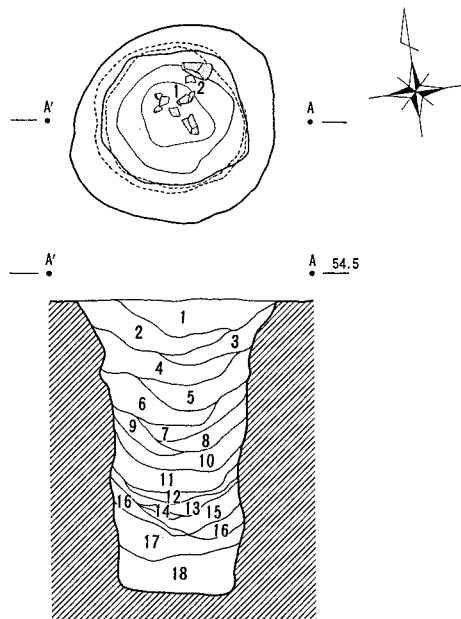


3号井戸址

- 1層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子、炭化物粒子を極微量含む。
- 2層 暗褐色土 ローム粒子、炭化物粒子を極微量含む。
- 3層 暗褐色土 ローム粒子を少量に含む。
- 4層 暗茶褐色土 ローム粒子を少量含み、ロームブロック、炭化物粒子を極微量含む。
- 5層 暗褐色土 ローム粒子を微量含む。
- 6層 暗黄褐色土 ローム粒子を多量に含む。
- 7層 暗黒茶褐色土 ローム粒子を微量含む。
- 8層 暗褐色土 ローム粒子を少量含み、ロームブロックを極微量含む。
- 9層 黄褐色土 ローム、ロームブロックを多量に含む。
- 10層 黒褐色土 ローム粒子を少量に含む。

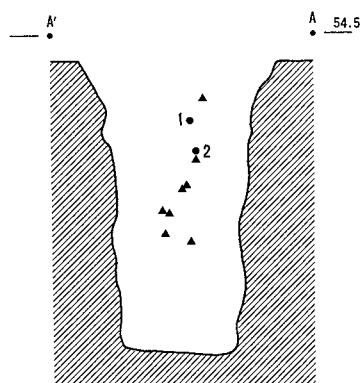


第153図 3号井戸址 (1/60) 出土遺物 (1/3)



4号井戸址

- 1層 暗黄褐色土 ローム、礫を多量に含む。
- 2層 暗褐色土 ローム粒子、炭化物粒子を極微量含む。
- 3層 暗褐色土 ローム粒子を少量含み、炭化物粒子を極微量含む。
- 4層 暗茶褐色土 ローム粒子を微量含む。
- 5層 暗黒茶褐色土 ローム粒子、ロームブロックを極微量含む。
- 6層 暗褐色土 ローム粒子を少量含み、ロームブロックを極微量含む。
- 7層 暗褐色土 ローム粒子、ロームブロックを少量含む。
- 8層 暗黄褐色土 ローム粒子を多量に含む。
- 9層 暗褐色土 ローム粒子を少量に含む。
- 10層 黄褐色土 ローム、ローム粒子を多量に含む。
- 11層 暗褐色土 ローム粒子を微量含む。
- 12層 暗灰褐色土 ローム粒子を微量含む。
- 13層 暗褐色土 ローム粒子を含む。
- 14層 暗黄褐色土 ローム、ローム粒子を多量に含む。
- 15層 暗黄褐色土 ローム粒子を多量に含む。
- 16層 暗褐色土 ローム粒子を少量含む。
- 17層 暗黒褐色土 ローム粒子を微量含む。
- 18層 暗灰褐色土 ローム粒子を少量含む。



第154図 4号井戸址 (1/60) 出土遺物 (1/3)

3号井戸址

平面プランは楕円形を呈し、規模は径2m、深さ1.8mをはかる。底面は径が約45cmの円形である。開口部はロート状に大きく広がり、深さ70cmぐらいからすぼまり直線的に底面へと続く。壁の途中にオーバーハングがみられる。

覆土の状態は、埋め戻された状態を示す。深さ0.7~1m付近で礫と土器が出土する。

第103表 3号井戸址出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 ()は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
1		坏	-	6.4	6.5	-	半還元焰焼成	上層出土。底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。器外面体部下端に回転篋削り。
2		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	下層出土。器外面に斜め方向の平行叩き。器内面にはナデ整形と当て具痕が見られる。器外面と断面を磨っている。
3		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	中層出土。器外面は斜め方向の平行叩きの後に、ナデ整形。器内面は当て具を用いた後にナデ整形。

第104表 3号井戸址出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 < >は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
4		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	中層出土。器外面は斜め方向の平行叩きの後に、ナデ整形。器内面にはナデ整形。
5		丸瓦	-	-	-	-	還元焰焼成	中層出土。凸面は縄叩き後篋削り整形。凹面には布目が残る。端面、凹凸面端部に篋削り。
6		平瓦	-	-	-	-	還元焰焼成	中層出土。凸面は縄叩き。凹面には布目。端面、側面、凹面端部、凹面側部に篋削り。

4号井戸址

規模は径1.54~1.75mをはかり、平面プランは不整円形である。開口部はやや広がり、直線的に底部へと続く。深さは2.3mで、壁の途中の1.4m付近でオーバーハングがみられる。

埋め戻されており、その時に深さ1~1.2m付近に礫を投げ込んでいる。

第105表 4号井戸址出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 < >は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
1		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	上層出土。器内外面にナデ整形。
2		壺	-	(128)	-	-	還元焰焼成	上層出土。底部に高台を貼り付けた後にロクロ水挽き整形。

5号井戸址

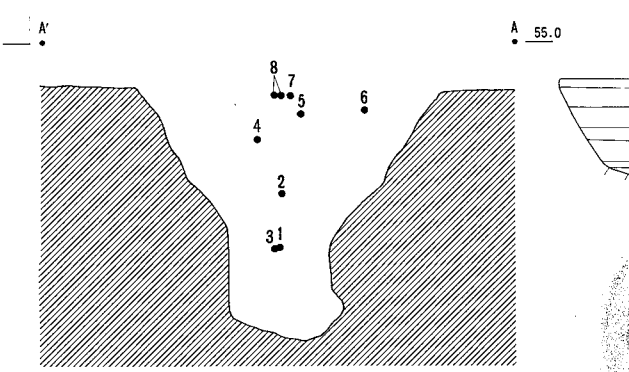
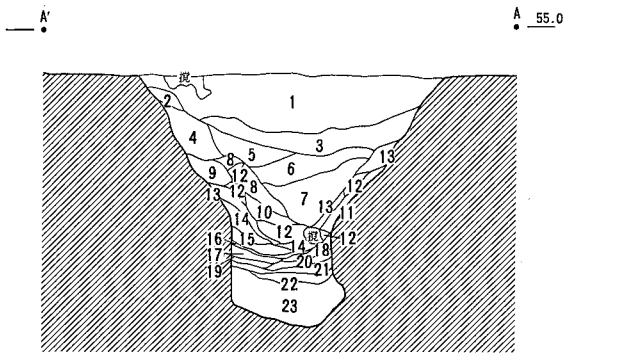
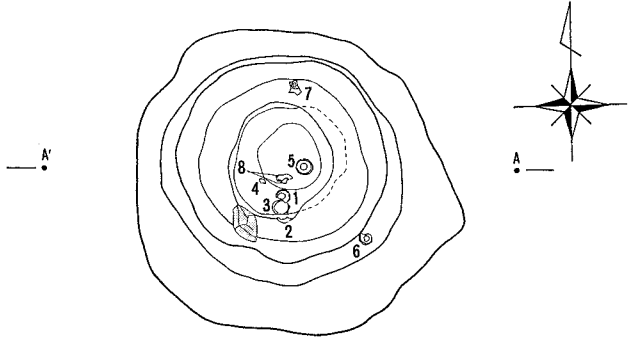
ロート状の開口部は大きく広がり、規模は長軸2.66m、短軸2.35mをはかる。深さ1.25mの位置では、径が0.7mと大きくすぼまる。約2mで底面となり、砂利層から白色粘土層に達している。底面は径0.5mの不整円形を呈する。途中までは埋め戻している。

覆土の中層から上層で須恵器の坏が出土している。

第106表 5号井戸址出土遺物観察表

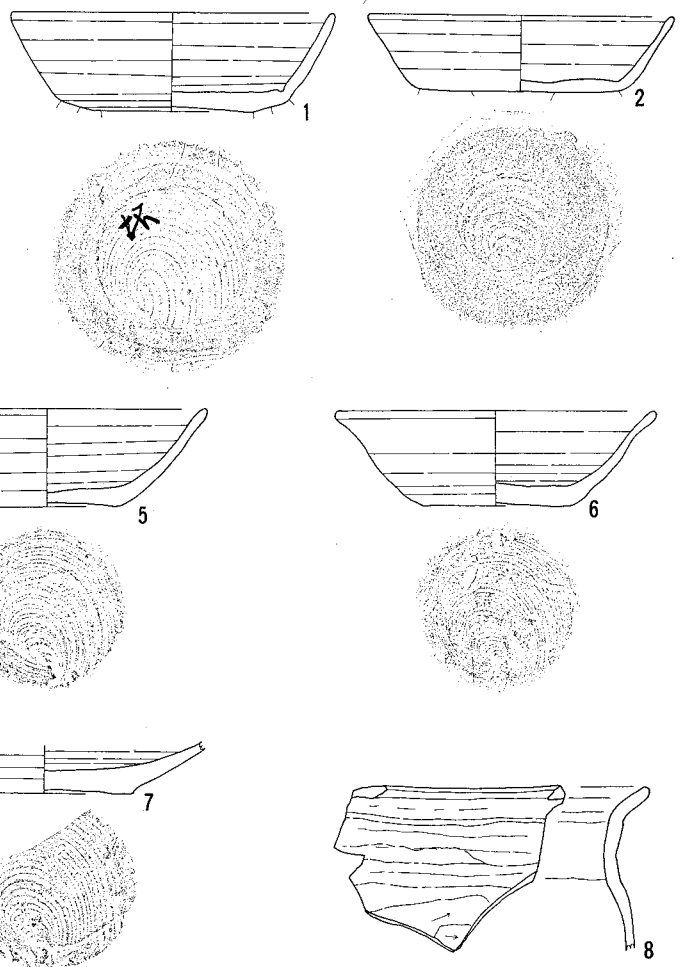
単位はcm ()は推定値 < >は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
1	43-1	坏	12.8	8.9	8.6	3.9	還元焰焼成	中層出土。底部は回転糸切り後外周部回転篋削り。器内外面にロクロ水挽き整形。器内面の底部から体部の変換点に爪先技法が見られる。底部外面に「坏」の墨書有り。胎土は緻密。前内出窯跡系。残存率85%。
2	43-2	坏	12.0	7.8	8.0	3.0	還元焰焼成	中層出土。底部は回転糸切り後外周部回転篋削り。器内外面にロクロ水挽き整形。器内面の底部から体部の変換点に爪先技法が見られる。底部外面に篋記号。残存率55%。
3		坏	-	8.9	9.1	-	還元焰焼成	中層出土。底部は回転糸切り後外周部回転篋削り。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。
4		坏	-	(8.3)	-	-	還元焰焼成	上層出土。底部は回転糸切り後外周部回転篋削り。胎土は緻密。前内出窯跡系。

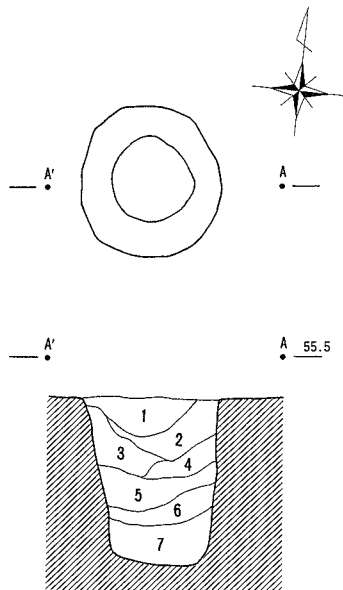


5号井戸址

- 1層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子、炭化物粒子を微量含む。
- 2層 暗茶褐色土 ロームブロックを少量含み、ローム粒子を微量含む。
- 3層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子、炭化物粒子を微量含み、ロームブロックを極微量含む。
- 4層 明褐色土 ローム粒子を多量に含み、焼土粒子、炭化物粒子を微量含む。
- 5層 暗褐色土 ローム粒子を少量含み、焼土粒子、炭化物粒子を微量含む。
- 6層 暗褐色土 焼土粒子、炭化物粒子を微量含み、ローム粒子を極微量含む。
- 7層 暗黒褐色土 ローム粒子、炭化物粒子を微量含む。
- 8層 暗褐色土 ローム粒子を少量含み、炭化物粒子を微量含む。
- 9層 暗黄褐色土 ローム粒子を多量に含む。
- 10層 暗褐色土 ローム粒子を含む。
- 11層 暗黒褐色土 ローム粒子を少量含む。
- 12層 暗黄褐色土 ロームを多量に含む。
- 13層 暗褐色土 ローム粒子を少量含み、焼土粒子を極微量含む。
- 14層 暗灰褐色土 ローム粒子を少量含む。
- 15層 明褐色土 ローム、ローム粒子を多量に含む。
- 16層 暗灰褐色土 ローム粒子を含む。
- 17層 暗黄褐色土 ローム粒子を少量含む。
- 18層 暗黄褐色土 ローム粒子を含む。
- 19層 暗褐色土 ローム粒子を少量含む。
- 20層 暗褐色土 ローム粒子を多量に含む。
- 21層 明褐色土 ローム粒子を多量に含み、ロームを含む。
- 22層 暗灰褐色土 ローム粒子を微量含む。
- 23層 明褐色土 ローム、ローム粒子を含む。



第155図 5号井戸址 (1/60) 出土遺物 (1/3)



6号井戸址

- 1 層 暗褐色土 ローム粒子を微量含み、焼土粒子を極微量含む。
- 2 層 暗褐色土 ローム粒子、ローム小ブロックを少量含む。
- 3 層 黒褐色土 ローム粒子を極微量含む。
- 4 層 暗褐色土 ローム粒子を微量含む。
- 5 層 暗黒褐色土 ローム粒子を微量含む。
- 6 層 暗黒褐色土 ローム粒子を極微量含む。
- 7 層 暗黒褐色土 小礫を含み、ローム粒子を微量含む。

第156図 6号井戸址 (1/60) 出土遺物 (2/3)

第107表 5号井戸址出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 < >は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
5	43-5	坏	12.5	6.1	5.5	3.9	還元焰焼成	上層出土。底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。完形。
6	43-6	坏	(12.5)	5.8	5.7	3.8	還元焰焼成	上層出土。底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形を施す。口縁部は外反する。残存率65%。
7		皿	-	6.8	-	-	還元焰焼成	上層出土。底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。
8		甕	-	-	-	-	土師器	上層出土。口縁部の内外面に横ナデ、胴部外面に横、斜め方向の窰削り。

6号井戸址

今回報告する調査範囲の最も西に位置し、周辺は遺構が少ないエリアである。

規模は径1.2m、深さ1.3mをはかり、平面プランは円形を呈する。底面は円形で、径65cmである。掘り込み深度は浅いが底面は、砂利層から白色粘土層に達している。

第108表 6号井戸址出土遺物観察表

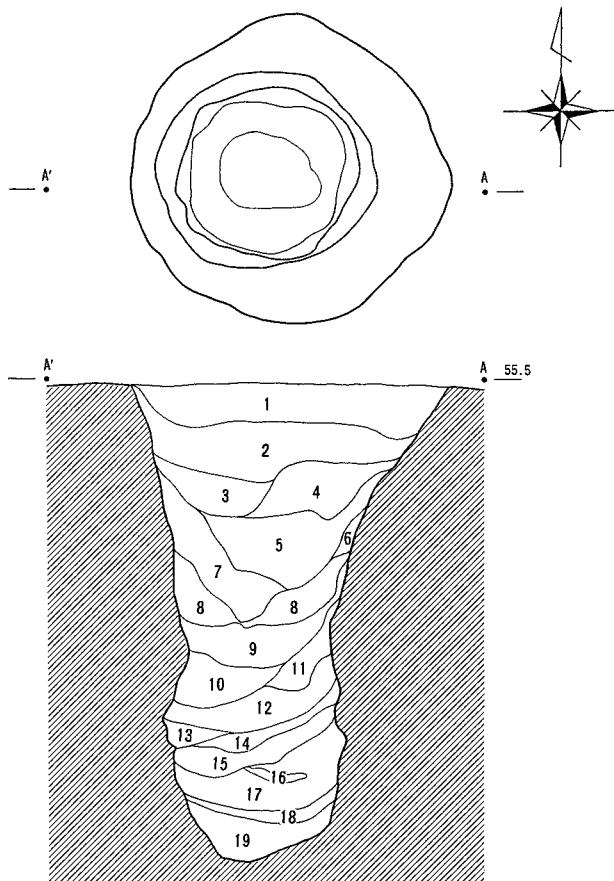
単位はcm ()は推定値 < >は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
1		不明	-	-	-	-	-	木製品と思われる。口縁部を備えている。

7号井戸址

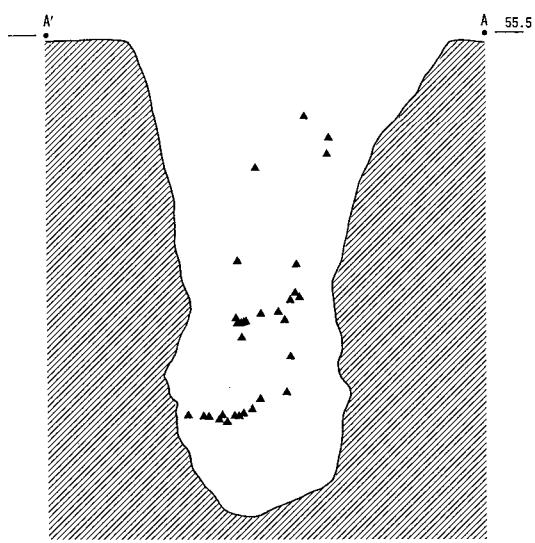
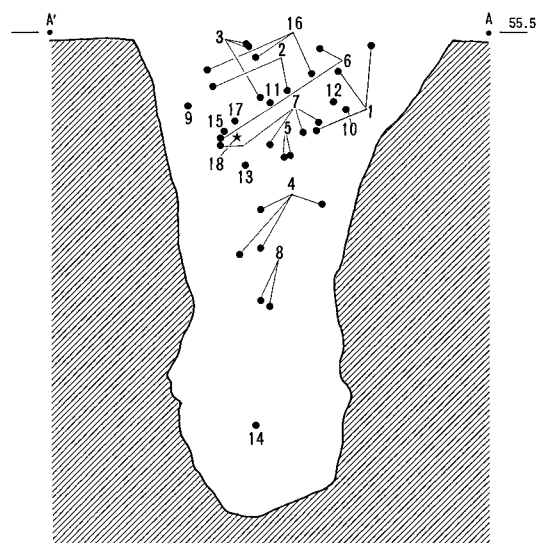
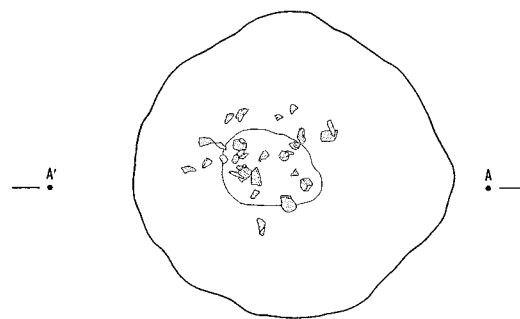
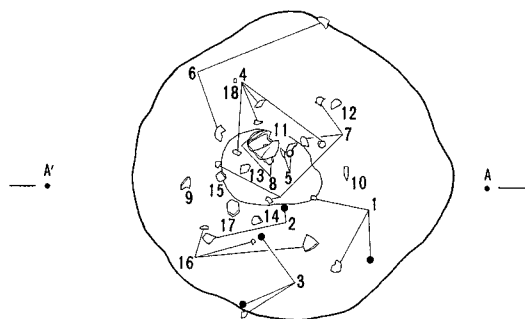
開口部はロート状に広がり、深さ1.2m付近ですぼまる。平面プランは円形を呈し、長軸2.51m、短軸2.43m、深さ3.78mをはかる。底面は長軸80cm、短軸60cmの不整円形で、白色粘土層に達している。

深さ2.5m前後の壁にオーバーハングがみられる。中位まで埋め戻しており、同時に礫も投げ込まれている。上層部で須恵器の坏、甕、長頸壺の破片が出土している。

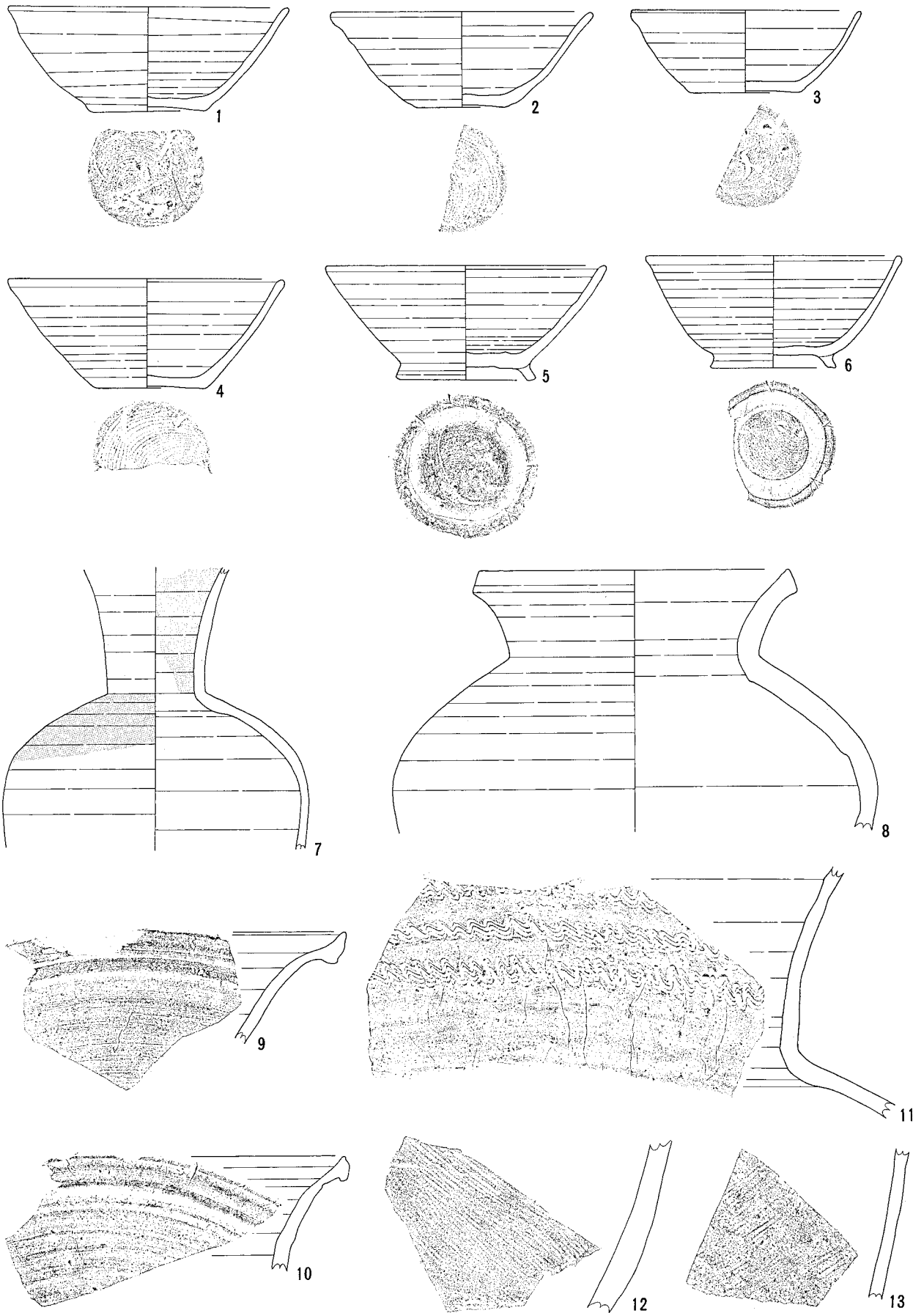


7号井戸址

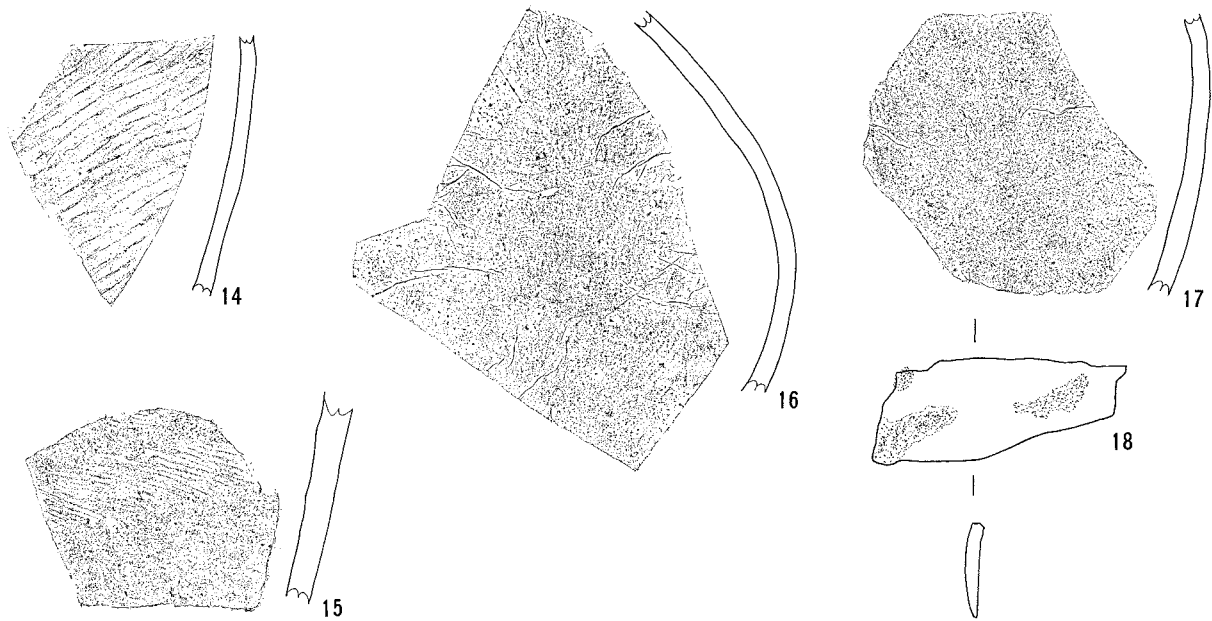
- 1層 暗茶褐色土 焼土粒子を微量含む。
- 2層 暗茶褐色土 小礫を少量含み、焼土粒子を微量含む。
- 3層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子、小礫を微量含む。
- 4層 暗褐色土 ローム粒子、小礫を微量含む。
- 5層 暗黒褐色土 ローム粒子を微量含む。
- 6層 暗黄褐色土 ローム、ローム粒子を多量に含む。
- 7層 暗褐色土 ローム粒子を含む。
- 8層 暗褐色土 ローム粒子を多量に含む。
- 9層 暗黄褐色土 ローム、ローム粒子を多量に含む。
- 10層 暗褐色土 ローム粒子を少量含む。
- 11層 暗褐色土 ローム粒子を微量含む。
- 12層 暗黄褐色土 ローム粒子を少量含む。
- 13層 暗黄褐色土 ローム粒子を少量含み、小礫を微量含む。
- 14層 暗黒褐色土 ローム粒子を微量含む。
- 15層 暗黄褐色土 小礫を含み、ローム粒子を少量含む。
- 16層 暗黄褐色土 ロームブロック。
- 17層 暗黒褐色土 小礫を含み、ローム粒子を微量含む。
- 18層 暗黄褐色土 ローム粒子を多量に含み、小礫を含む。
- 19層 暗青灰褐色土 小礫を含み、ローム粒子を微量含む。



第157図 7号井戸址 (1/60)



第158图 7号井戸址出土遺物 (1) (1/3)

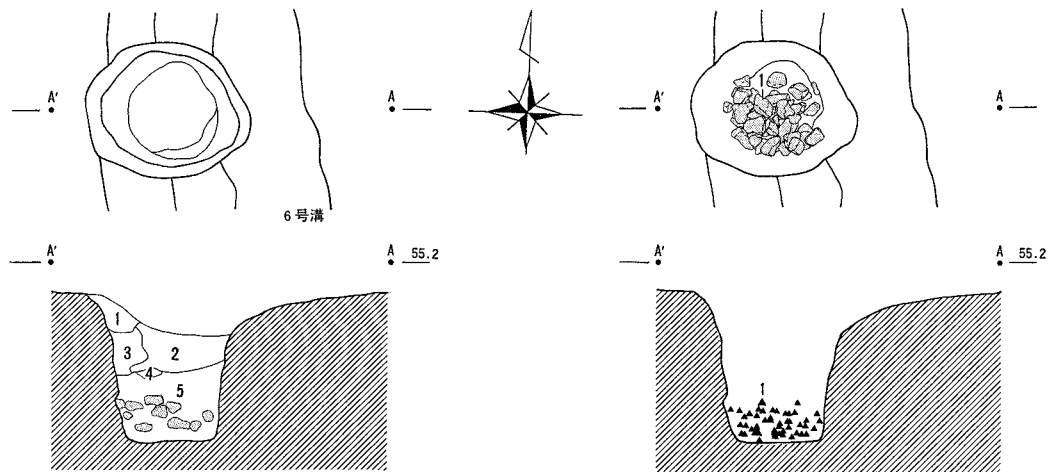


第159図 7号井戸址出土遺物 (2) (1/3) 但し、18は (2/3)

第109表 7号井戸址出土遺物観察表

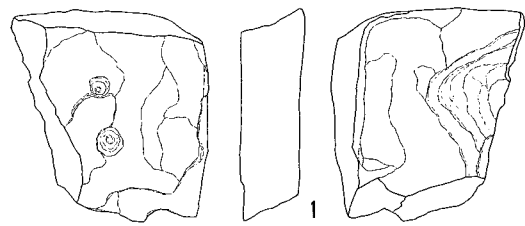
単位はcm ()は推定値 < >は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
1	44-1	坏	15.0	6.2	5.0	5.6	半還元焰焼成	上層出土。底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。残存率40%。
2		坏	(14.0)	(5.0)	-	5.1	半還元焰焼成	上層出土。底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。残存率45%。
3	44-3	坏	(12.3)	(5.9)	-	4.4	半還元焰焼成	上層出土。底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。残存率45%。
4	44-4	坏	(14.8)	6.1	5.6	5.9	還元焰焼成	中層出土。底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。残存率45%。
5	44-5	高台付坏	(15.0)	7.4	5.2	6.1	半還元焰焼成	上層出土。底部は回転糸切り後に高台を貼り付け。器内外面にロクロ水挽き整形。残存率55%。
6	44-6	高台付坏	(13.6)	(6.6)	-	6.1	還元焰焼成	上層出土。底部は回転糸切り後に高台を貼り付け。器内外面にロクロ水挽き整形。残存率45%。
7	44-7	長頸壺	-	-	-	-	還元焰焼成	上層出土。器内外面にロクロ水挽き整形。肩部外面に自然釉が見られる。
8	44-8	短頸壺	16.5	-	-	-	還元焰焼成	中層出土。口縁部はくの字を呈する。器内外面にロクロ水挽き整形。胴部器内面には当て具痕が残る。
9		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	上層出土。器内外面にロクロ水挽き整形。



8号井戸址

- 1層 暗黄褐色土 ローム、ローム粒子を多量に含む。
- 2層 暗褐色土 ローム粒子を極微量含む。
- 3層 暗褐色土 ローム粒子を少量含む。
- 4層 暗黄褐色土 ロームを多量に含む。
- 5層 黒褐色土 ローム粒子を微量含む。

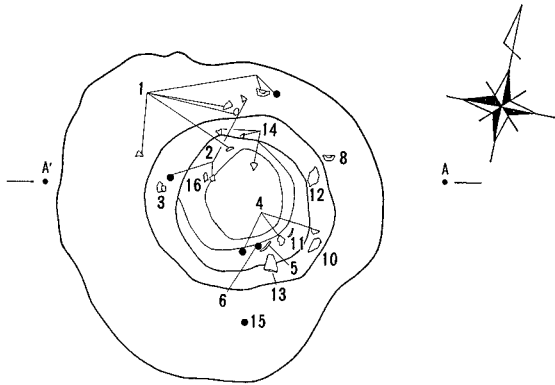


第160図 8号井戸址 (1/60) 出土遺物 (1/3)

第110表 7号井戸址出土遺物観察表

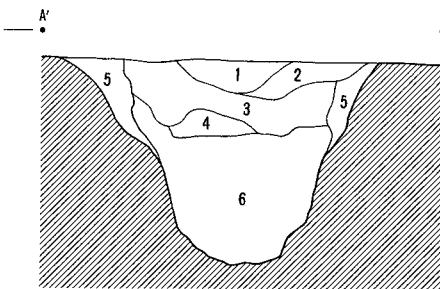
単位はcm ()は推定値 < >は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
10		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	上層出土。器内外面にロクロ水挽き整形。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。
11	44-11	甕	-	-	-	-	還元焰焼成	上層出土。器内外面にロクロ水挽き整形。胴部の変換点に当て具痕が見られる。頸部外面には横走る波状の櫛引きが3段施されている。
12		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	上層出土。器外面に斜め方向の平行叩き。器内面には当て具の後にナデ整形。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。
13		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	上層出土。器外面に斜め方向の平行叩き。器内面には当て具の後にナデ整形。
14		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	下層出土。器外面に斜め方向の平行叩き。器内面はナデ整形。
15		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	上層出土。器外面に斜め方向の平行叩き。器内面にはナデ整形。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。
16		壺	-	-	-	-	還元焰焼成	上層出土。器外面は斜め方向の平行叩き後に、ナデ整形。器内面は指頭整形後にナデ整形。

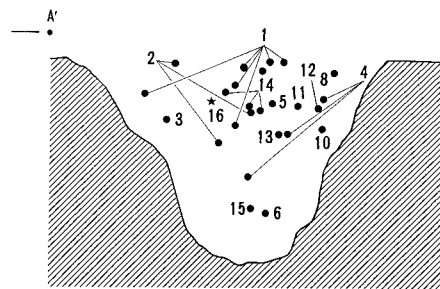


9号井戸址

- 1層 黒褐色土 焼土粒子を少量含み、炭化物粒子を微量含む。
- 2層 暗黒褐色土 焼土粒子、炭化物粒子を微量含み、ローム粒子を極微量含む。
- 3層 暗褐色土 焼土粒子、炭化物粒子を少量含む。
- 4層 暗褐色土 焼土粒子、炭化物粒子を少量含み、ロームブロックを微量含む。
- 5層 暗黄褐色土 ロームを多量に含む。
- 6層 暗褐色土 ローム粒子を少量含み、焼土粒子を微量含む。



A 55.5



A 55.5

第161図 9号井戸址 (1/60)

単位はcm ()は推定値 ()は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
17		壺	-	-	-	-	還元焰焼成	上層出土。器内外面にナデ整形。器内面には当て具痕が残る。器外面に自然釉。

挿図番号	図版番号	種類	長さ	幅	厚み	観察・特徴
18		刀子	<5.0>	2.0	0.3	上層出土。切先、茎尻を欠損。刃部は平造り。

8号井戸址

6号溝と重複する。新旧関係は本遺構が古く、6号溝が新しい。規模は長軸1.3m、短軸1.07m、深さ1.19mをはかり、平面プランは不整形である。底面は長軸75cm、短軸65cmの円形を呈する。

最下層には大形の礫が多量に投げ込まれている。

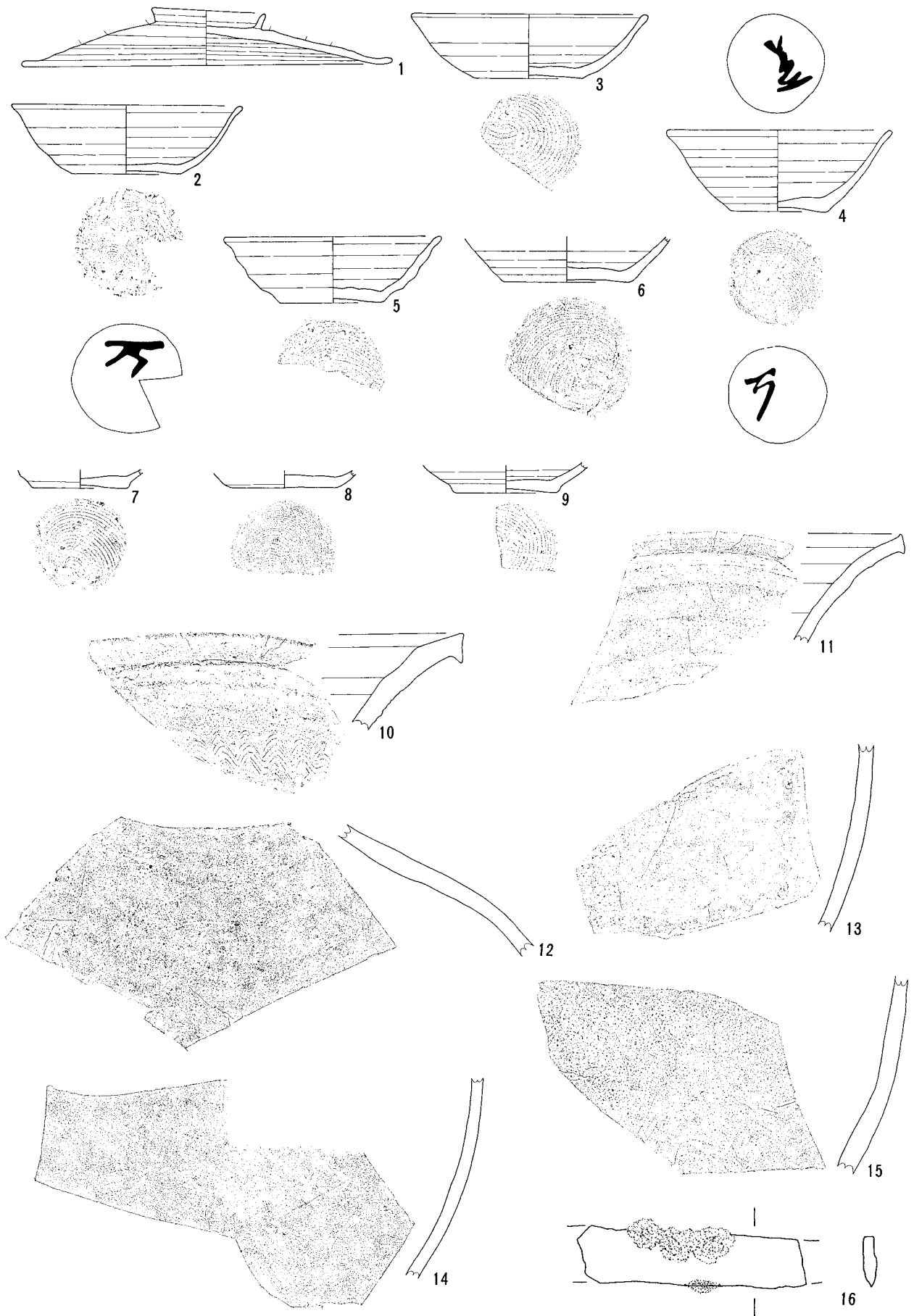
第111表 8号井戸址出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 ()は既存値

挿図番号	図版番号	種類	長さ	重さ(g)	石質	観察・特徴
1		石皿	<15.4>	<2.130>	緑泥片岩	下層出土。窪みを持つ。反対面は擦った痕跡が顕著ではないが、浅く窪んでいる。

9号井戸址

不整形の開口部は大きく広がり、壁は途中で緩やかにすぼまる。平面プランは不整形を呈し、長軸2.6m、短軸2.45m、深さ1.62mをはかる。底面は径60cmの不整形である。中位までは一気に埋め戻されている。遺物は中層から上層で、須恵器の蓋、坏、甕が出土している。

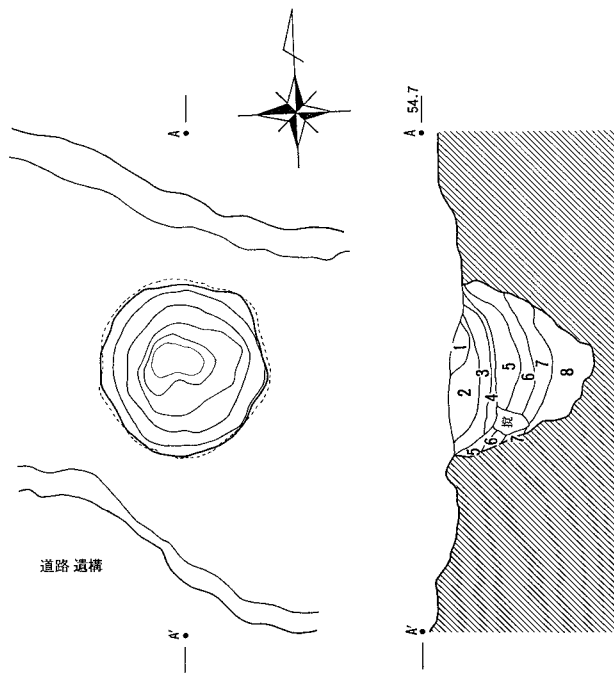


第162図 9号井戸址出土遺物 (1/3) 但し、16は (2/3)

第112表 9号井戸址出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 ()は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
1	44-1	蓋	20.0	-	-	3.0	還元焰焼成	上層出土。器内外面にロクロ水挽き整形。天井部外面は回転篋削り。口縁部のかえりはない。つまみは環状を呈し、径6.2cm。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。残存率60%。
2	44-2	坏	(12.4)	5.9	5.8	3.8	還元焰焼成	上層出土。底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。底部外面に「万」の墨書。残存率45%。
3		坏	(12.8)	(5.7)	-	3.5	還元焰焼成	上層出土。底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。残存率30%。
4	44-4	坏	(12.2)	5.3	5.3	4.5	半還元焰焼成	上層出土。底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は僅かに外反する。底部外面に「万」、内面は判読不明の墨書。残存率60%。
5		坏	(11.8)	5.7	5.4	3.5	還元焰焼成	上層出土。底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。残存率30%。
6		坏	-	7.0	6.2	-	酸化焰焼成	下層出土。底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産である。残存率40%。
7		坏	-	5.2	5.0	-	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。底部外面に「×」の篋記号。
8		坏	-	(5.7)	-	-	半還元焰焼成	上層出土。底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。
9		坏	-	(5.5)	-	-	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。底部外面に「×」の篋記号。
10		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	上層出土。器内外面にロクロ水挽き整形。器外面に波状文が横走する。
11		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	上層出土。器内外面にロクロ水挽き整形。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。
12		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	上層出土。器内外面にロクロ水挽き整形、その後器外面は篋ナデ整形。
13		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	上層出土。器内外面にロクロ水挽き整形。器内面に当て具痕が残る。器外面には自然釉が見られる。
14		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	上層出土。器外面は斜め方向の平行叩きの後にナデ整形。器内面はナデ整形で、当て具痕が残る。



10号井戸址

- 1層 暗褐色土 ローム粒子を微量含む。
- 2層 暗黒褐色土 炭化物粒子を少量含む、ローム粒子を微量含む。
- 3層 暗褐色土 ローム粒子を極微量含む。
- 4層 暗黒褐色土 炭化物粒子を含み、ローム粒子を微量含む。
- 5層 暗黄褐色土 ローム粒子を少量含む。
- 6層 暗黒褐色土 炭化物粒子、ローム粒子を微量含む。
- 7層 暗黄褐色土 ロームブロック、ローム粒子を少量含む。
- 8層 暗褐色土 ローム小ブロックを微量含む。

第163図 10号井戸址 (1/60)

第113表 9号井戸址出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 < >は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
15		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	下層出土。胴部の破片。器外面は斜め方向の平行叩きの後にナデ整形。器内面はナデ整形で、当て具痕が残る。器外面には自然釉が見られる。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産である。

挿図番号	図版番号	種類	長さ	幅	厚み	観察・特徴
16		刀子	<6.3>	1.5	0.3	上層出土。切先、茎尻を欠損。刃部は平造り。

10号井戸址

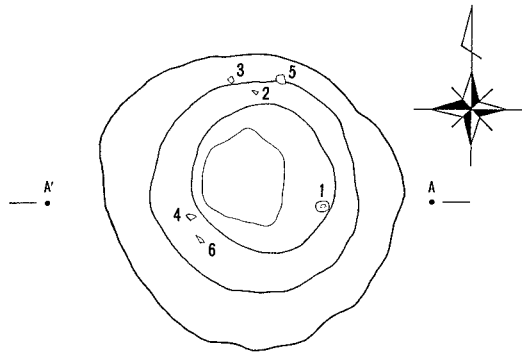
本遺構と道路遺構は重複しており、新旧関係は道路遺構が新しい。

規模は長軸1.4m、短軸1.24mで平面プランは円形を呈し、深さ1.2mをはかる。底面は長軸40cm、短軸25cmの楕円形である。

11号井戸址

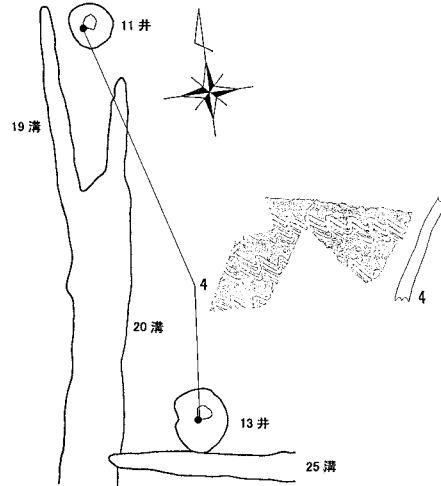
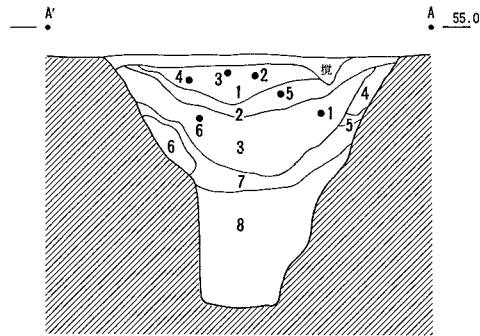
開口部は大きく広がり、壁は途中で緩やかにすぼまる。規模は径約2.4m、深さ2mをはかり、平面プランは不整円形を呈する。底面は長軸80cm、短軸55cmの不整円形である。

覆土は中位までは一気に埋められている。遺物は上層からの出土がほとんどで、4の甕の頸部片は21m離れた13号井戸址から出土した甕と接合した。

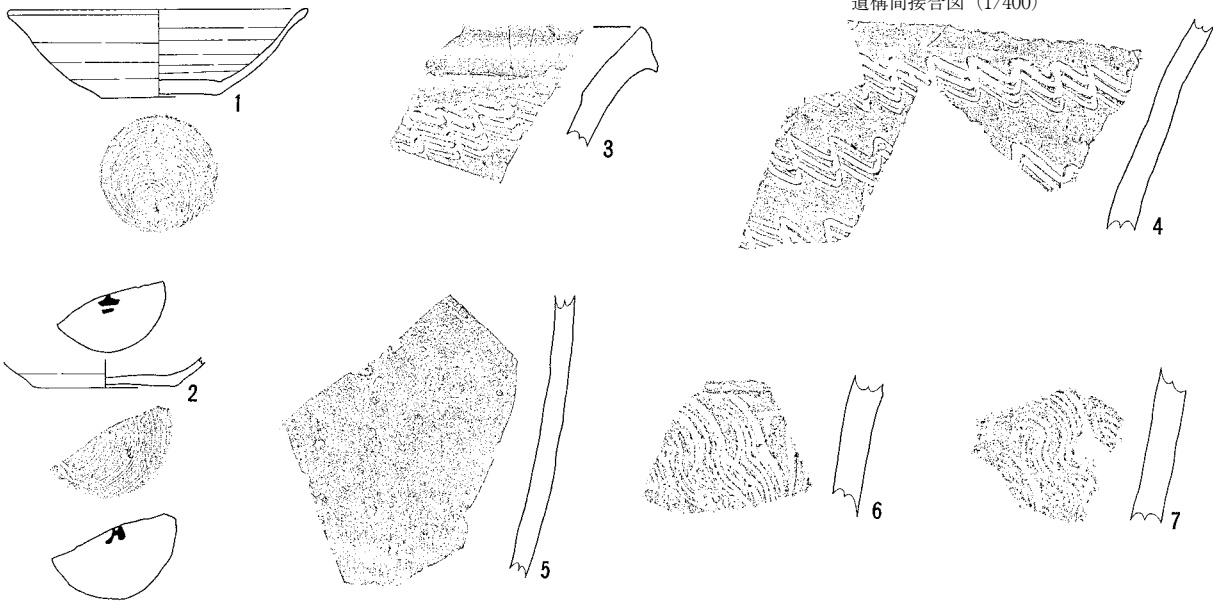


11号井戸址

- 1層 暗褐色土 焼土粒子、炭化物粒子を微量含み、ローム粒子を極微量含む。
- 2層 暗茶褐色土 ローム粒子を多量に含み、ローム小ブロックを少量含み、焼土粒子を極微量含む。
- 3層 暗褐色土 ロームを少量含み、焼土粒子、炭化物粒子を極微量含む。
- 4層 暗褐色土 ローム粒子を少量含む。
- 5層 暗褐色土 ローム粒子を微量含む。
- 6層 暗黒褐色土 ローム粒子を微量含む。
- 7層 暗黄褐色土 ローム粒子を多量に含む。
- 8層 暗褐色土 ローム粒子、ロームブロックを少量含む。



遺構間接合図 (1/400)

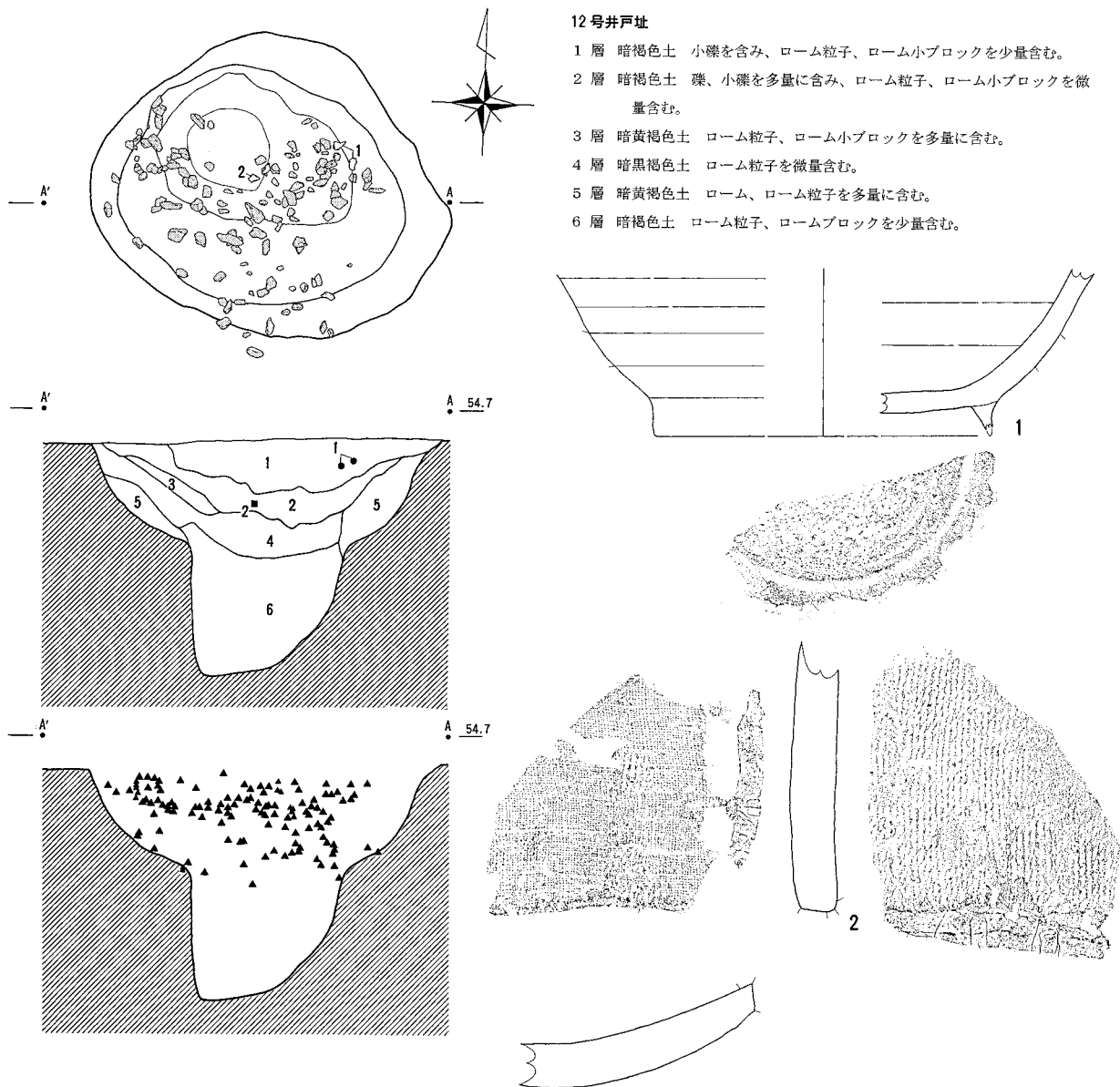


第164図 11号井戸址 (1/60) 出土遺物 (1/3)

第114表 11号井戸址出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 < >は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
1	44-1	坏	11.8	4.7	4.7	3.5	還元焰焼成	上層出土。底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は外反する。完形。
2		坏	-	(5.5)	-	-	半還元焰焼成	上層出土。底部は回転糸切り。底部器内外面に墨書を確認したが判読はできない。



第165図 12号井戸址 (1/60) 出土遺物 (1/3)

第115表 11号井戸址出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 < >は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
3		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	上層出土。器内外面にロクロ水挽き整形。外面に櫛引きの波状文を配する。
4		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	上層出土。器内外面にロクロ水挽き整形。外面に波状文の櫛引きを3条横走。13号井戸址出土遺物と接合。
5		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	上層出土。器外面に縦方向の平行叩き。器内面はナデ整形。
6		縄文土器	-	-	-	-	-	上層出土。地紋は櫛状工具による波状の条線。沈線で文様区画。
7		縄文土器	-	-	-	-	-	地紋に櫛状工具による波状の条線。

12号井戸址

開口部は大きく広がり、壁は途中で緩やかにすぼまる。規模は長軸3.1m、短軸2.6m、深さ2mをはかり、平面プランは不整円形を呈する。底面は径が70cm前後の円形である。

覆土は、中位までは一気に埋め戻されている。上層には礫が多量に含まれる。

第116表 12号井戸址出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 ()は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
1	44-1	壺	-	-	-	-	還元焰焼成	上層出土。胴部の器内外面にロクロ水挽き整形。胴部下半の器外面は回転篋削り。底部には高台を貼り付ける。器内面が磨かれている。
2		平瓦	-	-	-	-	還元焰焼成	上層出土。凹面に布目痕、凸面に縄叩き。側面、端面、凹面側部、端部に篋削り。

13号井戸址

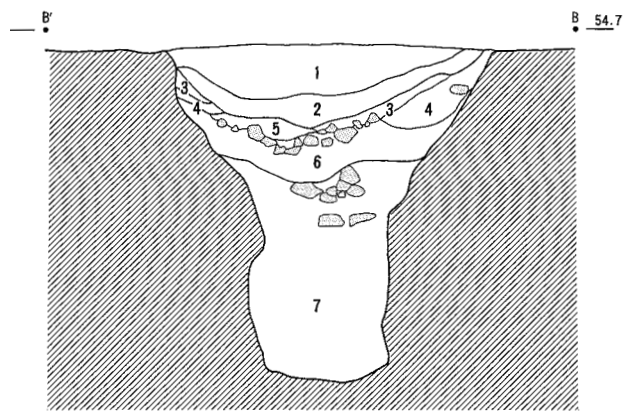
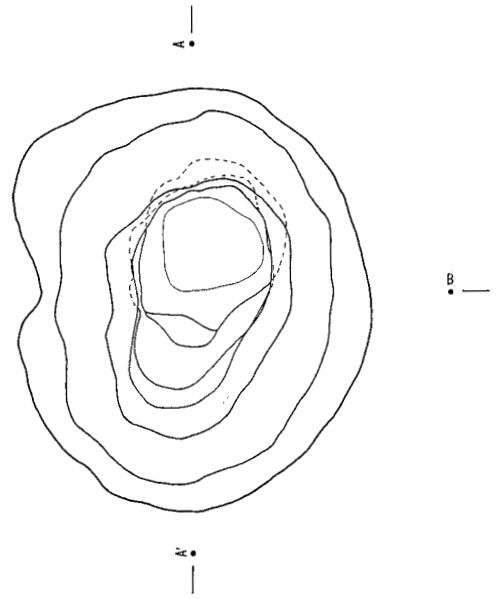
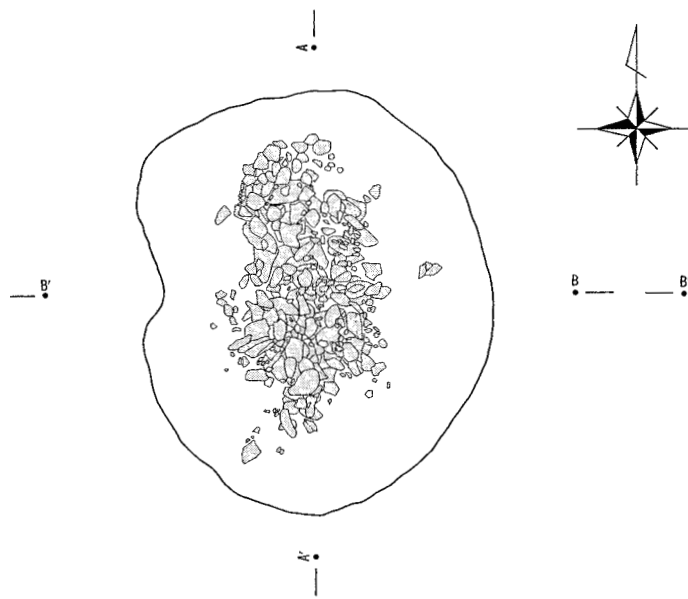
開口部は大きく広がり、壁は途中で緩やかにすぼまる。規模は長軸3.4m、短軸2.6m、深さ2.9mをはかり、平面プランは不整楕円形を呈する。底面は長径80cm、短径55cmの不整円形である。

覆土は中位までは一気に埋められている。礫と遺物は、中層から下層にかけて多量に出土する。

第117表 13号井戸址出土遺物観察表

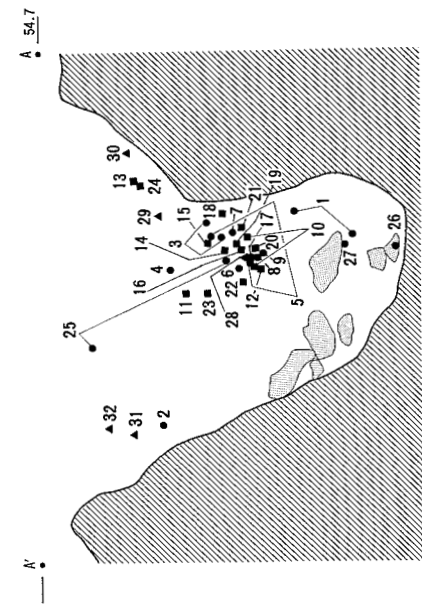
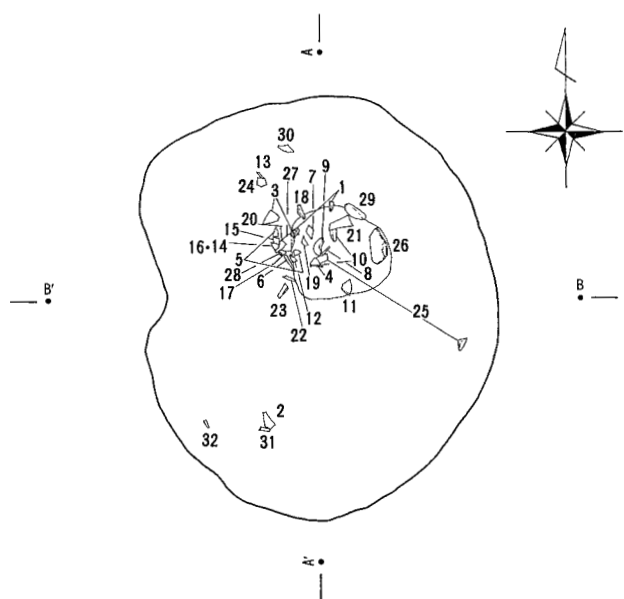
単位はcm ()は推定値 ()は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
1		坏	(14.1)	-	-	-	還元焰焼成	下層出土。器内外面にロクロ水挽き整形。胎土の緻密さから、前内出窯跡系と思われる。
2		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	上層出土。器内外面にロクロ水挽き整形。頸部は横走る沈線で区画され、区画内には櫛引きの波状文が横走。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。3と同一個体。
3		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	中層出土。器内外面にロクロ水挽き整形。頸部は横走る沈線で区画され、区画内には櫛引きの波状文が横走。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。2と同一個体。
4		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	上層出土。器外面に斜め方向の平行叩き。器内面はナデ整形。断面を擦って口縁部を作っている。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。
5		甕	-	-	-	-	半還元焰焼成	中層出土。器外面に横方向の平行叩き。器内面に当て具痕が残る。

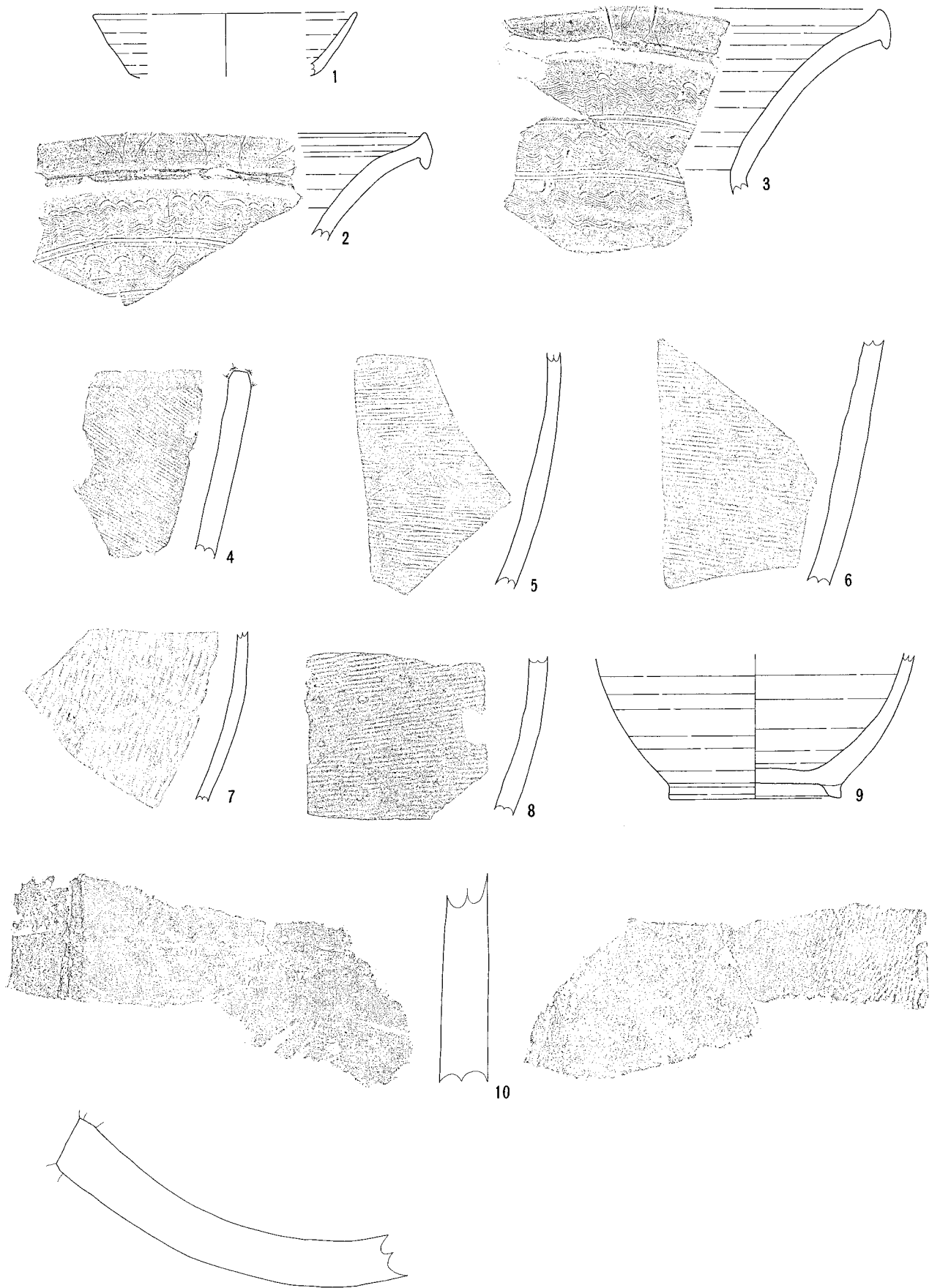


13号井戸址

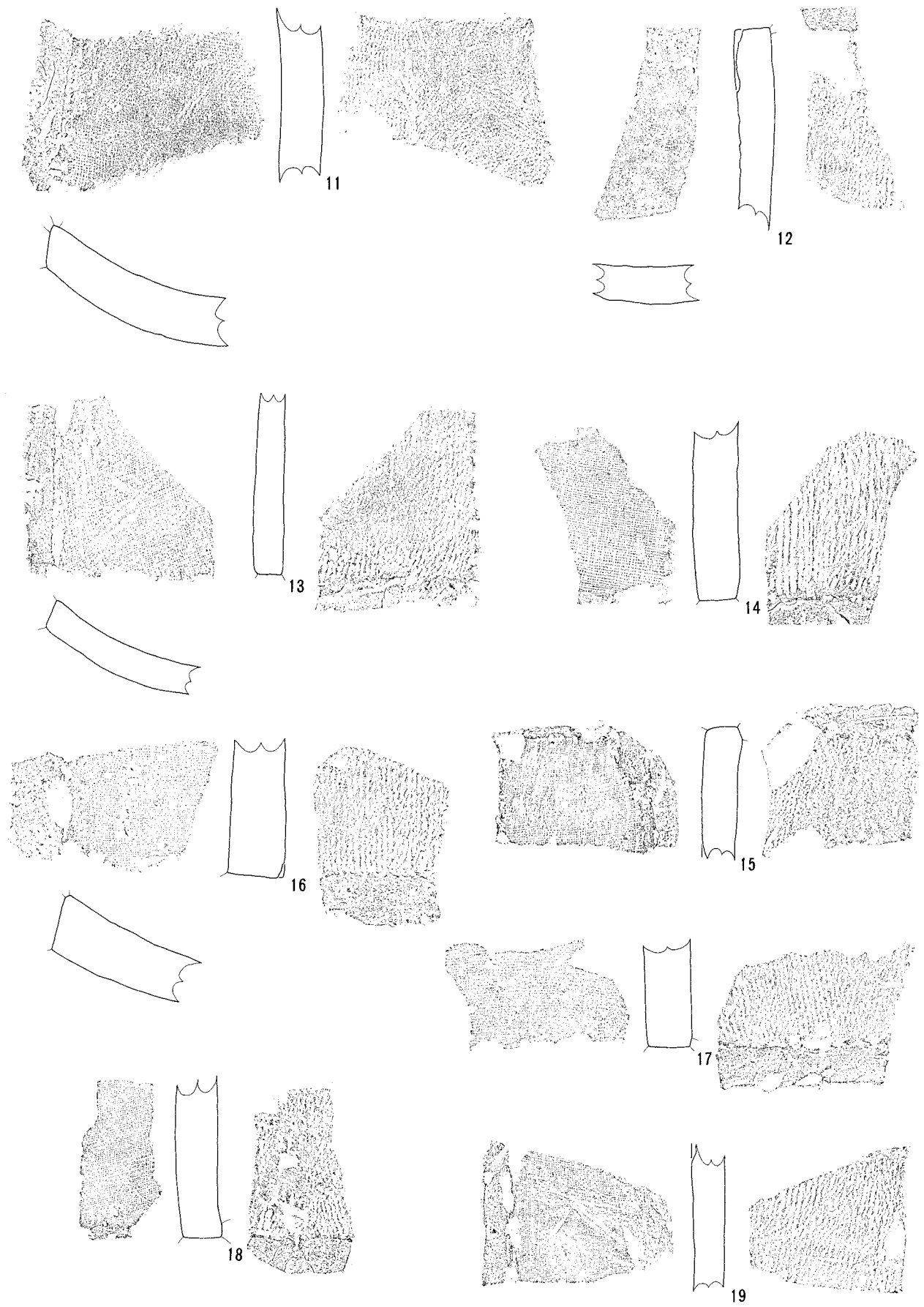
- 1層 暗褐色土 ローム粒子を微量含む。
- 2層 暗黒褐色土 ローム粒子を極微量含む。
- 3層 暗黄褐色土 ローム粒子を多量に含む。
- 4層 暗褐色土 ローム粒子、ロームブロックを微量含む。
- 5層 暗褐色土 ローム粒子を少量含む。
- 6層 暗黄褐色土 ローム粒子、礫を多量に含む。
- 7層 暗褐色土 ローム粒子、ロームブロックを少量含む。



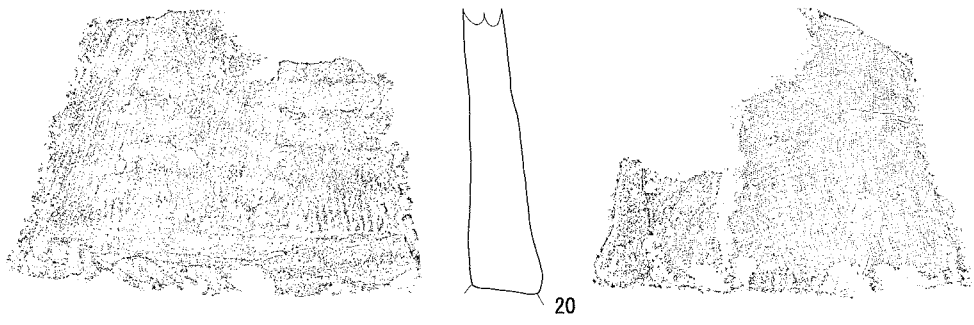
第166図 13号井戸址 (1/60)



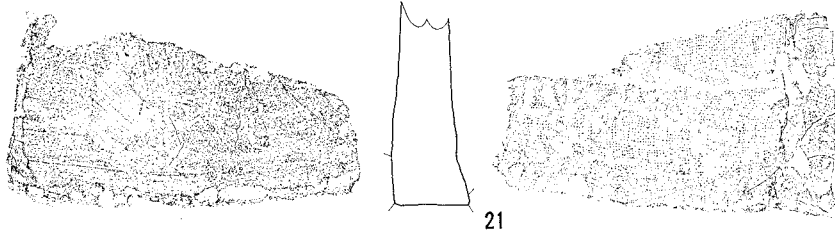
第167图 13号井戸址出土遺物 (1) (1/3)



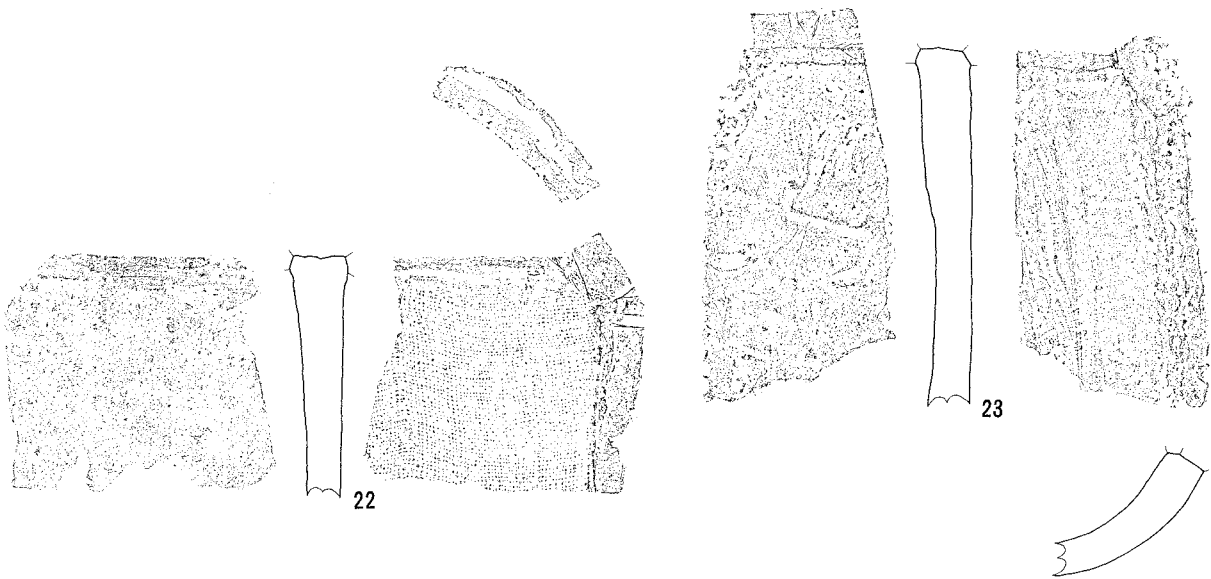
第168图 13号井戸址出土遺物 (2) (1/3)



20



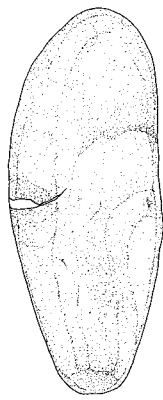
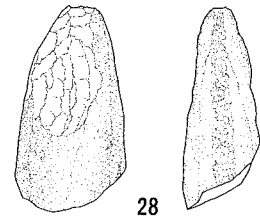
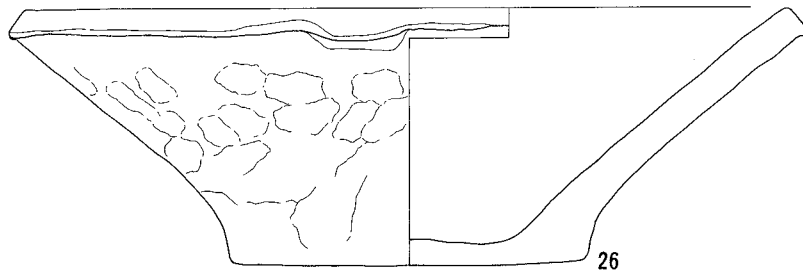
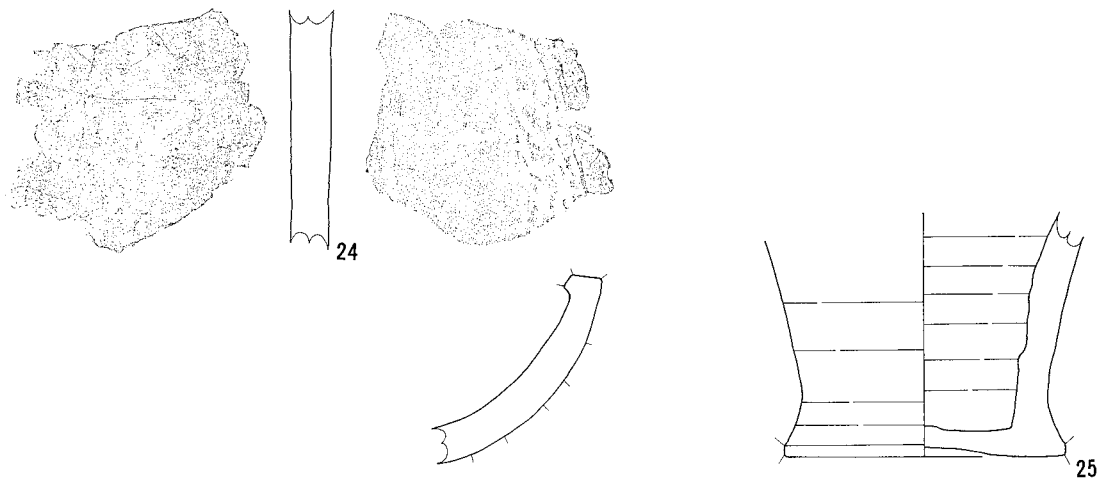
21



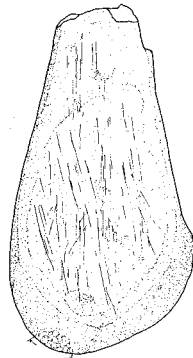
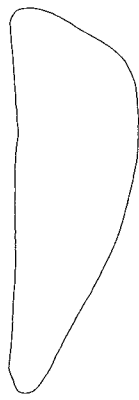
22

23

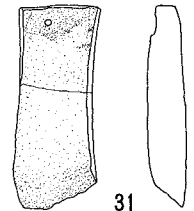
第169図 13号井戸址出土遺物 (3) (1/3)



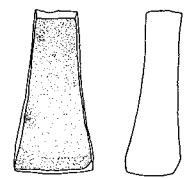
29



30



31



32

第170図 13号井戸址出土遺物 (4) (1/3) 但し、29は (1/4)

第118表 13号井戸址出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 ()は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
6		甕	-	-	-	-	半還元焰焼成	中層出土。器外面に横方向の平行叩き。器内面に当て具痕が残る。
7		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	中層出土。器外面に斜め方向の平行叩き。器内面に当て具痕が残る。
8		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	中層出土。器外面に横方向の平行叩き。器内面に当て具痕が残る。
9	44-9	壺	-	(9.2)	-	-	還元焰焼成	中層出土。器内外面にロクロ水挽き整形。底部に高台を貼り付けている。
10	44-10	平瓦	-	-	-	-	還元焰焼成	中層出土。凹面に布目痕、凸面に縄叩き。側面、凹凸面側部に篋削り。凹凸面が磨滅している。
11		平瓦	-	-	-	-	還元焰焼成	中層出土。凹面に布目痕、凸面に縄叩き。側面、凹面側部に篋削り。凹凸面が磨滅している。
12		平瓦	-	-	-	-	還元焰焼成	中層出土。凹面に布目痕、凸面に縄叩き。端面に篋削り。凹面に自然釉。
13		平瓦	-	-	-	-	半還元焰焼成	中層出土。凹面に布目痕、凸面に縄叩き。側面及び端面に篋削り。
14		平瓦	-	-	-	-	還元焰焼成	中層出土。凹面に布目痕、凸面に縄叩き。端面に篋削り。
15		平瓦	-	-	-	-	還元焰焼成	中層出土。凹面に布目痕、凸面に縄叩き。側面及び端面、凹面側部、端部に篋削り。凸面が磨滅している。
16		平瓦	-	-	-	-	還元焰焼成	中層出土。凹面に布目痕、凸面に縄叩き。側面及び端面、凹面側部に篋削り。
17		平瓦	-	-	-	-	還元焰焼成	中層出土。凹面に布目痕、凸面に縄叩き。端面、凹面端部に篋削り。
18		平瓦	-	-	-	-	還元焰焼成	中層出土。凹面に布目痕、凸面に縄叩き。端面、凹面端部に篋削り。
19		平瓦	-	-	-	-	半還元焰焼成	中層出土。凹面に布目痕、凸面に縄叩き。側面、凹面側部に篋削り。凹面が磨滅している。
20	44-20	丸瓦	-	-	-	-	還元焰焼成	中層出土。凹面に布目痕、凸面は縄叩き後篋ナデ整形。端面及び側面、凹面側部、端部、凸面端部に篋削り。
21		丸瓦	-	-	-	-	還元焰焼成	中層出土。凹面に布目痕、凸面は篋ナデ整形。端面及び側面、凹面側部、凸面側部、端部に篋削り。
22		丸瓦	-	-	-	-	還元焰焼成	中層出土。凹面に布目痕、凸面は篋ナデ整形。端面及び側面、凹凸面端部に篋削り。

第119表 13号井戸址出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 < >は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
23		丸瓦	-	-	-	-	還元焰焼成	中層出土。凹面に布目痕、凸面は篋ナデ整形。端面及び側面、凹凸面側部、端部に篋削り。
24		丸瓦	-	-	-	-	還元焰焼成	上層出土。凹面に布目痕、凸面は篋削り整形。側面及び凹面側部に篋削り。2次的に凸面の一部を削っている。
25	44-25	瓶子	-	11.0	-	-	灰釉陶器	上層出土。器内面には輪積み痕を明瞭に残す。胴部下半を絞り込む締腰型を呈する。灰釉は淡い緑色に発色。
26	44-26	鉢	(30.0)	(13.9)	-	10.2	常滑産	下層出土。器内面と器外面口縁近くをロクロ調整。体部外面には指頭痕が残る。残存率45%。
27		鉢	-	-	-	-	在地産	下層出土。体部外面に櫛目文を施した後に、器内外面にロクロ整形を行っている。

挿図番号	図版番号	種類	長さ	厚み	重さ(g)	観察・特徴
28		磨製石斧	<8.0>	2.6	<130>	中層出土。乳棒状を呈し、刃部は欠損。磨いて形を整えている。全体的に表面が薄く剥落している。石質は緑色岩。
29		石皿	22.8	6.9	1,180	上層出土。平坦面は僅かに窪み、良く使い込まれている。一部側面にも擦痕が見られる。石質は砂岩。完形。
30		磨石	<13.9>	6.2	<1,000>	上層出土。両面とも良く使い込まれ、擦痕が残る。先端部は敲打痕が見られる。石質は緑色岩。
31		砥石	<8.0>	1.5	<60>	上層出土。下端が欠落する。両面、両側面に擦痕が残る。石質は凝灰岩。
32		砥石	<6.5>	2.1	<56>	上層出土。上端が欠落する。両面、両側面、下端面に擦痕が残る。石質は凝灰岩。

14号井戸址

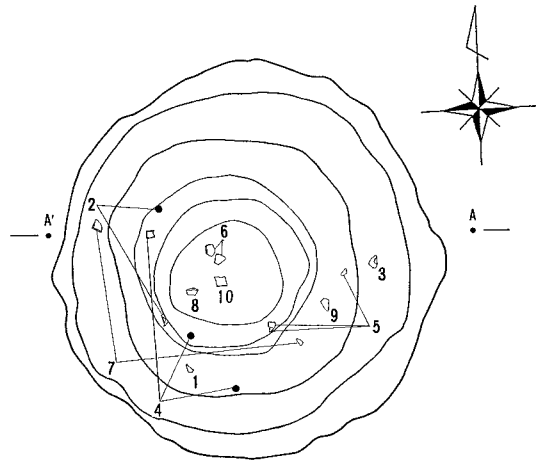
開口部は大きく広がり、30cm下がった壁にテラスを持つ。規模は径約3.1m、深さ1.8mをはかり、平面プランは円形を呈する。底面は径が90cmの円形である。

覆土は中位までは埋め戻され、中層から上層にかけて遺物が出土している。

第120表 14号井戸址出土遺物観察表

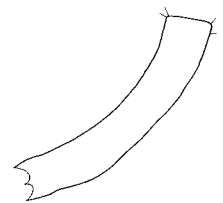
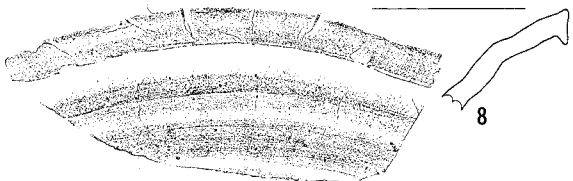
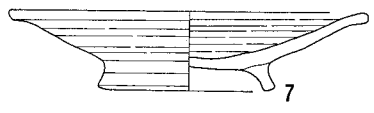
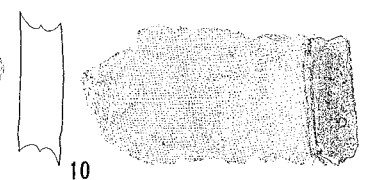
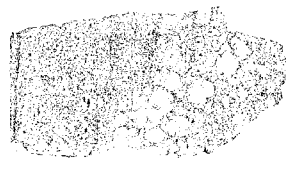
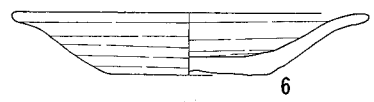
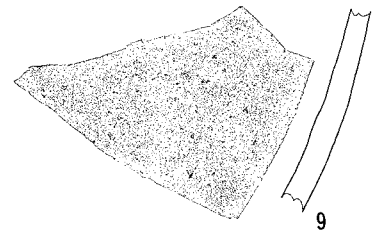
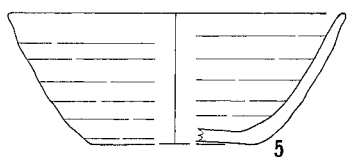
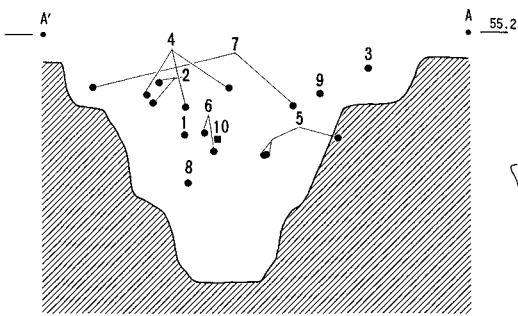
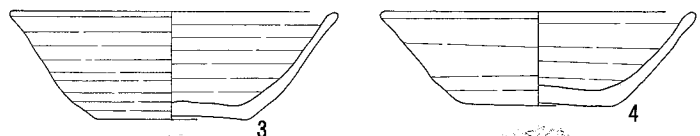
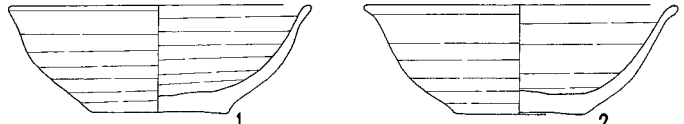
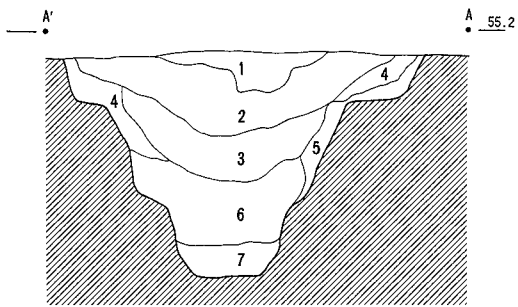
単位はcm ()は推定値 < >は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
1	45-1	坏	11.8	5.3	4.7	4.2	還元焰焼成	中層出土。底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。底部外面に篋記号。口縁部は外反する。残存率80%。
2		坏	(12.2)	5.1	4.9	4.3	還元焰焼成	上層出土。底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は外反する。残存率35%。



14号井戸址

- 1層 暗黒褐色土 ローム粒子を極微量含む。
- 2層 暗褐色土 焼土粒子、炭化物粒子を微量含み、ローム粒子を極微量含む。
- 3層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子、炭化物粒子を極微量含む。
- 4層 暗褐色土 ローム粒子を少量含む。
- 5層 暗黄褐色土 ローム粒子を多量に含む。
- 6層 黄褐色土 ロームを多量に含む。
- 7層 暗黒褐色土 ローム粒子、ロームブロックを少量含む。



第171図 14号井戸址 (1/60) 出土遺物 (1/3)

第121表 14号井戸址出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 < >は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
3		坏	(12.9)	6.0	5.2	4.3	還元焰焼成	上層出土。底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。残存率45%。
4		坏	12.3	6.0	4.5	3.7	還元焰焼成	上層出土。底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。残存率40%。
5		坏	(13.2)	(6.7)	-	5.1	還元焰焼成	中層出土。底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。残存率40%。
6	45-6	皿	14.0	6.3	-	2.5	還元焰焼成	中層出土。底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は外反する。末野窯跡産。残存率55%。
7		高台付皿	(14.1)	(6.9)	-	3.0	還元焰焼成	上層出土。底部は回転糸切り後に高台を貼り付け。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部が外反する。残存率30%。
8		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	中層出土。器内外面にロクロ水挽き整形。
9		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	上層出土。器外面はナデ整形を行い、器内面に当て具痕が残る。
10		丸瓦	-	-	-	-	還元焰焼成	中層出土。凹面に布目痕、凸面は篋ナデ整形。側面及び凹凸面端部に篋削り。

(4) 道路遺構

遺跡のほぼ中央で、東西方向に走る道路遺構を検出した。東側では掘り込みが浅く検出できない箇所もあったが、東端部で直角に大きく方向を変え、北へ向かって延びる。西は調査区を超えて延び、200m離れている王神遺跡の平成8年度の調査でこの道路遺構の続きを確認している。

本遺構は東西172m、南北10mに渡って確認し、主軸方位はN-82°-Eである。遺構確認面とほぼ同じ高さで硬化面を確認し、この硬化面は道路幅いっぱい広がっている。硬化面を剥がすと、連続する楕円の窪みと溝などを検出した。

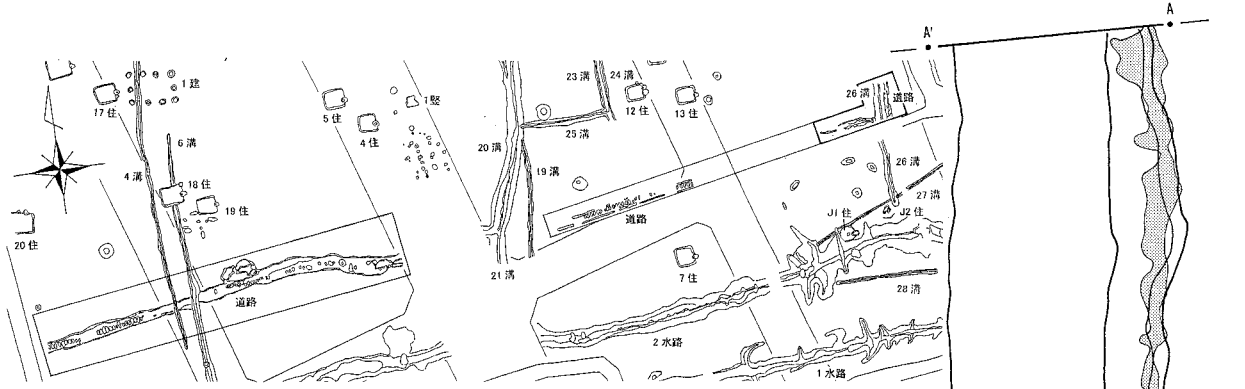
道路遺構の東端では26号溝と重複し、北方向に延びる道路遺構が僅かに確認できた。深さ2~6cmの掘り込みを持ち、掘り込みの肩部に幅1m前後の硬化面が部分的に確認できる。

道路遺構の上面には、幅が0.2~3.7mの硬く締まった黒褐色土の硬化面が広がっている。東側では、掘り込みが7~10cmと浅く、中央部から西側では15~30cmで断面が浅い皿状を呈する掘割状の道路である。

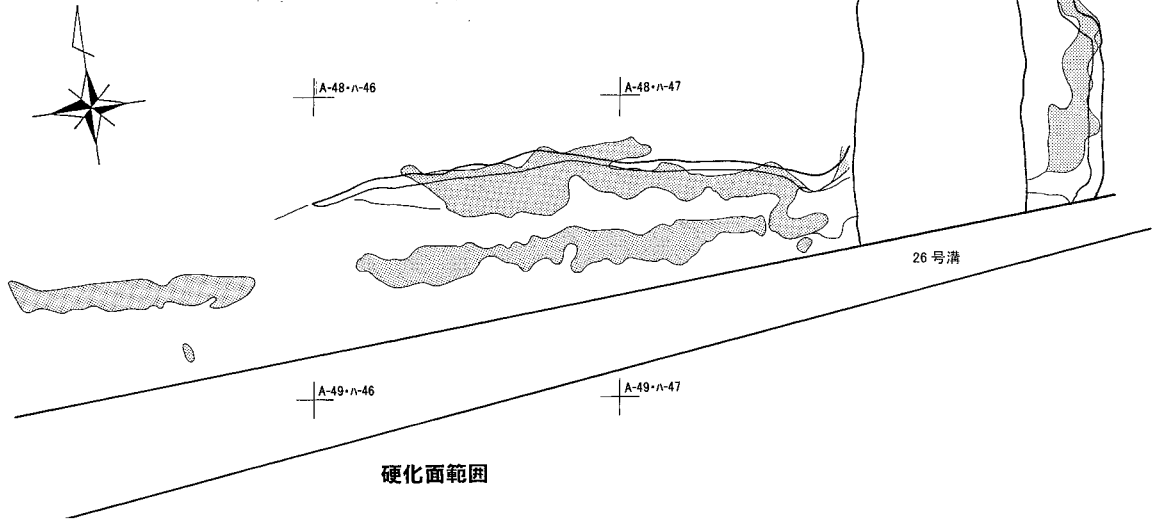
硬化面を剥がすと底面に規則的に並ぶ楕円形の窪みと溝、不整形な窪みを検出した。東側では長軸が1m前後、短軸60cm前後、深さ10cmの楕円形の窪みを確認した。楕円形の窪みに沿って幅10~40cm、深さ10~20cmの溝が巡る。

中央では、長軸4m、短軸2m、深さ5cm前後の不整形な窪みが存在する。西側は長軸0.7~1.5m、短軸30~65cm、深さ2~14cmの楕円形の窪みが規則的に並ぶ。

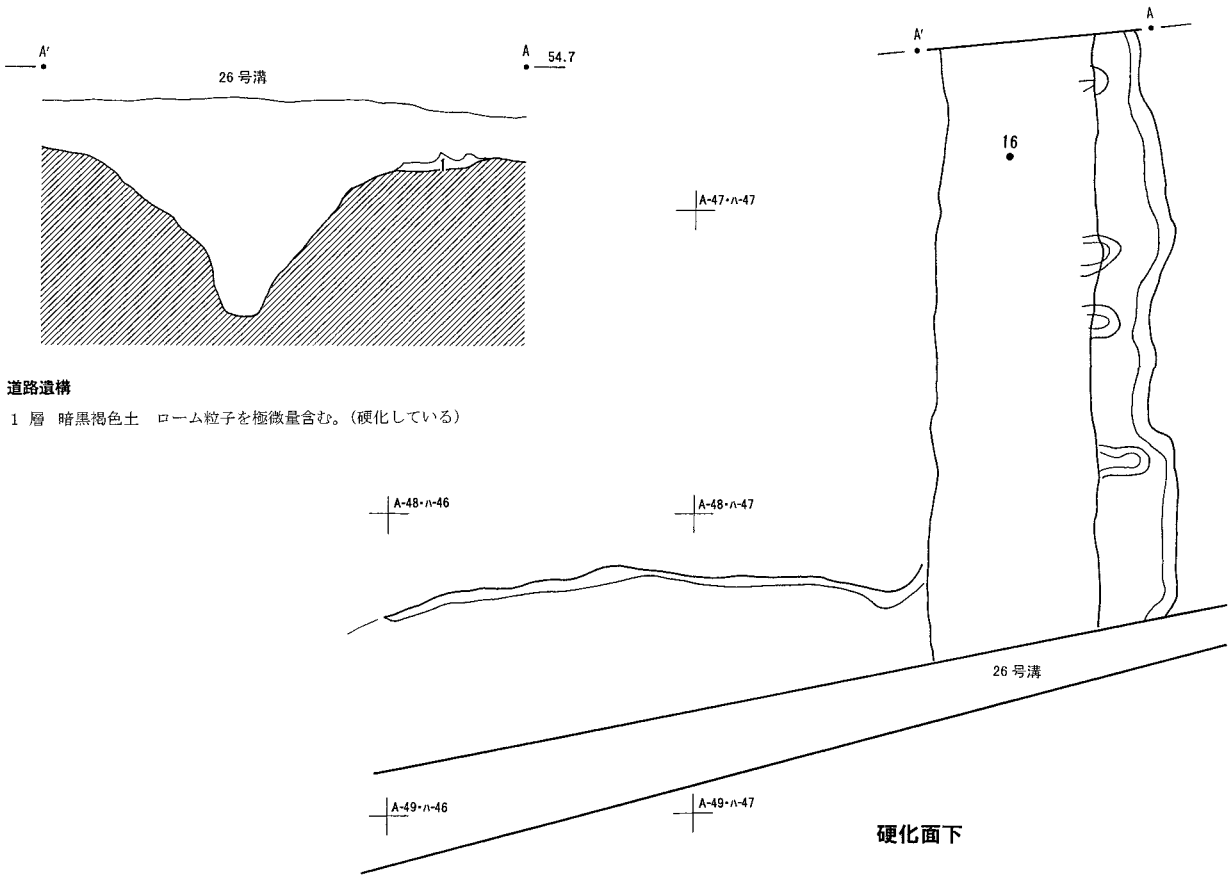
集落内若しくは集落間を結ぶ道路遺構は初めての検出だったが、道路形態は、向谷遺跡、宮久保遺跡、諏訪山遺跡で検出した伝路と考えている古代道路と同様な掘割状であった。



道路遺構 (1/1500)



硬化面範囲

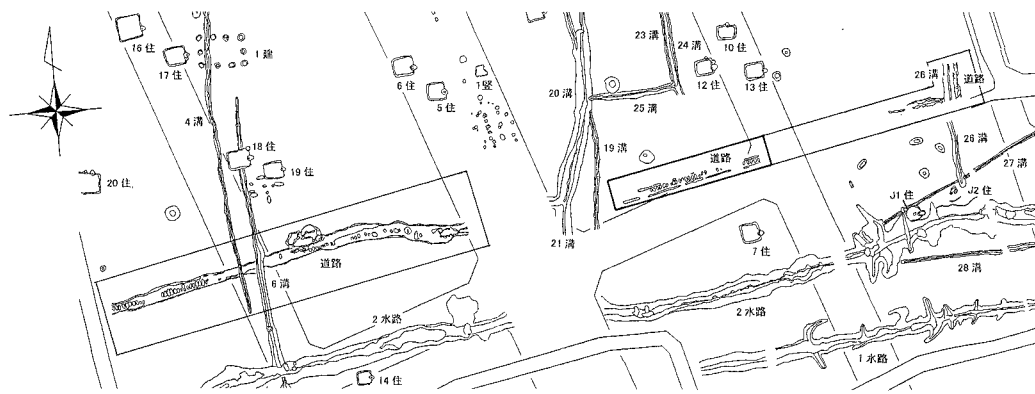


道路遺構

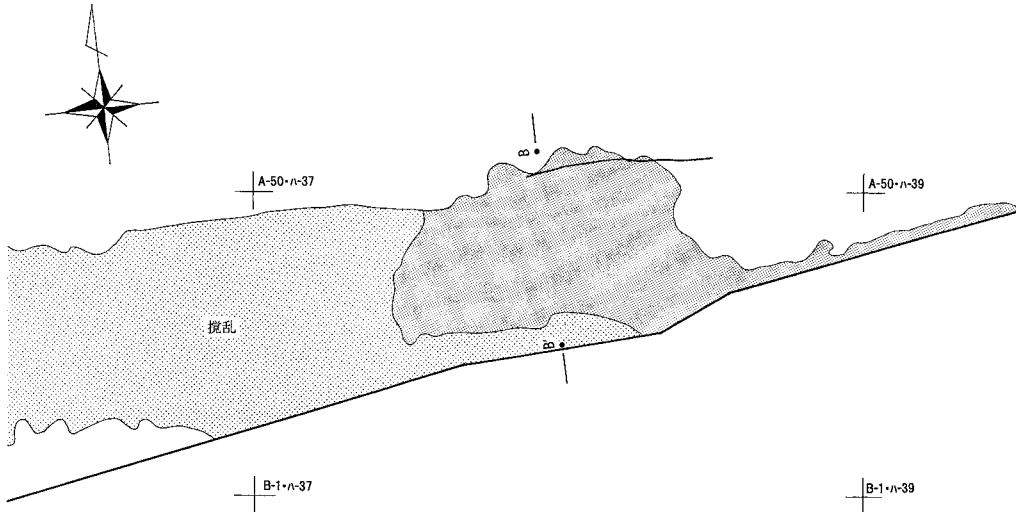
1 層 暗黒褐色土 ローム粒子を極微量含む。(硬化している)

硬化面下

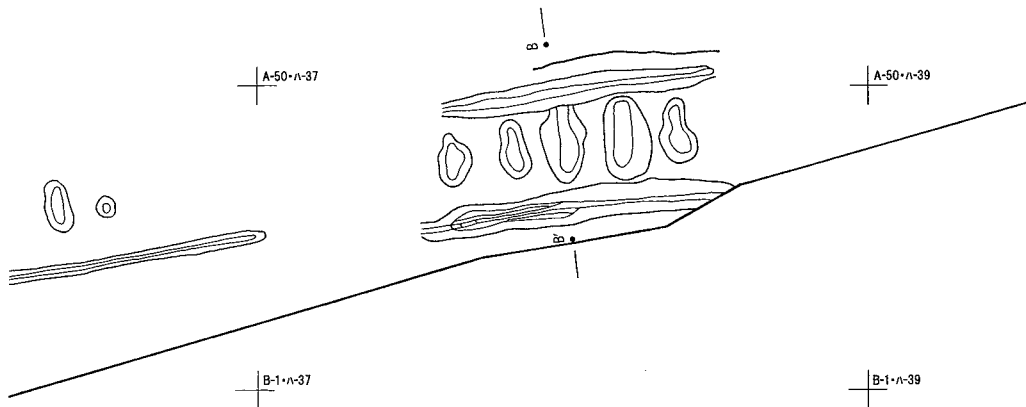
第172図 道路遺構 (1) (1/100) 土層図 (1/50)



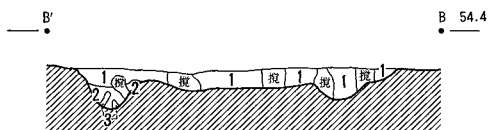
道路遺構 (1/1500)



硬化面範囲



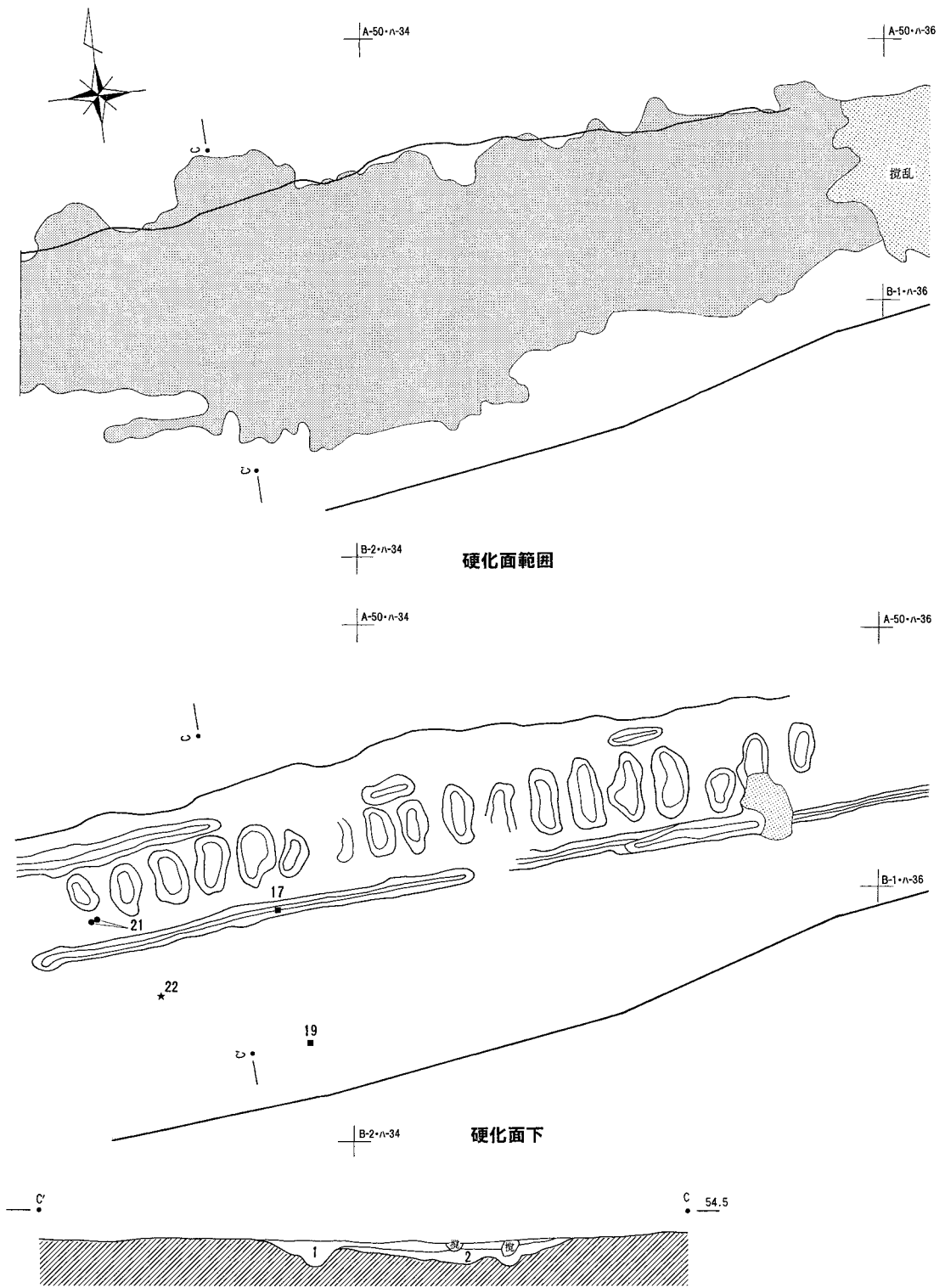
硬化面下



道路遺構

- 1層 暗黒褐色土 ローム粒子を極微量含む。(硬化している)
- 2層 暗褐色土 ローム粒子を極微量含む。(硬化している)
- 3層 暗灰褐色土 ロームブロックが主体。

第173図 道路遺構 (2) (1/100) 土層図 (1/50)



道路遺構

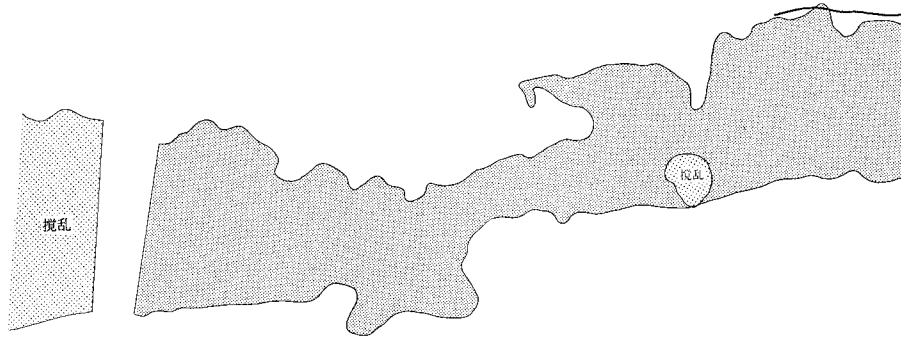
- 1 層 暗黒褐色土 ローム粒子を極微量含む。(硬化している)
- 2 層 暗褐色土 ローム粒子を極微量含む。(硬化している)

第174図 道路遺構 (3) (1/100) 土層図 (1/50)



A-50-n-30

A-50-n-32



乱石

乱石

B-2-n-30

B-2-n-32

硬化面範圍

A-50-n-32

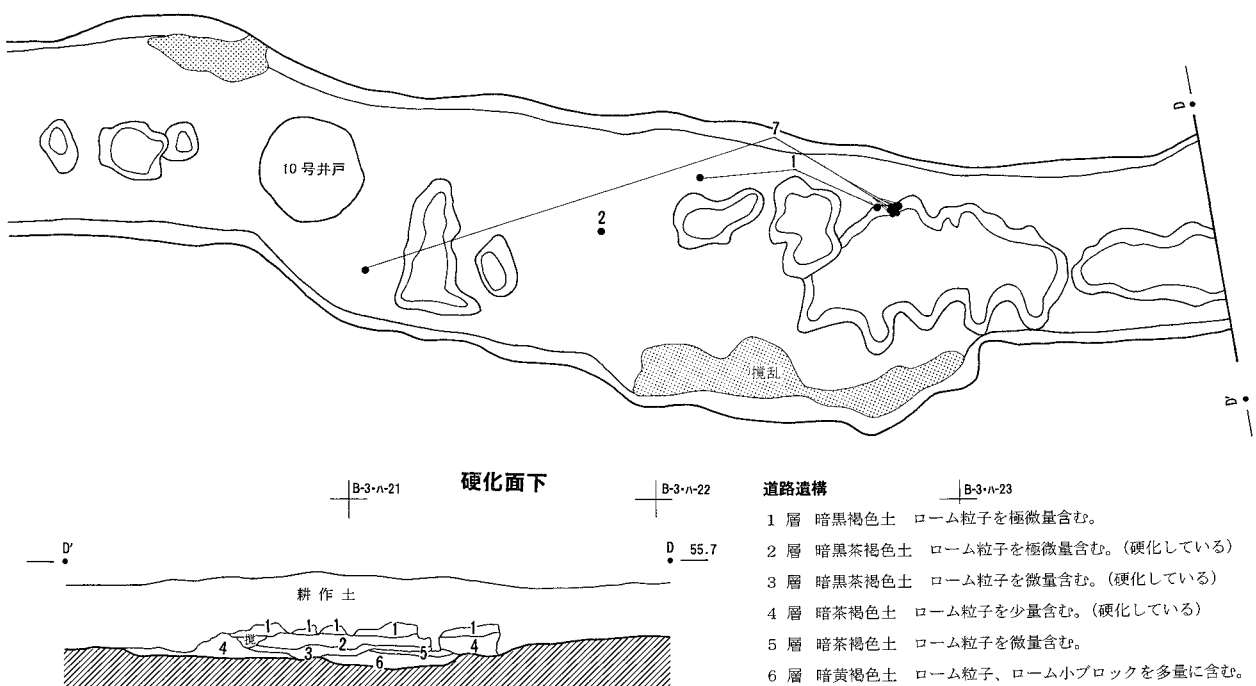
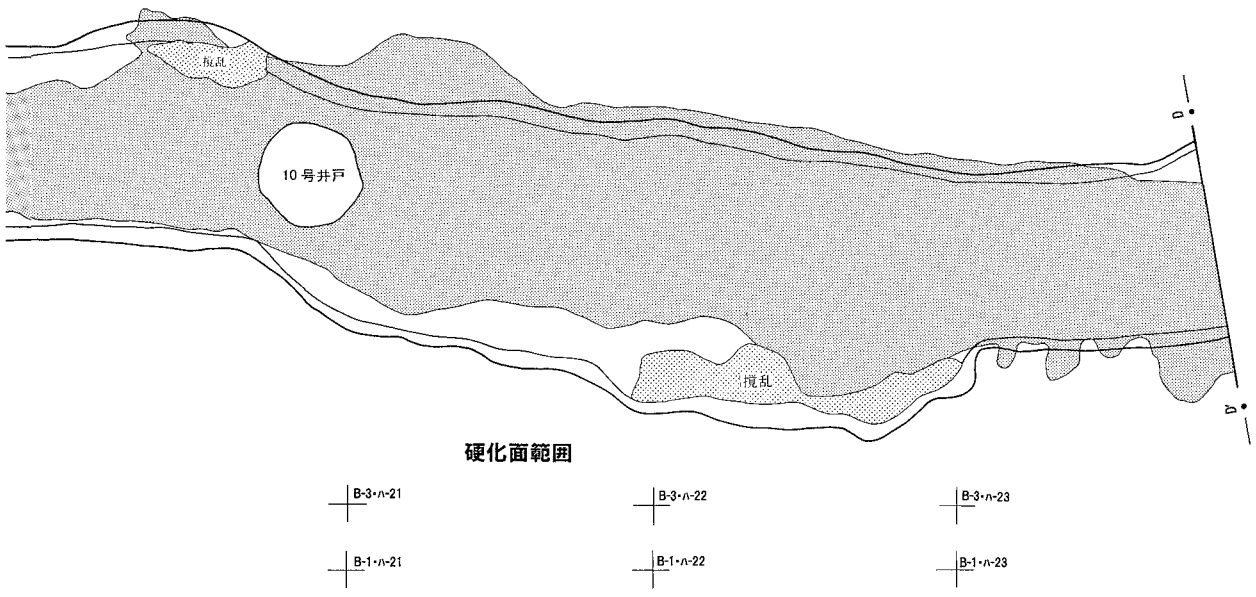
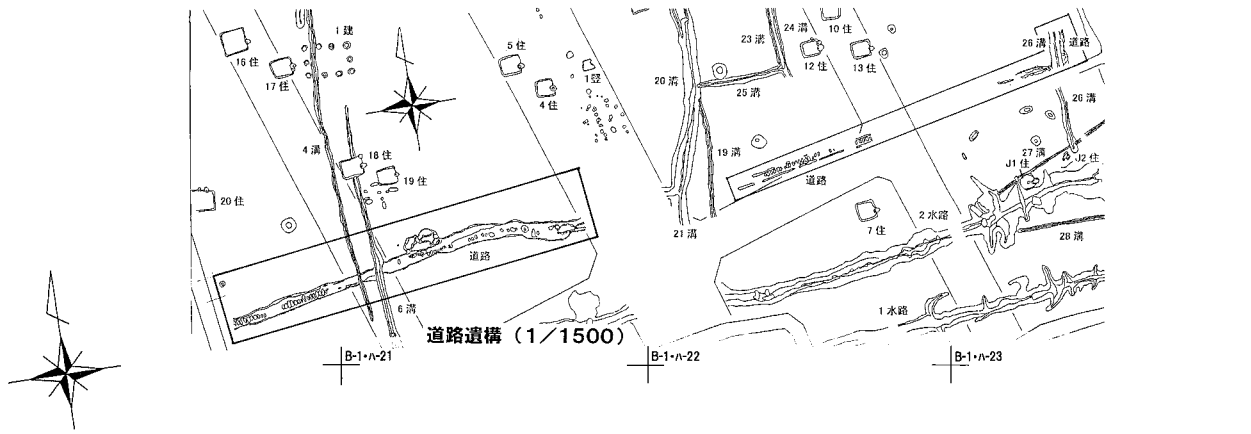
B-1-n-32



硬化面下

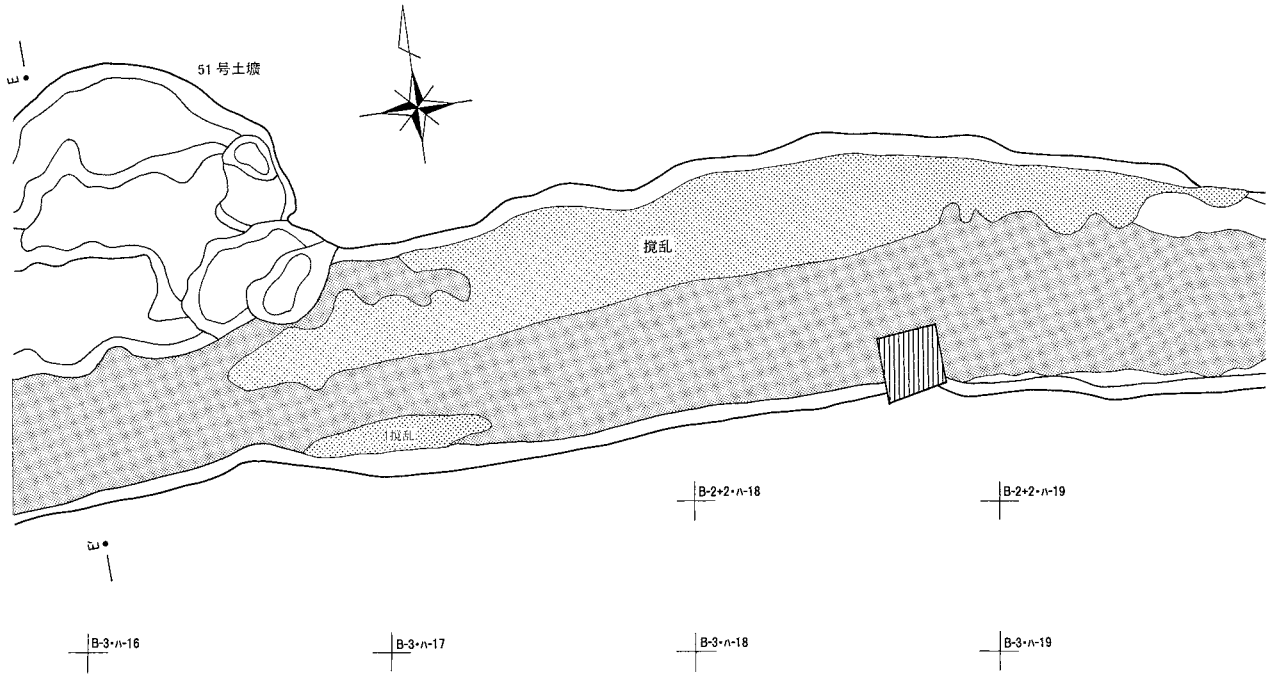
B-2-n-32

第175図 道路遺構 (4) (1/100)

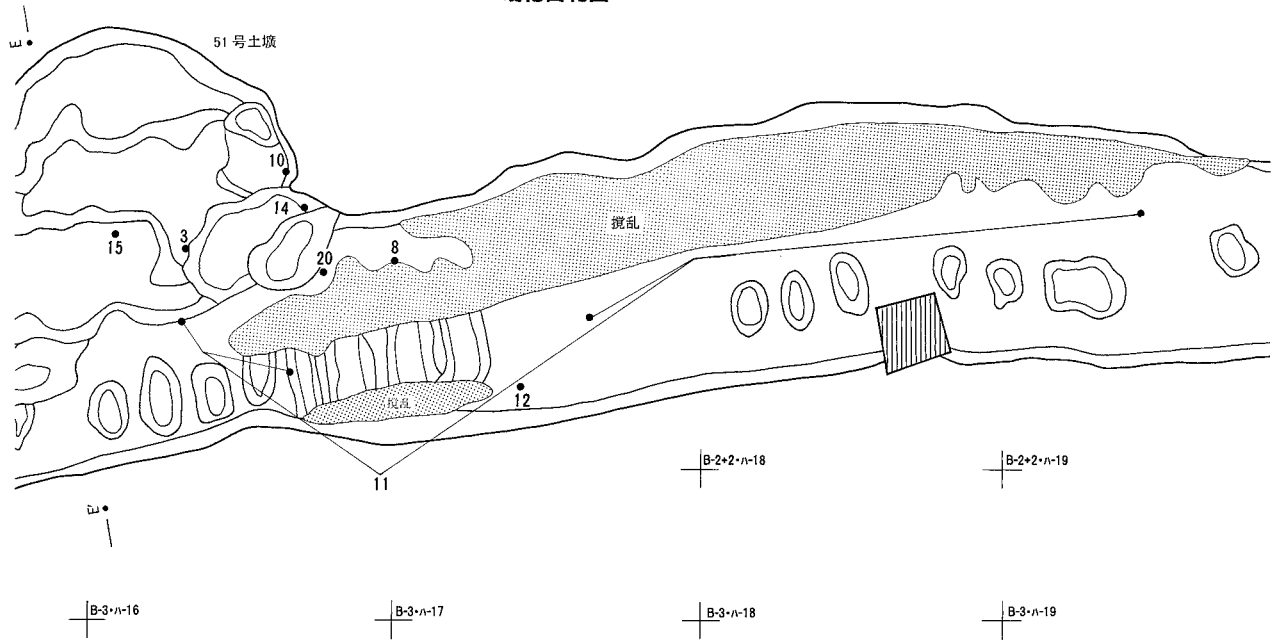


- 道路遺構**
- 1 層 暗黒褐色土 ローム粒子を極微量含む。
 - 2 層 暗黒茶褐色土 ローム粒子を極微量含む。(硬化している)
 - 3 層 暗黒茶褐色土 ローム粒子を微量含む。(硬化している)
 - 4 層 暗茶褐色土 ローム粒子を少量含む。(硬化している)
 - 5 層 暗茶褐色土 ローム粒子を微量含む。
 - 6 層 暗黄褐色土 ローム粒子、ローム小ブロックを多量に含む。

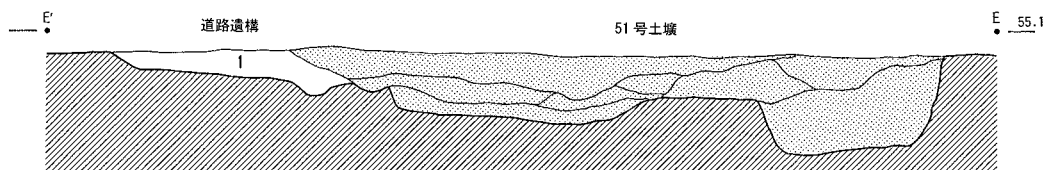
第176図 道路遺構 (5) (1/100) 土層図 (1/50)



硬化面範囲



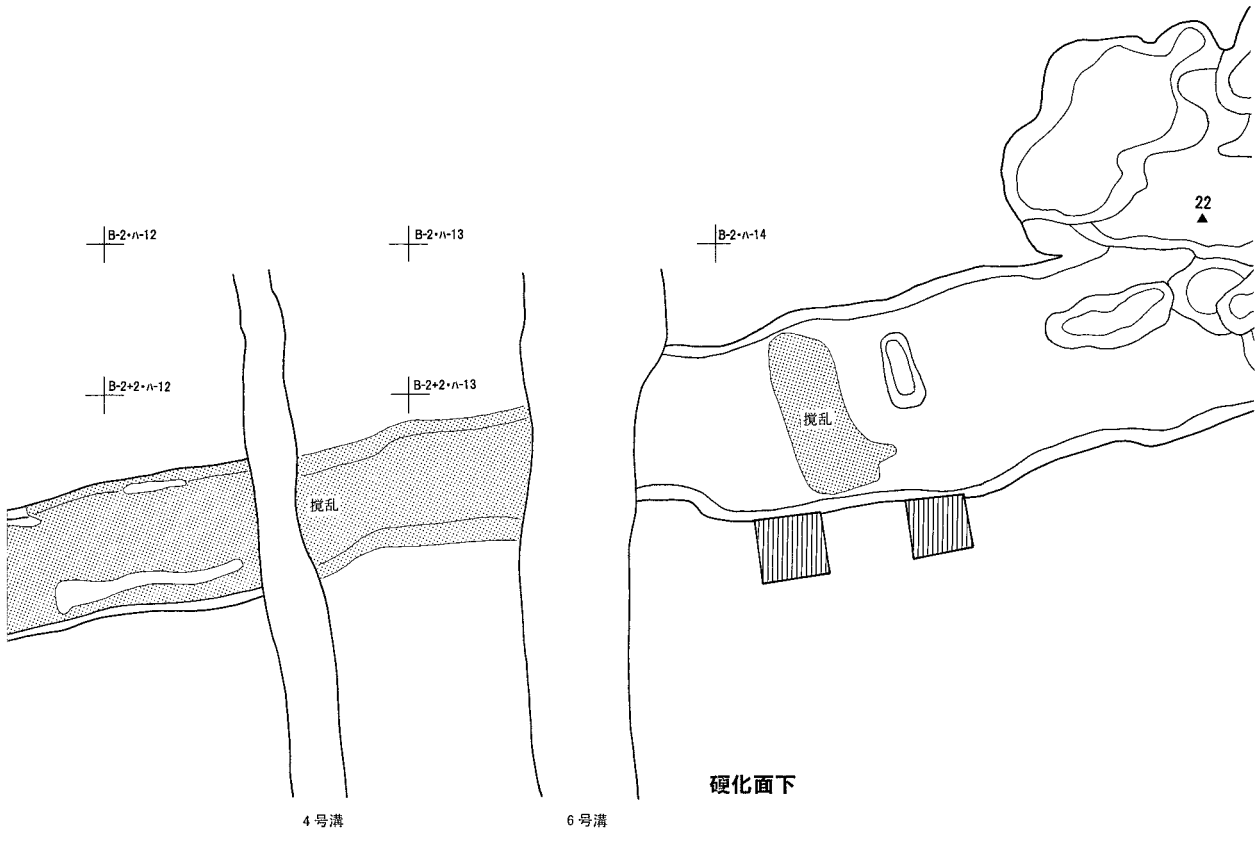
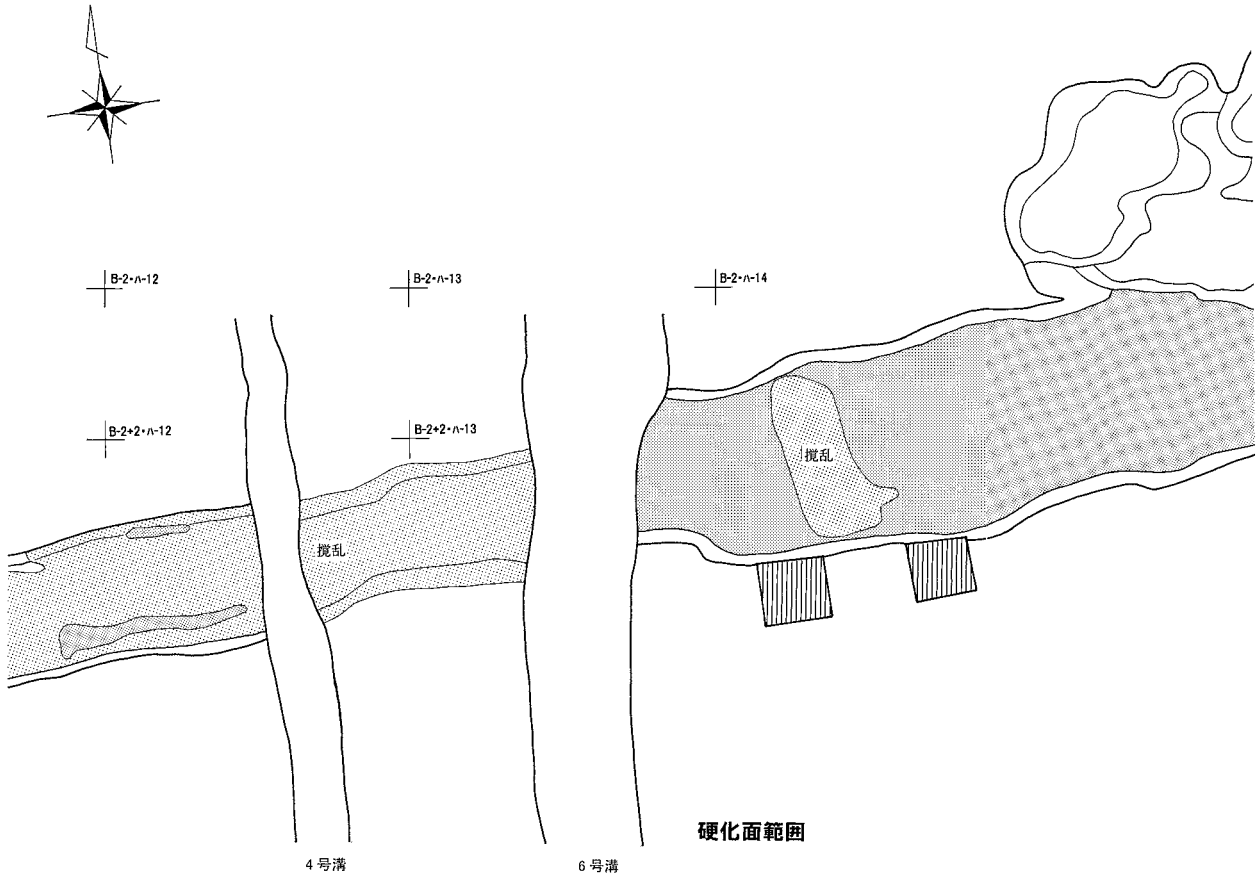
硬化面下



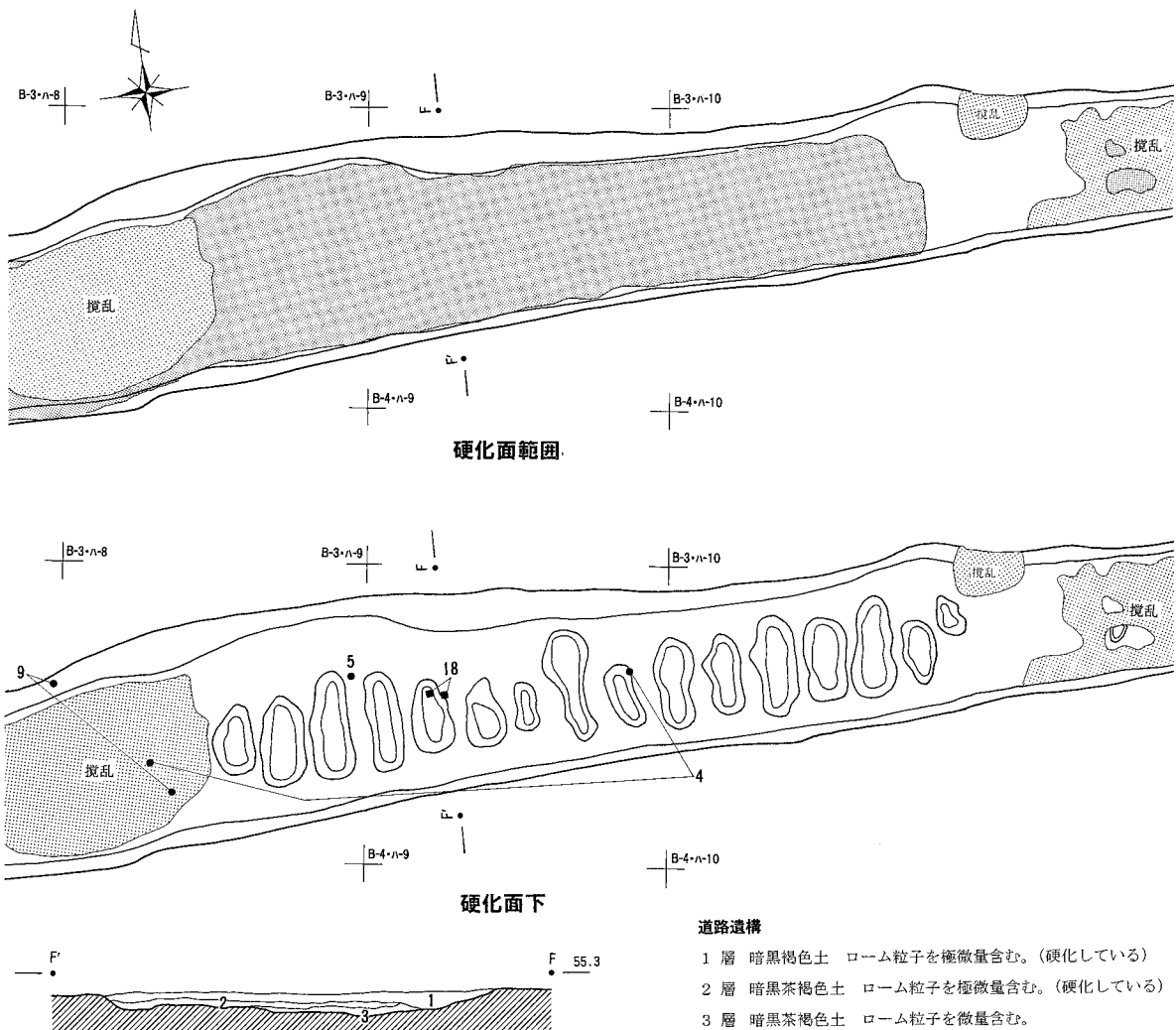
道路遺構

1層 暗褐色土 ローム粒子を微量含む。

第177図 道路遺構 (6) (1/100) 土層図 (1/50)



第178図 道路遺構 (7) (1/100)

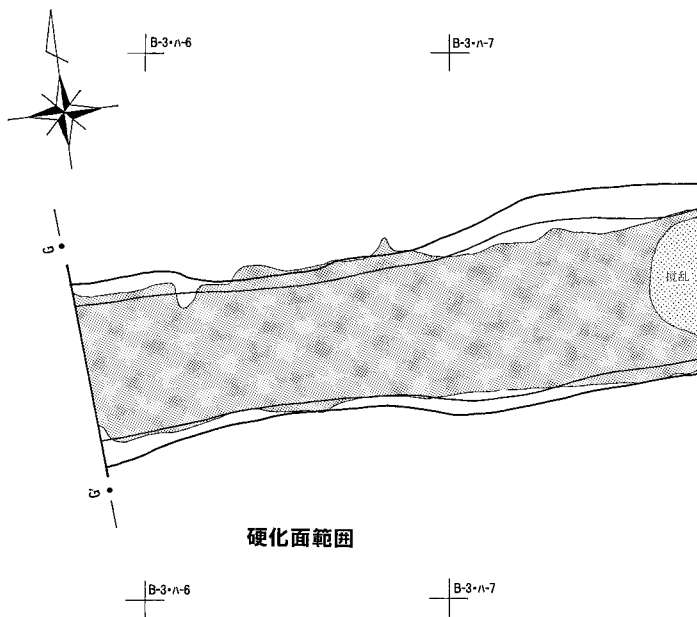


第179図 道路遺構 (8) (1/100) 土層図 (1/50)

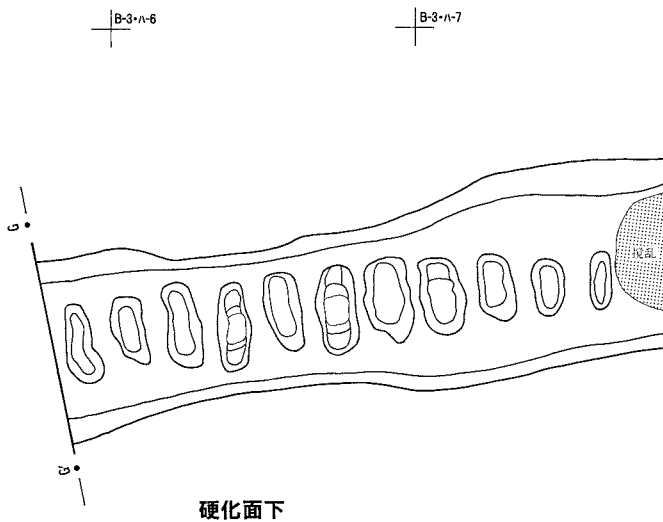
第122表 道路遺構出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 < >は既存値

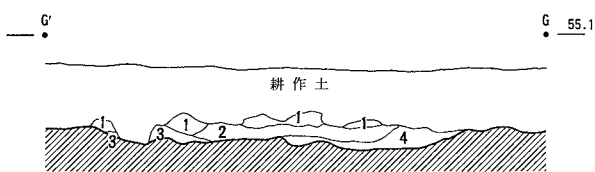
挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
1		坏	-	8.5	8.7	-	還元焰焼成	底部は全面回転篋削り。器内外面にロクロ水挽き整形。
2		坏	-	6.8	7.5	-	還元焰焼成	底部は全面回転篋削り。器内外面にロクロ水挽き整形。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。
3		坏	(13.7)	(6.2)	(5.5)	4.4	半還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。残存率30%。
4		坏	-	5.8	6.0	-	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。
5		坏	-	-	-	-	還元焰焼成	器内外面にロクロ水挽き整形。器外面には、棒状工具で格子文を描いている。
6		皿	-	6.0	-	-	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。
7		埴	(16.0)	(9.1)	(9.4)	5.3	還元焰焼成	底部は回転糸切り後外周部回転篋削り。器内外面にロクロ水挽き整形。



硬化面範囲



硬化面下



道路遺構

- 1層 暗黒褐色土 ローム粒子を極微量含む。(硬化している)
- 2層 暗黒茶褐色土 ローム粒子を極微量含む。(硬化している)
- 3層 暗茶褐色土 ローム粒子を少量含む。
- 4層 暗黄褐色土 ローム粒子、ローム小ブロックを多量に含む。

第180図 道路遺構 (9) (1/100) 土層図 (1/50)

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
8		高台付坏	-	6.9	6.1	-	半還元焰焼成	底部は回転糸切り後に、高台を貼り付けている。末野窯跡産の可能性あり。
9		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器内外面にロクロ水挽き整形を施し、器外面に3条の櫛引きの波状文が横走。
10		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器外面に斜め方向の平行叩き。器内面は当て具の後にナデ整形。
11	45-11	甕	-	-	-	-	半還元焰焼成	器外面に斜め方向の平行叩き。器内面に当て具痕が残る。湖西窯跡産。

第123表 道路遺構出土遺物観察表

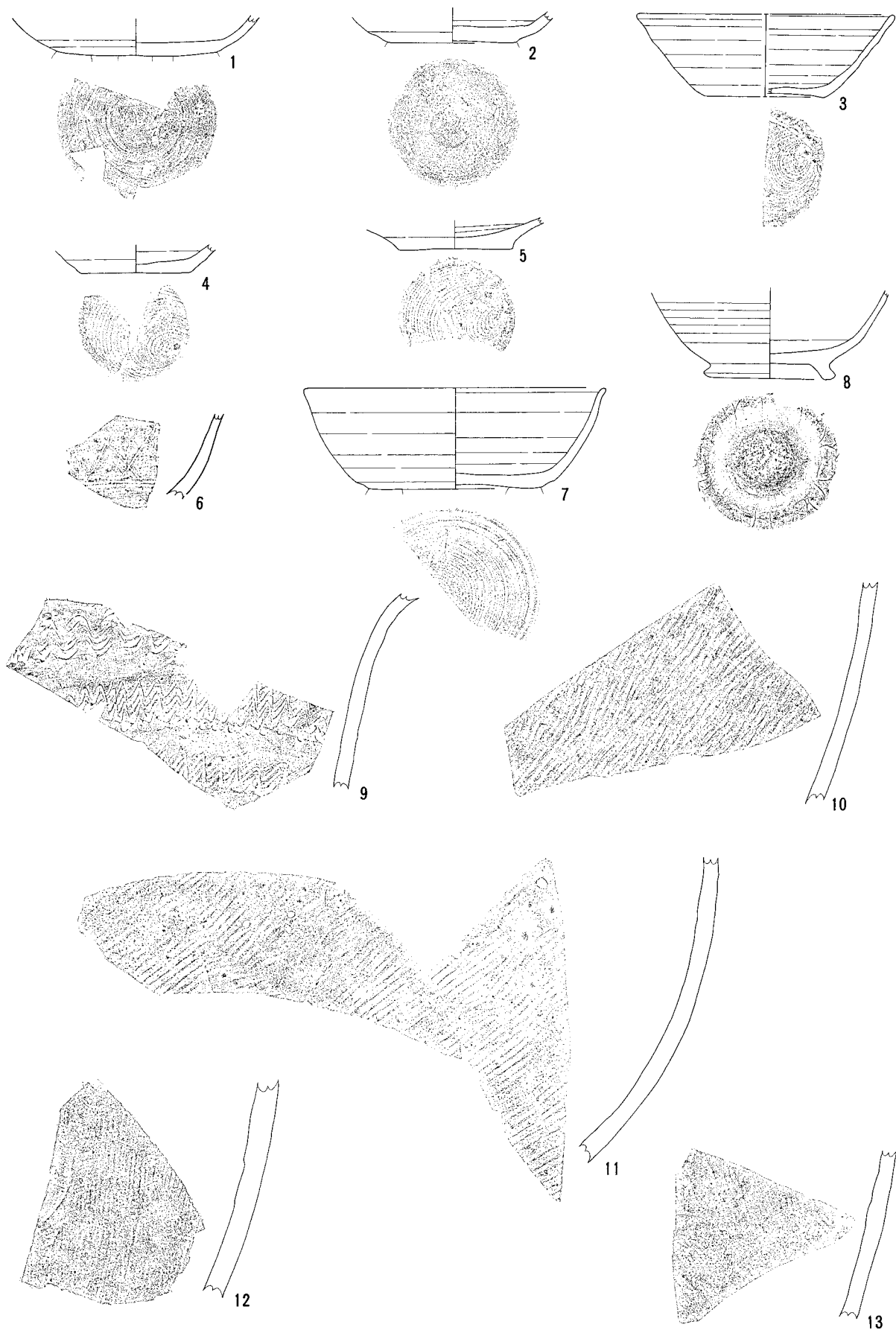
単位はcm ()は推定値 < >は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
12		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器外面に縦、斜め方向の平行叩き。器内面に当て具痕が残る。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。
13		甕	-	-	-	-	半還元焰焼成	器外面に斜め方向の平行叩き。器内面には当て具痕が残る。
14		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器内外面にナデ整形。器内面に当て具痕が残る。
15		壺	-	(11.8)	-	-	還元焰焼成	器外面には指頭調整痕が残る。胴部下端には回転篋削り。器内面にナデ整形。器内面底部に自然釉が残る。
16		壺	-	-	-	-	還元焰焼成	器内外面にロクロ水挽き整形。器外面に櫛状の押圧文を4段施文。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。
17		平瓦	-	-	-	-	還元焰焼成	凹面に布目痕、凸面は縄叩き。端面、凹面端部に篋削り。
18		平瓦	-	-	-	-	還元焰焼成	凹面に布目痕、凸面は縄叩き。側面及び端面、凹面端部に篋削り。
19		平瓦	-	-	-	-	還元焰焼成	凹面に布目痕、凸面は縄叩き。側面及び端面、凹面端部と側部に篋削り。
20		捏鉢	-	-	-	-	在地産	ロクロ水挽き整形後に、胴部外面に指頭整形。
21		捏鉢	-	-	-	-	常滑産	器内外面にロクロ水挽き整形。

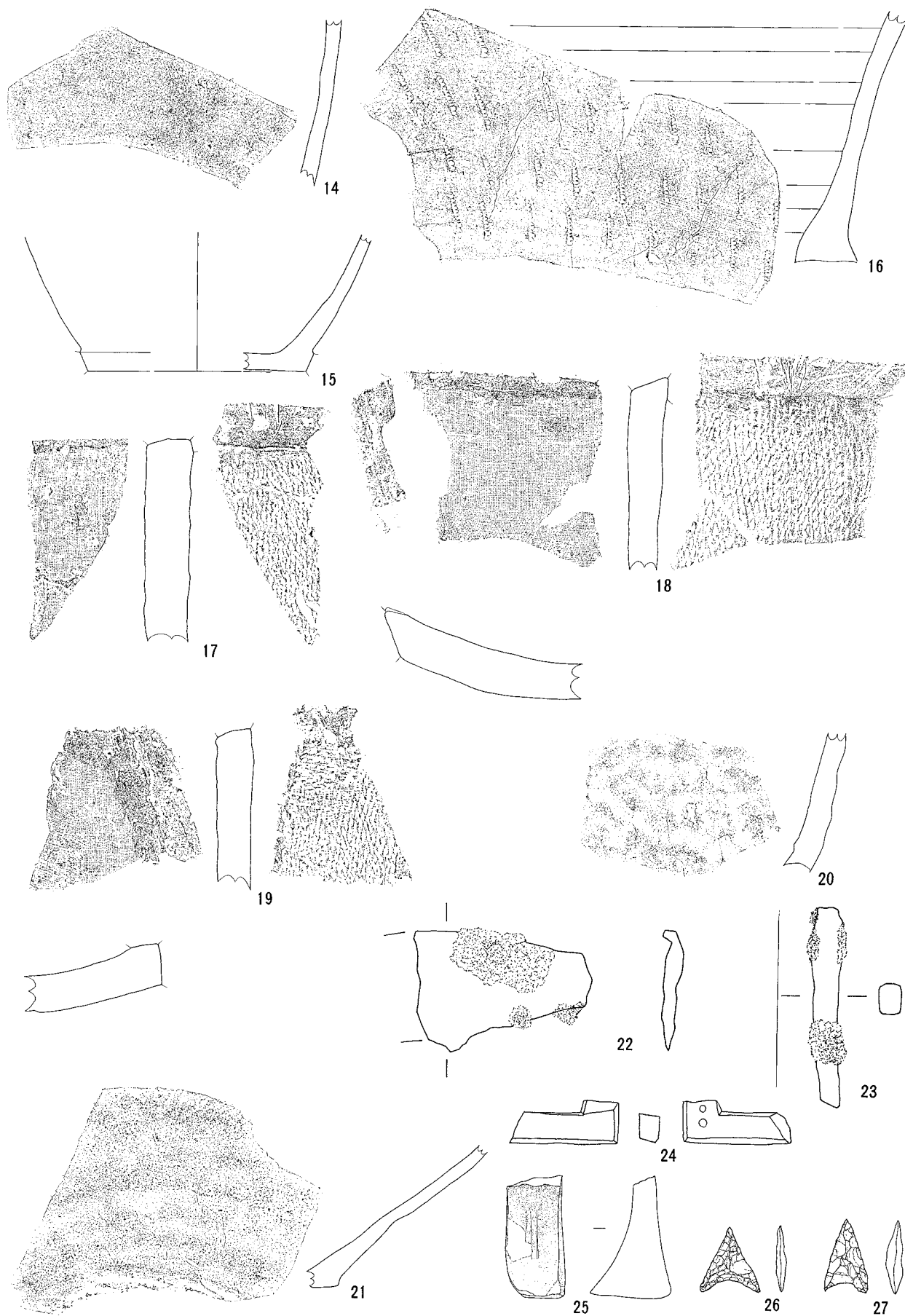
挿図番号	図版番号	種類	長さ	幅	厚み	観察・特徴
22		鎌	<4.9>	3.3	0.5	刃部の破片である。
23		釘	<5.5>	0.8	0.8	頭部と先端を欠損する。断面は方形を呈する。

挿図番号	図版番号	種類	長さ	厚み	幅	重さ(g)	観察・特徴
24	45-24	巡方	<3.0>	0.8	<1.2>	<3.4>	表面及び側面は丁寧に磨いている。裏面には2穴一対の潜り穴が1ヶ所確認できる。石質は蛇紋岩である。

挿図番号	図版番号	種類	長さ	幅	重さ(g)	観察・特徴
25		砥石	<6.6>	3.1	<88>	両面、両側面に擦り痕が残る。石質は凝灰岩。
26	45-26	石鏃	1.7	1.6	0.6	完形品。基部に深い抉りがある。石質はチャート。
27	45-27	石鏃	2.0	1.1	0.9	完形品。基部に浅い抉りがある。石質はチャート。



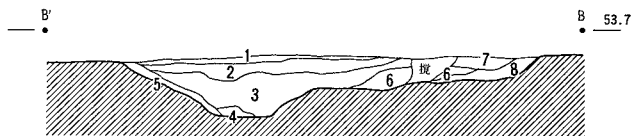
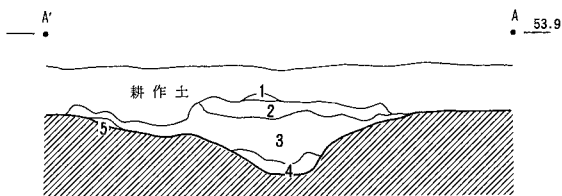
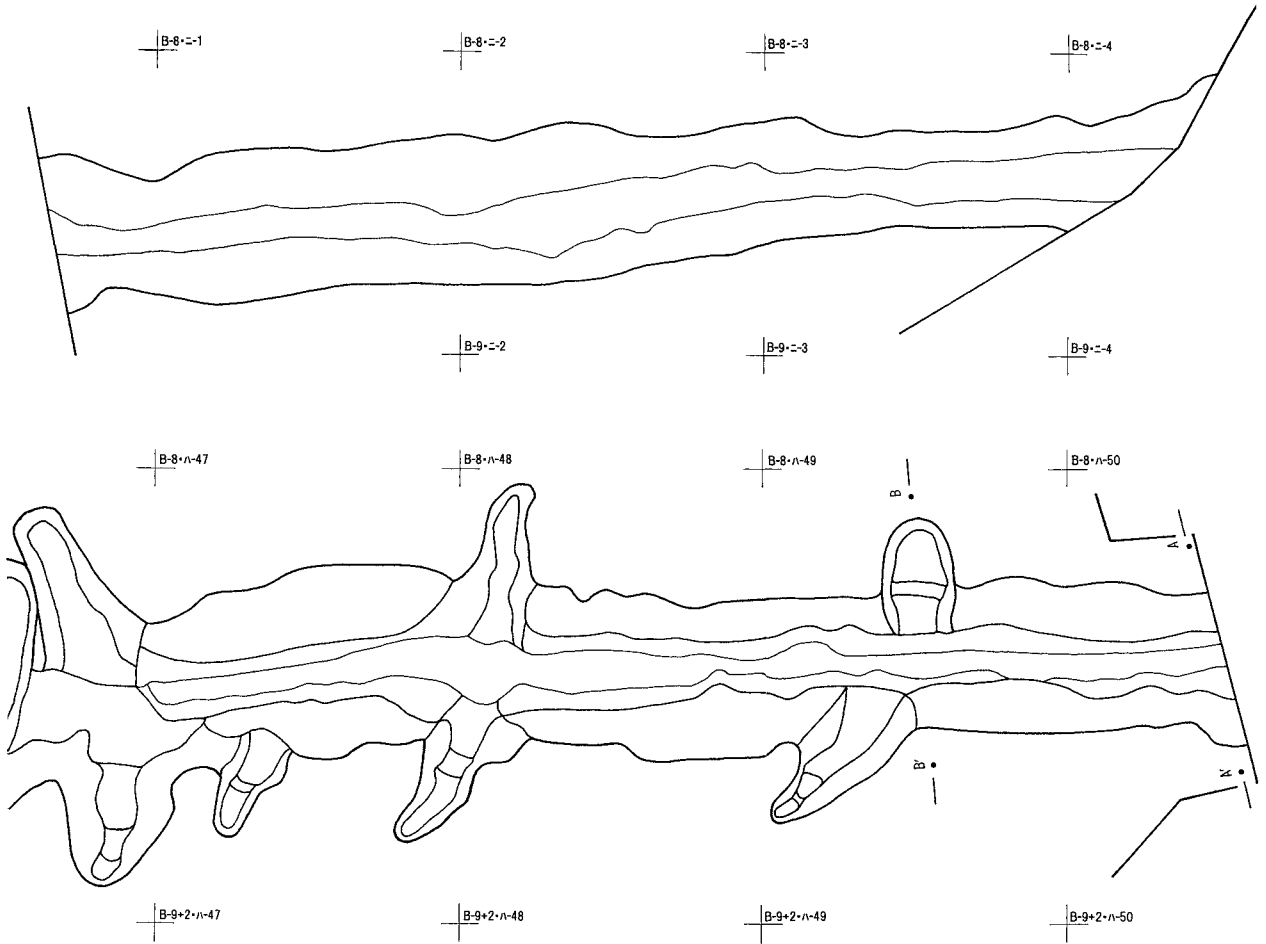
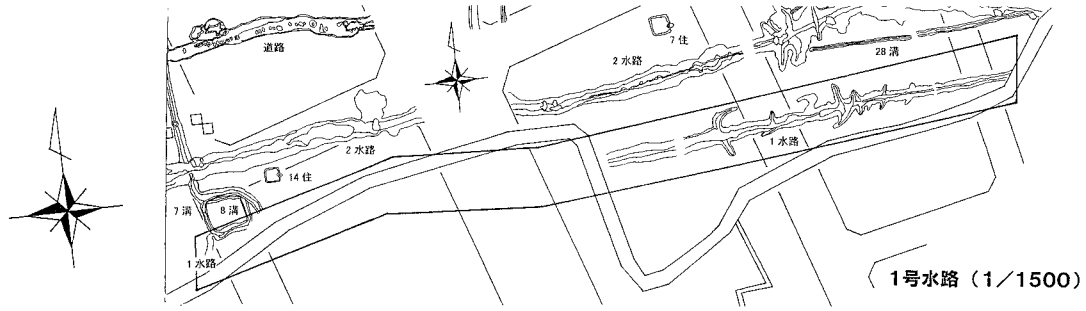
第181図 道路遺構出土遺物 (1) (1/3) 但し、6は (1/2)



第182図 道路遺構出土遺物 (2) (1/3) 但し、22~24、26、27は (2/3)



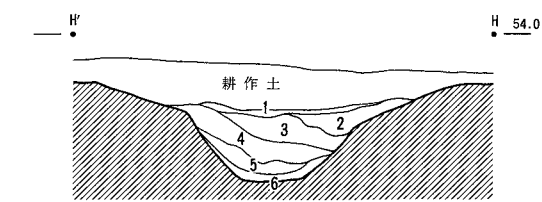
第183図 水路、溝全測図 (1/1500)



1号水路

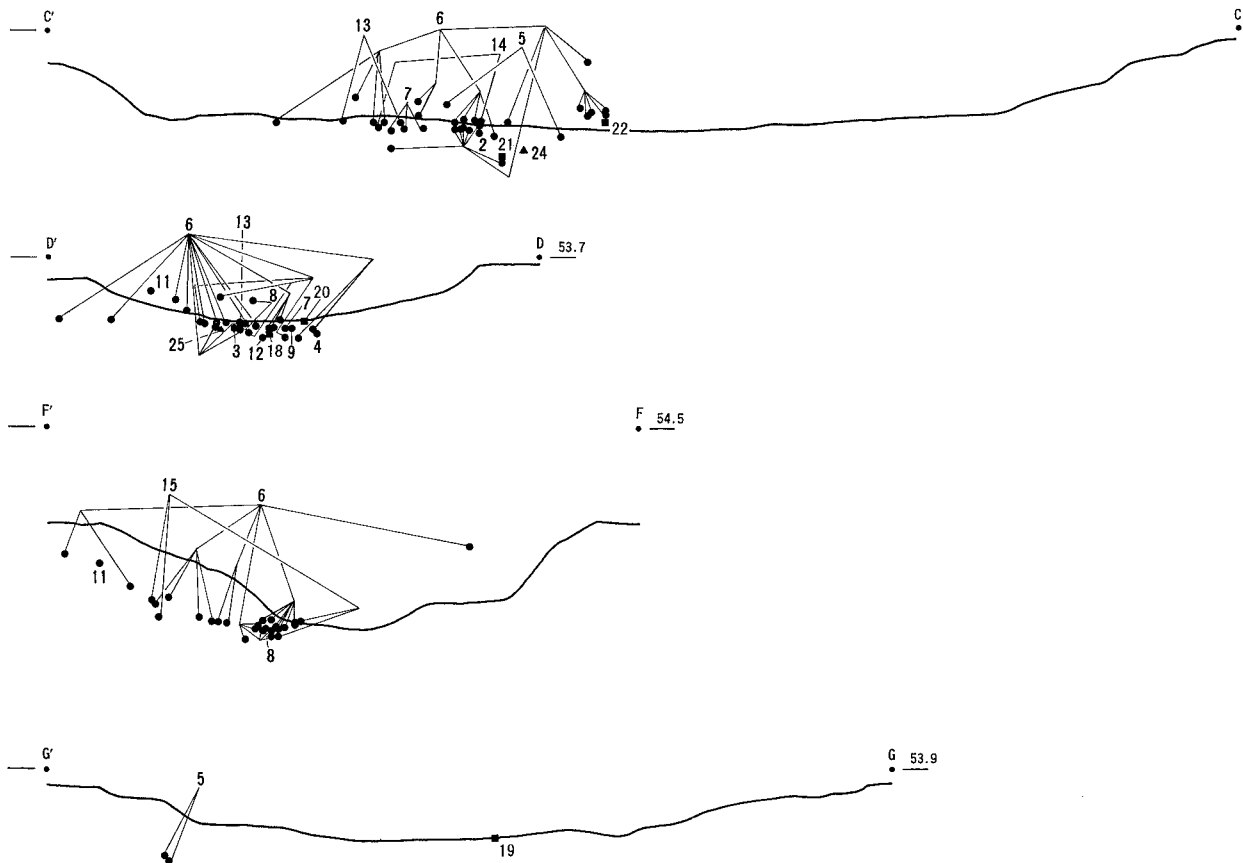
- 1 層 暗茶褐色土 ローム粒子を極微量含む。
- 2 層 暗褐色土 ローム粒子を微量含み、ローム小ブロックを極微量含む。
- 3 層 暗黒褐色土 ローム粒子を少量含み、ローム小ブロックを微量含む。
- 4 層 暗黄灰褐色土 ローム粒子を少量含み、焼土ブロックを極微量含む。
- 5 層 暗灰褐色土 ローム粒子、焼土粒子を少量含む。
- 6 層 暗褐色土 ローム粒子を少量含み、炭化物粒子を極微量含む。
- 7 層 暗黄褐色土 ローム粒子を多量に含む。
- 8 層 暗茶褐色土 ローム粒子を微量含む。

第184図 1号水路 (1) (1/100) 土層図 (1/50)



1号水路

- 1層 暗褐色土 ローム粒子を微量含み、ローム小ブロックを極微量含む。
- 2層 暗灰褐色土 ローム粒子、焼土粒子を少量含む。
- 3層 暗茶褐色土 ローム粒子を極微量含む。
- 4層 暗褐色土 ローム粒子を微量含み、ローム小ブロックを極微量含む。
- 5層 暗黄褐色土 ローム粒子を少量含む。
- 6層 暗褐色土 ローム粒子を含む。



第186図 1号水路 (3) 土層図、断計図 (1/50)

(5) 水路

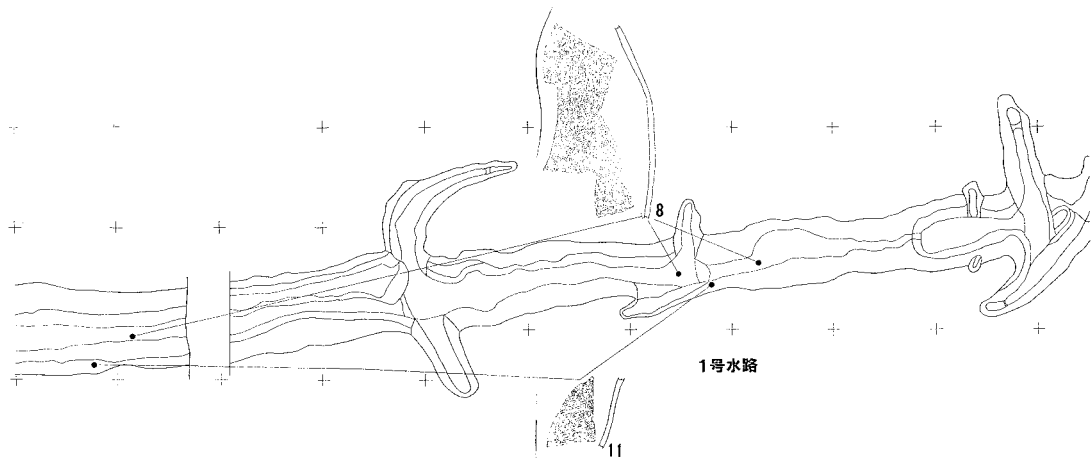
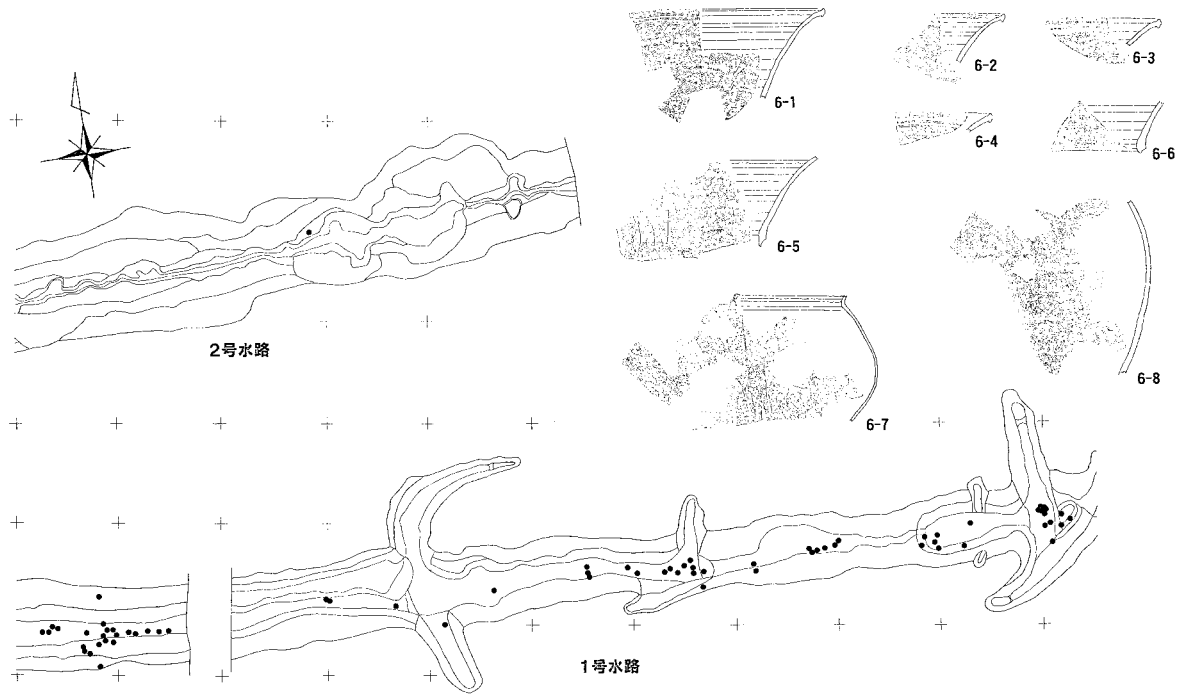
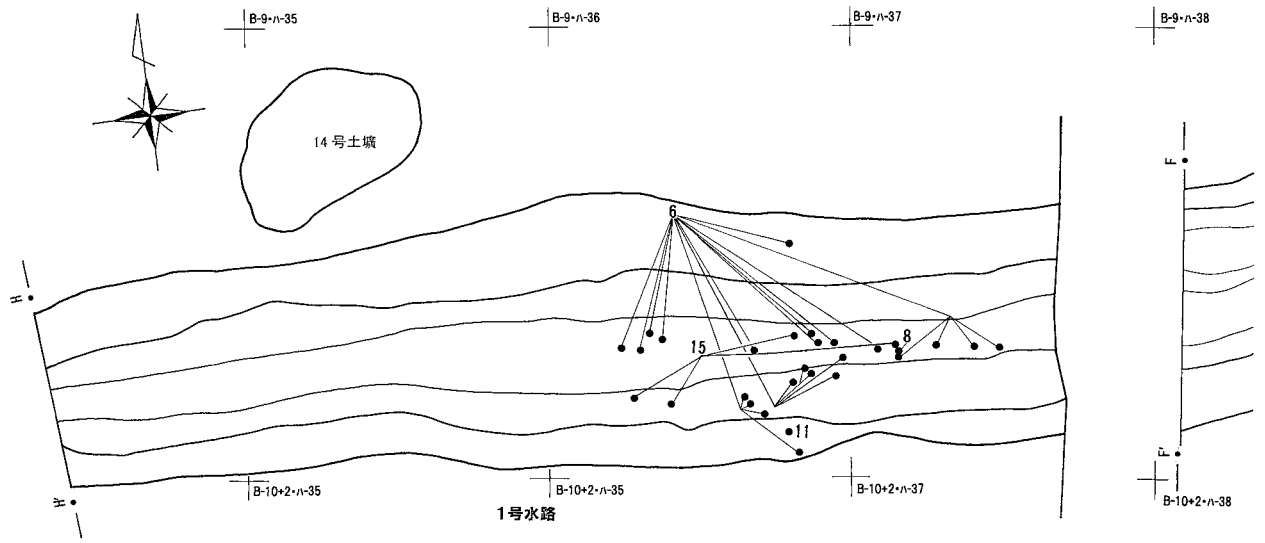
1号水路

遺跡の南寄り、東西方向に走る1号水路を162mにわたり確認した。幅は1.3～5mをはかり、深さは24～63cmをはかる。底面は緩やかに西から東へ傾斜し、高低差は12cmをはかる。

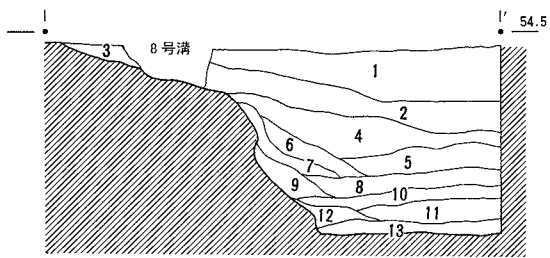
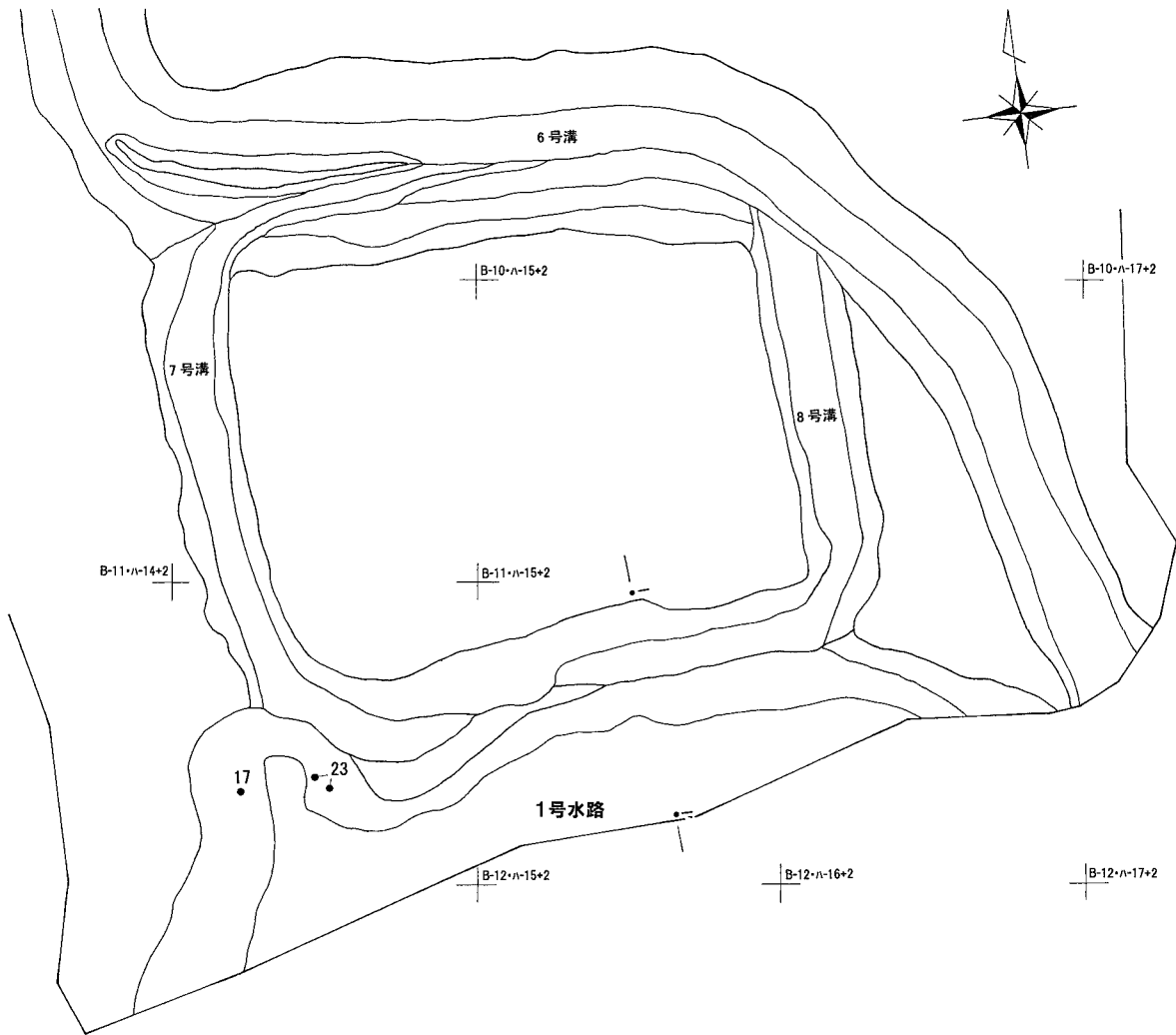
本遺構に付属する不規則な形状の突起が2個一対で所々に設けられているが、規則性は見受けられない。突起部の規模0.8～3m、幅0.7～2mで、突起と水路の接合個所の底面は、やや深く掘りこまれている。

当初は溝に幾つかの土壌が重複したものと考え調査を行っていったが、底面近くの砂の堆積により、水路と同様に水が流れていたことが窺える。本遺構は灌漑用水路として開削されたと考えられ、突起については、どのような機能を持つ施設なのか不明な点が多い。

出土した遺物は広範囲で接合し、6は水路全域の55mの範囲で、5は24m、7は23m、8は26mにわたって接合している。

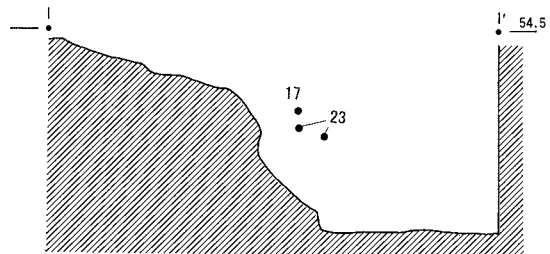


第187图 上段 1号水路 (4) (1/100) 中段 6遺物接合狀況 下段 8、11遺物接合狀況 (1/300)



1号水路

- 1層 暗褐色土 ローム粒子を微量含む。
- 2層 明茶褐色土 ローム粒子を微量含む。
- 3層 暗黄褐色土 ローム粒子を少量含む。
- 4層 暗黒褐色土 ローム粒子を微量含む。
- 5層 暗黒茶褐色土 ローム粒子、炭化物粒子を微量含む。
- 6層 暗黒褐色土 ローム粒子を極微量含む。
- 7層 暗褐色土 ローム粒子を少量含む。
- 8層 暗茶褐色土 粘土を少量含み、ローム粒子を微量含む。
- 9層 暗褐色土 ローム粒子を多量に含む。
- 10層 暗灰褐色土 砂粒を少量含み、ローム粒子を微量含む。
- 11層 暗黄褐色土 砂粒、小礫を含み、ローム粒子を微量含む。
- 12層 黒褐色土 ローム粒子を微量含む。
- 13層 暗黄褐色土 小礫を多量に含み、ローム粒子を微量含む。



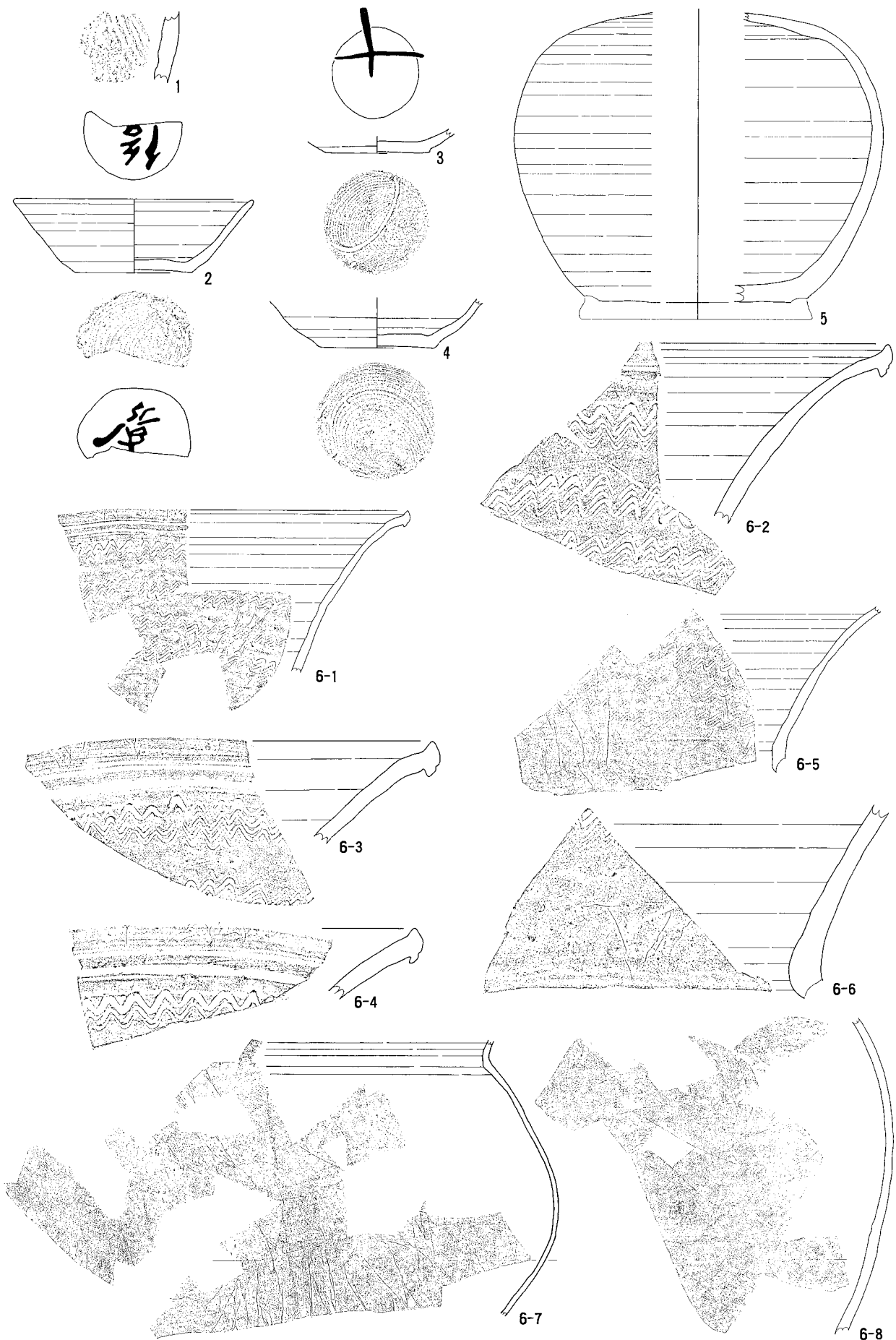
第188図 1号水路 (5) (1/100) 土層図 (1/50)

第124表 1号水路出土遺物観察表

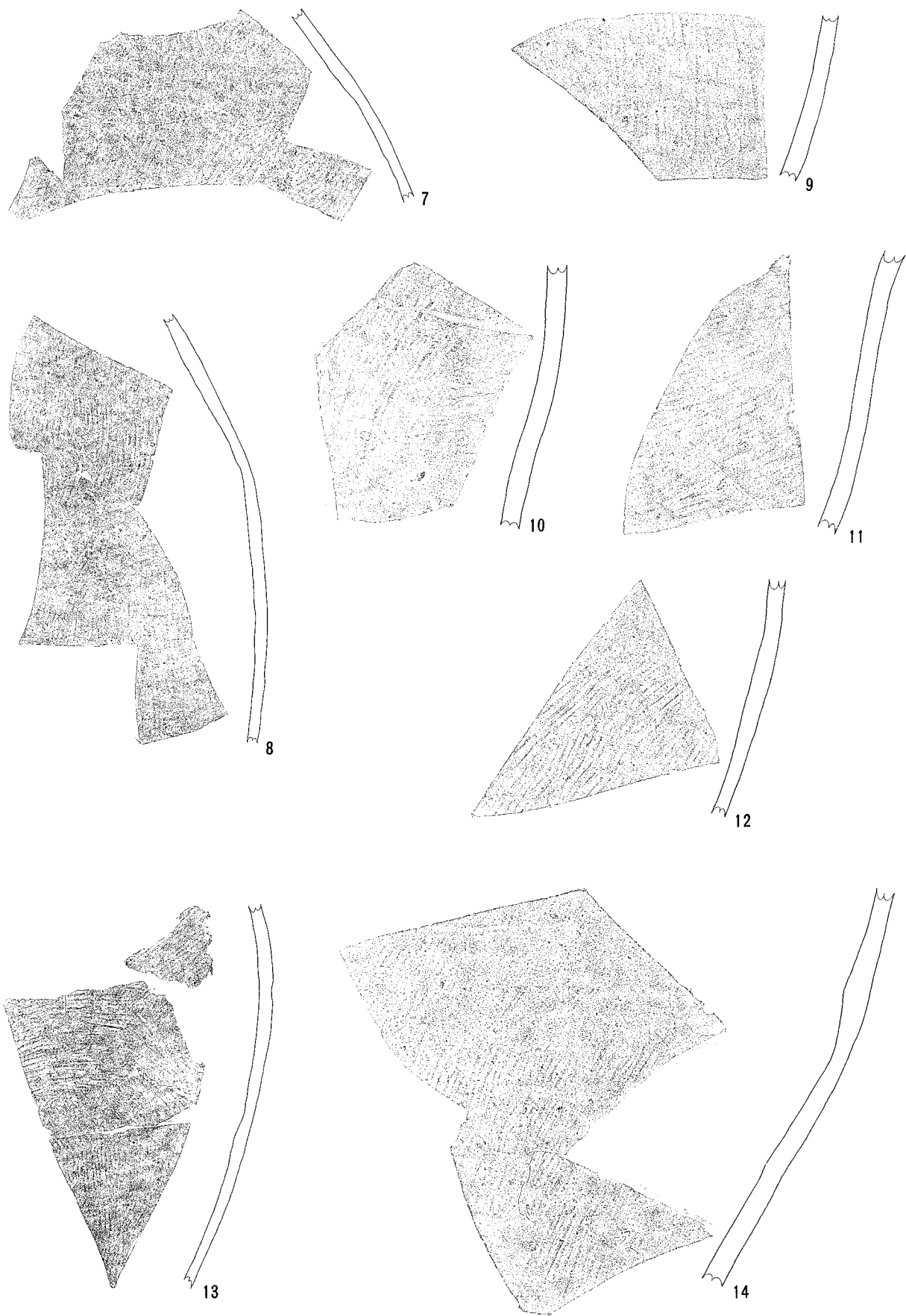
単位はcm ()は推定値 < >は既存値

挿図番号	図版番号	部位	地紋	観察・特徴
1		胴部	条痕文	器外面に斜め方向に施文している。胎土に繊維を含む。

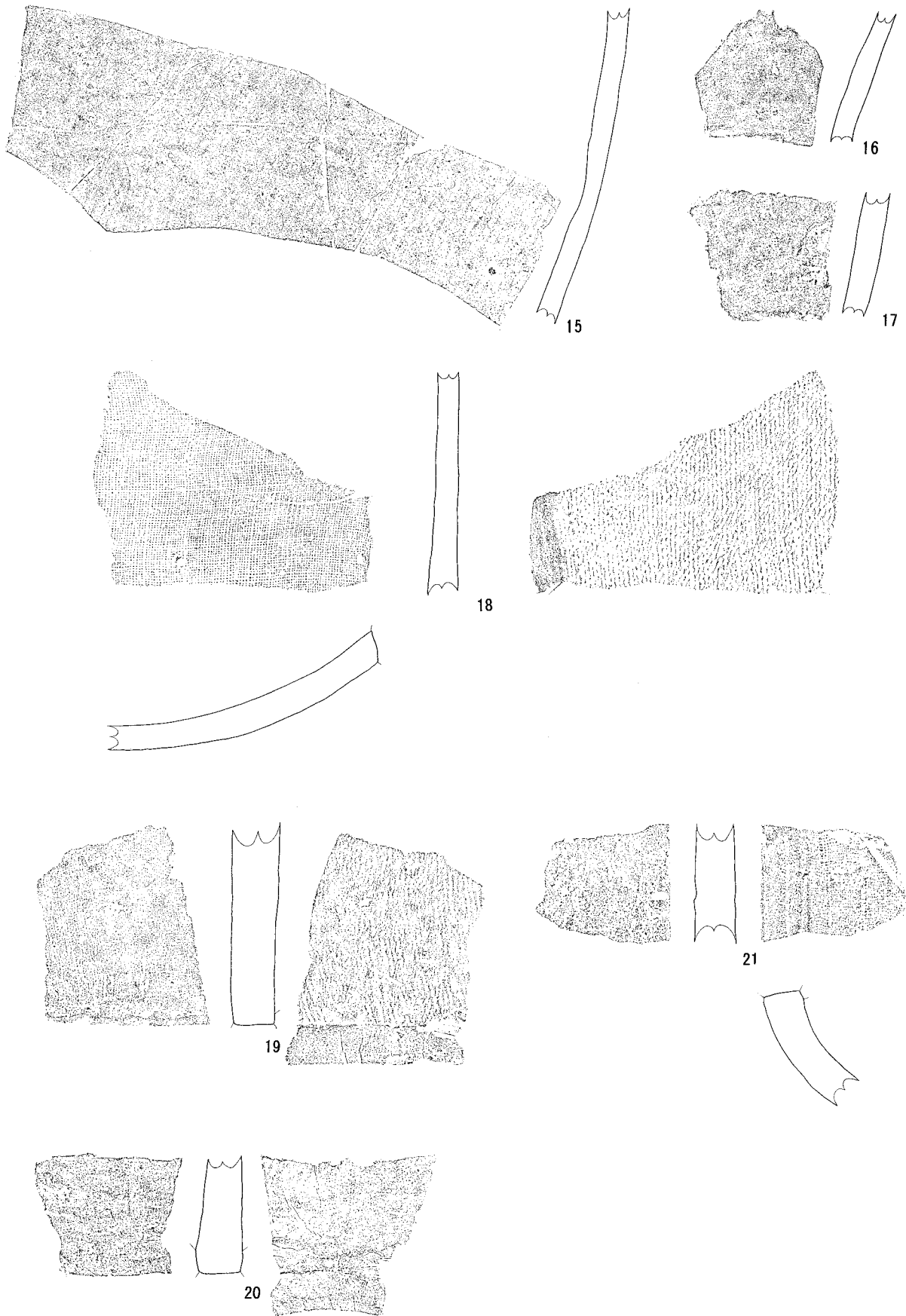
挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
2		坏	(13.0)	6.2	5.3	4.0	還元焰焼成	底面から出土。底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。底部器内外面に「後」の墨書。
3		坏	-	5.7	4.7	-	還元焰焼成	底面から出土。底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。底部内面に「×」の墨書。底部外面に篋記号。
4		坏	-	6.3	5.7	-	還元焰焼成	底面から出土。底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。
5	45-5	高台付壺	-	(12.4)	-	-	還元焰焼成	底面から出土。器内面にロクロ水挽き整形。外面は篋整形。底部に高台が剥がれた痕跡。
6-1		大甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器内外面にロクロ水挽き整形。器外面に櫛引きの波状文が4条横走。器外面に自然釉。湖西窯跡産。
6-2		大甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器内外面にロクロ水挽き整形。器外面に櫛引きの波状文が3条横走。器外面に自然釉。湖西窯跡産。
6-3		大甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器内外面にロクロ水挽き整形。器外面に櫛引きの波状文が2条横走。器外面に自然釉。湖西窯跡産。
6-4		大甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器内外面にロクロ水挽き整形。器外面に櫛引きの波状文が横走。器外面に自然釉。湖西窯跡産。
6-5		大甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器内外面にロクロ水挽き整形。器外面に櫛引きの波状文が4条横走。器外面に自然釉。湖西窯跡産。
6-6		大甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器内外面にロクロ水挽き整形。器外面に櫛引きの波状文が横走。頸部下端の器外面に自然釉。湖西窯跡産。
6-7		大甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器外面に斜め方向の平行叩き。器内面は当て具後にナデ整形。肩部から胴部上半部に自然釉。湖西窯跡産。
6-8		大甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器外面に斜め方向の平行叩き。器内面は当て具後にナデ整形。肩部から胴部上半部に自然釉。湖西窯跡産。
7	45-7	甕	-	-	-	-	還元焰焼成	床面から出土。器外面に斜め方向の平行叩き。器内面は当て具後にナデ整形。
8	45-8	甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器外面に斜め方向の平行叩き。器内面は当て具後にナデ整形。



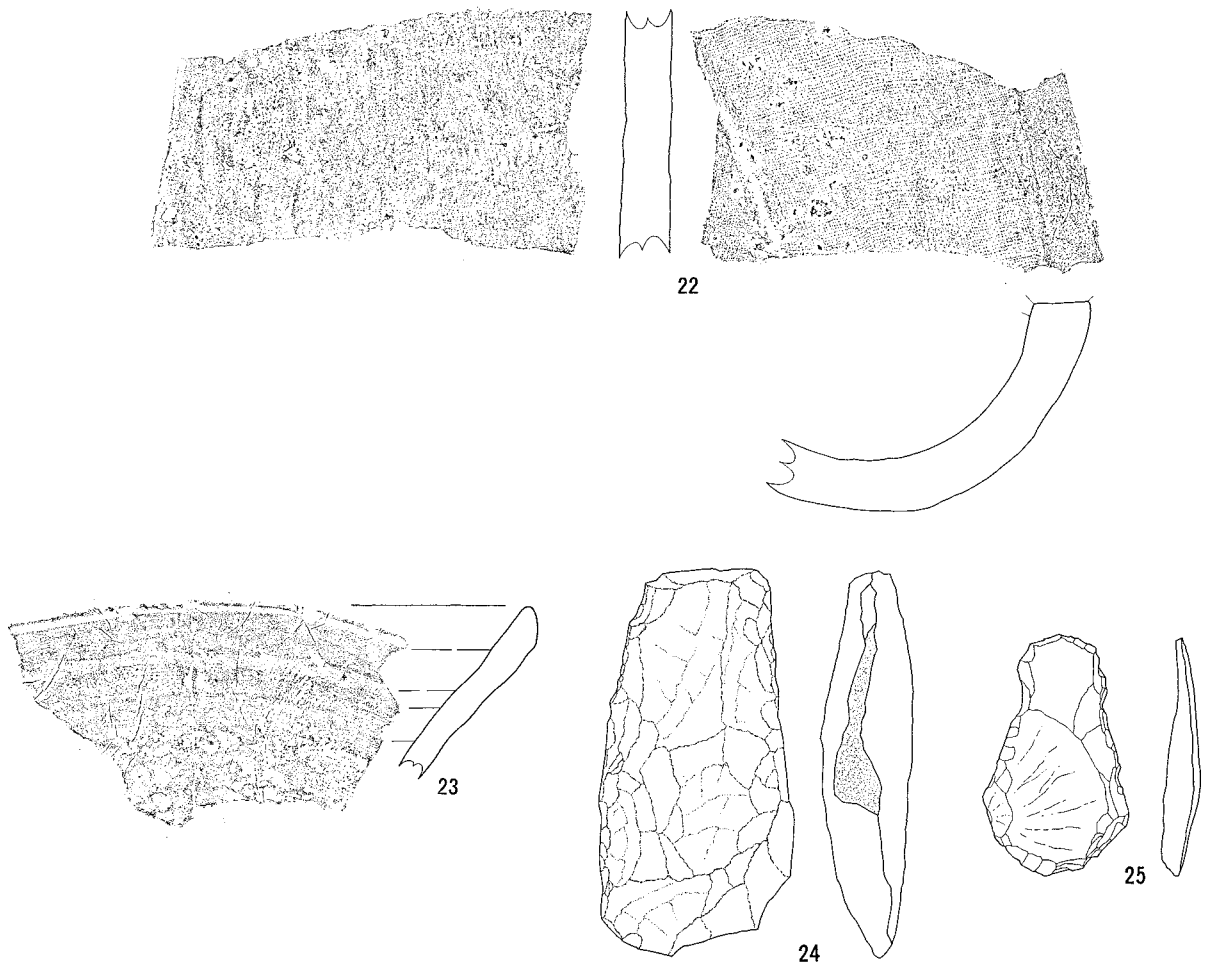
第189図 1号水路出土遺物 (1) (1/3) 6-1、6-5、6-8は (1/6)、6-7は (1/10)



第190図 1号水路出土遺物 (2) (1/3) 7は (1/6)、8、13は (1/5)



第191图 1号水路出土遺物 (3) (1/3)



第192図 1号水路出土遺物 (4) (1/3)

第125表 1号水路出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 < >は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
9		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	底面から出土。器内面は当て具後にナデ整形。
10		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器外面に横、斜め方向の平行叩き。器内面はナデ整形。
11		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	底面付近から出土。器外面に斜め方向の平行叩き。器内面はナデ整形。
12		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	底面から出土。器外面に斜め方向の平行叩き。器内面はナデ整形。
13		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器外面に横方向の平行叩き。器内面はナデ整形。自然釉が一部に残る。

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
14		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器外面に斜め方向の平行叩き。器内面はナデ整形。自然釉が一部に残る。
15		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器外面に斜め方向の平行叩き。器内面は当て具後にナデ整形。器外面に釉が付着している。湖西窯跡産。
16		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器内外面にロクロ水挽整形。
17		平瓦	-	-	-	-	還元焰焼成	底面から出土。凹面に布目痕、凸面に縄叩き。側面に篋削り。
18		平瓦	-	-	-	-	還元焰焼成	底面から出土。凹面に布目痕、凸面に縄叩き。端面及び凹面端部に篋削り。
19		丸瓦	-	-	-	-	還元焰焼成	底面から出土。凹面に布目痕、凸面は縄叩き後に篋ナデ整形を行っている。端面及び凹凸面端部に篋削り。
20		丸瓦	-	-	-	-	還元焰焼成	底面から出土。凹面に布目痕、凸面は篋ナデ整形。側面及び凹面側部に篋削り。
21		丸瓦	-	-	-	-	還元焰焼成	凹面に布目痕、凸面は縄叩き後に篋ナデ整形。側面及び凹面側部に篋削り。
22		丸瓦	-	-	-	-	還元焰焼成	凹面に布目痕、凸面は篋ナデ整形。側面及び凹面側部は篋削り。
23		捏鉢	-	-	-	-	在地産	ロクロ水挽き整形後に、体部外面に指頭整形。

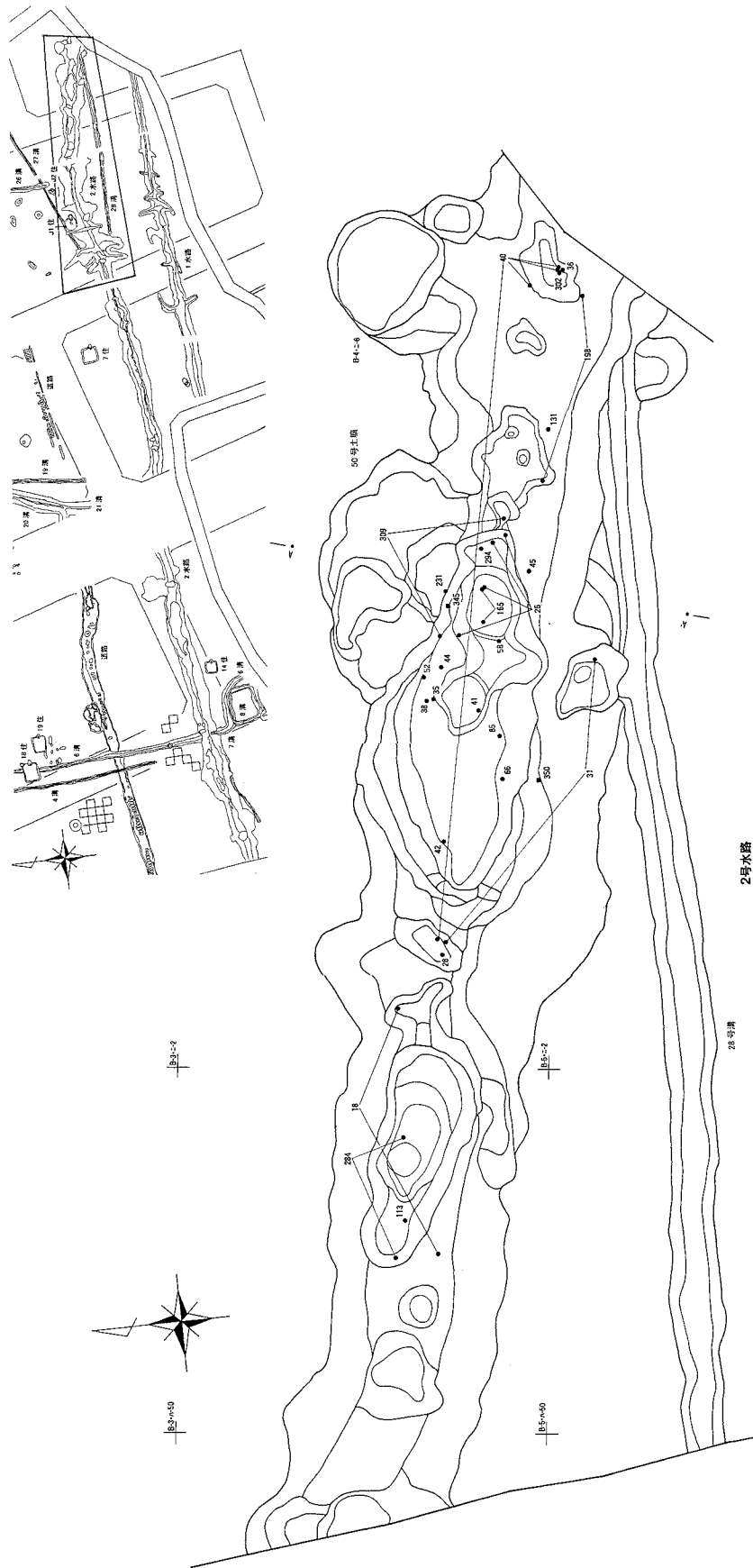
挿図番号	図版番号	種類	長さ	幅	重さ(g)	観察・特徴
24		打製石斧	15.3	7.6	466	側面に調整剥離。石質は砂岩。
25		打製石斧	9.4	5.5	78	撥型。側面に調整剥離を施し、頭部に近い個所の両側部に抉りを有する。石質はチャート。

2号水路

1号水路の北側で平行に走る2号水路を東西方向に207mにわたり確認した。幅は3.4～4.3mをはかり、深さは41～78cmをはかる。底面は緩やかに西から東へ傾斜し、高低差は92cmをはかる。

本遺構に付属する不規則な形状の突起が2個一対で所々に設けられているが、規則性は見受けられない。突起部の規模2.4～7.3m、幅0.7～2mで、突起と水路の接合個所の底面は、やや深く掘りこまれている。底面の所々に、大小様々な土壙状の掘り込みが見られる。底面との比高差は13～100cmをはかる。

下層に砂質の土層が複数層堆積していることが観察できた。このことから、水が流れる時と流れない時があることが理解できた。つまり日常的に水が流れていたのではなく、水の管理を行っていた痕跡と考えた。両水路遺構に設けられている不規則な形状の突起については、どのような機能を持つ施設なのか不明な点が多い。



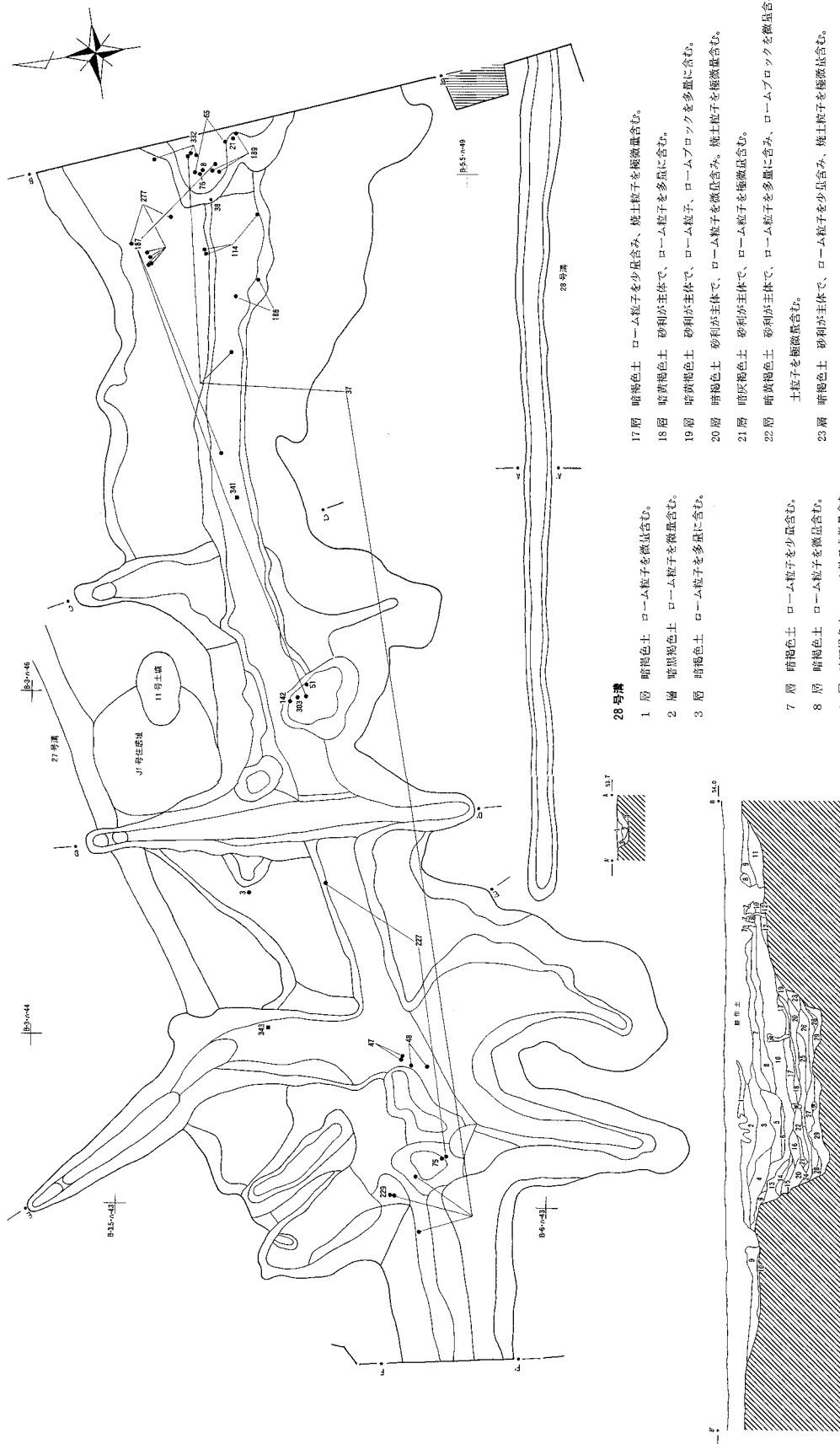
2号水路

- 1 層 暗黒褐色土 焼土粒子、炭化物粒子を極微量含む。
- 2 層 暗黒褐色土 ローム粒子、焼土粒子を微量含む。
- 3 層 暗黒褐色土 ローム粒子、焼土粒子を微量含む、炭化物粒子を極微量含む。
- 4 層 暗黒褐色土 ローム粒子を多量に含む、砂粒を含む、ロームブロックを少量含む。
- 5 層 暗黒褐色土 ローム粒子を微量含む。
- 6 層 暗黒褐色土 ローム粒子を少量含む、焼土粒子を極微量含む。
- 7 層 暗黒赤褐色土 ローム粒子を少量含む。
- 8 層 暗褐色土 ローム粒子を含む。

- 9 層 暗灰褐色土 ローム粒子を微量含む。
- 10 層 暗灰赤褐色土 ローム粒子、ロームブロックを少量含む。
- 11 層 黒褐色土 ローム粒子を極微量含む。
- 12 層 黄褐色土 ローム粒子を少量含む。
- 13 層 褐色土 ローム粒子を微量含む。
- 14 層 暗褐色土 黒色土ブロックを多量に含む、ローム粒子を微量含む。
- 15 層 暗褐色土 ローム粒子を少量含む。
- 16 層 褐色土 ローム粒子を少量含む。
- 17 層 黒褐色土 黒色土、小礫を多量に含む、ローム粒子を極微量含む。
- 18 層 暗褐色土 ローム粒子を少量含む。

- 19 層 黄褐色土 ロームブロックを多量に含む。
- 20 層 黒褐色土 ローム粒子を微量含む。
- 21 層 暗黄褐色土 ローム粒子を少量含む。
- 22 層 黄褐色土 礫を含む、ローム粒子を少量含む。
- 23 層 黒褐色土 ローム粒子を少量含む。
- 24 層 黄褐色土 砂粒を多量に含む、ローム粒子を含む。
- 25 層 暗灰褐色土 砂粒を多量に含む、ローム粒子を微量含む。

第193図 2号水路、28号溝 (1) (1/150) 土層図 (1/100)



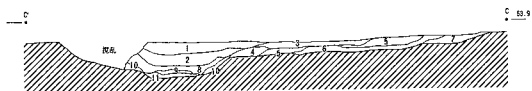
第194図 2号水路、28号溝 (2) 平面図 (1/150) 土層図 (1/100)

2号水路

- 1 層 黒褐色土 ローム粒子を極微量含む。
- 2 層 暗黒褐色土 焼土粒子、炭化物粒子を極微量含む。
- 3 層 暗黒褐色土 ローム粒子、焼土粒子を微量含む。
- 4 層 暗黒赤褐色土 ローム粒子を少量含む。
- 5 層 暗黒褐色土 ローム粒子、焼土粒子を微量含む、炭化物粒子を極微量含む。
- 6 層 暗黄褐色土 ローム粒子を多量に含み、砂粒を含み、砂粒を少量含む。
- 7 層 暗褐色土 ローム粒子を少量含む。
- 8 層 暗褐色土 ローム粒子を微量含む。
- 9 層 暗灰褐色土 ローム粒子を微量含む。
- 10 層 暗灰褐色土 ローム粒子、ロームブロックを少量含む。
- 11 層 暗灰褐色土 ロームブロックを少量含む、ローム粒子を微量含む。
- 12 層 暗褐色土 ローム粒子、ロームブロックを多量に含む。
- 13 層 暗黄褐色土 砂利が主体で、ローム粒子を微量含む。
- 14 層 暗黄褐色土 砂利が主体で、ローム粒子を含む。
- 15 層 暗褐色土 砂利が主体で、ローム粒子を少量含む。
- 16 層 暗黄褐色土 砂利が主体で、ローム粒子を多量に含み、ロームブロックを微量含む。
- 17 層 暗褐色土 ローム粒子を少量含む、焼土粒子を極微量含む。
- 18 層 暗黄褐色土 砂利が主体で、ローム粒子を多量に含む。
- 19 層 暗黄褐色土 砂利が主体で、ローム粒子、ロームブロックを多量に含む。
- 20 層 暗褐色土 砂利が主体で、ローム粒子を微量含む、焼土粒子を極微量含む。
- 21 層 暗灰褐色土 砂利が主体で、ローム粒子を極微量含む。
- 22 層 暗黄褐色土 砂利が主体で、ローム粒子を多量に含み、ロームブロックを微量含む、焼土粒子を極微量含む。
- 23 層 暗褐色土 砂利が主体で、ローム粒子を少量含む、焼土粒子を極微量含む。
- 24 層 暗灰褐色土 砂利が主体で、ローム粒子を微量含む。
- 25 層 暗褐色土 砂利が主体で、ロームブロックを少量含む、焼土粒子、炭化物粒子を極微量含む。
- 26 層 暗黄褐色土 砂利が主体で、ローム粒子、ロームブロックを多量に含み、炭化物粒子を極微量含む。
- 27 層 暗褐色土 砂利が主体で、ローム粒子を少量含む、ロームブロックを微量含む。
- 28 層 暗黄褐色土 砂利が主体で、ローム粒子を少量含む。
- 29 層 暗褐色土 砂利が主体で、小礫を含み、ローム粒子を微量含む。

28号溝

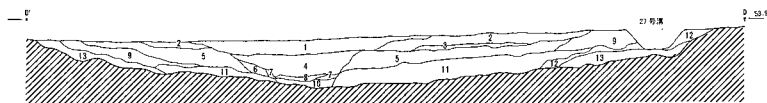
- 1 層 暗褐色土 ローム粒子を微量含む。
- 2 層 暗黄褐色土 ローム粒子を微量含む。
- 3 層 暗褐色土 ローム粒子を多量に含む。
- 7 層 暗褐色土 ローム粒子を少量含む。
- 8 層 暗褐色土 ローム粒子を微量含む。
- 9 層 暗灰褐色土 ローム粒子を微量含む。



C-C'

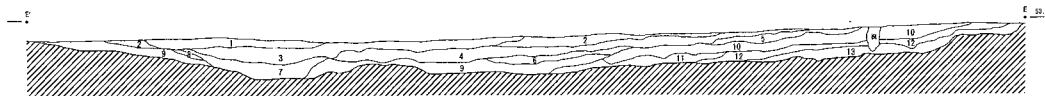
2号水路

- | | | |
|----------------------------|--|----------------------------------|
| 1層 暗黒褐色土 焼土粒子、炭化物粒子を極微量含む。 | 7層 青灰色土 ローム粒子を極微量含む。 | 10層 暗褐色土 ローム粒子を少量含む。 |
| 2層 暗黒褐色土 ローム粒子、焼土粒子を極微量含む。 | 8層 暗黒褐色土 ローム粒子、焼土粒子を微量含み、炭化物粒子を極微量含む。 | 11層 暗灰褐色土 ローム粒子を少量含み、焼土粒子を極微量含む。 |
| 3層 黒褐色土 ローム粒子を極微量含む。 | 9層 暗黄褐色土 ローム粒子を多量に含み、砂粒を含み、ロームブロックを少量含む。 | |
| 4層 暗褐色土 ローム粒子を含む。 | | |
| 5層 黒茶褐色土 ローム粒子を極微量含む。 | | |
| 6層 黒褐色土 砂礫を含み、ローム粒子を微量含む。 | | |



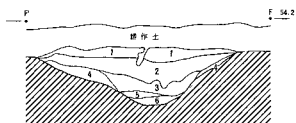
D-D'

- | | | |
|---------------------------------------|--|-------------------------------|
| 1層 暗黒褐色土 焼土粒子、炭化物粒子を極微量含む。 | 6層 暗黒茶褐色土 ローム粒子を少量含む。 | 10層 暗灰褐色土 ローム粒子を微量含む。 |
| 2層 暗褐色土 ローム粒子を少量含む。 | 7層 暗褐色土 ローム粒子を少量含む。 | 11層 暗褐色土 ローム粒子を微量含む。 |
| 3層 黒褐色土 炭化物粒子を多量に含む。 | 8層 暗黄褐色土 ローム粒子を多量に含み、砂粒を含み、ロームブロックを少量含む。 | 12層 暗褐色土 ローム粒子を含む。 |
| 4層 暗黒褐色土 ローム粒子、焼土粒子を微量含み、炭化物粒子を極微量含む。 | 9層 暗灰褐色土 ローム粒子を微量含む。 | 13層 暗褐色土 ローム粒子、ロームブロックを多量に含む。 |
| 5層 暗褐色土 ローム粒子を少量含む。 | | |



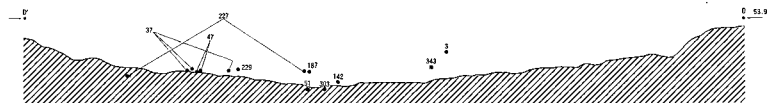
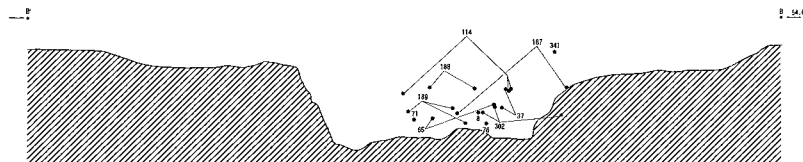
E-E'

- | | | |
|-----------------------------|---------------------------------------|----------------------------------|
| 1層 暗黒褐色土 ローム粒子、炭化物粒子を極微量含む。 | 6層 黒茶褐色土 ローム粒子を微量含む。 | 10層 暗灰褐色土 ローム粒子を少量含み、焼土粒子を極微量含む。 |
| 2層 暗褐色土 ローム粒子を少量含む。 | 7層 暗黒褐色土 ローム粒子、焼土粒子を微量含み、炭化物粒子を極微量含む。 | 11層 暗灰褐色土 ローム粒子、ロームブロックを少量含む。 |
| 3層 暗黒褐色土 ローム粒子、焼土粒子を極微量含む。 | 8層 暗黒茶褐色土 ローム粒子を少量含む。 | 12層 暗褐色土 ローム粒子、ロームブロックを少量含む。 |
| 4層 暗褐色土 ローム粒子を極微量含む。 | 9層 暗灰褐色土 ローム粒子、ロームブロックを少量含む。 | 13層 暗褐色土 ローム粒子、ロームブロックを多量に含む。 |
| 5層 黒茶褐色土 ローム粒子を少量含む。 | | |

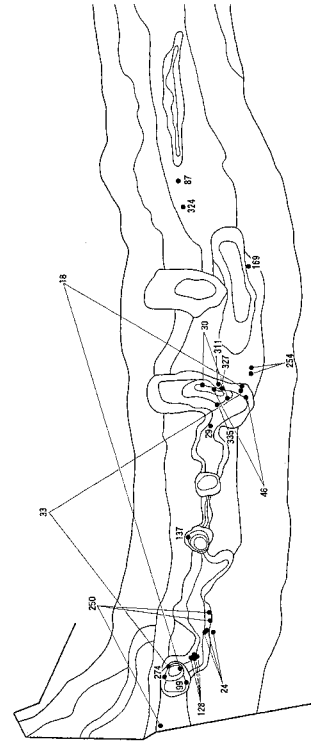
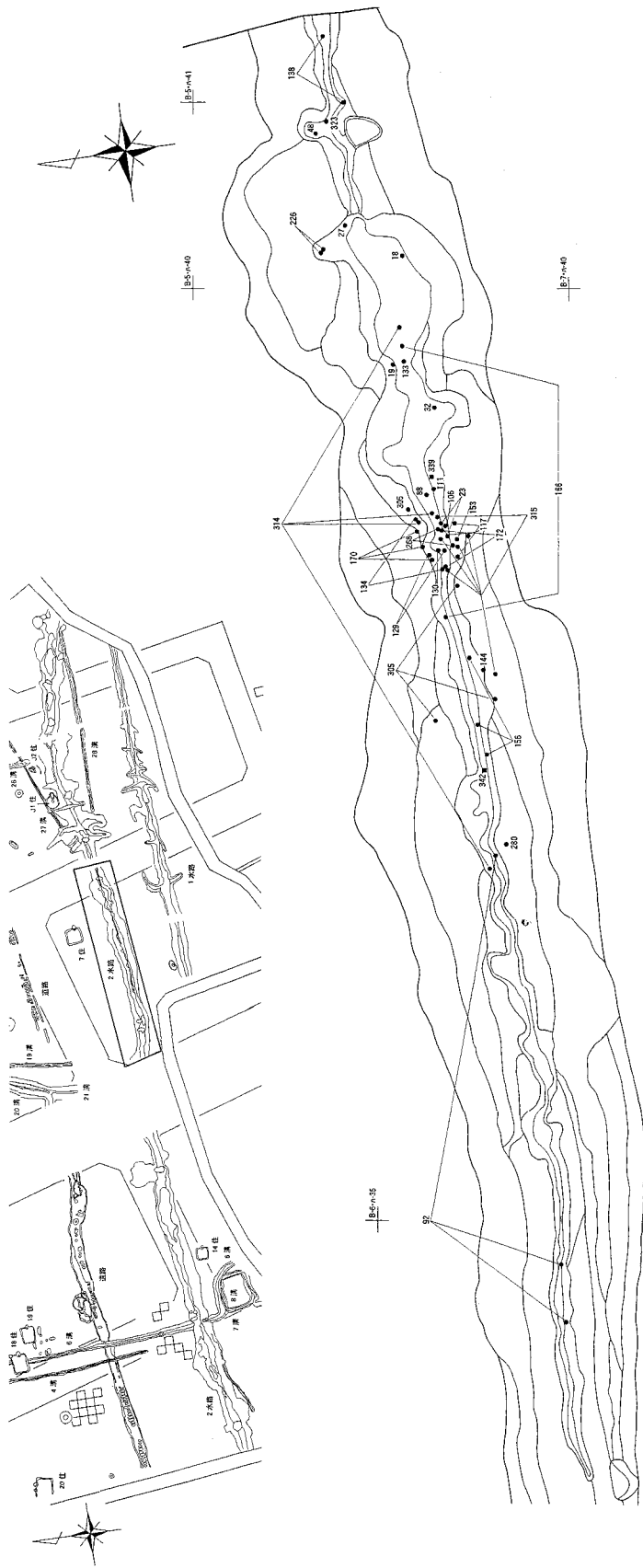


F-F'

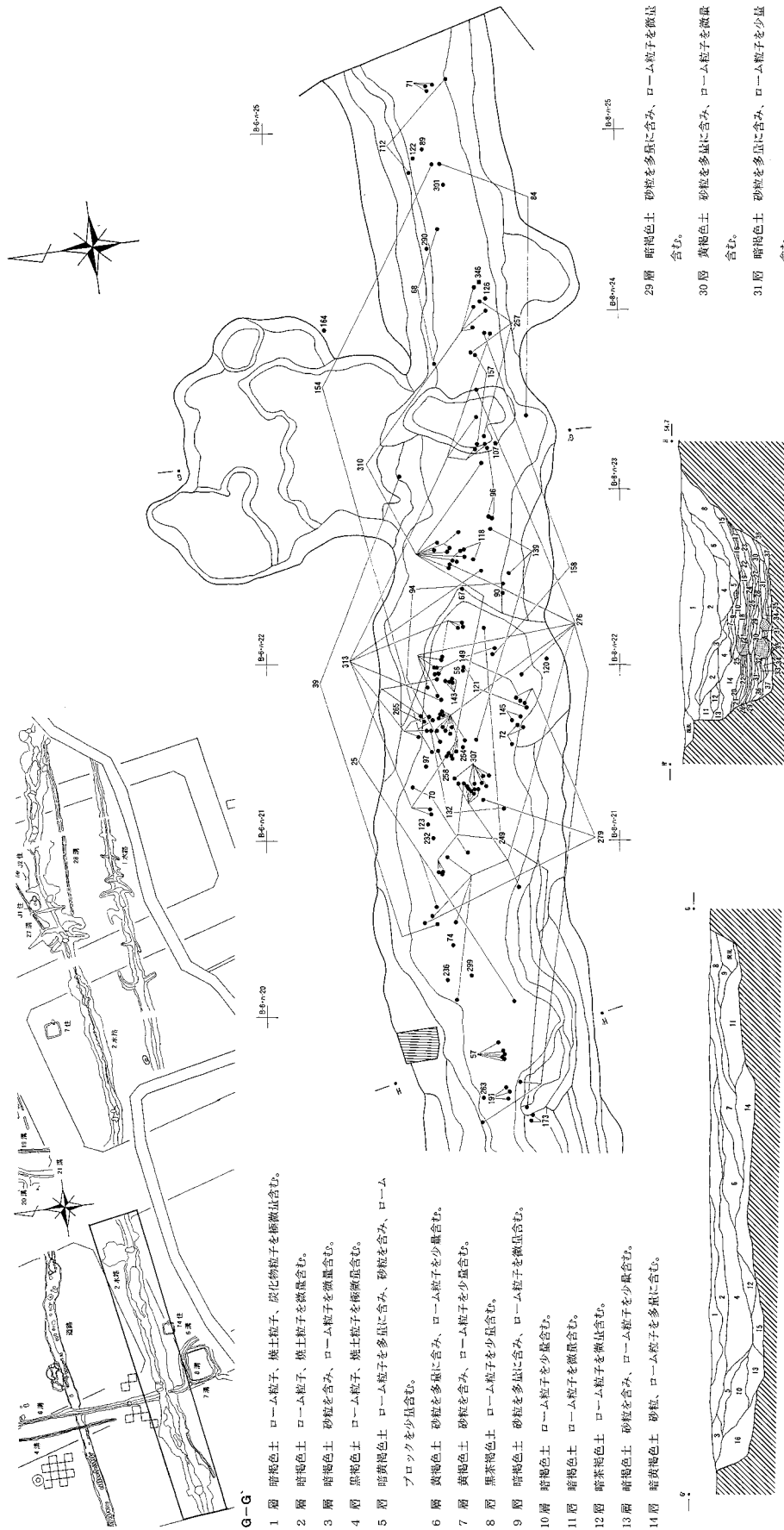
- | | |
|---------------------------------------|---|
| 1層 暗褐色土 焼土粒子、炭化物粒子を極微量含む。 | 4層 暗黒茶褐色土 ローム粒子を少量含む。 |
| 2層 暗黒褐色土 ローム粒子、焼土粒子を極微量含む。 | 5層 暗黄褐色土 砂利が主体で、ローム粒子を多量に含み、ロームブロックを少量含む。 |
| 3層 暗黒褐色土 ローム粒子、焼土粒子を微量含み、炭化物粒子を極微量含む。 | 6層 暗灰褐色土 ローム粒子を少量含み、焼土粒子を極微量含む。 |



第195図 2号水路 (3) (1/150) 土層図 (1/100)

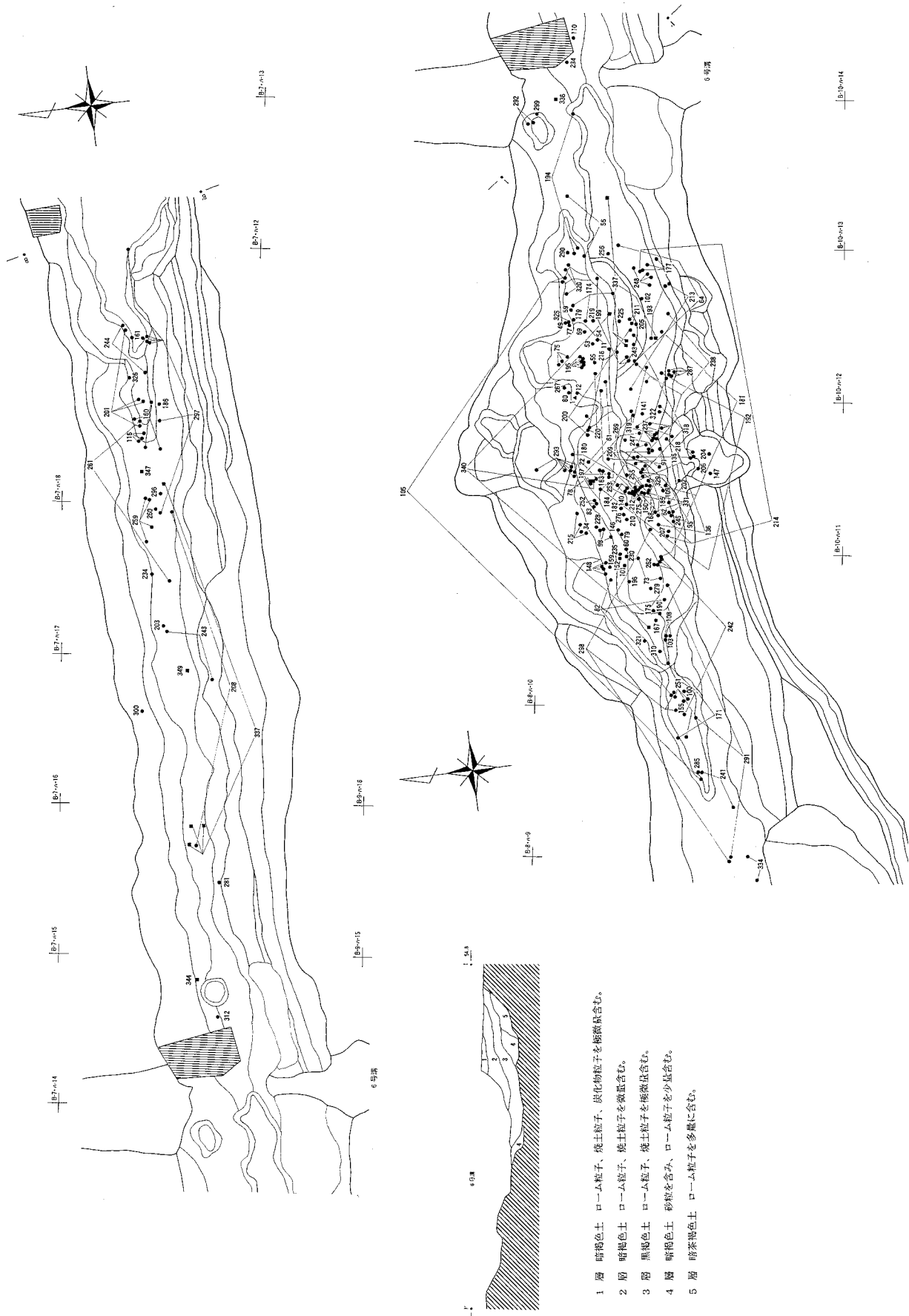


第196图 2号水路 (4) (1/150)



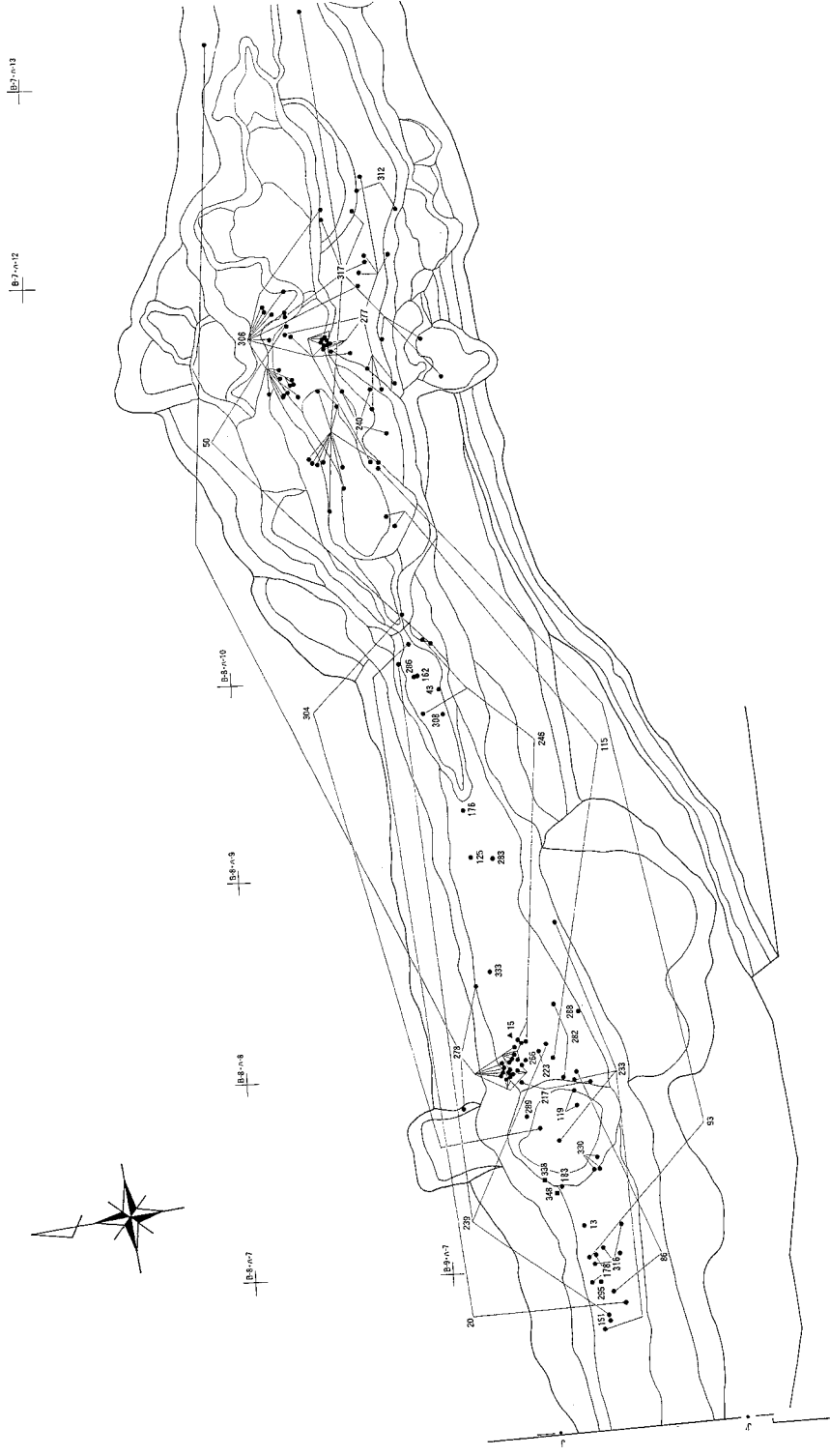
- G-G'**
- 1 層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子、炭化物粒子を極微量含む。
 - 2 層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子を微量含む。
 - 3 層 暗褐色土 砂粒を含み、ローム粒子を微量含む。
 - 4 層 黒褐色土 ローム粒子、焼土粒子を極微量含む。
 - 5 層 暗黄褐色土 ローム粒子を多量に含み、砂粒を含み、ロームブロックを少量含む。
 - 6 層 黄褐色土 砂粒を多量に含み、ローム粒子を少量含む。
 - 7 層 黄褐色土 砂粒を含み、ローム粒子を少量含む。
 - 8 層 黒茶褐色土 ローム粒子を少量含む。
 - 9 層 暗褐色土 砂粒を多量に含み、ローム粒子を微量含む。
 - 10 層 暗褐色土 ローム粒子を少量含む。
 - 11 層 暗褐色土 ローム粒子を微量含む。
 - 12 層 暗茶褐色土 ローム粒子を少量含む。
 - 13 層 暗褐色土 砂粒を含み、ローム粒子を少量含む。
 - 14 層 暗黄褐色土 砂粒、ローム粒子を多量に含む。
- H-H'**
- 1 層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子、炭化物粒子を極微量含む。
 - 2 層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子を微量含む。
 - 3 層 暗褐色土 ローム粒子を少量含む。
 - 4 層 黒褐色土 ローム粒子、焼土粒子を極微量含む。
 - 5 層 暗褐色土 砂粒を含み、ローム粒子を少量含む。
 - 6 層 暗褐色土 ローム粒子を少量含む。
 - 7 層 暗黄褐色土 ローム粒子を多量に含み、砂粒を含み、ロームブロックを少量含む。
 - 8 層 暗茶褐色土 ローム粒子を少量含む。
 - 9 層 暗褐色土 砂粒を含み、ローム粒子を微量含む。
 - 10 層 黄褐色土 砂粒を多量に含み、ローム粒子を少量含む。
 - 11 層 黄褐色土 砂粒、ローム粒子を多量に含む。
 - 12 層 黒茶褐色土 ローム粒子を微量含む。
 - 13 層 暗褐色土 砂粒を多量に含み、ローム粒子を少量含む。
 - 14 層 暗黄褐色土 砂粒、ローム粒子を多量に含む。
 - 15 層 黒茶褐色土 ローム粒子を少量含む。
 - 16 層 暗褐色土 砂粒、ローム粒子を多量に含む。
 - 17 層 暗褐色土 ローム粒子を含む。
 - 18 層 暗褐色土 砂粒を多量に含み、ローム粒子を少量含む。
 - 19 層 暗黄褐色土 砂粒、ローム粒子を多量に含む。
 - 20 層 暗褐色土 砂粒、ローム粒子を少量含む。
 - 21 層 暗褐色土 ローム粒子を多量に含む。
 - 22 層 黄褐色土 砂粒、ローム粒子を多量に含む。
 - 23 層 黒茶褐色土 ローム粒子を微量含む。
 - 24 層 暗褐色土 砂粒を含み、ローム粒子を微量含む。
 - 25 層 暗褐色土 砂粒を多量に含み、ローム粒子を微量含む。
 - 26 層 黄褐色土 砂粒を多量に含み、ローム粒子を少量含む。
 - 27 層 黄褐色土 砂粒を多量に含み、ローム粒子を少量含む。
 - 28 層 黒褐色土 ローム粒子を極微量含む。
 - 29 層 暗褐色土 砂粒を多量に含み、ローム粒子を微量含む。
 - 30 層 黄褐色土 砂粒を多量に含み、ローム粒子を微量含む。
 - 31 層 暗褐色土 砂粒を多量に含み、ローム粒子を少量含む。
 - 32 層 黄褐色土 砂粒、ローム粒子、ロームブロックを多量に含む。
 - 33 層 暗褐色土 砂粒を多量に含み、ローム粒子を微量含む。
 - 34 層 黄褐色土 砂粒を多量に含み、ローム粒子を少量含む。
 - 35 層 暗褐色土 砂粒を多量に含み、ローム粒子を少量含む。
 - 36 層 暗黄褐色土 砂粒、ローム粒子を多量に含む。
 - 37 層 黄褐色土 砂粒、ローム粒子を多量に含む。

第197図 2号水路 (5) (1/150) 土層図 (1/100)

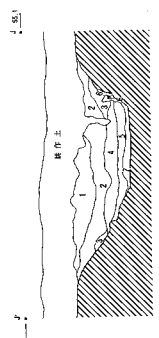


- 1 層 暗褐色土 口一△粒子、塊土粒子、炭化物粒子を極微量含む。
- 2 層 暗褐色土 口一△粒子、塊土粒子を微量含む。
- 3 層 黒褐色土 口一△粒子、塊土粒子を極微量含む。
- 4 層 暗褐色土 砂粒を含有、口一△粒子を少量含む。
- 5 層 暗茶褐色土 口一△粒子を多量に含む。

第198図 2号水路 (6) (1/150) 土層図 (1/100)



- 1 層 暗褐色土 ロー△粒子、焼土粒子、炭化物粒子を微量含む。
- 2 層 暗褐色土 ロー△粒子、焼土粒子を微量含む。
- 3 層 暗茶褐色土 ロー△粒子を多量に含む。
- 4 層 黒褐色土 ロー△粒子、焼土粒子を微量含む。
- 5 層 暗褐色土 砂粒を含み、ロー△粒子を少量含む。
- 6 層 明褐色土 ロー△粒子を少量含む。
- 7 層 暗褐色土 ロー△粒子を微量含む。



第199図 2号水路 (7) (1/150) 土層図 (1/100)

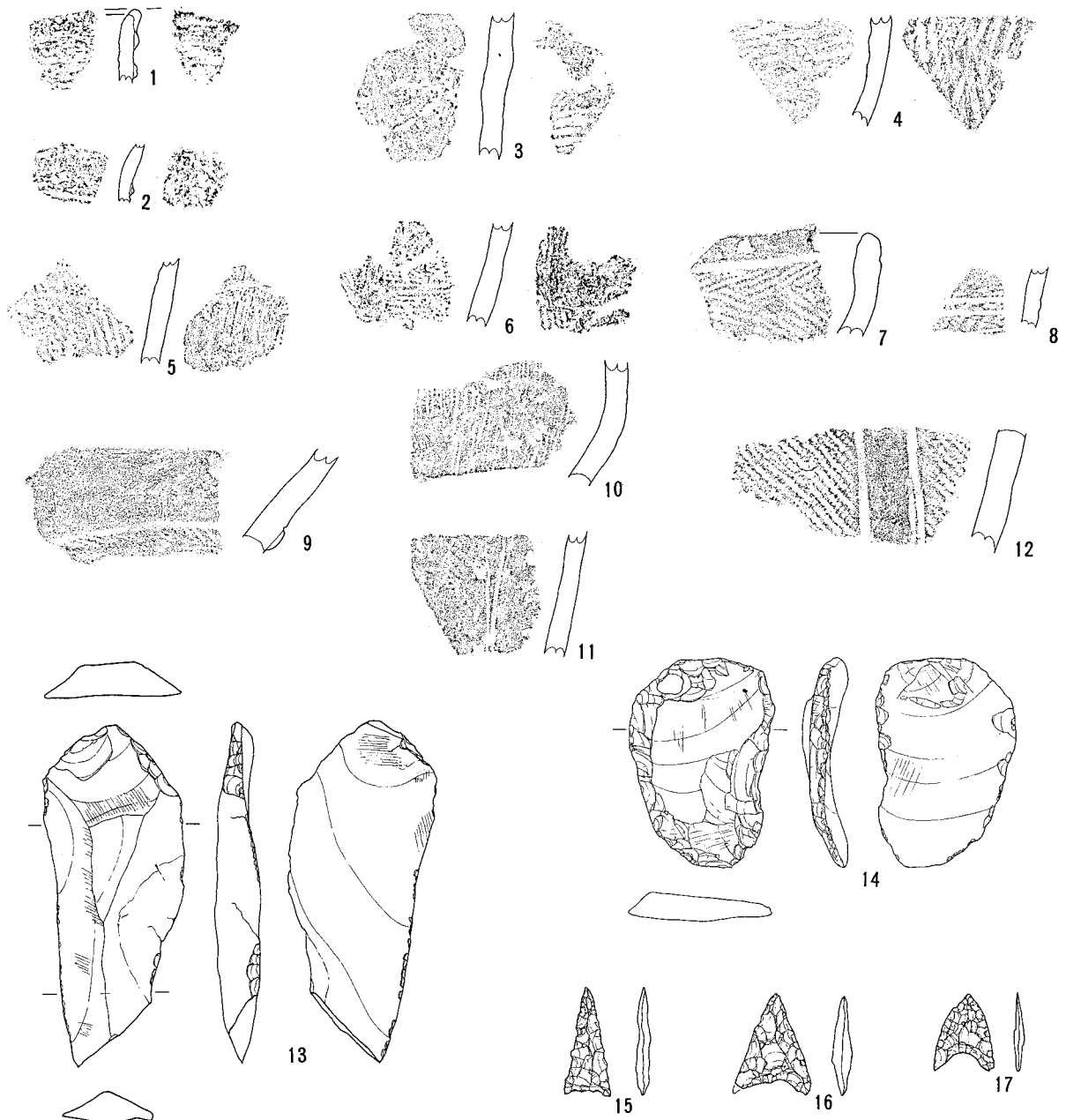
第126表 2号水路出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 ()は既存値

挿図番号	図版番号	部位	地紋	観察・特徴
1		口縁部	条痕文	波状口縁。口縁部に並行して二条の隆帯が横走する。
2		胴部	条痕文	横走する隆帯に円形の刺突を施し、波状に隆帯を表現している。
3		胴部	条痕文	器内外面に条痕文を斜め方向に施文している。
4		胴部	条痕文	器内外面に条痕文を斜め方向に施文している。
5		胴部	条痕文	器内外面に条痕文を斜め方向に施文している。
6		胴部	条痕文	器内外面に条痕文を斜め方向に施文している。
7		口縁部	縄文	口縁に平行して、一条の沈線が横走する。
8		胴部	縄文	並行する二条の沈線が横走する。
9		頸部	無文	隆帯が横走し、隆帯上に刻みを施している。
10		胴部	条線	条線を縦方向に施す。
11		胴部	無文	沈線が垂下する。
12		胴部	縄文	二条の懸垂文が垂下し、沈線間を磨消している。

挿図番号	図版番号	種類	長さ	幅	重さ(g)	観察・特徴
13		ナイフ形石器	7.6	3.0	14.7	中央に稜線を通る縦長の剥片を用いている。両側縁に細かい加工を施す。石質は頁岩。
14		ナイフ形石器	4.7	3.2	11.7	幅広の剥片を用いている。両側縁に加工を施す。石質は黒曜石。
15		石鏃	2.4	1.0	0.6	基部に僅かな抉りを持つ。石質は黒曜石。
16		石鏃	2.3	1.7	<1.1>	基部に抉りを持ち、左脚部の一部が欠損する。石質はチャート。
17		石鏃	1.7	1.3	0.3	基部に抉りを持つ。石質は黒曜石。

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
18	45-18	蓋	16.6	-	-	2.7	還元焰焼成	器内外面にロクロ水挽き整形後、天井部外面に回転篋削り。径3.5cmの環状摘みを有する。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。残存率90%。
19		蓋	(14.4)	-	-	3.6	還元焰焼成	器内外面にロクロ水挽き整形後、天井部外面に回転篋削り。径5.1cmの環状摘みを有する。残存率30%。
20		蓋	(16.6)	-	-	3.3	還元焰焼成	器内外面にロクロ水挽き整形後、天井部外面に回転篋削り。径2.8cmのボタン状の摘みを有する。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産である。残存率60%。
21	45-21	蓋	(12.4)	-	-	3.7	還元焰焼成	器内外面にロクロ水挽き整形後、天井部外面に回転篋削り。摘みは擬宝珠状を呈し、径は3.7cm。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産である。天井部の器内面に「南」、器外面は判読不明の墨書。残存率40%。

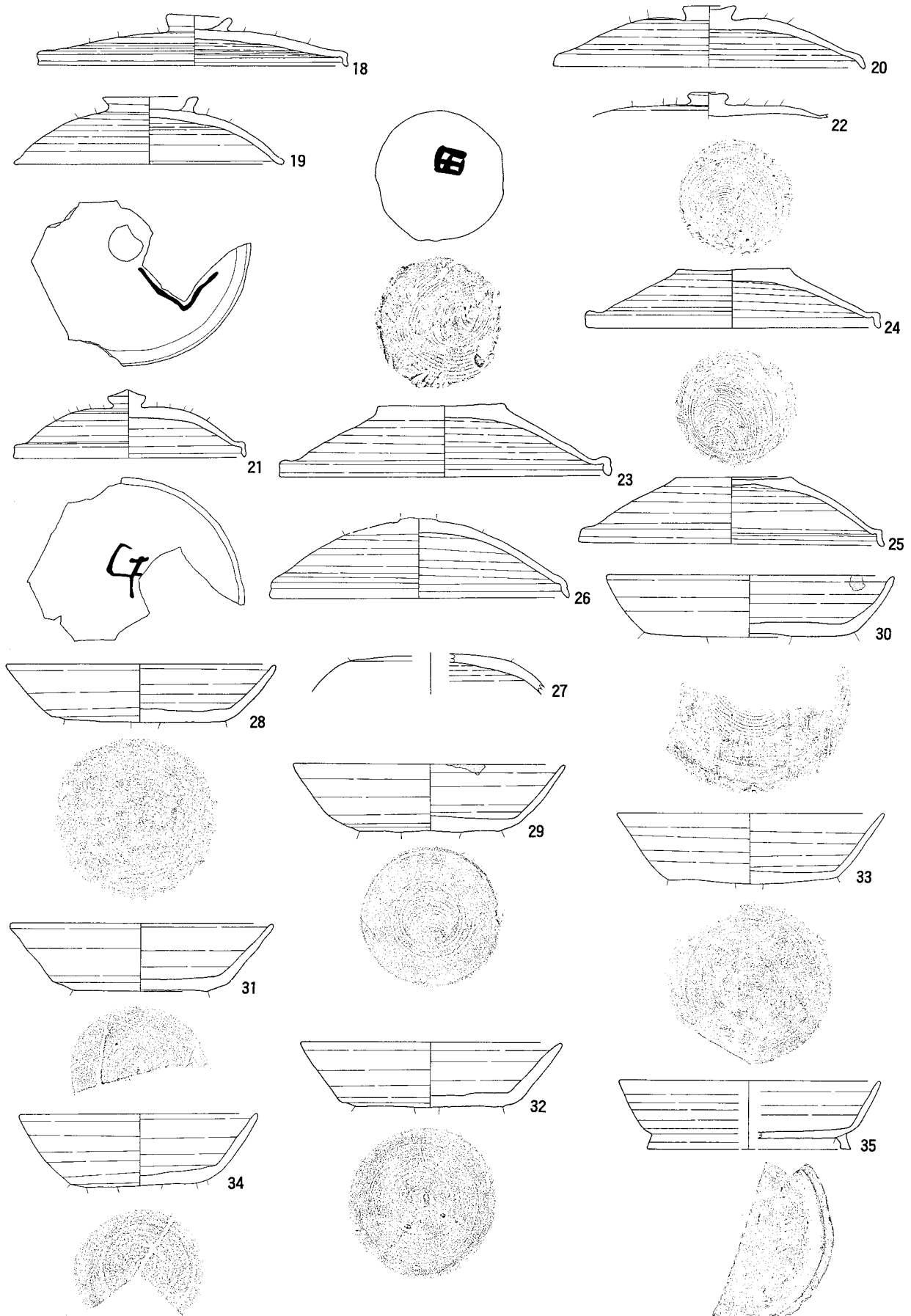


第201図 2号水路出土遺物 (1) (1/3) 但し、13~17は (2/3)

第127表 2号水路出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 < >は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
22		蓋	-	-	-	-	還元焰焼成	器内外面にロクロ水挽き整形後、天井部外面に回転篋削り。摘みはボタン状呈し、径は2.1cm。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。残存率40%。
23	45-23	蓋	17.7	-	-	3.8	半還元焰焼成	器内外面にロクロ水挽き整形。天井部は未調整で、回転糸切りが残る。天井部径は6.8cm。天井部外面に「田」の墨書。残存率80%。
24	45-24	蓋	15.7	-	-	3.1	還元焰焼成	器内外面にロクロ水挽き整形。天井部は未調整で、回転糸切りが残る。天井部径は6cm。残存率75%。

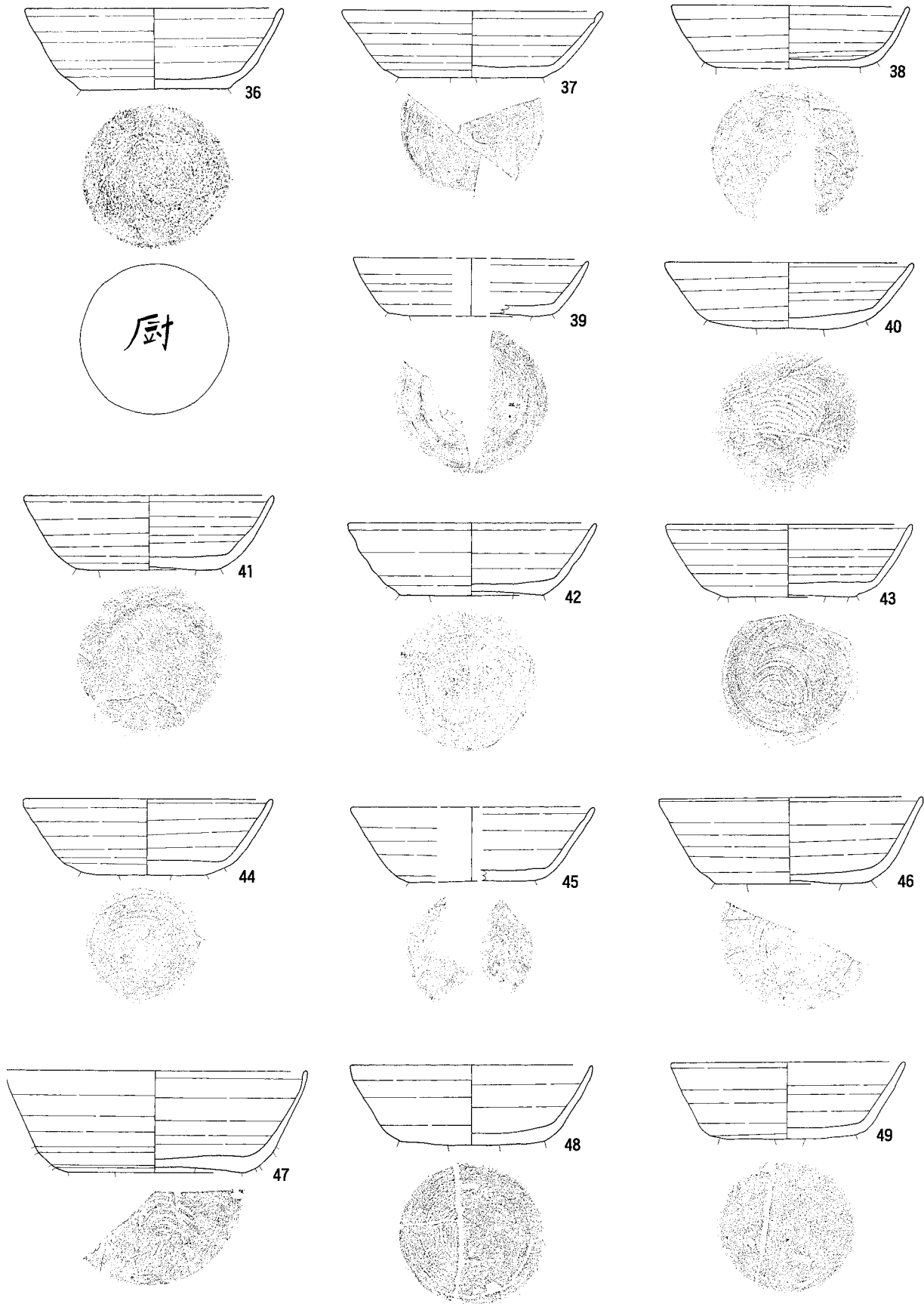


第202図 2号水路出土遺物 (2) (1/3)

第128表 2号水路出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 < >は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
25	45-25	蓋	16.3	-	-	3.6	還元焰焼成	器内外面にロクロ水挽き整形。天井部は未調整で、回転糸切りが残る。天井部径は6.2cm。残存率65%。
26	45-26	蓋	16.0	-	-	-	還元焰焼成	器内外面にロクロ水挽き整形後、天井部外面に回転篋削り。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産である。残存率60%。
27		蓋	-	-	-	-	還元焰焼成	器内外面にロクロ水挽き整形後、天井部外面に回転篋削り。胎土に雲母を含む。常陸窯跡産。残存率15%。
28	45-28	坏	14.4	8.6	9.4	3.2	還元焰焼成	底部は回転糸切り後に外周部回転篋削り。器内外面にロクロ水挽き整形。器内面の体部と底部の変換点に爪先技法が見られる。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。完形。
29	45-29	坏	14.4	7.6	9.1	3.6	還元焰焼成	底部は回転糸切り後に外周部回転篋削り。器内外面にはロクロ水挽き整形。器内面の体部と底部の変換点に爪先技法が見られる。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。器内面口唇部に煤が付着。完形。
30		坏	(15.4)	11.2	-	3.3	還元焰焼成	底部は回転糸切り後に外周部手持ち篋削り。器内外面にはロクロ水挽き整形。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産である。残存率45%。
31		坏	(14.2)	7.3	8.5	3.6	還元焰焼成	底部は全面回転篋削り。器内外面にはロクロ水挽き整形。胎土は緻密。前内出窯跡系。残存率50%。
32	45-32	坏	13.8	7.8	8.8	3.5	還元焰焼成	底部は回転糸切り後に外周部回転篋削り。器内外面にはロクロ水挽き整形。完形。
33		坏	14.2	9.0	9.0	3.8	還元焰焼成	底部は回転糸切り後に外周部回転篋削り。器内外面にロクロ水挽き整形。器内面の体部と底部の変換点に爪先技法が見られる。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産である。残存率65%。
34		坏	12.8	7.3	8.1	3.9	還元焰焼成	底部は回転糸切り後に外周部回転篋削り。器内外面にはロクロ水挽き整形。器内面の体部と底部の変換点に爪先技法が見られる。胎土は緻密。前内出窯跡系である。残存率55%。
35		坏	(15.4)	(11.0)	(10.8)	3.7	還元焰焼成	底部は回転篋削り後に高台を貼り付け。器内外面にはロクロ水挽き整形。器内面の体部と底部の変換点に爪先技法が見られる。残存率45%。

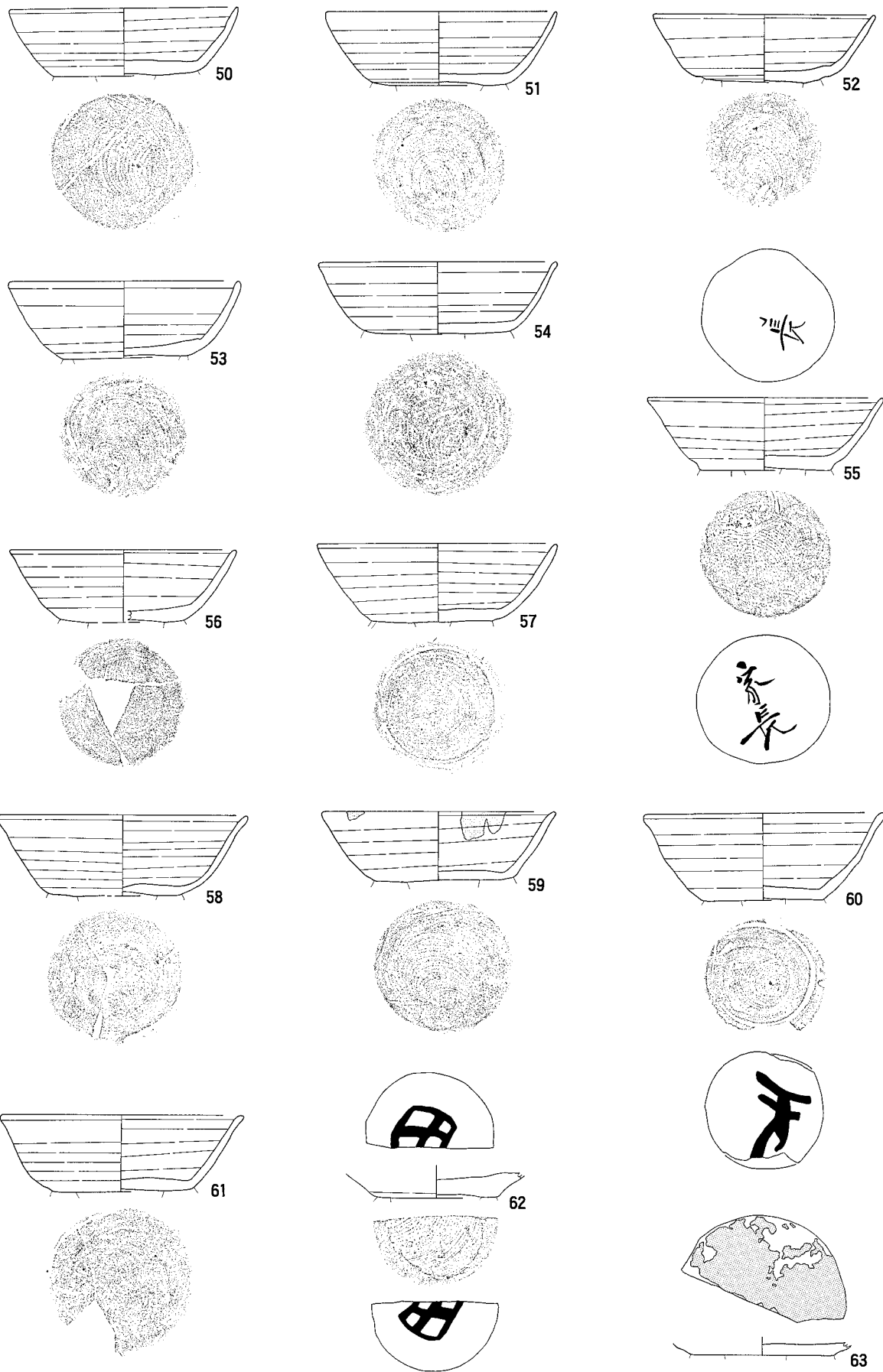


第203图 2号水路出土遗物 (3) (1/3)

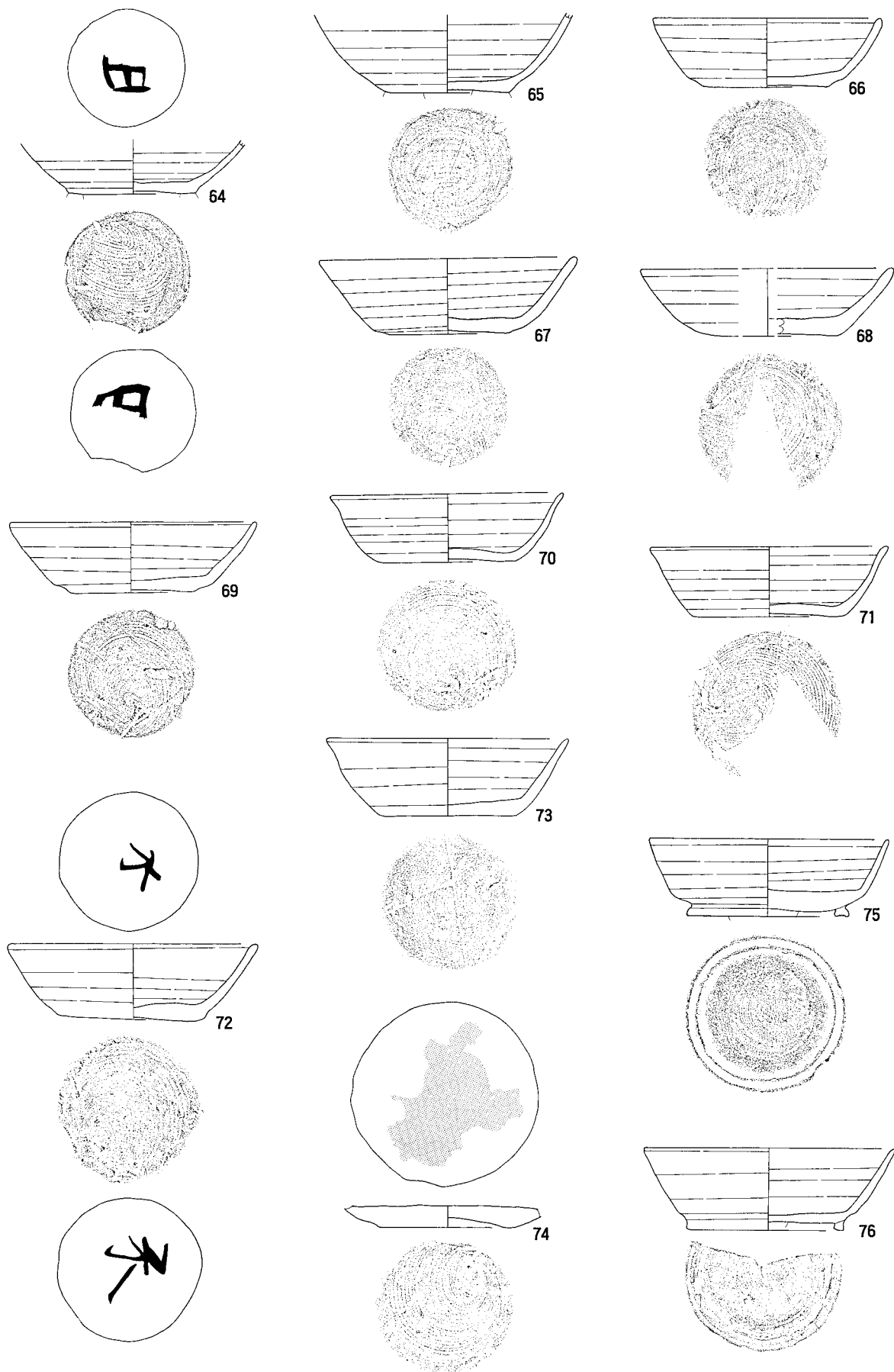
第129表 2号水路出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 < >は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
36	45-36	坏	13.4	7.6	8.6	4.2	還元焰焼成	底部は全面回転篋削り。器内外面にはロクロ水挽き整形。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産である。底部外面に「厨」の墨書。残存率55%。
37		坏	(13.6)	(7.5)	8.3	3.5	還元焰焼成	底部は回転糸切り後に外周部回転篋削り。器内外面にロクロ水挽き整形。胎土が緻密。前内出窯跡系。残存率50%。
38	45-38	坏	12.4	7.5	7.1	3.3	還元焰焼成	底部は全面回転篋削り。器内外面にはロクロ水挽き整形。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産である。残存率70%。
39		坏	(12.1)	8.5	-	3.0	半還元焰焼成	底部は回転糸切り後に外周部回転篋削り。器内外面にはロクロ水挽き整形。器内面の体部と底部の変換点に爪先技法が見られる。胎土は非常に緻密。前内出窯跡系。残存率45%。
40		坏	13.0	8.3	8.8	3.4	還元焰焼成	底部は僅かに丸みを帯び、回転糸切り後に外周部手持ち篋削り。器内外面にはロクロ水挽き整形。胎土は非常に緻密である。前内出窯跡系。残存率65%。
41	45-41	坏	13.0	7.5	8.6	3.9	還元焰焼成	底部は回転糸切り後に外周部回転篋削り。器内外面にロクロ水挽き整形。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産である。残存率70%。
42	46-42	坏	(13.0)	7.5	8.7	3.8	還元焰焼成	底部は回転糸切り後に外周部回転篋削り。器内外面にはロクロ水挽き整形。器内面の体部と底部の変換点に爪先技法が見られる。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産である。残存率60%。
43		坏	(12.9)	7.0	8.3	3.8	還元焰焼成	底部は回転糸切り後に外周部回転篋削り。器内外面にロクロ水挽き整形。器内面の体部と底部の変換点に爪先技法が見られる。胎土は非常に緻密。前内出窯跡系。残存率40%。
44	46-44	坏	12.9	6.5	8.1	4.0	還元焰焼成	底部は回転糸切り後に外周部回転篋削り。器内外面にロクロ水挽き整形。器内面の体部と底部の変換点に爪先技法が見られる。胎土は非常に緻密。前内出窯跡系。完形。
45		坏	12.7	6.6	7.8	3.9	還元焰焼成	底部は全面回転篋削り。器内外面にロクロ水挽き整形。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産である。残存率55%。
46		坏	13.8	8.1	8.7	4.5	還元焰焼成	底部は回転糸切り後に外周部回転篋削り。器内外面にロクロ水挽き整形。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産である。残存率50%。



第204图 2号水路出土遺物 (4) (1/3)



第205图 2号水路出土遺物 (5) (1/3)

第130表 2号水路出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 ()は既存値

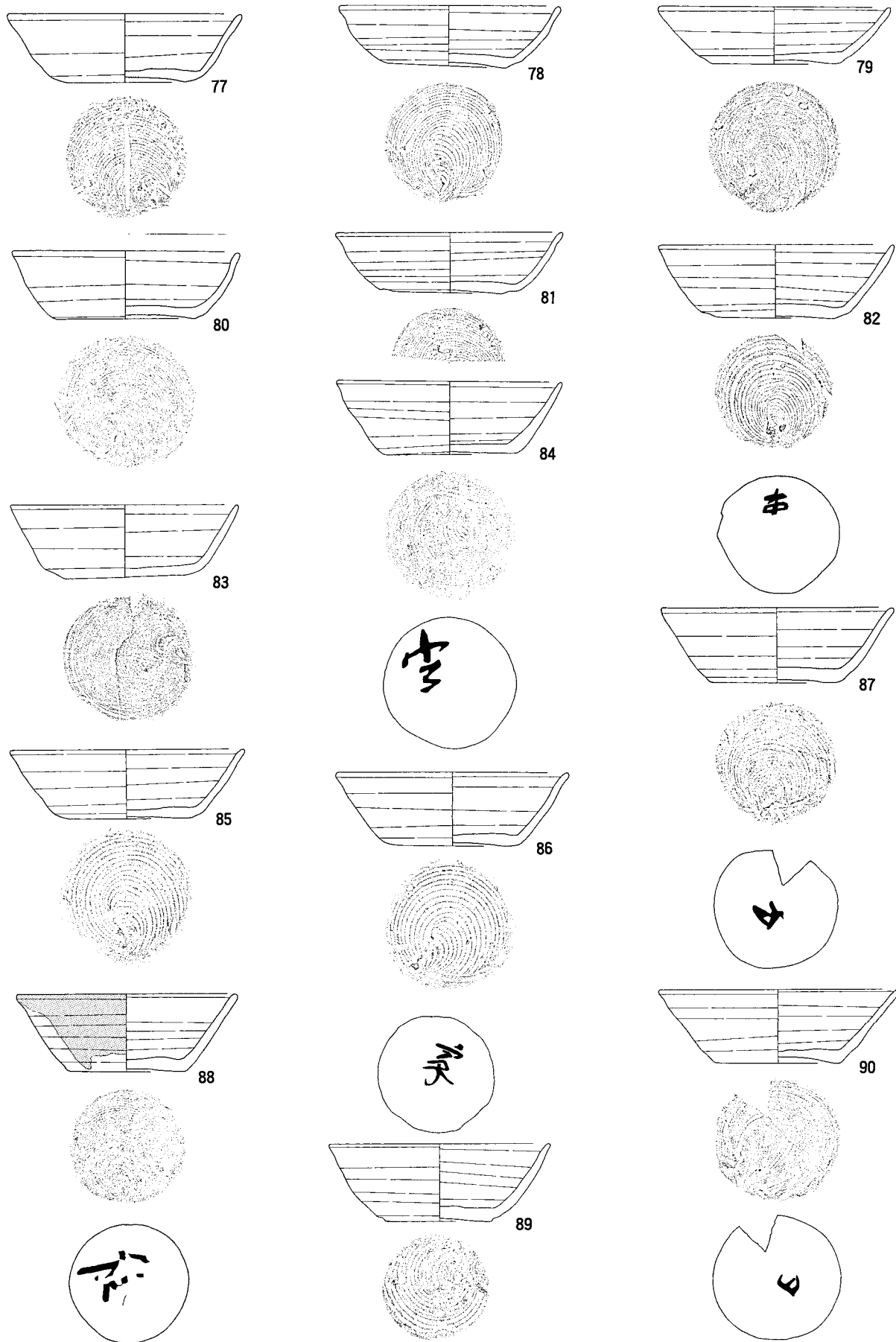
挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
47		坏	(15.8)	(9.0)	-	5.3	還元焰焼成	底部は回転糸切り後に外周部回転篋削り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は僅かに内彎する。胎土は非常に緻密である。前内出窯跡系である。残存率40%。
48		坏	(12.6)	7.5	8.3	4.2	還元焰焼成	底部は回転糸切り後に外周部回転篋削り。器内外面にロクロ水挽き整形。胎土は非常に緻密である。前内出窯跡系である。残存率60%。
46		坏	(12.2)	7.1	7.8	4.0	半還元焰焼成	底部は全面回転篋削り。器内外面にはロクロ水挽き整形。残存率50%。
50		坏	11.8	7.4	7.4	3.3	還元焰焼成	底部は回転糸切り後に外周部回転篋削り。器内外面にロクロ水挽き整形。器内面の体部と底部の変換点に爪先技法が見られる。残存率70%。
51	46-51	坏	(11.9)	6.8	7.2	3.8	還元焰焼成	底部は回転糸切り後に外周部回転篋削り。器内外面にはロクロ水挽き整形。残存率75%。
52	46-52	坏	11.4	6.0	7.1	3.5	還元焰焼成	底部は回転糸切り後に外周部手持ち篋削り。器内外面にロクロ水挽き整形。器内面の体部と底部の変換点に爪先技法が見られる。残存率70%。
53	46-53	坏	11.9	6.4	7.9	4.0	還元焰焼成	底部は回転糸切り後に外周部回転篋削り。器内外面にロクロ水挽き整形。器内面の体部と底部の変換点に爪先技法が見られる。完形。
54		坏	(12.2)	7.5	8.1	4.3	還元焰焼成	底部は回転糸切り後に外周部回転篋削り。器内外面にロクロ水挽き整形。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。残存率45%。
55	46-55	坏	12.1	6.7	6.7	3.8	還元焰焼成	底部は回転糸切りに外周部回転篋削り。器内外面にロクロ水挽き整形。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産である。底部の器内外面に「家長」の墨書。残存率90%。
56		坏	11.6	6.8	7.2	3.8	還元焰焼成	底部は回転糸切り後に外周部回転篋削り。器内外面にロクロ水挽き整形。残存率90%。
57	46-57	坏	12.3	6.2	6.4	4.1	還元焰焼成	底部は回転糸切り後に外周部回転篋削り。器内外面にロクロ水挽き整形。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産である。残存率90%。
58	46-58	坏	12.8	6.8	7.4	4.2	還元焰焼成	底部は回転糸切り後に外周部回転篋削り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は外反する。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産である。残存率95%。
59	46-59	坏	12.1	7.2	6.2	3.6	還元焰焼成	底部は回転糸切り後に外周部回転篋削り。器内外面にロクロ水挽き整形。口唇部が僅かに外反する。口縁部の器内外面に煤が付着する。完形。

第131表 2号水路出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 < >は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
60		坏	(12.4)	6.1	5.5	4.4	還元焰焼成	底部は回転糸切り後に外周部回転篋削り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は僅かに外反する。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産である。底部外面に「天」の墨書。残存率45%。
61	46-61	坏	12.4	7.4	7.6	4.0	還元焰焼成	底部は回転糸切り後に外周部回転篋削り。器内外面にロクロ水挽き整形。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産である。残存率80%。
62		坏	-	6.1	-	-	半還元焰焼成	底部は回転糸切り後に外周部回転篋削り。底部器内外面に「田」の墨書。
63	46-63	坏	-	7.3	-	-	還元焰焼成	底部は回転糸切り後に外周部回転篋削り。底部器内面に漆紙が附着。
64		坏	-	6.5	5.6	-	半還元焰焼成	底部は回転糸切り後外周部回転篋削り。器内外面にロクロ水挽き整形。底部器内外面に「田」の墨書。
65		坏	-	6.3	5.9	-	還元焰焼成	底部は回転糸切り後に外周部回転篋削り。器内外面にロクロ水挽き整形。底部外面に篋記号。
66	46-66	坏	11.8	6.5	7.4	3.5	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。器内面の体部と底部の変換点に爪先技法。胎土は緻密。前内出窯跡系である。完形。
67	46-67	坏	13.3	6.2	7.1	3.9	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産である。完形。
68		坏	12.9	7.7	7.0	3.5	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。残存率60%。
69	46-69	坏	12.6	6.6	7.8	3.7	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。胎土は緻密。前内出窯跡系。完形。
70		坏	(12.0)	7.0	6.8	3.5	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は僅かに外反する。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産である。残存率55%。
71		坏	12.1	7.8	6.8	3.7	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口唇部は僅かに外反する。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産である。残存率55%。
72	46-72	坏	12.8	7.4	7.0	3.9	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。底部内面に「方」、底部外面には判読不明の墨書。残存率75%。
73		坏	12.4	7.1	7.6	4.1	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。胎土は緻密。前内出窯跡系。残存率80%。
74	46-74	坏	-	6.8	-	-	還元焰焼成	底部は回転糸切り。底部内面に漆が附着。

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
75	46-75	高台付坏	12.3	8.3	9.4	4.0	還元焰焼成	底部は回転糸切り後に、高台を貼り付け。器内外面にロクロ水挽き整形。器内面の体部と底部の変換点に爪先技法が見られる。胎土は緻密。前内出窯跡系である。残存率80%。
76	46-76	高台付坏	12.9	8.0	8.5	4.3	還元焰焼成	底部は回転糸切り後に、高台を貼り付け。器内外面にロクロ水挽き整形。器内面の体部と底部の変換点に爪先技法が見られる。残存率55%。
77	46-77	坏	12.3	6.3	7.7	3.6	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。底部外面に窠記号。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。残存率100%。
78	46-78	坏	11.6	6.3	6.9	3.2	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産である。完形。
79	46-79	坏	12.1	7.1	7.0	3.0	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。器内面の体部と底部の変換点に爪先技法が見られる。残存率100%。
80	47-80	坏	12.0	7.3	6.9	3.6	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産である。完形。
81		坏	12.0	5.6	7.1	3.2	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は僅かに外反する。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産である。残存率60%。
82	47-82	坏	12.3	6.2	6.7	3.9	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産である。残存率95%。
83		坏	11.9	6.7	7.8	3.9	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。器内面の体部と底部の変換点に爪先技法が見られる。器内面の墨書は判読不明。胎土は緻密。前内出窯跡系。残存率85%。
84	47-84	坏	11.9	7.0	6.3	3.9	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。器内面底部の墨書は判読不明。残存率100%。
85	47-85	坏	12.3	6.8	7.2	3.7	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産である。完形。
86	47-86	坏	12.2	6.8	7.0	3.9	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は僅かに外反する。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。残存率90%。
87		坏	(12.2)	6.5	6.1	4.0	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は僅かに外反する。底部内面に「東(?)」、底部外面に判読不明の墨書。残存率35%。
88	47-88	坏	11.6	6.4	6.2	4.2	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。墨書が底部外面に見られるが判読不明。完形。

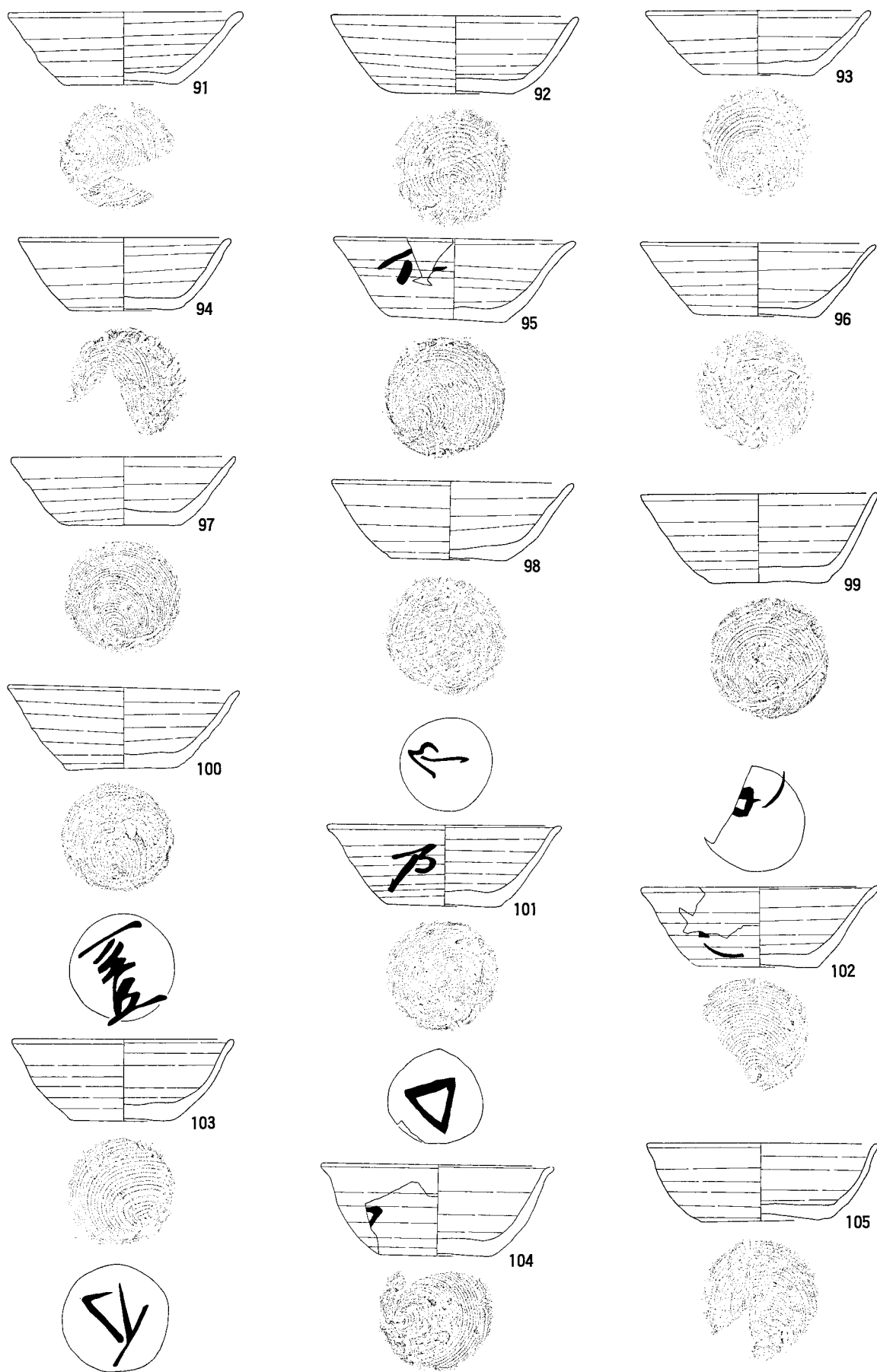


第206图 2号水路出土遺物 (6) (1/3)

第132表 2号水路出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 ()は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
89	47-89	坏	11.6	5.5	6.2	4.1	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。底部内面に「家」の墨書。残存率95%。
90		坏	12.6	6.6	3.9	6.5	半還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。胎土が緻密。前内出窯跡系。底部器内外面に「田」の墨書。残存率55%。
91		坏	12.2	5.8	5.1	3.7	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。残存率60%。
92	47-92	坏	12.7	6.0	7.2	4.1	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産である。残存率95%。
93		坏	11.6	5.7	5.8	3.3	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。残存率80%。
94		坏	10.6	5.8	5.5	3.8	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。残存率65%。
95	47-95	坏	12.4	6.2	5.0	4.2	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。体部外面に判読不明の墨書。残存率80%。
96	47-96	坏	12.0	6.4	4.5	3.8	半還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は外反する。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産である。残存率95%。
97	47-97	坏	11.6	6.1	5.6	6.5	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。完形。
98	47-98	坏	12.4	6.1	6.8	4.1	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産である。残存率90%。
99		坏	(12.2)	6.3	6.5	4.6	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。残存率60%。
100		坏	12.0	6.0	5.7	4.1	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。残存率60%。
101	47-101	坏	12.1	6.0	4.7	4.2	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は外反する。底部内面と体部外面に「乃」の墨書。残存率85%。
102	47-102	坏	12.3	6.0	5.1	4.2	酸化焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は外反する。底部内面と体部外面に判読不明の墨書。残存率70%。
103	47-103	坏	(11.5)	5.5	5.5	4.3	半還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は僅かに外反。底部外面に「万」、底部内面に「万呂」の墨書。残存率55%。

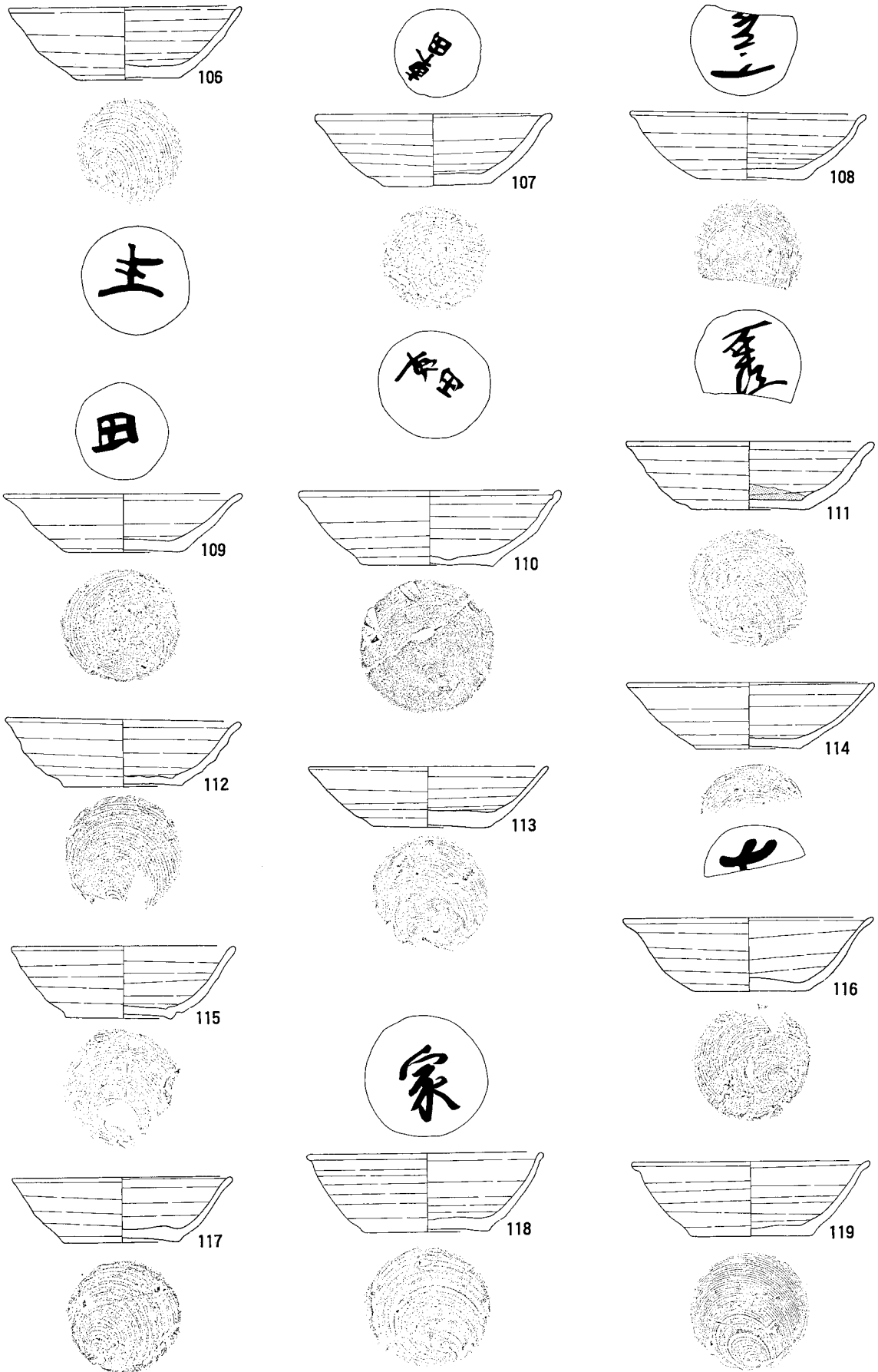


第207图 2号水路出土遺物 (7) (1/3)

第133表 2号水路出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 ()は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
104	47-104	坏	(12.0)	5.8	4.9	4.8	半還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は僅かに外反。底部内面に「△」、体部外面に判読できない墨書。残存率45%。
105	47-105	坏	11.9	6.2	7.2	4.0	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は僅かに外反。残存率90%。
106	47-106	坏	11.9	5.4	4.8	3.7	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。底部外面に「土」の墨書。器内面に微量な漆紙が付着。完形。
107	47-107	坏	12.1	5.8	4.6	3.8	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は僅かに外反。底部内外面に「東田」の墨書。残存率95%。
108	47-108	坏	12.1	5.7	5.2	3.4	半還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は外反する。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産である。底部内外面に「万呂」の墨書。残存率90%。
109		坏	(12.2)	6.0	4.8	3.0	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は僅かに外反。底部内面に「田」の墨書。残存率55%。
110	47-110	坏	13.5	6.8	6.2	3.9	半還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部内面に、沈線が横走する。残存率90%。
111	48-111	坏	12.6	6.1	5.1	3.5	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は僅かに外反。器内面に漆が入っていた痕跡が見られる。完形。
112	48-112	坏	12.1	6.0	5.2	3.5	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は外反する。残存率90%。
113		坏	12.3	6.0	6.3	3.1	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。残存率60%。
114		坏	(12.7)	(5.9)	(12.2)	3.8	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。底部外面に墨書が見られる。残存率40%。
115	48-115	坏	11.5	6.0	5.0	3.7	半還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。残存率70%。
116		坏	12.7	6.0	5.2	3.8	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は外反する。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産である。残存率80%。
117	48-117	坏	11.3	5.9	5.9	3.4	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は僅かに外反。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産である。底部外面に墨書が見られるが、判読ができない。残存率70%。

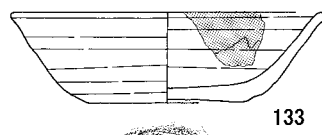
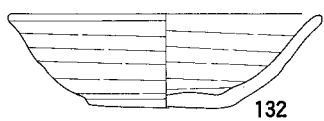
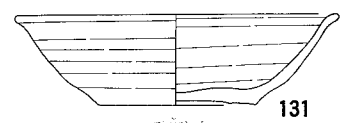
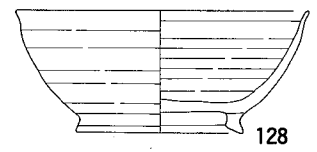
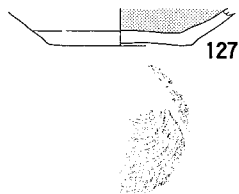
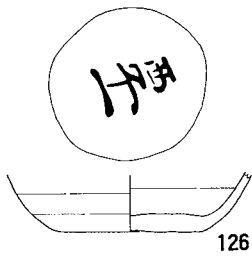
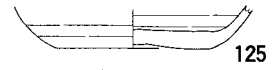
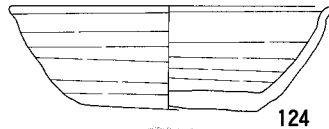
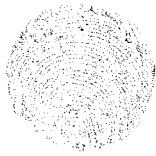
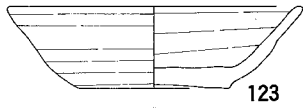
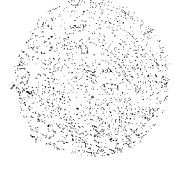
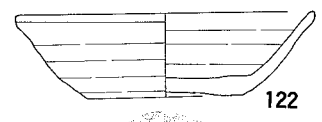
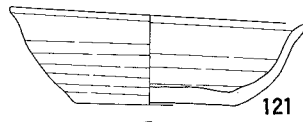
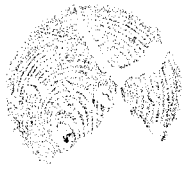
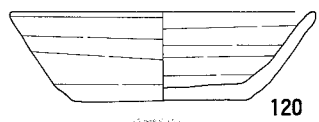


第208图 2号水路出土遺物 (8) (1/3)

第134表 2号水路出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 ()は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
118		坏	(12.0)	6.5	6.3	4.0	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産である。底部内面に「家」、外面の墨書は判読ができない。残存率65%。
119	48-119	坏	12.2	6.2	5.2	3.8	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は外反する。残存率90%。
120	48-120	坏	12.0	6.9	5.7	3.5	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。残存率90%。
121	48-121	坏	11.6	6.2	5.7	3.6	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は僅かに外反する。残存率95%。
122		坏	11.7	6.2	6.7	3.3	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。残存率85%。
123	48-123	坏	11.5	5.9	6.0	3.3	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。残存率95%。
124		坏	12.7	7.2	7.0	4.0	半還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は僅かに外反する。残存率50%。
125		坏	-	6.1	-	-	半還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。底部外面に、複数文字の墨書が見られるが判読はできない。
126		坏	-	5.8	-	-	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。底部内面に「西(?) 平一」の墨書。
127		坏	-	(5.7)	-	-	半還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。器内面は内黒である。
128	48-128	高台付坏	(11.4)	6.5	5.9	4.9	還元焰焼成	底部は回転糸切り後、高台を貼り付け。器内外面にロクロ水挽き整形。残存率50%。
129	48-129	坏	12.5	5.4	4.9	3.2	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。残存率90%。
130	48-130	坏	12.3	5.7	5.1	3.3	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は外反する。残存率80%。
131		坏	12.6	6.3	5.1	3.6	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は外反する。残存率85%。
132	48-132	坏	12.3	5.7	4.6	3.7	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は僅かに外反する。残存率90%。
133	48-133	坏	12.3	6.4	6.2	3.6	半還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は僅かに外反する。完形。

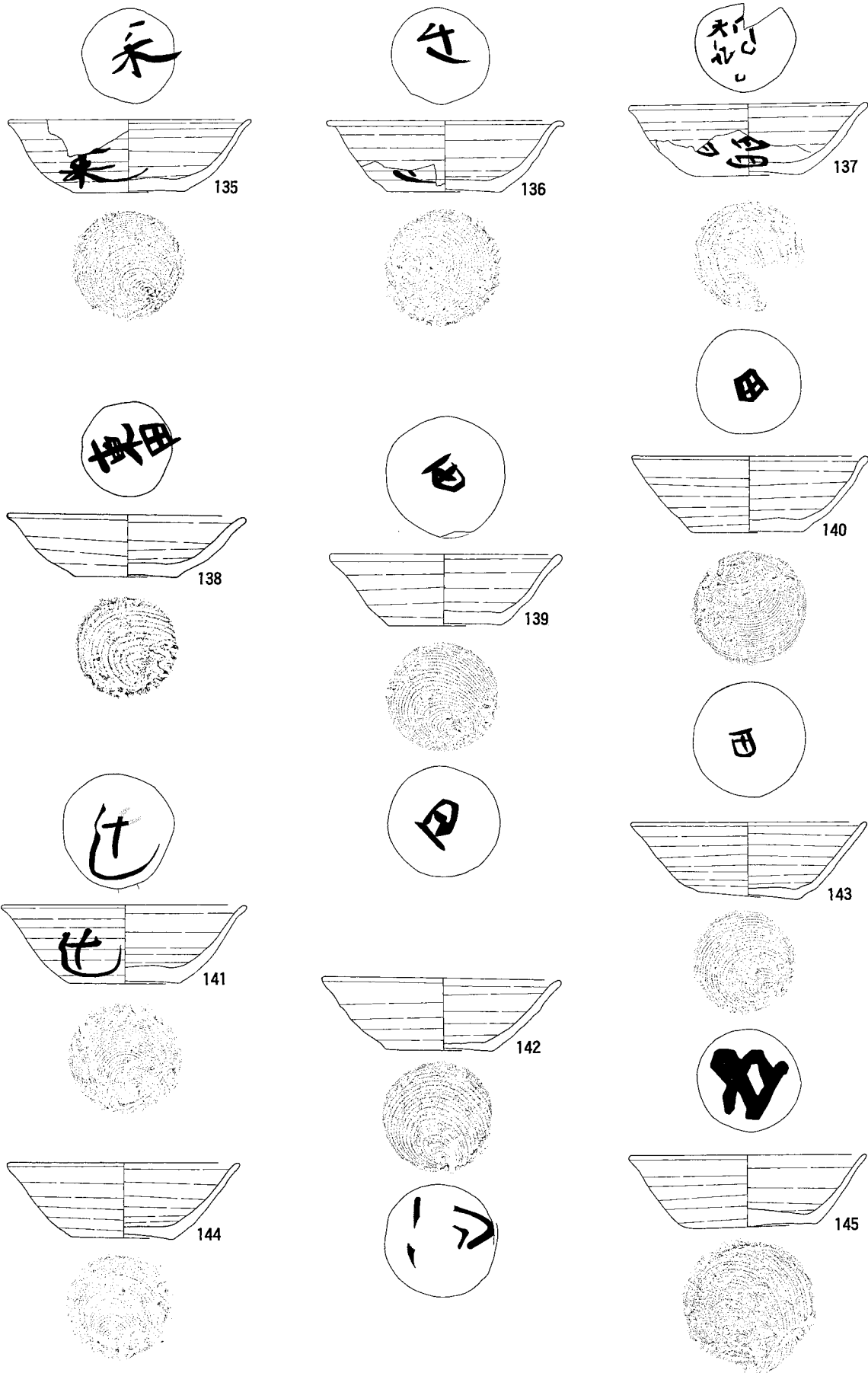


第209图 2号水路出土遺物 (9) (1/3)

第135表 2号水路出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 ()は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
134		坏	12.0	5.3	5.4	3.7	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は外反する。残存率90%。
135	48-135	坏	12.5	5.8	4.8	3.8	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は外反する。底部内面と体部外面に同一と思われる墨書。「菜」もしくは「采」、「采」と考えられる。残存率80%。
136		坏	(12.2)	6.0	4.8	3.7	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は外反する。底部内面と体部外面に同一と思われる墨書が見られるが判読できない。残存率65%。
137		坏	(12.4)	5.9	4.7	3.7	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は僅かに外反する。底部内面には「大□□□」と複数の墨書。体部外面は「明□」の墨書。残存率45%。
138	48-138	坏	12.3	5.2	4.6	3.2	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は僅かに外反する。底部内面に「東田」の墨書。残存率100%。
139	48-139	坏	12.0	5.8	6.1	3.7	半還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は外反。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。底部内外面には「田」の墨書。残存率85%。
140	48-140	坏	12.2	5.6	5.4	3.9	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は僅かに外反する。底部内外面に「田」の墨書。残存率65%。
141	48-141	坏	(12.7)	5.9	5.6	4.0	半還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は外反。底部内面と体部外面に「辻」の墨書。残存率45%。
142	48-142	坏	12.4	5.6	5.0	3.8	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。底部外面に「田」の墨書。残存率75%。
143	48-143	坏	12.2	5.2	4.8	3.8	酸化焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。底部外面に判読不明の墨書。残存率85%。
144	48-144	坏	12.0	5.4	4.6	3.9	酸化焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。底部内面に墨書。残存率95%。
145	49-145	坏	12.3	6.9	5.6	3.7	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。残存率100%。
146		坏	12.7	5.8	4.8	4.2	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は僅かに外反する。残存率60%。
147	49-147	坏	12.6	6.2	5.4	4.5	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は外反する。残存率90%。

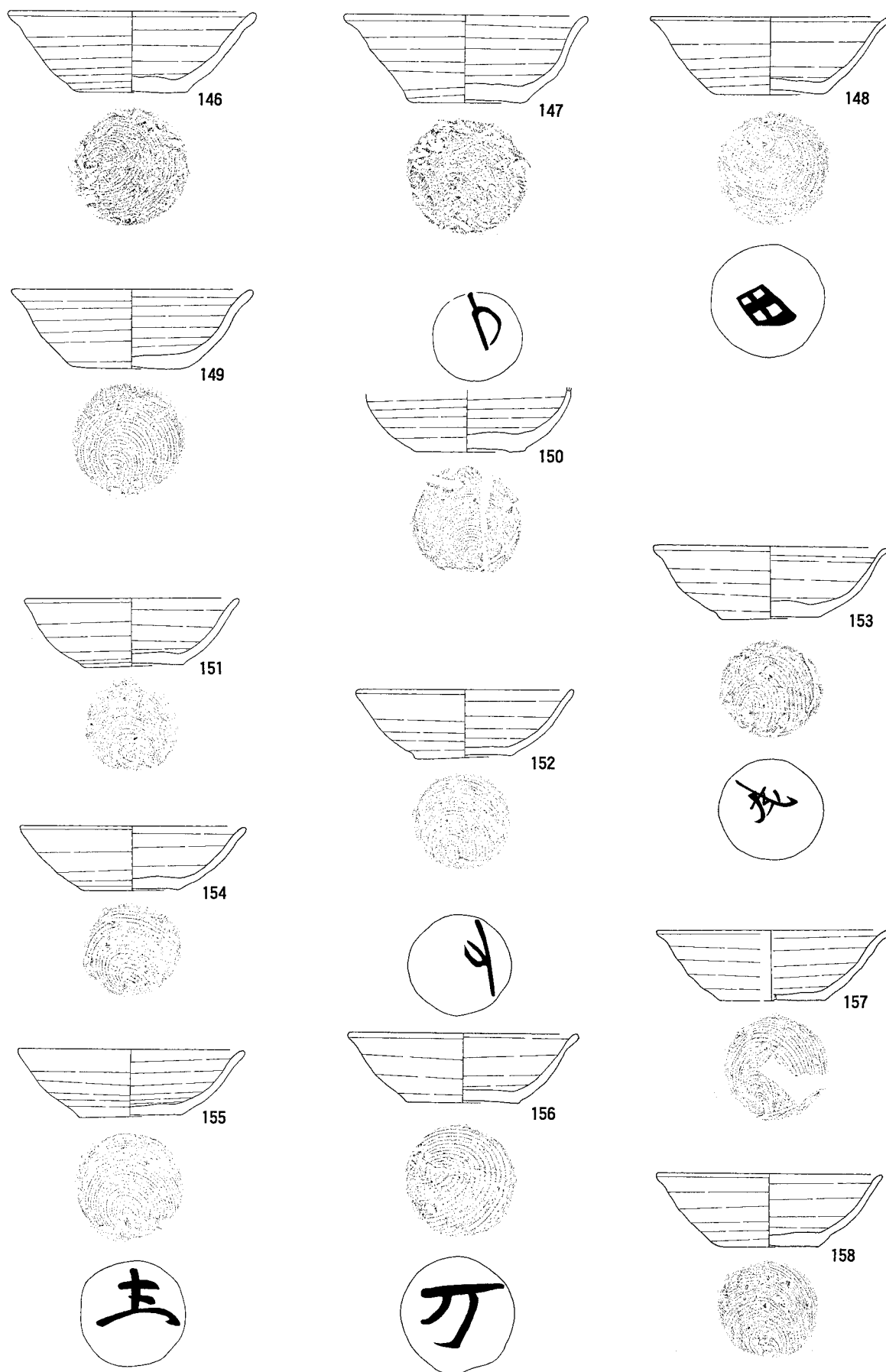


第210图 2号水路出土遗物 (10) (1/3)

第136表 2号水路出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 ()は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
148		坏	12.3	5.9	5.1	4.0	酸化焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は外反する。底部外面に「田」の墨書。残存率65%。
149	49-149	坏	12.4	5.7	5.4	4.1	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は外反する。残存率95%。
150		坏	-	5.6	4.7	-	半還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。底部内面に判読不明の墨書。
151		坏	11.1	5.1	5.0	3.5	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は外反する。残存率90%。
152	49-149	坏	11.2	5.2	4.6	3.5	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は外反する。完形。
153		坏	12.0	5.3	4.6	3.8	酸化焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は外反する。底部外面に「成」の墨書。残存率45%。
154	49-154	坏	11.6	5.0	4.8	3.3	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は僅かに外反する。残存率100%。
155	49-155	坏	11.7	5.3	4.9	3.5	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は僅かに外反する。底部外面に「土」の墨書。完形。
156	49-156	坏	13.0	7.6	9.0	3.4	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は僅かに外反する。底部内外面に「万」の墨書。残存率95%。
157	49-157	坏	12.0	5.4	4.8	3.7	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は外反する。残存率95%。
158	49-158	坏	11.7	5.4	5.4	3.8	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は僅かに外反する。残存率95%。
159	49-159	坏	12.5	5.4	4.6	4.2	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は外反する。残存率85%。
160		坏	11.8	4.9	4.6	3.9	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。残存率50%。
161		坏	11.9	4.8	4.6	3.7	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は外反する。残存率55%。
162	49-162	坏	12.0	5.5	5.3	3.7	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。完形。
163		坏	11.2	(5.5)	(5.4)	3.4	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。残存率85%。
164		坏	12.5	5.4	4.5	4.0	半還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は外反する。残存率80%。

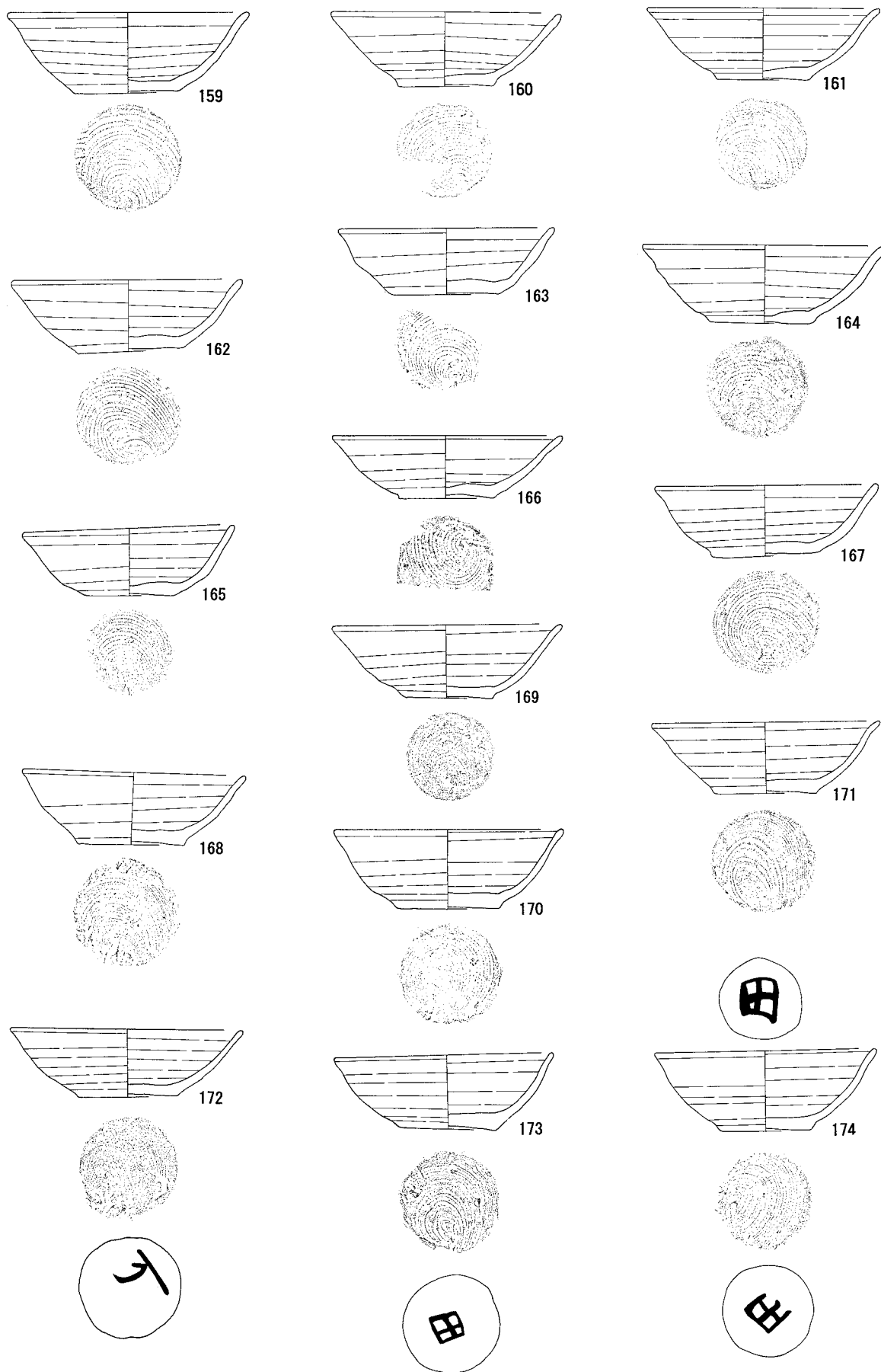


第211图 2号水路出土遗物 (11) (1/3)

第137表 2号水路出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 ()は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
165		坏	11.0	4.7	4.8	3.5	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。残存率65%。
166		坏	11.9	4.9	4.5	3.3	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は僅かに外反する。残存率70%。
167	49-167	坏	11.5	5.7	5.1	3.6	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は僅かに外反する。完形。
168	49-168	坏	11.9	5.5	5.2	3.8	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は外反する。残存率100%。
169		坏	11.9	4.5	4.7	3.7	半還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は外反する。残存率80%。
170		坏	11.9	5.3	5.0	4.1	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は僅かに外反する。残存率75%。
171		坏	11.7	5.3	5.2	3.6	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は外反する。残存率75%。
172	49-172	坏	12.0	5.2	4.1	3.6	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。底部外面に「万」の墨書。残存率90%。
173	49-173	坏	11.3	5.0	5.0	4.9	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は僅かに外反する。底部外面に「田」の墨書。残存率70%。
174		坏	(11.4)	4.7	4.2	4.2	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は僅かに外反する。底部内外面に「田」の墨書。残存率30%。
175	49-175	坏	11.8	5.3	5.9	3.7	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。完形。
176		坏	11.7	5.0	4.6	3.9	酸化焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。残存率75%。
177		坏	11.5	5.4	5.5	3.5	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。残存率65%。
178		坏	12.5	5.7	5.3	3.9	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。残存率75%。
179	49-179	坏	12.2	5.6	4.9	4.1	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。完形。
180	49-180	坏	12.6	6.0	4.6	4.4	半還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は大きく外反する。残存率95%。
181		坏	11.8	5.3	4.0	3.9	半還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は僅かに外反する。残存率75%。
182		坏	12.9	5.7	4.5	4.2	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は僅かに外反する。残存率65%。

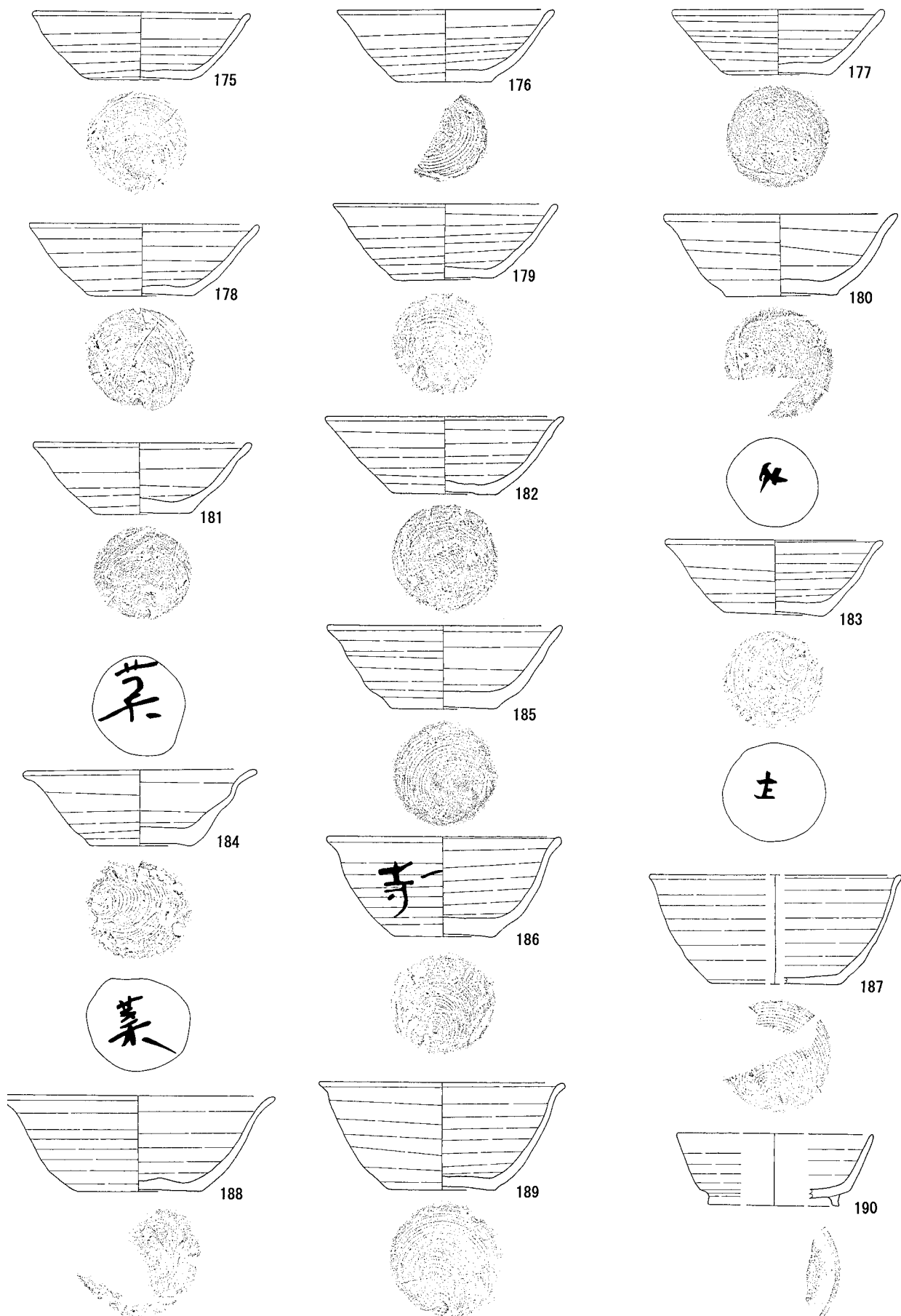


第212図 2号水路出土遺物 (12) (1/3)

第138表 2号水路出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 ()は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
183	49-183	坏	11.7	5.4	4.9	4.0	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は僅かに外反する。底部内外面に「土」の墨書。残存率75%。
184		坏	12.5	5.7	5.0	4.1	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は大きく外反。底部器内外面に「菜」の墨書。残存率65%。
185		坏	12.7	5.8	5.2	4.5	半還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は僅かに外反する。残存率85%。
186	49-186	坏	12.5	5.5	5.6	5.4	半還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は外反する。体部外面に「寺一」の墨書。残存率90%。
187		坏	(13.6)	(7.0)	5.6	5.9	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は僅かに外反する。残存率55%。
188		坏	(14.8)	6.6	4.8	5.2	半還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は大きく外反する。残存率45%。
189		坏	13.3	5.8	5.3	5.9	半還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は外反する。残存率70%。
190		高台付坏	(10.6)	(7.1)	-	3.9	半還元焰焼成	底部に高台を貼り付け。器内外面にロクロ水挽き整形。残存率10%。
191	49-191	坏	12.8	5.8	5.0	3.5	酸化焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は僅かに外反する。残存率95%。
192		坏	12.8	5.8	5.4	3.3	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。残存率60%。
193	50-193	坏	13.0	5.7	4.8	3.9	半還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は僅かに外反する。残存率90%。
194	50-194	坏	13.2	6.2	4.4	3.6	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は外反する。残存率95%。
195		坏	13.3	5.4	5.4	4.2	半還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は大きく外反する。残存率75%。
196	50-196	坏	12.7	6.4	4.1	3.8	半還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は外反する。体部外面に墨書が見られる。完形。
197	50-197	坏	13.4	6.2	6.1	3.9	半還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。体部外面に「南」の墨書。残存率60%。
198		坏	13.5	5.6	5.3	4.3	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は外反する。底部外面に「大」の線刻書き。残存率50%。

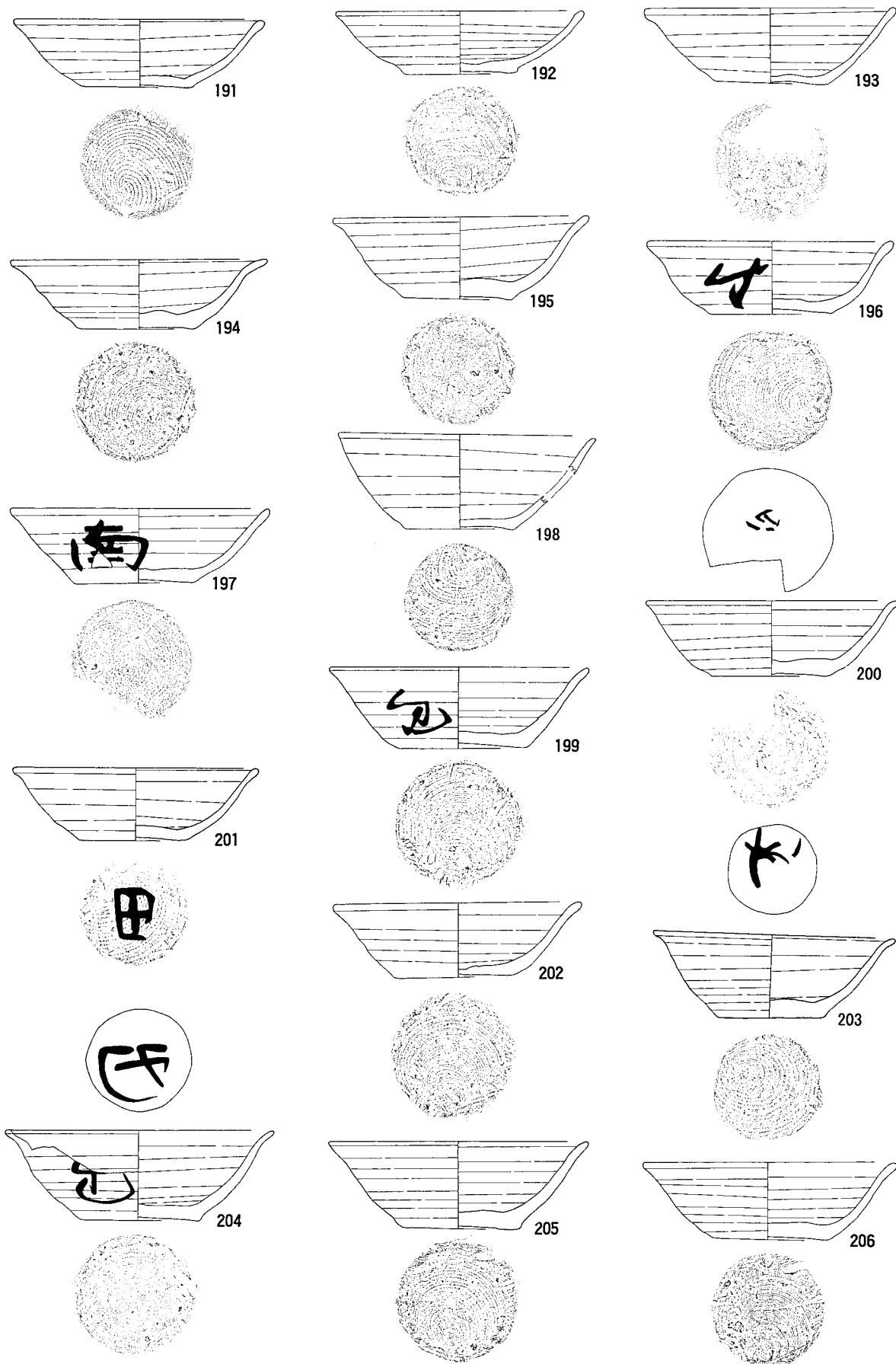


第213图 2号水路出土遗物 (13) (1/3)

第139表 2号水路出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 ()は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
199		坏	13.4	6.6	5.4	4.2	半還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は外反する。体部外面に墨書が見られる。残存率60%。
200		坏	13.0	6.1	6.5	3.9	半還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は外反する。底部内外面に墨書が見られる。残存率75%。
201		坏	12.6	5.6	4.6	3.8	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は僅かに外反。底部外面に「田」の墨書と「×」の窠記号。残存率75%。
202	50-202	坏	12.8	6.5	4.9	3.9	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は外反する。完形。
203	50-203	坏	12.5	5.5	4.5	4.3	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は外反する。底部内面に墨書が見られる。残存率95%。
204	50-204	坏	13.9	6.0	5.3	4.6	半還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は強く外反する。底部内面と体部外面に「辻」の墨書。残存率90%。
205		坏	(13.4)	6.2	5.1	4.5	半還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は僅かに外反する。残存率55%。
206	50-206	坏	13.0	6.0	5.9	4.0	半還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は外反する。残存率95%。
207	50-207	坏	12.9	6.4	4.1	4.4	半還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は大きく外反する。底部内面と体部外面に墨書。残存率80%。
208	50-208	坏	13.8	5.5	5.7	4.5	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は大きく外反する。残存率95%。
209		坏	(14.2)	6.6	6.4	4.7	半還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は外反する。体部外面に墨書。残存率40%。
210	50-210	坏	12.9	6.2	5.3	4.3	半還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は大きく外反する。完形。
211		坏	13.4	6.0	5.1	4.3	半還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は外反する。残存率65%。
212		坏	13.5	6.3	5.3	4.0	半還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は大きく外反する。残存率60%。
213	50-213	坏	14.4	6.0	5.5	4.8	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は外反する。残存率90%。
214		坏	14.5	6.7	5.3	5.0	半還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は大きく外反する。残存率65%。

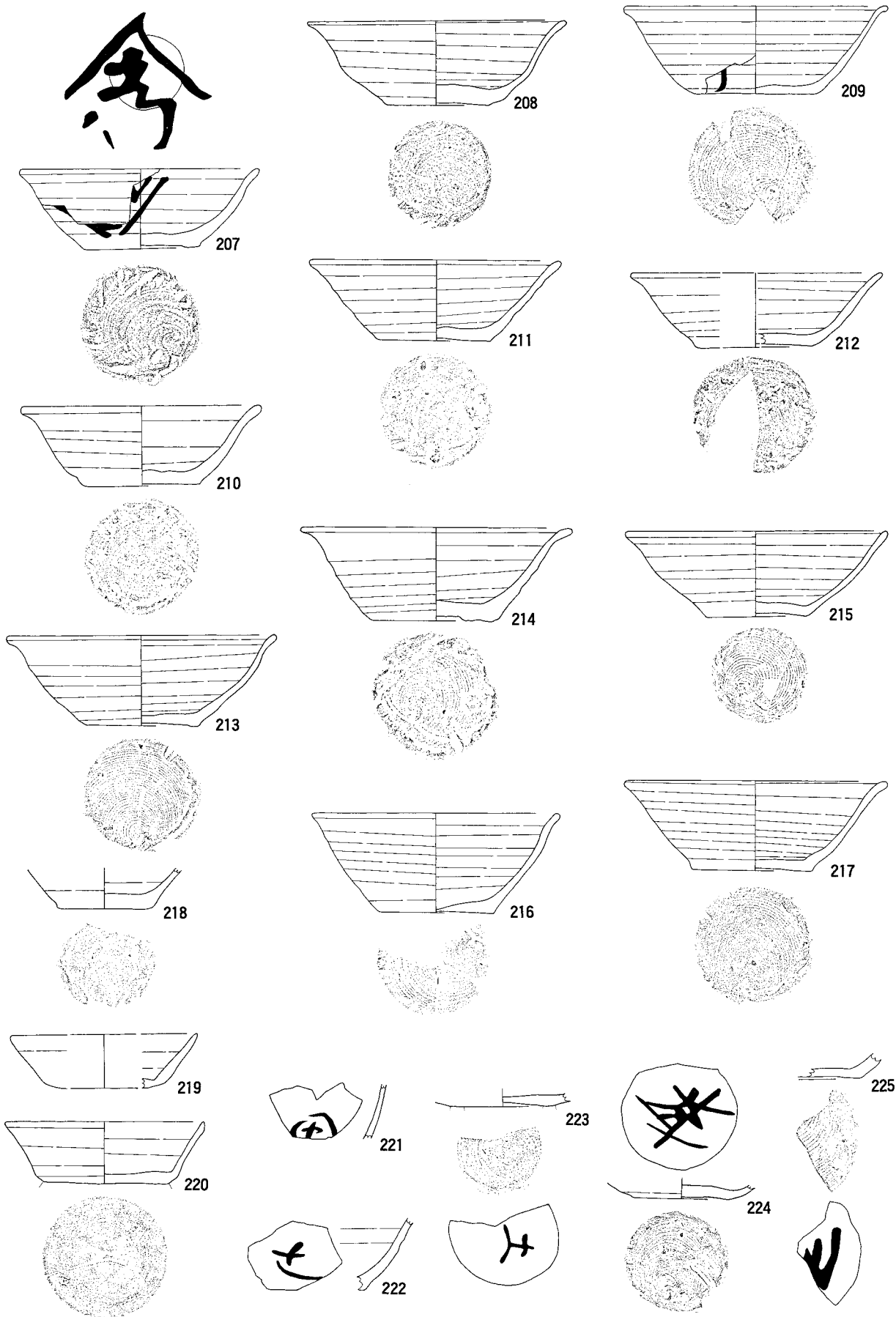


第214图 2号水路出土遗物 (14) (1/3)

第140表 2号水路出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 ()は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
215	50-215	坏	14.0	5.3	5.0	4.6	半還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。残存率85%。
216		坏	13.2	6.1	5.5	5.4	半還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は外反する。残存率50%。
217	50-217	坏	14.0	6.3	5.3	4.8	半還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は外反する。残存率90%。
218		坏	-	5.1	4.2	-	半還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。
219		坏	(10.0)	(6.3)	-	2.9	還元焰焼成	器内外面にロクロ水挽き整形。
220	50-220	坏	10.7	6.6	6.9	3.3	還元焰焼成	底部は全面回転篋削り。器内外面はロクロ水挽き整形後に、体部外面下端に篋削り。残存率70%。
221		坏	-	-	-	-	半還元焰焼成	体部外面に「田」の墨書。
222		坏	-	-	-	-	半還元焰焼成	体部外面に「辻」の墨書。
223		坏	-	5.6	-	-	還元焰焼成	底部は回転糸切り後外周部回転篋削り。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。底部外面に「土」の墨書。
224		坏	-	5.4	5.9	-	還元焰焼成	底部は回転糸切り。底部内面に「武」の墨書。
225		坏	-	-	-	-	半還元焰焼成	底部は回転糸切り。底部内面に墨書。
226		壺	(17.2)	(8.7)	(9.5)	6.0	半還元焰焼成	底部は回転糸切り後外周部回転篋削り。器内外面はロクロ水挽き整形後に、体部外面下端に篋削り。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。残存率30%。
227		壺	(18.0)	(10.4)	-	5.4	還元焰焼成	底部は回転糸切り後外周部回転篋削り。器内外面はロクロ水挽き整形後に、体部外面下端に篋削り。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。228と同一個体思われる。
228		壺	(17.3)	(10.6)	-	5.7	還元焰焼成	底部は回転糸切り後外周部回転篋削り。器内外面はロクロ水挽き整形後に、体部外面下端に篋削り。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。
229		壺	(15.3)	8.0	8.5	5.5	還元焰焼成	底部は回転糸切り後外周部回転篋削り。器内外面はロクロ水挽き整形後に、体部外面下端に篋削り。胎土が緻密、前内出窯跡系。底部外面に「福南」の墨書。残存率45%。
230		壺	(15.0)	7.3	7.5	5.6	還元焰焼成	底部は回転糸切り後外周部回転篋削り。器内外面はロクロ水挽き整形、後に体部外面下端に篋削り。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。残存率45%。
231		壺	(13.8)	6.4	6.0	6.1	還元焰焼成	底部は回転糸切り後外周部回転篋削り。器内外面にロクロ水挽き整形。残存率40%。
232		壺	(16.1)	6.8	6.4	6.5	半還元焰焼成	底部は回転糸切り後外周部回転篋削り。器内外面にロクロ水挽き整形。残存率40%。

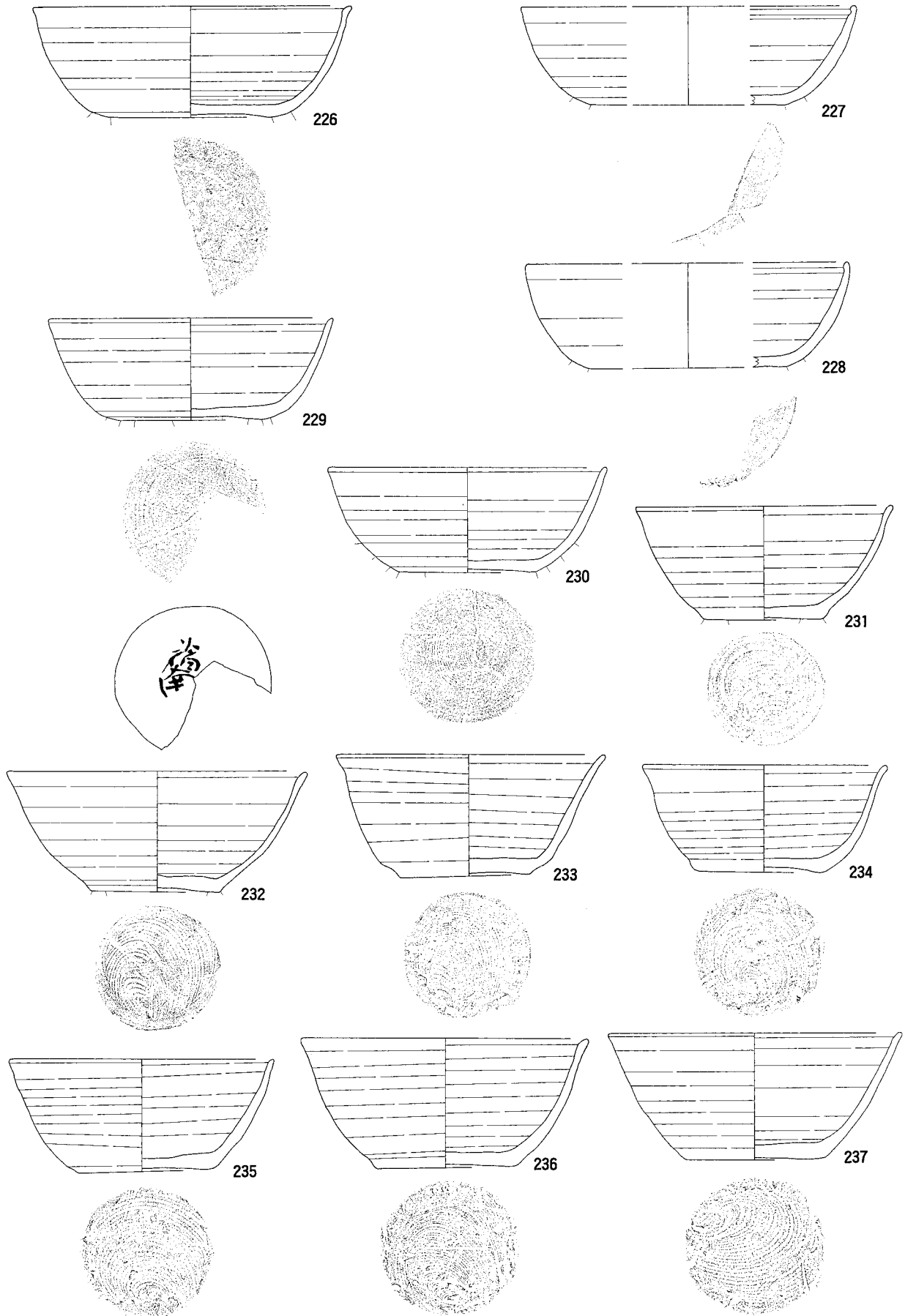


第215图 2号水路出土遗物 (15) (1/3)

第141表 2号水路出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 ()は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
233		埴	14.4	7.0	7.7	6.6	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。残存率50%。
234	50-234	埴	13.1	7.0	6.3	5.8	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。残存率70%。
235	50-235	埴	14.2	7.1	7.7	6.0	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。完形。
236	50-236	埴	15.4	7.4	6.4	7.0	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。底部外面に「×」の窠書き。完形。
237		埴	(15.8)	7.6	7.1	6.8	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。器内面全体に漆の痕跡が残る。残存率35%。
238	50-238	埴	14.2	6.5	5.3	5.3	半還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。残存率80%。
239	50-239	埴	14.4	6.3	6.2	6.1	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。残存率80%。
240		埴	(13.3)	6.5	6.7	5.2	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は外反する。残存率45%。
241	50-241	埴	14.0	6.6	5.4	3.8	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。底部内外面に「万呂」の墨書。残存率100%。
242		埴	(14.7)	(7.8)	(6.3)	6.4	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。底部内外面に「万呂」の墨書。残存率45%。
243		埴	(14.3)	6.8	5.8	5.7	半還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。底部器内面に墨書。残存率35%。
244	51-244	埴	14.5	6.2	5.8	6.4	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。底部内外面に「万呂」の墨書。残存率80%。
245	51-245	埴	14.6	6.8	6.2	6.2	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。残存率70%。
246		埴	(15.3)	6.9	6.5	5.5	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は僅かに外反する。残存率45%。
247		埴	(14.5)	6.7	6.3	5.3	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は僅かに外反する。残存率45%。
248	51-248	埴	15.1	7.3	5.2	5.2	半還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。体部外面に「貞」の墨書。残存率85%。
249	51-249	高台付埴	18.7	9.2	7.2	11.0	還元焰焼成	底部は回転糸切り後に高台を貼り付け。器内外面はロクロ水挽き整形、後に体部外面下半部に回転窠削り。残存率70%。

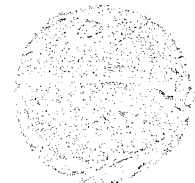
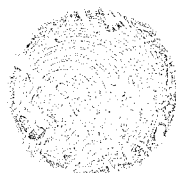
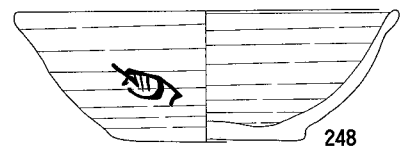
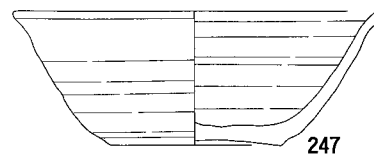
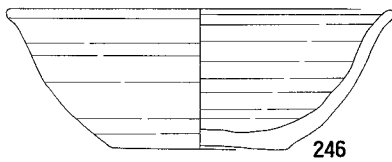
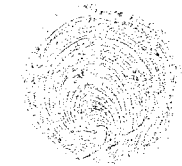
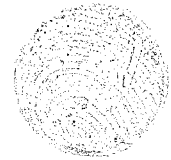
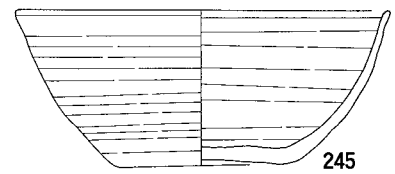
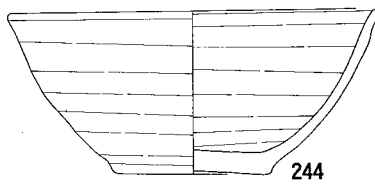
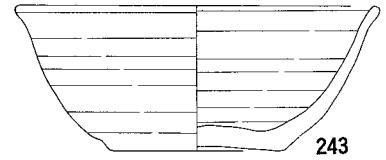
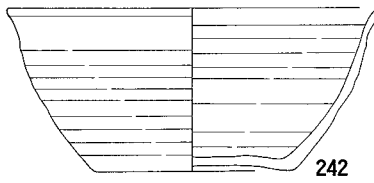
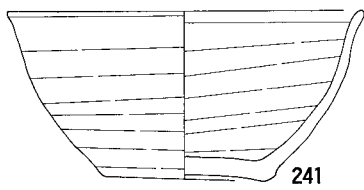
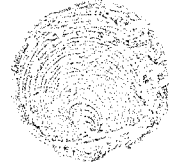
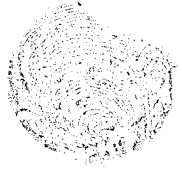
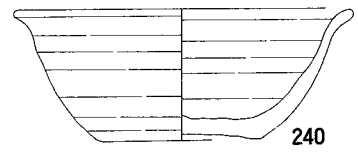
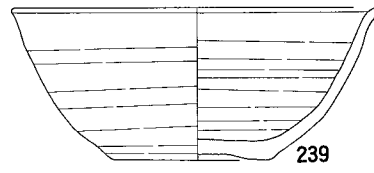
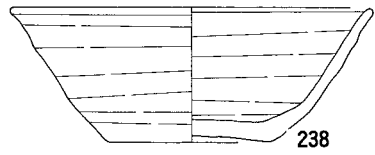


第216图 2号水路出土遗物 (16) (1/3)

第142表 2号水路出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 ()は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
250		高台付壺	(16.0)	7.5	6.7	7.9	還元焰焼成	底部は回転糸切り後に高台を貼り付け。器内外面はロクロ水挽き整形、後に体部外面下半部に回転篋削り。残存率40%。
251		高台付壺	(15.7)	-	-	5.6	還元焰焼成	底部は回転糸切り。高台が剥がれ。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は大きく外反する。残存率50%。
252	51-252	高台付壺	15.3	6.9	5.5	7.0	半還元焰焼成	底部は回転糸切り後に高台を貼り付け。器内外面にロクロ水挽き整形。底部内面と体部外面に「工」の墨書。残存率100%。
253	51-253	高台付壺	15.4	6.3	4.5	6.4	半還元焰焼成	底部は回転糸切り後に高台を貼り付け。器内外面にロクロ水挽き整形。残存率95%。
254		高台付壺	14.5	7.1	4.5	6.3	還元焰焼成	底部は回転糸切り後に高台を貼り付け。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は僅かに外反する。残存率60%。
255		高台付壺	(13.2)	7.7	5.5	6.0	還元焰焼成	底部は回転糸切り後に高台を貼り付け。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は外反する。末野窯跡産。残存率40%。
256	51-256	Ⅲ	14.8	5.9	-	3.4	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。底部外面に「万呂」の墨書。残存率70%。
257	51-257	Ⅲ	15.7	6.3	-	3.0	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。残存率70%。
258		Ⅲ	16.8	5.5	-	2.7	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。残存率75%。
259	51-259	Ⅲ	15.8	6.2	-	2.5	半還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。残存率70%。
260	51-260	Ⅲ	15.7	5.4	-	2.6	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。完形。
261		Ⅲ	(15.5)	5.5	-	2.0	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。残存率45%。
262	51-262	Ⅲ	16.7	5.7	-	2.6	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。底部内外面に「田」の墨書。完形。
263		Ⅲ	(16.3)	7.1	-	2.7	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。残存率45%。
264		Ⅲ	(13.6)	(4.8)	-	2.0	酸化焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。底部外面に墨書。残存率30%。
265		Ⅲ	-	6.5	-	-	半還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。底部内外面に「万呂」の墨書。

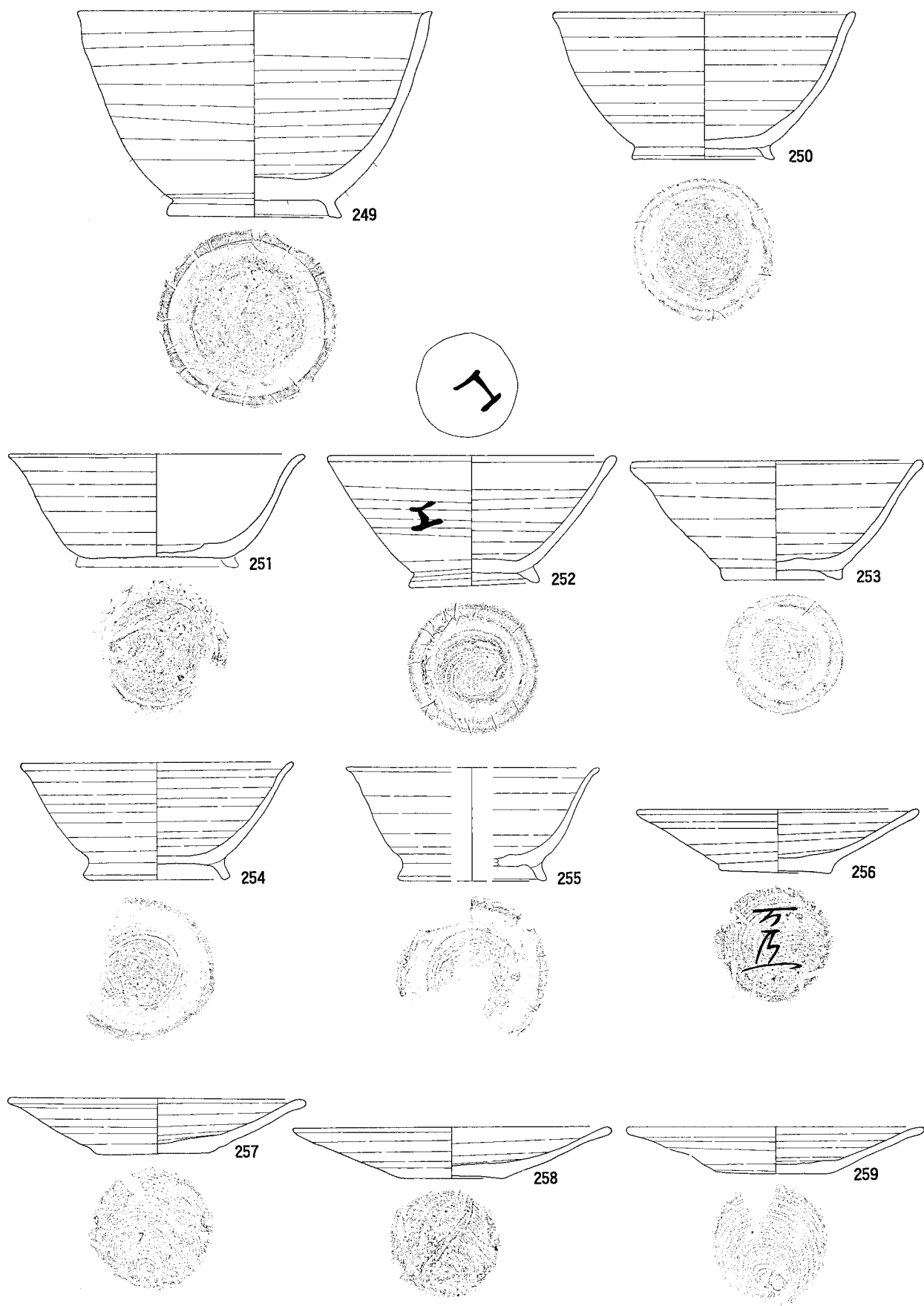


第217图 2号水路出土遗物 (17) (1/3)

第143表 2号水路出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 ()は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
266		皿	-	5.4	-	-	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。底部外面に「万呂」の墨書。
267		皿	-	-	-	-	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。底部外面に「万」の墨書。
268	51-268	高台付皿	(14.5)	6.9	-	2.8	還元焰焼成	底部は回転糸切り後に、高台を貼り付け。器内外面にロクロ水挽き整形。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。残存率35%。
269	51-269	高台付皿	(13.6)	6.0	-	3.5	還元焰焼成	底部は回転糸切り後に、高台を貼り付け。器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部は外反する。残存率65%。
270		坏	-	-	-	-	灰釉陶器	器内外面にロクロ水挽き整形。器内外面に灰釉。
271		高台付皿	-	-	-	-	灰釉陶器	底部に高台を貼り付け。器内外面にロクロ水挽き整形。器内面に灰釉。
272	51-272	坏	-	-	-	-	還元焰焼成	器内外面にロクロ水挽き整形。器内面に漆が付着。
273	51-273	坏	-	-	-	-	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。器内面に漆が付着。
274		坏	-	-	-	-	還元焰焼成	底部は回転篋削り。器内外面にロクロ水挽き整形。体部外面に2条の沈線が平行して走る。
275		高盤	-	-	-	-	還元焰焼成	器内外面にロクロ水挽き整形。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。
276	51-276	甕	19.2	13.3	-	40.9	還元焰焼成	口縁部器内外面はロクロ水挽き整形。胴部器内面の胴部上半から中位にかけて当て具痕。胴部外面にナデ整形。胴部外面に自然釉。残存率70%。
277	51-277	甕	26.4	-	-	-	還元焰焼成	口縁部器内外面はロクロ水挽き整形。胴部外面に縦、斜め方向の平行叩き。胴部器内面の胴部上半から中位にかけて当て具痕。胴部外面にナデ整形。
278	51-278	甕	(25.2)	-	-	-	還元焰焼成	口縁部の内外面はロクロ水挽き整形。外面肩部から胴部に平行叩き。内面に当て具痕。肩部外面に自然釉。
279	52-279	甕	26.2	-	-	-	還元焰焼成	口縁部の内外面はロクロ水挽き整形。頸部内面に当て具痕。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。
280		甕	(23.5)	-	-	-	還元焰焼成	器内外面はロクロ水挽き整形。器外面に自然釉。
281		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器内外面にロクロ水挽き整形。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。
282		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器内外面にロクロ水挽き整形。
283		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器内外面にロクロ水挽き整形。器内外面に施釉。

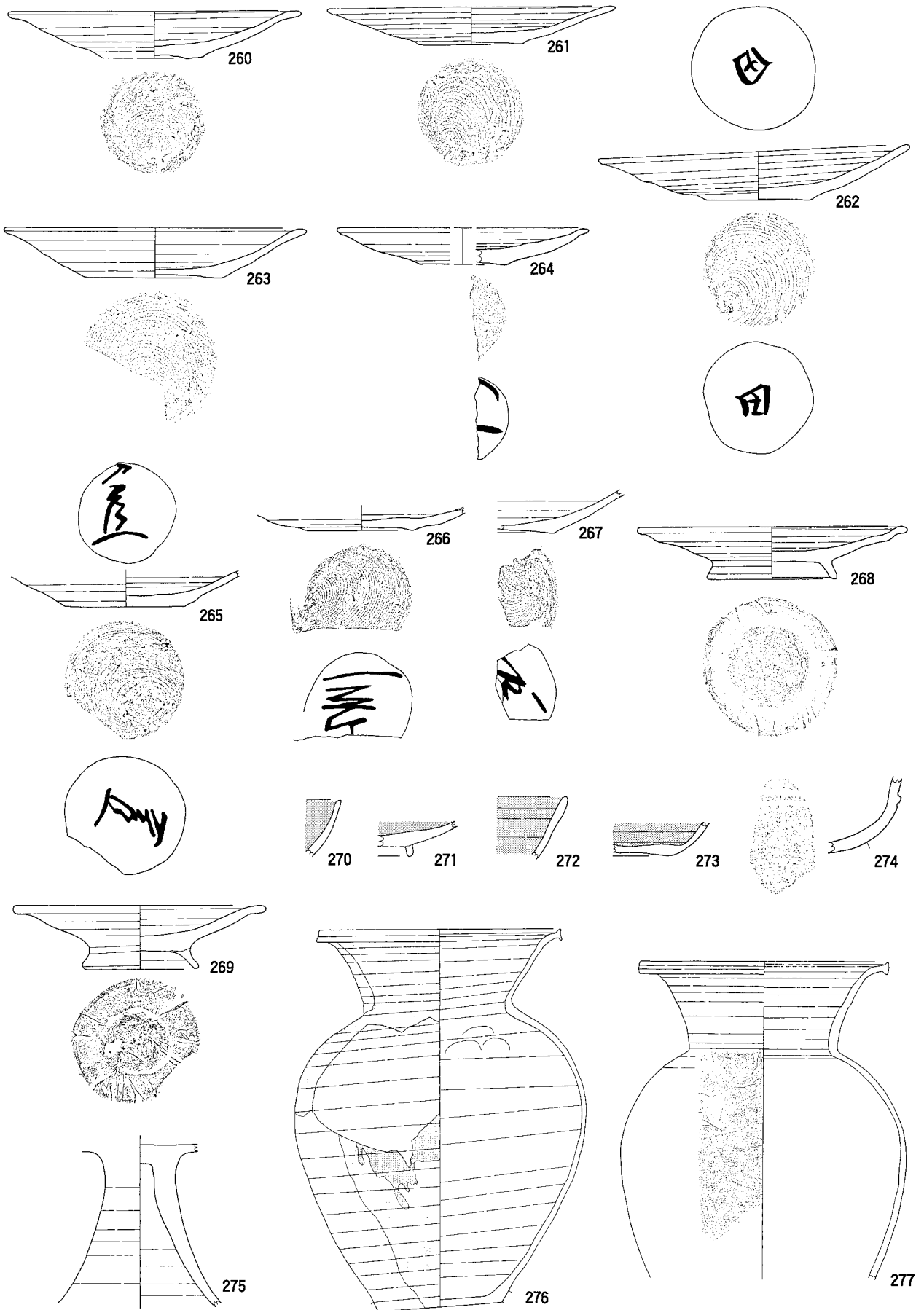


第218图 2号水路出土遗物 (18) (1/3)

第144表 2号水路出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 ()は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
284		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器内外面にロクロ水挽き整形。外面に幅広の波状文が3条横走。
285		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器内外面にロクロ水挽き整形。外面に幅広の波状文が2条横走する。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。
286	52-286	甕	-	-	-	-	還元焰焼成	頸部内外面にロクロ水挽き整形。外面に櫛引きの波状文が3条横走。
287	52-287	甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器内外面にロクロ水挽き整形。外面に櫛引きの波状文が2条横走する。
288		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器内外面にロクロ水挽き整形。外面に沈線で画し、櫛引きの波状文が3条横走する。
289		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器内外面にロクロ水挽き整形。櫛引きの波状文が2条横走する。
290		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器内面に当て具痕。器外面に自然釉。器面が摩滅している。298、299と同一。
291		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器内面上部に当て具痕。器外面に自然釉。湖西窯跡産の可能性ある。
292	52-292	甕	-	(15.8)	-	-	還元焰焼成	器内面に当て具痕。器外面は平行叩きを斜め方向に施した後に下端は匏削り。
293		甕	-	-	-	-	半還元焰焼成	器内外面にナデ整形。
294		甕	-	15.3	-	-	半還元焰焼成	器外面に斜め方向の平行叩き。器内面はナデ整形。
295		甕	-	(15.5)	-	-	還元焰焼成	器内外面にロクロ水挽き整形。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。
296		甕	-	(13.8)	-	-	還元焰焼成	器外面に匏整形。器内面はナデ整形。胴部外面と底部内面に自然釉。
297	52-297	甕	-	12.4	-	-	還元焰焼成	器内外面にナデ整形。底部外面に縄の圧痕。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。
298		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器内面は当て具痕が残る。器外面に自然釉が見られる。器面が摩滅している。湖西窯跡産の可能性ある。290、299と同一。
299		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器外面に自然釉が見られる。器面が摩滅している。湖西窯跡産の可能性ある。290、298と同一。
300		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器外面に横方向の平行叩き。器内面にナデ整形。器外面に自然釉。
301		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器外面に斜め、横方向の平行叩き。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。
302		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器外面に斜め方向の平行叩き。器内面に当て具痕とナデ整形。
303		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器外面に斜め方向の平行叩き。器内面には当て具痕が残る。
304		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器外面に斜め、横方向の平行叩き。器内面はナデ整形。

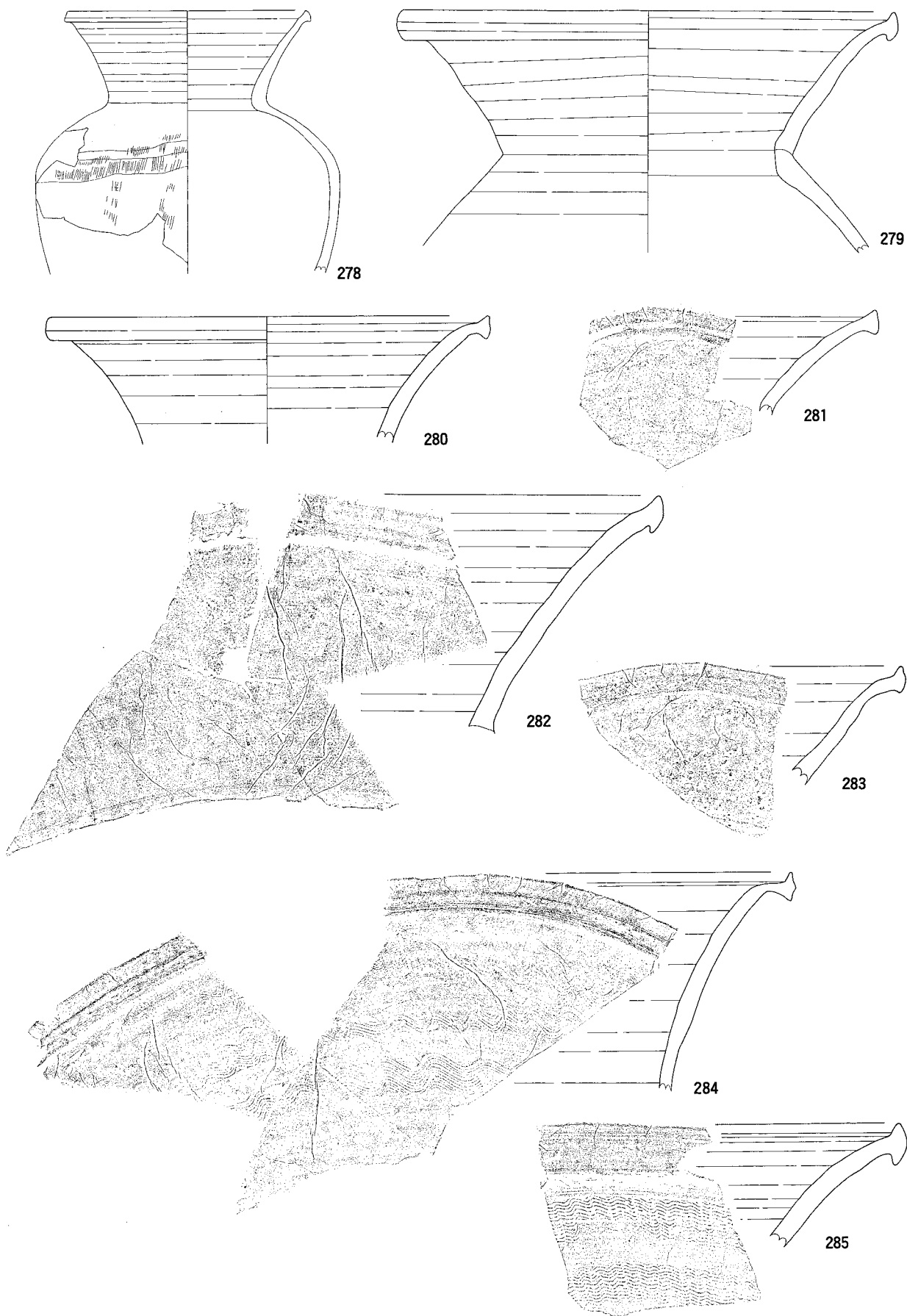


第219図 2号水路出土遺物 (19) (1/3) 但し、276、277は (1/6)

第145表 2号水路出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 ()は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
305		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器外面に斜め方向の平行叩き。器内面には当て具痕とナデ整形。湖西窯跡産の可能性。
306	52-306	短頸壺	22.6	14.7	-	22.5	還元焰焼成	器内外面にナデ整形。胴部下端外面に篋削り。口縁部はロクロ水挽き整形。残存率80%。
307	52-307	浅鉢	(31.7)	-	-	-	還元焰焼成	器内外面にロクロ水挽き整形。短い口縁部が強く外反する。
308		蓋	(15.9)	-	-	-	還元焰焼成	器内外面にロクロ水挽き整形後、天井部外面に回転篋削り。胎土は緻密である。前内出窯跡系。
309		壺	-	-	-	-	還元焰焼成	器内外面にロクロ水挽き整形。
310	52-310	壺	(15.5)	12.6	-	22.0	半還元焰焼成	口縁部内外面、器内面にロクロ水挽き整形。胴部器外面に平行叩き。胴部下端に篋削り。残存率90%。
311		壺	10.0	-	-	-	還元焰焼成	器内外面にロクロ水挽き整形。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。
312		壺	(15.1)	-	-	-	還元焰焼成	長頸壺の頸部。器内外面にロクロ水挽き整形。
313	52-313	高台付壺	-	10.4	-	-	還元焰焼成	底部に高台を貼り付け。器外面に篋整形。器内面にロクロ水挽き整形。器外面に自然釉。胎土は非常に緻密。湖西窯跡産と思われる。
314	52-314	壺	-	-	-	-	還元焰焼成	器外面に篋整形。肩部に自然釉。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。
315	52-315	高台付壺	-	(10.0)	-	-	還元焰焼成	器内外面にロクロ水挽き整形。器外面に自然釉。胎土は非常に緻密である。
316	52-316	高台付壺	-	(8.4)	-	-	灰釉陶器	器内外面にロクロ水挽き整形。胴部外面下半に篋削り。胎土は非常に緻密である。湖西窯跡産と思われる。
317	52-317	高台付壺	-	10.4	-	-	還元焰焼成	器内面にロクロ水挽き整形。器外面に篋整形、下半に篋削り。
318		壺	-	(11.8)	-	-	還元焰焼成	器内面にロクロ水挽き整形。器外面に篋整形。器外面に自然釉。
319	52-319	壺	-	-	-	-	還元焰焼成	器外面に斜め方向の平行叩き。器内面には当て具痕が残る。その後器内外面にナデ整形。
320		壺	-	-	-	-	還元焰焼成	器内外面にロクロ水挽き整形。肩部に自然釉が付着。
321		壺	-	-	-	-	還元焰焼成	器内外面にロクロ水挽き整形。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。
322		壺	-	-	-	-	還元焰焼成	器内外面にロクロ水挽き整形。胴部下半外面に篋整形。胎土は非常に緻密。湖西窯跡産と思われる。

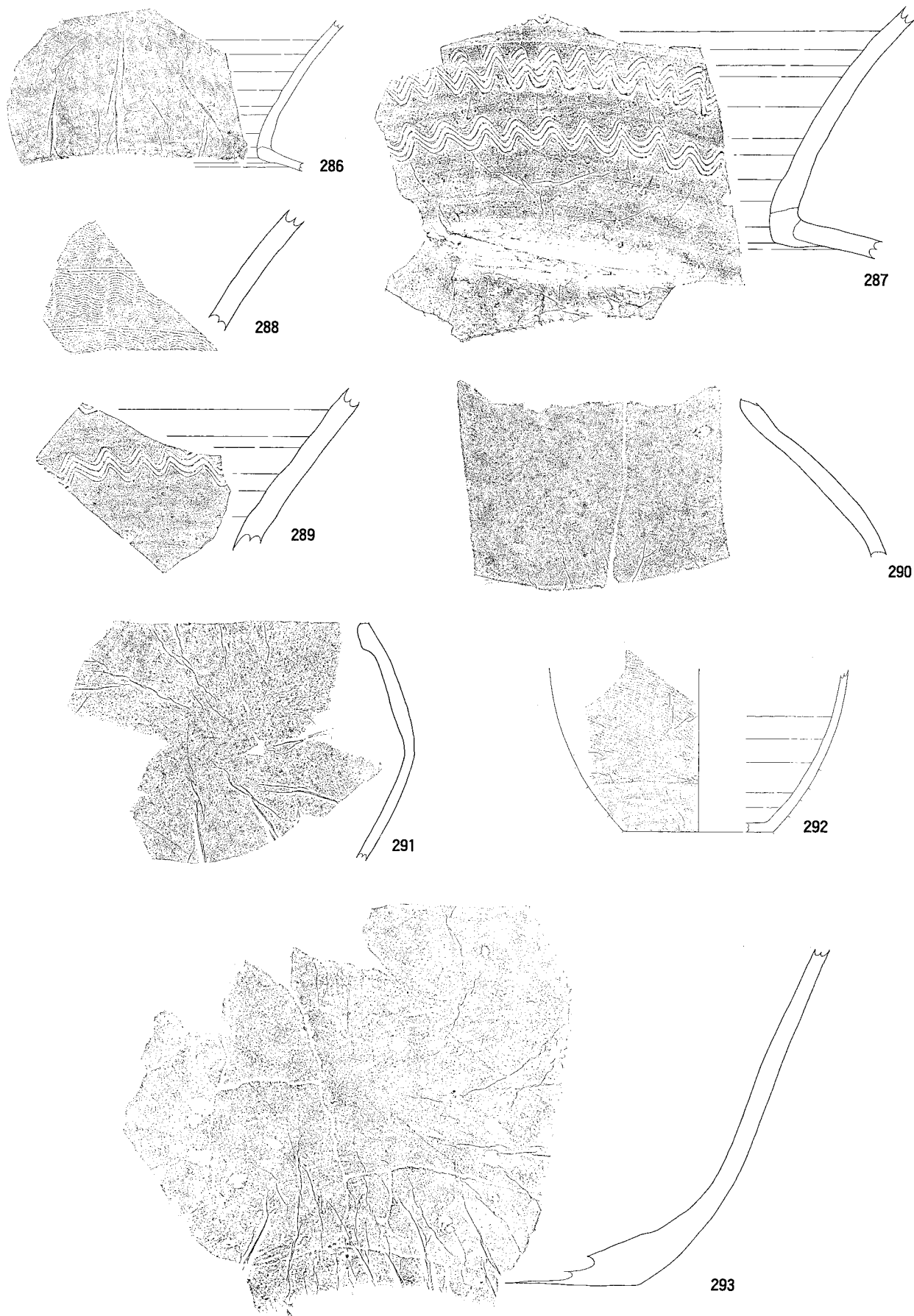


第220図 2号水路出土遺物 (20) (1/3) 但し、278は (1/6)

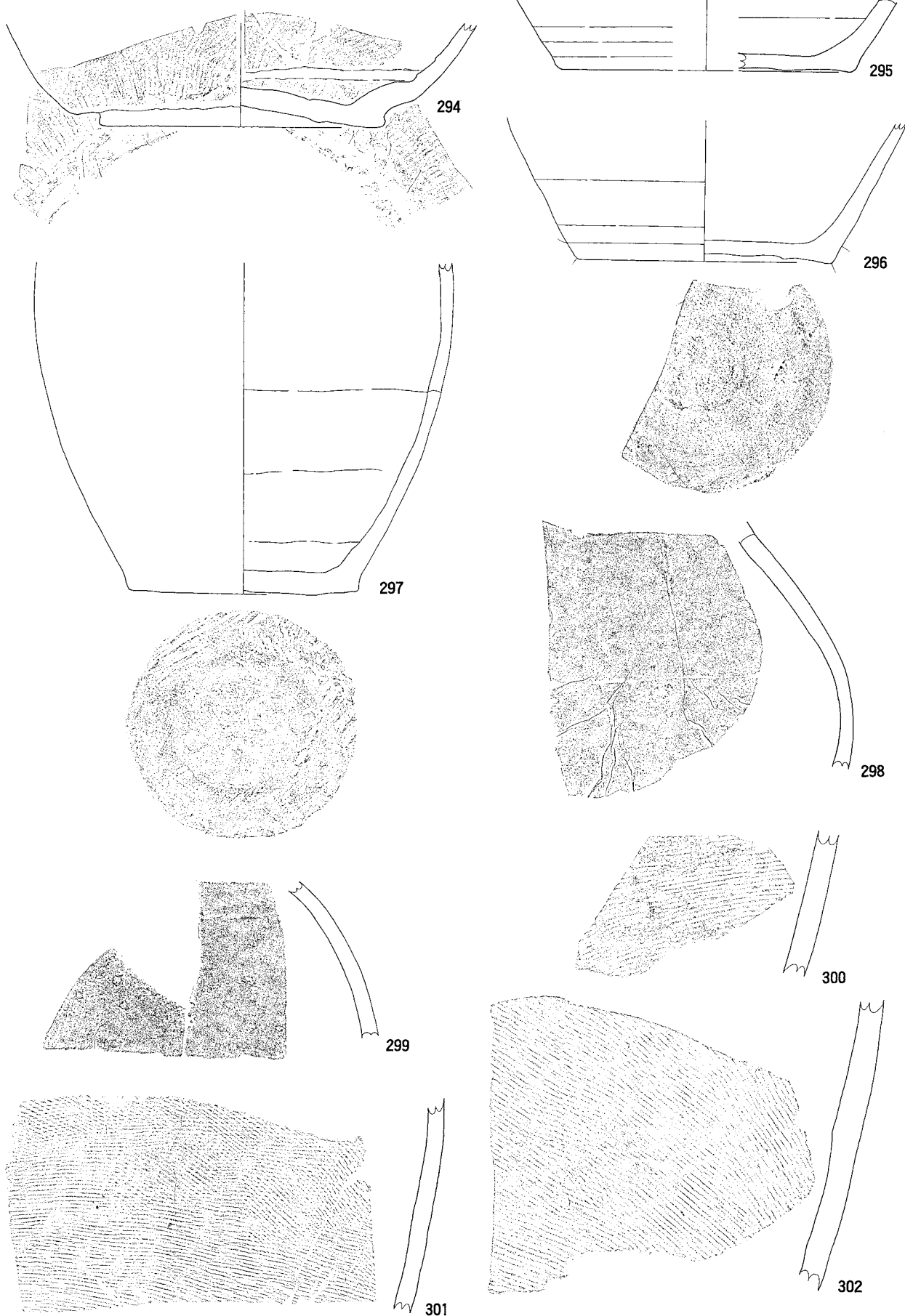
第146表 2号水路出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 ()は既存値

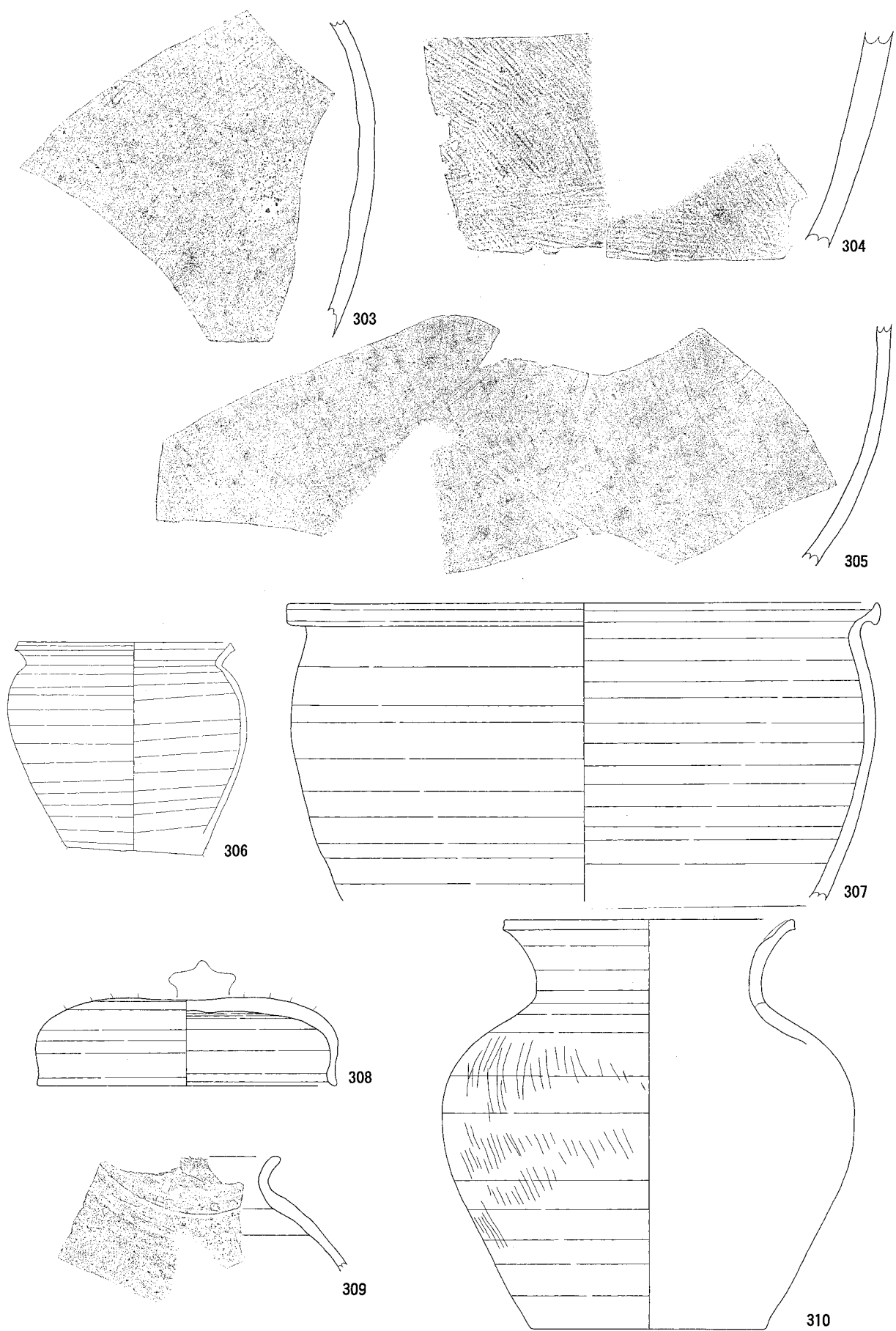
挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
323	52-323	壺	-	5.9	-	-	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器外面に篋整形。胴部下端に篋削り。
324	53-324	壺	-	3.8	-	-	還元焰焼成	底部は回転糸切り後、高台を貼り付け。器外面に篋整形。
325		壺	-	(7.3)	-	-	還元焰焼成	器内外面にロクロ水挽き整形。胴部下端に篋削り。胎土は非常に緻密である。前内出窯跡系。
326		壺	-	5.8	-	-	還元焰焼成	底部は回転糸切り後、高台を貼り付け。器内外面にロクロ水挽き整形。底部外面に「×」の篋記号。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。
327		坏	(14.4)	-	-	-	土師器	器内面、口縁部外面に横ナデ。口縁部は垂直気味に立つ。底部は丸底。残存率30%。
328		坏	-	-	-	-	土師器	器内面、口縁部外面は、磨き調整。器内外面に赤彩。
329		甕	-	-	-	-	土師器	口縁部はコの字を呈する。口縁部の内外面に横ナデ。胴部外面に横、斜め方向の篋削り。
330		台付甕	-	-	-	-	土師器	口縁部はコの字を呈する。口縁部の内外面に横ナデ。胴部外面に横方向の篋削り。
331		甕	-	3.6	-	-	土師器	胴部外面に縦方向の篋削り。
332		台付甕	-	-	-	-	土師器	胴部外面に縦方向の篋削り。脚部は横ナデ。
333		台付甕	-	7.8	-	-	土師器	胴部外面に縦方向の篋削り。脚部は横ナデ。
334		台付甕	-	(9.0)	-	-	土師器	胴部外面に縦方向の篋削り。脚部は横ナデ。
335		台付甕	-	10.0	-	-	土師器	脚部は横ナデ。
336	53-336	軒平瓦	-	-	-	-	還元焰焼成	瓦当面の内区に蓮弁をあしらった均整文様。凹面には布目。凸面は縄叩き。側面に篋削り。頸部側面に「王」もしくは「玉」の篋書き文字。
337	53-337	平瓦	-	-	-	-	還元焰焼成	凹面には布目。凸面には縄叩き。側面及び端面、凹面端部に篋削り。
338		平瓦	-	-	-	-	還元焰焼成	凹面には布目。凸面には縄叩き。端面、凹面端部に篋削り。
339		平瓦	-	-	-	-	還元焰焼成	凹面には布目。凸面には縄叩き。側面及び端面、凹面側部、端部に篋削り。
340		平瓦	-	-	-	-	酸化焰焼成	凹面には布目。凸面には縄叩き。側面、端面は篋削り。
341		平瓦	-	-	-	-	還元焰焼成	凹面には布目。凸面には縄叩き。側面及び端面、凹面側部、端部に篋削り。
342		平瓦	-	-	-	-	還元焰焼成	凹面に布目。凸面には縄叩き。側面及び凹面端部に篋削り。



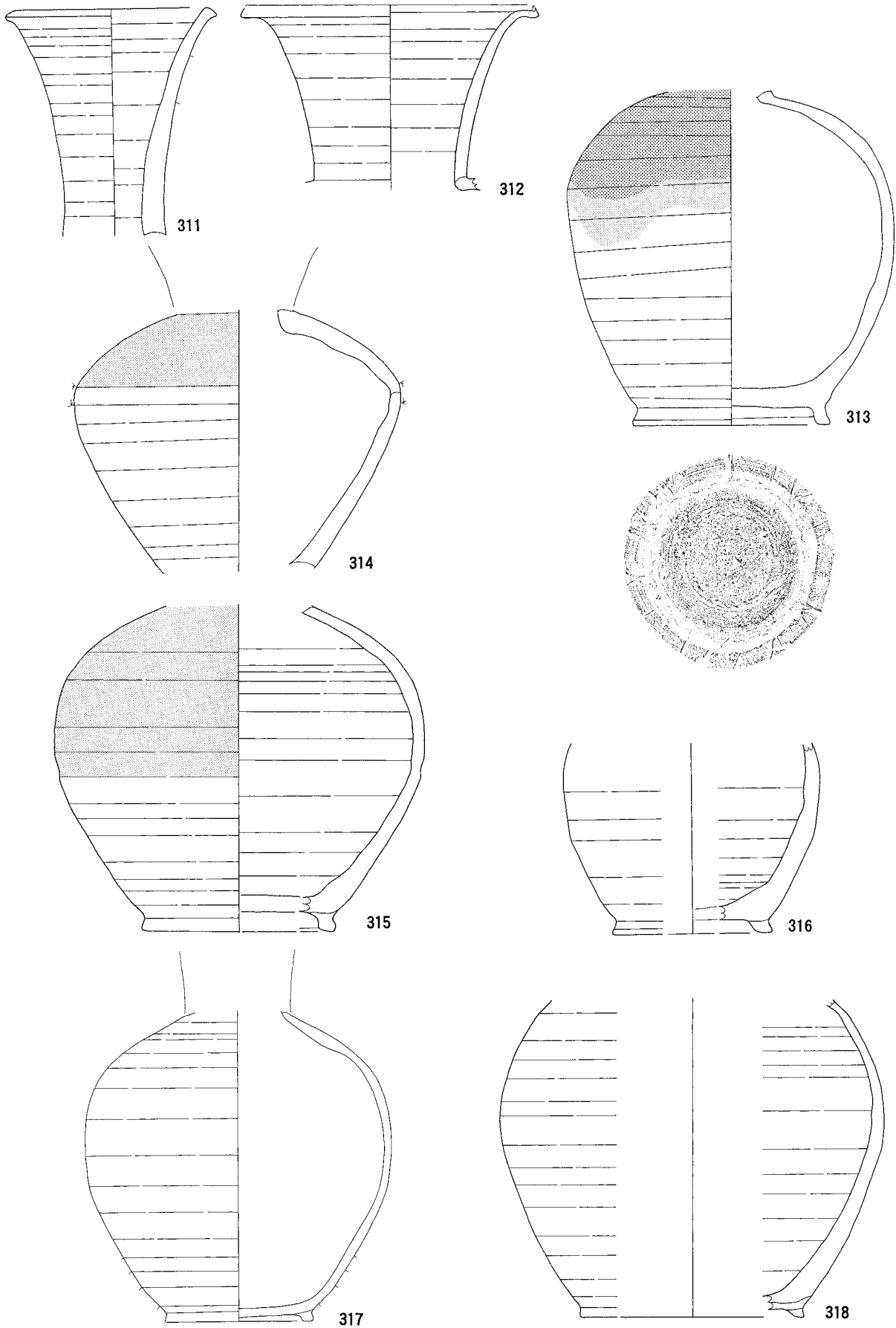
第221図 2号水路出土遺物 (21) (1/3) 但し、286、292は (1/6)



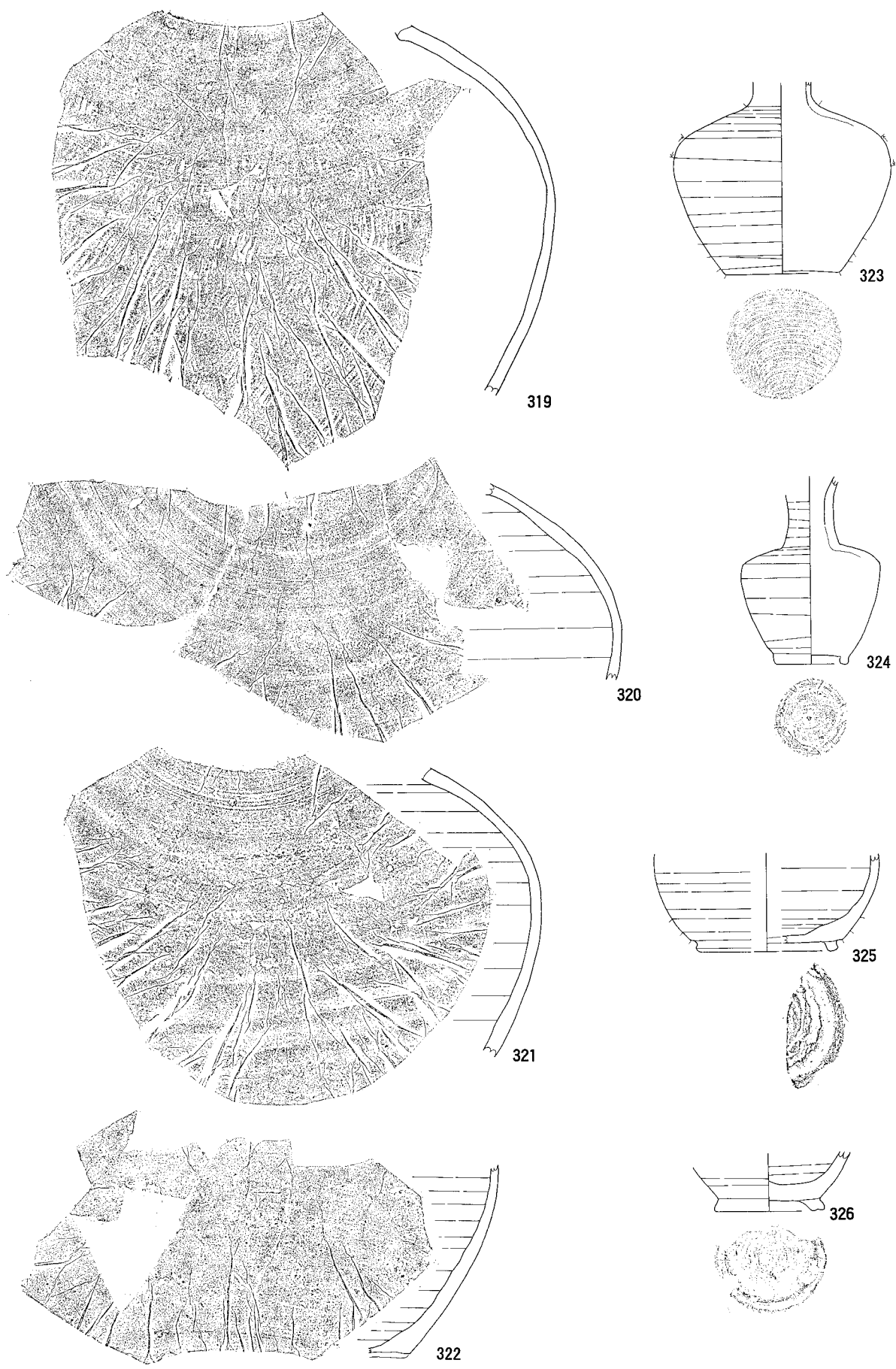
第222图 2号水路出土遺物 (22) (1/3)



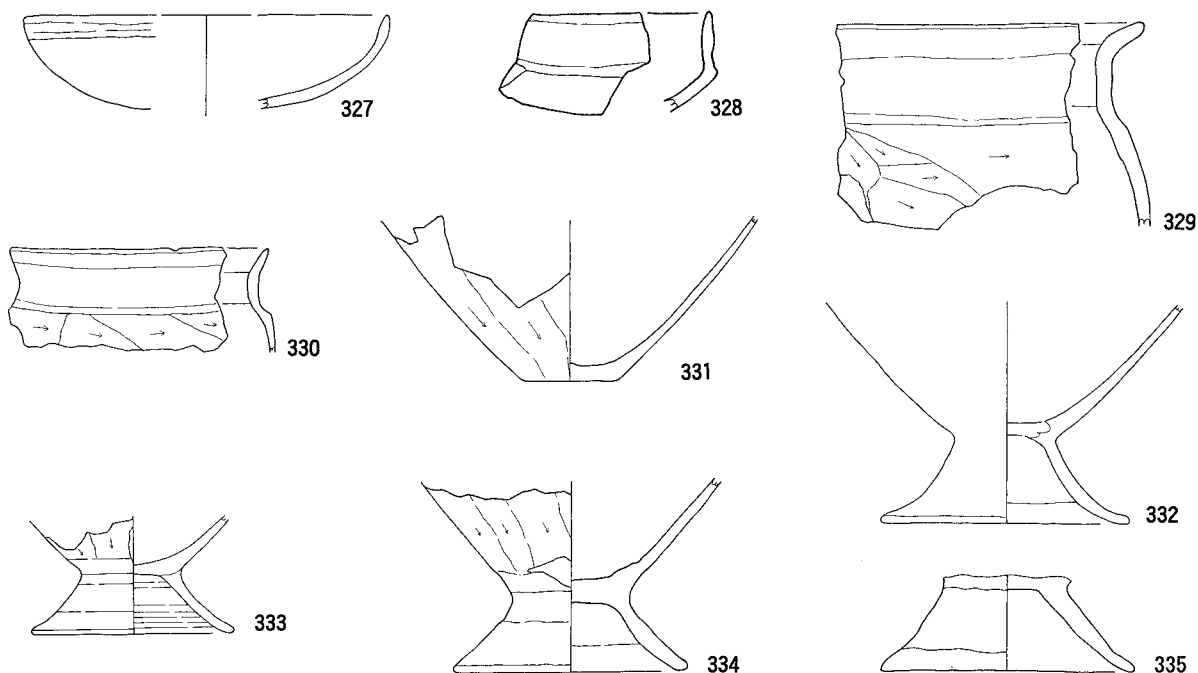
第223図 2号水路出土遺物 (23) (1/3) 但し、306、310は (1/6)



第224図 2号水路出土遺物 (24) (1/3) 但し、317は (1/4)



第225图 2号水路出土遗物 (25) (1/3)



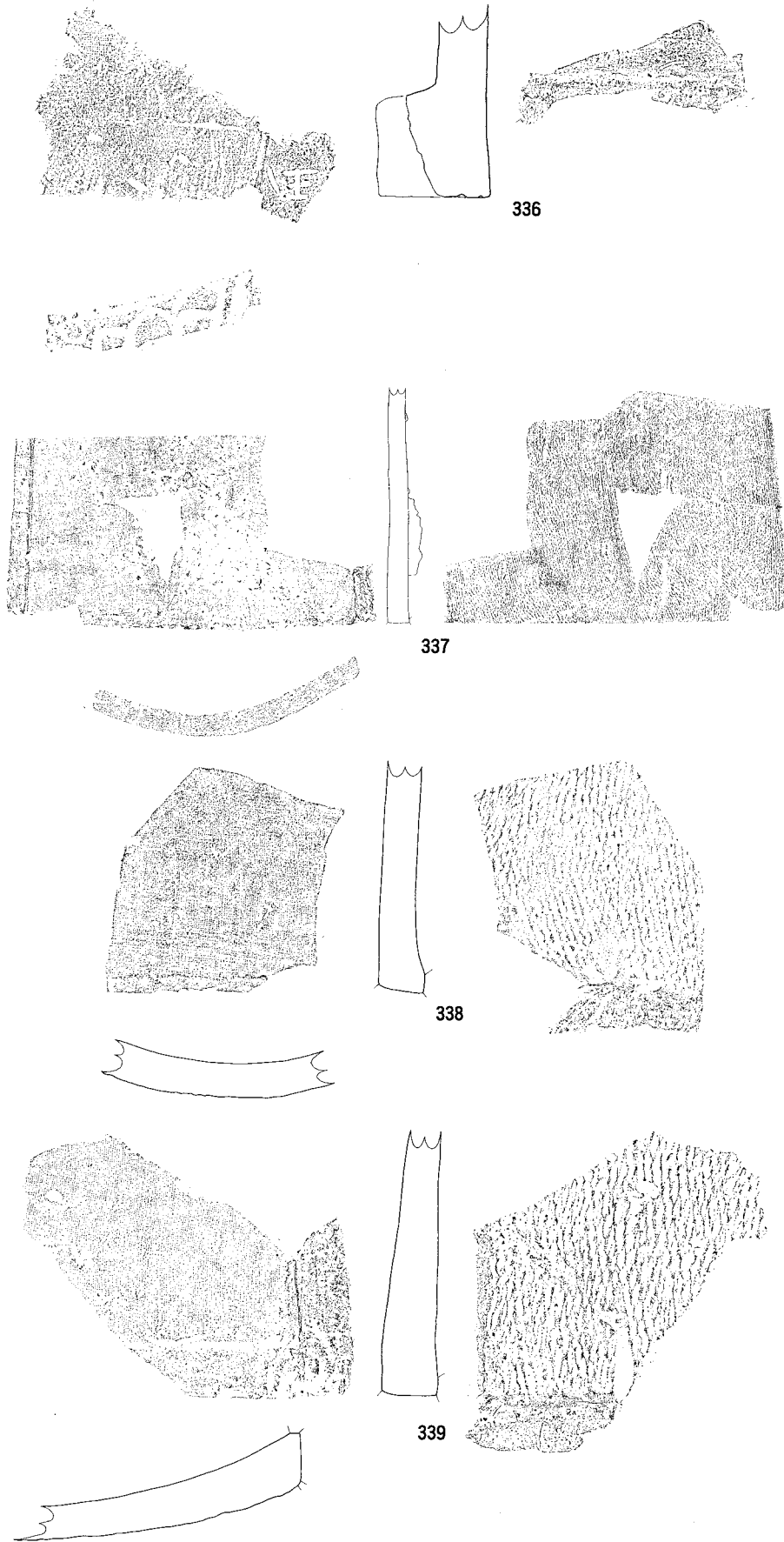
第226図 2号水路出土遺物 (26) (1/3)

第147表 2号水路址出土遺物観察表

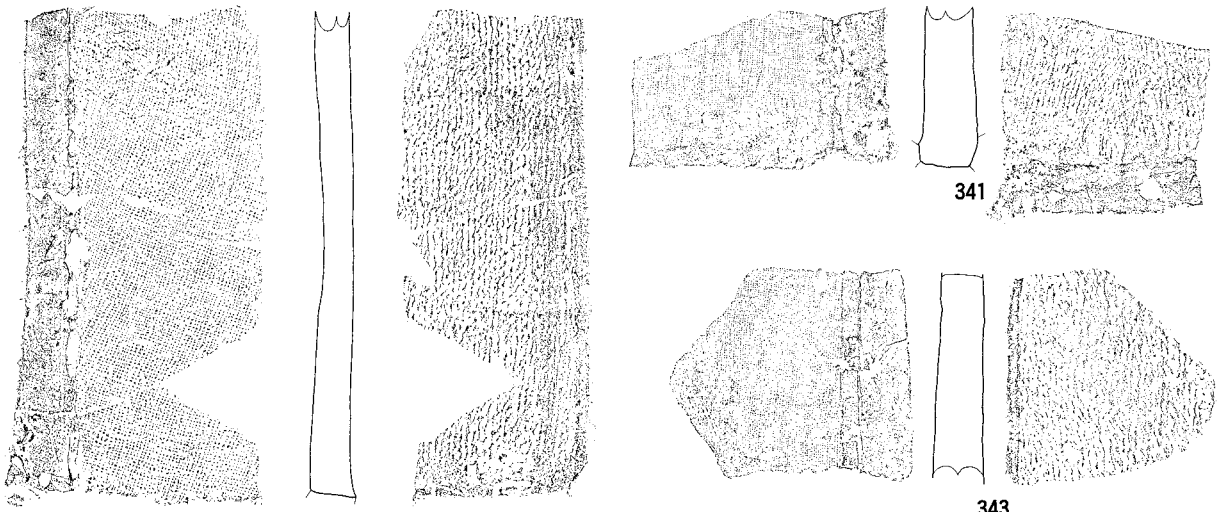
単位はcm ()は推定値 < >は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
343		平瓦	-	-	-	-	還元焰焼成	凹面に布目。凸面に縄叩き。側面及び凹凸面端部に篋削り。
344		平瓦	-	-	-	-	還元焰焼成	凹面に布目。凸面に縄叩き。側面及び凹面端部に篋削り。
345		平瓦	-	-	-	-	還元焰焼成	凹面には布目。凸面には縄叩き。
346		丸瓦	-	-	-	-	還元焰焼成	凹面には布目。凸面は縦方向の篋削り。端面及び凹凸面端部に篋削り。
347		丸瓦	-	-	-	-	還元焰焼成	凹面には布目。凸面は縄叩き後に篋削り整形。端面、側面及び凸面側部に篋削り。
348	53-348	丸瓦	-	-	-	-	還元焰焼成	凹面には布目。凸面は縄叩き後に篋整形。端面、側面及び凹凸面端部に篋削り。
349		丸瓦	-	-	-	-	還元焰焼成	凹面には布目。凸面は篋整形。端面、側面に篋削り。
350		丸瓦	-	-	-	-	還元焰焼成	凹面には布目。凸面は篋整形。

挿図番号	図版番号	種類	長さ	幅	厚み	観察・特徴
351	53-351	刀子	-	1.9	0.4~0.6	切先部(7.2cm)と茎尻(5.4cm)が残る。



第227図 2号水路出土遺物 (27) (1/3) 但し、337は (1/6)



340

341

343



342

344

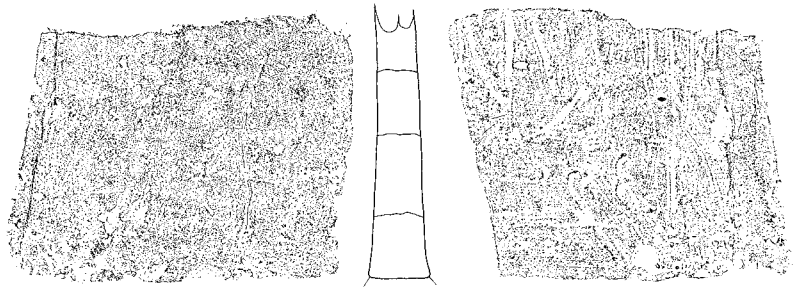


345

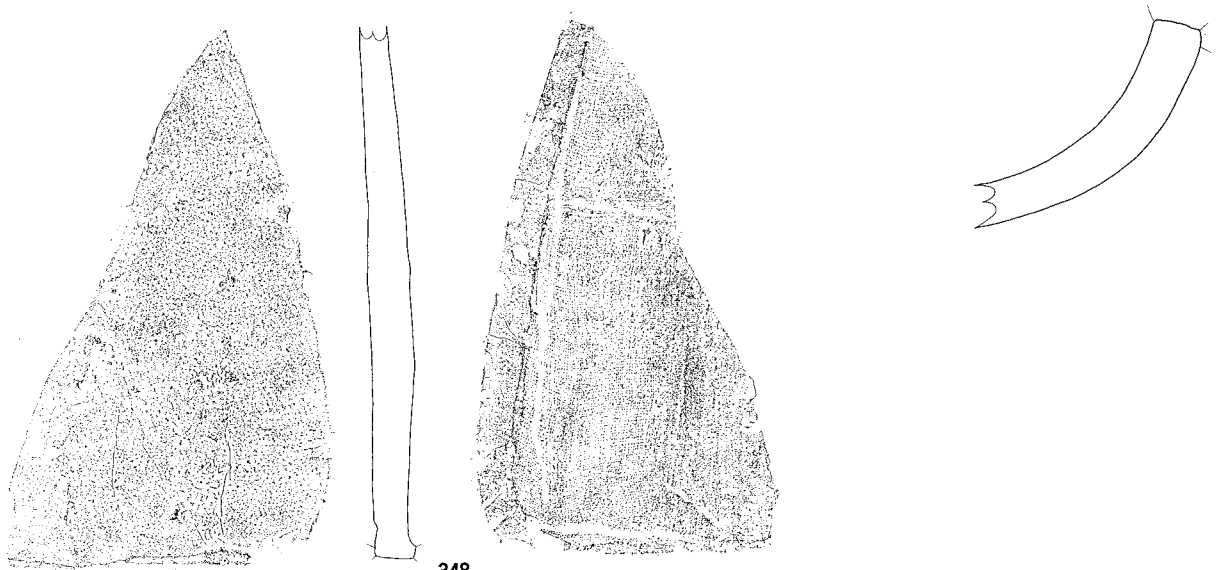
346



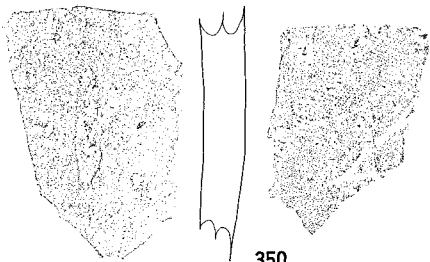
第228图 2号水路出土遺物 (28) (1/3)



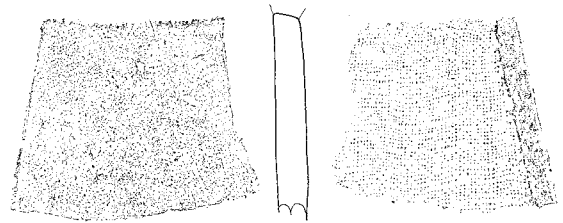
347



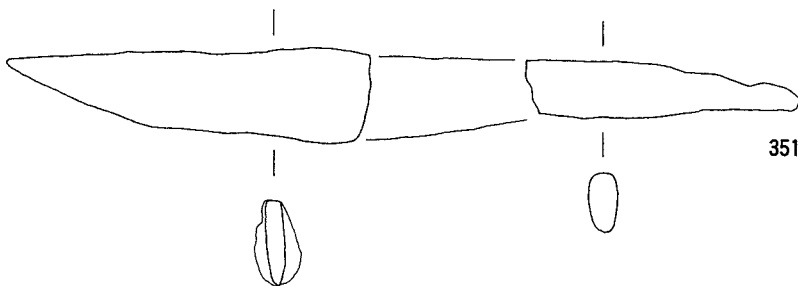
348



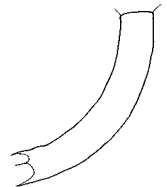
350



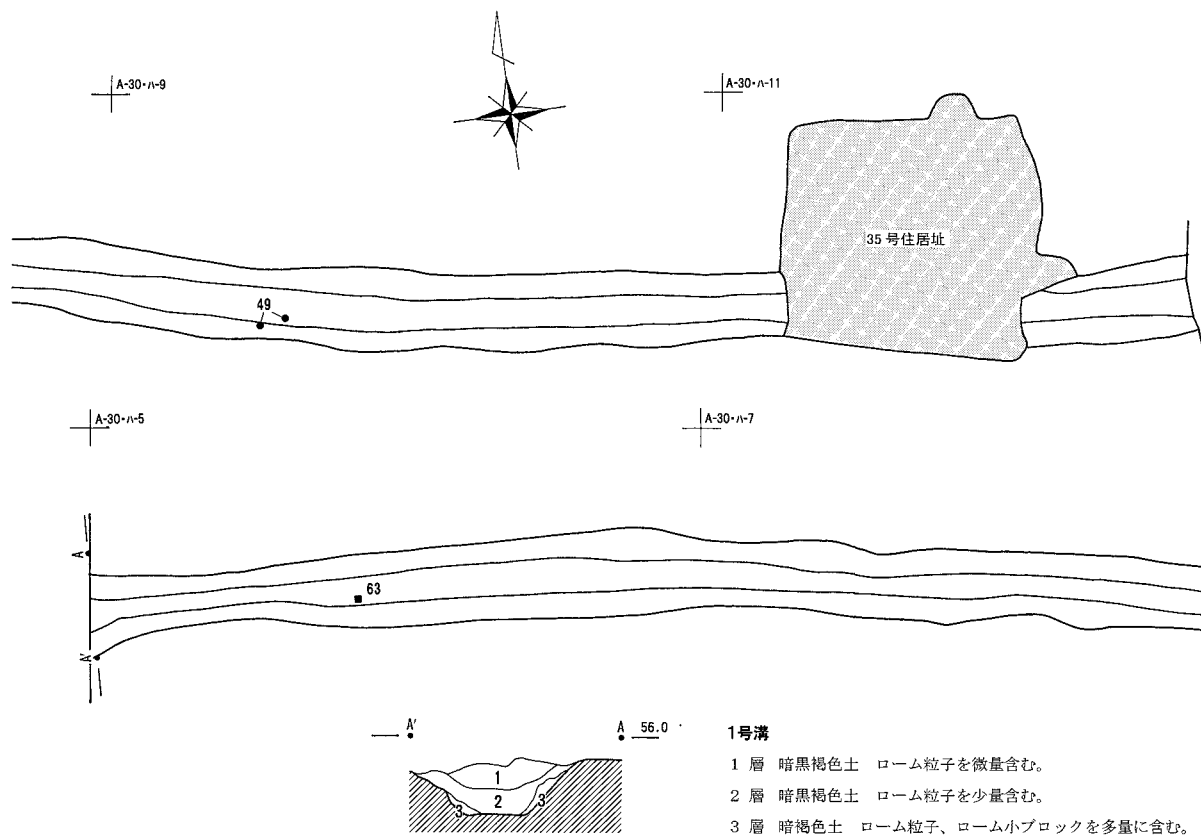
349



351



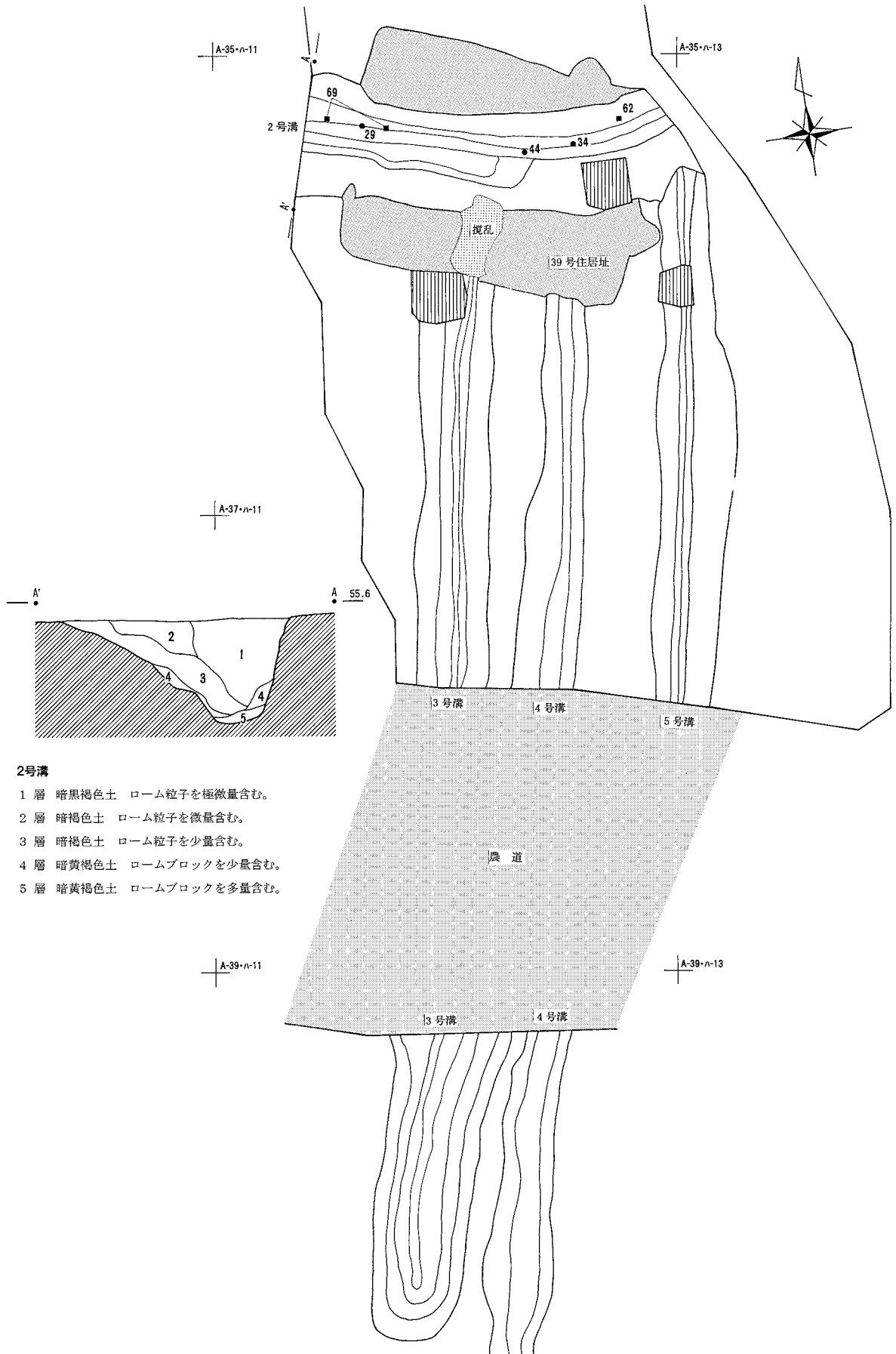
第229図 2号水路出土遺物 (29) (1/3) 但し、351は (2/3)



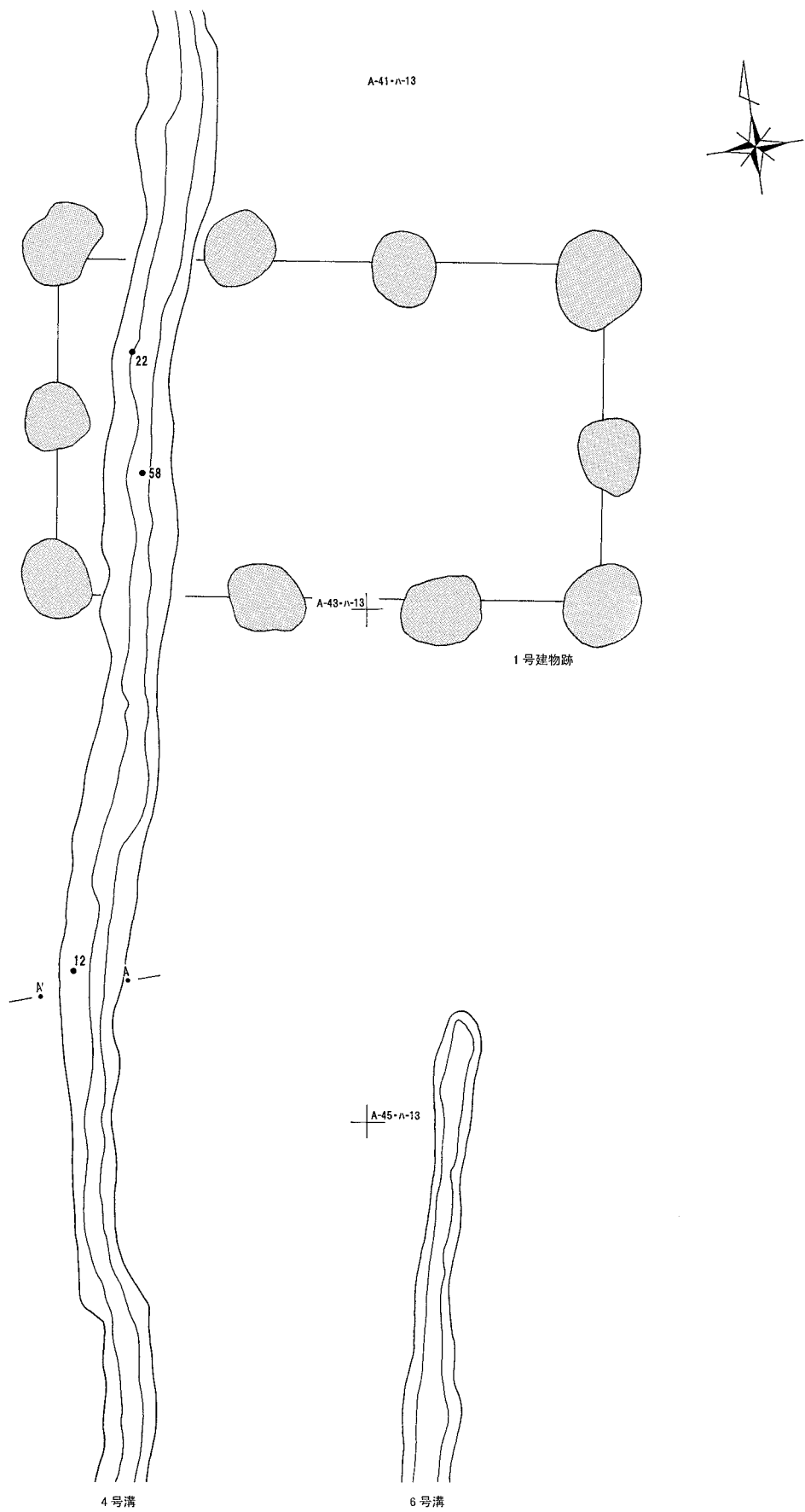
第230図 1号溝 (1/100) 土層図 (1/50)

(6) 溝

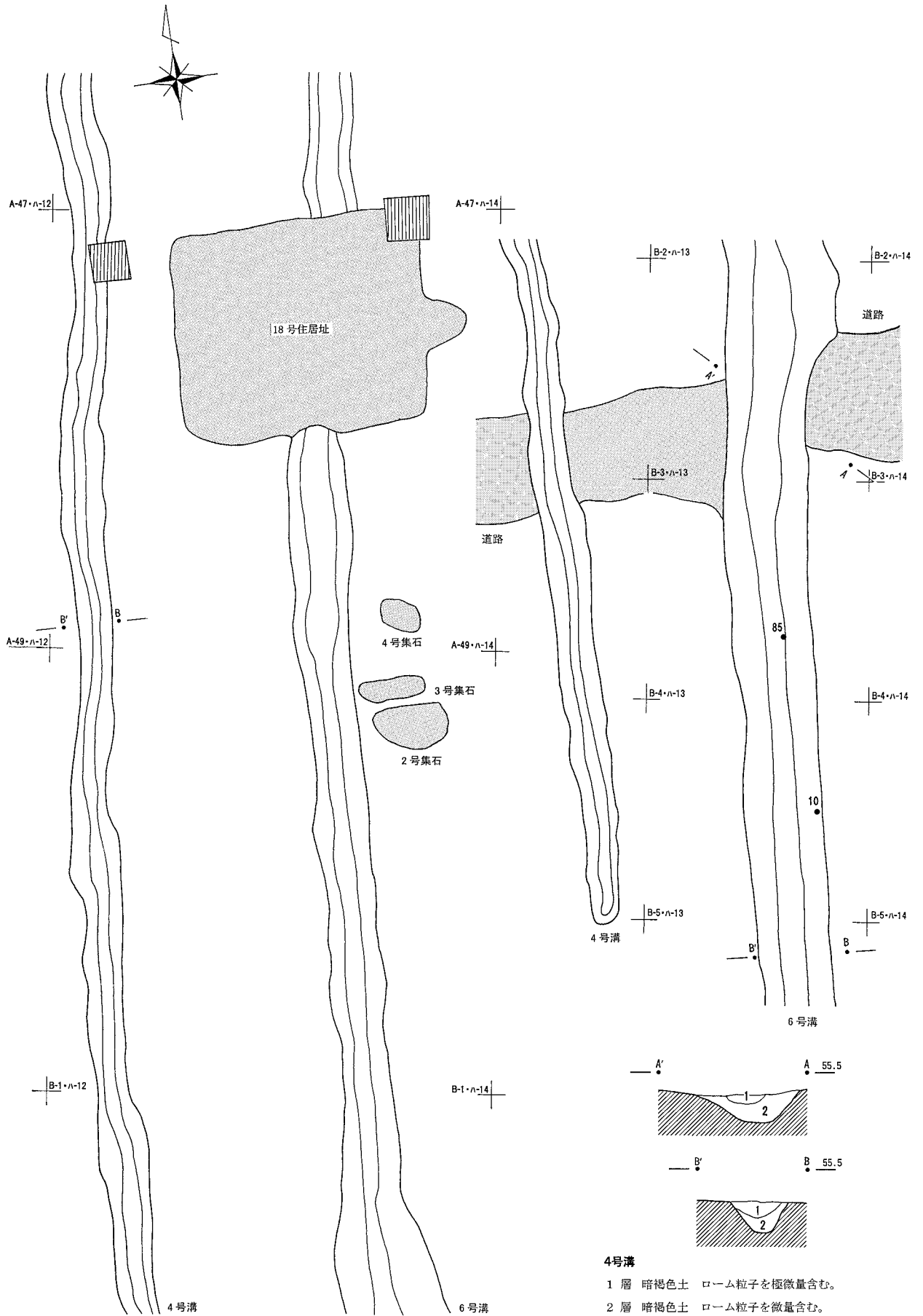
遺構名	長さ(m)	幅(m)	深さ(cm)	備考
1号溝	30	0.7~1.1	14~29	
2号溝	6.34	1.9~2.0	87~98	
3号溝	18.6	1.1~1.7	30	
4号溝	75.8	0.52~1.24	20~31	
5号溝	9.3	0.86~1.38	44~48	
6号溝	76.5	0.24~2.5	6~45	
7号溝	8.9	0.8~1.1	31~41	東西1.9m、南北7m
8号溝	9.5	0.96~1.12	45	東西5.5m、南北4m
9号溝	98.6	0.4~1.55	9~35	東西44.6m、南北54m
10号溝	13.32	0.5~0.8	8~18.6	
11号溝	50.2	1.6~2.8	8.5~37.6	東西36.7m、南北13.5m
12号溝	28.9	0.58~1.06	4~46.6	
13号溝	34.94	0.5~0.92	7~27.6	東西8.5m、南北26.44m
14号溝	23.2	1.22~6.7	6~15.5	
15号溝	8.06	0.74~1.1	9~15.6	
16号溝	14.8	0.3~0.8	7~20	



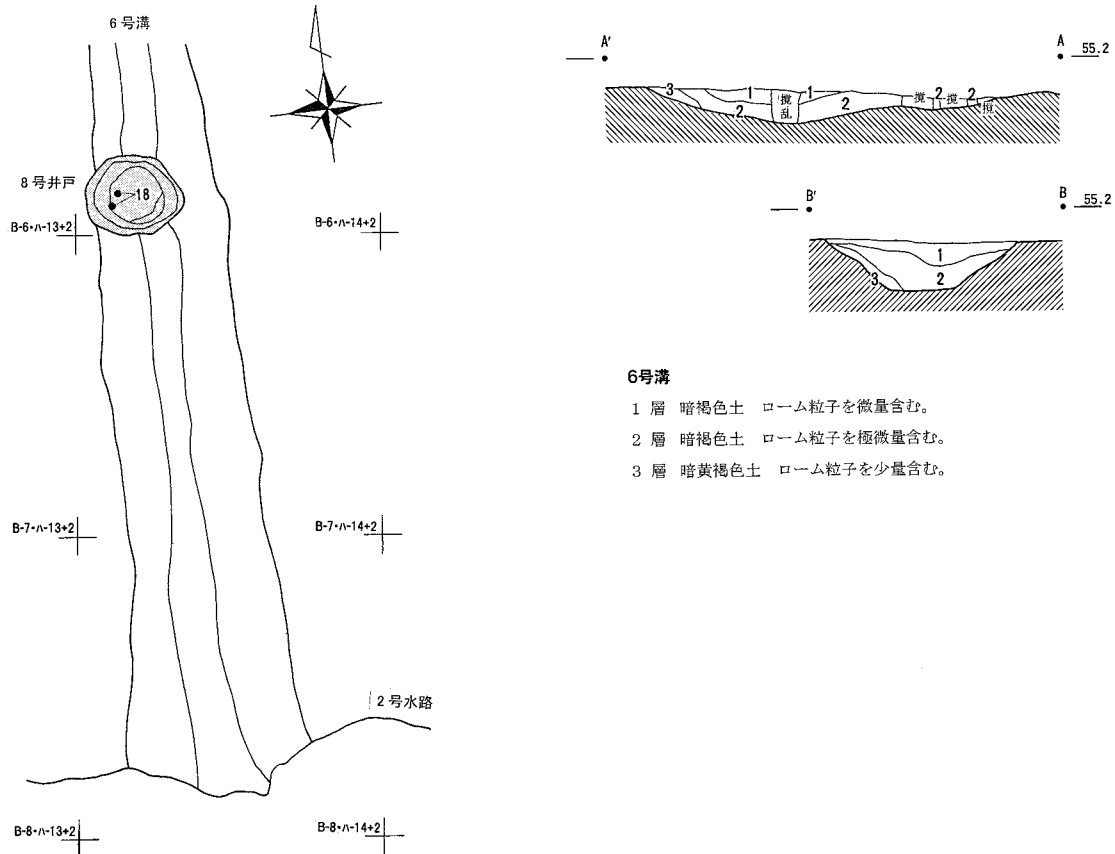
第231図 2~5号溝 (1/100) 土層図 (1/50)



第232图 4、6号沟 (1) (1/100)

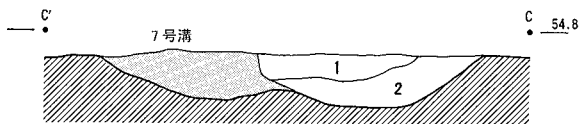
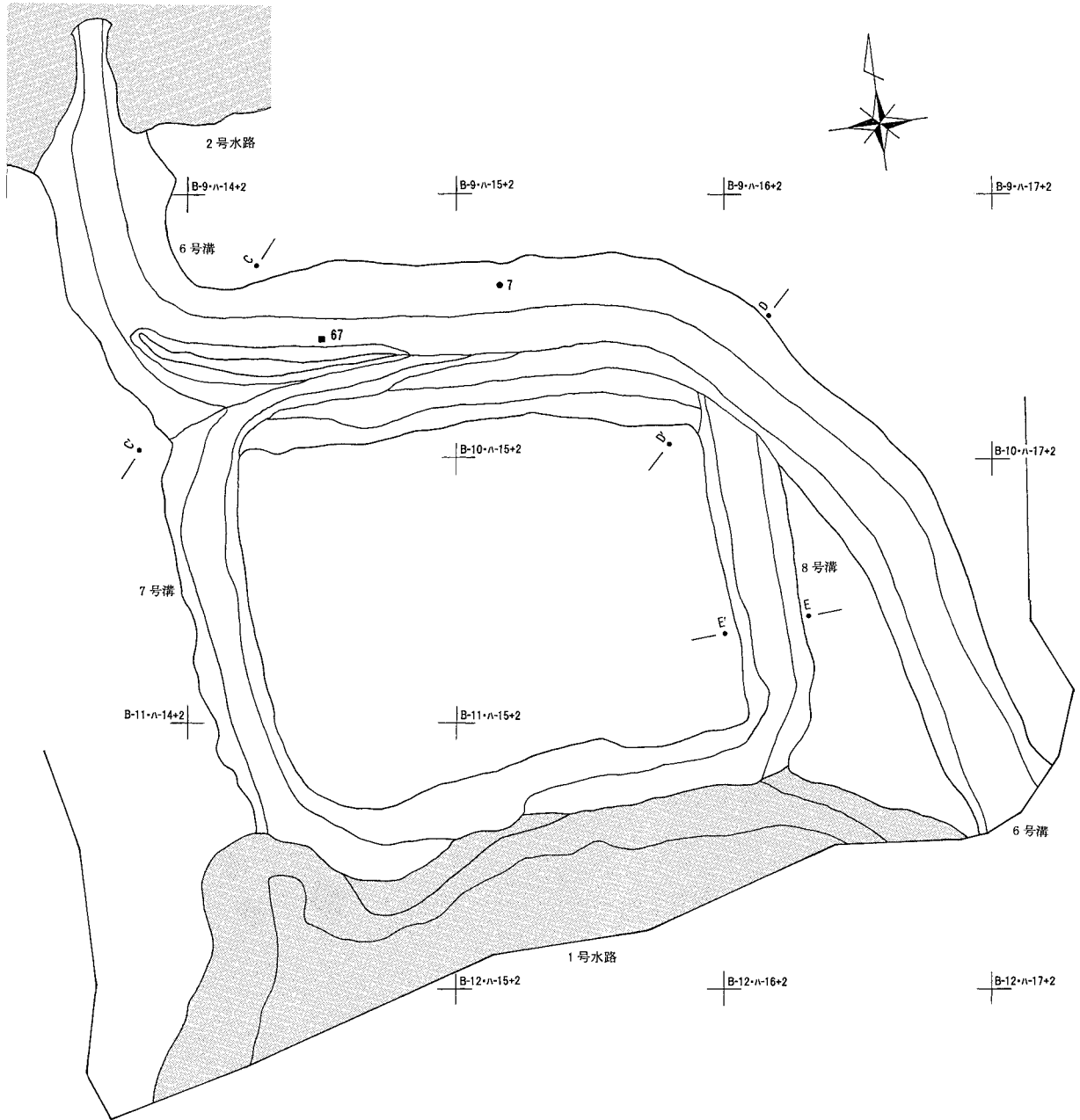


第233図 4、6号溝 (2) (1/100) 土層図 (1/50)



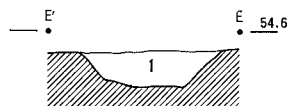
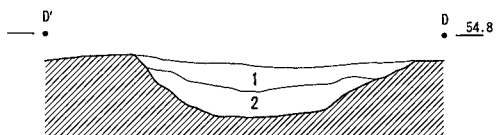
第234図 6号溝 (1/100) 土層図 (1/50)

遺構名	長さ(m)	幅(m)	深さ(cm)	備考
17号溝	121	0.66~1.5	24~45.6	
18号溝	6.7	0.78~1.06	13~14	
19号溝	50.5	0.5~1.0	10~19	新旧関係19号溝→21号溝→20号溝
20号溝	36.98	2.1~2.5	28~52	新旧関係19号溝→21号溝→20号溝
21号溝	48.6	0.5~1.18	10~59	新旧関係19号溝→21号溝→20号溝
22号溝	4.9	0.4~0.5	10~15	
23号溝	23.5	0.4~0.84	9~25	
24号溝	24	0.66~1.48	9~19	
25号溝	17.1	0.7~1.46	22~29	
26号溝	25.1	0.98~2.23	71.5~107.3	
27号溝	46.2	0.32~0.85	8.4~41	
28号溝	44.5	0.46~1.16	2~35	



6号溝

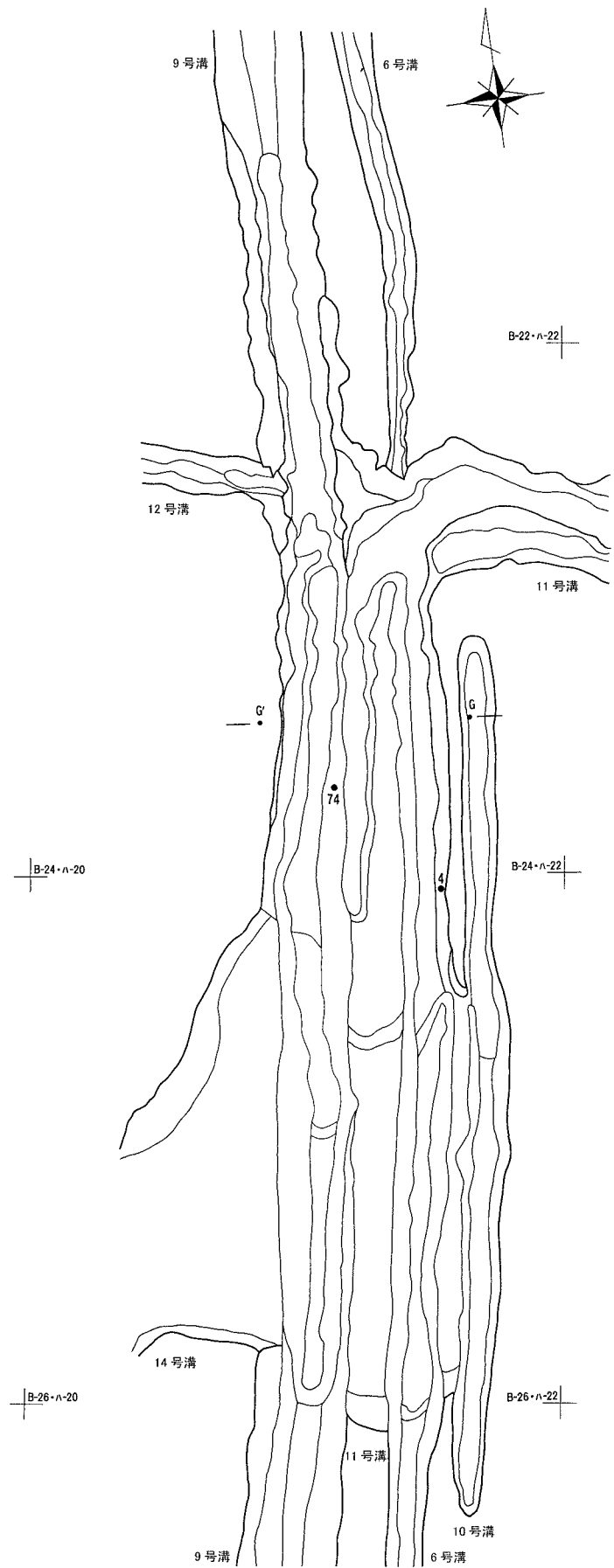
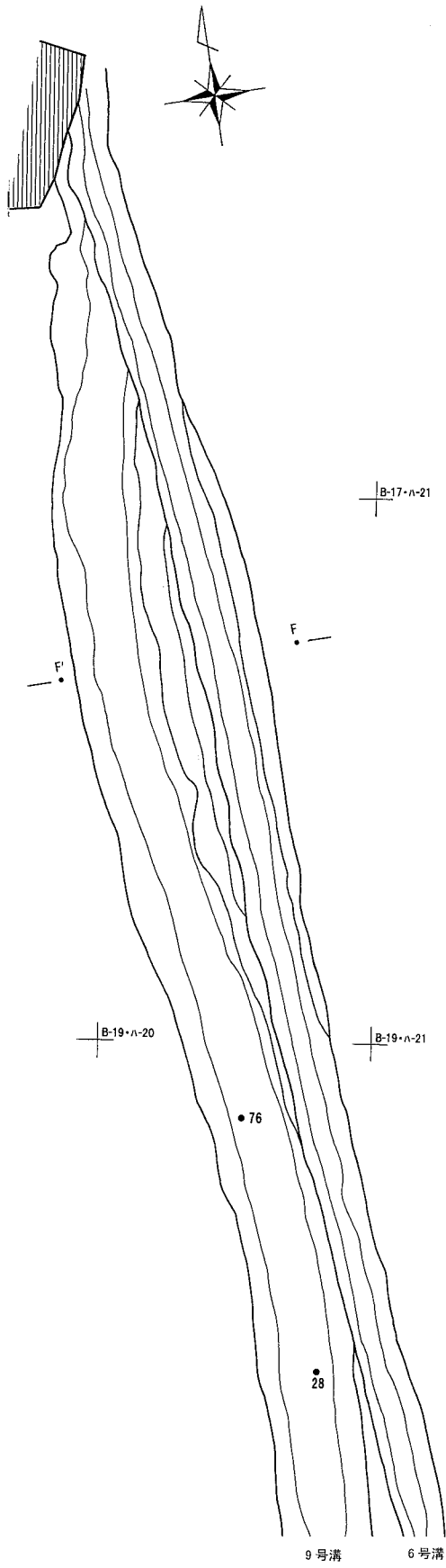
- 1層 暗褐色土 ローム粒子を微量含む。
- 2層 暗茶褐色土 ローム粒子を微量含む。



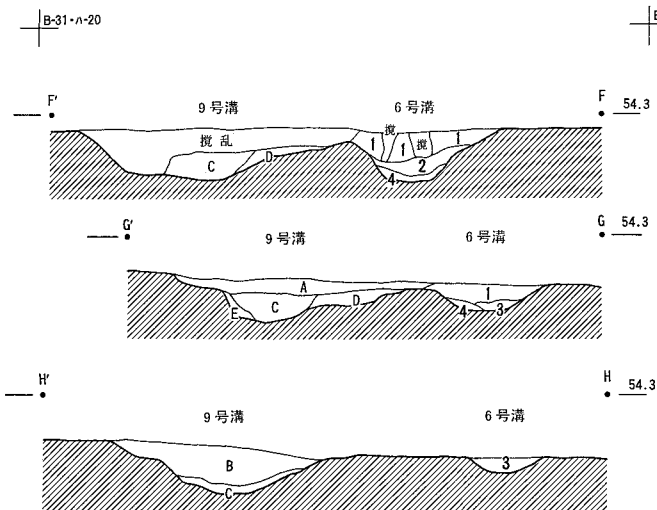
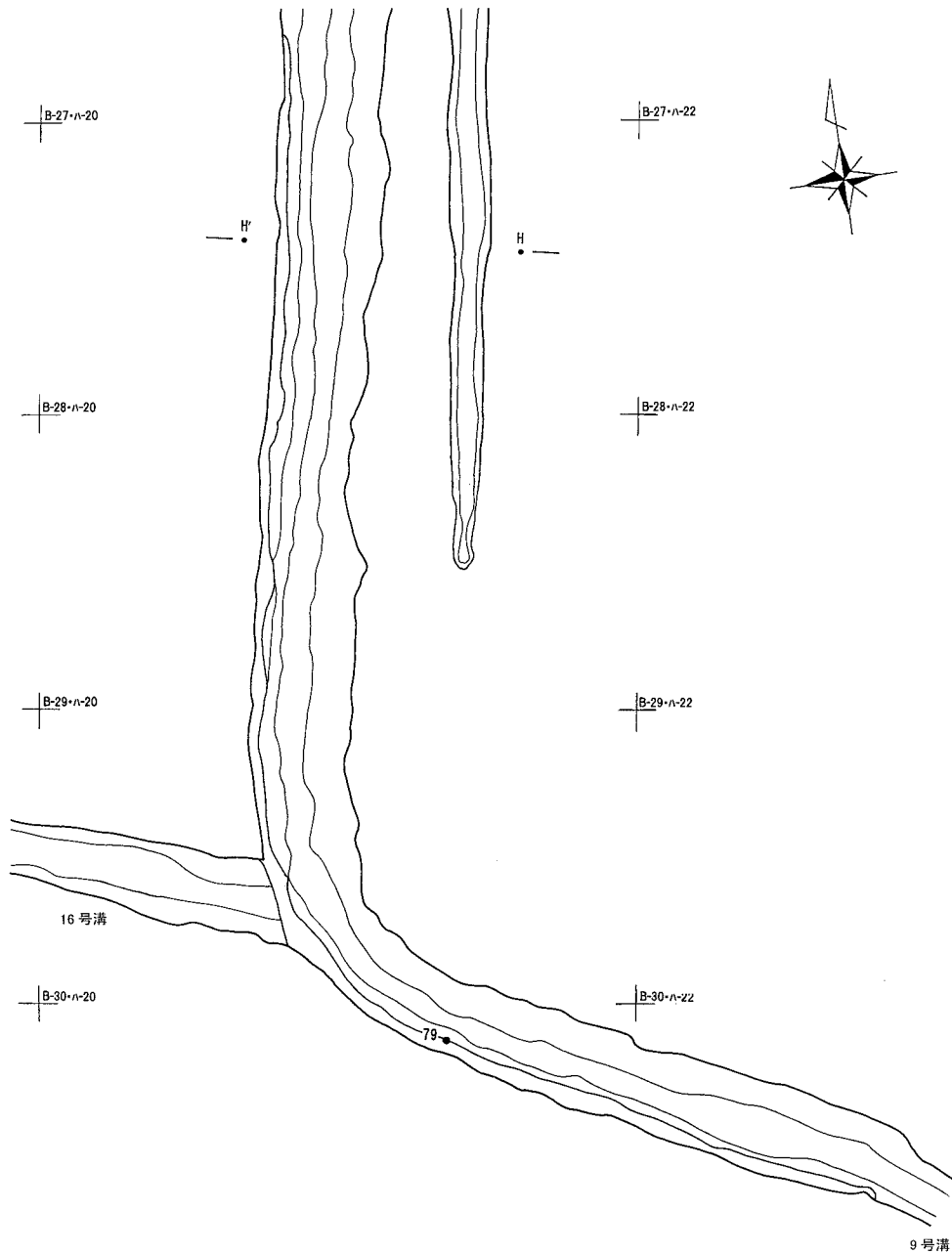
8号溝

- 1層 暗褐色土 ローム粒子を微量含む。

第235図 6~8号溝 (1/100) 土層図 (1/50)



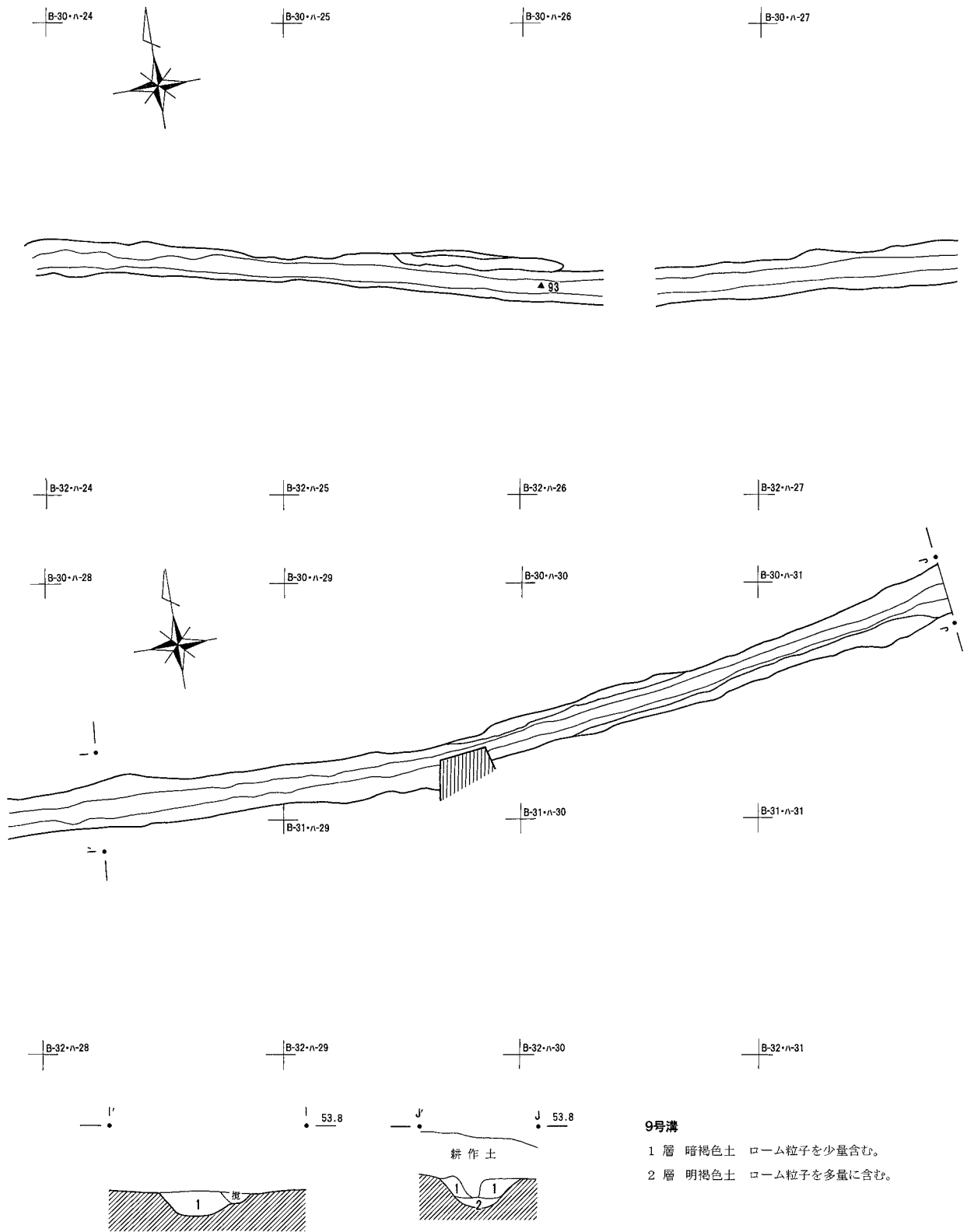
第236图 6、9~11号沟 (1/100)



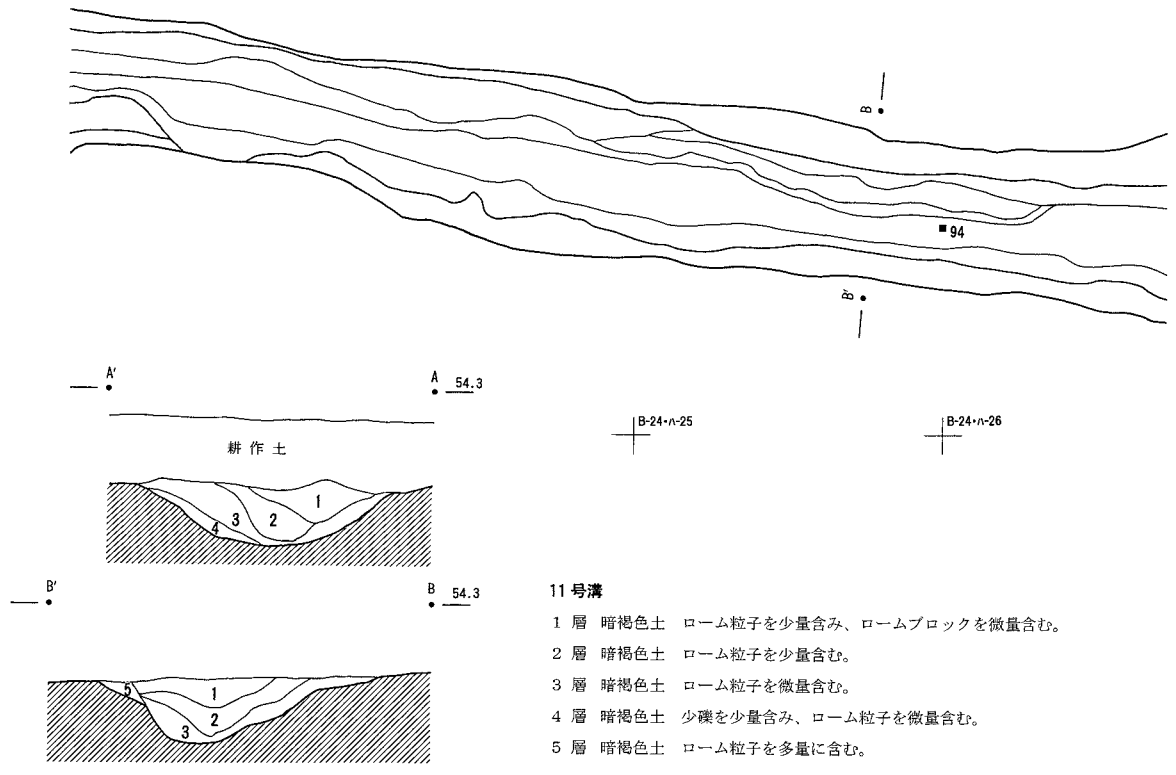
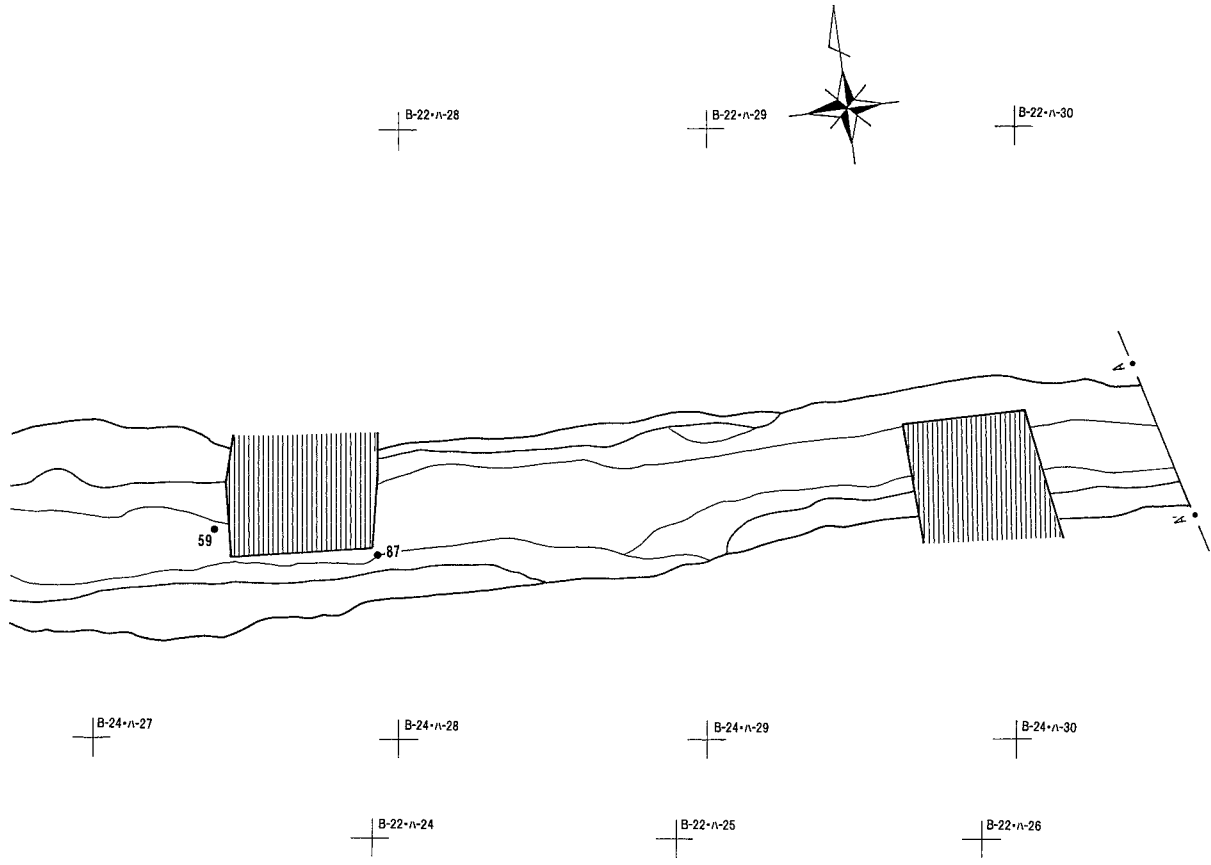
- 6号溝**
- 1層 暗褐色土 ローム粒子を少量含む。
 - 2層 暗褐色土 ローム粒子を微量含む。
 - 3層 明褐色土 ローム粒子を多量に含む。
 - 4層 暗黄褐色土 ロームを多量に含む。

- 9号溝**
- A層 暗褐色土 ロームブロックを少量含む。
 - B層 暗褐色土 ローム小ブロックを少量含む。
 - C層 暗褐色土 ローム粒子を少量含む。
 - D層 暗褐色土 ローム粒子を微量含む。
 - E層 暗褐色土 ロームブロックを含む。

第237図 6、9号溝 (1/100) 土層図 (1/50)

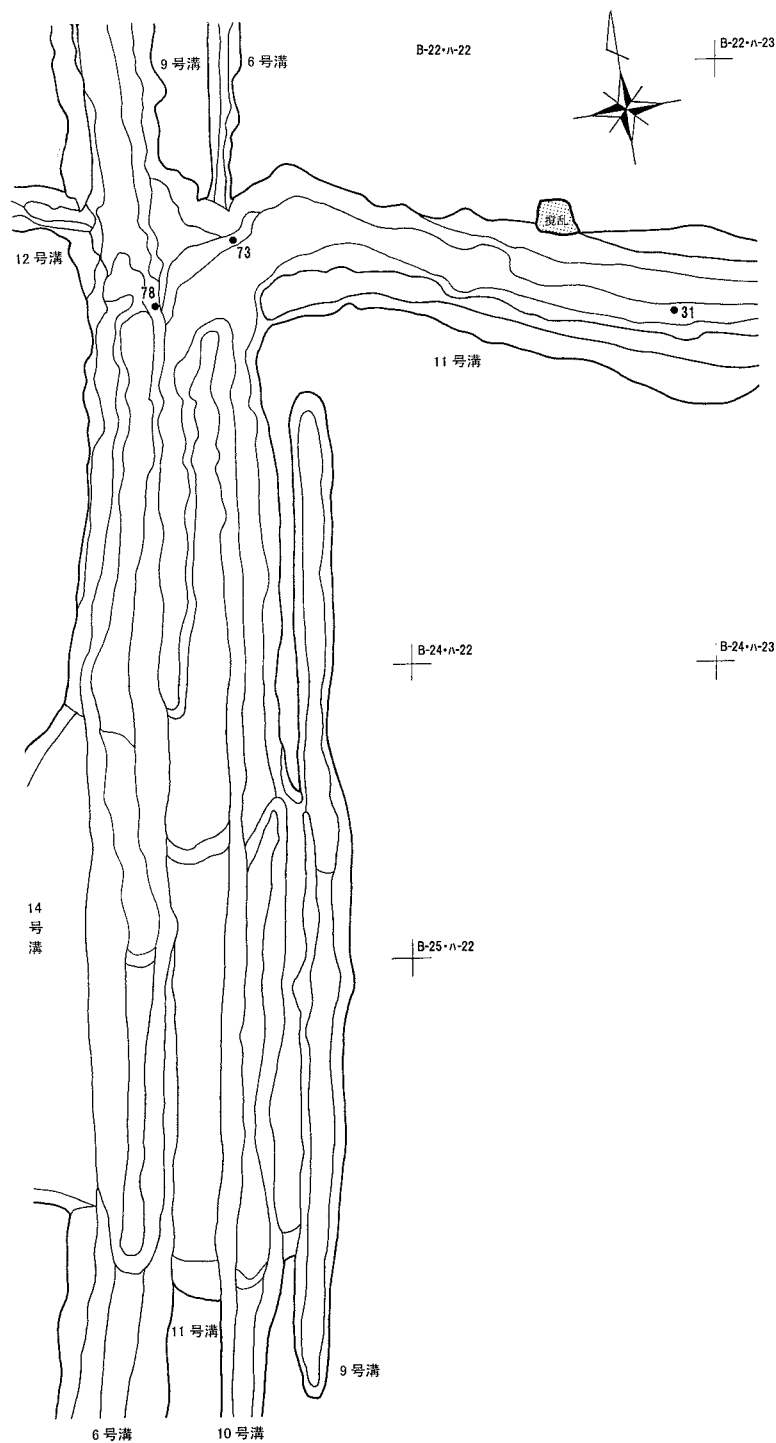


第238図 9号溝 (1/100) 土層図 (1/50)



- 11号溝
- 1層 暗褐色土 ローム粒子を少量含み、ロームブロックを微量含む。
 - 2層 暗褐色土 ローム粒子を少量含む。
 - 3層 暗褐色土 ローム粒子を微量含む。
 - 4層 暗褐色土 少礫を少量含み、ローム粒子を微量含む。
 - 5層 暗褐色土 ローム粒子を多量に含む。

第239図 11号溝 (1) (1/100) 土層図 (1/50)

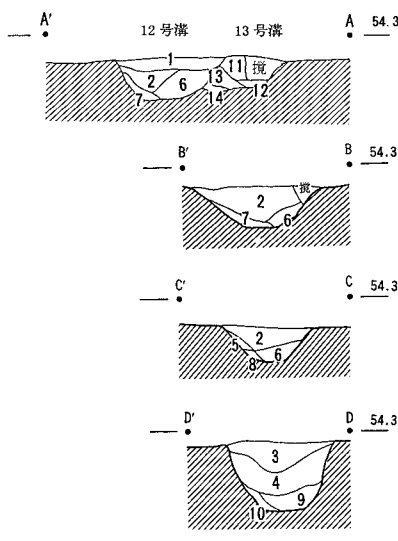
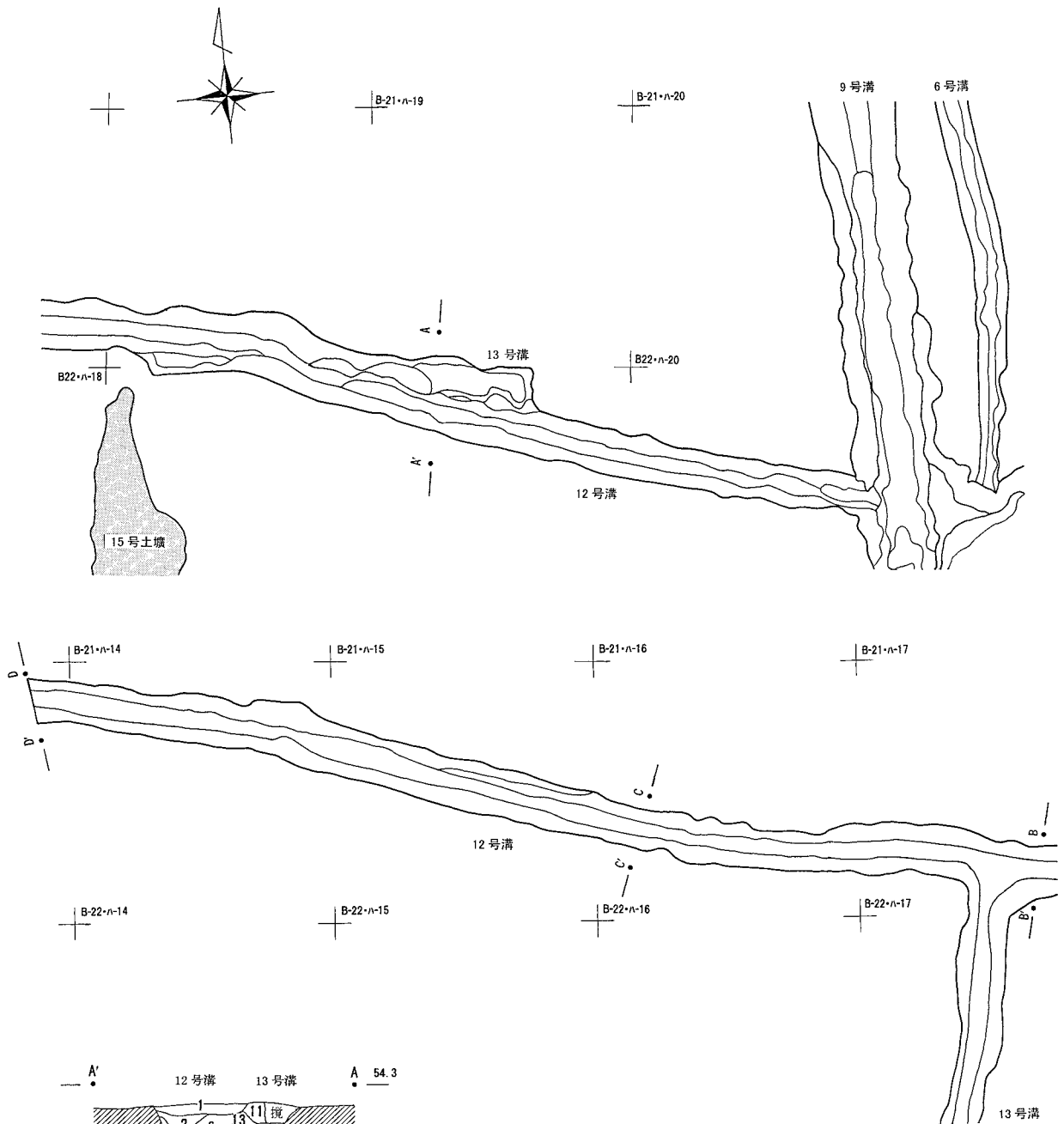


第240図 11号溝 (2) (1/100)

第148表 溝出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 ()は既存値

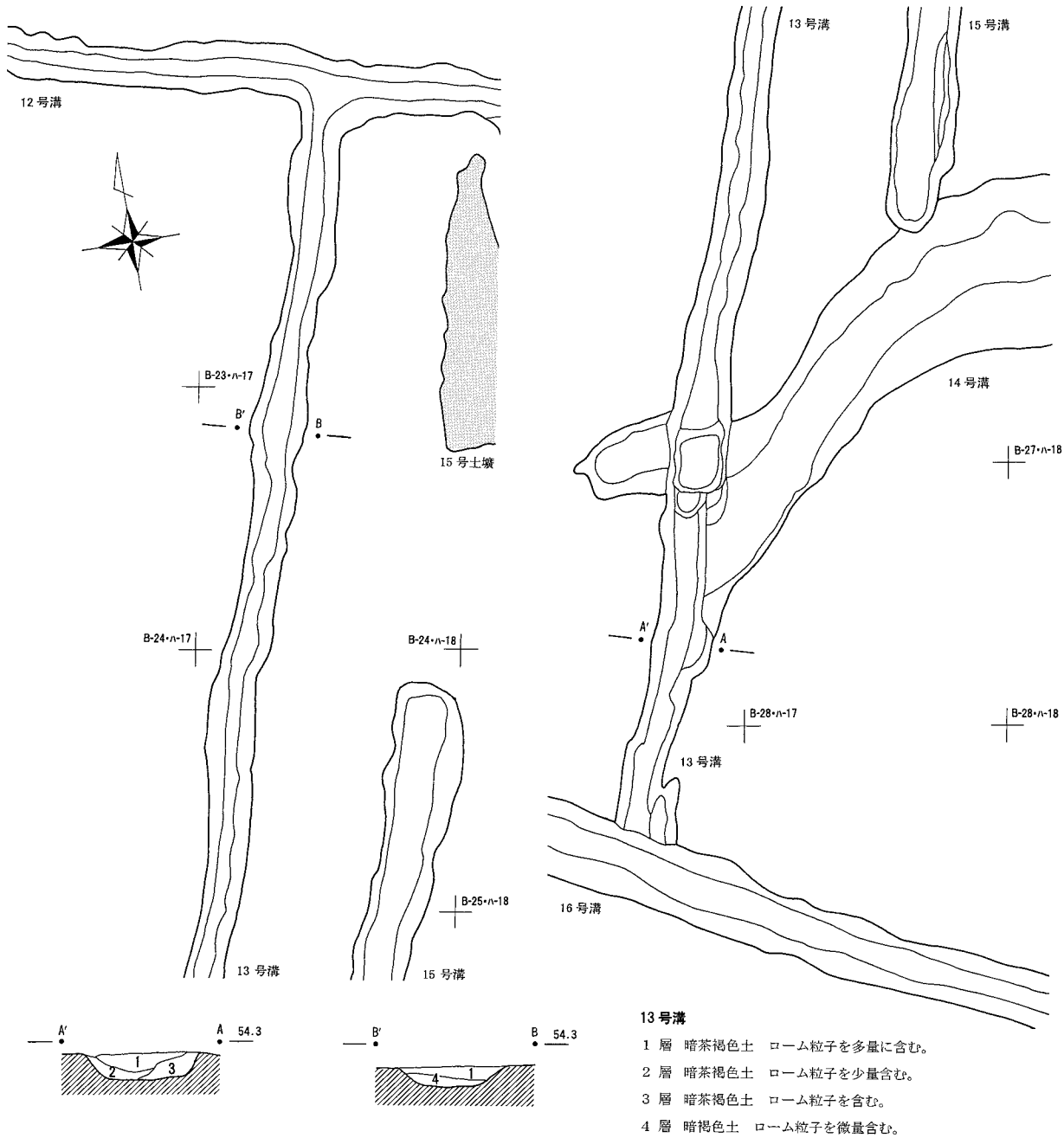
挿図番号	図版番号	部位	地紋	観察・特徴
1		胴部	条痕文	28号溝出土 器内外面に斜め方向に施文。胎土に繊維を含む。
2		胴部	条痕文	26号溝出土。2条一對の懸垂文が垂下。器内面に横方向に条痕文。



12号溝

- 1層 暗褐色土 ローム粒子を多量に含み、焼土粒子を微量含む。
- 2層 明褐色土 ローム粒子を含み、ロームブロックを微量含む。
- 3層 黒褐色土 茶褐色ロームを含む。
- 4層 黒褐色土 茶褐色ロームを多量に含む。
- 5層 明褐色土 ローム粒子を含む。
- 6層 明褐色土 ローム粒子を多量に含む。
- 7層 黒褐色土 ローム粒子を少量含む。
- 8層 黄褐色土 ローム粒子が主体。
- 9層 黒褐色土 茶褐色ロームを少量含む。
- 10層 黒褐色土 茶褐色ロームブロックを多量に含む。
- 11層 暗褐色土 ローム粒子を多量に含む。
- 12層 黒褐色土 ローム粒子を微量含む。
- 13層 暗褐色土 ローム粒子を少量含む。
- 14層 暗褐色土 ローム粒子を含む。

第241図 12号溝 (1/100) 土層図 (1/50)

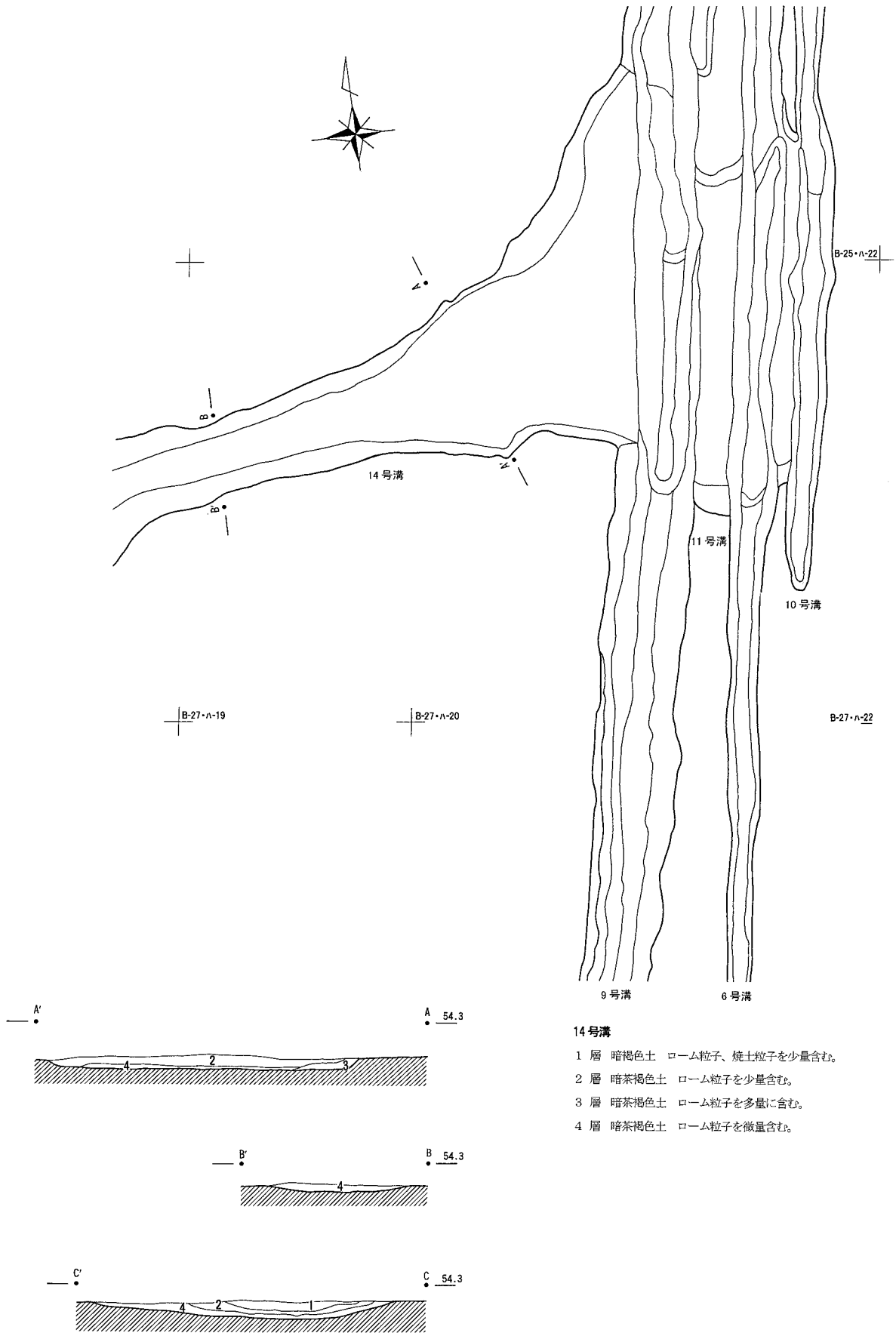


第242図 13号溝 (1/100) 土層図 (1/50)

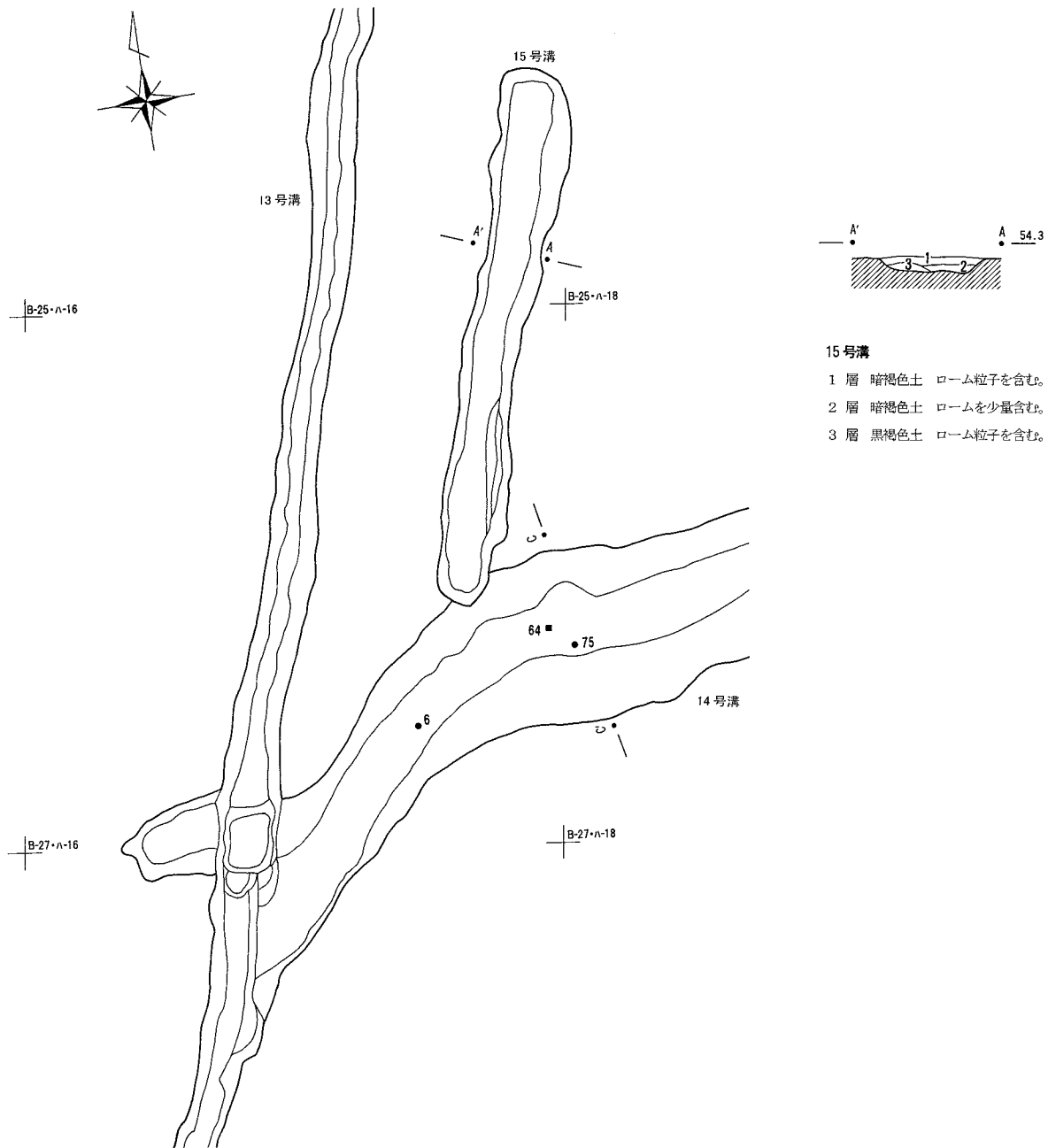
第149表 溝出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 ()は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
3		坏	-	(7.2)	-	-	還元焰焼成	17号溝出土。底部は全面回転篋削り。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。
4		坏	-	6.7	-	-	還元焰焼成	9号溝出土。底部は回転糸切り後外周部回転篋削り。
5		坏	-	(6.8)	-	-	還元焰焼成	11号溝出土。底部は回転糸切り後外周部回転篋削り。
6		坏	5.9	5.3	-	-	半還元焰焼成	14号溝出土。底部は回転糸切り。
7		坏	-	(7.5)	-	-	還元焰焼成	6号溝出土。底部は回転糸切り。



第243図 14号溝 (1/100) 土層図 (1/50)

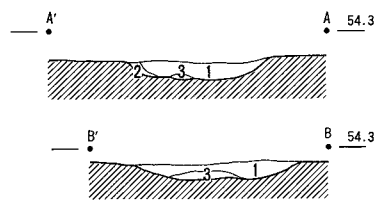
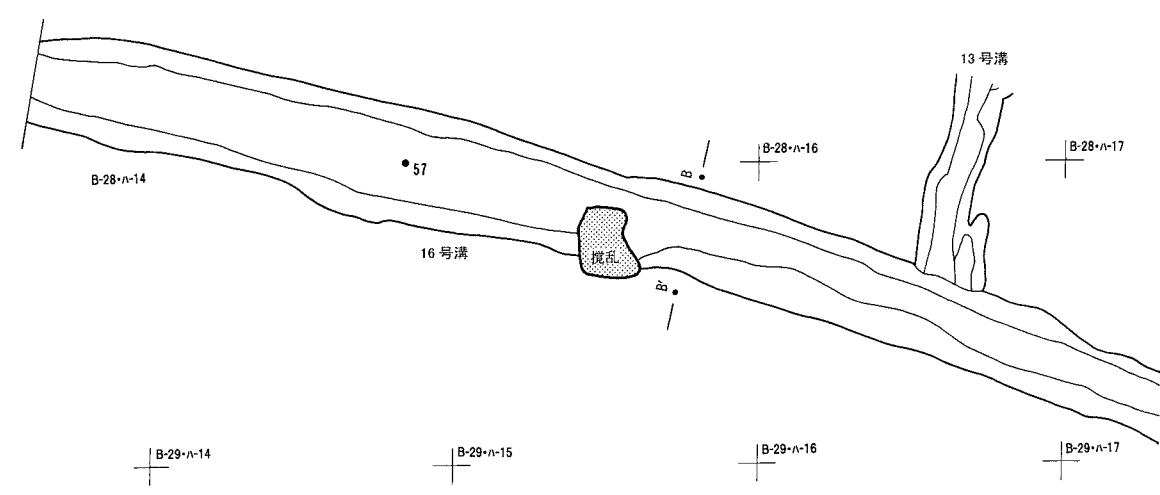
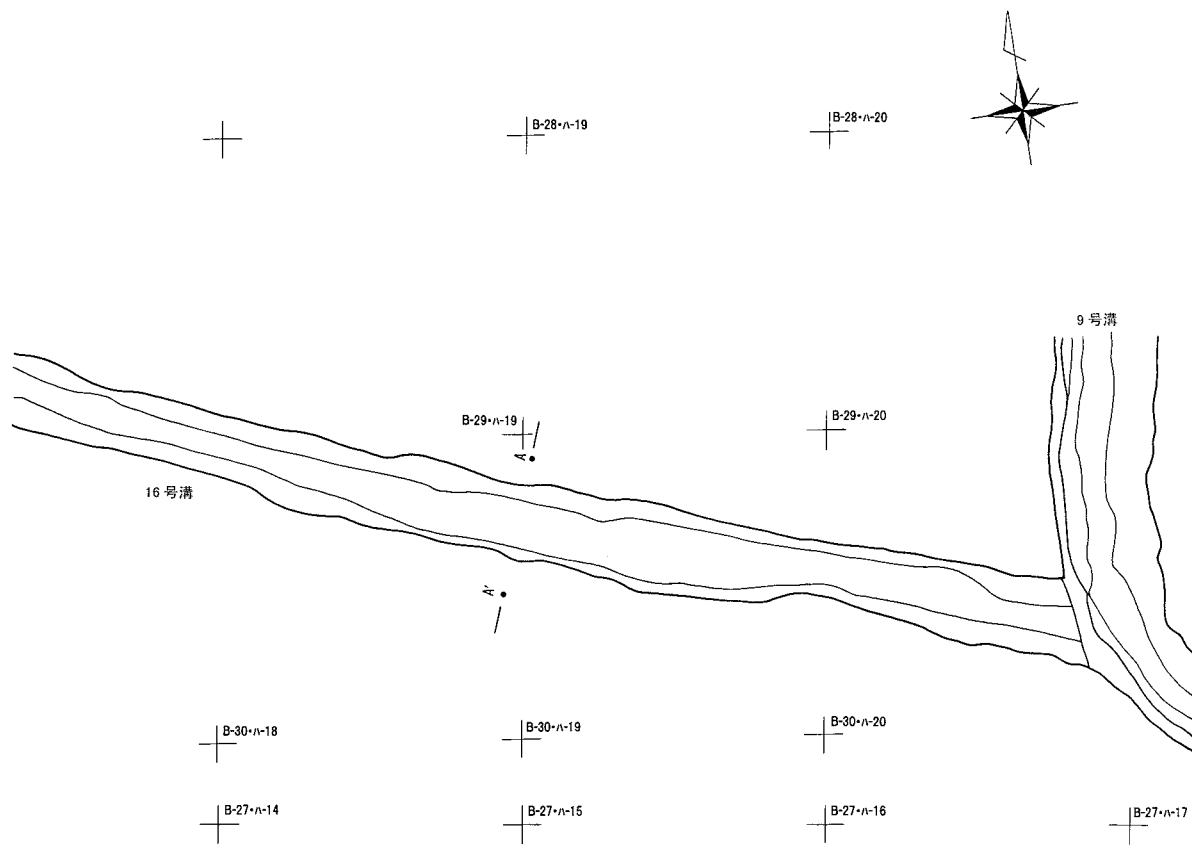


第244図 14、15号溝 (1/100) 土層図 (1/50)

第150表 溝出土遺物観察表

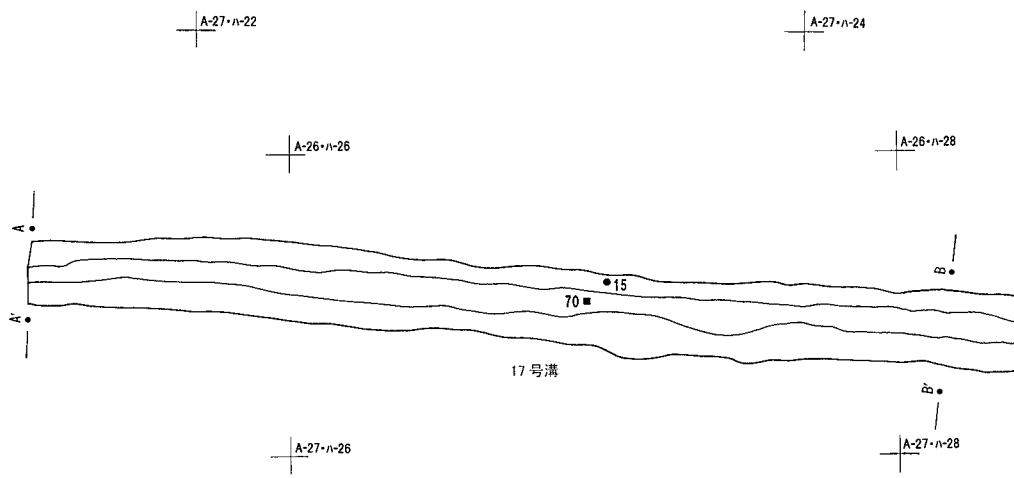
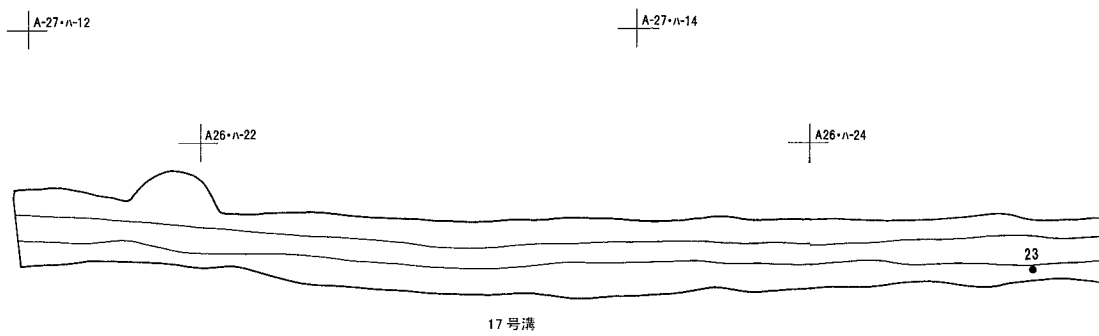
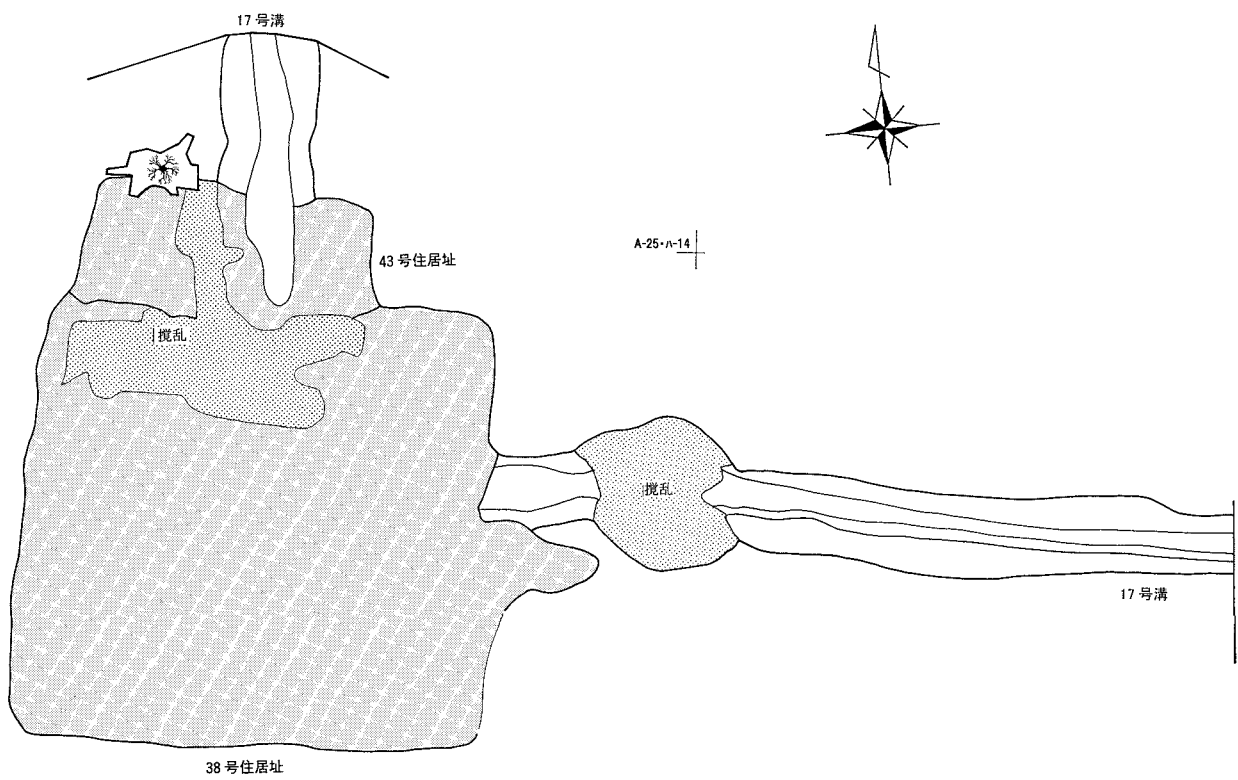
単位はcm ()は推定値 ()は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
8		坏	-	(6.1)	-	-	還元焰焼成	11号溝出土。底部は回転糸切り。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。
9		坏	-	(6.5)	-	-	還元焰焼成	17号溝出土。底部は回転糸切り。
10		坏	-	(6.0)	-	-	還元焰焼成	6号溝出土。底部は回転糸切り。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。
11		坏	-	5.4	-	-	還元焰焼成	17号溝出土。底部は回転糸切り。

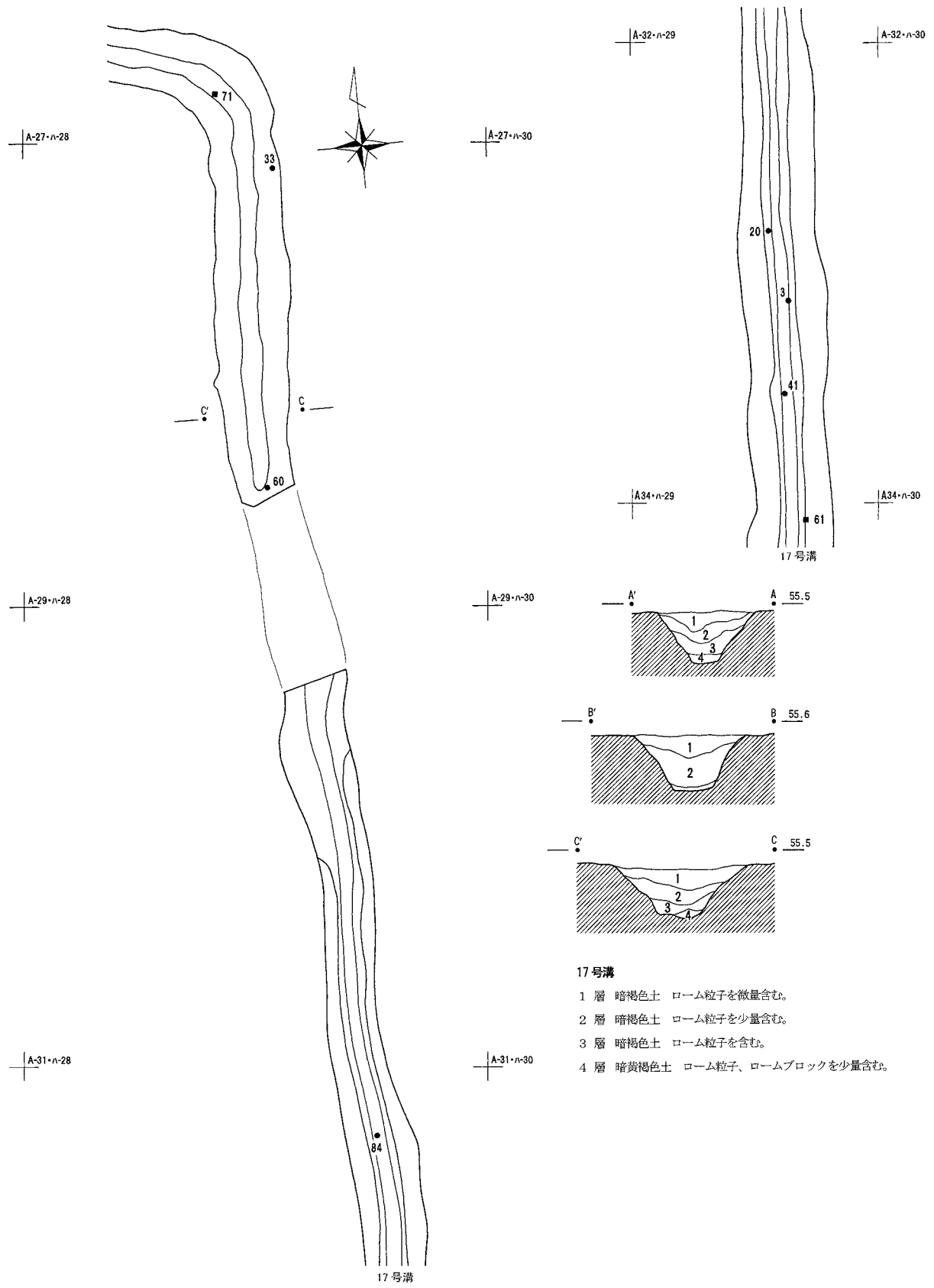


- 16号溝**
- 1層 暗褐色土 ローム粒子を微量含む。
 - 2層 黄褐色土 ロームが主体。
 - 3層 暗褐色土 ローム粒子を少量含む。

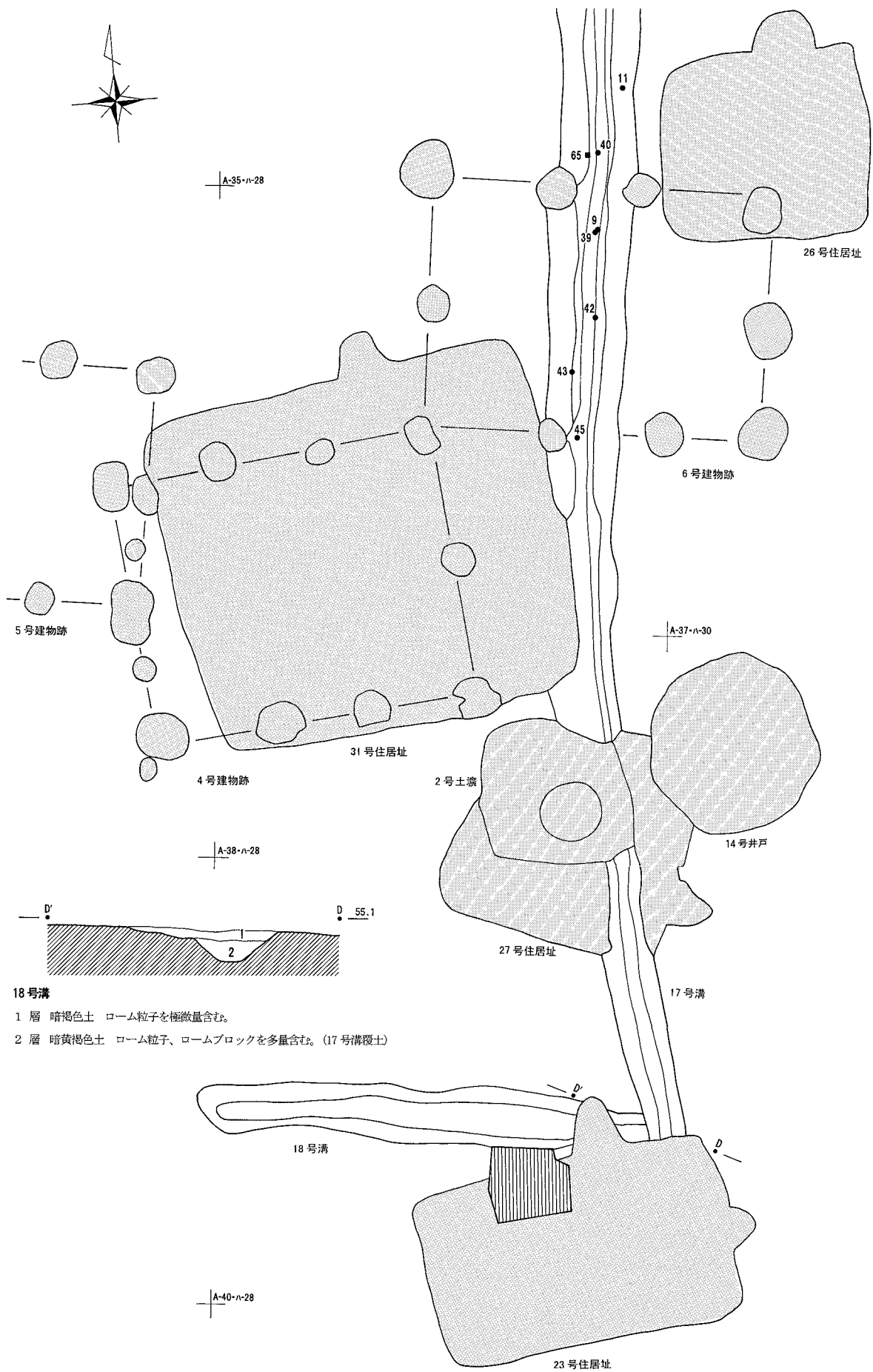
第245図 16号溝 (1/100) 土層図 (1/50)



第246图 17号沟 (1) (1/100)



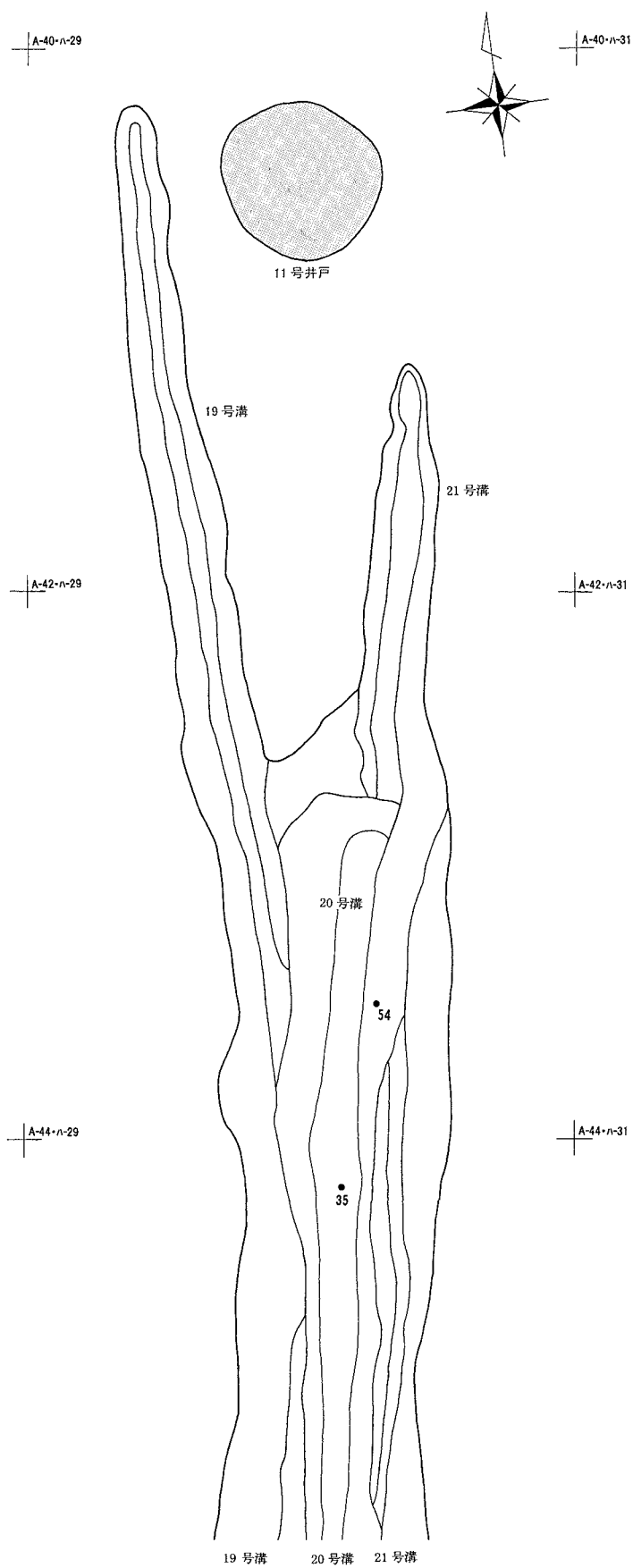
第247図 17号溝 (2) (1/100) 土層図 (1/50)



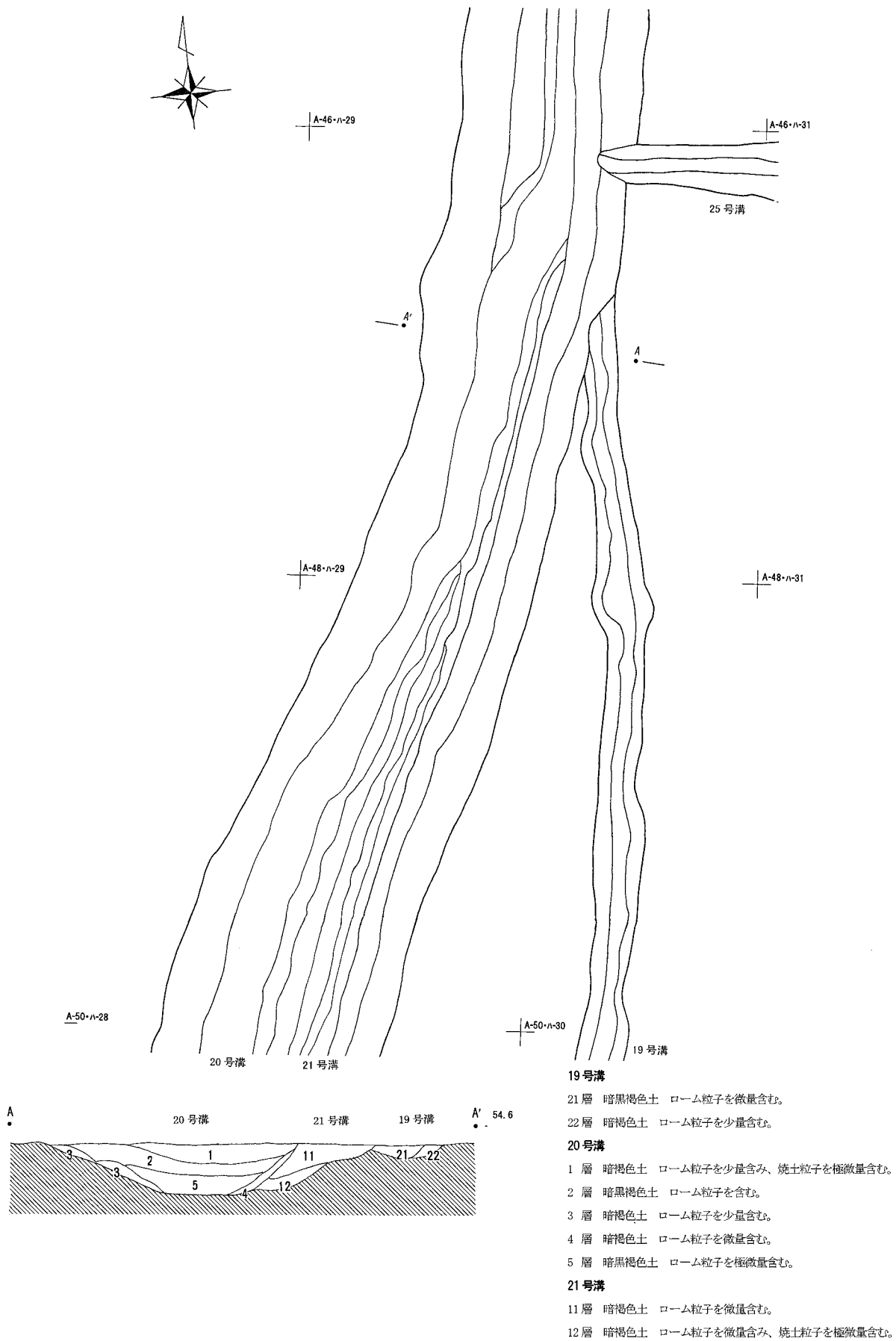
18号溝

- 1 層 暗褐色土 ローム粒子を極微量含む。
- 2 層 暗黄褐色土 ローム粒子、ロームブロックを多量含む。(17号溝覆土)

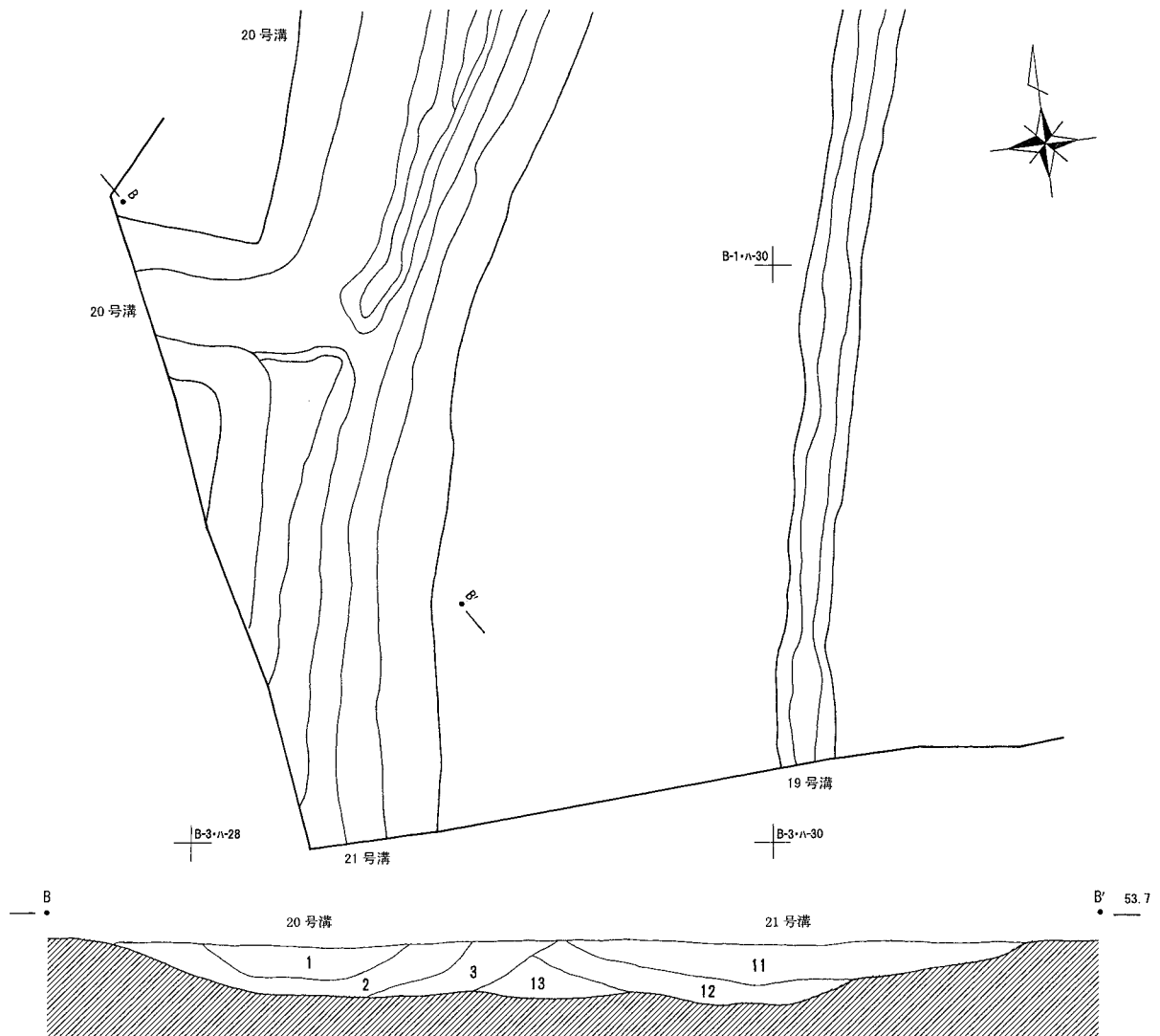
第248図 17、18号溝 (1/100) 土層図 (1/50)



第249図 19~21号溝 (1) (1/100)



第250図 19～21号溝 (2) (1/100) 土層図 (1/50)



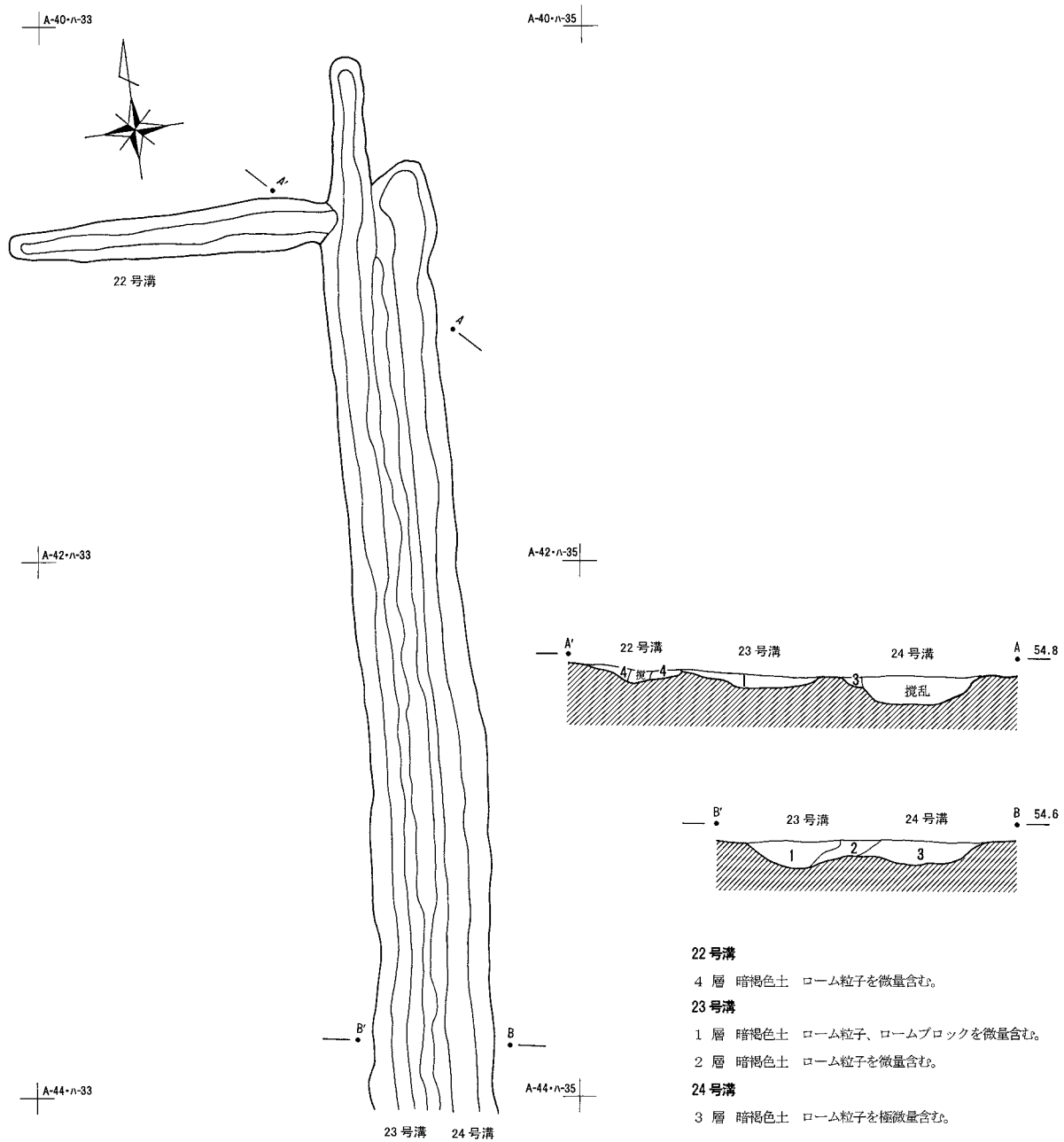
- | | |
|--|--|
| <p>20号溝</p> <p>1層 暗褐色土 ローム粒子を微量含む。</p> <p>2層 暗黒褐色土 ローム粒子を極微量含む。</p> <p>3層 暗黒褐色土 ローム粒子を微量含む。</p> | <p>21号溝</p> <p>11層 暗褐色土 ローム粒子を微量含む。</p> <p>12層 暗褐色土 ローム粒子を微量含み、焼土粒子を極微量含む。</p> <p>13層 暗黒褐色土 ローム粒子を含む。</p> |
|--|--|

第251図 19～21号溝 (3) (1/100) 土層図 (1/50)

第151表 溝出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 < >は既存値

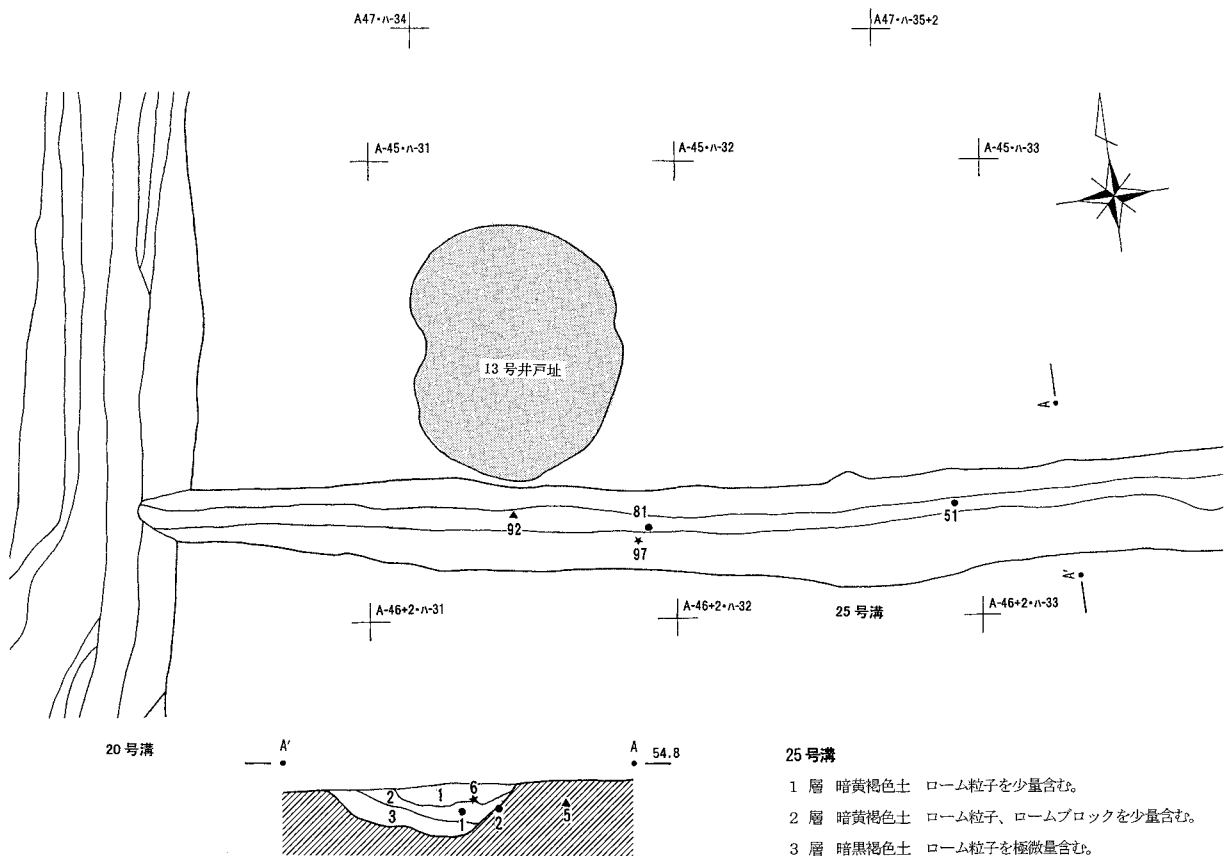
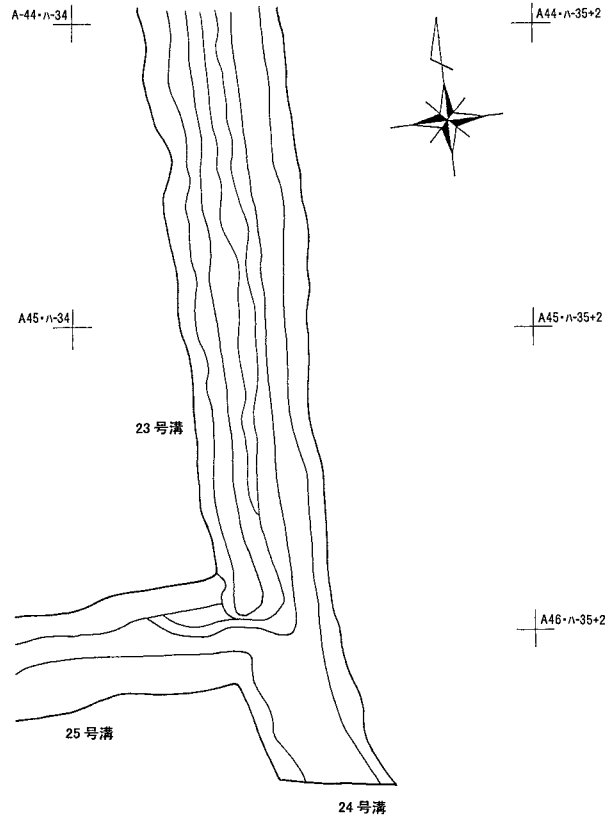
挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
12		坏	-	(5.7)	-	-	還元焰焼成	4号溝出土。底部は回転糸切り。
13		坏	-	6.0	-	-	半還元焰焼成	7号溝出土。底部回転糸切り。
14		坏	-	5.3	5.4	-	還元焰焼成	19号溝出土。底部は回転糸切り。
15		坏	-	(5.4)	-	-	還元焰焼成	17号溝出土。底部は回転糸切り。
16		坏	-	4.7	-	-	還元焰焼成	1号溝出土。底部は回転糸切り。
17		高台付坏	-	7.3	-	-	半還元焰焼成	7号溝出土。底部は回転糸切り後に、高台を貼り付け。
18		高台付坏	-	(7.8)	-	-	還元焰焼成	6号溝出土。底部は回転糸切り後に、高台を貼り付け。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。



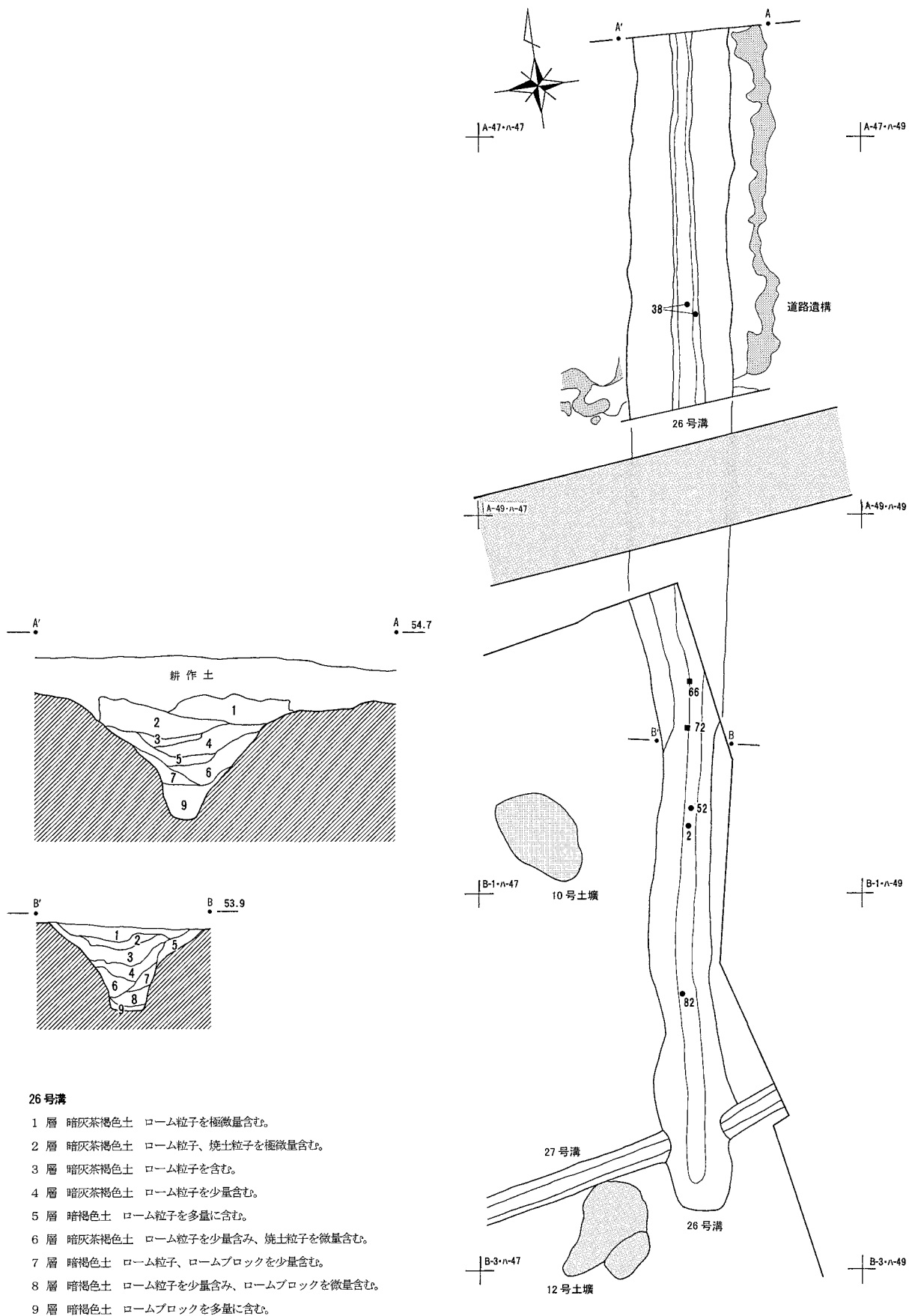
第252図 22～24号溝 (1/100) 土層図 (1/50)

単位はcm ()は推定値 ()は既存値

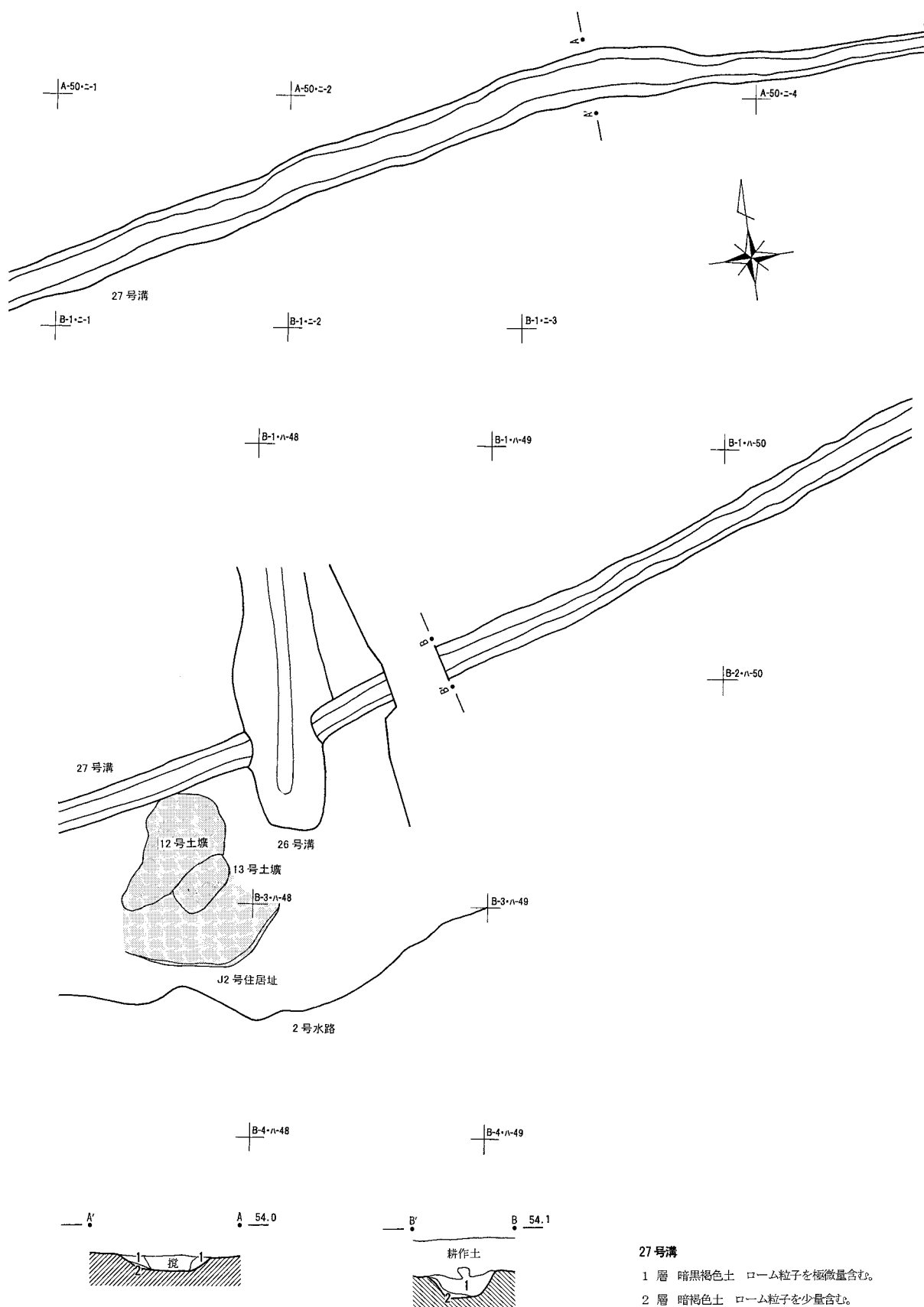
挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
19		高台付坏	-	-	-	-	半還元焰焼成	5号溝出土。器内外面にロクロ水挽き整形。底部に高台を貼り付け。器内外面に赤彩色。
20		皿	(15.4)	(6.0)	-	2.4	還元焰焼成	17号溝出土。底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。
21		壺	-	-	-	-	還元焰焼成	17号溝出土。器内外面にロクロ水挽き整形。



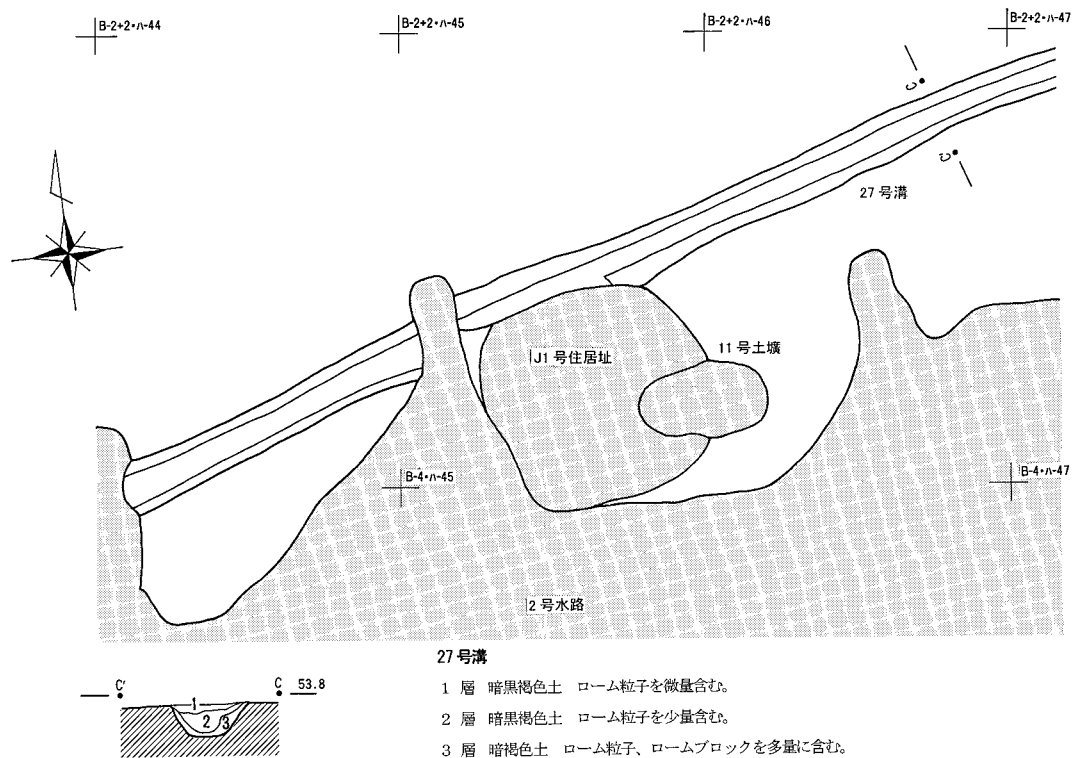
第253図 25号溝 (1/100) 土層図 (1/50)



第254図 26号溝 (1/100) 土層図 (1/50)



第255図 27号溝 (1) (1/100) 土層図 (1/50)

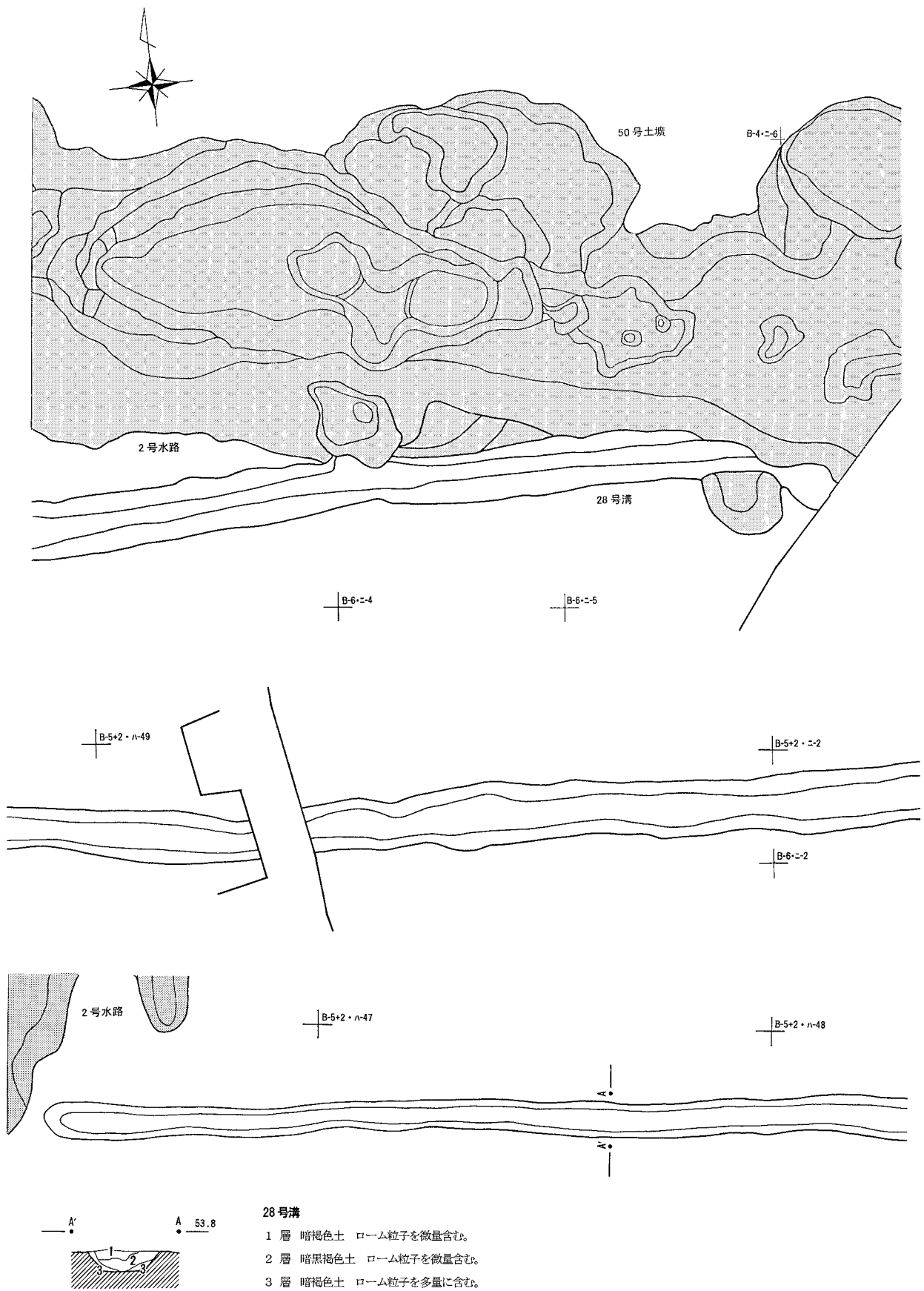


第256図 27号溝 (2) (1/100) 土層図 (1/50)

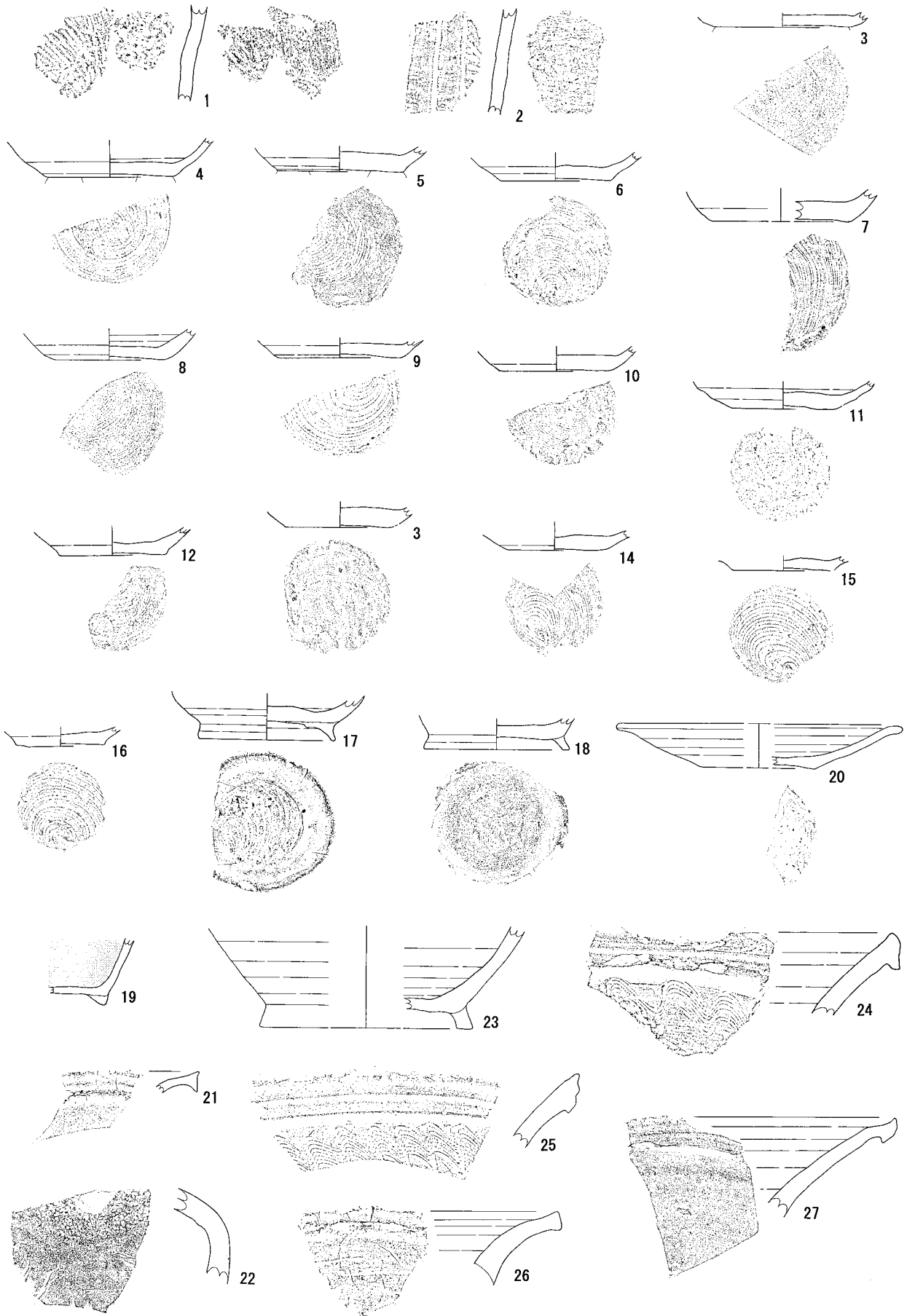
第152表 溝出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 ()は既存値

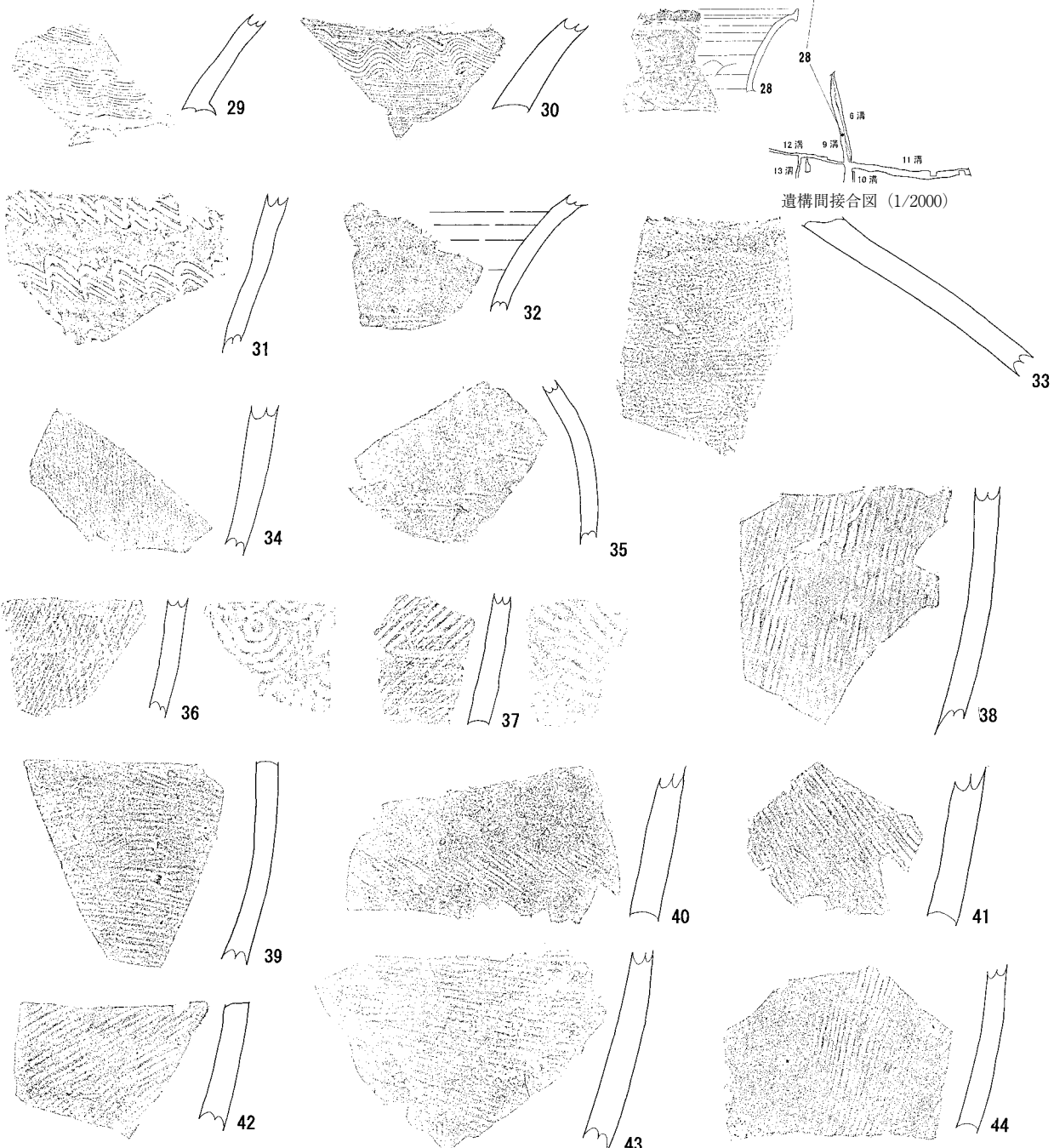
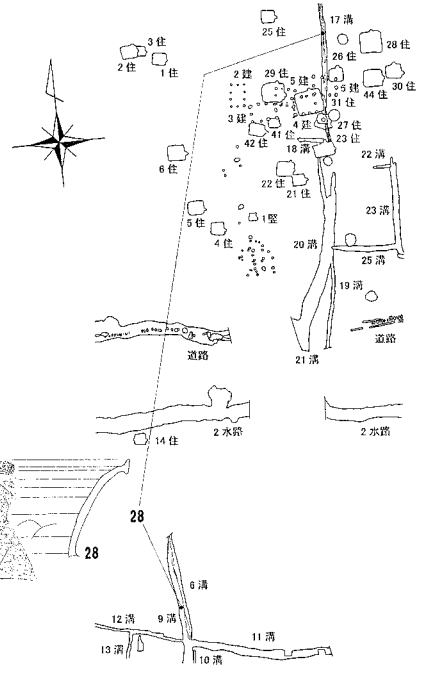
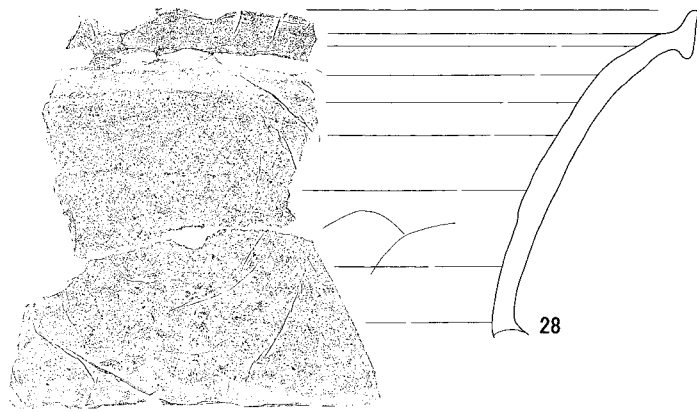
挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
22		壺	-	-	-	-	還元焰焼成	4号溝出土。器内外面にロクロ水挽き整形。肩部外面に自然釉。
23		壺	-	(11.5)	-	-	還元焰焼成	17号溝出土。高台を貼り付け。胴部に自然釉。
24		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	7号溝出土。器内外面にロクロ水挽き整形。外面に波状文が横走。
25		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	17号溝出土。器内外面にロクロ水挽き整形。外面に波状文が横走。
26		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	17号溝出土。器内外面にロクロ水挽き整形。
27		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	1号溝出土。ロクロ水挽き整形。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。
28		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	9号溝出土。器内外面にロクロ水挽き整形。器外面に3段の格子叩き。
29		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	2号溝出土。器内外面にロクロ水挽き整形。外面に波状文が横走。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。
30		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	7号溝出土。器内外面にロクロ水挽き整形。外面に波状文が横走。器外面に自然釉。
31		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	11号溝出土。器内外面にロクロ水挽き整形。外面に波状文が3段横走。



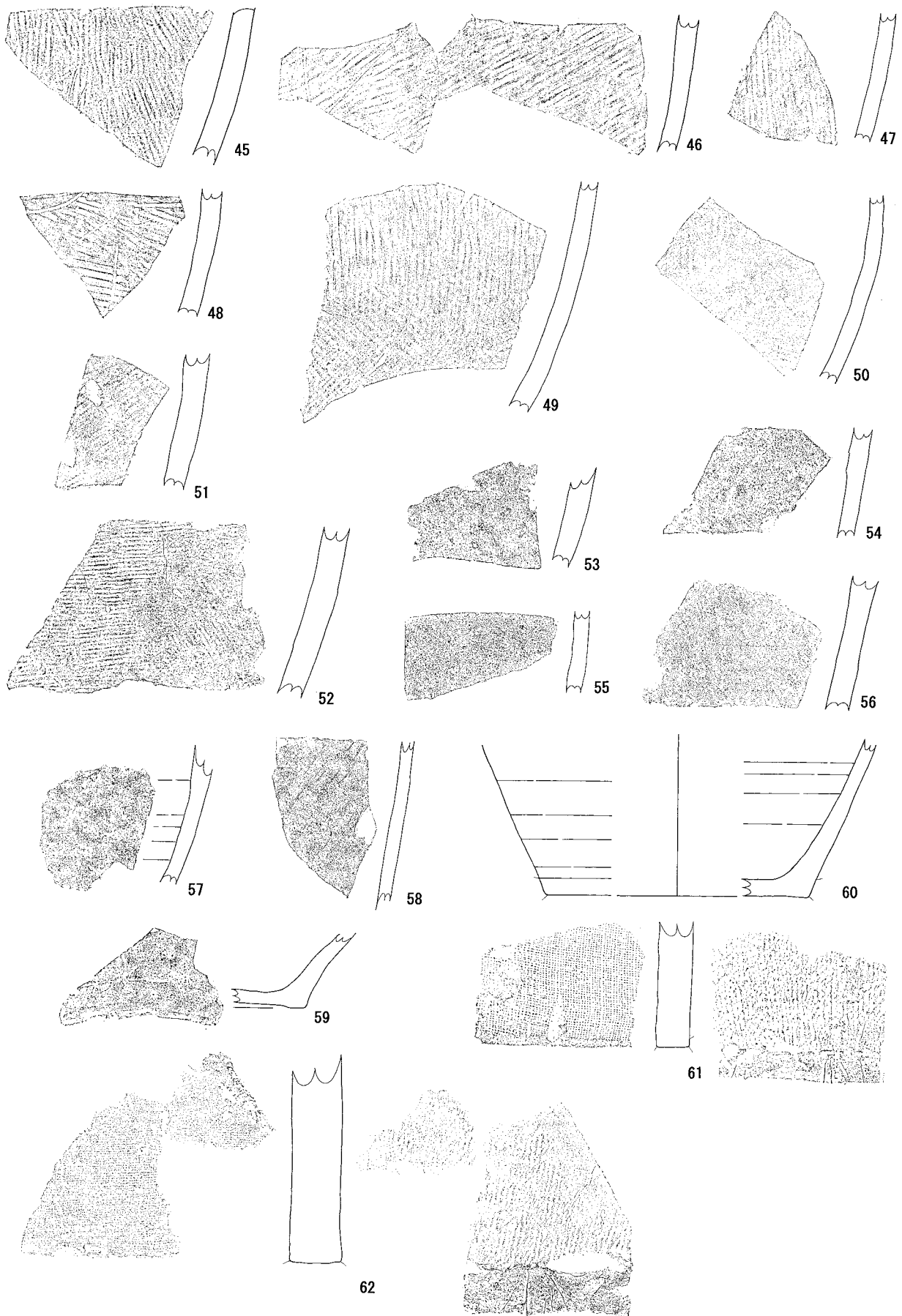
第257図 28号溝 (1/100) 土層図 (1/50)



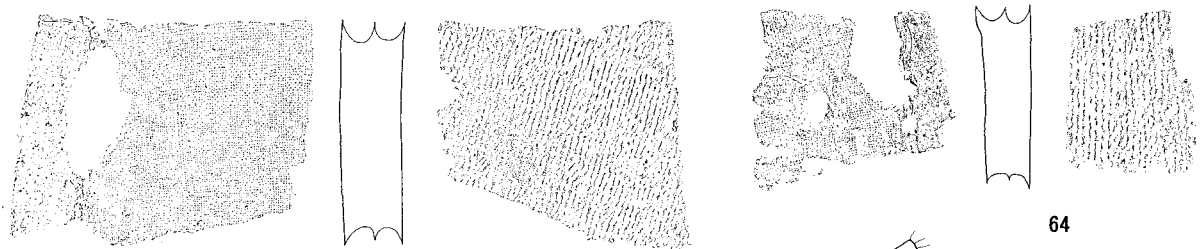
第258図 溝出土遺物 (1) (1/3)



第259図 溝出土遺物 (2) (1/3)

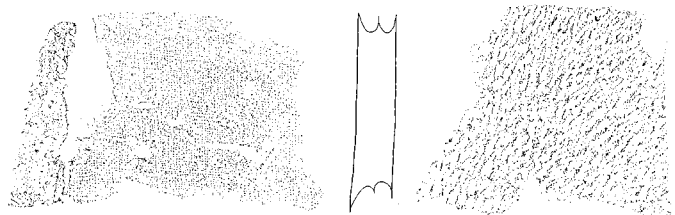
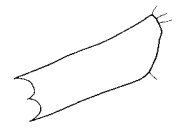
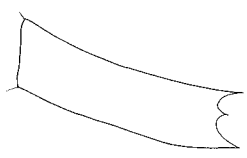


第260図 溝出土遺物 (3) (1/3)



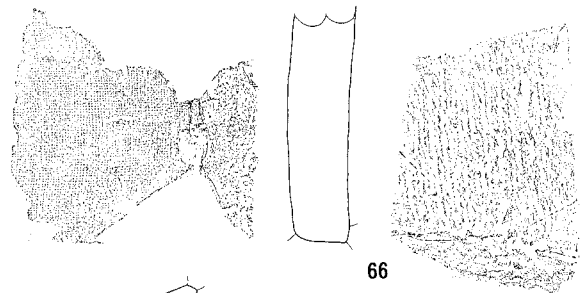
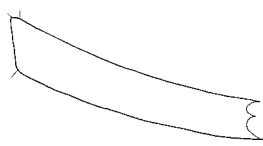
63

64



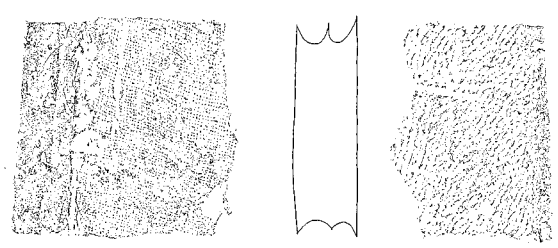
65

68



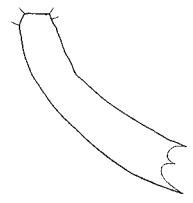
66

69

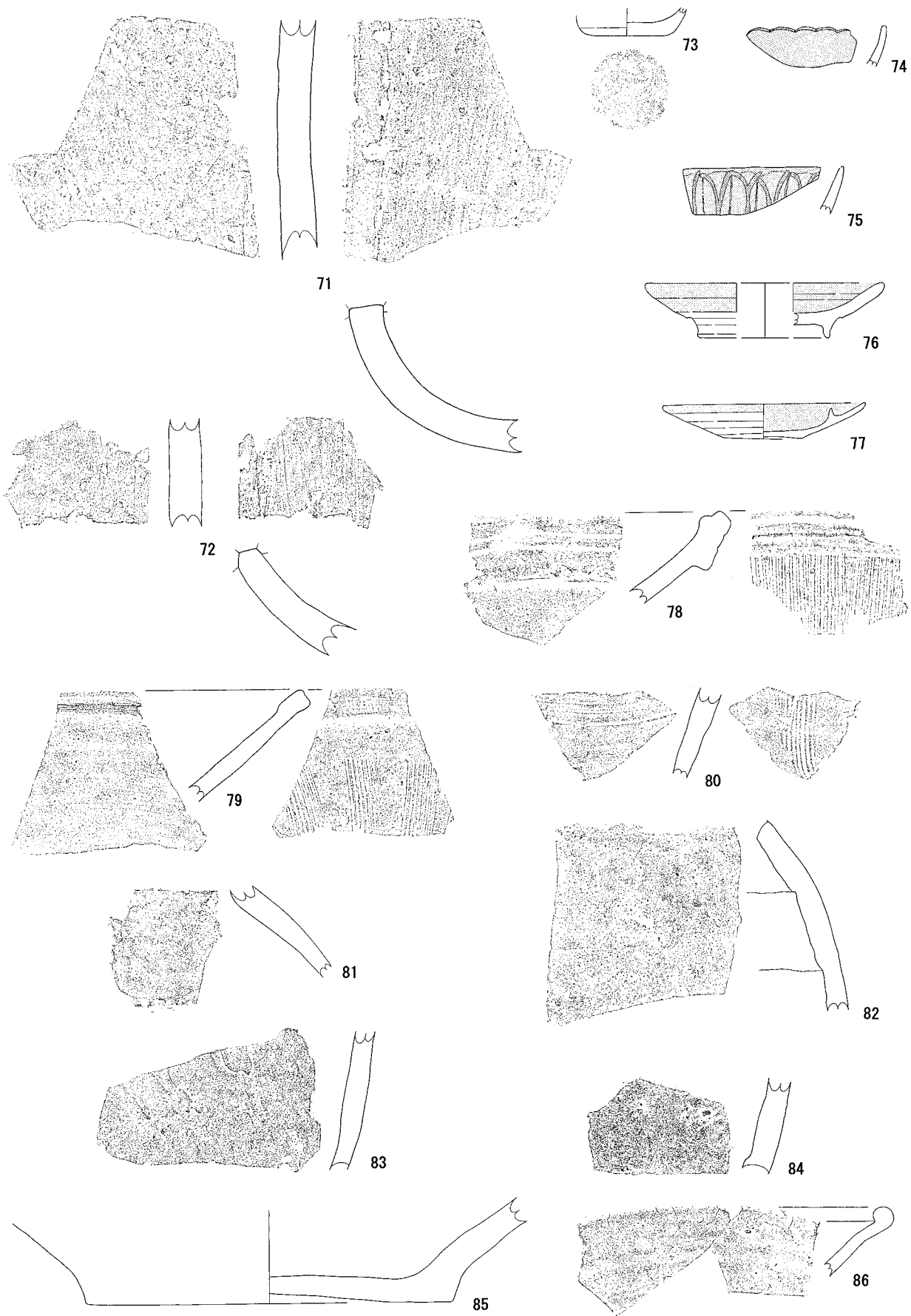


67

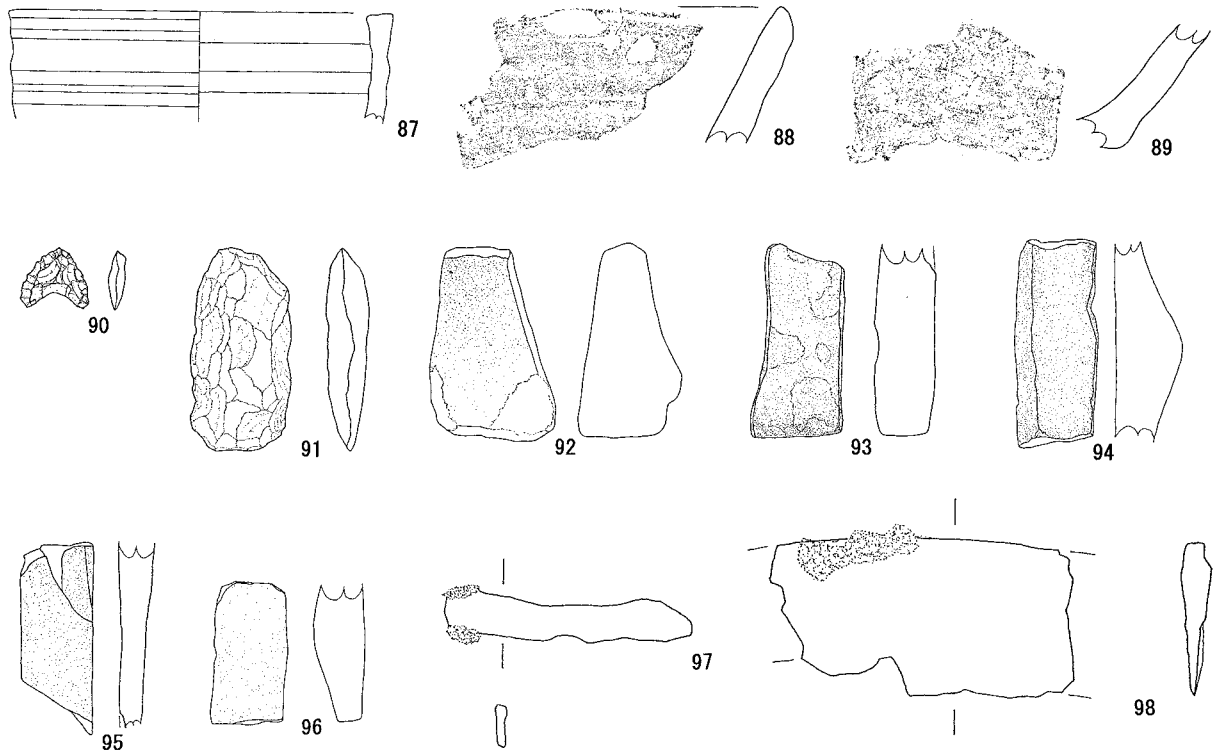
70



第261図 溝出土遺物 (4) (1/3)



第262図 溝出土遺物 (5) (1/3)



第263図 溝出土遺物 (6) (1/3) 但し、90、97、98は (2/3)

第153表 溝出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 < >は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
32		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	28号溝出土。器内外面にロクロ水挽き整形。
33		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	17号溝出土。器外面に横方向の平行叩き。器内面はナデ整形。
34		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	2号溝出土。器外面に縦、斜め方向の平行叩き。器内面はナデ整形。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。
35		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	20号溝出土。器外面に横、斜め方向の平行叩き。
36		甕	-	-	-	-	半還元焰焼成	17号溝出土。器外面に斜め方向の平行叩き。器内面に青海波文の叩き。
37		甕	-	-	-	-	半還元焰焼成	17号溝出土。器外面に斜め方向の平行叩き。器内面に青海波文の叩き。
38		甕	-	-	-	-	半還元焰焼成	26号溝出土。器外面に斜め方向の平行叩き。
39		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	17号溝出土。器外面に横方向の平行叩き。器内面に当て具痕の後にナデ整形。
40		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	17号溝出土。器外面に斜め方向の平行叩き。器内面にナデ整形。
41		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	17号溝出土。器外面に斜め方向の平行叩き。器内面に当て具痕の後にナデ整形。

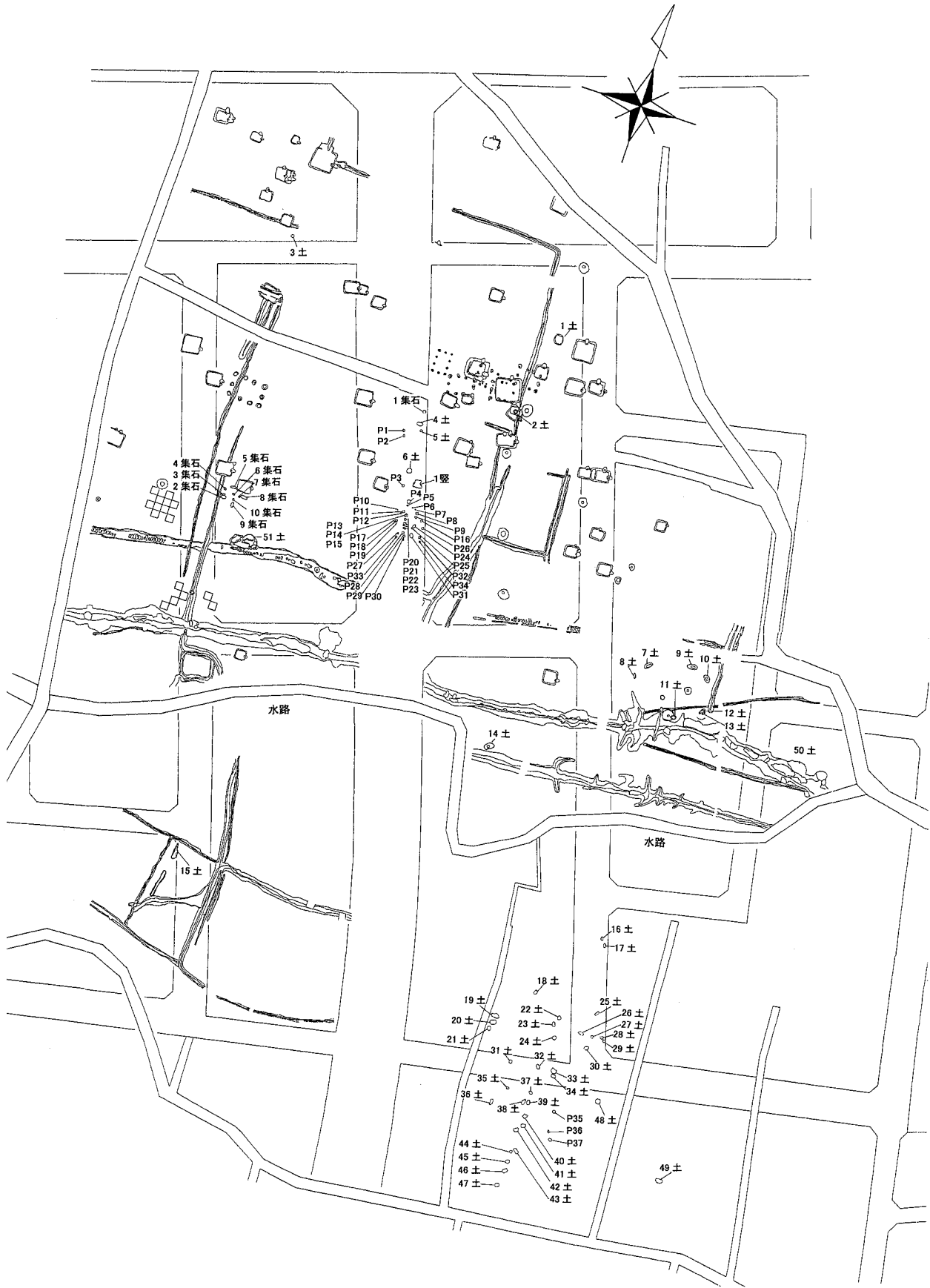
単位はcm ()は推定値 ()は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
42		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	17号溝出土。器外面に斜め方向の平行叩き。器内面に当て具痕の後にナデ整形。
43		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	17号溝出土。器外面に横、斜め方向の平行叩き。器内面にナデ整形。
44		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	2号溝出土。器外面に斜め方向の平行叩き。器内面はナデ整形。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。
45		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	17号溝出土。器外面に斜め方向の平行叩き。器内面に当て具痕の後にナデ整形。
46		甕	-	-	-	-	半還元焰焼成	23号溝出土。器外面に斜め方向の平行叩き。48と同一土器。
47		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	20号溝出土。器外面に斜め方向の平行叩き。
48		甕	-	-	-	-	半還元焰焼成	23号溝出土。器外面に斜め方向の平行叩き。46と同一土器。
49		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	1号溝出土。器外面に縦、斜め方向の平行叩き。器内面は当て具痕が残る。
50		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	2号溝出土。器外面に縦方向の平行叩き。器内面はナデ整形。
51		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	25号溝出土。器外面に斜め方向の平行叩き。
52		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	26号溝出土。器外面に横、斜め方向の平行叩き。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。
53		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	28号溝出土。器外面にナデ整形。
54		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	20号溝出土。器内面は当て具痕が残る。
55		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	5号溝出土。器外面はナデ整形。器内面は当て具痕が残る。
56		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	5号溝出土。器外面はナデ整形。器内面は当て具痕が残る。
57		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	16号溝出土。器内外面にロクロ水挽き整形。
58		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	4号溝出土。器外面に斜め方向の平行叩き。器内面はナデ整形。
59		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	11号溝出土。器外面、底部内面に自然釉。
60		甕	-	(14.0)	-	-	還元焰焼成	17号溝出土。器内外面にナデ整形。胴部下端に回転篋削り。
61		平瓦	-	-	-	-	還元焰焼成	17号溝出土。凹面に布目痕、凸面は縄叩き。端面は篋削り。
62		平瓦	-	-	-	-	還元焰焼成	2号溝出土。凹面に布目痕、凸面は縄叩き。端面は篋削り。
63		平瓦	-	-	-	-	還元焰焼成	1号溝出土。凹面に布目痕、凸面は縄叩き。側面は篋削り。
64		平瓦	-	-	-	-	還元焰焼成	14号溝出土。凹面に布目痕、凸面は縄叩き。側面は篋削り。
65		平瓦	-	-	-	-	還元焰焼成	17号溝出土。凹面に布目痕、凸面は縄叩き。側面、凹面側部は篋削り。
66		平瓦	-	-	-	-	還元焰焼成	26号溝出土。凹面に布目痕、凸面は縄叩き。側面、端面は篋削り。端面に篋書き文字「十入」。

第154表 溝出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 < >は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
67		平瓦	-	-	-	-	還元焰焼成	6号溝出土。凹面に布目痕、凸面は縄叩き。側面は篋削り。
68		平瓦	-	-	-	-	半還元焰焼成	7号溝出土。凹面に布目痕、凸面は縄叩き。
69		平瓦	-	-	-	-	還元焰焼成	2号溝出土。凹面に布目痕、凸面は縄叩き。凸面を磨っている。
70		丸瓦	-	-	-	-	還元焰焼成	17号溝出土。凹面の布目痕を磨消し、凸面は縄叩き後に篋削り整形。側面、凹面側部は篋削り。
71		丸瓦	-	-	-	-	還元焰焼成	17号溝出土。凹面の布目痕を磨消し、凸面は篋削り整形。側面は篋削り。
72		丸瓦	-	-	-	-	還元焰焼成	26号溝出土。凹面の布目痕を磨消し、凸面は縄叩き後に篋削り整形。側面、凹凸面の側面側部に篋削り。
73		かわらけ	-	4.3	-	-	土器	11号溝出土。底部は回転糸切り。
74		皿	-	-	-	-	灰釉陶器	9号溝出土。波状口縁。器内外面に施釉。
75		埴	-	-	-	-	青磁	14号溝出土。蓮弁文。
76		皿	(12.7)	(7.0)	-	2.9	灰釉陶器	9号溝出土。器外面体部下半を除き施釉。
77		灯明皿	(10.7)	(4.1)	-	1.8	陶器	11号溝出土。底部は回転篋削り。器内面に施釉。
78		搦鉢	-	-	-	-	陶器	11号溝出土。器内外面はロクロ水挽き整形。器内面は櫛状工具で搦り目。
79		搦鉢	-	-	-	-	陶器	9号溝出土。器内外面はロクロ水挽き整形。器内面は櫛状工具で搦り目。
80		搦鉢	-	-	-	-	陶器	25号溝出土。櫛状工具で搦り目。器内外面に施釉。
81		甕	-	-	-	-	土器	25号溝出土。器外面を磨いている。
82		甕	-	-	-	-	陶器	26号溝出土。器外面に施釉。器内面に輪積み痕。
83		甕	-	-	-	-	土器	7号溝出土。器内外面にナデ整形。
84		甕	-	-	-	-	陶器	17号溝出土。器外面に型押し文。施釉。
85		甕	-	(19.4)	-	-	陶器	6号溝出土。器外面は篋整形。器内面はナデ整形。
86		鉢	-	-	-	-	陶器	25号溝出土。器外面に鉄釉。
87		鉢	(15.0)	-	-	-	陶器	11号溝出土。器外面に鉄釉。
88		鉢	-	-	-	-	陶器	7号溝出土。器内外面にロクロ水挽き整形。
89		甕	-	-	-	-	陶器	7号溝出土。器外面は指整形。器内面はロクロ水挽き整形。



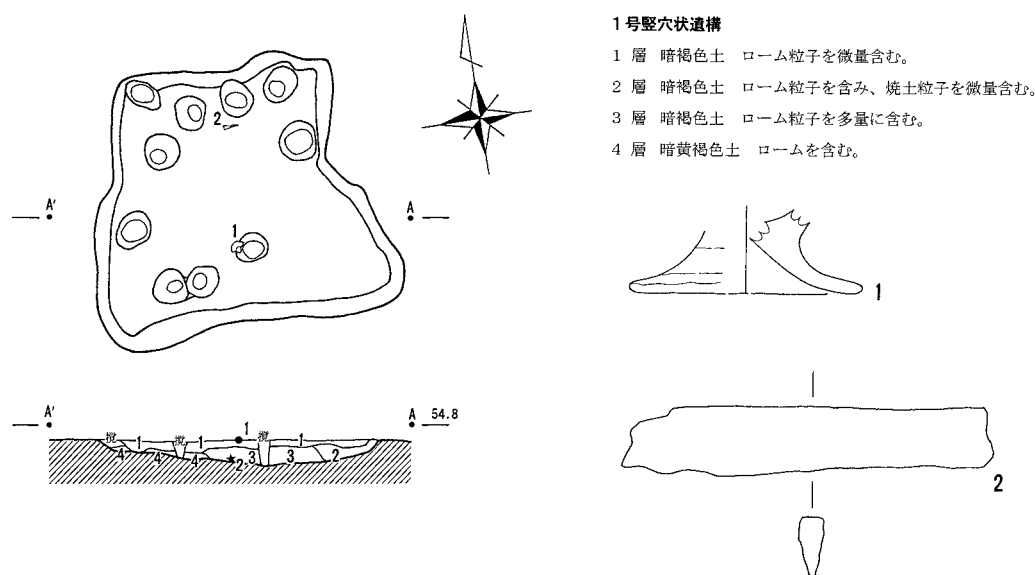
第264図 竖穴状遺構、集石土壙、ピット全測図 (1/1500)

第155表 溝出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 < >は既存値

挿図番号	図版番号	種類	長さ	幅	重さ(g)	石質	観察・特徴
90		石鏃	1.2	1.4	0.45	黒曜石	17号溝出土。基部に僅かな抉りを持つ。完形。
91		打製石斧	8.0	3.8	74	砂岩	2号溝出土。短冊型。側面に調整剥離。完形。
92		砥石	<7.6>	4.8	-	砂岩	25号溝出土。両面、両側面に擦痕。
93		砥石	<7.7>	3.7	-	砂岩	9号溝出土。両面、両側面、端面に擦痕。
94		砥石	<7.9>	3.2	-	砂岩	11号溝出土。両面、両側面に擦痕。
95		砥石	<7.5>	2.9	-	片岩	7号溝出土。両面、両側面に擦痕。
96		砥石	<5.7>	2.9	-	砂岩	19号溝出土。両面、両側面に擦痕。

挿図番号	図版番号	種類	長さ	幅	厚み	観察・特徴
97		刀子	<4.8>	0.9	0.2	25号溝出土。切先部と茎尻が欠損する。
98		鎌	<6.0>	3.1	0.6	26号溝出土。刃部の一部。



第265図 竖穴状遺構 (1/60) 出土遺物 (1/3) 但し、2は (2/3)

(7) 竖穴状遺構

遺構名	長さ(m)	幅(m)	深さ(cm)	備考
1号竖穴状遺構	3.0	0.7~1.1	14~29	

第156表 竖穴状遺構出土遺物観察表

単位はcm ()は推定値 < >は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
1		台付甕	-	9.2	-	-	土師器	脚部はナデ整形。

挿図番号	図版番号	種類	長さ	幅	厚み	観察・特徴
2		刀子	<7.3>	1.4	0.4	切先部と茎尻が欠損する。

(8) 集石土壙

遺構名	長さ(m)	幅(m)	深さ(cm)	備考
1号集石土壙	1.8	1.6	0.65	礫を多く含む。底面付近には、炭化物が薄く堆積している。
2号集石土壙	1.37	0.65~0.79	20	上面に比較的大形の礫が見られる。
3号集石土壙	1.18	0.38	28~34	西側に礫が集中する。
4号集石土壙	0.8	0.5	50	礫は中心付近の上層に集中する。
5号集石土壙	1.55	0.62	22	上面に大形の礫が見られる。
6号集石土壙	0.77	0.38	17	上面に大形の礫が見られる。
7号集石土壙	0.6	0.47	17	上面に比較的大形の礫が見られる。
8号集石土壙	1.51	0.53	20	上面に大形の礫が見られる。
9号集石土壙	1.5	0.58	43	大形の礫が北側に集中する。
10号集石土壙	0.63	0.5	20	上面に大形の礫が見られる。

第157表 集石土壙出土遺物観察表

2号集石土壙

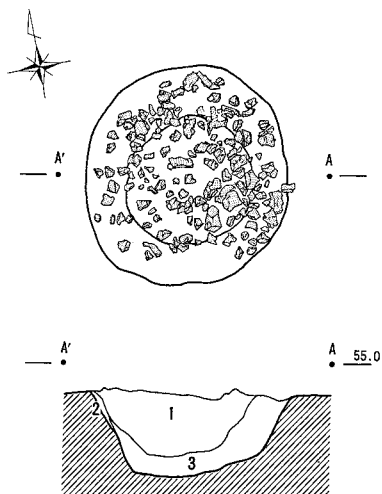
単位はcm ()は推定値 ()は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
1		坏	-	6.5	-	-	半還元焰焼成	底部は回転糸切り。
2		甕	-	-	-	-	半還元焰焼成	器内外面にロクロ水挽き整形。
3		甕	-	-	-	-	半還元焰焼成	器内外面にロクロ水挽き整形。
4		平瓦	-	-	-	-	還元焰焼成	凹面は布目痕、凸面は縄叩き。側面、端面、凹面側部は篋削り。

3号集石土壙

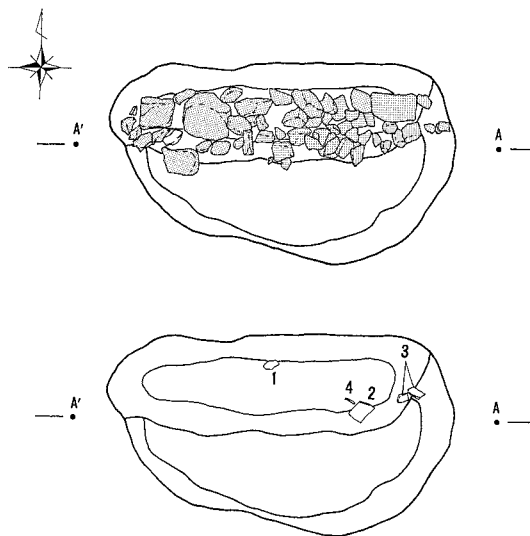
単位はcm ()は推定値 ()は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
1		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器内外面にロクロ水挽き整形。肩部に自然釉。
2		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器外面に横方向の平行叩き。器内面にナデ整形。肩部に自然釉。
3		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器外面に縦、斜め方向の平行叩き。器内面にナデ整形。
4		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器外面に斜め方向の平行叩き。器内面に当て具痕の後にナデ整形。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。
5		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器外面に斜め方向の平行叩き。
6		鉢	-	-	-	-	陶器	器内外面にヘラ整形。
7		平瓦	-	-	-	-	還元焰焼成	凹面は布目痕、凸面は縄叩き。側面、端面、凹面側部、端部に篋削り。凹凸面に磨り痕。



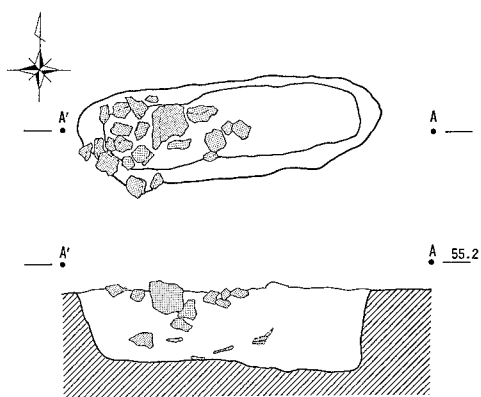
1号集石土壇

- 1層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子を微量含む。
- 2層 黄褐色土 ロームを少量含む。
- 3層 暗黒茶褐色土 ローム粒子を多量に含む。



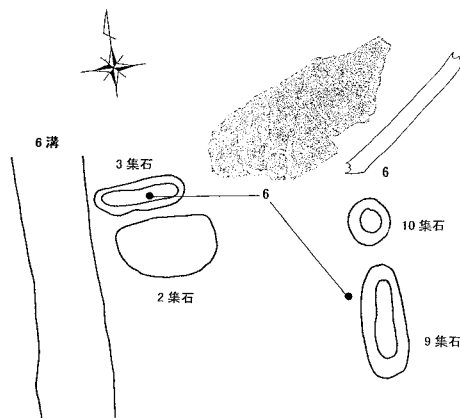
2号集石土壇

- 1層 暗褐色土 ローム粒子、ローム小ブロックを少量含む。

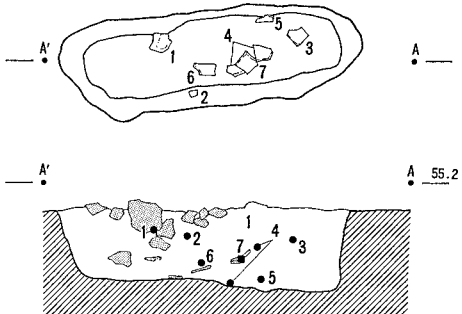


3号集石土壇

- 1層 暗褐色土 ローム粒子、ローム小ブロックを少量含む。



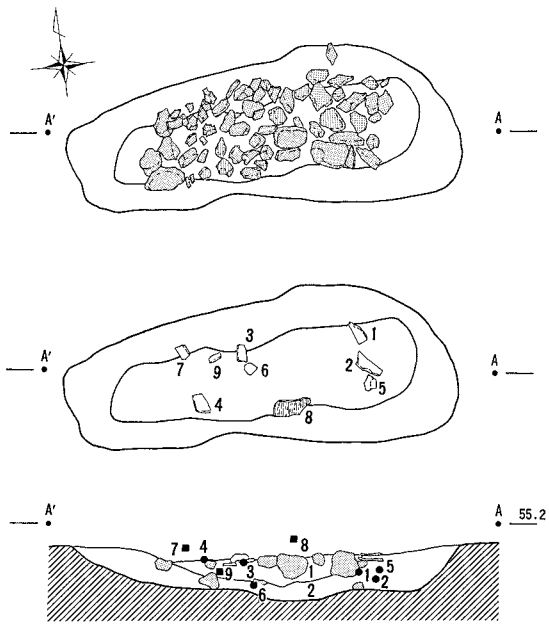
遺構間接合図 (1/200)



4号集石土壇

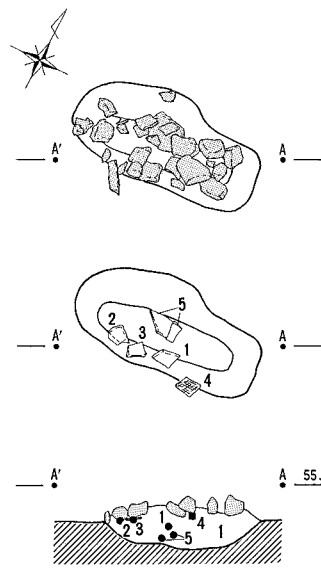
- 1層 暗褐色土 ローム粒子、炭化物粒子を微量含む。
- 2層 暗褐色土 ローム粒子を含み、焼土粒子を微量含む。

第266図 1~4号集石土壇 (1/60)



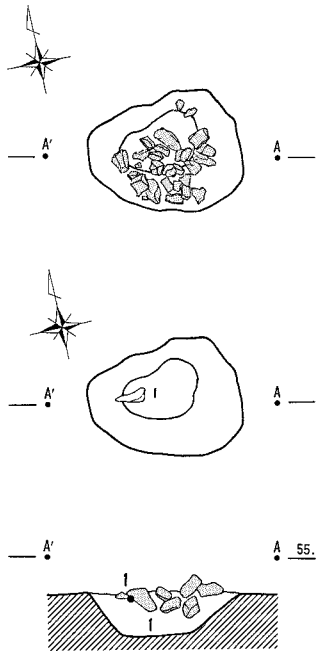
5号集石土壌

- 1 層 暗褐色土 ローム粒子、炭化物粒子を少量含む。
- 2 層 暗褐色土 ローム粒子を含み、焼土粒子を微量含む。



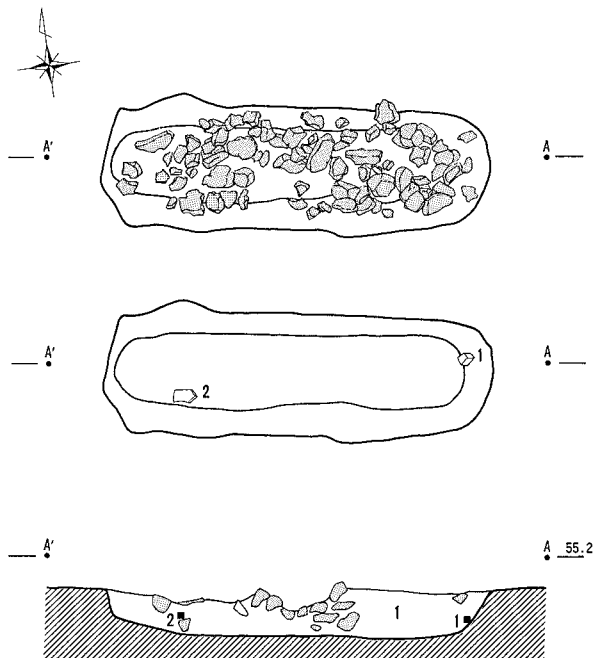
6号集石土壌

- 1 層 暗褐色土 ローム粒子を含み、焼土粒子を微量含む。



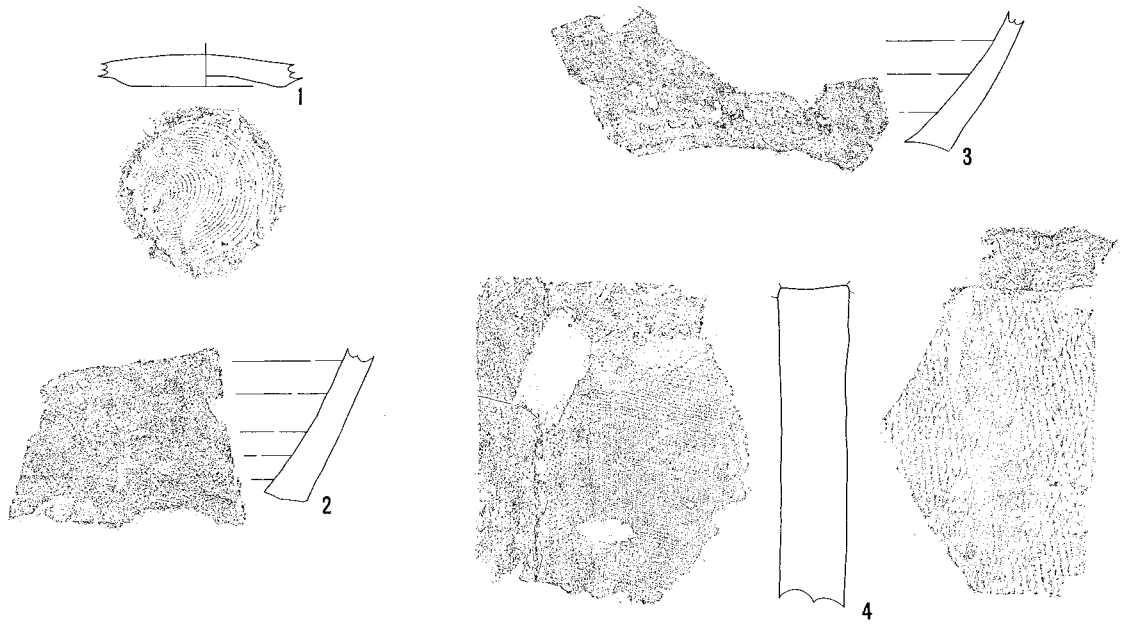
7号集石土壌

- 1 層 暗黒褐色土 ローム粒子、炭化物粒子を微量含む。

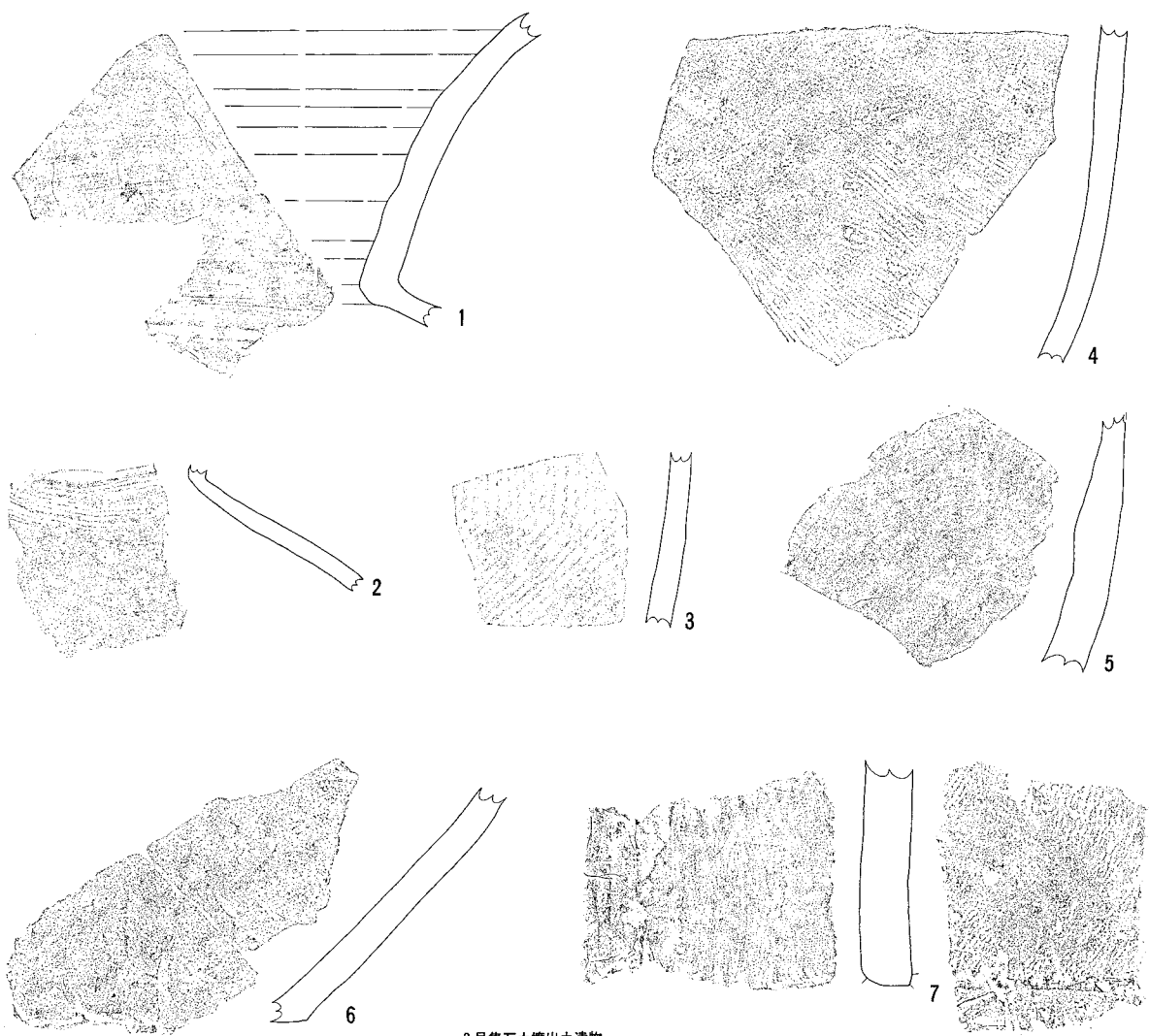


8号集石土壌

- 1 層 暗褐色土 ローム粒子を含み、焼土粒子、炭化物粒子を微量含む。

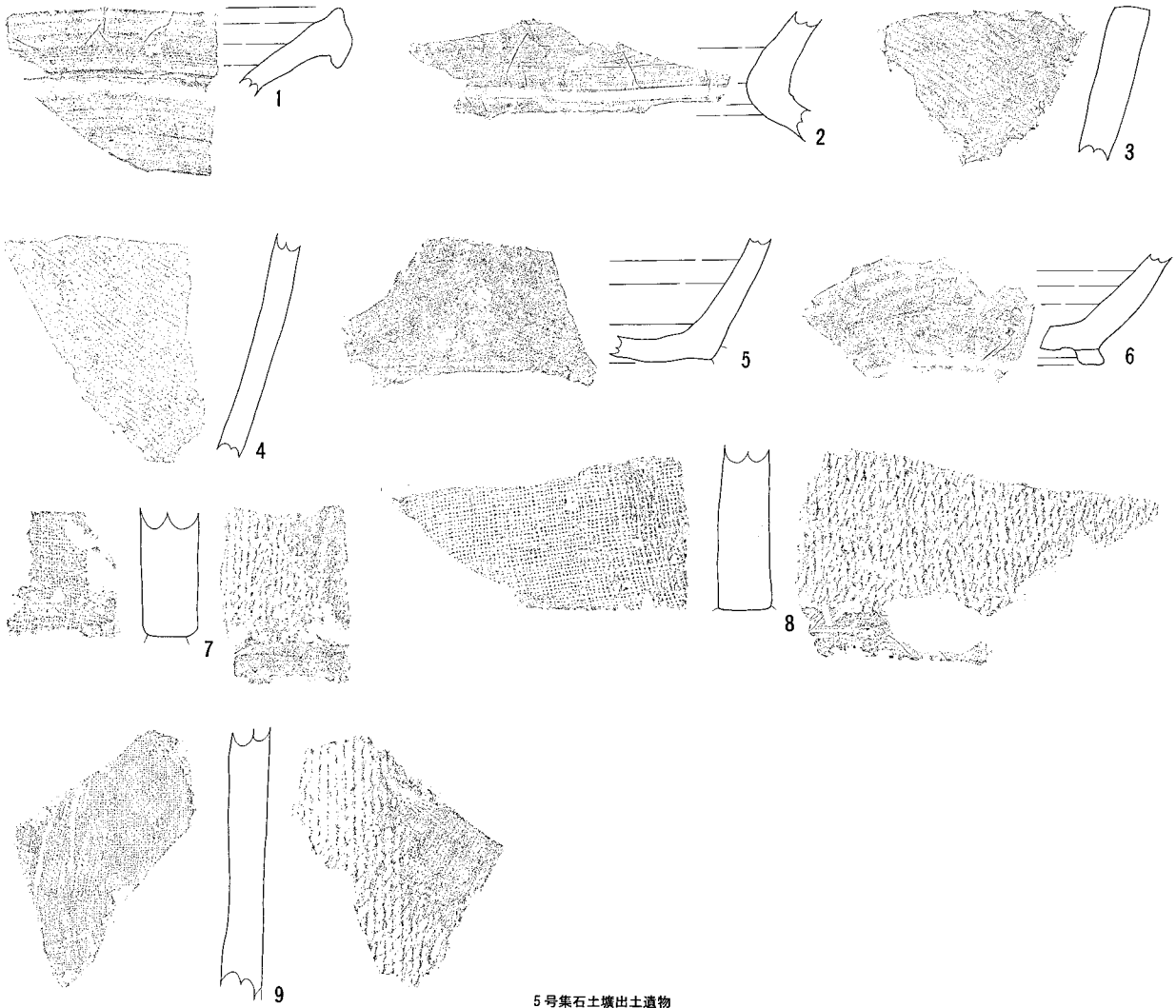


2号集石土壙出土遺物

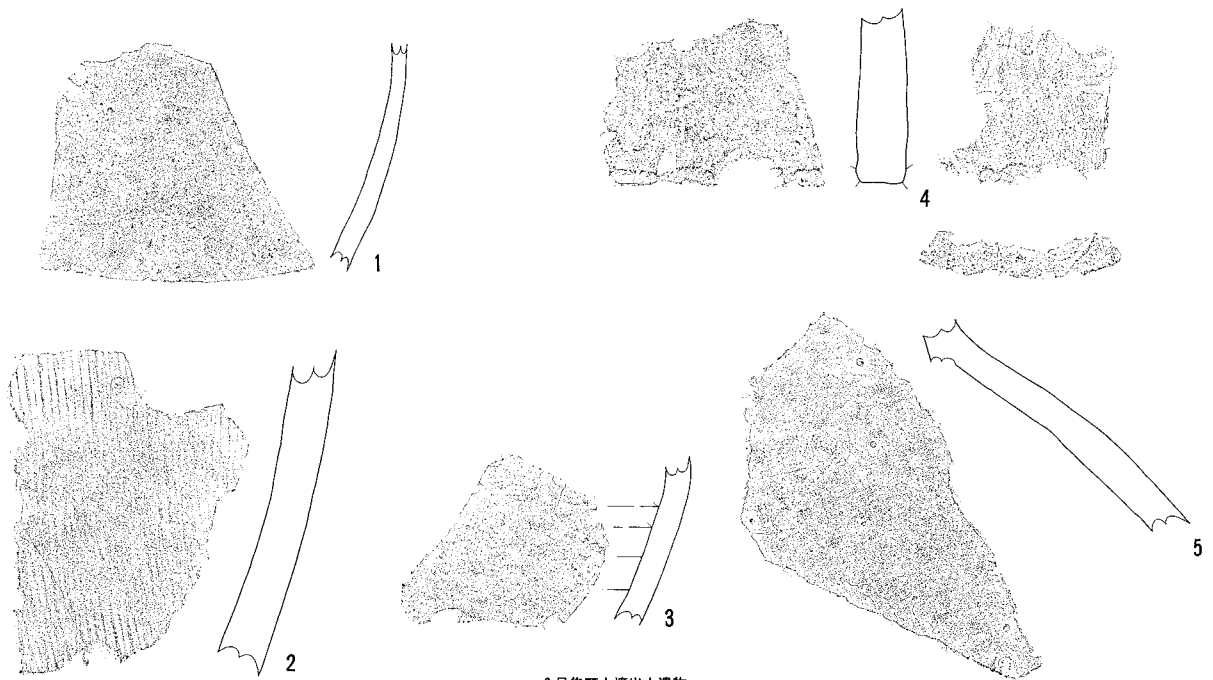


3号集石土壙出土遺物

第268图 2、3号集石土壙出土遺物 (1/3)



5号集石土壙出土遺物

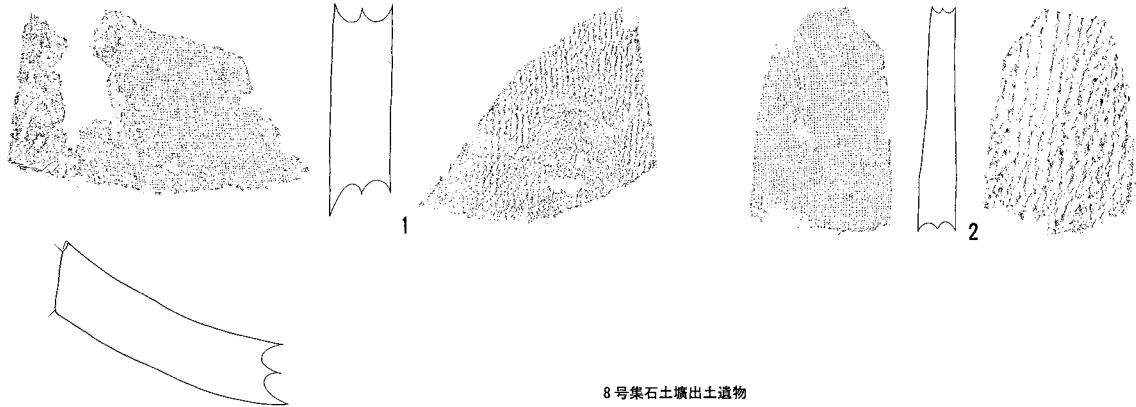


6号集石土壙出土遺物

第269图 5、6号集石土壙出土遺物 (1/3)



7号集石土壙出土遺物



8号集石土壙出土遺物

第270図 7、8号集石土壙出土遺物 (1/3)

第158表 集石土壙出土遺物観察表

5号集石土壙

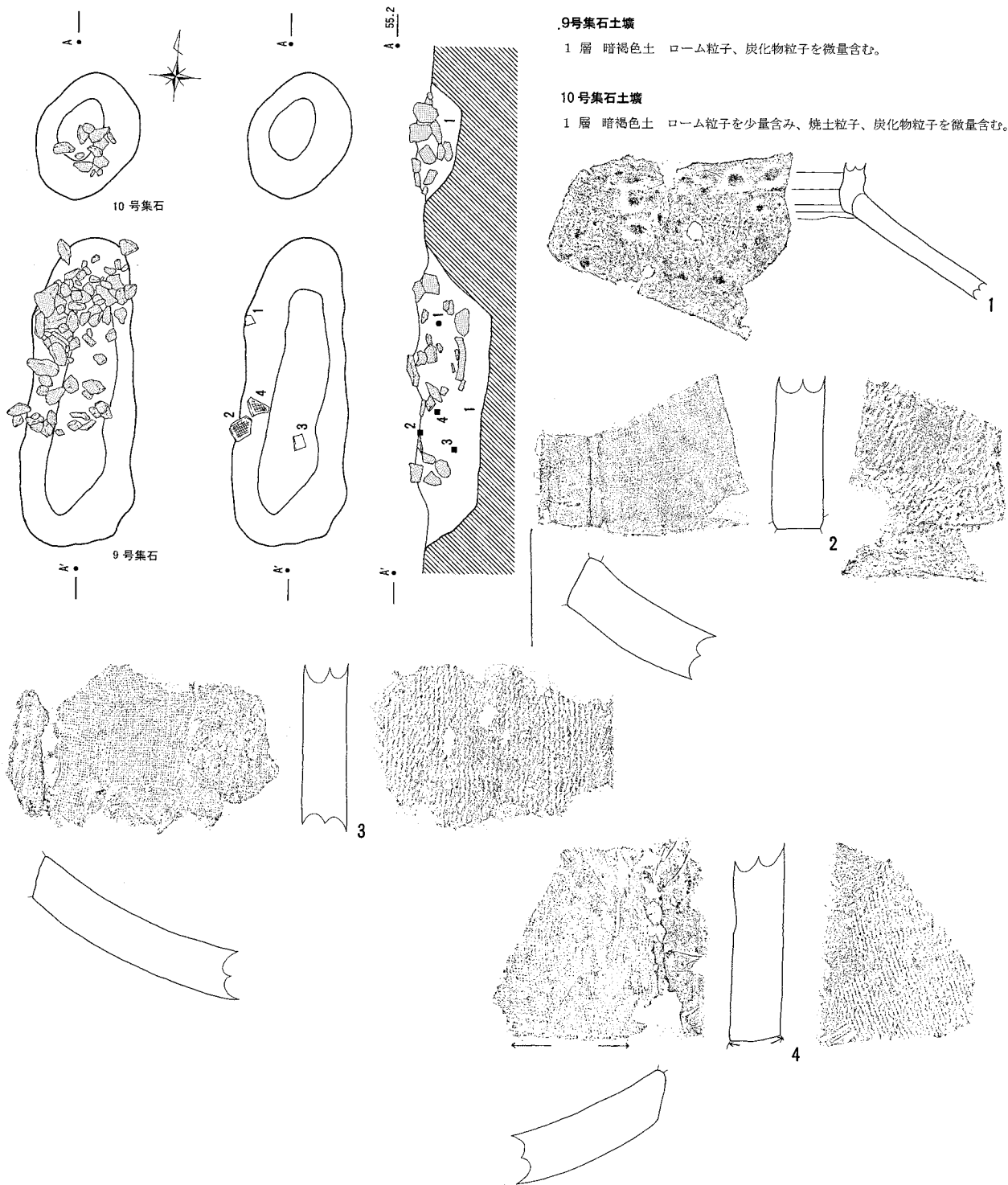
単位はcm ()は推定値 < >は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
1		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器内外面にロクロ水挽き整形。器内外面に自然釉。
2		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器内外面にロクロ水挽き整形。
3		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器外面に斜め方向の平行叩き。器内面に当て具痕が残る。
4		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器外面に斜め方向の平行叩き。器内面にナデ整形。
5		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器内外面にロクロ水挽き整形。胴部下端に篋削り。
6		壺	-	-	-	-	還元焰焼成	器内外面にロクロ水挽き整形。胴部下端に篋削り。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。
7		平瓦	-	-	-	-	還元焰焼成	凹面は布目痕、凸面は縄叩き。端面は篋削り。
8		平瓦	-	-	-	-	還元焰焼成	凹面は布目痕、凸面は縄叩き。端面は篋削り。
9		平瓦	-	-	-	-	還元焰焼成	凹面は布目痕、凸面は縄叩き。

6号集石土壙

単位はcm ()は推定値 < >は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
1		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器外面に斜め方向の平行叩き。器内面にナデ整形。
2		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器外面に斜め方向の平行叩き。器内面にナデ整形。
3		壺	-	-	-	-	還元焰焼成	器内外面にロクロ水挽き整形。湖西窯跡産。
4		丸瓦	-	-	-	-	還元焰焼成	凹面は布目痕、凸面は篋削り整形。凹面端部に篋削り。
5		甕	-	-	-	-	陶器	器外面に押印文。外面に施釉。



9号集石土壌

1 層 暗褐色土 ローム粒子、炭化物粒子を微量含む。

10号集石土壌

1 層 暗褐色土 ローム粒子を少量含み、焼土粒子、炭化物粒子を微量含む。

第271図 9、10号集石土壌 (1/60) 9号集石土壌出土遺物 (1/3)

7号集石土壌

単位はcm ()は推定値 < >は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
1		壺	-	-	-	-	還元焰焼成	器内外面にロクロ水挽き整形。器外面に施釉。

第159表 集石土壙出土遺物観察表

8号集石土壙

単位はcm ()は推定値 ()は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
1		平瓦	-	-	-	-	還元焰焼成	凹面は布目痕、凸面は縄叩き。側面は匏削り。
2		平瓦	-	-	-	-	還元焰焼成	凹面は布目痕、凸面は縄叩き。

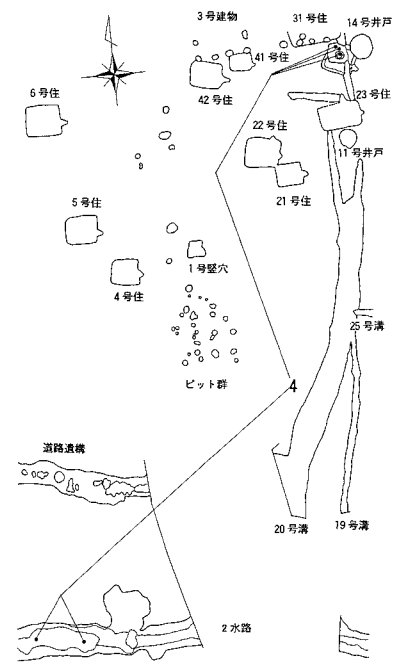
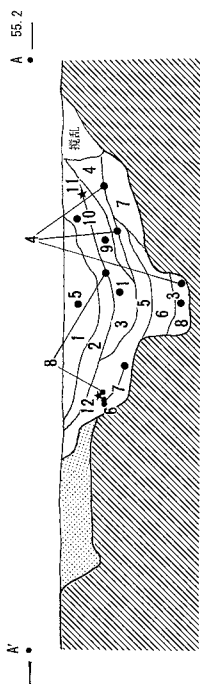
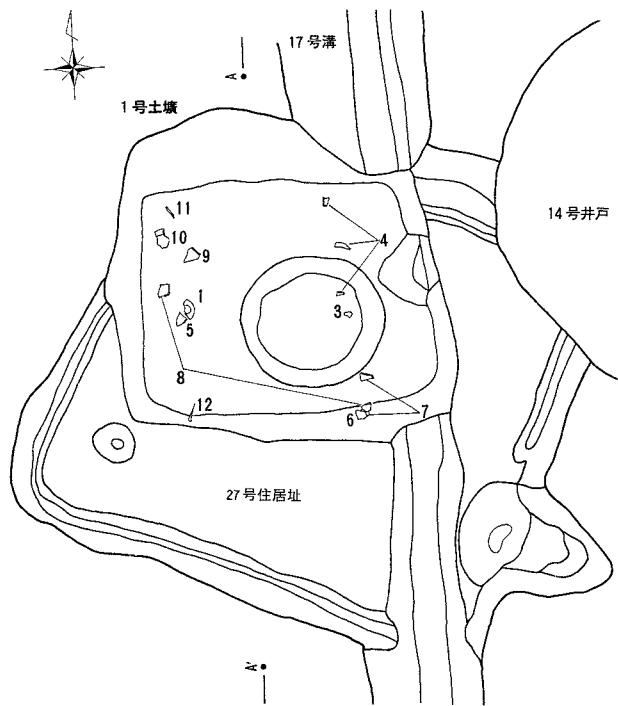
10号集石土壙

単位はcm ()は推定値 ()は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
1		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器外面にロクろ水挽き整形。肩部外面に施釉。湖西窯跡産。
2		平瓦	-	-	-	-	還元焰焼成	凹面は布目痕、凸面は縄叩き。側面、端面、凹面側部、凸面端部に匏削り。
3		平瓦	-	-	-	-	半還元焰焼成	凹面は布目痕、凸面は縄叩き。側面は匏削り。
4		平瓦	-	-	-	-	還元焰焼成	凹面は布目痕、凸面は縄叩き。側面、凹面側部に匏削り。

(9) 土壙

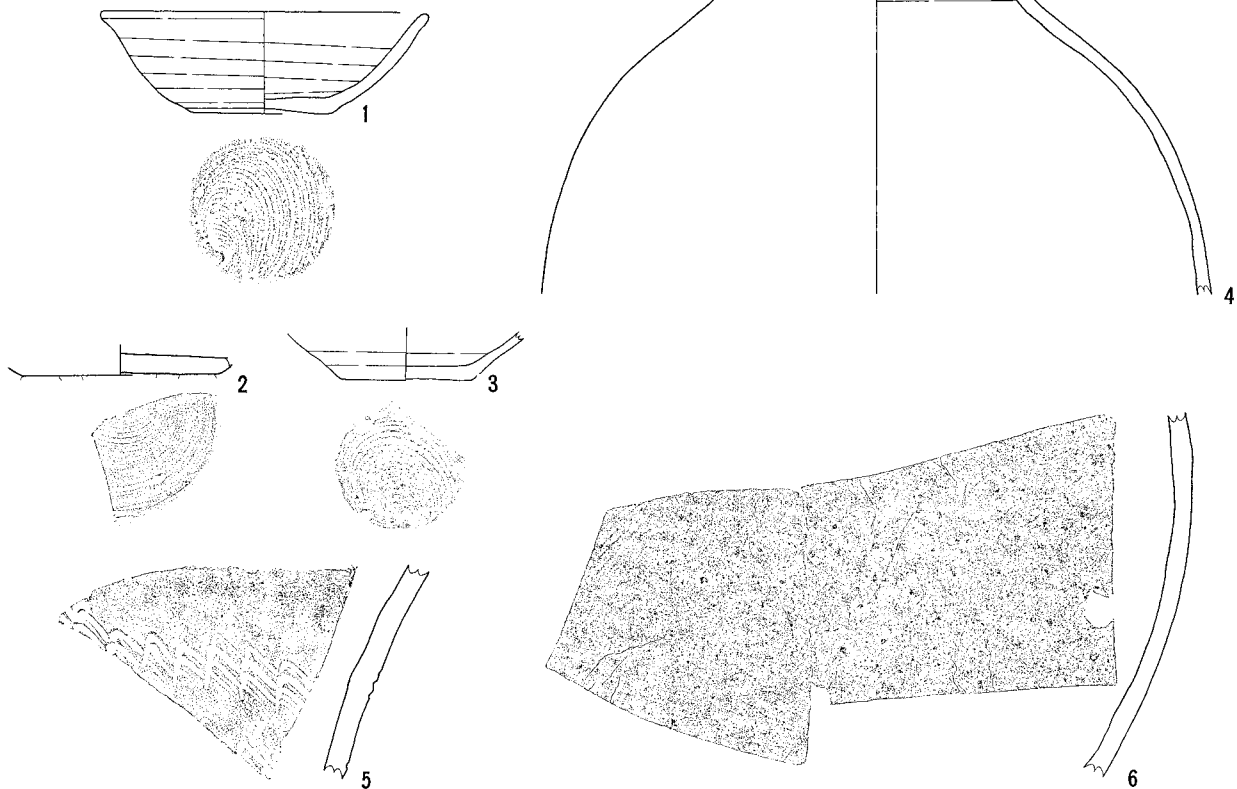
遺構名	長軸(m)	短軸(m)	深さ(cm)	備考
1号土壙	1.12	1.03	45	方形。
2号土壙	2.55	2.35	21	円形。
3号土壙	0.85	0.85	60	円形。
4号土壙	1.65	1.0	35	楕円形。
5号土壙	0.85	0.52	-	楕円形。
6号土壙	1.47	1.15	46	不整形。
7号土壙	2.5	1.01	55	楕円形。
8号土壙	1.36	0.56	53	楕円形。
9号土壙	2.7	1.18	74	楕円形。
10号土壙	2.16	1.45	73	楕円形。
11号土壙	1.7	1.07	26	楕円形。
12号土壙	2.1	-	48	楕円形。
13号土壙	1.0	-	30	不整形。
14号土壙	2.75	1.6	77	楕円形。
15号土壙	4.4	1.53	30	不整形。
16号土壙	0.75	0.64	15	方形。
17号土壙	0.98	0.65	15	方形。
18号土壙	1.2	0.8	15	方形。
19号土壙	2.15	1.2	17	不整形。
20号土壙	1.77	1.1	16	不整形。
21号土壙	1.25	0.83	20	楕円形。
22号土壙	1.23	1.1	17	円形。



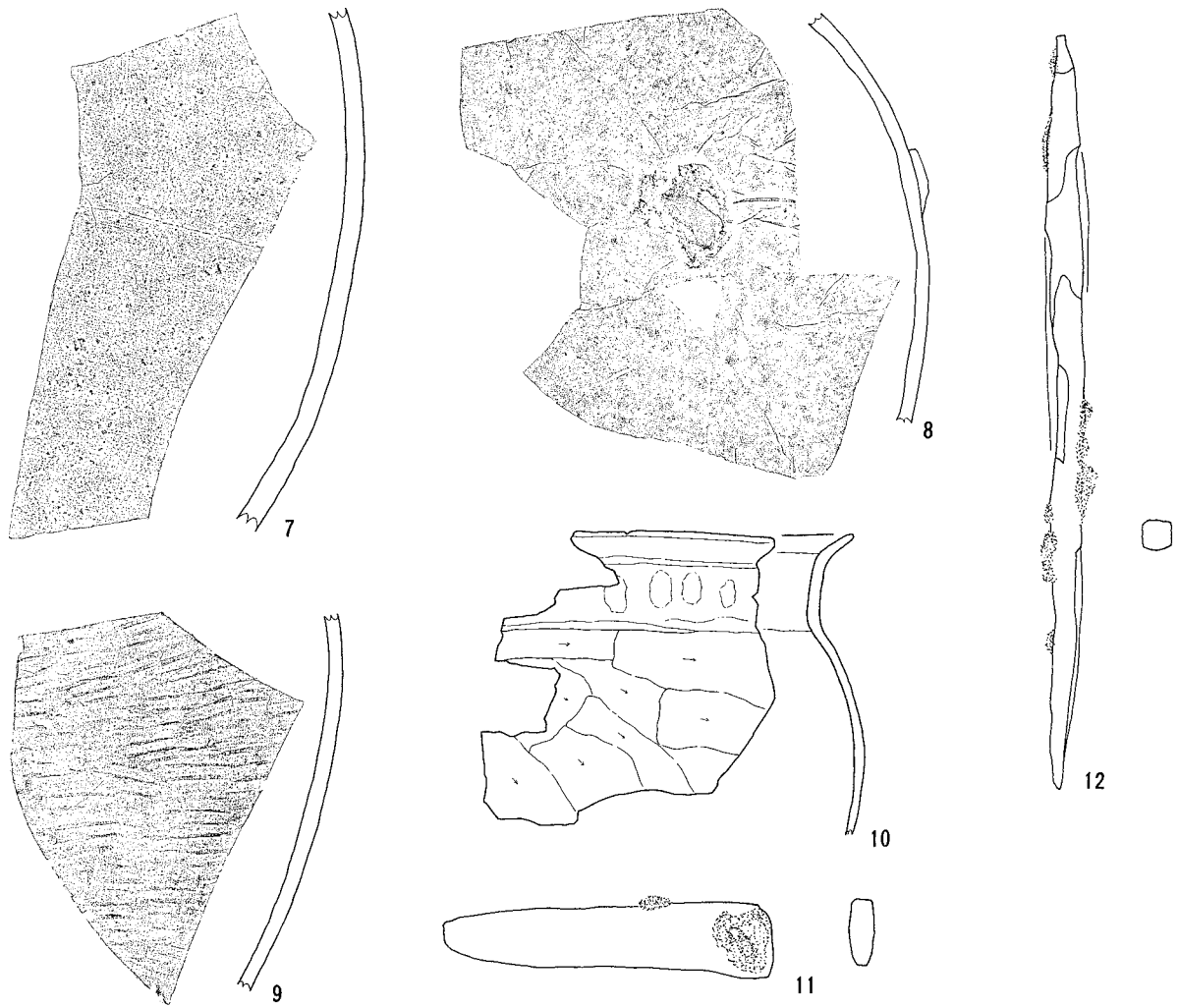
遺構間接合図 (1/1000)

1号土壌

- 1層 暗褐色土 ローム粒子を微量含む。
- 2層 暗黄褐色土 ローム粒子を少量含む。
- 3層 黒褐色土 ローム粒子を微量含む。
- 4層 暗褐色土 ローム粒子、ローム小ブロックを微量含む。
- 5層 暗褐色土 ローム粒子を少量含む。
- 6層 黒褐色土 ローム粒子を極微量含む。
- 7層 暗黄褐色土 ローム粒子を少量、ローム小ブロックを微量含む。
- 8層 暗黄褐色土 ローム粒子、炭化物粒子を少量含む。

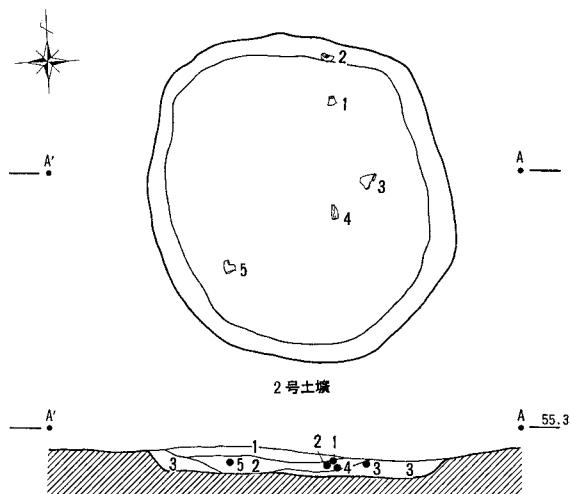


第272図 1号土壌 (1/60) 出土遺物 (1) (1/3) 但し、4は (1/6)



第273図 1号土壙出土遺物 (2) (1/3) 但し、11、12は (2/3)

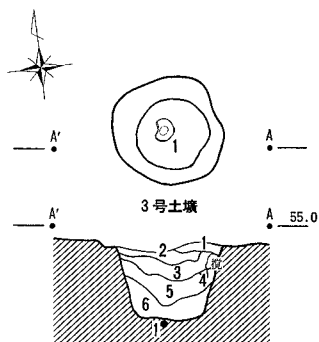
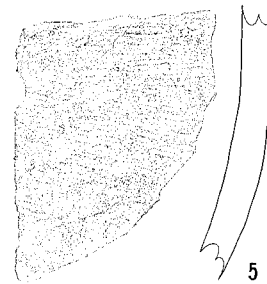
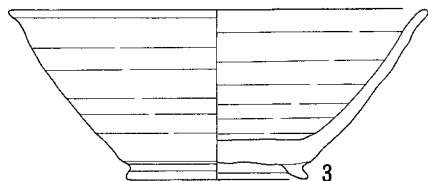
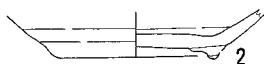
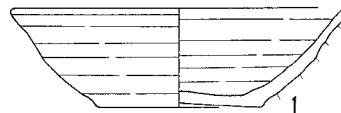
遺構名	長軸(m)	短軸(m)	深さ(cm)	備考
23号土壙	1.15	0.88	12	方形。
24号土壙	1.17	0.98	16	不整形。
25号土壙	1.42	0.65	11	楕円形。
26号土壙	1.35	0.78	15	楕円形。
27号土壙	0.95	0.75	15	楕円形。
28号土壙	1.1	0.68	14	楕円形。
29号土壙	0.65	0.65	11	方形。
30号土壙	1.34	0.85	26	楕円形。
31号土壙	0.95	0.8	21	円形。
32号土壙	1.34	0.77	13	方形。
33号土壙	1.5	1.12	14	方形。
34号土壙	1.34	0.88	17	楕円形。
35号土壙	0.93	0.78	7.0	不整形。



2号土壙

2号土壙

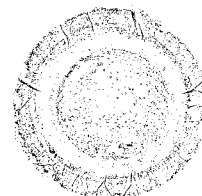
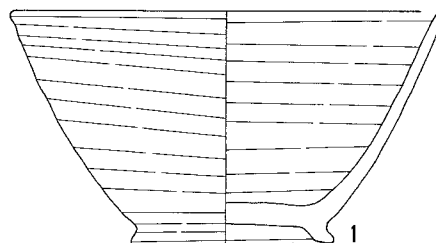
- 1層 暗褐色土 焼土粒子を微量含む。
- 2層 暗茶褐色土 焼土粒子を少量含む。
- 3層 暗黒茶褐色土 ローム粒子を多量に含む。



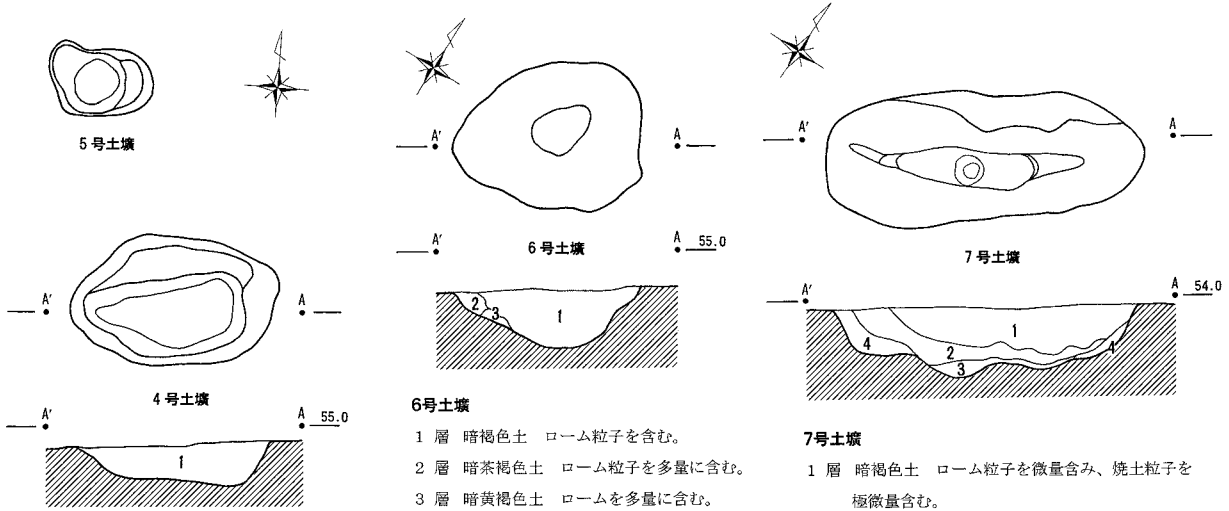
3号土壙

3号土壙

- 1層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子を微量含む。
- 2層 暗茶褐色土 ローム粒子、焼土粒子を微量含む。
- 3層 暗褐色土 ローム粒子を微量含む。
- 4層 明茶褐色土 粘土ブロック。
- 5層 暗赤褐色土 焼土粒子を多量に含み、炭化物粒子を少量含む。
- 6層 暗青灰褐色土 灰を含み、ローム粒子を微量含む。



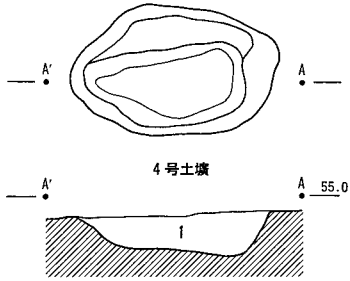
第274図 2号土壙 (1/60) 出土遺物 (1/3) 3号土壙 (1/60) 出土遺物 (1/3)



5号土坑

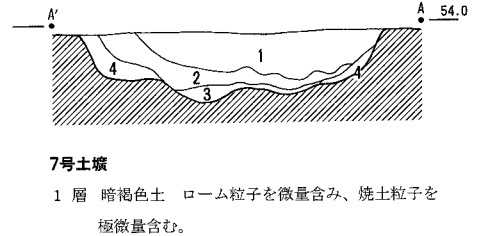
6号土坑

7号土坑



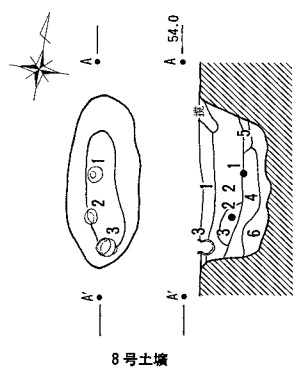
4号土坑

- 6号土坑
- 1層 暗褐色土 ローム粒子を含む。
 - 2層 暗茶褐色土 ローム粒子を多量に含む。
 - 3層 暗黄褐色土 ロームを多量に含む。



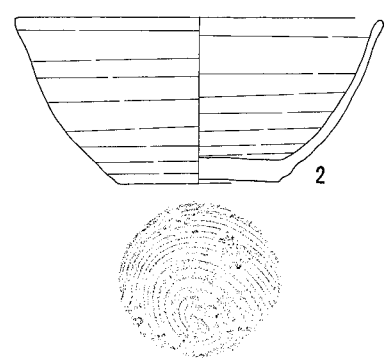
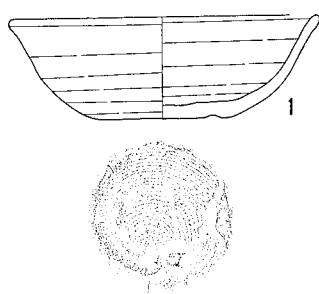
- 7号土坑
- 1層 暗褐色土 ローム粒子を微量含み、焼土粒子を極微量含む。
 - 2層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子を微量含む。
 - 3層 暗褐色土 ローム粒子を少量に含む。
 - 4層 暗黄褐色土 ローム粒子を多量に含む。

- 4号土坑
- 1層 暗褐色土 ローム粒子を微量含む。

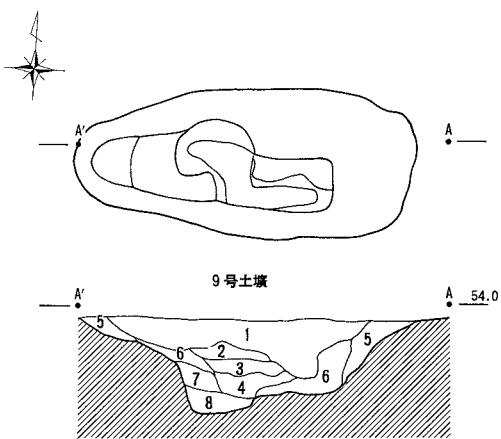
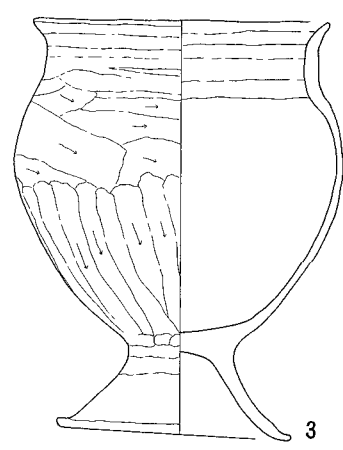


8号土坑

- 8号土坑
- 1層 暗黄褐色土 ローム粒子を多量に含み、炭化物粒子を微量含む。
 - 2層 暗黒褐色土 ローム粒子を多量に含み、ロームブロックを少量含み、炭化物粒子を微量含む。
 - 3層 暗黒褐色土 ローム粒子を微量含む。



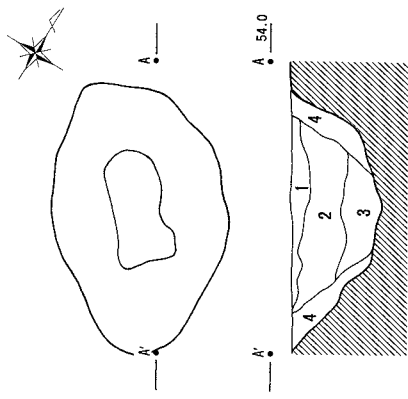
- 4層 明褐色土 ローム、ローム粒子を多量に含む。
- 5層 暗褐色土 ローム粒子を多量に含む。
- 6層 暗褐色土 ローム粒子を多量に含み、炭化物粒子を少量含む。



9号土坑

- 9号土坑
- 1層 暗褐色土 ローム粒子を微量含み、焼土粒子を極微量含む。
 - 2層 暗黄褐色土 ローム粒子を多量に含む。
 - 3層 暗褐色土 ローム粒子を微量含み、ロームブロックを極微量含む。
 - 4層 暗褐色土 ローム粒子を微量含む。
 - 5層 暗黄褐色土 ローム粒子を多量に含む。
 - 6層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子を微量含む。
 - 7層 暗黄褐色土 ロームブロックを多量に含む。
 - 8層 暗褐色土 ローム粒子、ロームブロックを少量含む。

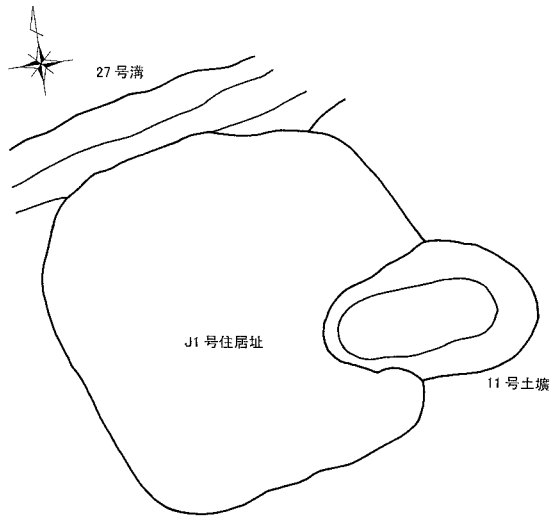
第275図 4~9号土坑 (1/60) 8号土坑出土遺物 (1/3)



10号土塙

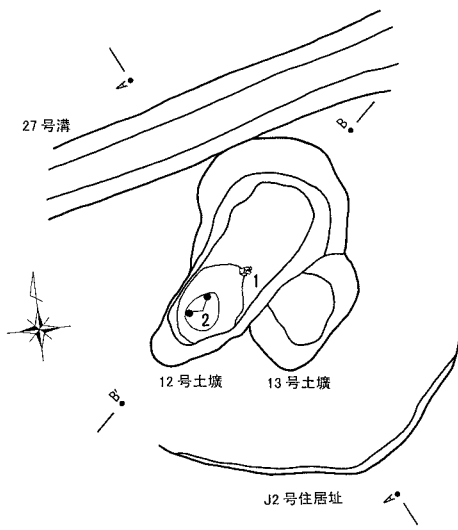
10号土塙

- 1層 暗褐色土 ローム粒子を微量含む。
- 2層 暗黒褐色土 ローム粒子、炭化物粒子を微量含む。
- 3層 暗褐色土 ローム粒子を少量含み、炭化物粒子を極微量含む。
- 4層 暗褐色土 ローム粒子を多量に含む。



J1号住居址

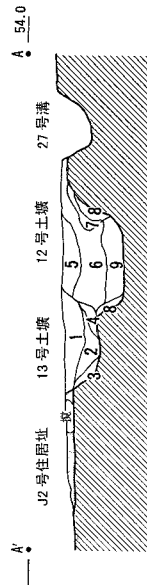
11号土塙



12号土塙

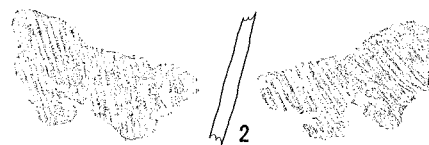
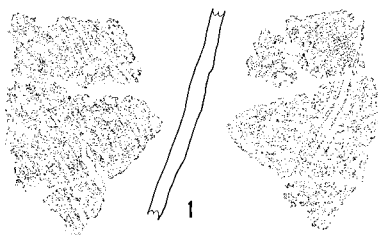
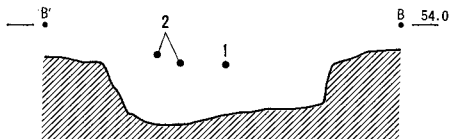
13号土塙

J2号住居址

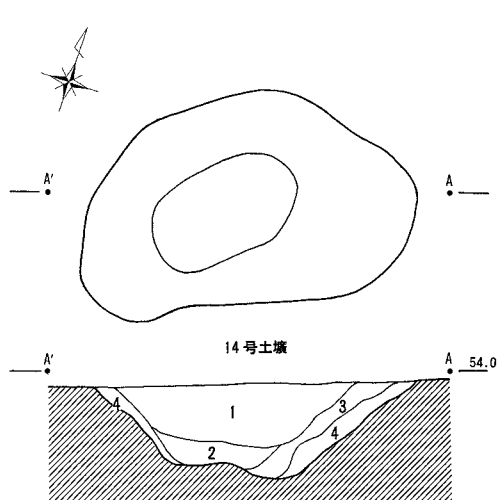


12、13号土塙

- 1層 暗黒茶褐色土 ローム粒子、焼土粒子を微量含む。
- 2層 暗黒褐色土 ローム粒子、炭化物粒子を微量含む。
- 3層 暗褐色土 ローム粒子、ロームブロックを少量含む。
- 4層 暗褐色土 ローム粒子を微量含む。
- 5層 暗黒茶褐色土 ローム粒子、焼土粒子を極微量含む。
- 6層 暗黒褐色土 ローム粒子、焼土粒子、炭化物を微量含む。
- 7層 暗褐色土 ローム粒子を多量に含む。
- 8層 暗黄褐色土 ローム、ローム粒子を多量に含む。
- 9層 黒褐色土 ローム粒子、焼土粒子、炭化物を極微量含む。

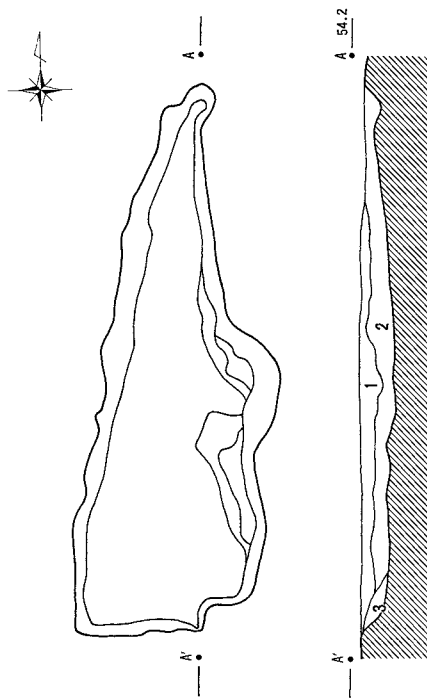


第276図 10~13号土塙 (1/60) 12号土塙出土遺物 (1/3)



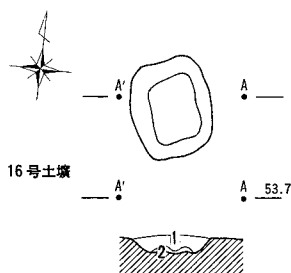
14号土壌

- 1層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子を微量含む。
- 2層 暗褐色土 ローム粒子を微量含む。
- 3層 暗褐色土 ローム粒子を少量含む。
- 4層 暗褐色土 ローム粒子を含む。



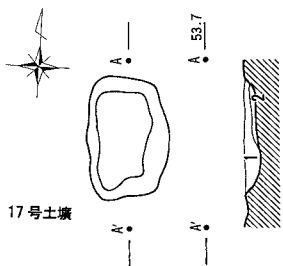
15号土壌

- 1層 暗褐色土 ローム粒子を微量含む。
- 2層 暗褐色土 ロームブロックを多量に含む。
- 3層 暗褐色土 ローム粒子を多量に含む。



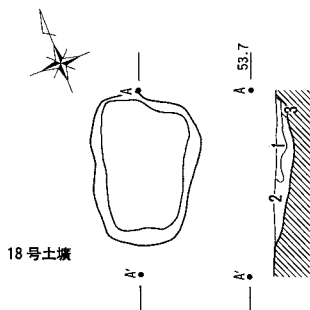
16号土壌

- 1層 暗褐色土 ローム粒子を微量含む。
- 2層 暗茶褐色土 ローム粒子を多量に含む。



17号土壌

- 1層 暗褐色土 ローム粒子を微量含む。
- 2層 暗茶褐色土 ローム粒子を多量に含む。



18号土壌

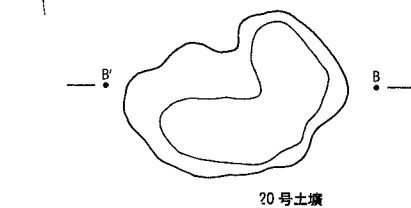
- 1層 暗褐色土 ロームブロックを多量に含む。
- 2層 暗褐色土 ローム粒子を少量含む。
- 3層 茶褐色土 茶褐色ロームを含む。



19号土壌

19号土壌

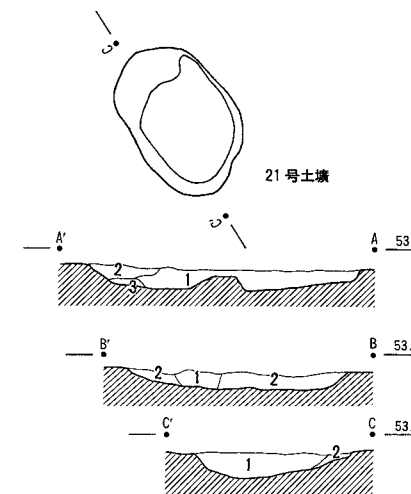
- 1層 暗茶褐色土 茶褐色ロームブロックを多量に含む。
- 2層 暗褐色土 ロームブロックを含む。
- 3層 暗茶褐色土 茶褐色ロームを含む。



20号土壌

20号土壌

- 1層 暗褐色土 ローム粒子を含む。
- 2層 暗茶褐色土 ロームブロック多量に量含む。

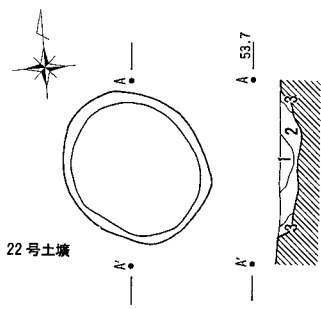


21号土壌

21号土壌

- 1層 暗褐色土 ロームブロックを含む。
- 2層 暗茶褐色土 茶褐色ロームを含む。

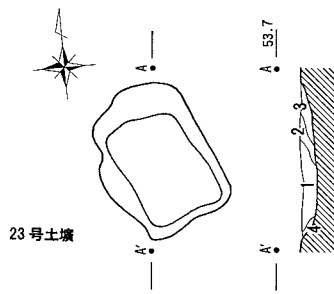
第277図 14～21号土壌 (1/60)



22号土坑

22号土坑

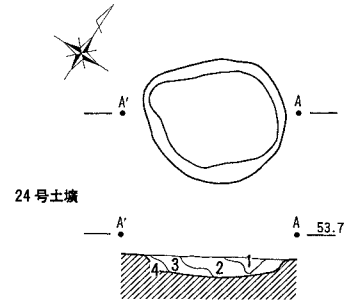
- 1 層 暗茶褐色土 茶褐色ロームブロックを多量に含む。
- 2 層 暗褐色土 ローム粒子を微量含む。
- 3 層 茶褐色土 茶褐色ロームを含む。



23号土坑

23号土坑

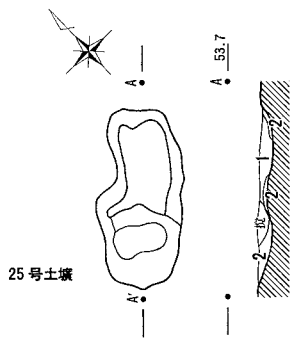
- 1 層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子を微量含む。
- 2 層 暗褐色土 ローム粒子を含む。
- 3 層 暗褐色土 ローム粒子を微量含む。
- 4 層 茶褐色土 茶褐色ローム粒子を含む。



24号土坑

24号土坑

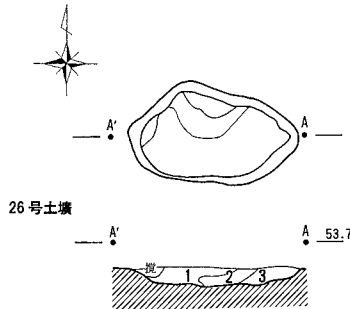
- 1 層 暗褐色土 ローム粒子を微量含む。
- 2 層 暗茶褐色土 茶褐色ロームを多量に含む。
- 3 層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子を微量含む。
- 4 層 茶褐色土 茶褐色ロームを含む。



25号土坑

25号土坑

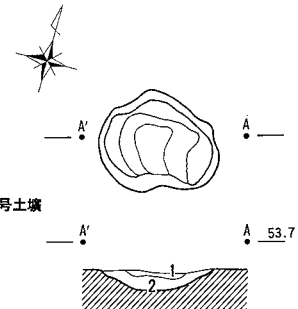
- 1 層 暗褐色土 ローム粒子を微量含む。
- 2 層 茶褐色土 茶褐色ロームを含む。



26号土坑

26号土坑

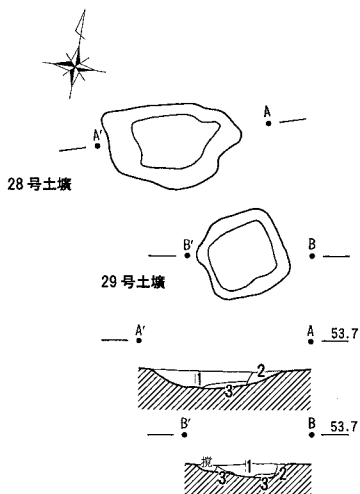
- 1 層 暗褐色土 ローム粒子を少量含む。
- 2 層 黒褐色土 ロームを多量に含む。
- 3 層 暗褐色土 ローム粒子を微量含む。



27号土坑

27号土坑

- 1 層 暗褐色土 ローム粒子を多量に含む。
- 2 層 暗褐色土 ローム粒子を微量含む。



28号土坑

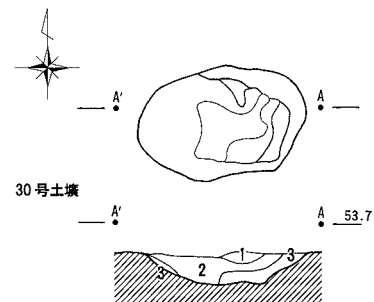
29号土坑

28号土坑

- 1 層 暗褐色土 ローム粒子を少量含む。
- 2 層 明茶褐色土 ロームを多量に含む。
- 3 層 茶褐色土 ロームを含む。

29号土坑

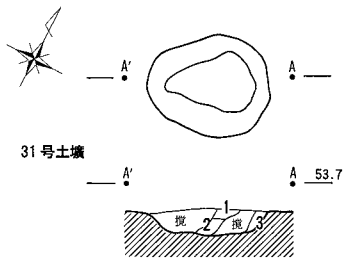
- 1 層 暗褐色土 ローム粒子を微量含む。
- 2 層 暗茶褐色土 ローム粒子を多量に含む。
- 3 層 茶褐色土 ロームを多量に含む。



30号土坑

30号土坑

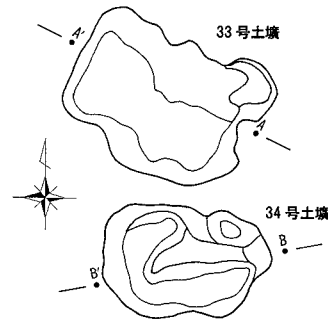
- 1 層 暗茶褐色土 ロームブロックを多量に含む。
- 2 層 暗褐色土 ローム粒子を少量含む。
- 3 層 茶褐色土 ロームを多量に含む。



31号土壌

31号土壌

- 1層 暗茶褐色土 ローム粒子を多量に含む。
- 2層 暗褐色土 ローム粒子を少量含む。
- 3層 茶褐色土 ロームを多量に含む。



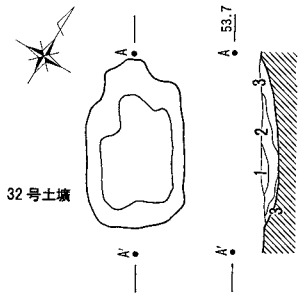
33号土壌

33号土壌

- 1層 暗茶褐色土 ローム粒子を多量に含む。
- 2層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子を微量含む。
- 3層 茶褐色土 ロームを多量に含む。

34号土壌

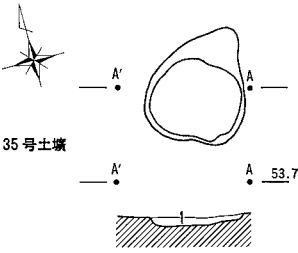
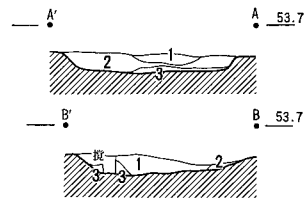
- 1層 暗黄褐色土 ローム粒子、焼土粒子を微量含む。
- 2層 茶褐色土 ロームを多量に含む。
- 3層 暗茶褐色土 ローム粒子を多量に含む。



32号土壌

32号土壌

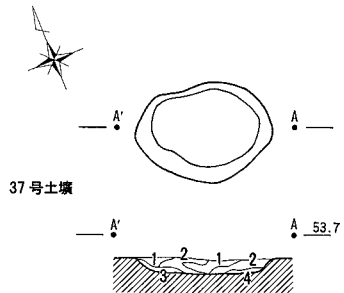
- 1層 暗茶褐色土 ロームブロックを含む。
- 2層 暗褐色土 ローム粒子を少量含む。
- 3層 茶褐色土 ロームを多量に含む。



35号土壌

35号土壌

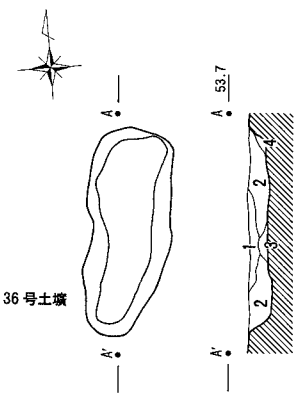
- 1層 暗褐色土 ローム粒子を多量に含み、焼土粒子を微量含む。



37号土壌

37号土壌

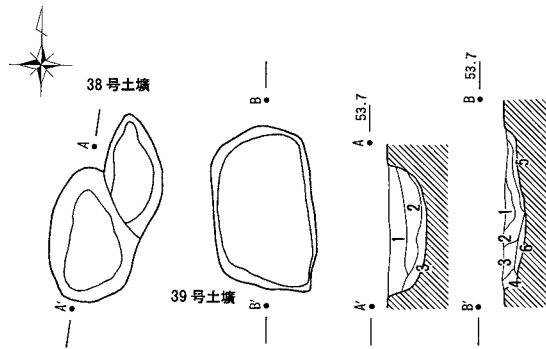
- 1層 暗茶褐色土 茶褐色ロームを多量に含む。
- 2層 暗褐色土 ローム粒子を含む。
- 3層 暗褐色土 ローム粒子を多量に含む。
- 4層 茶褐色土 茶褐色ロームを含む。



36号土壌

36号土壌

- 1層 暗褐色土 ローム粒子を含み、焼土粒子を微量含む。
- 2層 暗褐色土 ローム粒子を多量に含む。
- 3層 暗茶褐色土 茶褐色ロームを多量に含む。
- 4層 茶褐色土 茶褐色ロームを多量に含む。



38号土壌

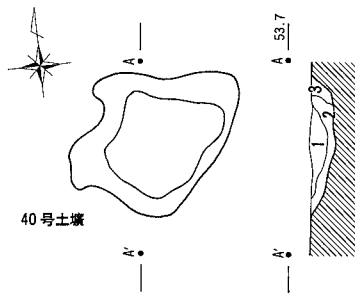
38号土壌

- 1層 暗茶褐色土 ロームを含み、焼土粒子を微量含む。
- 2層 暗褐色土 ローム粒子を含む。
- 3層 暗褐色土 ローム粒子を多量に含む。

39号土壌

39号土壌

- 1層 暗褐色土 ローム粒子を少量含む。
- 2層 暗褐色土 ローム粒子を含む。
- 3層 茶褐色土 ロームを含む。
- 4層 暗褐色土 ローム粒子を微量含む。
- 5層 茶褐色土 ロームを多量に含む。
- 6層 暗茶褐色土 ロームを多量に含む。

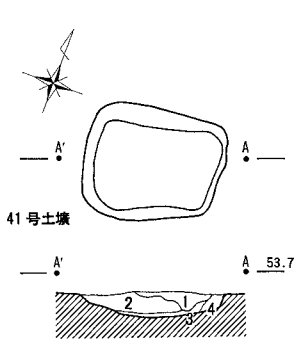


40号土壌

40号土壌

- 1層 暗褐色土 ローム粒子を多量に含む。
- 2層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子を微量含む。
- 3層 暗茶褐色土 茶褐色ローム粒子を多量に含む。

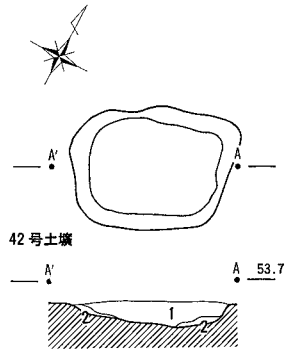
第279図 31~40号土壌 (1/60)



41号土坑

41号土坑

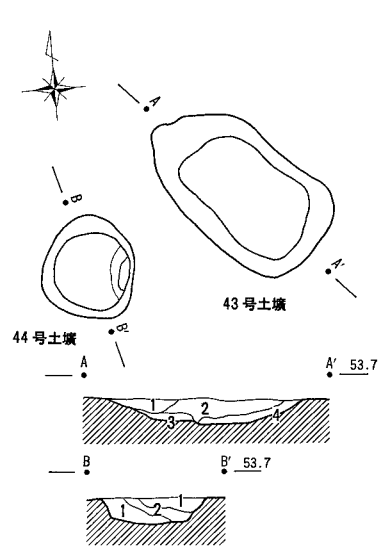
- 1層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子を微量含む。
- 2層 暗褐色土 ロームブロックを多量に含む。
- 3層 暗褐色土 ローム粒子を微量含む。
- 4層 暗茶褐色土 茶褐色ロームを多量に含む。



42号土坑

42号土坑

- 1層 暗褐色土 ローム粒子を多量に含む。
- 2層 暗茶褐色土 茶褐色ロームを多量に含む。



44号土坑

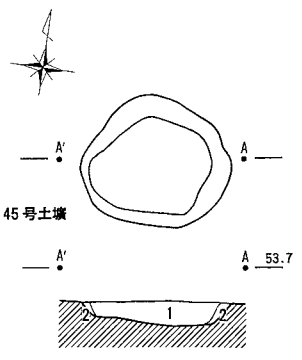
43号土坑

43号土坑

- 1層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子を微量含む。
- 2層 暗茶褐色土 茶褐色ロームを多量に含む。
- 3層 暗褐色土 ロームを多量に含む。
- 4層 暗褐色土 ロームを含む。

44号土坑

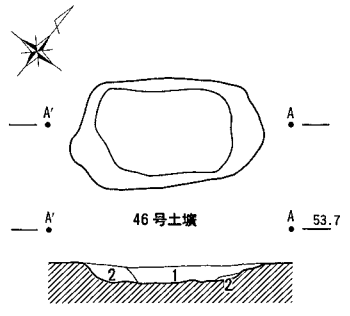
- 1層 暗褐色土 ローム粒子、焼土粒子を微量含む。
- 2層 暗茶褐色土 茶褐色ロームを多量に含む。



45号土坑

45号土坑

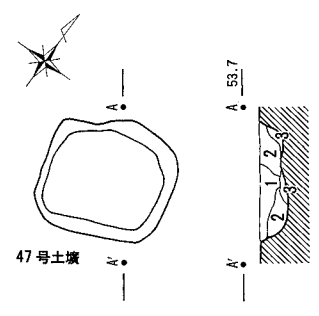
- 1層 暗褐色土 ローム粒子を微量含む。
- 2層 暗褐色土 ローム粒子を含む。



46号土坑

46号土坑

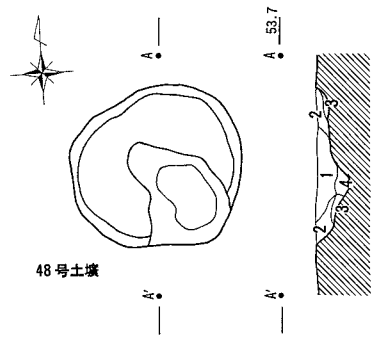
- 1層 暗褐色土 ローム粒子を少量含む。
- 2層 明茶褐色土 ローム粒子を多量に含む。



47号土坑

47号土坑

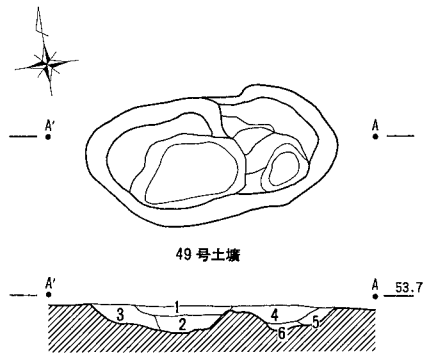
- 1層 暗褐色土 ローム粒子を含み、焼土粒子を微量含む。
- 2層 暗褐色土 ローム粒子を微量含む。
- 3層 暗茶褐色土 ロームを多量に含む。



48号土坑

48号土坑

- 1層 暗褐色土 ローム粒子を含む。
- 2層 暗茶褐色土 ローム粒子を多量に含む。
- 3層 暗茶褐色土 茶褐色ローム粒子を多量に含む。
- 4層 暗褐色土 ロームを多量に含む。

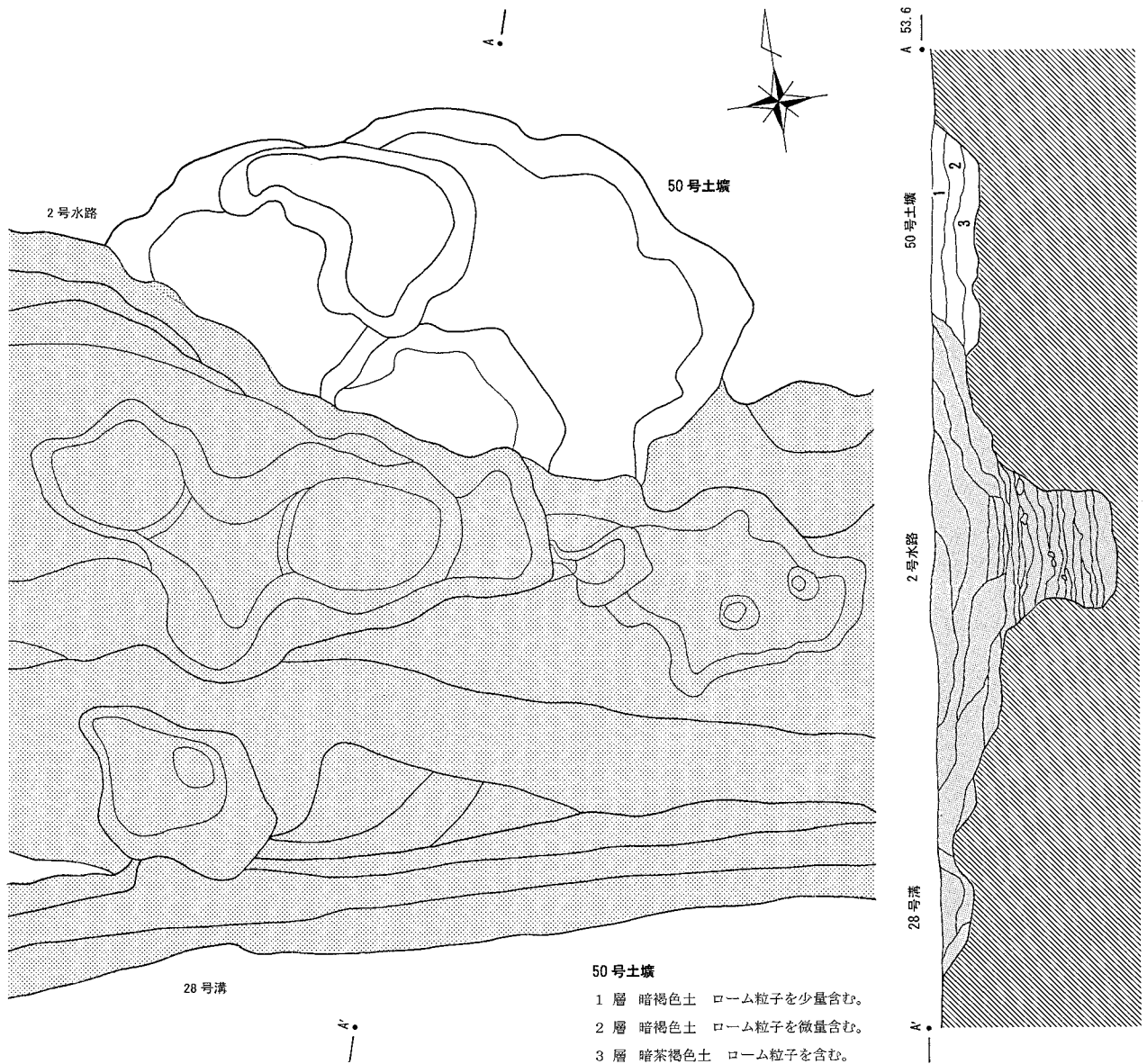


49号土坑

49号土坑

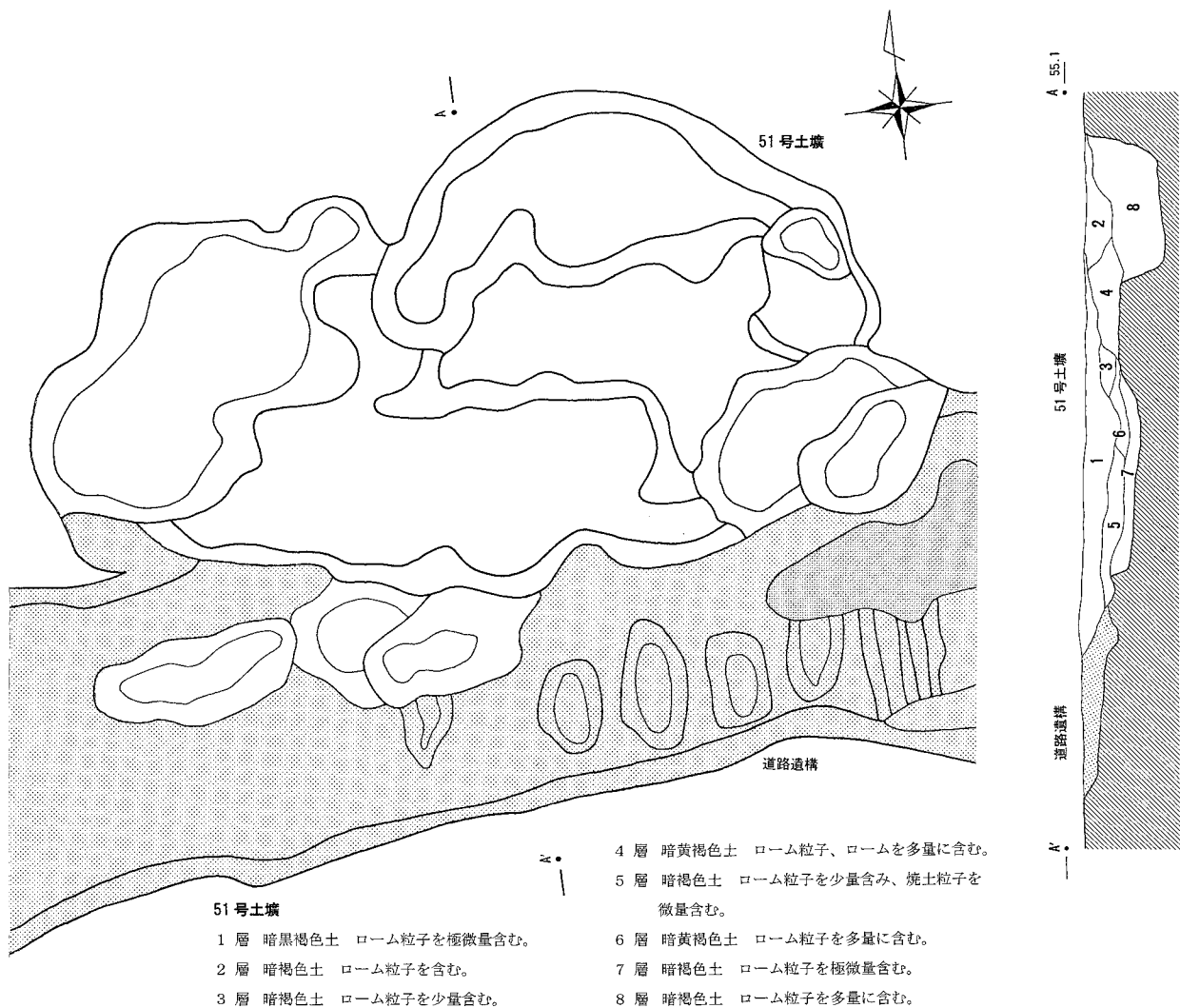
- 1層 暗褐色土 ローム粒子を少量含む。
- 2層 暗褐色土 ローム粒子を多量に含む。
- 3層 暗茶褐色土 ロームブロックを多量に含む。
- 4層 暗褐色土 ローム粒子を含む。
- 5層 暗褐色土 ローム粒子を含み、焼土粒子を微量含む。
- 6層 茶褐色土 ロームを含む。

第280図 41～49号土坑 (1/60)



第281図 50号土壙 (1/60)

遺構名	長軸(m)	短軸(m)	深さ(cm)	備考
36号土壙	1.63	0.65	19	楕円形。
37号土壙	1.1	0.8	12	楕円形。
38号土壙	1.53	0.73	30	楕円形。
39号土壙	1.3	0.8	17	方形。
40号土壙	1.2	0.95	21	不整形。
41号土壙	1.1	0.92	20	方形。
42号土壙	1.25	1.0	21	方形。
43号土壙	1.58	0.87	21	楕円形。
44号土壙	0.8	0.7	21	円形。



第282図 51号土壙 (1/60)

遺構名	長軸(m)	短軸(m)	深さ(cm)	備考
45号土壙	1.2	1.02	20	円形。
46号土壙	1.54	0.85	13	楕円形。
47号土壙	1.02	0.95	23	方形。
48号土壙	1.4	1.3	25	円形。
49号土壙	1.98	1.0	22	楕円形。
50号土壙	11.2	6.0	33~64	2号水路より古い。掘り方に規則性は認められない。ローム若しくは粘土を採掘するために、掘られた大小の掘り込みが重複している。
51号土壙	6.9	3.9	34~67	道路遺構より古い。掘り方に規則性は認められない。ローム若しくは粘土を採掘するために、掘られた大小の掘り込みが重複している。

第160表 土壙出土遺物観察表

1号土壙

単位はcm ()は推定値 < >は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
1	56-1	坏	12.9	5.8	4.7	4.0	還元焰焼成	底部は回転糸切り。残存率75%。
2		坏	-	(7.5)	-	-	還元焰焼成	底部は回転糸切り後外周部回転篋削り。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。
3		坏	-	5.4	4.8	-	還元焰焼成	底部は回転糸切り。
4	56-4	甕	(23.2)	-	-	-	還元焰焼成	口縁部の器内外面にロクロ水挽き整形。胴部器内面に当て具痕。器外面に自然釉。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。
5		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器内外面にロクロ水挽き整形。外面に波状文が横走。
6		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器外面に斜め方向の平行叩き。器内面に当て具痕。
7		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器外面にナデ整形。器内面に当て具痕。
8		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器外面に斜め、横方向の平行叩き。器内面はナデ整形。
9	56-9	壺	-	-	-	-	還元焰焼成	器外面にナデ整形。器内面に当て具痕。器外面に自然釉。
10		甕	-	-	-	-	土師器	口縁部はコの字を呈する。器外面に横、斜め方向の篋削り。

挿図番号	図版番号	種類	長さ	幅	厚み	観察・特徴
11	56-11	刀子	<6.6>	1.6	0.5	茎尻が欠損する。
12		釘	15.2	-	0.4	釘頭が欠損する。

2号土壙

単位はcm ()は推定値 < >は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
1		坏	(13.0)	(6.5)	-	3.3	半還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。残存率25%。
2		高台付坏	-	-	-	-	半還元焰焼成	底部は回転糸切り後に、高台を貼り付けている。
3		高台付壺	(16.4)	(7.0)	-	6.6	還元焰焼成	底部は回転糸切り後に、高台を貼り付けている。器内外面にロクロ水挽き整形。
4		短頸壺	-	-	-	-	半還元焰焼成	器内外面にロクロ水挽き整形。口縁部が大きく外反する。
5		甕	-	-	-	-	還元焰焼成	器外面に横、斜め方向の平行叩き。胎土に白色針状物質を含む。南比企窯跡産。

3号土壙

単位はcm ()は推定値 < >は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
1	57-1	高台付壺	16.8	7.7	6.7	9.1	半還元焰焼成	底部は回転糸切り後、高台を貼り付けている。器内外面にロクロ水挽き整形。残存率80%。

8号土壙

単位はcm ()は推定値 < >は既存値

挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
1	57-1	坏	12.2	5.7	5.7	3.9	酸化焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。完形。

単位はcm ()は推定値 ()は既存値

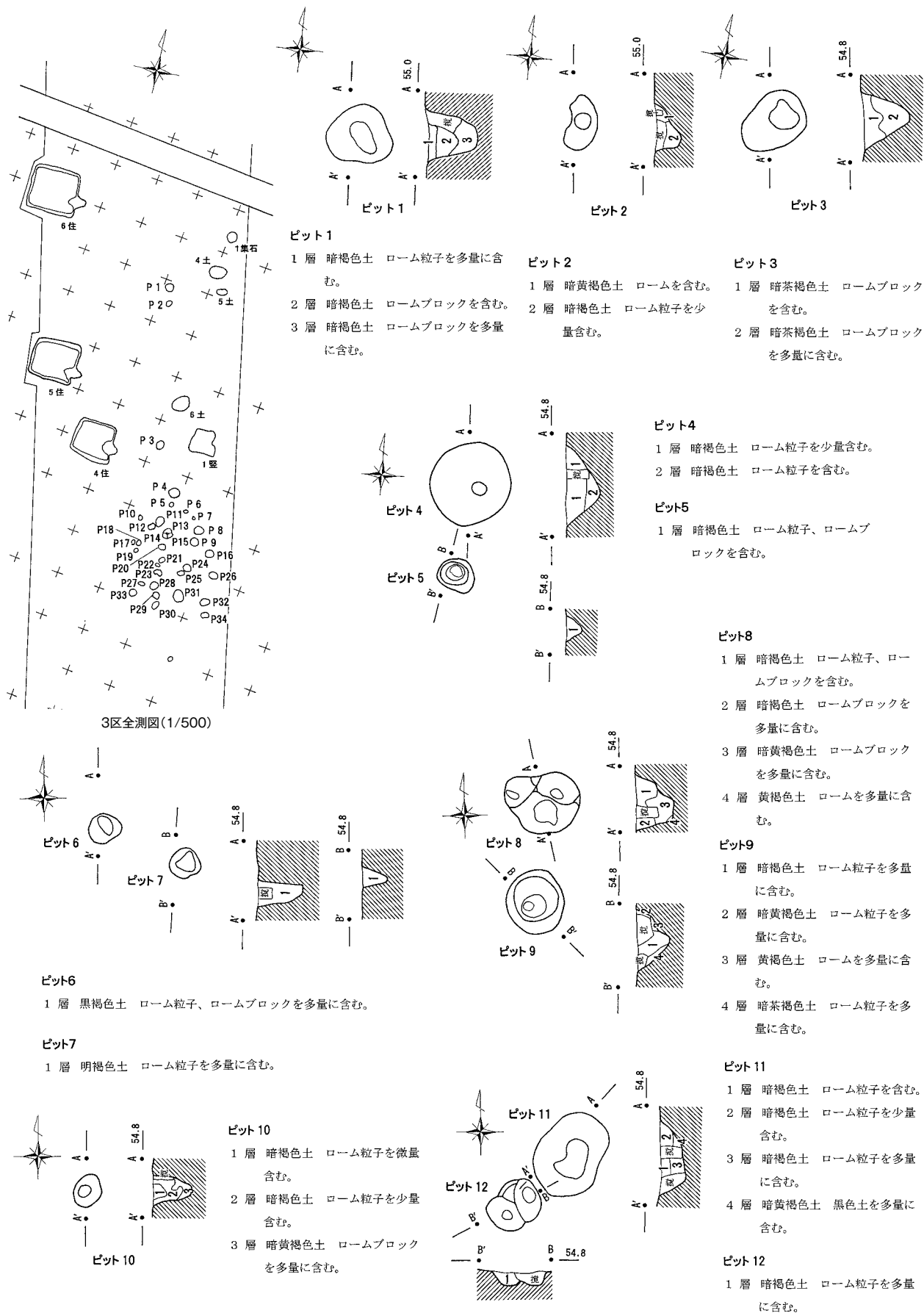
挿図番号	図版番号	器種	口径	底径	内底径	器高	焼成	観察・特徴
2	57-2	埴	14.4	6.4	6.4	6.5	還元焰焼成	底部は回転糸切り。器内外面にロクロ水挽き整形。完形。
3	57-3	台付甕	11.6	9.1	-	16.2	土師器	口縁部横ナデ。器外面胴部上半は横、斜め方向の篋削り。下半は縦方向の篋削り。脚部は内外面ともに横ナデ整形。完形。

12号土壙

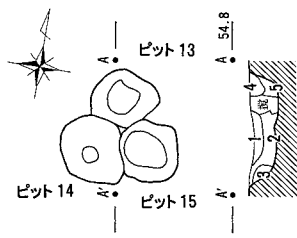
挿図番号	図版番号	部位	地紋	特徴
1		胴部	条痕文	器内外面に斜め方向に施文している。
2		胴部	条痕文	器内外面に斜め方向に施文している。

(10) ピット

遺構名	長軸、径(m)	短軸(m)	深さ(cm)	備考
ピット1	0.65	-	53	円形。
ピット2	0.6	0.28	25	楕円形。
ピット3	0.75	0.58	48	楕円形。
ピット4	0.9	-	37	円形。
ピット5	0.4	-	16	円形。
ピット6	0.4	-	48	円形。
ピット7	0.3	-	29	円形。
ピット8	0.8	0.6	40	不整形のピットが3本重複。
ピット9	0.7	-	35	円形。
ピット10	0.35	-	42	円形。
ピット11	0.96	0.67	25	楕円形。
ピット12	0.58	0.45	14	円形のピットが2本重複。
ピット13	0.55	-	18	円形。
ピット14	0.6	-	-	円形。
ピット15	0.55	-	-	円形。
ピット16	0.65	-	44	円形。
ピット17	0.41	-	33	円形。
ピット18	0.45	-	55	円形。
ピット19	0.4	-	16	円形。
ピット20	0.58	-	45	円形。
ピット21	0.84	0.6	26	不整形のピットが2本重複。古銭が出土。
ピット22	0.2	-	41	円形。
ピット23	0.77	0.43	43	楕円形。
ピット24	0.65	-	24	円形。
ピット25	0.6	0.36	44	楕円形。
ピット26	0.7	-	25	円形。
ピット27	0.4	0.33	29	円形のピットが2本重複。

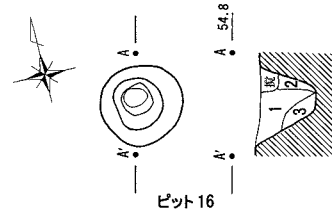


第283図 ピット1~12 (1/60)



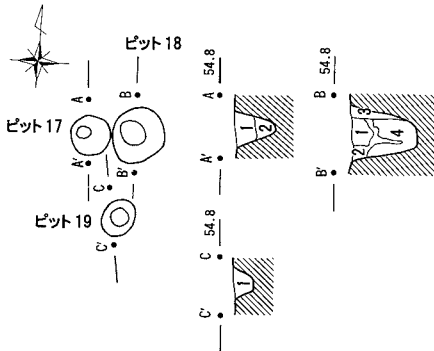
ピット 13, 14

- 1 層 暗褐色土 ローム粒子を含む。
- 2 層 暗褐色土 ローム粒子を多量に含む。
- 3 層 暗褐色土 ローム粒子を微量含む。
- 4 層 暗褐色土 ローム粒子を少量含む。
- 5 層 暗黄褐色土 ローム粒子を多量に含む。



ピット 16

- 1 層 明褐色土 ローム小ブロックを多量に含む。
- 2 層 暗黄褐色土 ロームブロックを多量に含む。
- 3 層 暗褐色土 ローム粒子を含む。



ピット 17

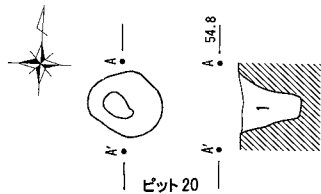
- 1 層 暗褐色土 ローム粒子、ロームブロックを少量含む。
- 2 層 暗黄褐色土 ロームブロックを多量に含む。

ピット 18

- 1 層 暗褐色土 ローム粒子を微量含む。
- 2 層 暗茶褐色土 ローム粒子を少量含む、ロームブロックを微量含む。
- 3 層 暗黄褐色土 ロームブロックを多量に含む。
- 4 層 黄褐色土 ローム

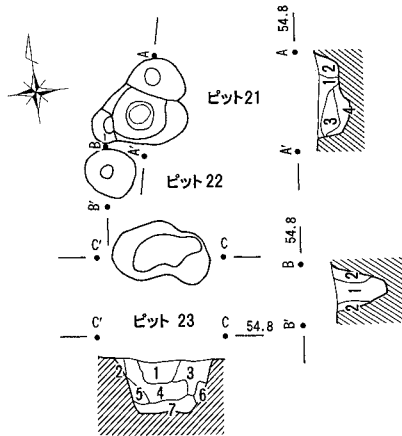
ピット 19

- 1 層 暗褐色土 ローム粒子を微量含む。



ピット 20

- 1 層 暗褐色土 ロームブロックを多量に含む。



ピット 21

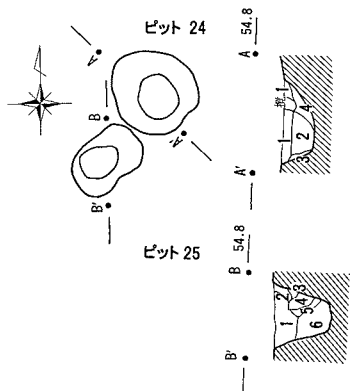
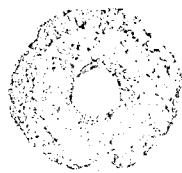
- 1 層 明褐色土 ローム粒子を多量に含む。
- 2 層 明褐色土 ローム粒子を含む。
- 3 層 暗褐色土 ローム粒子を多量に含む。
- 4 層 明褐色土 ローム小ブロックを多量に含む。

ピット 22

- 1 層 暗褐色土 ローム粒子を多量に含む。
- 2 層 暗黄褐色土 ロームを多量に含む。

ピット 23

- 1 層 黒暗褐色土 ローム粒子を含み、焼土粒子を微量含む。
- 2 層 暗黄褐色土 ロームを含む。
- 3 層 暗褐色土 ローム粒子、ロームブロックを多量に含む。
- 4 層 明黄褐色土 ロームブロックを多量に含む。
- 5 層 暗褐色土 ローム粒子を含む。
- 6 層 黄褐色土 ロームを含む。
- 7 層 暗褐色土 ローム粒子を多量に含む。



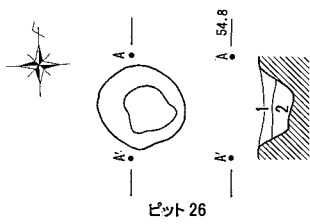
ピット 24

- 1 層 明褐色土 ローム粒子を多量に含む。
- 2 層 暗褐色土 ローム粒子を少量含む。
- 3 層 暗黄褐色土 黒色土粒子を含む。
- 4 層 暗褐色土 ローム粒子を微量含む。

ピット 25

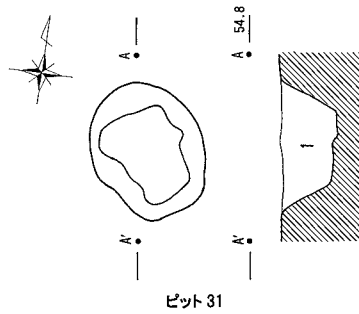
- 1 層 明褐色土 ローム粒子を多量に含む。
- 2 層 暗褐色土 ローム粒子を含む。
- 3 層 暗黄褐色土 ローム粒子を多量に含む。
- 4 層 暗黄褐色土 ロームブロックを多量に含む。
- 5 層 暗褐色土 ロームブロックを少量含む。
- 6 層 暗黄褐色土 ローム、ロームブロックを多量に含む。

第284図 ピット13～25 (1/60) ピット21出土遺物 (2/3)



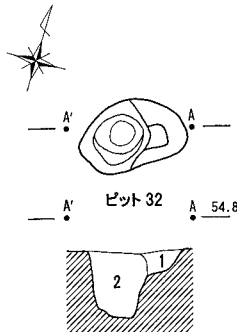
ピット 26

- 1 層 暗褐色土 ローム粒子を多量に含む。
- 2 層 暗褐色土 ローム粒子を少量含む。



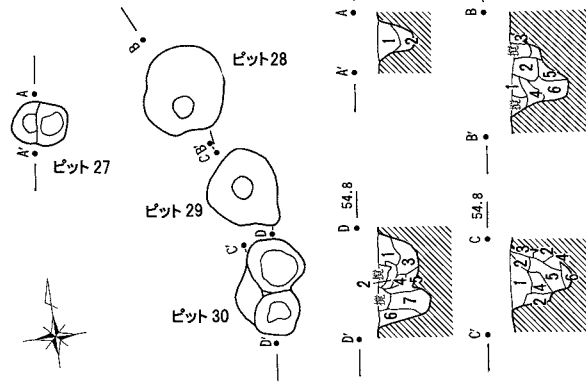
ピット 31

- 1 層 暗褐色土 ローム粒子、ロームブロックを多量に含む。



ピット 32

- 1 層 暗褐色土 ローム粒子を含む。
- 2 層 暗褐色土 ロームブロックを多量に含む。

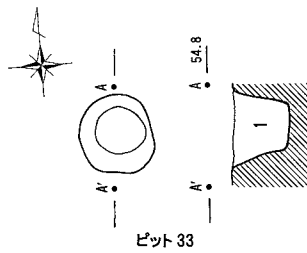


ピット 29

- 1 層 暗褐色土 ローム粒子を含む。
- 2 層 暗褐色土 ローム粒子、ロームブロックを多量に含む。
- 3 層 暗褐色土 ロームブロックを少量含む。
- 4 層 黒褐色土 ローム粒子を微量含む。
- 5 層 暗褐色土 ローム粒子を微量含む。
- 6 層 暗褐色土 ロームブロックを含む。

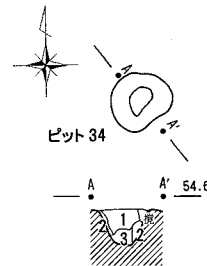
ピット 30

- 1 層 明褐色土 ロームブロックを含む。
- 2 層 暗褐色土 ローム粒子を含む。
- 3 層 暗黄褐色土 ロームブロックを多量に含む。
- 4 層 黒褐色土 ローム粒子を微量含む。
- 5 層 明褐色土 ローム粒子を多量に含む。
- 6 層 暗褐色土 ローム粒子を多量に含む。
- 7 層 暗褐色土 ローム粒子、ローム小ブロックを含む。



ピット 33

- 1 層 暗褐色土 ローム粒子、ロームブロックを含む。

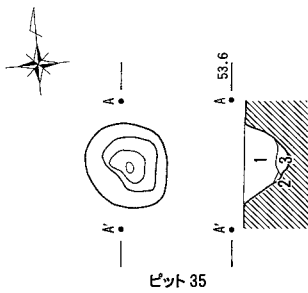
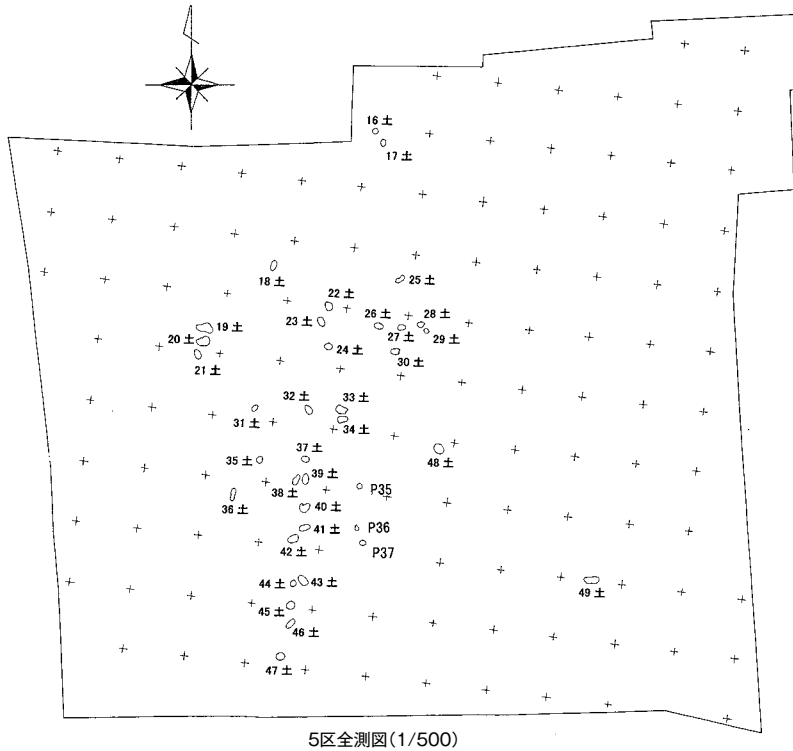


ピット 34

- 1 層 暗褐色土 ローム小ブロックを多量に含む。
- 2 層 黄褐色土 ロームを多量に含む。
- 3 層 暗褐色土 ローム粒子を含む。

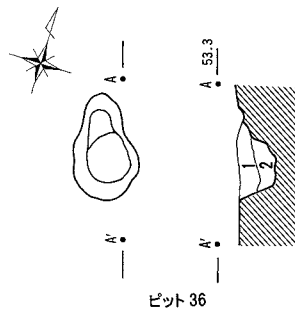
第285図 ピット26～32 (1/60)

遺構名	長軸、径(m)	短軸(m)	深さ(cm)	備考
ピット28	0.7	—	45	円形
ピット29	0.65	0.55	49	不整形
ピット30	0.75	0.43	43	ピットが2本重複。
ピット31	1.1	0.87	44	楕円形
ピット32	0.85	0.53	52	楕円形
ピット33	0.63	—	43	円形



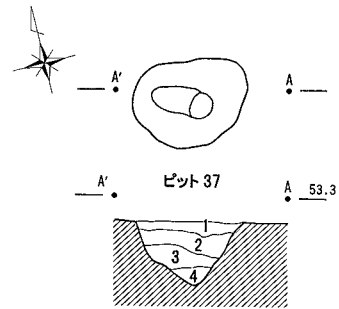
ピット 35

- 1 層 暗褐色土 ローム粒子を含み、焼土粒子を微量含む。
- 2 層 暗茶褐色土 茶褐色ロームを多量に含む。
- 3 層 暗褐色土 ローム粒子を含む。



ピット 36

- 1 層 暗褐色土 ローム粒子を少量含む。
- 2 層 暗褐色土 ロームブロックを含む。



ピット 37

- 1 層 暗褐色土 ローム粒子を含み、焼土粒子を微量含む。
- 2 層 暗黄褐色土 ロームを含む。
- 3 層 暗褐色土 ローム粒子を含む。
- 4 層 暗褐色土 ローム粒子を多量に含む。

第286図 ピット35～37 (1/60)

遺構名	長軸、径(m)	短軸(m)	深さ(cm)	備考
ピット34	0.48	—	30	円形
ピット35	0.65	—	40	円形
ピット36	0.85	0.5	30	楕円形
ピット37	0.92	0.68	49	楕円形

第161表 ピット出土遺物観察表
ピット24

単位はcm ()は推定値 ()は既存値

挿図番号	図版番号	種類	長さ	幅	厚み	観察・特徴
1		古銭	2.2	—	—	酸化が進み、緑青が発生。摩滅が激しい。□元通(?)寶と判読できる。渡来銭。

第4章 まとめ

1：須恵器坏を中心とした編年

拾石遺跡からは多くの遺構が検出されているが、主となるのは奈良時代と平安時代の住居址、掘立柱建物跡、井戸址などである。これら集落を構成する遺構から出土した須恵器坏を中心として、鳩山窯跡編年を基準に検討していきたい。I期の資料は出土していない。

Ⅱ期 8c 2/4

口径は14cm大が中心となり、底部は糸切り後に再調整を行う平底となる。底部から体部への移行箇所には腰を持つが、2号水路30は丸味を持つ。体部は大きくハの字に開き、形態は主に浅身の盤状を呈するが、中間タイプも僅かに見られる。31号住居址と2号水路から出土し、南比企窯跡群の製品が多く占めるが、僅かながら東金子窯跡の製品と胎土などの特徴から前内出窯跡系と考えられる製品も見られる。

Ⅲ期 8c 3/4

9、11、13、23、28、38、44号住居址、5号井戸址、2号水路から出土した坏の口径は12～14cm、底径6～9cm、内底径7～9cm、器高3～5cmの法量範囲に集中する。底部は回転糸切りで、再調整は側方B種篋削りを行っている。形態は、浅身、深身、中間形とバラエティである。体部は直線的に立ち上がるタイプが主で、僅かに丸味を持つタイプが見られる。

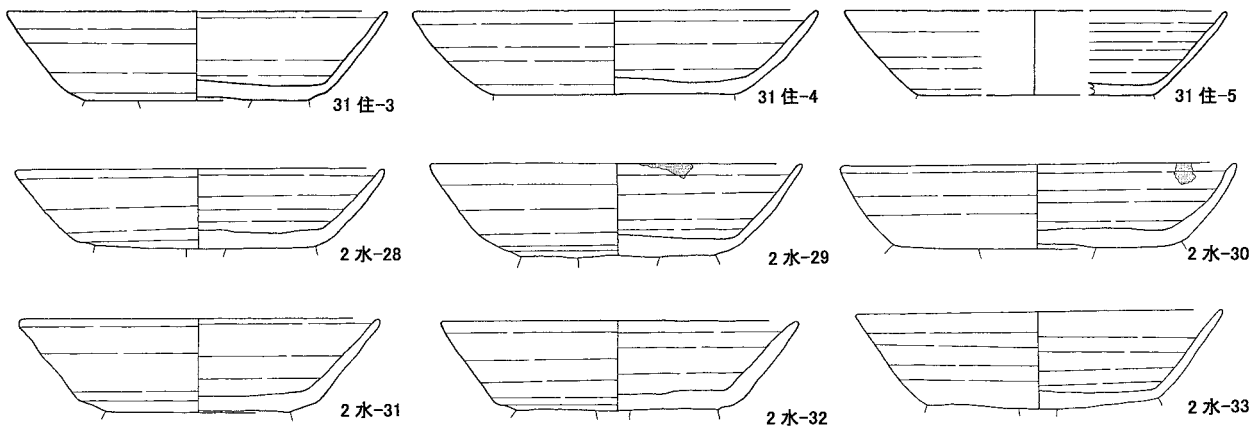
28号住居址12～15は、口径10cm前後、底径5.4～7cm、内底径6～7cm、器高3cm前後の小形坏である。底部はいずれも回転糸切りで、再調整はB種全面篋削りである。体部下端にも篋削りを施している。形態は台形を呈し、体部は直線的に立ち上がるタイプと丸味を持つタイプが存在する。胎土は白色針状物質を含み、南比企窯跡の製品である。28号住居址の同伴する遺物からⅢ期に該当すると考えられるが、出土例が少ない一群である。2号水路219、220（第215図）も同じタイプである。

Ⅳ期 8c 4/4

2号水路50～73は、口径11～13cm、底径6～8cm、内底径6～8cm、器高3～4cmの範囲に集中し、Ⅲ期坏がスケールダウンしたものである。底部は回転糸切りで、再調整は周辺部に篋削りを行うものが主体を成す。形態的には中間形が多く見られ、深身も僅かに見られる。体部は直線的に開くタイプが多く見られ、丸味を持つタイプも僅かに残る。口唇部は外反するものが見られる。南比企窯跡産は57、67と僅かとなり、多くは東金子窯跡に求められる。胎土から前内出窯跡系と考えられる資料も僅かに見られる。

Ⅴ期 9c 1/4

27、30、35号住居址と2号水路から出土した坏の法量は、口径12cm前後、底径が7cm前後、器高4cmの法量に集中する。底部調整は、未調整のみとなる。形態は中間形が多いものの、深身タイプは前期に比べ割合が多くなっている。内面の体部変換点は明確であるが、僅かな丸みを帯びるものも見られる。体部は直線的に広がるものと内彎気味に広がるものが見られる。口縁部の外反が見られるものもある。



II 期

第287図 II期土器 (1/3)

VI期 9c 2/4

坏の法量は口径12cm大が中心となるが、11cm大、13cm大にも及ぶ。底径5~7cm、器高3.5cm前後で、内底径は5~7cmと底径との差がなくなる。形態は深身が主体である。口縁部は僅かに外反し、体部は丸みを帯び内彎気味となる。2、3、6、17、22、39、40号住居址と2号水路から出土した坏がこれに該当する。形態は深身と中間タイプが主となり、内面の体部変換点に丸みを帯びるものが多く見られる。

VII期 9c 3/4

4、7、8、12、18、19、33、37、43号住居址と2号水路から出土した坏の法量は、口径は12cm大が中心となるが、11cm大、13cm大にも及ぶ。底径は縮小化が進み5cm大となり、口径の1/2を下回る。形態は深身の逆台形で、内面の体部変換点は丸みを帯びる。体部は内彎し、口縁部は外反が顕著になる。内底径は底径より僅かながら小さくなる。器高は3~4cmと前期とほぼ同じで、変化は認められない。形態は、底径の縮小化により逆台形が明確になった。

VIII期 9c 4/4

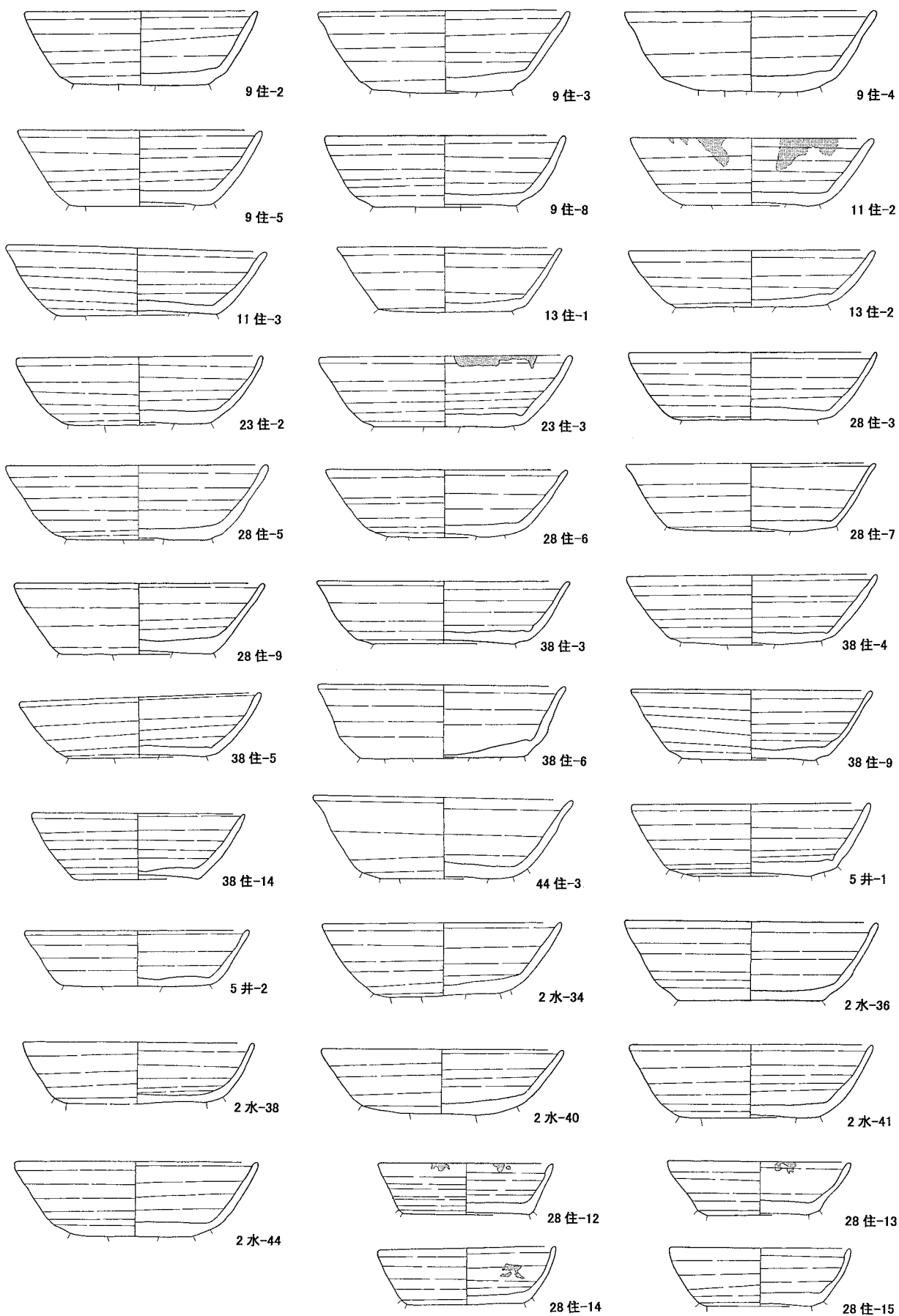
5、10、15、20号住居址と2号水路から出土した坏の口径は11~12cm、底径は5cm大で、僅かであるが前期より縮小化が進んでいる。形態は深身の逆台形が鮮明となり、器高は僅かに高くなった。体部は丸みを帯び内彎し、口縁部は大きく外反する。内面の体部変換点は丸みを帯び、内底径は底径を下回る。

IX期 10c 1/4

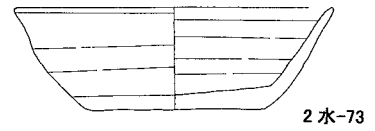
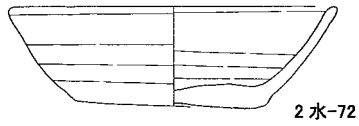
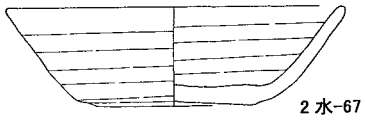
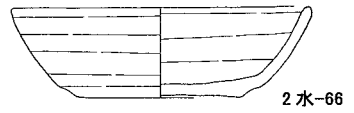
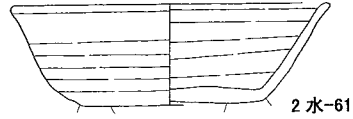
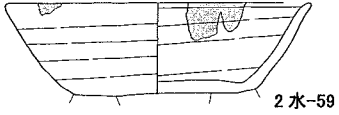
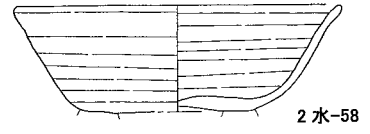
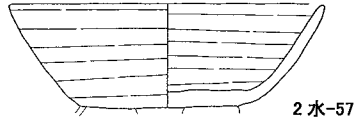
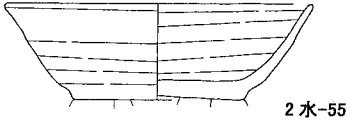
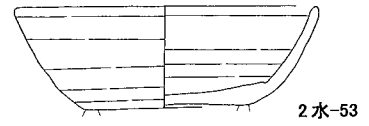
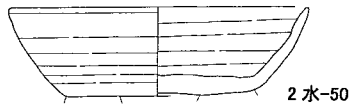
25、26、29号住居址、2号水路から出土した坏は、口径13cm大、底径6cm前後、器高5cm大である。前期までの法量の縮小化が止まり、大型化が始まる。底径は口径の1/2を下回り、形態は深身の逆台形である。口縁部は大きく外反し、体部は丸みを帯び内彎する。

X期 10世紀中葉以降

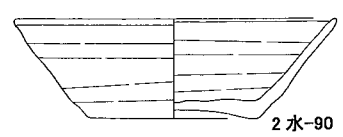
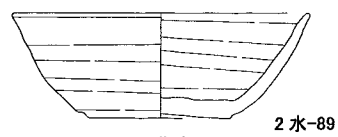
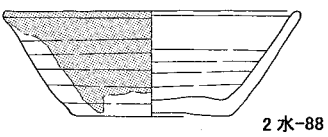
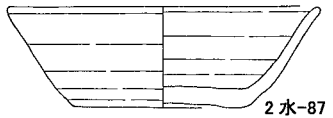
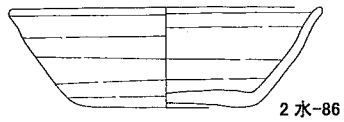
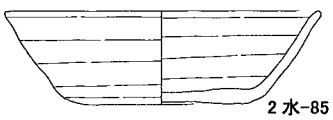
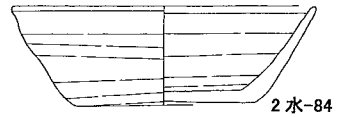
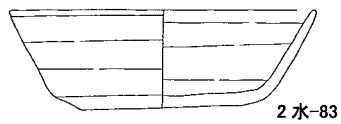
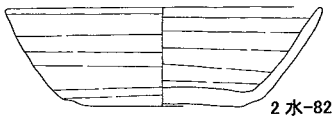
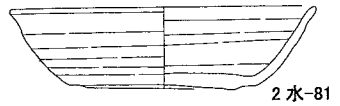
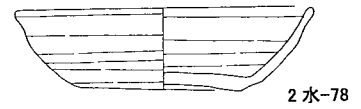
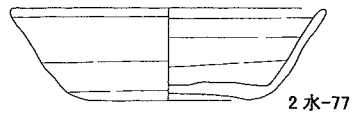
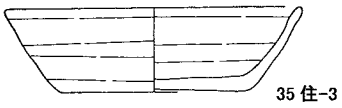
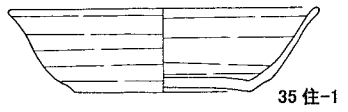
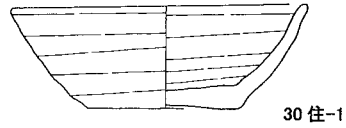
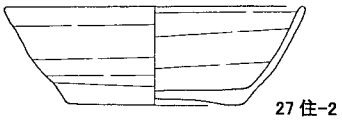
2号水路から出土した2点のみとなるが、口径が14cm大、底径6cm大、器高5cm大と前期より僅かにスケールアップが認められる。形態は逆台形の深身である。



第288图 Ⅲ期土器 (1/3)

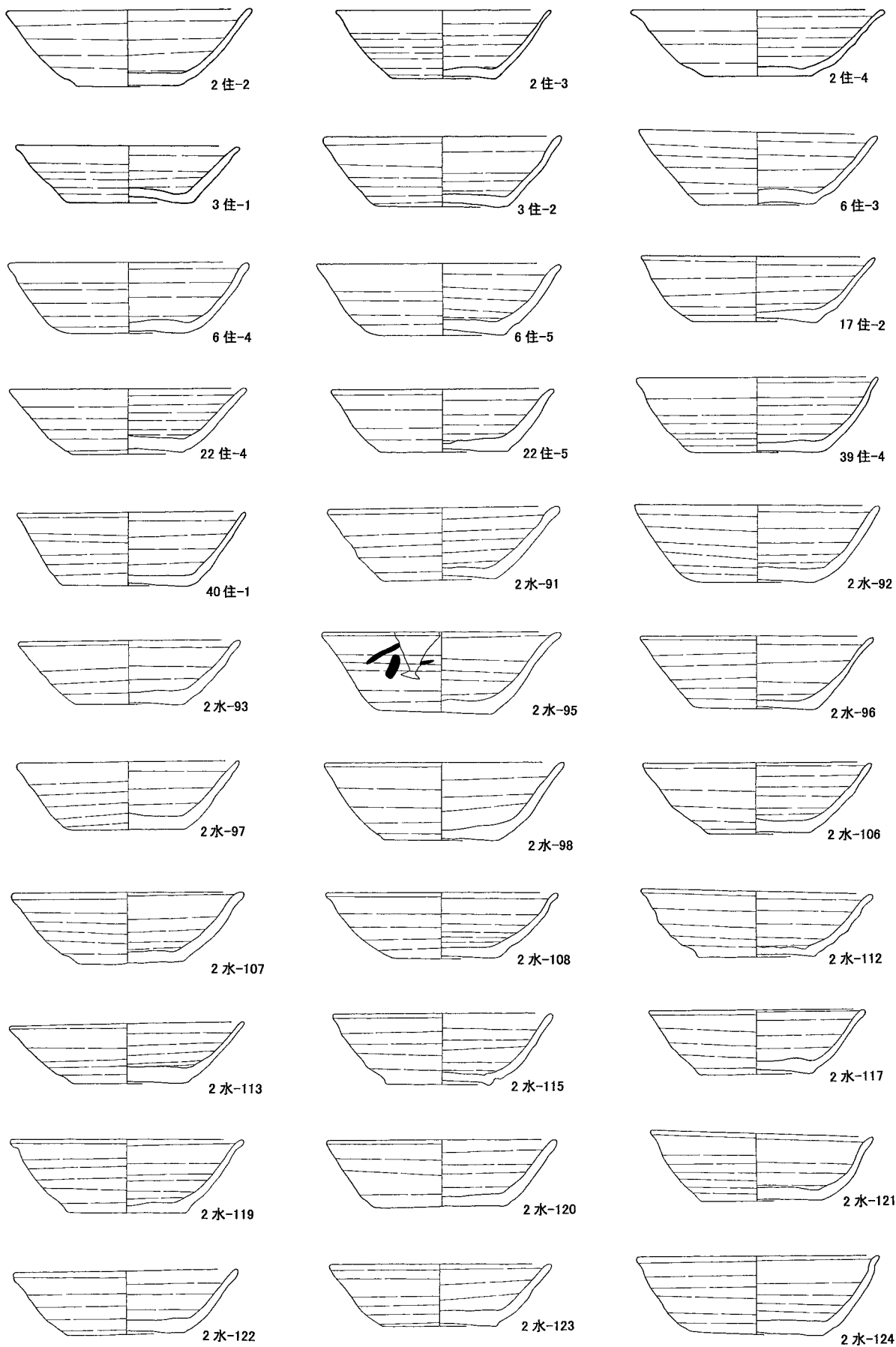


IV期土器

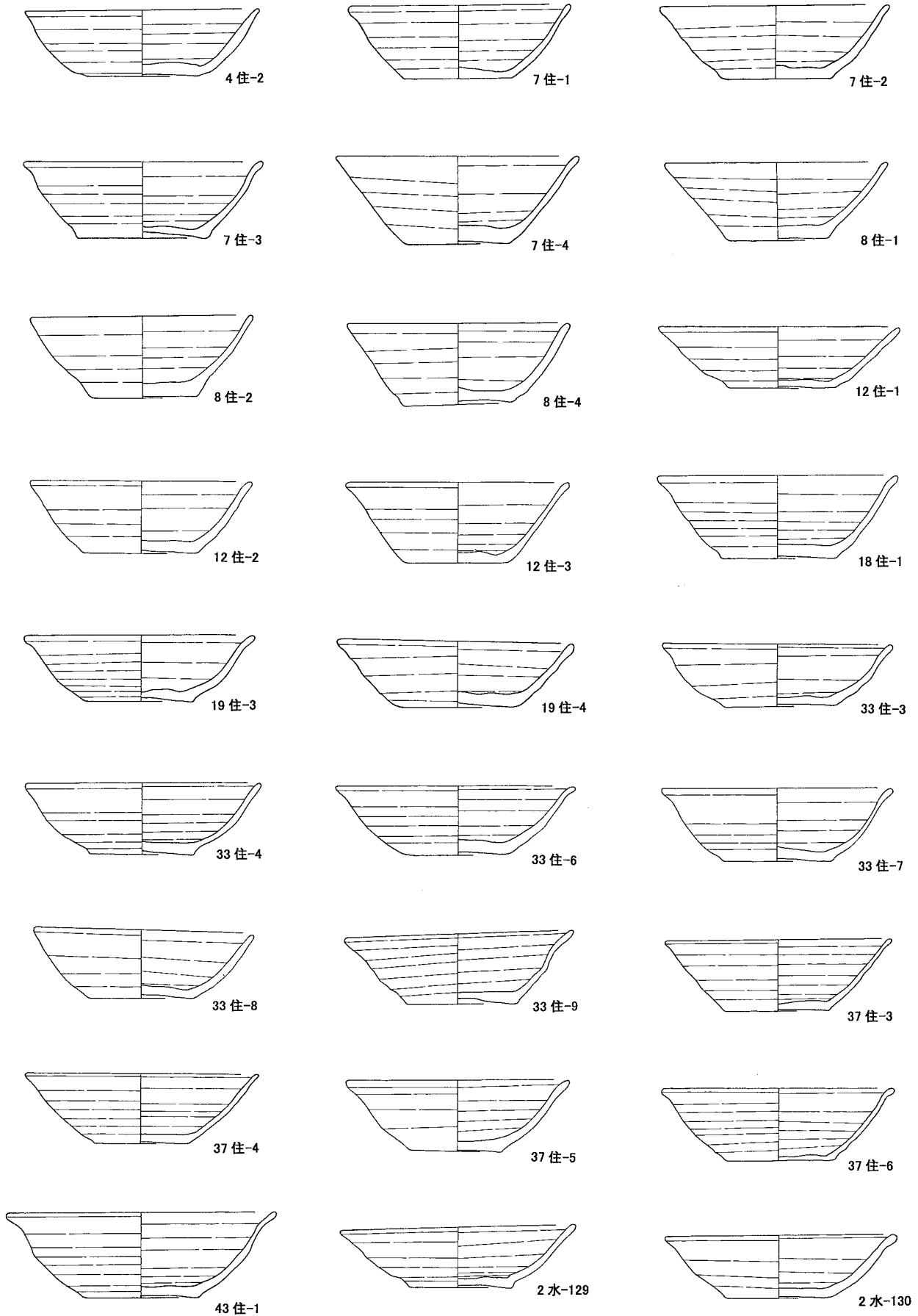


V期土器

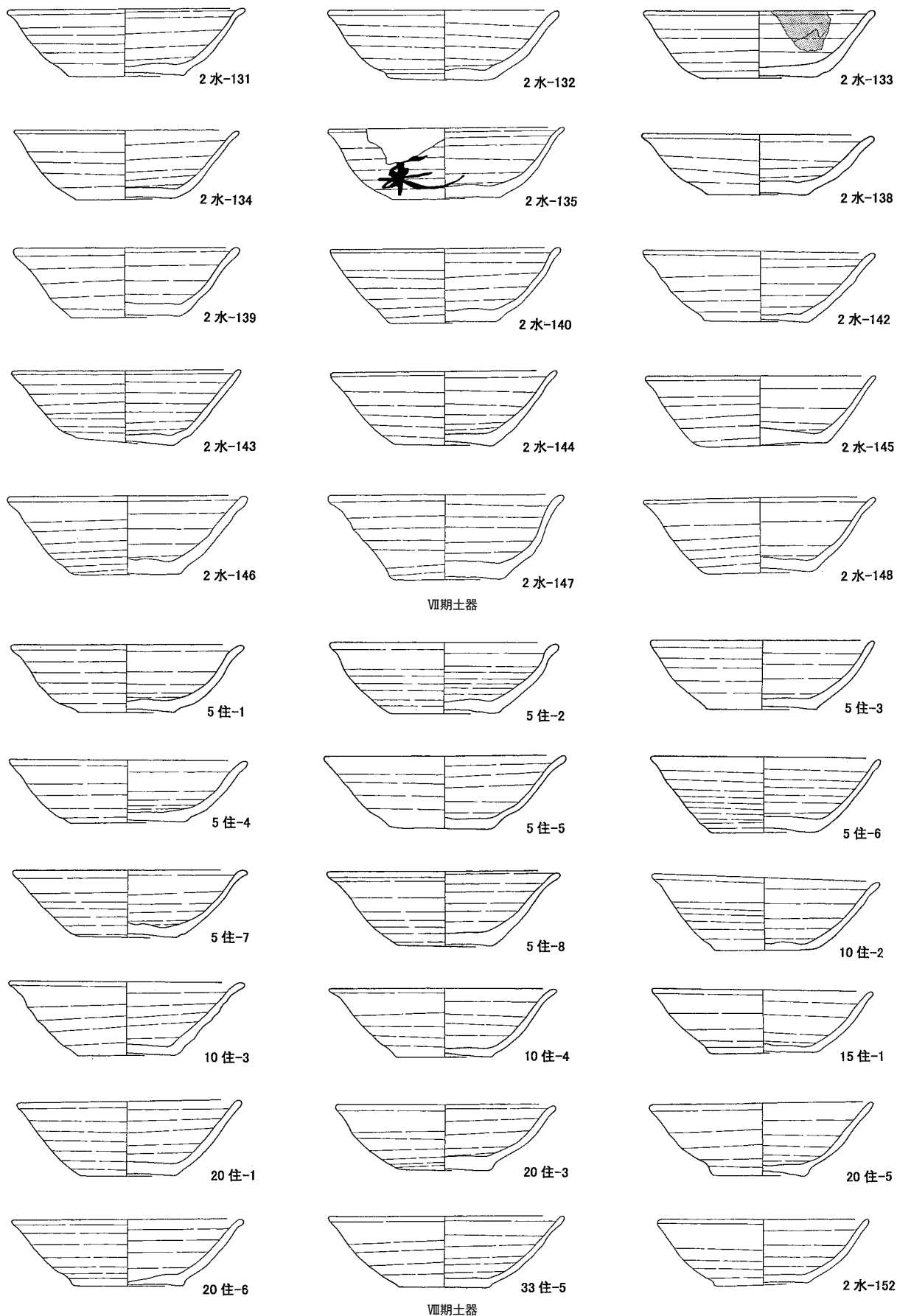
第289图 IV期、V期土器 (1/3)



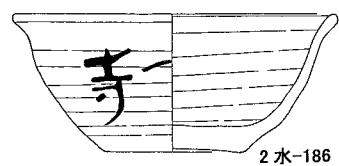
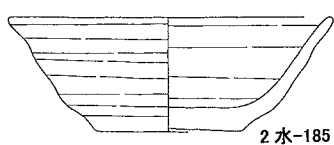
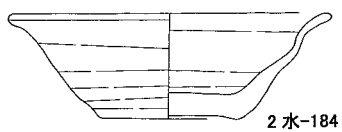
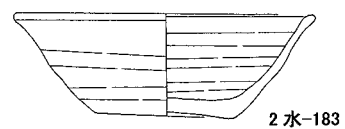
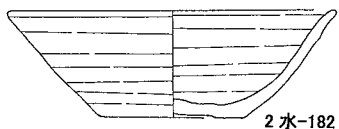
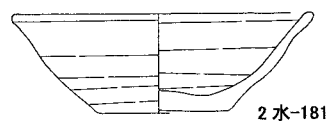
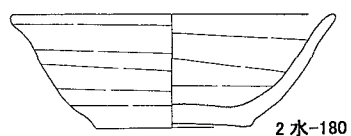
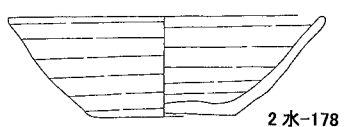
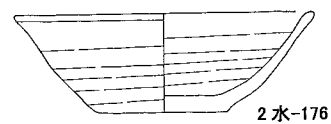
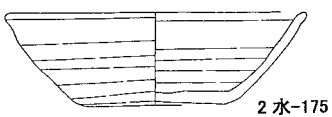
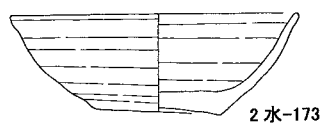
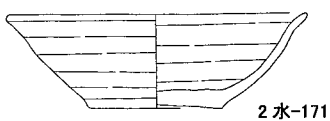
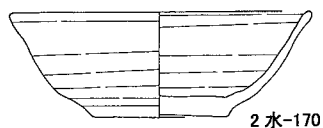
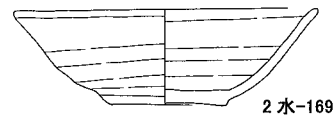
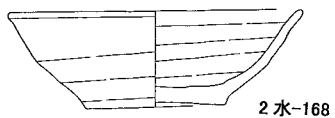
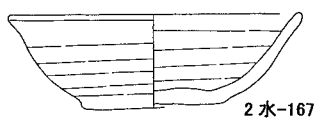
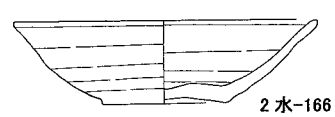
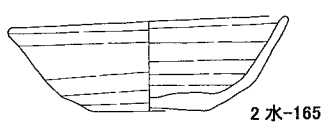
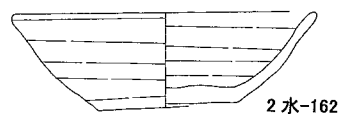
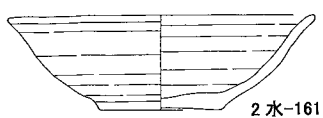
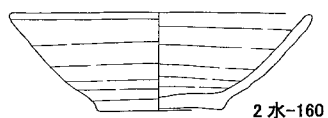
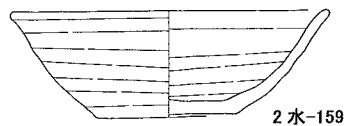
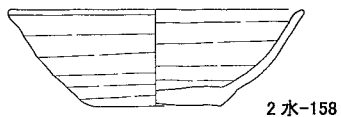
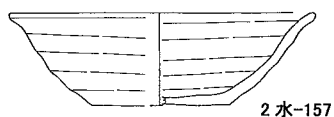
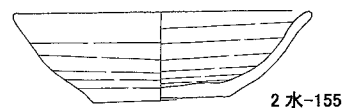
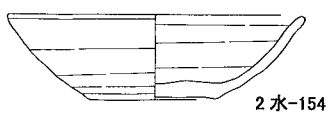
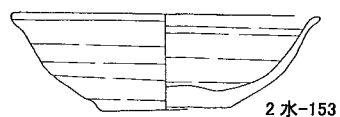
第290图 VI期土器 (1/3)



第291图 VII期土器 (1) (1/3)

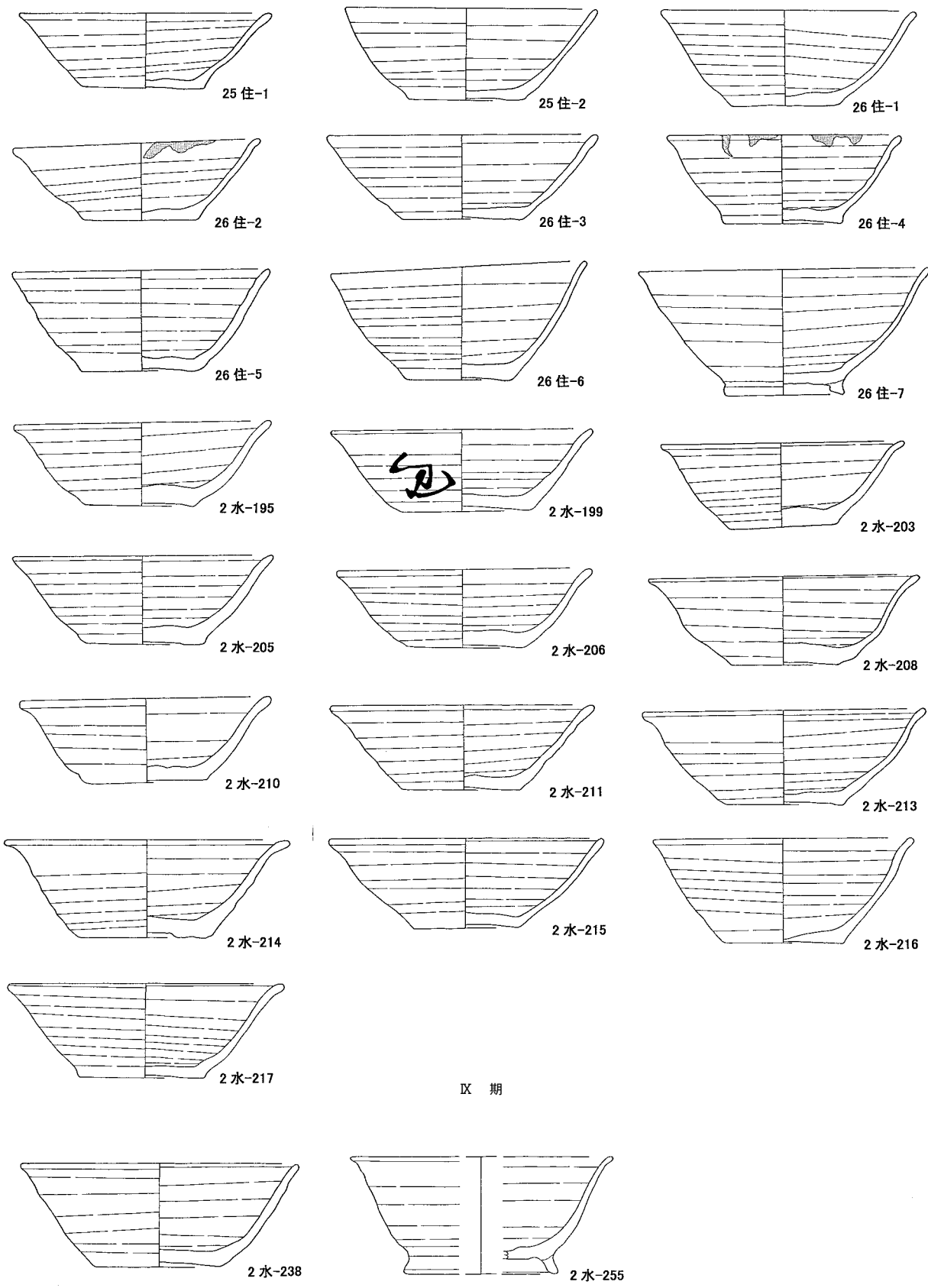


第292图 VII期土器 (2) VIII期土器 (1) (1/3)



Ⅷ 期

第293图 Ⅷ期土器 (2) (1/3)



Ⅸ 期

Ⅹ 期

第294图 Ⅸ期土器 Ⅹ期土器 (1/3)

2：集落の変遷

今回報告する奈良・平安時代の遺構は、住居址44軒、掘立柱建物跡6棟、井戸14基、道路遺構1条、水路遺構2条、土壙1基である。土器編年を基に集落の変遷を検討したい。集落時期の名称と土器編年期は同じである。

集落の出現期のⅡ期は31号住居址の1軒だけとなる。東西6.9m、南北6.2mと比較的規模が大きく、柱穴を伴う。常陸産須恵器が出土している。Ⅲ期は9、11、13、16、21、23、28、34、38、44号住居址と5号井戸が該当する。14、41号住居址がⅣ期に該当する。Ⅴ期は27、30、35号住居址の3軒で、27、30号住居址は近接するが、35号住居址は距離を持って位置する。Ⅵ期は2、3、6、17、22、39、40、42号住居址の9軒と14号井戸である。Ⅶ期は4、7、8、12、18、19、24、33、36、37、43号住居址の12軒、井戸は3、9号井戸の2基である。Ⅷ期では5、10、15、20号住居址が該当する。Ⅸ期は1、25、26、29号住居址と7号井戸、Ⅹ期は11号井戸のみである。

Ⅱ期の住居址は1軒に留まるが、Ⅲ期では住居址が10軒と井戸が1基と前期に比べ遺構数が増加する。Ⅲ期の住居は、調査範囲のほぼ中央に集中する。Ⅳ期は1軒、Ⅴ期は3軒とⅢ期に比べると大幅に減少する。Ⅵ期は住居址が9軒と井戸が1基である。続くⅦ期も住居址12軒、井戸2基となる。Ⅵ、Ⅶ期になると住居軒数は大幅に増加し、隆盛期を迎える。Ⅷ期では住居址が3軒、Ⅸ期は住居址4軒と再び減少傾向が顕著となり、Ⅹ期では井戸が1基のみとなる。

掘立柱建物跡は6棟確認されているが、時期は不明である。2号掘立柱建物跡以外は、桁行を東西方向に持つ。主軸方位に統一性は見られない。調査区中央部で、31号住居址と5号掘立柱建物跡と6号掘立柱建物跡、26号住居址と6号掘立柱建物跡、4号掘立柱建物跡と5号掘立柱建物跡、29号住居址と3号掘立柱建物跡と5号掘立柱建物跡、41号住居址と3号掘立柱建物跡が重複する。新旧関係は31号住居址→6号掘立柱建物跡→5号掘立柱建物跡、26号住居址→6号掘立柱建物跡→4号掘立柱建物跡、29号住居址→5号掘立柱建物跡、3号掘立柱建物跡→5号掘立柱建物跡、3号掘立柱建物跡→41号住居址となり、新旧関係を整理すると31号住居址（Ⅱ期）→3号掘立柱建物跡→41号住居址（Ⅳ期）→29号住居址、26号住居址（Ⅸ期）→6号掘立柱建物跡→4号掘立柱建物跡→5号掘立柱建物跡となる。

2号水路から各時期の遺物が出土しており、長期にわたり本遺跡周辺の小畔川左岸の沖積地の活用を維持するためには重要な灌漑施設だったことが窺える。

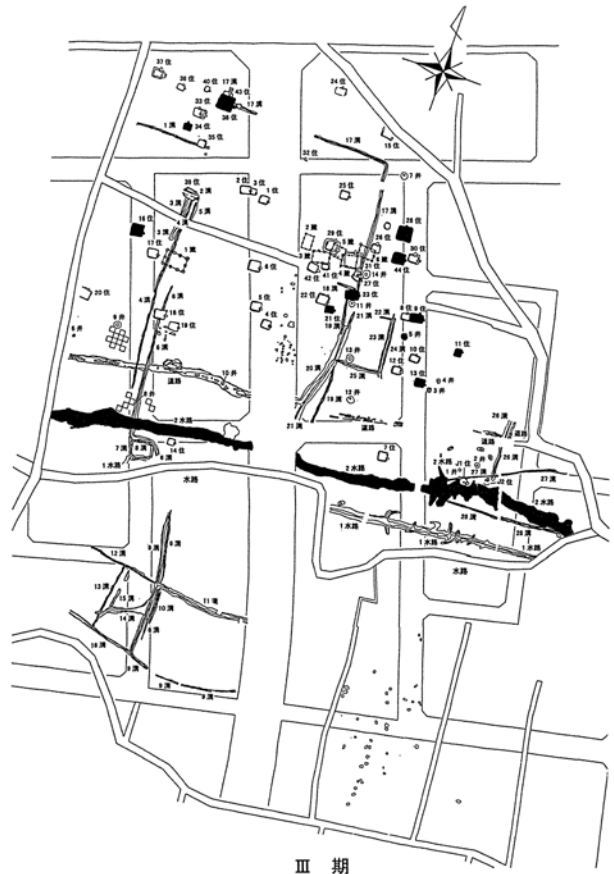
道路遺構は掘割状の形態を取り、底面の硬化面下には凹凸状の掘り込みを有し、当時の幹線道路と同じ構築方法で造られている。集落間のネットワークを考えるには、重要な遺構である。

本遺跡の集落の始まりは8世紀第2四半期で、ピークは9世紀第2四半期、第3四半期で迎える。その後は徐々に減少する。集落の立地は、台地の緩傾斜地全体に広がり、各期ともに大きな変化は見られない。Ⅶ期に入ると7、14号住居址が2号水路に近い箇所に進出し、唯一2号水路の南側に位置する14号住居址は、集落の隆盛を物語るものである。

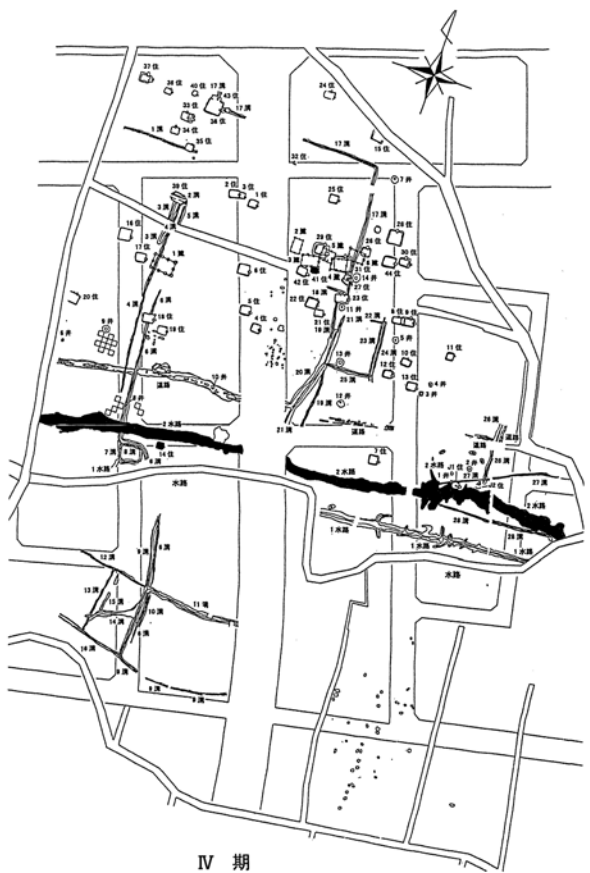
集落の南側を東西方向に走る道路遺構は、東側で北に向かって方向を大きく変える。また、台地と沖積地の変換点に築かれている1号水路、2号水路は、住居の配置から集落（居住範囲）の南の境に当たると思われる。道路遺構と水路遺構が、本遺跡の範囲を決めるファクターとなっていることが理解できる。



II 期



III 期

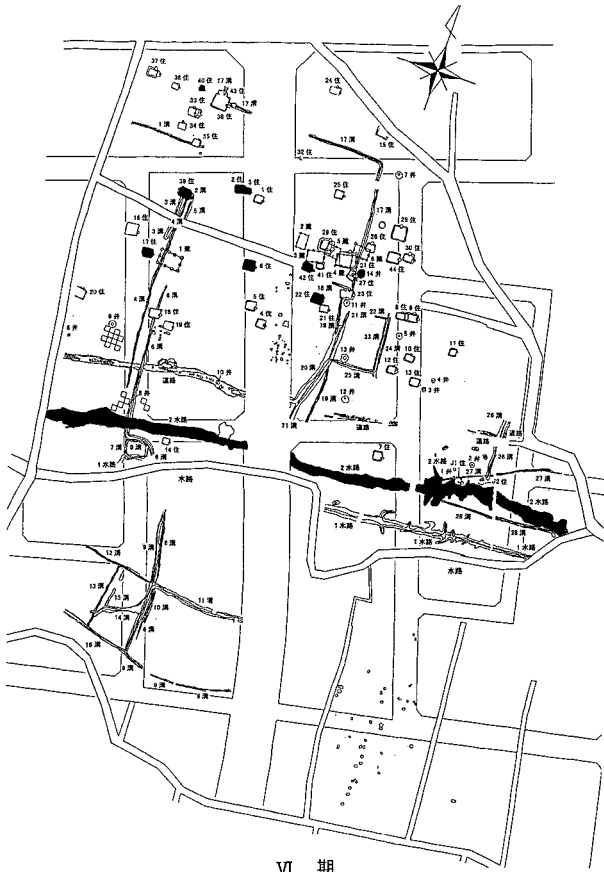


IV 期

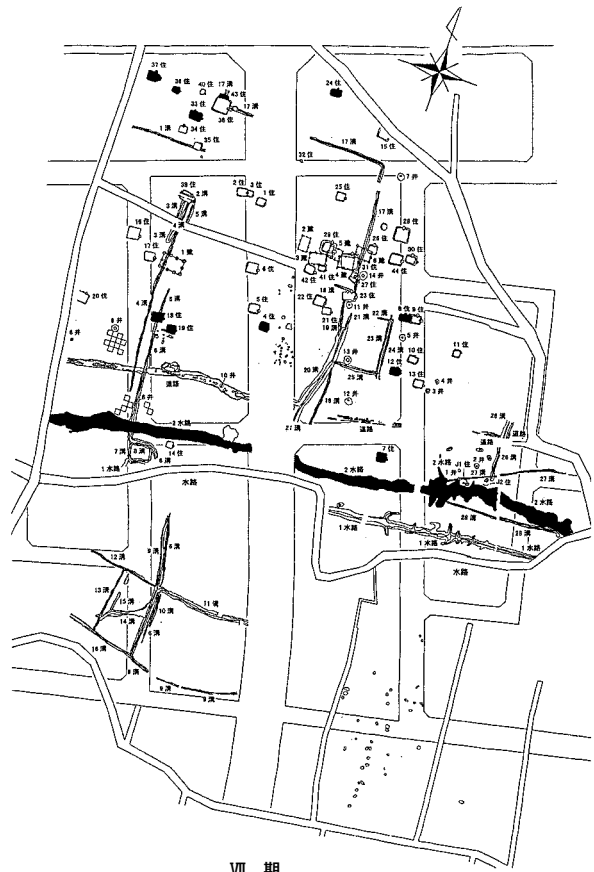


V 期

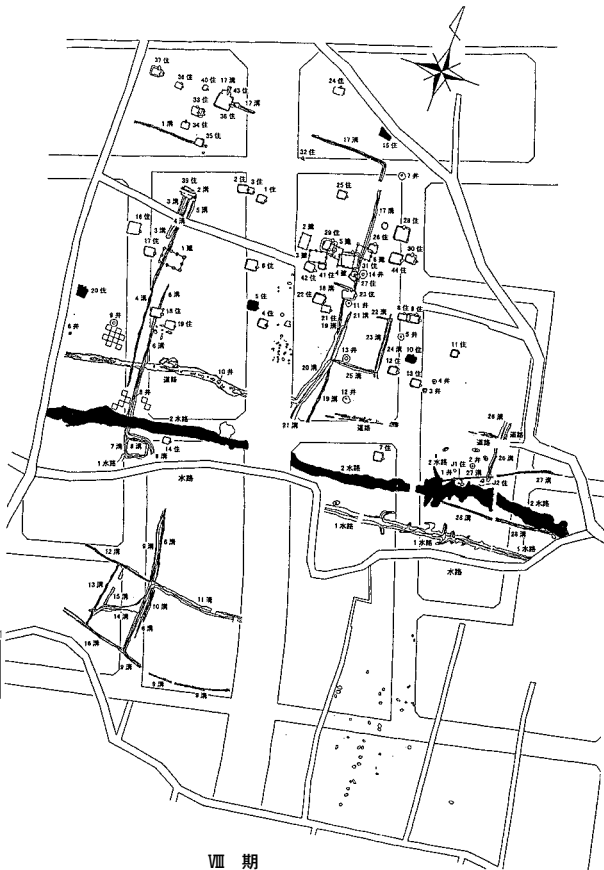
第295図 II～V期の集落 (1/5000)



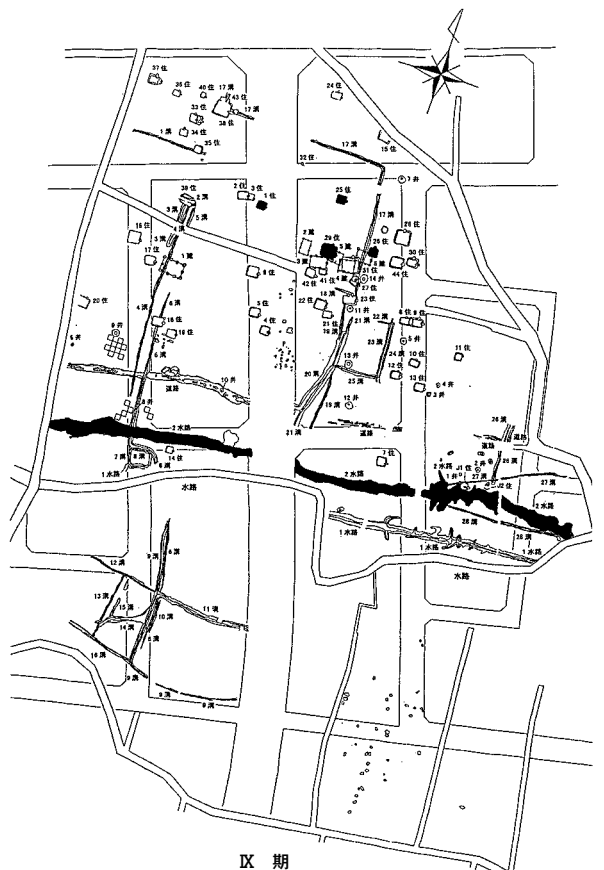
VI 期



VII 期

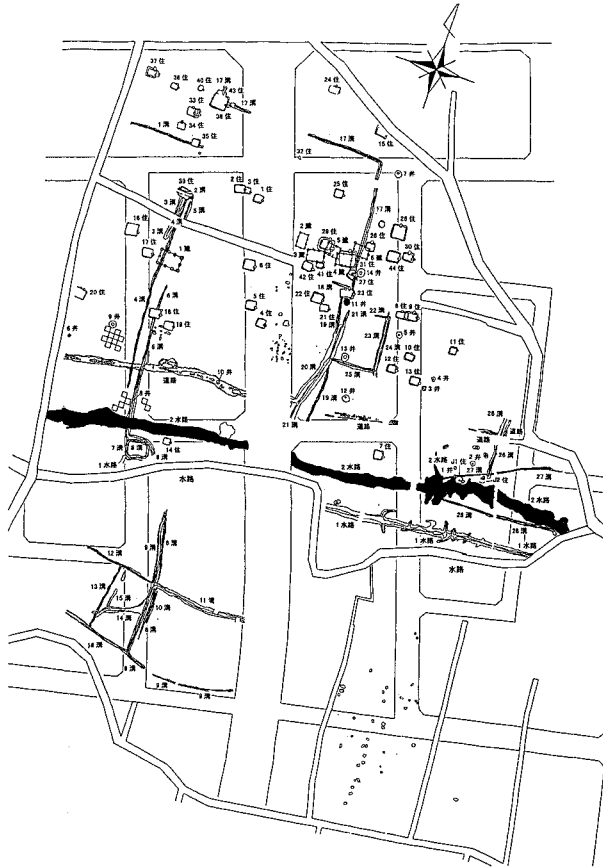


VIII 期



IX 期

第296図 VI~IX期の集落 (1/5000)



第297図 X期の集落 (1/5000)

3：水路遺構の一考察

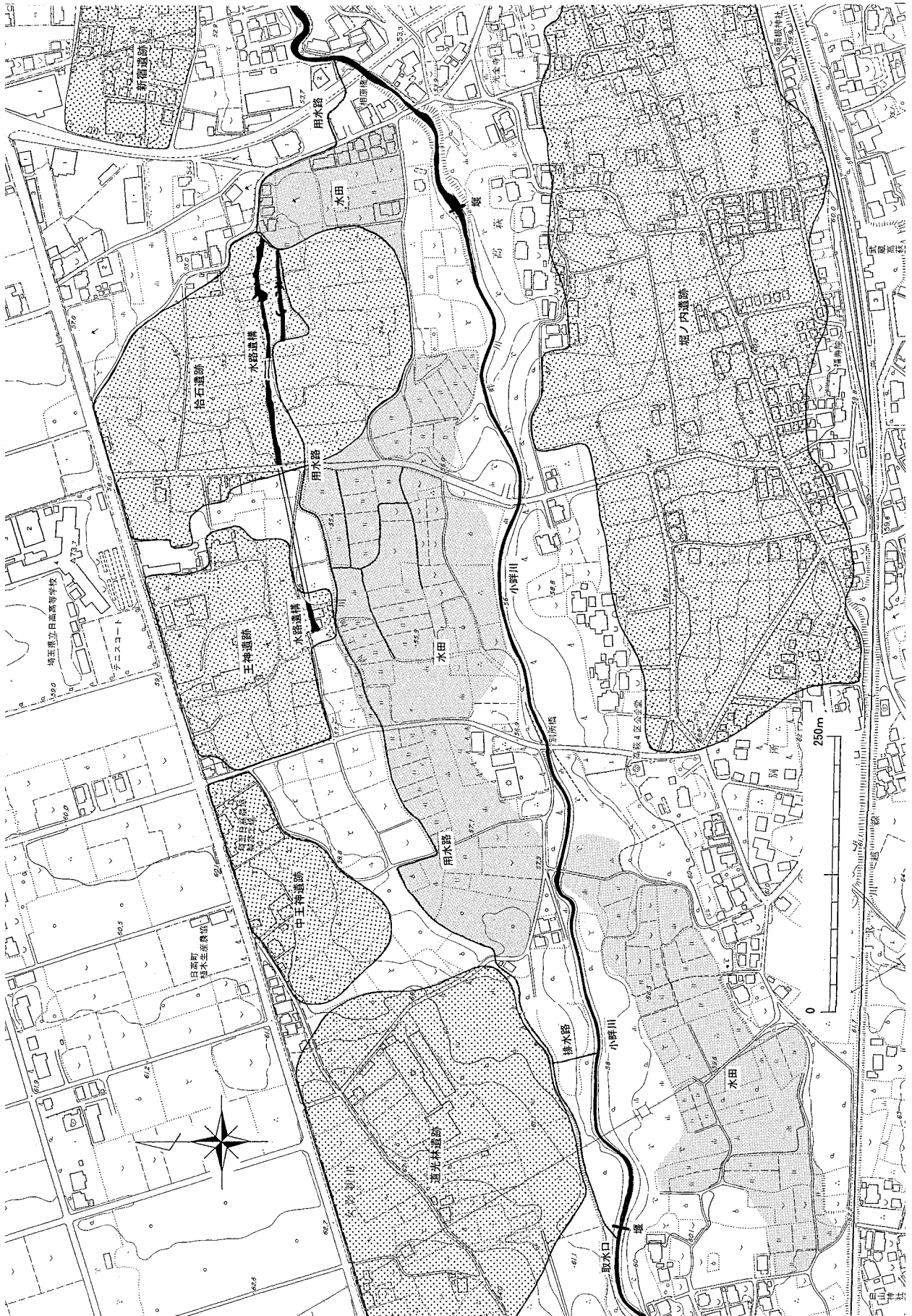
台地と沖積地の変換点に、規模、形状が似かよる二条の水路遺構が近接して検出された。

1、2号水路の土層からは、砂質の土層が複数層堆積していることが観察できた。このことから、水が流れる時と流れない時があることが理解できた。つまり水の管理を行っていた痕跡と考えたい。

両水路遺構とも同じ形状を呈する中で、目を引くのは不規則な形状の突起である。大きさや形状も様々で、どのような機能を持つ施設なのか不明な点が多い。両水路の新旧関係は不明である。

1号水路から出土した遺物は少なく、9世紀第2四半期に該当する資料が出土している。2号水路からは多量の遺物が出土し、8世紀第2四半期から10世紀中葉に該当する資料が見られることから、2世紀の長期にわたって水路を維持して、使用していたことが理解できる。器種も蓋、坏、埴、皿、甕など多岐にわたり、「厨」「家長」「万呂」「土」「東田」「田」など多量の墨書文字も出土している。完形品の坏も出土しているが、廃棄した器を投棄する場も兼ねていたことが推測できる。

今回確認した二条の水路遺構を考える上で重要なポイントは、水路は台地と沖積地の境に沿った位置に設けられているという点である。王神遺跡と拾石遺跡の南側に広がる沖積地利用するにあたり、水の供給と排水を灌漑工事で整えて、水田に改良して稲作生産を行っていたと思われる。水路遺構は出土した遺物から長期にわたり、改修を繰り返しながら使用していたことが窺える。



第298図 水路遺構と用水路 (1/5000)

水路遺構の特徴としては、不規則な形状の突起が設けられている事である。突起部の規模0.8～7.3m、幅0.7～2mで、突起と水路の接合個所の底面は、やや深く掘りこまれている。2個一対で所々に設けられているが、規則性は見受けられない。用途は、水量調整、水温調整などが考えられるが不明な点が多い。

これらの遺構と同様に台地と沖積地の境に沿った位置に、現在使われている用水路が存在する。(今は区画整理事業で姿を消した。) この用水路は小畔川に設けた小さな堰から水を取り込み(写真1)、1100m下流で再び小畔川に注ぐ。用水路(写真2)は幅が3m前後で、最も広い個所では5m、深さは1.2～3mを測る。取水口の井堰から170mの個所には、大水時に水を再び小畔川に戻し、水田を守る排水路も備えている。

地形の高低差を巧みに利用して上流から下流に水路を設けている。水田への給水は、本流路からいくつかの支流路を経て水田に給水する方法がとられている。耕作面積を広くとるために、途中で幾筋にも分岐し、水田を潤している。農業経営の拡大と安定に寄与した工法と考えられる。現在まで水路は大きく位置を変えず、高麗人が開いた水田を受け継いできた可能性が高い。

本遺跡で検出された水路遺構は、高麗人がこの地に移り住み、生活の礎となる水田の開発、すなわち、沖積地の開発を進めた痕跡となる遺構と考えられる。



写真1 井堰 (取水口が左側に見える)



写真2 用水路

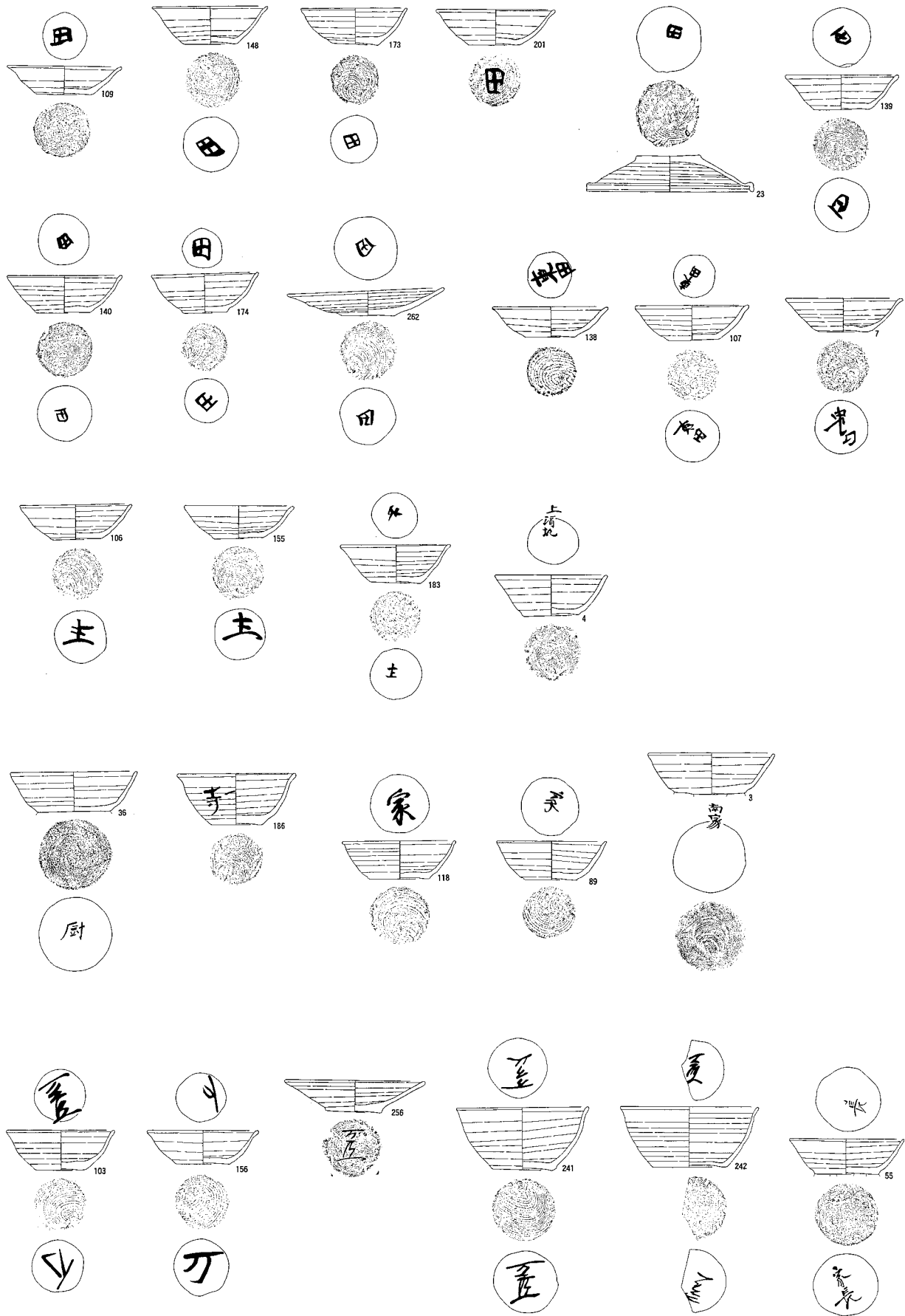
4：墨書土器について

今回報告する調査で出土した墨書土器の総点数は104点で、市内遺跡で最も多くの墨書土器を出土した遺跡である。判読可能なものは65点である。

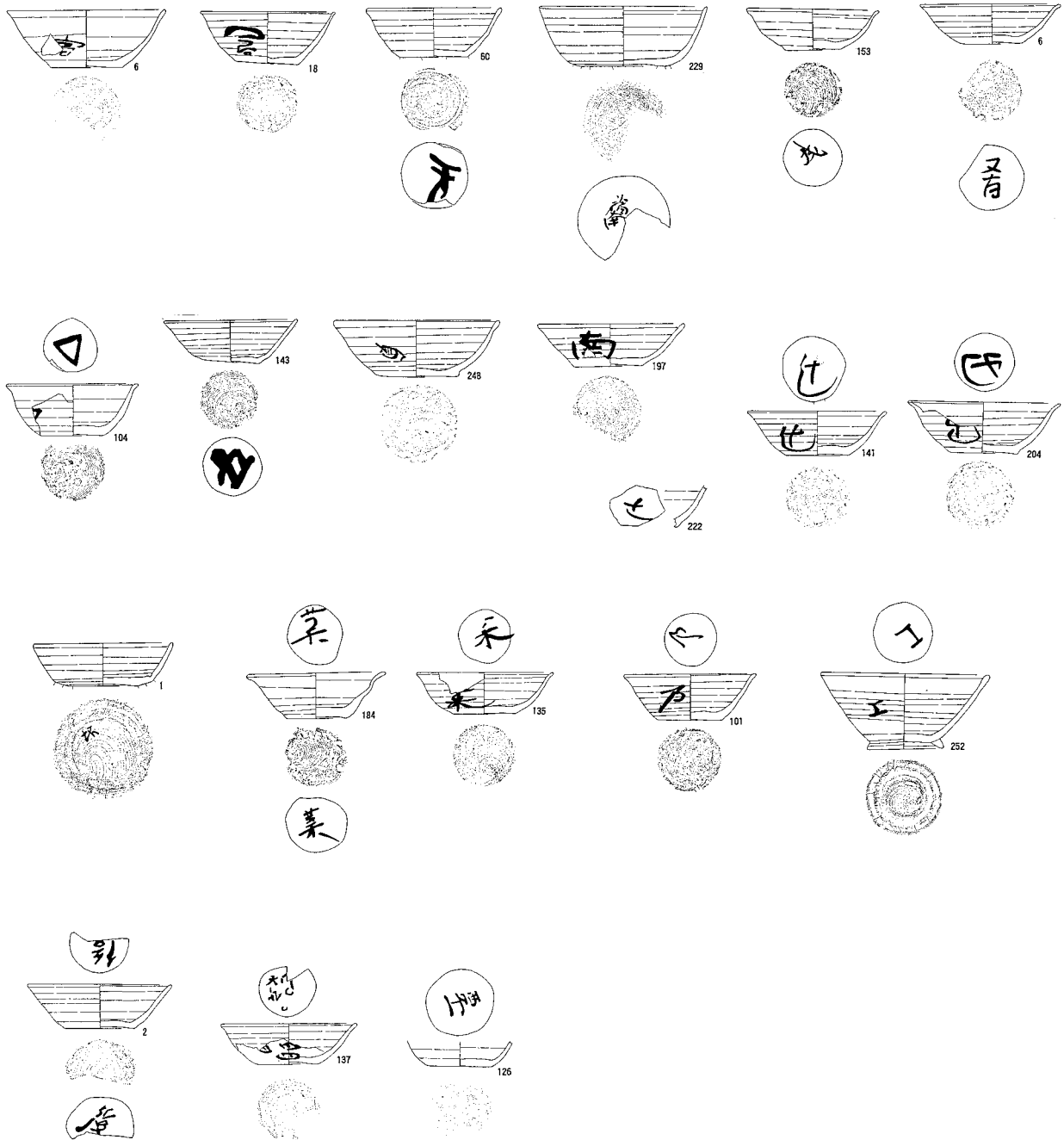
多くの墨書土器は、坏、碗、皿などの供膳具に書かれていることが多い。本遺跡でも坏が55点、皿5点、碗4点、蓋1点となる。記されている部位は、底部外面が最も多く、次に底部内面、体部外面となる。書体は楷書体と行書体が多くを占めるが、草書体も僅かに確認できる。同一土器に2ヶ所書く例も27点見られ、同じ文字を書くのは23点であった。判読できる文字を分類し、内容を考えてみたい。

土地に関連する文字

「田」は最も多く出土している文字で、5号住居址、19号住居址、30号住居址で各1点、2号水路遺構で11点出土している。底部内外面に書かれているものが7点、底部外面のみが3点、底部内面のみが2点。天井部外面と体部外面が各1点である。「田」に関連するものでは、5号住居址から「曳田」、2号水路からは底部内外面と底部外面に「東田」と書かれた墨書が各1点出土している。



第299图 墨書土器 (1) (1/6)



第300図 墨書土器 (2) (1/6)

「田」に関しては、稲を植えて育てる場所すなわち水田を表している。住居址からの出土も多く見られるので、田を耕作する者、田を管理する者を指す事も考えられる。

「土」という土地に関する文字は、4点出土している。記されている部位は底部内外面1点、底部外面3点で、2号水路遺構からの出土である。「土」は土地に関連することから、農地などを示している可能性がある。

8号住居址からは、「上清地」と判読できる墨書が出土している。場所を表すものと想像できる。

施設を表す文字

2号水路からは「厨」が出土し、「上野国交代実録帳」に見られる郡家を構成する建物のひとつとして記

されている厨家にあたり、饗宴の食事や役人の食事を掌る施設である。2号水路から「家」が2点、9号住居址から「南家」が1点出土している。「家」にはたてもの以外の意味として、家庭、ゆったりとするすみかという意味がある。「厨」と「家」、「南家」は、郡家の施設を示すと共に郡司が生活する施設を表す文字と考えられる。

2号水路から出土した「寺一」は、寺院を表す文字と理解できる。

人に関する文字

「万」を吉祥句として捉えている例もあるが、9号井戸址と2号水路からは、底部外面に「万」、底部内面に「万呂」と書かれた坏が出土している。この場合の「万」は「万呂」と同じ意味を持っていると考えられ、本遺跡から出土している「万」は数の多さを表す吉祥句ではなく、「万呂」と同じ意味として記された可能性が高い。「万呂」は一人称代名詞で、われ、わたしを指す。器の占有を明確にするために書かれたと考えられる。

底部内外面に「家長」と記されたものが、2号水路から出土している。19号住居址からは坏の底部内外面に「長」と書かれた小片が出土しているが、「家長」の可能性が考えられる。「家長」をイエギミと読み、父という意味がある。一方で一家の家督を継承し、家族を統括するカチョウの意味もある。

吉祥句

体部外面に「富」の文字が29、38号住居址から出土している。「富」には、数が多く豊さを表す意味があり、縁起の良い意味合いを持つ文字と考えられる。「天」と「福南」、「成」は2号水路、「有」は33号住居址からの出土で、いずれも幸福や縁起の良い意味を持ち、吉祥を示すものと思われる。

祭祀を表す文字

体部外面と底部内面に書かれている「△」、「井」は呪術的な祭祀に用いられたと考えられる。「貞」は正しいという意味もあるが、占う、物事が正しいか占うなどの意味も持つ文字である。

2号水路から出土している「南」は、方位を示す言葉である。方位によって吉凶を占うための祭祀的行為が考えられる。

「辻」は十字に道が交わる所、人通りの多い道筋の意味を持つ。村に疫病や悪霊などの災厄の侵入を防ぐために行う辻切りなどの呪術的な行為に関係する文字の可能性も考えられる。

器の名称

品物の固有名詞を指す「坏」の文字が底部外面に書かれた墨書土器が、5号井戸から出土している。

その他

2号水路出土の135と184の「菜」は、言葉どおり植物を示すものと考えられる。「乃」、「工」や「大□□」、「西□一」など複数文字を用いた資料も見られるが、読み取れない部分もあり意味は不明である。

5：官衙に関連する遺物

官衙遺跡からは、銚帯具や円面硯、畿内産土師器、そして「郡」、「厨」など官衙施設を表す文字、「大領」、「少領」、「守」、「介」など官職名の墨書が出土することが知られている。

本遺跡で「厨」の墨書が出土したことは先に触れたとおりである。その他には、29号住居址から出土した耳皿と石製丸靱、道路遺構から出土した石製巡方の銚帯具は、他の官衙遺跡でも出土している遺物である。

銚帯具は役人が儀式などの際に用いるベルトで、鉸具、巡方、丸靱、蛇尾で構成されている。階位によって巡方、丸靱の素材や取り付ける数に差を持たせている。鉸具や蛇尾の出土では、人用、馬具などに用いるベルトが考えられるが、巡方、丸靱の出土は古代の役人の存在を強く感じられる。

今回出土した巡方、丸靱は石製である。市内では宮ノ後遺跡3号住居址から青銅製巡方が出土している。近隣では毛呂山町築地遺跡から石製丸靱が出土している。

耳皿は市内では初めての出土で、両端を折り曲げた独特のスタイルで、用途は箸を置くための箸置きである。饗宴などの特別な食事の場や儀式に用いたと考えられる。2号水路で出土した「厨」の墨書土器との関連が興味深い。近隣では狭山市宮ノ越遺跡63号住居址から出土している。現在でも神社などで使用されており、箸台と呼ばれている。

銚帯具や耳皿の特殊な遺物が地方官衙に関連する遺跡に直結する資料ではないが、地方官衙を考える上で出土した意味合いは重要な要素となる。未報告遺跡の堀ノ内遺跡からは青銅製巡方2点、王神遺跡からは鉸具が出土するなど拾石遺跡との関連が注目される。

6：漆紙について

3号住居址から漆紙が坏に入った状態で出土した。この漆紙は、漆液を良好な状態で保存する為に、表面に密着させ蓋として使われていたものである。漆を保存するためには、ほこりの侵入を防ぐ事が重要で、最も適した方法が和紙で蓋をすることである。この方法は現代でも行っており、古代でも同様な方法を用いたと考えられる。今回出土した漆紙も漆蓋に使用していたものを、坏に置いた状態での出土である。

古代では和紙は高価で、使用済みの古紙を利用する例が多い。今回の漆紙にも文字の期待が高まったが、漆の付着が薄いため、紙の遺存状態は悪く、文字の発見には至らなかった。坏の年代は、9世紀第2四半期に該当する。

2号水路からは、坏（63）、（74）の底部内面に漆が付着した状態で出土している。（63）、（74）は漆に厚みがあり、器面に密着している。乾燥すると細かく剥がれてしまう様な状態である。その他にも2号水路からは、漆が付着した坏の破片や漆紙の小片が僅かながら出土している。

未報告資料ではあるが、堀ノ内遺跡の住居址からも同様に漆紙が入った坏が2点出土している。坏の年代は9世紀第1四半期と9世紀第2四半期に該当する。

周辺地域の集落からの漆もしくは漆紙の出土は、光山遺跡群、鶴ヶ島市一天狗台遺跡、所沢市東の上遺跡である。

古代では園地に桑と漆を植えさせ、国ごとに桑漆帳を作成させていた。集落で出土する漆資料が増えれば、桑と漆の殖産を推奨した事を裏付ける資料となるであろう。

7：軒平瓦について

2号水路出土の軒平瓦は、瓦当面に蓮弁をあしらった均整文様である。同文の軒平瓦は、高岡窯跡（第301図1～3）と常木久保遺跡（第301図4）から出土している。

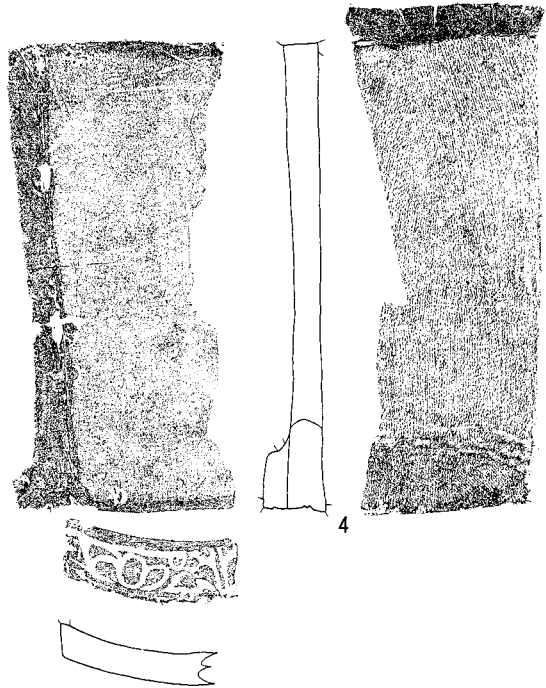
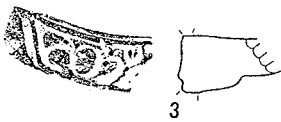
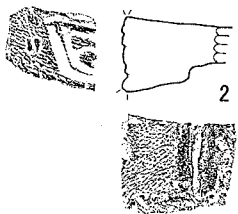
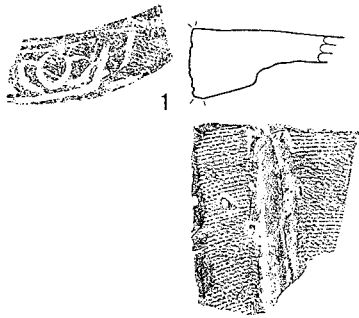
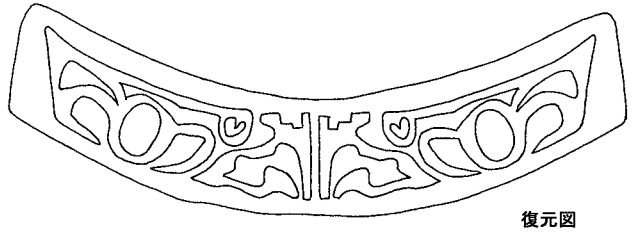
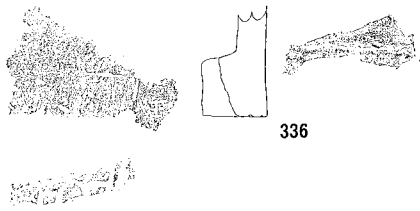
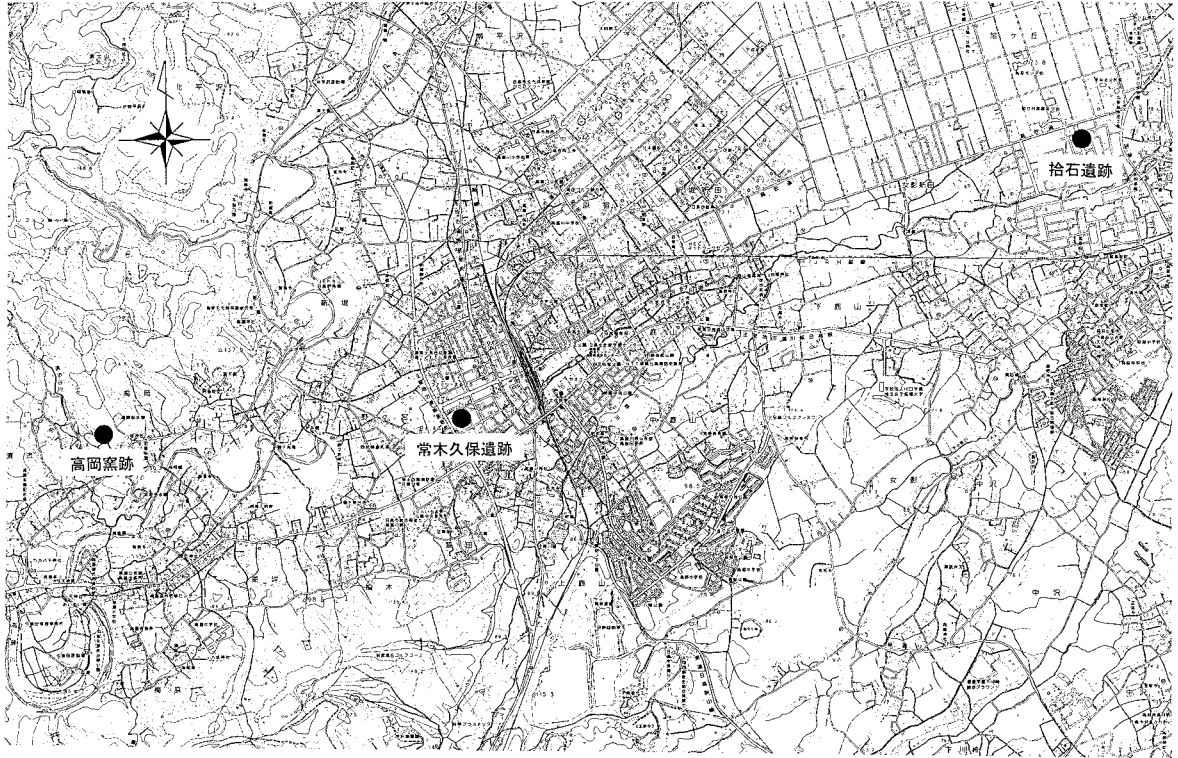
3遺跡から出土した軒丸瓦の文様は、蓮弁をあしらった均整文である。範の文様構成は同じであるが範のサイズから同範ではない、常木久保遺跡出土資料だけ外区が存在しない。その他の共通点は、低い段顎を呈すること、顎部と平瓦部の接合箇所は横方向の指ナデを施していること、凸面側の瓦当面に縄叩きを施すことで、整形、技法など共通する点が多く見られる。常木久保遺跡、拾石遺跡で出土した軒平瓦は高岡窯跡で生産されたもので間違いないであろう。

高岡窯跡は、市西部の高麗川左岸の外秩父山地東端南斜面に位置する瓦陶兼業窯で、出土した遺物から操業期は9世紀第3四半期と考えられる。常木久保遺跡は入間台地の内陸部に立地し、8世紀第1四半期から11世紀にかけての住居址51軒、竪穴状遺構3基、井戸3基、道路遺構1条などを検出している集落跡である。1号住居址から出土した軒平瓦は、7号住居址のカマドから出土した瓦が接合したものである。1号住居址は9世紀第2四半期、7号住居址は9世紀第4四半期に該当する遺構である。各遺構の時間差については、再度検証する必要がある。

高岡窯跡で生産された同文の軒平瓦が、1.8km離れた常木久保遺跡、そして約5km離れた本遺跡にも瓦が運ばれて来ている。このことは、高岡窯跡で生産された製品が郡内の集落に供給されていた具体例であり、高岡窯跡と郡内の集落との関係性と須恵器の流通を考える有力な傍証といえる。

参考文献

- 中平薫 「常木久保」2003 日高市教育委員会
- 高橋一夫他 「日高町遺跡分布調査報告書」1980 日高町教育委員会
- 渡辺一 武野谷俊夫 「鳩山窯跡群Ⅰ」1988 鳩山町教育委員会
- 渡辺一 武野谷俊夫 「鳩山窯跡群Ⅱ」1990 鳩山町教育委員会
- 独立行政法人国立文化機構 奈良文化財研究所 日本古代木簡字典 2008 (株)八木書店
- 小林信一他 「研究紀要第25号」2006 千葉県教育振興財団
- 田中広明 「国司の館」2006 学生社
- 昼間孝志 「日高市史 原始古代編」1997 日高市教育委員会
- 粕谷吉一 小暮宏史 「東の上遺跡 第53次・54次調査」1995 所沢市教育委員会
- 齊藤稔他 「一天狗遺跡3次調査」1998 鶴ヶ島市教育委員会
- 齊藤稔他 「一天狗遺跡 —N地点発掘調査報告書—」1994 鶴ヶ島市遺跡調査会
- 岩田明広 「宮ノ後遺跡」1998 埼玉県埋蔵文化財調査事業団調査報告書第226集 財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団
- 独立行政法人国立文化機構 奈良文化財研究所 古代の官衙遺跡 Ⅱ 遺物・遺跡編 2004 独立行政法人国立文化機構 奈良文化財研究所
- 佐藤春生 「毛呂山町 町内遺跡発掘調査報告書(5) 築地遺跡」2000 毛呂山教育委員会
- 小淵良樹 「狭山市史 原始古代資料編」1986 狭山市



第301図 軒平瓦出土遺跡 (1/40,000) 拾石遺跡 (336) 高岡窯跡 (1~3) 常木久保遺跡 (4)



拾石遺跡空中写真



7、8区空中写真

图版2



13、16区空中写真



11、12、19、20区空中写真



21区空中写真



22区空中写真

図版4



J1号住居址遺物出土状況



J1号住居址



1号住居址



1号住居址カマド



2号住居址



2、3号住居址



2号住居址北カマド



2号住居址東カマド



3号住居址カマド



3号住居址漆紙出土状況



4号住居址



4号住居址カマド



5号住居址



5号住居址カマド



5号住居址遺物出土状況



5号住居址紡錘車出土状況

図版6



6号住居址



6号住居址カマド



7号住居址遺物出土状況



7号住居址



7号住居址カマド遺物出土状況



7号住居址カマド



8号住居址



8号住居址紡錘車出土状況



8号住居址北カマド



8号住居址東カマド



9号住居址



9号住居址北カマド



9号住居址東カマド



10号住居址



10号住居址カマド



11号住居址

図版8



11号住居址遺物出土状況



11号住居址カマド



12号住居址



12号住居址遺物出土状況



12号住居址カマド1、カマド2



13号住居址



13号住居址カマド遺物出土状況



13号住居址カマド



14号住居址



14号住居址カマド



15号住居址



16号住居址



16号住居址カマド



17号住居址



17号住居址新カマド礫出土状況



17号住居址新カマド(左)、旧カマド(右)

図版10



18号住居址



18号住居址カマド



19号住居址



19号住居址カマド



20号住居址



20号住居址遺物出土状況



20号住居址新カマド



21号住居址旧カマド



21号住居址



21号住居址カマド



22号住居址



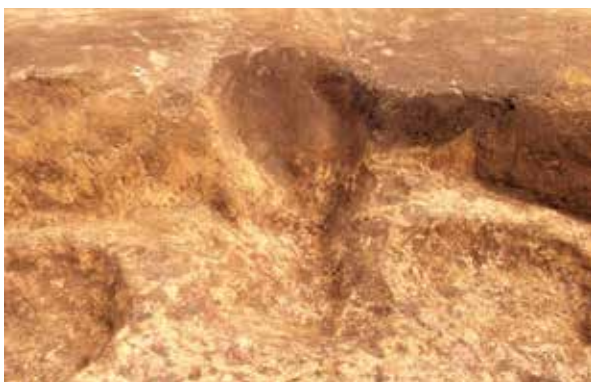
22号住居址東カマド



22号住居址北カマド



23号住居址



23号住居址北カマド



23号住居址東カマド

図版12



24号住居址



24号住居址北カマド



24号住居址東カマド



25号住居址



25号住居址カマド



26号住居址



26号住居址カマド遺物出土状況



26号住居址カマド



27号住居址



27号住居址カマド



28号住居址



28号住居址遺物出土状況



28号住居址カマド



29号住居址



29号住居址石製丸鞆出土状況



29号住居址カマド1

図版14



29号住居址カマド2、カマド3



30号住居址



30号住居址北カマド



30号住居址東カマド



31号住居址



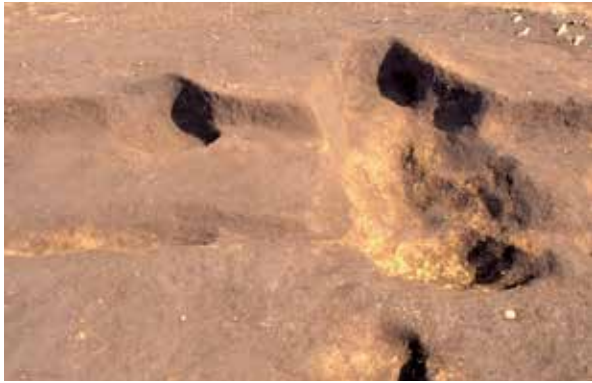
32号住居址カマド



33号住居址



33号住居址遺物出土状況



33号住居址カマド1、カマド2



33号住居址カマド3



34号住居址



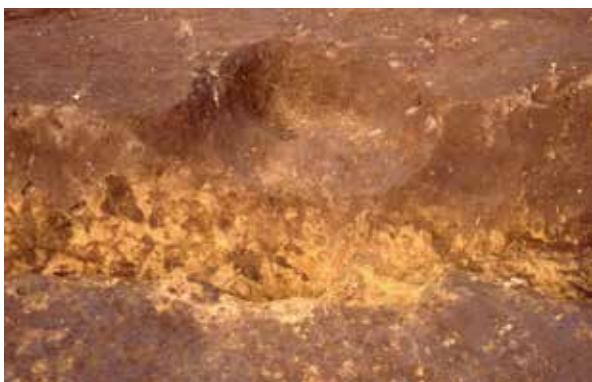
34号住居址カマド



35号住居址



35号住居址東カマド



35号住居址北カマド



36号住居址

図版16



36号住居址東カマド



36号住居址北カマド



37号住居址



37号住居址遺物出土状況



37号住居址カマド1



37号住居址カマド2、カマド3



38号住居址、43号住居址



38号住居址カマド



39号住居址



39号住居址東カマド



39号住居址北カマド



40号住居址



40号住居址カマド



41号住居址



41号住居址カマド遺物出土状況



41号住居址カマド

図版18



42号住居址



42号住居址カマド



44号住居址



44号住居址カマド



1号掘立柱建物跡



2号掘立柱建物跡



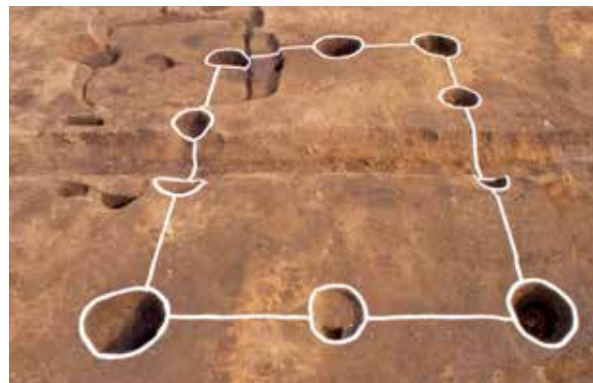
3号掘立柱建物跡



4号掘立柱建物跡



5号掘立柱建物跡



6号掘立柱建物跡



1号井戸址礫出土状況



1号井戸址



2号井戸址



3号井戸址



4号井戸址



5号井戸址

图版20



6号井戸址



7号井戸址



8号井戸址礫出土状況



8号井戸址



9号井戸址



11号井戸址



12号井戸址



13号井戸址礫出土状況



13号井戸址



14号井戸址



14区道路遺構 (硬化面)



14区道路遺構 (硬化面下)



11、12、19区道路遺構 (硬化面)



11、12、19区道路遺構 (硬化面下)



11区道路遺構（硬化面下）



16区道路遺構（硬化面）



16区道路遺構（硬化面下）



7区1号水路（西より）



7区1号水路（東より）



7区1号水路突起部



7区1号水路遺物出土状況（1）



7区1号水路遺物出土状況（2）



15区1号水路



20区1号水路



7区2号水路



12、19、20区2号水路（西より）



15区2号水路（東より）



13区2号水路（東より）



20区2号水路遺物出土状況（東より）



20区2号水路遺物出土状況（1）



20区2号水路遺物出土状況（2）



1号溝



2号溝



11区3~6号溝



6区6、9号溝



6区11号溝 (中央)



6区12号溝 (中央手前)



20区6~8号溝、1号水路 (左)



14号溝

图版26



13号沟



15号沟



16号沟



9区17号沟



21区17号沟



16区19号沟 (右)、20号沟 (左)



16区22~24号沟



16区25号沟



26号沟



7区27号沟



7区28号沟



1号集石土壩



1号集石土壩半截



1号集石土壩完掘



2号集石土壙



3号集石土壙



2、3号集石土壙完掘



4号集石土壙



4号集石土壙完掘



5号集石土壙



5号集石土壙完掘



6号集石土壙



7、8号集石土壙



7、8号集石土壙完掘



9、10号集石土壙



9、10号集石土壙完掘



3号土壙遺物出土狀況



3号土壙



7号土壙



8号土壙遺物出土状況 (1)



8号土壙遺物出土状況 (2)



8号土壙



50号土壙



51号土壙



発掘調査風景



発掘調査風景



発掘調査風景

图版30



遺構外出土遺物



J1号住居址出土遺物



J2号住居址出土遺物



5

1号住居址出土遺物



2



3

2号住居址出土遺物



1



2



3号住居址出土遺物



6



7



11



32

5号住居址出土遺物



3



4



5



6



10



11

6号住居址出土遺物

图版32



3



4



5



6



8



9



10



7号住居址出土遺物



1



3



4



12



6



8号住居址出土遺物



13



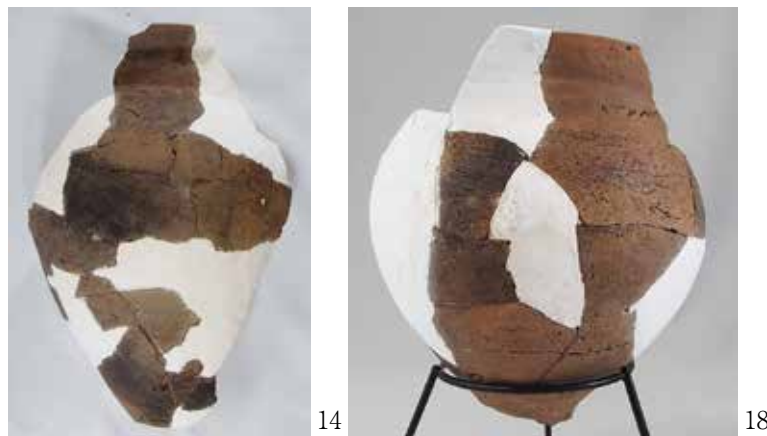
9号住居址出土遺物



10号住居址出土遺物



11号住居址出土遺物



12号住居址出土遺物 (1)

图版34



20



24



25

12号住居址出土遺物 (2)



1



2



6

13号住居址出土遺物



1



4



5



6



10

15号住居址出土遺物



1



3



10



11

16号住居址出土遺物



2



5

17号住居址出土遺物



1



3

18号住居址出土遺物



2



3



4

19号住居址出土遺物



1



3



5



8



12



18



17



21



23-1



23-2

20号住居址出土遺物

图版36



4



5

21号住居址出土遺物



3



4



5

22号住居址出土遺物



2



3



4



6



8

23号住居址出土遺物



1



2



4



9

24号住居址出土遺物



25号住居址出土遺物



26号住居址出土遺物

图版38



1



2



4

27号住居址出土遺物



1



2



3



5



6



7



12



13



14



15



23



24



27



31



32



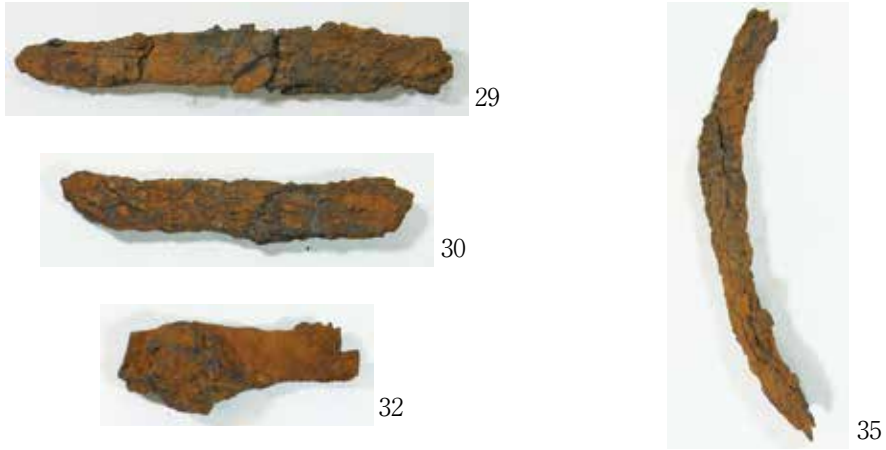
33

28号住居址出土遺物



29号住居址出土遺物 (1)

图版40



29号住居址出土遺物 (2)



30号住居址出土遺物



1



2



4

31号住居址出土遺物



2



32号住居址出土遺物



1



3



5



8



14



6



16



21



26

33号住居址出土遺物



5

34号住居址出土遺物



1



4



6



12



13



17

37号住居址出土遺物 (1)



25



26



37号住居址出土遺物 (2)



2



5



6



8



14



15



16



18



21



26



27



35



31

38号住居址出土遺物



4

39号住居址出土遺物



1

40号住居址出土遺物



1



4



5

41号住居址出土遺物



1

42号住居址出土遺物



7

43号住居址出土遺物



9



2



3



6



7



12

44号住居址出土遺物



1



2



5



6

5号井戸址出土遺物

图版44



1



3



4



5



6



7



8



11

7号井戸址出土遺物



1



2



4

9号井戸址出土遺物



1

11号井戸址出土遺物



1

12号井戸址出土遺物



9



10



20



25



26

13号井戸址出土遺物



1



6

14号井戸址出土遺物



11



26



24



27

道路遺構出土遺物



5



7



8

1号水路出土遺物



18



21



23



24



25



26



28



29



32



36



38



41

2号水路出土遺物 (1)

图版46



42



44



51



52



53



55



57



58



59



61



63



66



67



69



72



74



75



76



77



78



79

2号水路出土遺物 (2)



80



82



84



85



86



88



89



92



95



96



97



98



101



102



103



104



105



106



107



108



110

2号水路出土遺物 (3)

图版48



111



112



115



117



119



120



121



123



128



129



130



132



133



135



138



139



140



141



142



143



144

2号水路出土遺物 (4)



145



147



149



152



154



155



156



157



158



159



162



167



168



172



173



175



179



180



183



186



191

2号水路出土遺物 (5)

图版50



193



194



196



197



202



203



204



206



207



208



210



213



215



217



220



234



235



236



238



239



241

2号水路出土遺物 (6)



244



245



248



249



252



253



256



257



259



260



262



268



269



272



273



276



277



278

2号水路出土遺物 (7)



279



286



287



292



297



306



307



310



313



314



315



316



317



319



323

2号水路出土遺物 (8)



324



336



337



351



348



2号水路出土遺物 (9)



28

9号溝出土遺物



1



11



4



9

1号土壙出土遺物

図版54



1

3号土壙出土遺物



1



2



3

8号土壙出土遺物



「曳田」5住7



「上清地」8住4



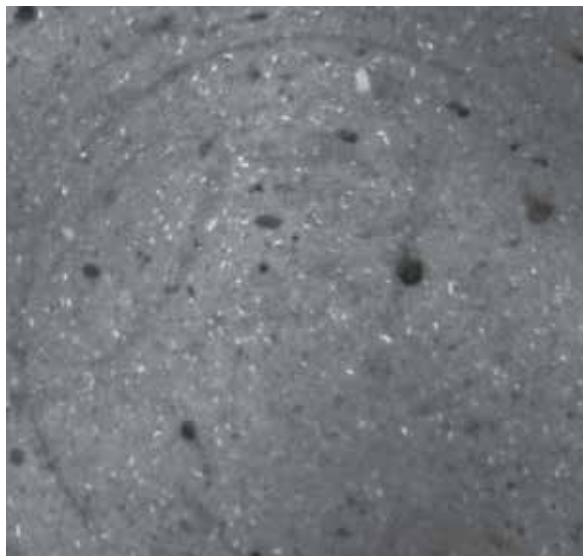
「南家」33住6



「南家」33住6



「坏」5井1



「厨」2水36



「家長」2水55



「田」2水23

墨書 (1)



「天」2水60



「家」2水89



「乃」2水101



「万」2水103 (外)



「万呂」2水103 (内)



「△」2水104



「土」2水106



「東田」2水107 (外)



「東田」2水107 (内)



「万呂」2水108 (外)



「万呂」2水108 (内)



「家」2水118



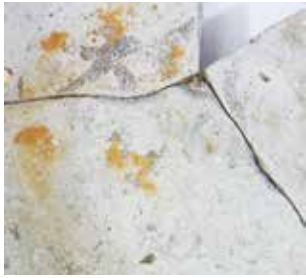
「□一」2水126



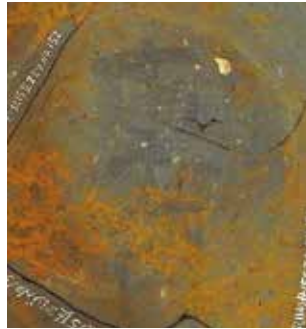
「菜」2水135



「辻」2水136



「大口」2水137



「東田」2水138



「辻」2水141 (外)



「辻」2水141 (内)



「南」2水197



「福南」2水229



「万呂」2水241 (外)



「万呂」2水241 (内)



「貞」2水248



「工」2水252



「田」2水262 (外)



「田」2水262 (内)



「万呂」2水265 (外)



「万呂」2水265 (内)

墨書 (3)

報 告 書 抄 録

ふりがな	じゅっこく							
書名	拾石遺跡							
副書名								
巻次								
シリーズ名	日高市埋蔵文化財調査報告							
シリーズ番号	第39集							
編著者名	中平 薫							
編集機関	日高市教育委員会、日高市遺跡調査会							
所在地	〒350-1292 埼玉県日高市大字南平沢1020 TEL042-989-2111							
発行年月日	2019年1月31日							
ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コード		北緯 (° ′ ″)	東経 (° ′ ″)	調査期間	調査面積 (㎡)	調査原因
		市町村番号	遺跡番号					
じゅっこく 拾石遺跡	さいたまけんひだかし 埼玉県日高市 おおあざたかはき 大字高萩 あざじゅっこく 字拾石、 なしのき 梨ノ木	242	114	35度 54分 27秒	139度 22分 12秒	1995.08.30～ 1996.03.31	41,307	土地区画 整理事業

所収遺跡	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
じゅっこく 拾石遺跡	集落跡	縄文早期 奈良・平安 近史以降	縄文時代早期住居址 2軒 集石土壇 10基 奈良・平安時代住居址 44軒 掘立柱建物跡 6棟 井戸 14基 道路遺構 1条 水路 2条 溝 28条 竪穴状遺構 1基 土壇 51基 ピット 37本	須恵器 坏、甕 土師器 坏、甕 灰釉陶器 墨書土器 軒平瓦、平瓦、丸 瓦 丸軋、巡方 漆紙 鉄製品	「厨」、「家長」などの 墨書。丸軋、巡方の 腰帯具や漆紙が出土。 水路遺構を検出。

日高市埋蔵文化財調査報告書 第39集

じゅっこく い せき
拾石遺跡

発行日	平成31年 1 月31日
編集兼 発行者	日 高 市 教 育 委 員 会
印刷所	株 式 会 社 文 化 新 聞 社
発行所	日 高 市 教 育 委 員 会 埼玉県日高市大字南平沢1020
